

Video Management Software (VMS) 取扱説明書



ソフトウェア名称	VMS Pro
ソフトウェアバージョン	V2.15.1-240923

- ※ 本製品の仕様は改良のため、予告なく変更することがございます。その際、取扱説明書の内容と異なる部分が生じることがございますので、ご了承下さい。
- ※ 本取扱説明書に掲載されている全ての画像、文章、データ等の無断転用、転載をお断りします。

2025・1・Ver4.0

目次

第1章 当ソフトウェアの概要について	11
1.1 “VMS Pro” ソフトウェアの概要	11
1.2 当ソフトウェアの推奨実行環境	12
1.3 当ソフトウェアのインストール	13
第2章 “VMS Pro” のはじめかた	21
2.1 管理者パスワード登録	21
2.2 ログイン	24
2.2.1 アカウントログイン	24
2.2.2 デバイスのログイン	27
2.3 セキュリティの質問（パスワードリセット）	36
2.4 “VMS Pro” メインメニュー	39
2.5 “VMS Pro” の言語を日本語へ設定する	43
2.6 メニュー一覧	49
2.6.1 アカウントログイン	49
2.6.2 メニュー一覧：デバイスのログイン	51
2.7 当ソフトウェアを終了させる	52
第3章 デバイス管理	54
3.1 すべてのデバイス（登録済みデバイス一覧）	55
3.1.1 デバイスの追加	59
3.1.2 デバイスのエクスポート	71
3.1.3 デバイスレポートのエクスポート	76
3.1.4 登録していたデバイスの復元（デバイスインポート）	81
3.1.5 デバイス接続パラメータの変更	84
3.1.6 デバイスの削除	88
3.1.7 デバイスのFW更新	94
3.2 自動検索	99
3.2.1 ネットワークセグメントでのデバイス検索	99
3.2.2 プロトコルを指定してデバイス検索	101
3.3 グループ化（root グループ）	103
3.4 カスタムグループ	105

第4章 ライブ画面.....	111
4.1 ライブ画面の概要.....	112
4.2 ライブ画面.....	127
4.2.1 カスタムセグメンテーション編集.....	135
4.2.2 ポップアッププレビュー機能.....	140
4.2.3 (マウス右クリックメニューまとめ)	141
4.3 レイアウト追加・編集.....	146
4.4 PTZ コントロール画面.....	150
4.5 スマートアラート.....	153
第5章 クルーズ設定 (メインビュー (メインレイアウト) のシーケンス動作設定)	158
5.1 シーケンス動作設定.....	159
5.2 シーケンスの実行.....	163
第6章 リモートデバイスにある録画データのリモート再生.....	164
6.1 リモート再生 (基本検索・画面説明)	165
6.2 リモート再生 (基本検索・操作説明)	172
6.3 デバイス録画データをローカルへエクスポートする.....	173
6.4 デバイスの画像データ.....	180
6.4.1 デバイス画像データのリモート検索/閲覧.....	180
6.4.2 デバイス画像をローカルへエクスポートする.....	182
6.5 スマート検索再生.....	184
6.6 タグ検索による再生.....	186
6.7 イベント検索による再生.....	193
6.8 バックアップ.....	199
第7章 ログ検索.....	209
7.1 ローカルログ.....	210
7.2 リモートログ.....	214
第8章 システム設定(アカウントログインしている場合)	218
8.1 一般設定.....	220
表 8-1-1 システム設定 (パラメーター一覧) : 一般設定	221
8.2 ファイル設定.....	223
表 8-2-1 システム設定 (パラメーター一覧) : ファイル設定	224
8.3 ホットキー (ショートカットキー)	226

表 8-3-1 システム設定 (パラメーター一覧) : ホットキー	227
8.4 メール設定.....	228
表 8-4-1 システム設定 (パラメーター一覧) : メール設定	228
第9章 アカウント管理.....	230
9.1 ユーザーの追加.....	230
9.2 ユーザーの変更 (パスワード/権限設定)	233
9.3 ユーザーの削除.....	235
第10章 マップ	237
10.1 マップ設定.....	239
10.1.1 新しいマップの作成.....	239
10.1.2 マップ編集.....	241
10.2 マップ監視.....	245
第11章 フィッシュアイ (魚眼) モード	249
11.1 ライブ画面でのフィッシュアイ (魚眼) モード.....	257
11.2 ビデオ再生中でのフィッシュアイモード.....	260
第12章 アラーム設定.....	263
12.1 アラーム連動 (アラーム設定)	264
12.2 アラームスケジュール.....	279
12.3 アラームイベント画面.....	282
12.3.1 コメント機能 (アラームイベント画面)	290
12.4 設備の保護解除 (DisArming).....	291
第13章 ローカル録画.....	292
13.1 ローカル録画.....	293
第14章 ローカル再生.....	298
14.1 ローカル再生 : 基本検索.....	301
表 14-1-1 ローカル再生 : 基本検索 画面説明.....	301
14.2 ローカル再生 : 画像検索.....	306
表 14-2-1 ローカル再生 : 画像検索画面説明.....	306
第15章 AI 設定.....	309
15.1 認識設定.....	310
15.1.1 モデル構成.....	311
15.1.2 データベース管理.....	312

15.1.3 データベースの同期.....	346
15.1.4 ナンバー管理.....	355
15.2 出勤管理.....	367
15.2.1 基本ルール(Basic rules).....	368
15.2.2 残業設定.....	371
15.2.3 休日設定.....	373
15.2.4 休暇タイプ設定.....	377
15.2.5 従業員管理.....	380
15.2.6 タイムカードの手動追加.....	385
15.3 AI アラーム設定.....	391
第16章 AI 検索.....	392
16.1 AI 顔認識検索.....	393
16.2 人&車両検索.....	400
16.3 リピーター検索.....	405
16.4 ナンバー検索.....	411
第17章 データ解析.....	418
17.1 顔検知.....	419
17.2 人&車両検知.....	422
17.3 クロスウント統計(CC 統計).....	425
17.4 ヒートマップ統計.....	428
17.5 出勤管理.....	431
17.5.1 出勤記録.....	432
17.5.2 出勤計算.....	434
第18章 AI シーン.....	439
18.1 AI シーン (人&車カウント統計).....	440
18.1.1 AI シーン (人&車カウント統計) : チャンネル.....	442
18.1.2 AI シーン (人&車カウント統計) : グループ[ライブ].....	443
18.1.3 AI シーン (人&車カウント統計) : グループ[地図].....	446
18.1.4 AI シーン (人&車カウント統計) : 検索.....	448
18.1.5 AI シーン (人&車カウント統計) : 設定.....	451
18.2 AI シーン (人&車両検知).....	456
18.3 AI シーン (出退勤).....	459

第 19 章 デバイスログイン.....	462
19.1 デバイスログイン・ライブ画面 (デバイスログイン)	463
19.2 再生 (リモートデバイスの録画検索/再生/バックアップ) : デバイスログイン	470
19.2.1 基本検索 (デバイスログイン)	471
19.2.2 スマート検索 (デバイスログイン)	488
19.3 リモート設定 (デバイスログイン)	490
19.4 システム設定 (デバイスログイン)	491
第 20 章 付録.....	493
20.1 トラブルシューティング	493
20.2 用語集.....	495
20.3 免責について.....	498

第1章 当ソフトウェアの概要について

1.1 “VMS Pro” ソフトウェアの概要

当ソフトウェアは、セキュリティ監視デバイスを管理するための管理ソフトウェア (VMS クライアント) です。当ソフトウェアは、DVR, NVR, XVR, IPC, ネットワークストレージデバイス, アラームデバイスなどと連携して使用できます。

当ソフトウェア機能一覧

- マルチユーザーをサポートします。
- デバイスの単一および一括追加、および、プロトコル検索によるデバイス追加をサポートします。
- デバイスのリモート構成をサポートします。
- マルチカメラのビデオをリアルタイムで視聴し、マルチカメラの録画を再生できます。
- 複数のデバイスの PTZ ラウンドツアーをサポートします。
- キャプチャ画像のリモート検索と再生をサポートします。
- 複数のアラーム検出の設定をサポートします。
- マップ登録機能をサポートしており、デバイスの検索/展開管理を容易にします。
- ログ情報の検索とエクスポートをサポートします。
- AI 顔認識をサポートします。
- 人&車両検知をサポートします。
- 顔検知、ヒートマップ、ラインオーバー、出席の期間別統計をサポートします。
- デバイス情報ファイル (.json) は安全に暗号化されてエクスポート/インポート機能をサポートします。
- 画像とビデオを個別に管理します。
- IPv4 ネットワーク専用

1.2 当ソフトウェアの推奨実行環境

- CPU : Intel® Core™ i5 CPU 以上 (内蔵グラフィック)

※内蔵グラフィックがない場合、DirectX 11に対応し1920×1080の出力が可能で、4GB以上のビデオメモリを備えたグラフィックカードが必要となります。

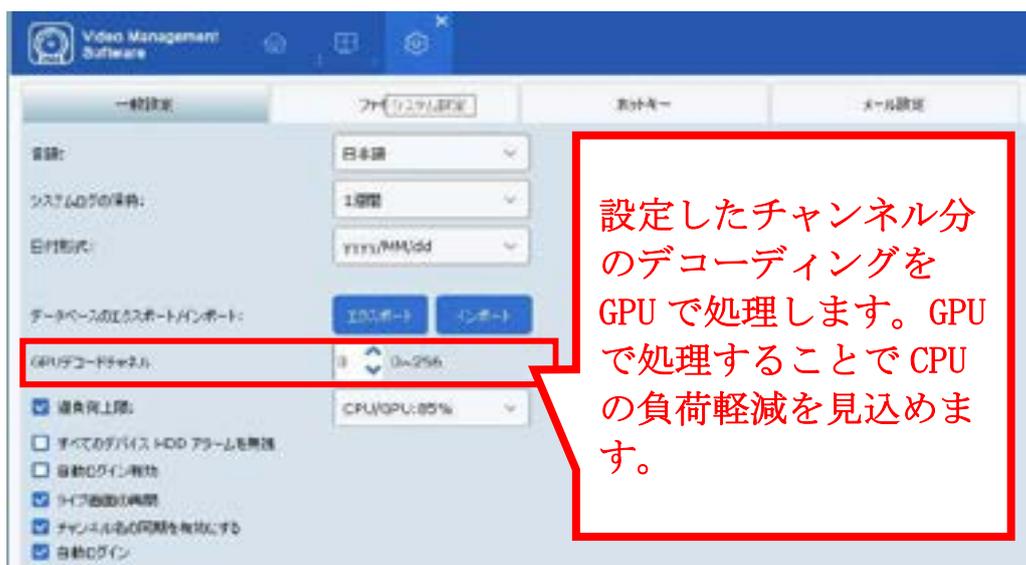
- メインメモリ (RAM) : 8GB 以上
- HDD : 空容量 1TB 以上
- ディスプレイ : 1920*1080
- LAN : 10/100/1000M

※メインストリームを活用される際は、次のGPUを持ち合わせたPCを推奨致します。

- **NVIDIA GTX 1060 6GB 以上**

また、メインストリームを数十チャンネルといった同時に多チャンネルを扱うご予定のある場合は、更に高いスペック (Core i7, Core i9, 32GB メインメモリ搭載等) を持ち合わせているゲーミング PC (ハイスペックパソコン) をお勧めいたします。

(システム設定でGPUデコードを設定できます)



1.3 当ソフトウェアのインストール

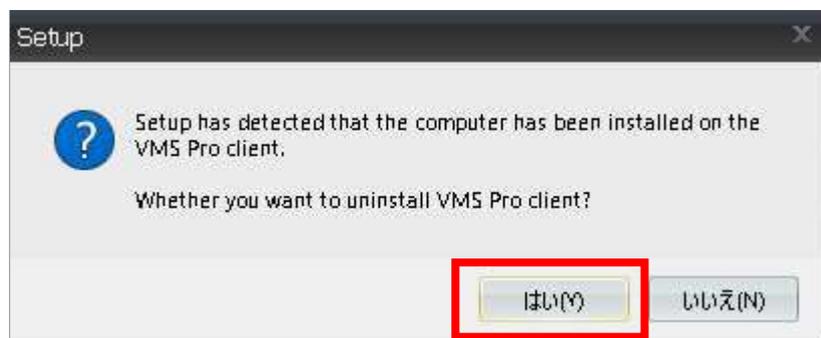
ステップ 1: “VMS Pro64_V2.15.1-240923_01.exe” を実行し、インストールプログラムを開始します。



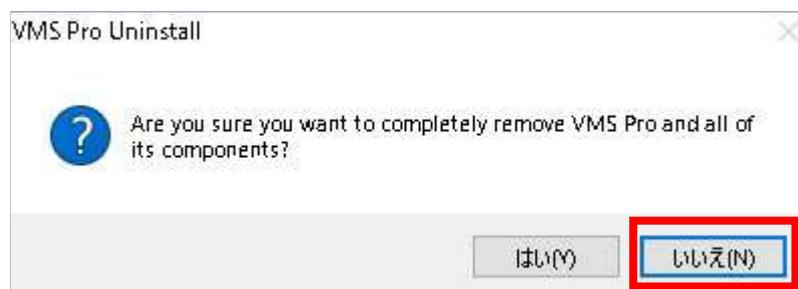
ステップ 2: セキュリティの警告ダイアログが表示された場合は“実行” ボタンをクリックします。



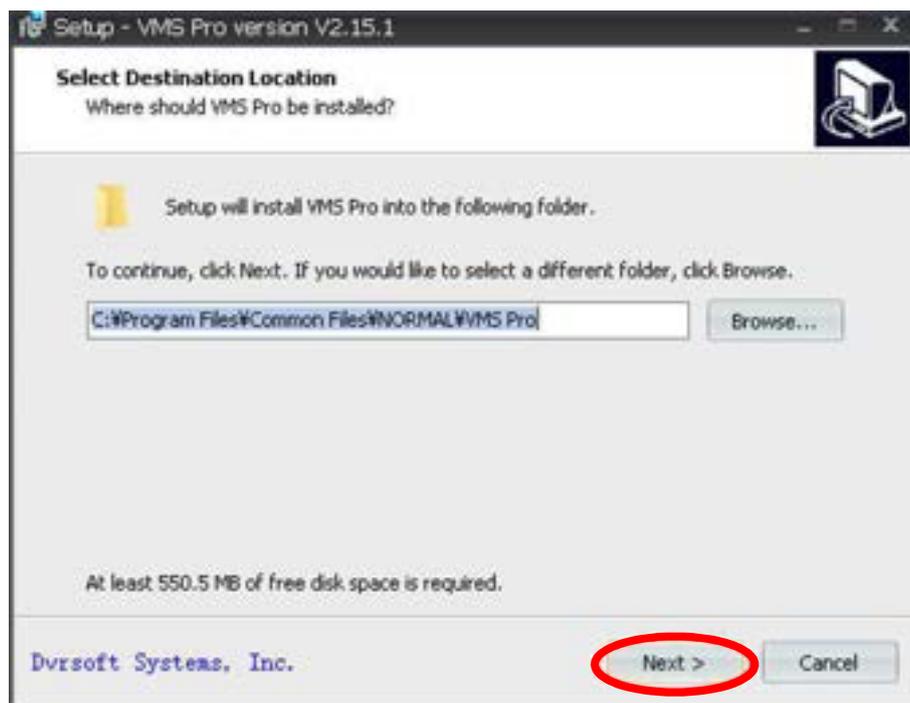
ステップ 3: VMS Pro ソフトウェアが既にインストールされている場合、以下の画面が表示されます。以下の画面が表示されていない場合はステップ 5 へ進みます。以下の画面が表示されている場合は、[はい(Y)] ボタンをクリックします。



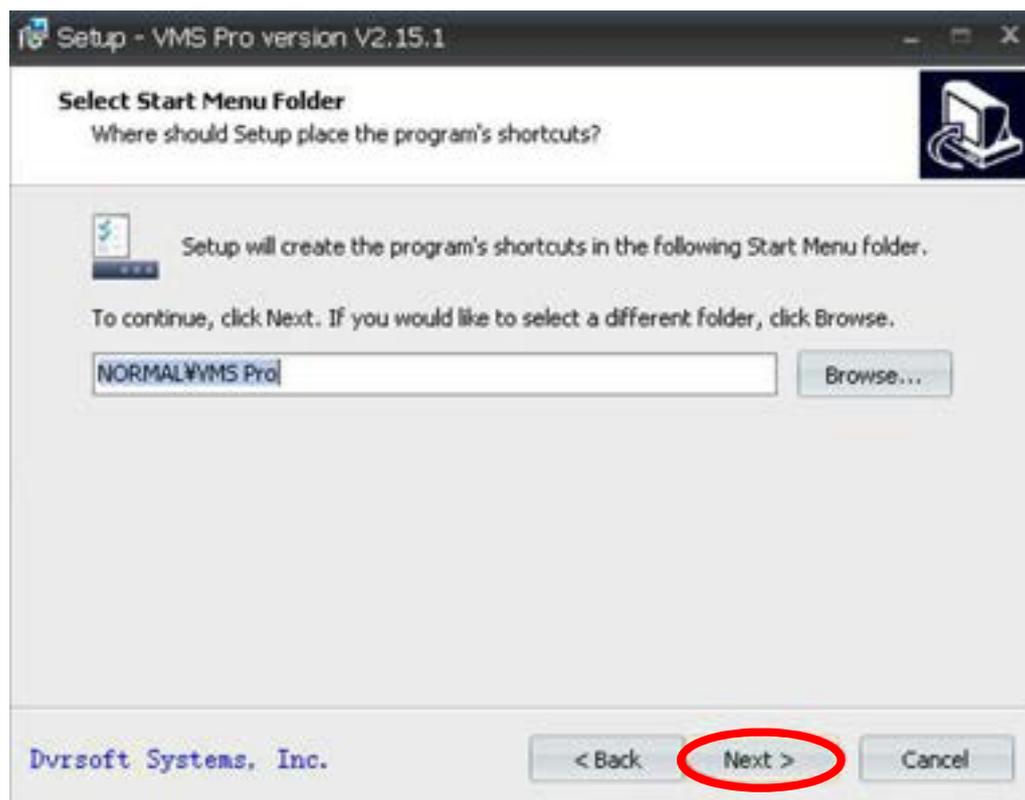
ステップ 4: 続けて以下の画面が表示されます。以下の画面が表示されていない場合はステップ 5 へ進みます。以下の画面が表示されている場合は、[はい(Y)] ボタンをクリックすると、現在登録されているデバイスリストなどが消えてしまいますので、[いいえ(N)] ボタンをクリックします。この後は、“ステップ 7” へお進みください。



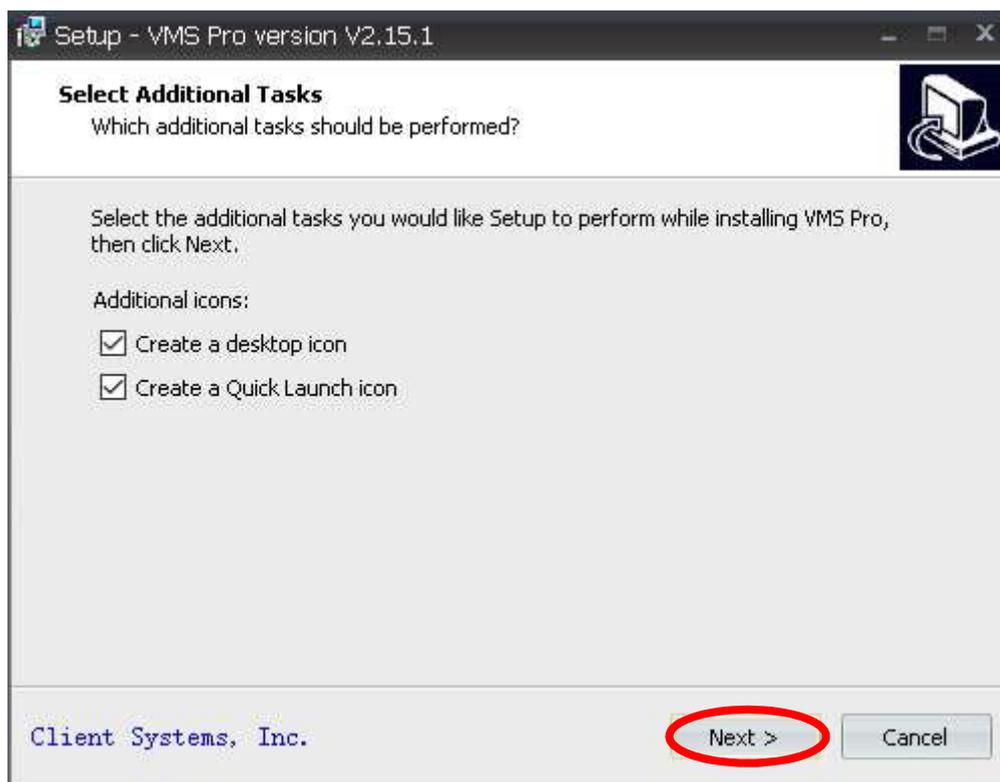
ステップ 5: “Select Destination Location” 画面ではインストール先を設定します。[Browse...] ボタンにより GUI によるインストール先の設定が可能です。[Cancel] ボタンでインストールプログラムを中止できます。インストール先を設定したら、[Next >] をクリックしてインストールプログラムを進めます。



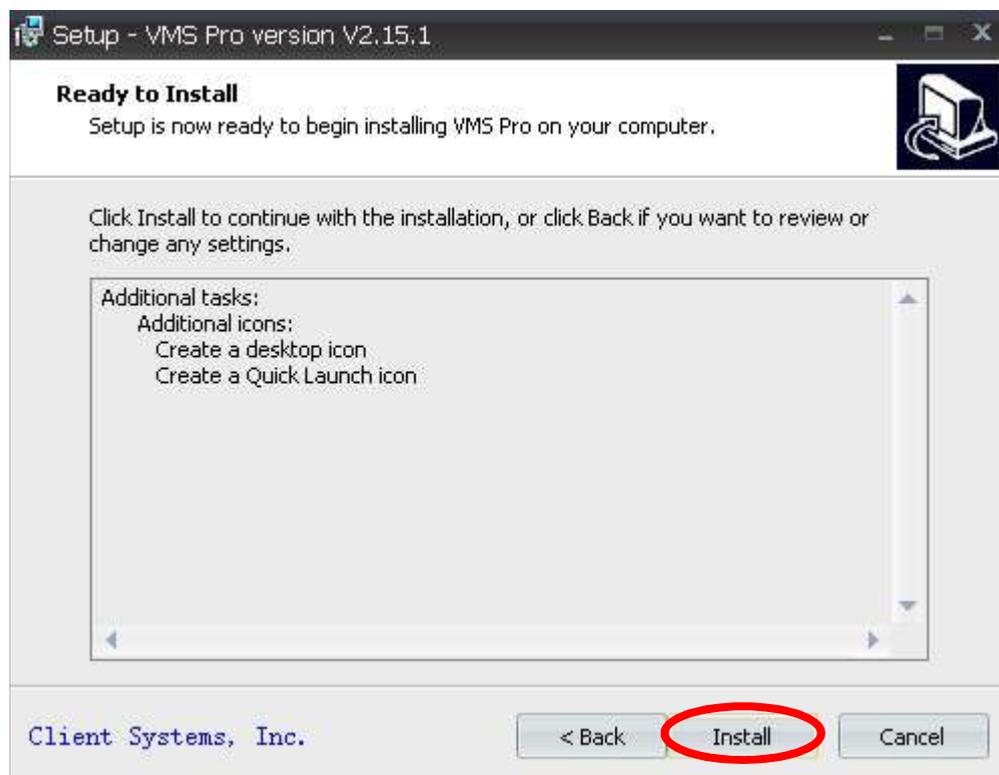
ステップ 6: “Select Start Menu Folder” 画面ではスタートメニューへの登録設定を行います。[Browse...] ボタンにより GUI による設定が可能です。[< Back] ボタンで前の画面へ戻り修正が可能です。また、[Cancel] ボタンでインストールプログラムを中止できます。必要に応じてご利用ください。スタートメニューへの登録設定を済ませましたら、[Next >] をクリックしてインストールプログラムを進めます。



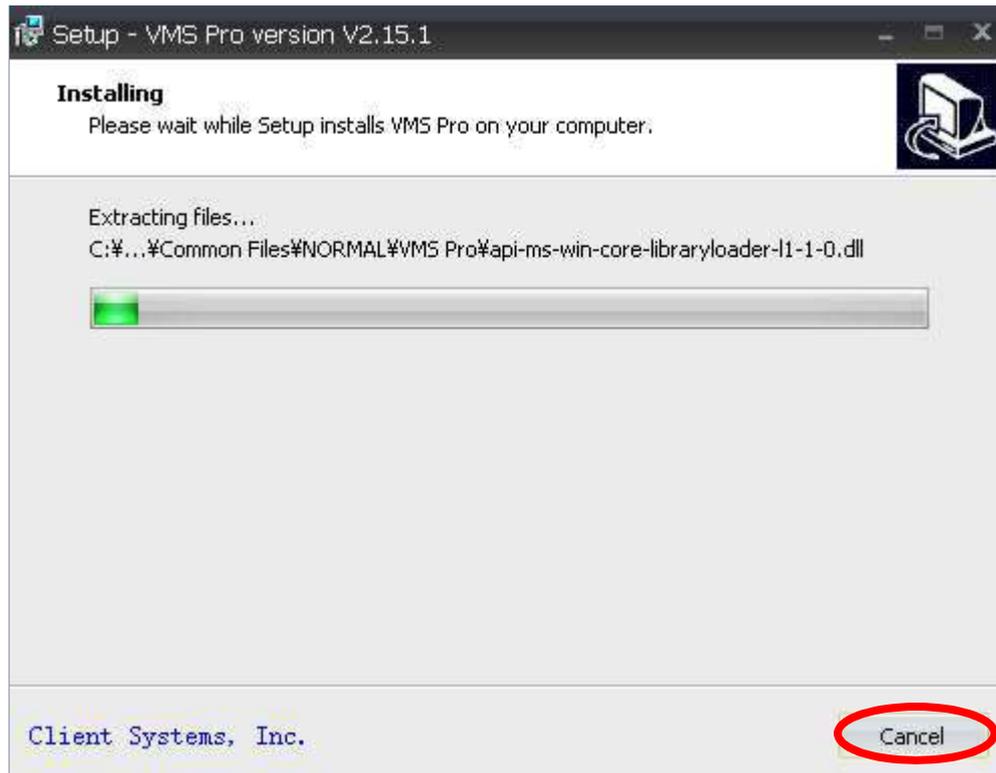
ステップ 7: “Select Additional Tasks” 画面では当ソフトウェア “VMS Pro” のショートカットアイコンの設定を行います。“Create a desktop icon” へ の場合はデスクトップへショートカットアイコンが作成されます。“Create a Quick Launch icon” へ の場合はデスクトップへショートカットアイコンが作成されます。[< Back] ボタンで前の画面へ戻り修正が可能です。また、[Cancel] ボタンでインストールプログラムを中止できます。必要に応じてご利用ください。ショートカットアイコンの設定を済ませましたら、[Next >] をクリックしてインストールプログラムを進めます。



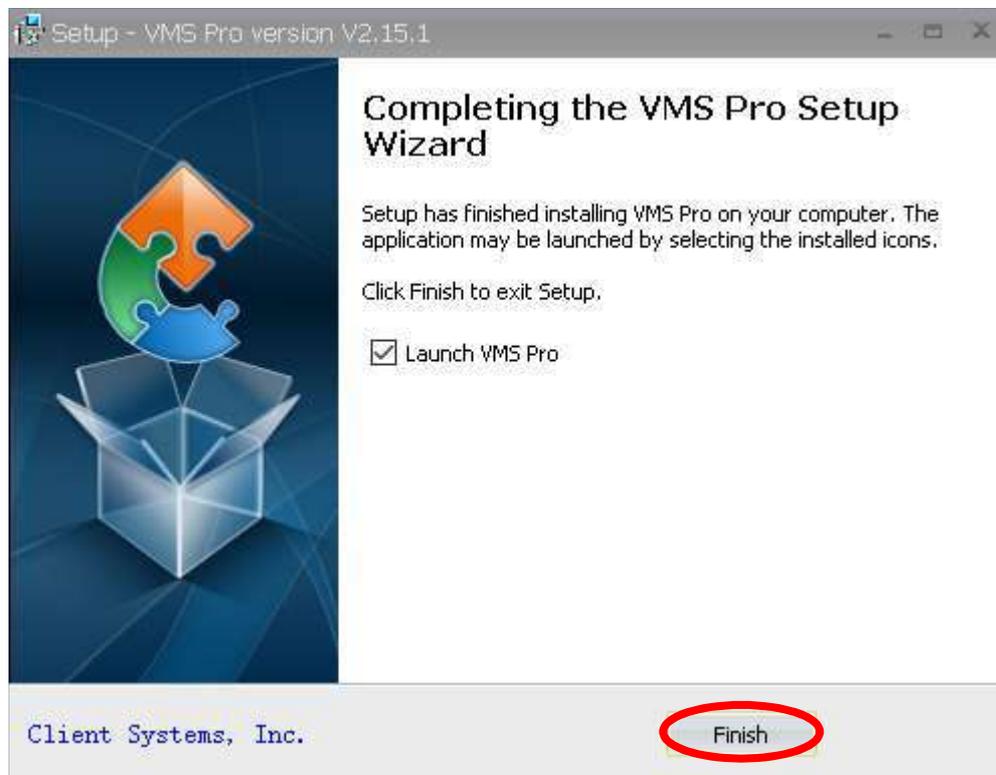
ステップ 8: “Ready to Install” 画面ではインストール設定内容の確認画面です。内容についてご確認ください。[< Back]ボタンで前の画面へ戻り修正が可能です。また、[Cancel]ボタンでインストールプログラムを中止できます。必要に応じてご利用ください。問題の無い場合は、[Install]ボタンをクリックしてインストールを実行します。



ステップ 9: 当ソフトウェアのインストール実行中は“Installing”画面が表示されます。[Cancel]ボタンでインストールプログラムを中止できます。



ステップ 10: 当ソフトウェア“VMS Pro”のインストールが無事に完了致しましたら、次の様な“Completing the VMS Pro Setup Wizard”画面が表示されます。[Finish]ボタンをクリックしてインストールプログラムを終了します。この際、“Launch VMS Pro”がの場合、インストールプログラムの終了に当ソフトウェア“VMS Pro”が起動を開始いたします。



第2章 “VMS Pro” のはじめかた

この項目では管理者パスワード登録とログイン、メインメニューについてご説明いたします。

2.1 管理者パスワード登録

当ソフトウェアに初めてログインする際には、まず、管理者のログインパスワードとセキュリティの問題を設定します。設定したログインパスワードは、当ソフトウェアへログインするために使用されます。なお、セキュリティの質問はパスワードのリセットに用います。質問に答えることによってリセットすることができます。



ステップ 1: デスクトップの  アイコンをダブルクリックして当ソフトウェアを起動します。図 2-1-1 に示しますように、管理者設定インターフェイスが表示されます。[「表 2-1 パスワード初期化パラメータの説明」](#) に示すパラメータを指定して、管理者パスワードの設定を行います。

The screenshot shows a window titled "Initialization" with a close button in the top right corner. The window has a light blue header and a white main area. At the top, there are two progress indicators: "1. Password Setting" (active) and "2. Password Protection". Below this, there is an information icon and the text "Please set admin password at first instalation." (note the typo). There are three input fields: "Password" (with a dropdown arrow), "Password Strength" (with a green progress bar), and "Confirm Password" (with a dropdown arrow). Below the input fields is a checkbox labeled "Auto Login After Registration". A blue "Next" button is located at the bottom right of the form.

図 2-1-1 管理者パスワード設定画面 表示例

表 2-1 パスワード初期化パラメータの説明

項目	内容
Password (パスワード)	英半角大文字, 英半角小文字, 半角数字, 半角記号文字がパスワードへ使用できます。8~32文字である必要がございます。
Password Strength (パスワードの強度)	<p>パスワードは8文字以上で作成してください。</p> <p>赤は簡単に解読され安全ではないことを示し、緑は複雑でとてもセキュリティパフォーマンスが優れていて解読されないことを示します。</p> <p>パスワードの強みと弱さのプロンプトをご参考にセキュリティパフォーマンスが高いパスワードを設定してください。</p>
<div style="text-align: center;">  </div> <p>パスワードが8文字未満の場合は画面右下に以下のメッセージが表示され、パスワードとして設定できないようになっております。パスワードは8文字以上で作成してください。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	
Confirm Password (パスワードの確認)	パスワードの誤設定防止のため、パスワードと一致する必要がございます。
Auto Login After Registration (登録後、自動的にログインします)	選択するとログイン認証画面が省略されます。未選択の場合はログイン認証画面が表示されます。

ステップ 2: パスワードを設定したら、[Next] ([次へ]) をクリックします (図 2-1-2)。

ステップ 3: パスワードを忘れた場合にパスワードをリセットするためのセキュリティの質問を設定します。質問と対応する答えを設定します。

ステップ 4: 設定が完了したら、[Finish] ([はい]) をクリックして設定を保存します。

Initialization

1.Password Setting 2.Password Protection

Please set security questions.

Question 1 What is your nickname?

Answer Joseph

Question 2 When is your first day at work?

Answer 1826

Finish

図 2-1-2 セキュリティの質問画面 表示例

※ “Answer” には日本語を設定できません。

2.2 ログイン

ログインは「アカウントログイン」と「デバイスのログイン」がございます。

2.2.1 アカウントログイン

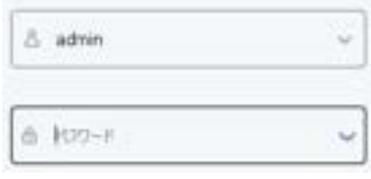
 **ステップ1:** デスクトップの  アイコンをダブルクリックして当ソフトウェアを起動します。起動が完了しますと、当ソフトウェアへのログイン画面が表示されます (図 2-2-1)。



図 2-2-1 当ソフトウェアへのログイン画面表示例

ステップ2: 当ソフトウェアへのログイン情報を入力し、[ログイン]をクリックします。[「表 2-2-1 ログインパラメータ \(アカウントログイン\)」](#)をご参考ください。

表 2-2-1 ログインパラメータ（アカウントログイン）

項目	内容
	ログインユーザーを選択し、対応するパスワードを入力します。
<input type="checkbox"/> パスワード保存	選択すると、パスワードが記憶され、最後にログインしたときに最後のログインパスワードが記憶されます。
<input type="checkbox"/> 自動ログイン	選択すると、パスワードが自動的に記憶され、次回の起動からシステムへ自動的にログインします。
パスワードをお忘れですか？	パスワードを忘れた場合は、“セキュリティの質問”に答えてパスワードをリセットできます。詳しくは、 「2.3 セキュリティの質問（パスワードリセット）」 をご参照ください。

ステップ 3: [ログイン]をクリックしますと起動中は起動中を示す画面が表示されま
す。当ソフトウェアの起動中の画面を図 2-2-2 に示します。



図 2-2-2 起動中を示す画面（アカウントログイン）

ステップ 4: ログイン認証完了後、目的に合わせて機能を選択して御利用下さい。
図 2-2-3 は当ソフトウェアのホーム画面を表示した場合の例となります。

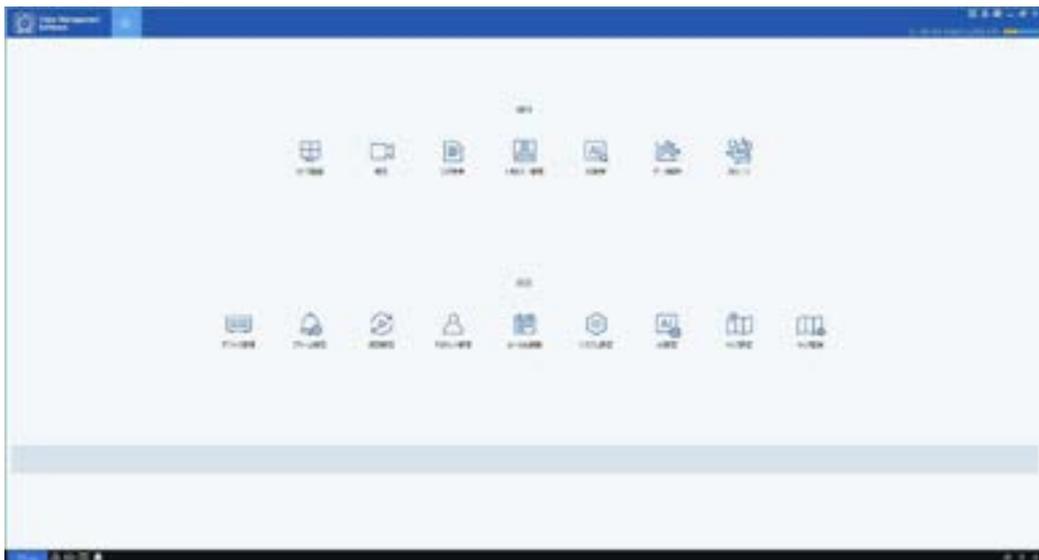


図 2-2-3 ホーム画面（アカウントログイン） 表示例

2.2.2 デバイスのログイン



ステップ1: デスクトップの  アイコンダブルクリック等で当ソフトウェアを起動します。

ステップ2: ログイン画面左側の「デバイスのログイン」をクリックして、図 2-2-4 に示しますように“デバイスのログイン”画面へ切り替えます。



図 2-2-4 デバイスのログイン画面

ステップ3: デバイスへのログイン情報を入力し、[ログイン]をクリックします。[「表 2-2-2 ログインパラメータ \(デバイスへのログイン\)」](#)をご参考ください。

表 2-2-2 ログインパラメータ (デバイスへのログイン)

項目	内容
<input type="text" value="デバイスIP/ID"/>	デバイスの IP 又は ID を入力します。P2P でログインする場合には IP アドレスではなく ID を入力します。
<input type="text" value="HTTPポート"/>	デバイスのポート番号を入力します。
<input type="text" value="ユーザー名"/>	デバイスへのログインに使用するユーザー名とパスワードを入力します。
<input type="text" value="パスワード"/>	
<input type="checkbox"/> パスワードを保存する	選択するとパスワードが記憶され、次回、最後にログオンしたときのログインパスワードが呼出されます。

ステップ 4: [ログイン]をクリックしますと起動中は起動中を示す画面が表示されます。当ソフトウェアの起動中の画面を図 2-2-5 に示します。



図 2-2-5 起動中を示す画面 (デバイスログイン)

ステップ 5: ログイン認証完了後、目的に合わせて機能を選択して御利用下さい。図 2-2-6 はライブ画面を選択した場合の表示例となります。

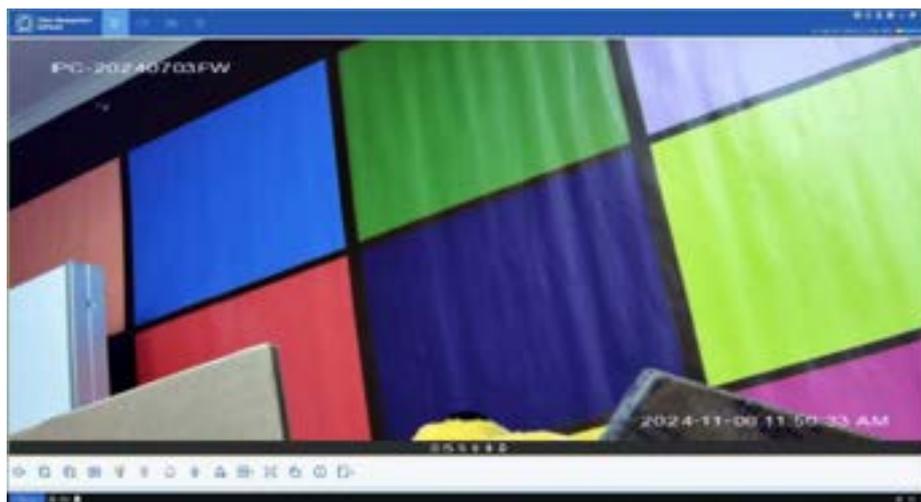


図 2-2-6a ライブ画面 デバイス(IPC)のログイン直後の表示例

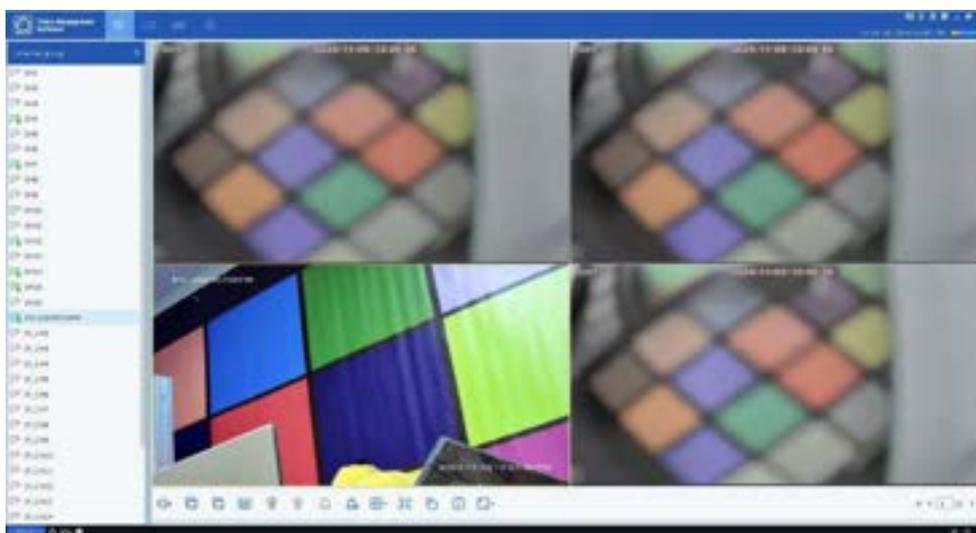


図 2-2-6b ライブ画面 デバイス(recorder)のログイン直後の表示例

“デバイスのログイン”の概要については、[「第 19 章 デバイスのログイン」](#)を参照してください。

2.2.2.1 デバイスのログイン： デバイスの IP アドレスでログインする



ステップ1: デスクトップのアイコンダブルクリック等で当ソフトウェアを起動します。

ステップ2: ログイン画面左側の「デバイスのログイン」をクリックして、図 2-2-5 に示しますように“デバイスのログイン”画面へ切り替えます。



図 2-2-5 デバイスのログイン画面

ステップ3: デバイスへのログイン情報を入力し、[ログイン]をクリックします。[「表 2-2-3 ログインパラメータ \(デバイスへのログイン\) : デバイスの IP アドレスでログインする」](#)をご参考ください。図 2-2-6 に“デバイスのログイン画面”での、デバイスの IP アドレスでログインする場合の入力例を示します。IP アドレスは IPv4 に対応しています。



図 2-2-6 デバイスのログイン画面：デバイスの IP アドレスでログインする入力例

表 2-2-3 ログインパラメータ（デバイスへのログイン）：デバイスの IP アドレスでログインする

項目	内容
<input type="text" value="デバイスIP/ID"/>	デバイスの IP v4 アドレス を入力します。対応している IP アドレスバージョンは IPv4 です。
<input type="text" value="HTTPポート"/>	デバイスの HTTP ポート番号を入力します。初期値は 80 です。
<input type="text" value="ユーザー名"/>	デバイスへのログインに使用するユーザー名とパスワードを入力します。
<input type="text" value="パスワード"/>	
<input type="checkbox"/> パスワードを保存する	選択するとパスワードが記憶され、次回、最後にログオンしたときのログインパスワードが呼出されます。

ステップ 4: ログイン認証完了後、目的に合わせて機能を選択して御利用下さい。
図 2-2-6 はライブ画面をメインビュー（メインレイアウト）を選択した場合の表示例となります。



図 2-2-7a ライブ画面 デバイス(IPC)のログイン表示例

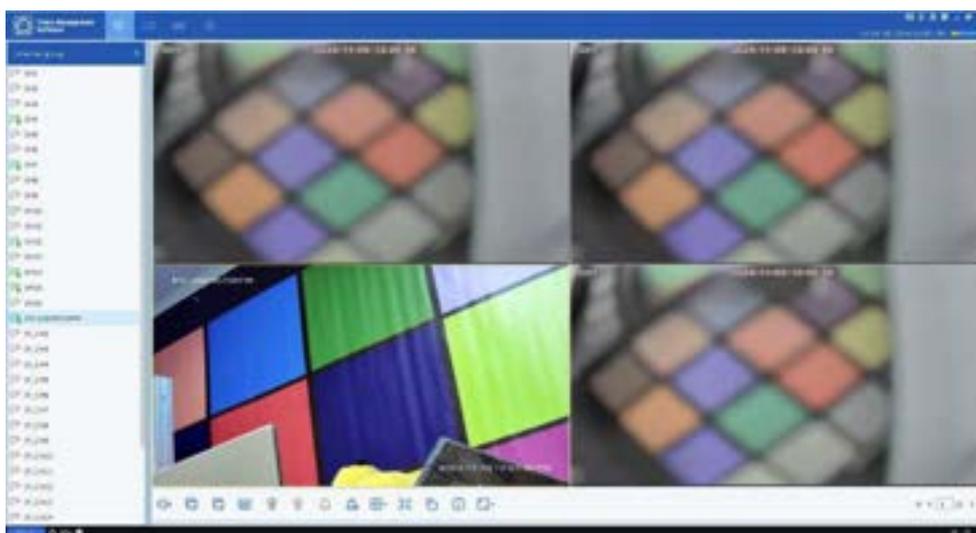


図 2-2-7b ライブ画面 デバイス(recorder)のログイン表示例

“デバイスのログイン”の概要については、[「第 19 章 デバイスのログイン」](#)を参照してください。

2.2.2.2 デバイスのログイン： P2P ID でログインする



ステップ1: デスクトップのアイコンダブルクリック等で当ソフトウェアを起動します。

ステップ2: ログイン画面左側の「デバイスのログイン」をクリックして、図 2-2-8 に示しますように“デバイスのログイン”画面へ切り替えます。



図 2-2-8 デバイスのログイン画面

ステップ3: デバイスへのログイン情報を入力し、[ログイン]をクリックします。[「表 2-2-4 ログインパラメータ \(デバイスへのログイン\) : P2P ID でログインする」](#)をご参考ください。図 2-2-9 に“デバイスのログイン画面”での、P2P ID でログインする場合の入力例を示します。



図 2-2-9 デバイスのログイン画面：P2P ID でログインする入力例

表 2-2-4 ログインパラメータ（デバイスへのログイン）：P2P ID
でログインする

項目	内容
<input type="text" value="デバイスID"/>	<u>P2P ID</u> を入力します。
<input type="text" value="HTTPポート"/>	デバイスの HTTP ポート番号を入力します。初期値は 80 です。
<input type="text" value="ユーザー名"/>	デバイスへのログインに使用するユーザー名とパスワードを入力します。
<input type="text" value="パスワード"/>	
<input type="checkbox"/> パスワードを保存する	選択するとパスワードが記憶され、次回、最後にログオンしたときのログインパスワードが呼出されます。

ステップ 4: ログイン認証完了後、目的に合わせて機能を選択して御利用下さい。
図 2-2-10 はライブ画面をメインビュー（メインレイアウト）を選択した場合の表示例となります。

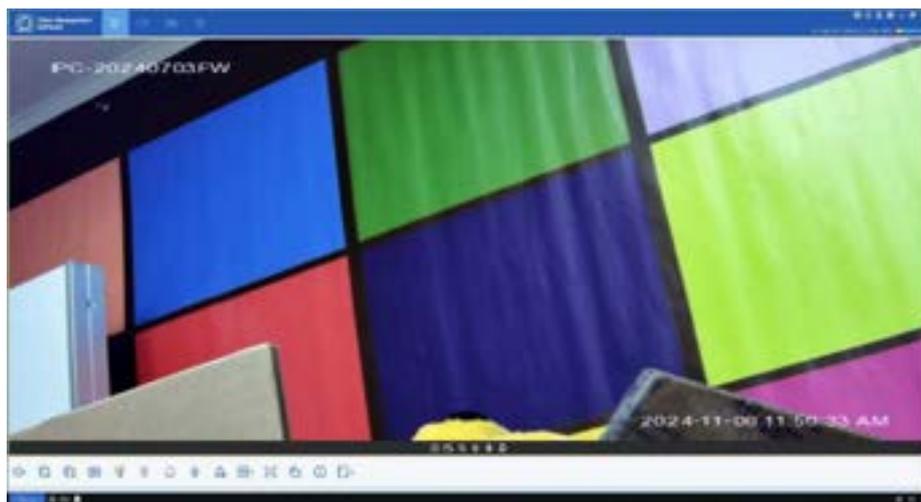


図 2-2-10a ライブ画面 デバイス(IPC)のログイン表示例

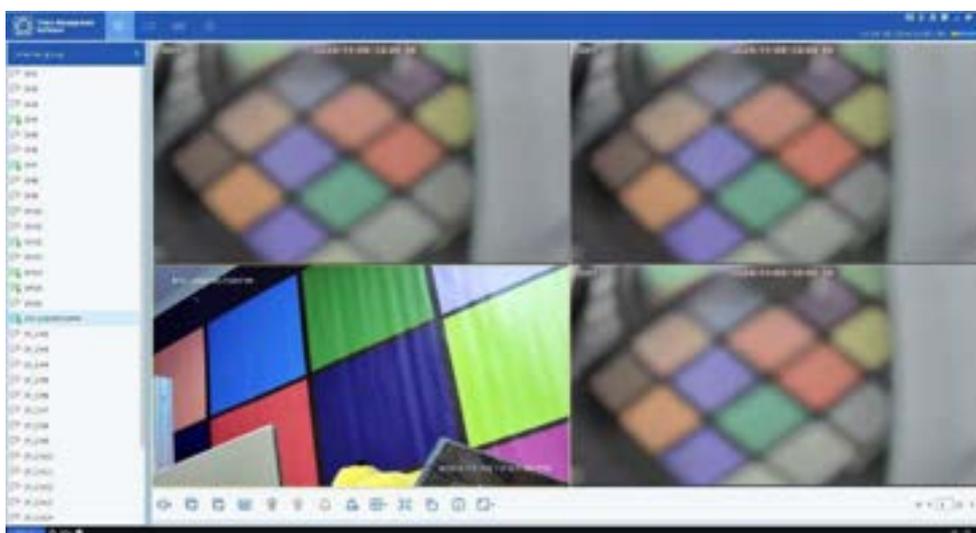


図 2-2-10b メインビュー (メインレイアウト) 画面 デバイス(recorder)のログイン表示例

“デバイスのログイン”の概要については、[「第 19 章 デバイスのログイン」](#)を参照してください。

2.3 セキュリティの質問（パスワードリセット）

当ソフトウェアへのログインパスワードを忘れた場合、セキュリティの質問に答えることでリセットできます。



ステップ1: デスクトップのVMS PRO アイコンをダブルクリックして当ソフトウェアを起動します。図 2-2-1 に示すように、ログインインターフェイスが表示されます。

ステップ2: パスワードをお忘れですか？ をクリックします。図 2-3-1 に示すように、“パスワードのリセット”画面が表示されます。

図 2-3-1 パスワードのリセット画面 表示例

ステップ3: セキュリティの質問を入力して、「次」ボタンをクリックします。

ステップ4: セキュリティの質問と答えが正しい場合は、図 2-3-2 に示しますように、“パスワードのリセット”画面が表示されます。



図 2-3-2 パスワードのリセット画面

ステップ5: パスワードを再設定します。表 2-3 をご参考ください。新しいパスワード

を入力したら、 ボタンをクリックしてパスワード再設定を実行します。



表 2-3 パスワードのリセット画面

項目	内容
パスワード	英半角大文字，英半角小文字，半角数字，半角記号文字がパスワードへ使用できます。8～32文字である必要がございます。
パスワードの強度	赤は簡単に解読され安全ではないことを示し、緑は複雑でとてもセキュリティパフォーマンスが優れていて解読されないことを示します。 パスワードの強みと弱さのプロンプトをご参考にセキュリティパフォーマンスが高いパスワードを設定してください。
パスワードの確認	誤設定防止のため、パスワードと一致する必要があります。

ステップ 6: 画面右下へ「パスワードが正常にリセットされました」のポップアップが表示されましたら、パスワードリセットの完了です。



2.4 “VMS Pro” メインメニュー

当ソフトウェアの“アカウントログイン”を行った場合のメインメニュー画面（ホームページ）を図 2-4-1 に示します。

既に当ソフトウェアの表示言語が日本語の場合は、次章の「[第3章 デバイス管](#)

[理](#)」へ読み進んでいただき、 アイコンよりデバイスを御登録の上ご利用ください。

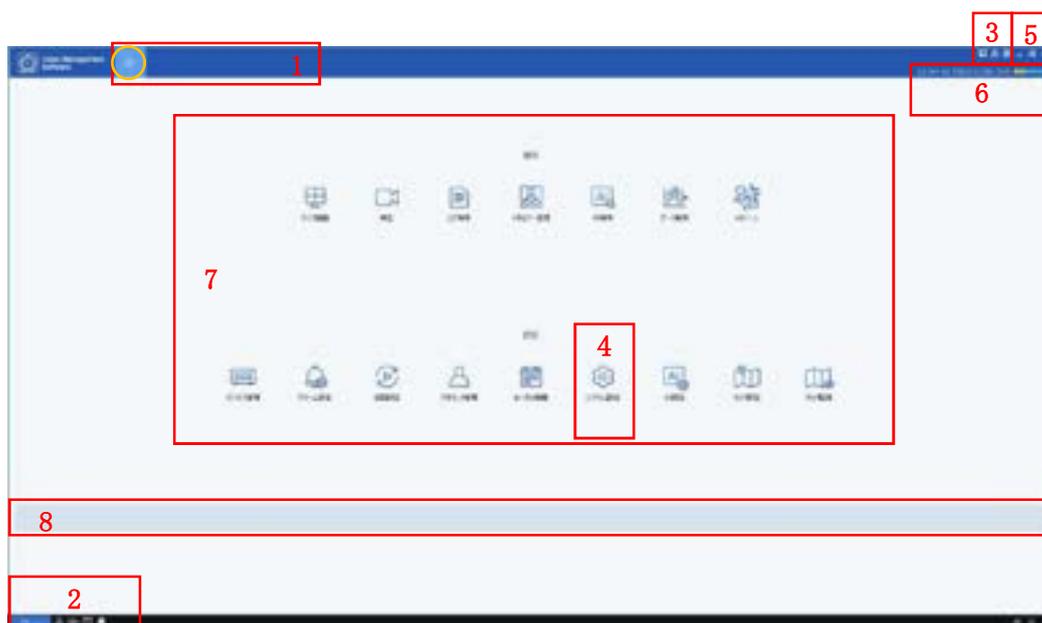


図 2-4-1 メインメニュー画面

各項の説明は「[表 2-4-1 メインメニュー画面の概要](#)」を参照ください。

表 2-4-1 メインメニュー画面の概要

番号	項目名	内容
1	機能シート	メインメニュー（ホームページ）アイコンをクリックするとメインメニュー（ホームページ）画面が表示されます。
2	イベント管理	 : 消音中。クリックでミュートをキャンセルします。  : クリックでミュートへ切り替えます。  : アラームポップアップ表示は OFF です、クリックで ON へ切り替えます。  : アラームポップアップ表示は ON です、クリックで OFF へ切り替えます。  : クリックでアラート情報をクリアします。  をクリックすると、アラート情報が表示されます。詳細は「 第 12 章 アラーム設定 」を参照してください。
3	ユーザー管理	 : 当ソフトウェアの表示解像度を設定できます。  : 専用の動画プレーヤーがポップアップ表示されます。  : クリックすると、画面ロック/ユーザー切替/ソフト概要機能があります。  : ロック画面/ロック解除。 ログインパスワードが必要です。  : ユーザー切替。  : 選択すると、ソフトウェアの名前とバージョン番号を確認可能です。

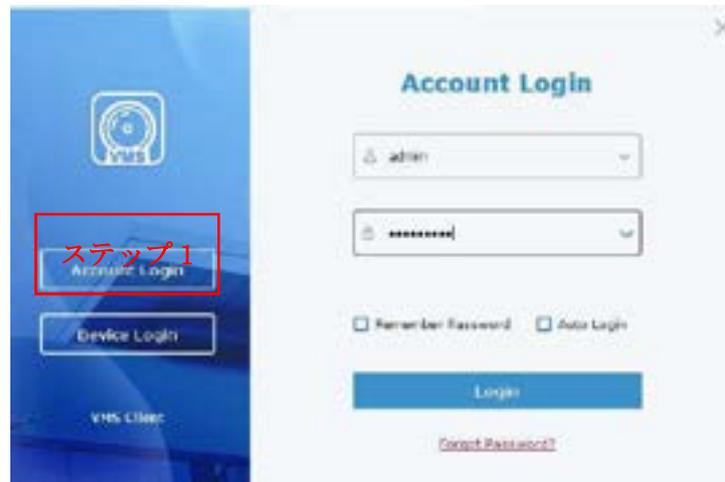
4	システム管理	<p>クリックすると「システム設定」画面に移動します。</p> <p>本ソフトウェアの言語設定，自動ログイン設定，デフォルトの保存先（パス）やファイルの種類（録画ファイル等），警告音を設定できます。</p>	
5	ウィンドウ管理	<p>：ウィンドウを最小化します。</p> <p>：ウィンドウが最大化されます。</p> <p>：最初のウィンドウサイズに戻ります。</p> <p>：ソフトウェアを終了します。</p>	
6	システム状態	<p>システムの現在時刻，CPU 使用率，ユーザー名とログオン時間を表示します。</p>	
7	機能一覧	<p>各アイコンは、操作エリアと構成エリアに別けてアイコンが配置されております。リモートライブ表示，リモート録画再生/バックアップ，ローカル録画，ローカル録画再生，ログ検索/バックアップ（リモート/ローカル），録画/画像検索（リモート/ローカル），AI 検出/データ分析</p>	
8	ヒント表示エリア	<p>マウスカーソルホバー表示</p>	<ul style="list-style-type: none"> •AI 検索 顔検索，人&車両検索，レポート検索 •デバイス管理 デバイスの追加と削除、リモートセットアップ •アラーム設定 モーション，I0，ビデオロス，PIR，インテリジェント，オフライン，AD •クルーズ設定 ビュー（レイアウト）のシーケンス設定が可能です •アカウント管理 •ユーザー管理 子ユーザーの追加と削除、権限管理

			<ul style="list-style-type: none">•ローカル録画 録画スケジュール設定、保存先設定•ファイル管理 録画映像とスナップ画像を管理•E マップ 構成 カメラマップを構成可能です。•AI 構成 AI データベース, 設定, AI アラーム, 出欠設定
--	--	--	--

2.5 “VMS Pro” の言語を日本語へ設定する

インストール後に表示言語を日本語へ変更が可能です。

ステップ1: “Account Login” で admin アカウントログインします。

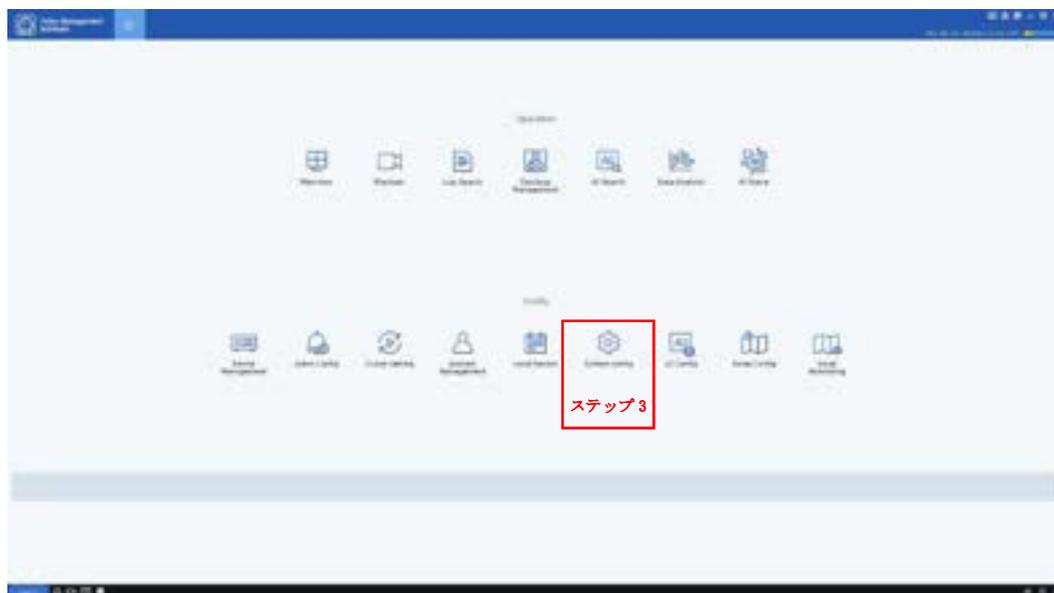


ステップ2: “Home Page” 画面を表示させます。

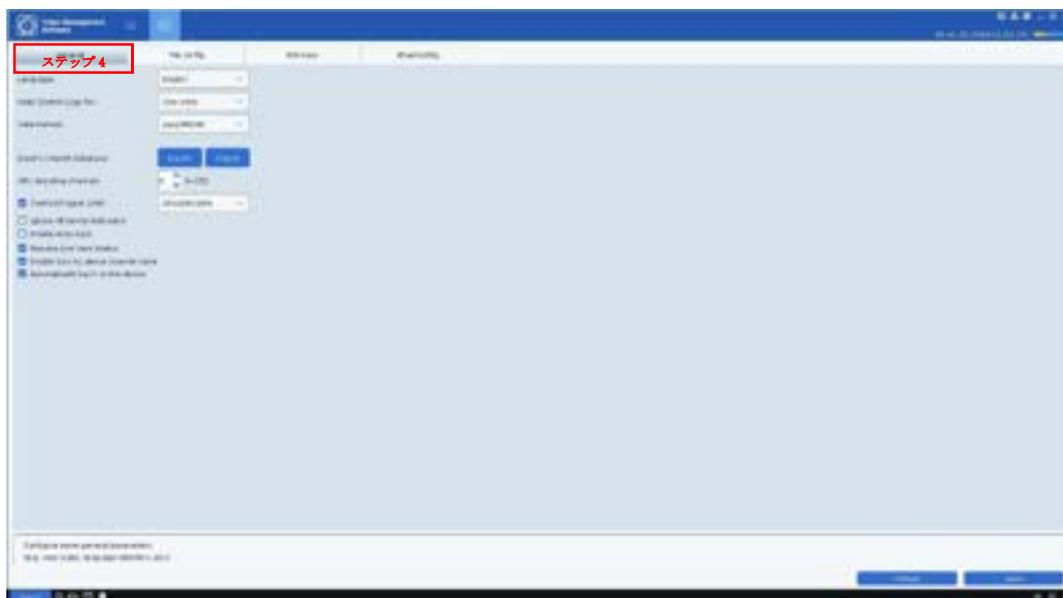




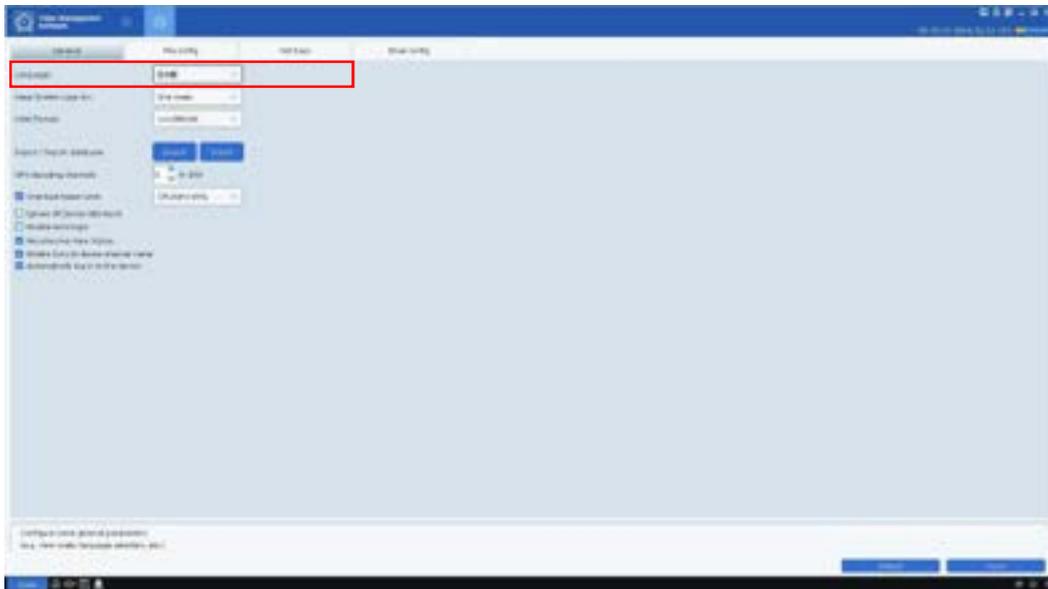
ステップ3: “Home Page”画面で、アイコンをクリックします。



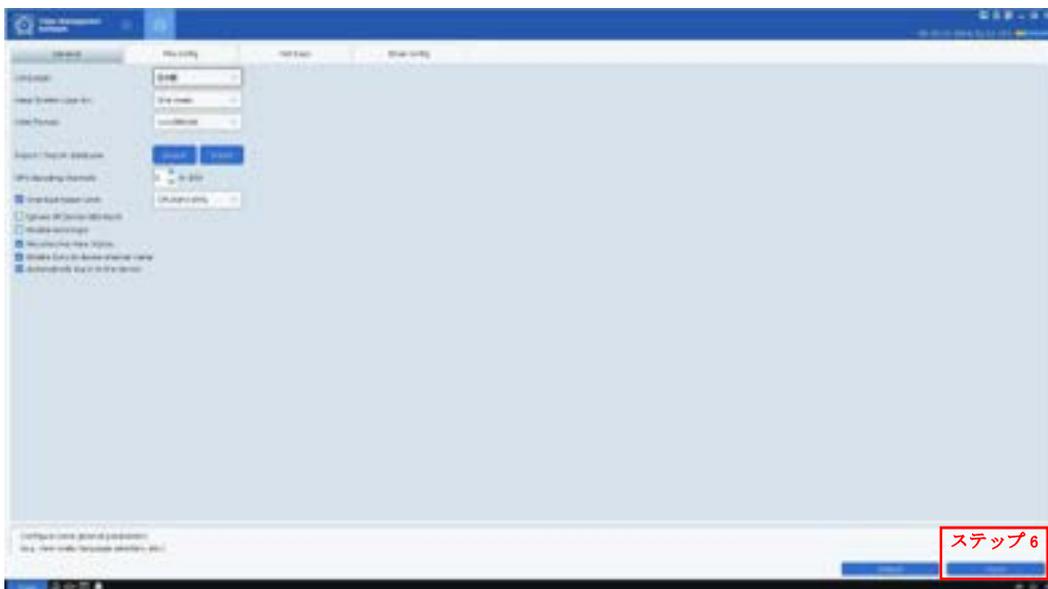
ステップ4: “System Config”画面で、Generalを選択します。



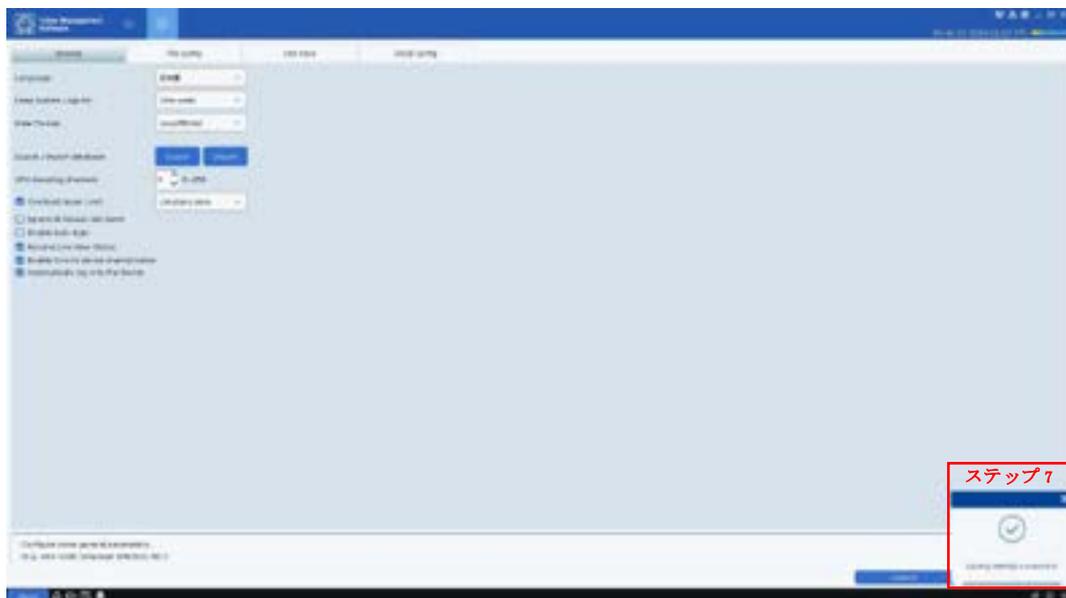
ステップ 5: “General” 画面の **Language:** の項目でプルダウンをクリックして“日本語”を選択します（注意：当ソフトウェアを再び起動させるまで変更は適用されません）。“日本語”を選択しましたら、次の“ステップ 6”へお進み下さい。



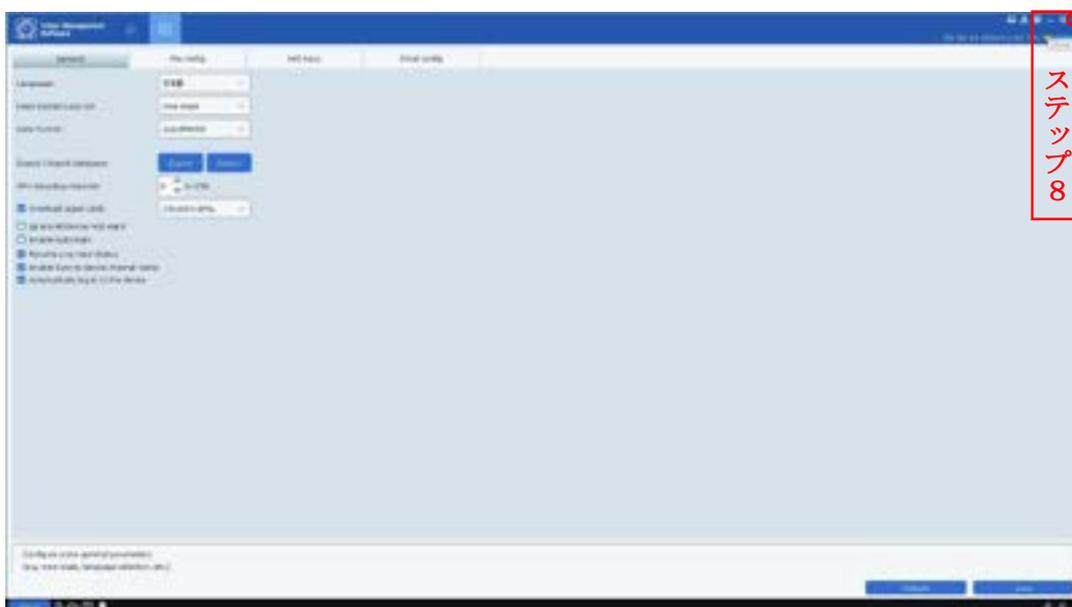
ステップ 6: 当ソフトウェア画面右下の“Save” ボタンをクリックします。



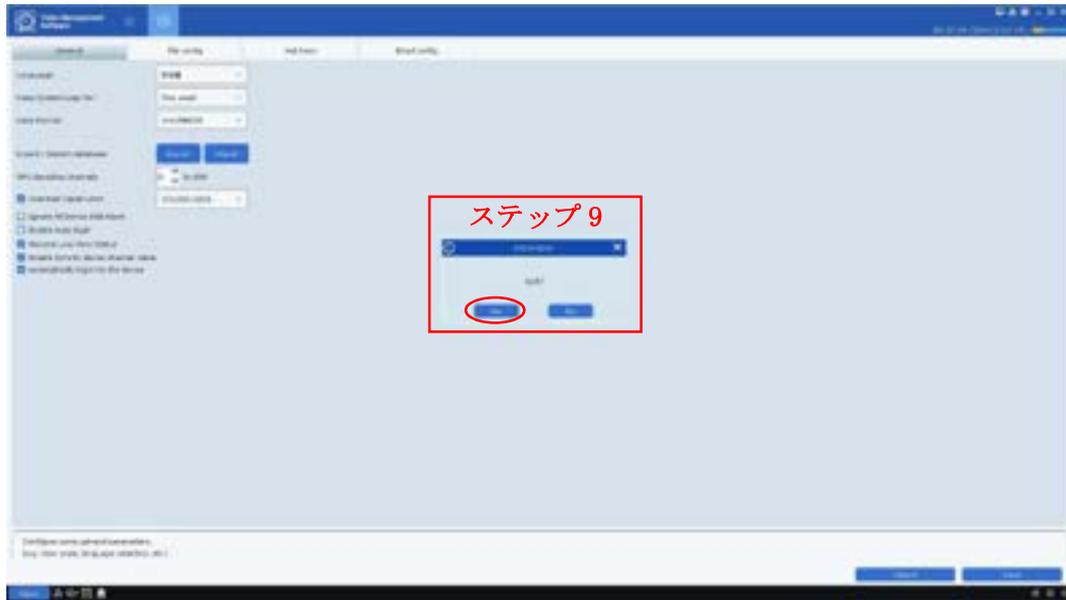
ステップ7: “Save” ボタンをクリックした後、当ソフトウェア画面右下へ“Saving setting successful!” がポップアップ表示されることを御確認下さい。この“Saving setting successful!” のポップアップ表示は設定が完了したことを示します。



ステップ8: 当ソフトウェアを再び起動させるまで変更は適用されませんので、当ソフトウェアを終了させます。当ソフトウェア画面右上の (Close)をクリックします。



ステップ 9: “Quit?” のポップ画面が出現致します。“Yes” をクリックして当ソフトウェアを終了します。



ステップ 10: 当ソフトウェアが終了処理中はこの画面が表示されます。



ステップ 11: ステップ 10 の画面表示が消えましたら、当ソフトウェアは終了処理を

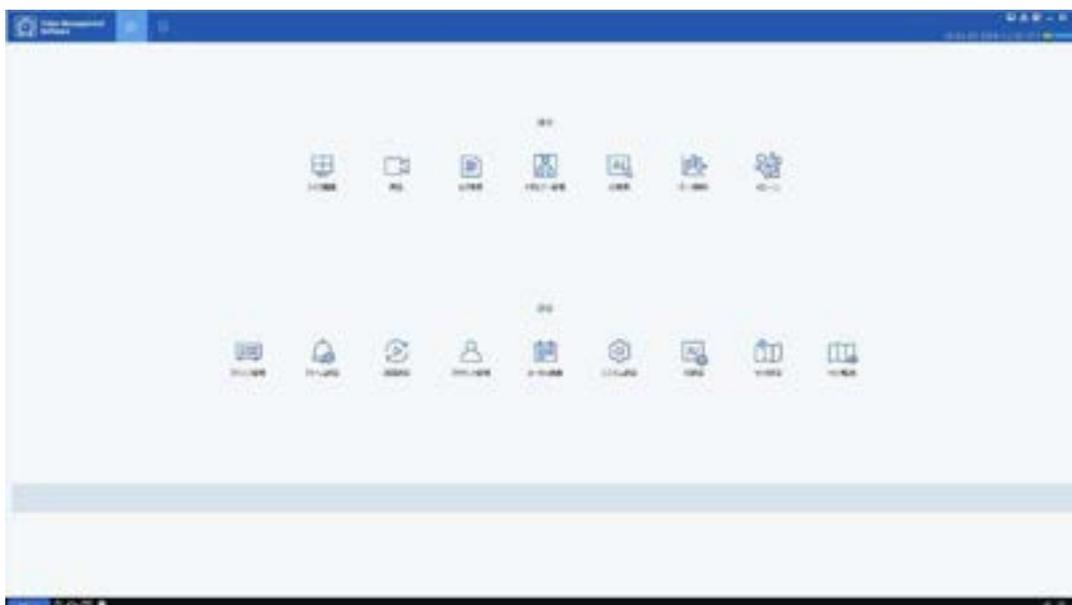
完了したことになります。デスクトップの  アイコンをダブルクリックして当ソフトウェアを再び起動させます。当ソフトウェアが日本語へ変更されていることを御確認下さい。



2.6 メニュー一覧

2.6.1 アカウトログイン

アカウトログインのホーム画面がメニュー一覧となっています。



アカウントログイン			
項目	内容	項目	内容
 ライブ画面	登録済みデバイスの ライブ映像	 再生	録画の検索 再生 バックアップ (リモート/ローカル)
 ログ検索	ログ検索 (リモート/ローカル)	 トポロジー管理	トポロジー管理

 <p>AI検索</p>	<p>顔検索, 人・車両検索, リピーター検索, ナンバー検索</p>	 <p>データ解析</p>	<p>顔検知, 人・車両検知, 人・車カウント統計, ヒートマップ統計, 出勤管理</p>
 <p>AIシーン</p>	<p>人&車カウント統計, 人&車両検知, 出退勤</p>	 <p>デバイス管理</p>	<p>デバイスの追加/削除, デバイスファームウェア更新, グルーピング設定</p>
 <p>アラーム設定</p>	<p>アラーム ON/OFF, アラーム連携設定, アラームスケジュール 設定</p>	 <p>巡回設定</p>	<p>クルーズ動作の シーケンス設定</p>
 <p>アカウント管理</p>	<p>“VMS Pro” ソフトウェアのアカウント追加/削除/パスワード変更</p>	 <p>ローカル録画</p>	<p>ローカル録画の開始/停止, ローカル録画のストレージ設定, ローカル録画スケジュール設定</p>
 <p>システム設定</p>	<p>“VMS Pro” ソフトウェアの言語設定, 画像/映像の保存先設定, バックアップファイルのフォーマット設定, ホットキー設定など</p>	 <p>AI設定</p>	<p>[AI モデル] バージョン選択 [顔/ナンバー] グループ (データベース) のバックアップ/インポート, グループ (データベース) のデータの追加/削除/編集</p>
 <p>マップ設定</p>	<p>マップ画像設定, ホットエリア/ホットスポット設定</p>	 <p>マップ監視</p>	<p>マップを用いた ライブ/アラート監視</p>

2.6.2 メニュー一覧：デバイスのログイン

デバイスのログインでは赤枠内のアイコンにメニューが並んでいます。



デバイスのログイン			
項目	内容	項目	内容
 ライブ画面	ログインした デバイスのライブ映像	 再生	録画の検索 再生 バックアップ (リモート)
 リモート設定	ログインした デバイスのリモート設定	 システム設定	“VMS Pro” ソフトウェアの言語設定、画像/映像の保存先設定、バックアップファイルのフォーマット設定、ホットキー設定など

2.7 当ソフトウェアを終了させる

当ソフトウェアを終了させるには一般的な Windows アプリケーションの終了操作と同様に画面右上の“閉じる”アイコン  をクリックします。

ステップ 1: 当ソフトウェアを終了させるには一般的な Windows アプリケーションの終了操作と同様に画面右上の“閉じる”アイコン  をクリックします。



図 2-7-1a アカウントログインの場合

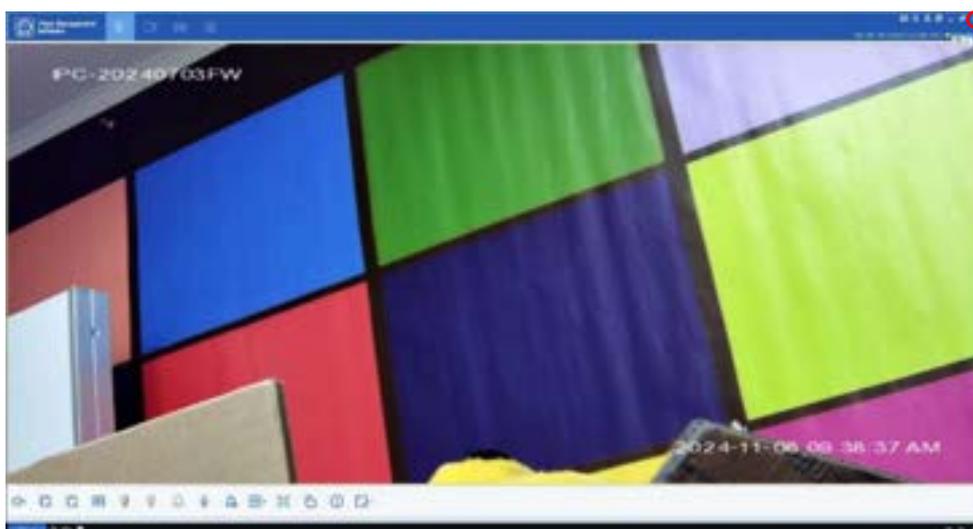


図 2-7-1b デバイスのログイン画面の場合

ステップ2: “終了しますか?”の画面が表示されますので、[はい]をクリックします。



図 2-7-2 “終了しますか?”画面

ステップ3: “終了しますか?”の画面で、[はい]ボタンをクリック致しますと、当ソフトウェアは当ソフトウェアの終了処理を実行致します。図 2-7-3 に当ソフトウェア終了処理実行中の画面を示します。この図 2-7-3 に示す画面の表示が消えると当ソフトウェア終了処理は完了されたことを示します。

なお、この操作では当ソフトウェアの終了は行われますが、Windows の終了やリモートデバイスの終了は行われません。そのため、Windows やリモートデバイスを終了させる場合は所定の手続きにより別途 Windows やリモートデバイスを終了させてください。

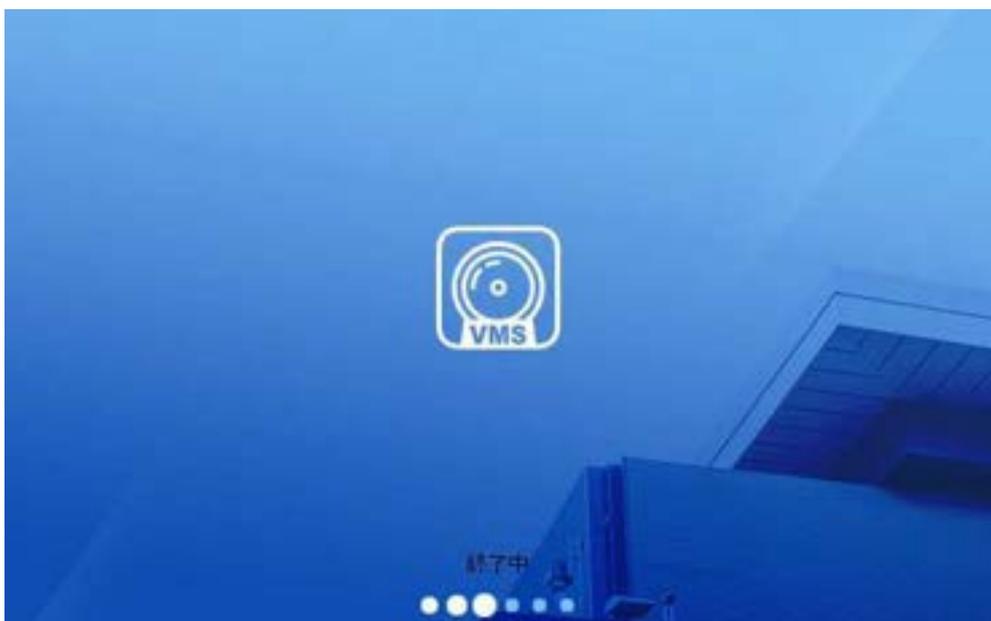


図 2-7-3 当ソフトウェア終了処理実行中の画面

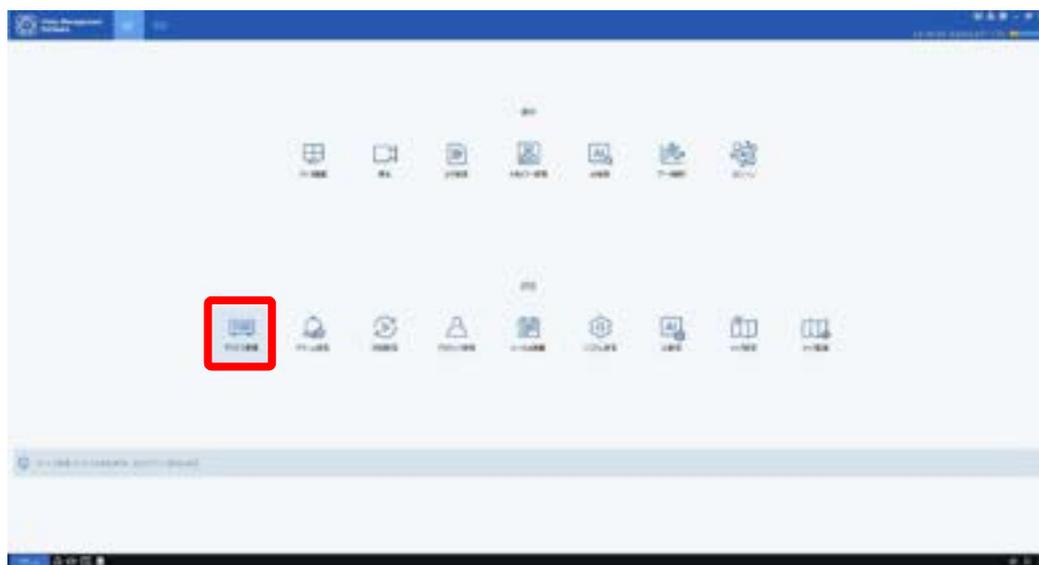
第3章 デバイス管理

当ソフトウェアは、デバイスの自動検索、デバイスの単一/一括によるインポート（IPC、NVR など）をサポートします。デバイスの追加が完了したら、当ソフトウェアで追加されたデバイスのリモート構成/操作をサポートします。

デバイスリストを作成/編集/デバイスを追加した際は、万が一の場合に備えて「[3.1.1 デバイスリストのバックアップ](#)」を参考にデバイスリストのバックアップを行っていただくことを推奨いたします。

“デバイス管理” はアカウントログインして行います。

この章では画面別に説明していきます。



3.1 すべてのデバイス（登録済みデバイス一覧）

すべてのデバイス画面には登録済みデバイスの一覧が表示され、手動でのデバイス登録/登録済みデバイスの編集/デバイスのリモート設定/登録済みデバイスの削除/登録済みデバイスのエクスポートとインポート/デバイスのFWアップデートが可能です。

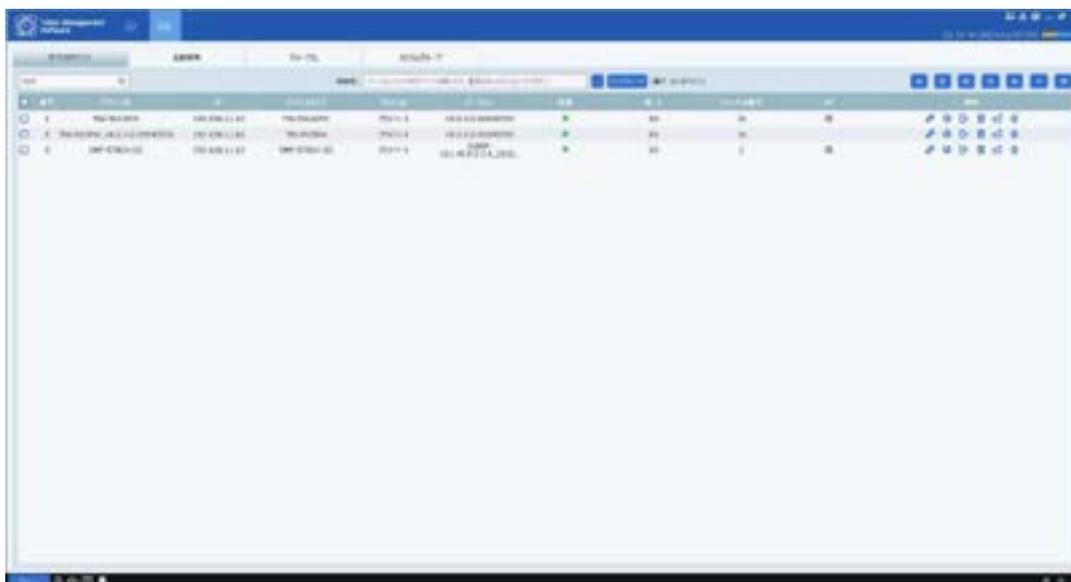
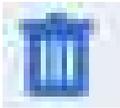
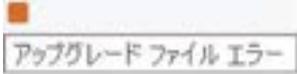
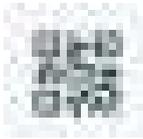
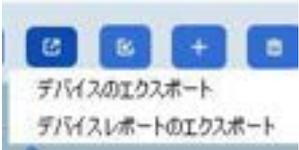


表 3-1-1 デバイスの一覧(アイコン説明)

アイコン	内容
 変更	<p>【デバイス修正】アイコンをクリックすると、[デバイス修正] インターフェイスが表示され、デバイス名、ログインタイプ、IP/ドメイン名、プロトコル、ポート、ユーザー名、パスワードなどのデバイス情報の変更が可能です。</p>
 リモート設定	<p>【リモート設定】アイコンをクリックすると、デバイスのリモート構成インターフェイスに移動し、デバイスのカメラチャンネル、録画、ネットワーク構成、アラートイベント、ストレージ、システム情報の構成が可能です。</p>
 削除	<p>【デバイス削除】アイコンをクリックしてデバイスを削除します。</p>
 パラメーターの エクスポート	<p>【パラメーターのエクスポート】そのリモートデバイスの設定情報をバックアップすることができます。設定情報をバックアップするには、そのリモートデバイスの admin パスワードが必要です。</p> 
 状態	<p>【接続状態表示】デバイスの接続/切断状態を示します。赤(■)の場合は、初期パスワードを設定する必要があります。緑(■)の場合はサインインに成功、灰(■)の場合はオフライン/未ログインを示します。</p> <p>オレンジ色(■)はFW 更新エラーを示します。</p> 

 <p>ID</p>	<p>P2P ID でデバイス接続されている場合に利用可能です。</p> <p>ID 列の QR コードアイコン  をクリックしますと、そのデバイスの “P2P ID” と “P2P の QR コード” を表示します。</p>  <p>(表示サンプル)</p>
 <p>デバイス エクスポート</p>	<p>【デバイスエクスポート】 デバイスエクスポートには、“デバイスのエクスポート” と “デバイスレポートのエクスポート” がございます。</p>  <p>詳細については、「(3) デバイスの追加をインポートする」を参照してください。</p>
 <p>デバイス インポート</p>	<p>【デバイスインポート】 “デバイスのエクスポート” で保存していた “.json” ファイルで以前のデバイスリストをリストアできます。“デバイスのエクスポート” で保存する際に設定したパスワードが必要です。</p>
 <p>手動ログアウト</p>	<p>【手動ログアウト】 選択したデバイスを手動ログアウトします。手動ログアウトすると、接続状態表示は灰()になります。</p> <p>もしも、 アイコンを使用する場合はログアウトしたいデバイスへチェックを入れて  アイコンをクリックしてください。</p>
 <p>手動ログイン</p>	<p>【手動ログイン】 アイコンをクリックすると、手動ログインします。ログインしたら接続状態表示は緑()になります。</p>

	<p>もしも、 アイコンを使用する場合はログインしたいデバイスへチェックを入れて  アイコンをクリックしてください。</p>
--	--

※ デバイスの追加が完了すると自動的にデバイスへのサインインを試みます。

3.1.1 デバイスの追加

当ソフトウェアは、さまざまな方法でデバイスを追加できます。追加するデバイスの数、ネットワークセグメントなどに応じて、適切な方法を選択してください。

3.1.1.1 「自動検索」を使用したデバイスの追加方法

デバイスが同じネットワークセグメントにありデバイスを一括で追加する場合、またはデバイスの IP アドレスがわからない場合は、「デバイス管理」の「自動検索」機能を使用することをお勧めします。

ステップ 1:  「ホーム」をクリックしますと、メインメニューに移動します。

 ここで、デバイス管理 「デバイス管理」をクリックしますと、デバイス管理画面が表示されます (図 3-1-1)。

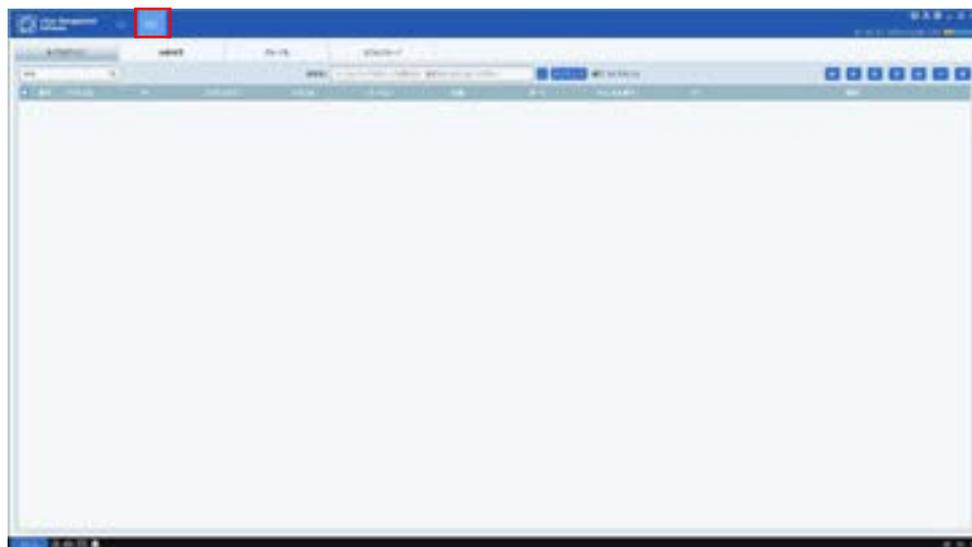


図 3-1-1 デバイス管理画面 表示例

ステップ 2: 図 3-1-2 に示しますように、デバイス管理画面の「自動検索」をクリックして、自動検索画面に移動します。

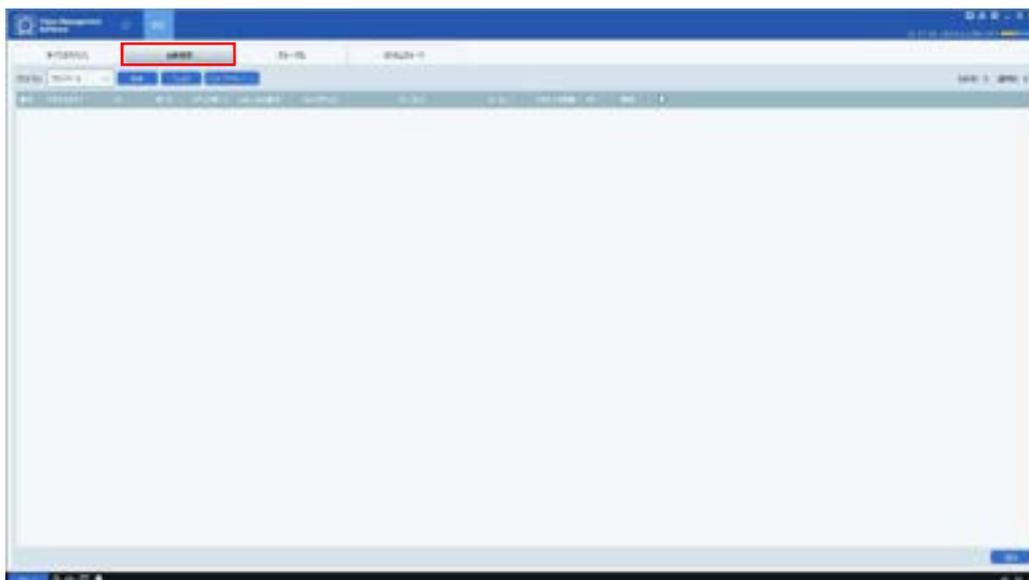


図 3-1-2 デバイス管理 自動検索画面

ステップ 3: 検索したいデバイスのプロトコルを選択します。通常は、「プライベート」を選択します。図 3-1-3 をご参考にプロトコルのプルダウンをクリックしてお選びください。

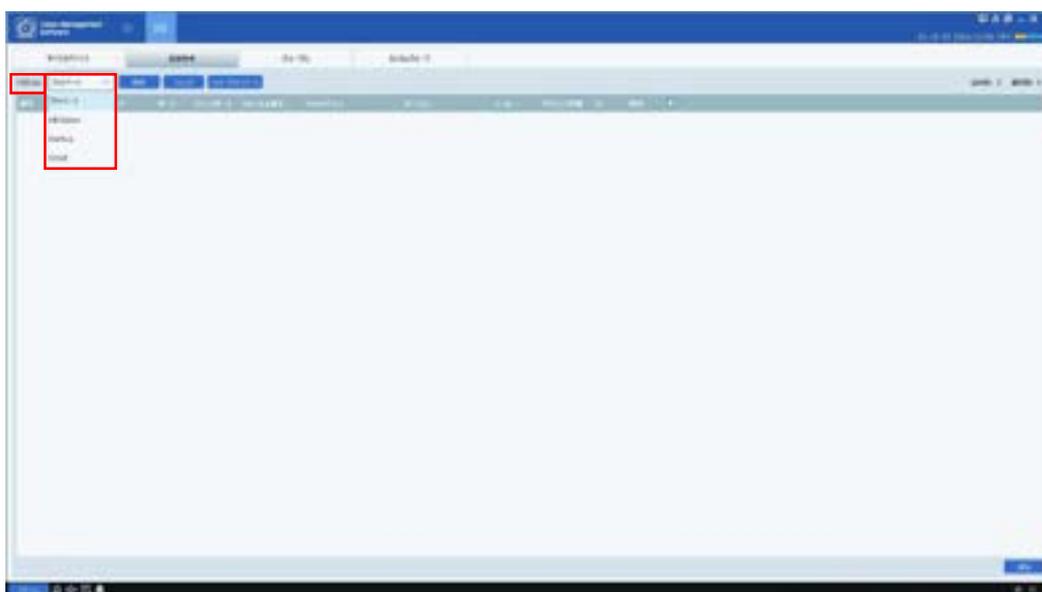


図 3-1-3 デバイス管理 自動検索画面 プロトコルの選択

ステップ 4: 通常この[フィルタ]指定は不要ですので“ステップ 5”へお進みください。この[フィルタ]ボタンは、クリックすると検索対象の IP 範囲を指定できます。クラス A, クラス B の場合などで IP 範囲を限定して検索することで検索時間を短縮する場合に用いられます。セグメント検索の[検索]ボタンをクリックすると、指定したネットワークセグメントでネットワーク上のデバイス検索を開始します。もしも、こ

の“ステップ4”で[検索]ボタンをクリックされた場合は“ステップ6”へお進みください。

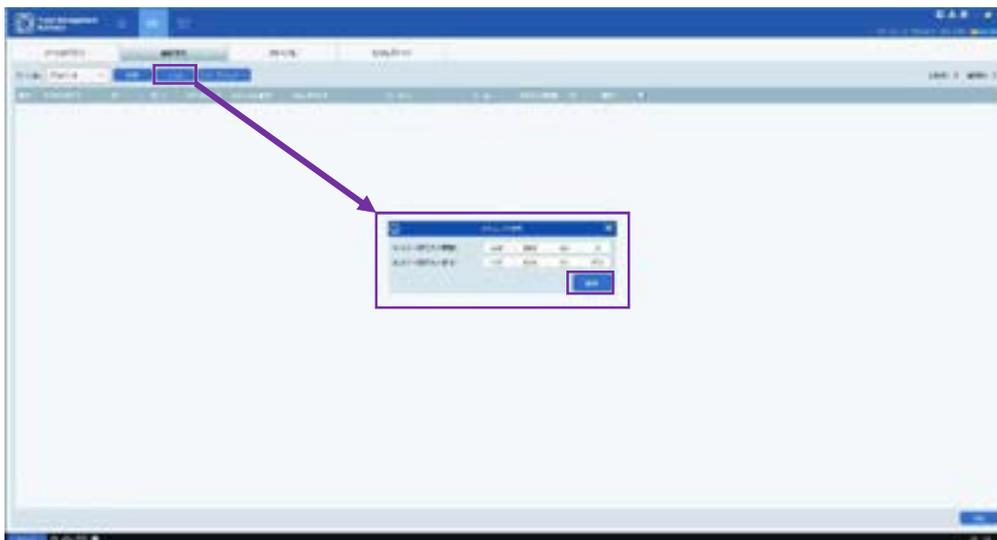


図 3-1-4 デバイス管理 自動検索画面 フィルタオプション

ステップ5: [検索]ボタンをクリックすると、ネットワーク上のデバイス検索を開始します。本ソフトウェアはPCが接続しているネットワークを検索します。

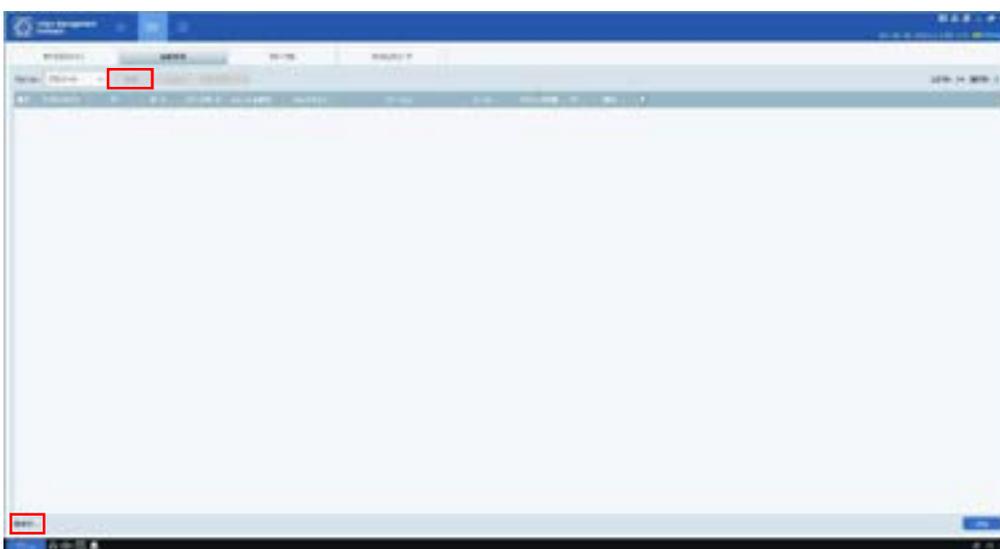


図 3-1-5 デバイス管理 自動検索画面 検索中. . .

ステップ6: 検索が完了すると、画面左下に“検索完了!”が表示され、検索されたデバイスがリスト表示されます。

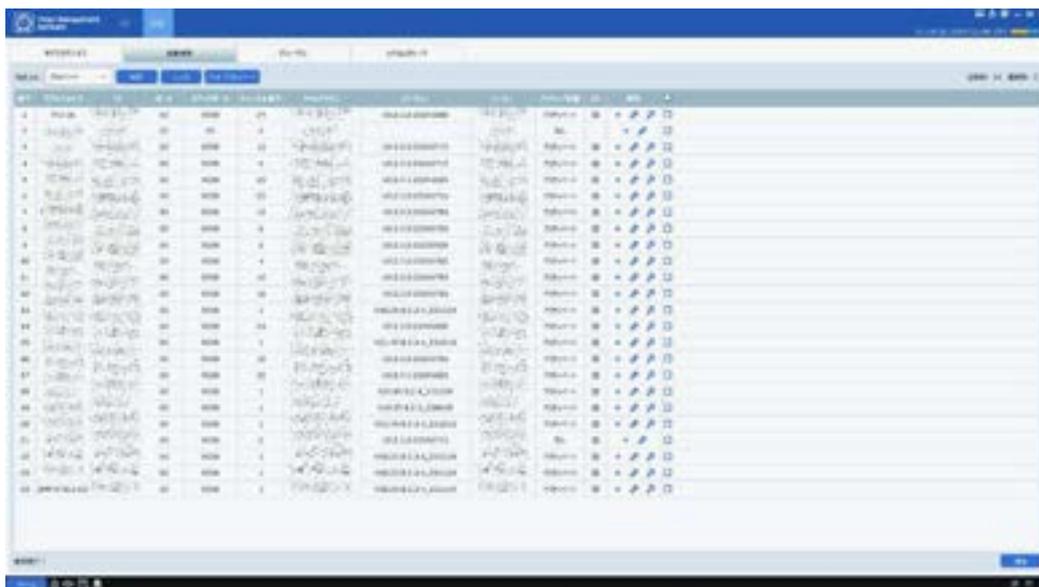


図 3-1-6 デバイス管理 自動検索画面 検索完了!

ステップ 7: 追加するデバイスの行の操作列「+」アイコンをクリックして1台ずつ追加する、或いは、複数のデバイスへチェックして右下隅にある[追加]ボタンをクリックして一度に複数のデバイスを追加できます。図 3-1-7 に示しますように“デバイス追加”プロンプトボックスがポップアップ表示されますので、デバイスの「ユーザー」と「パスワード」を入力し、[追加]ボタンをクリックして追加を完了します。



図 3-1-7 デバイス管理 デバイス追加 ポップアップ画面

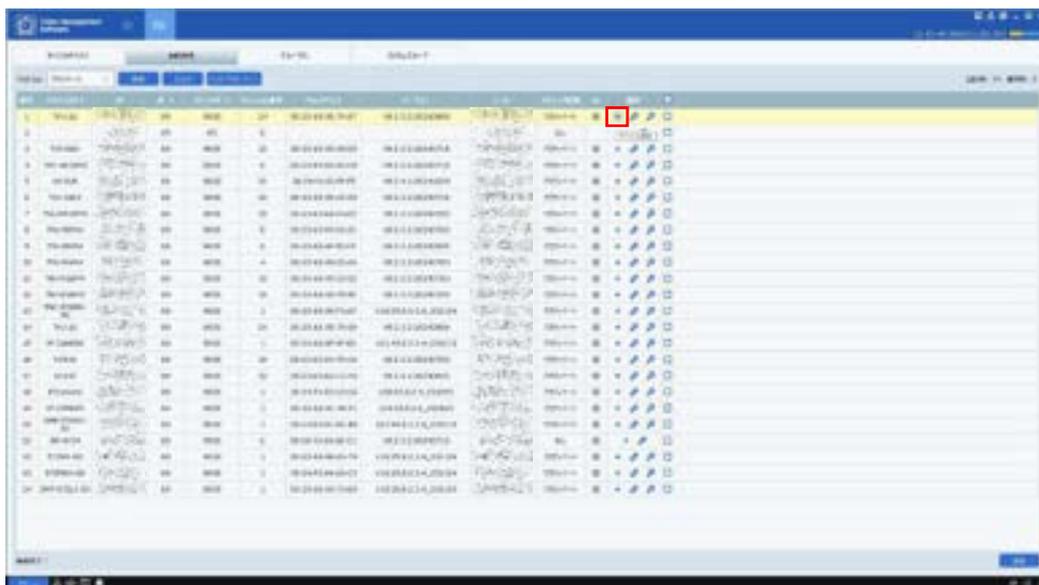


図 3-1-7a デバイス管理 自動検索画面：1 台ずつ追加

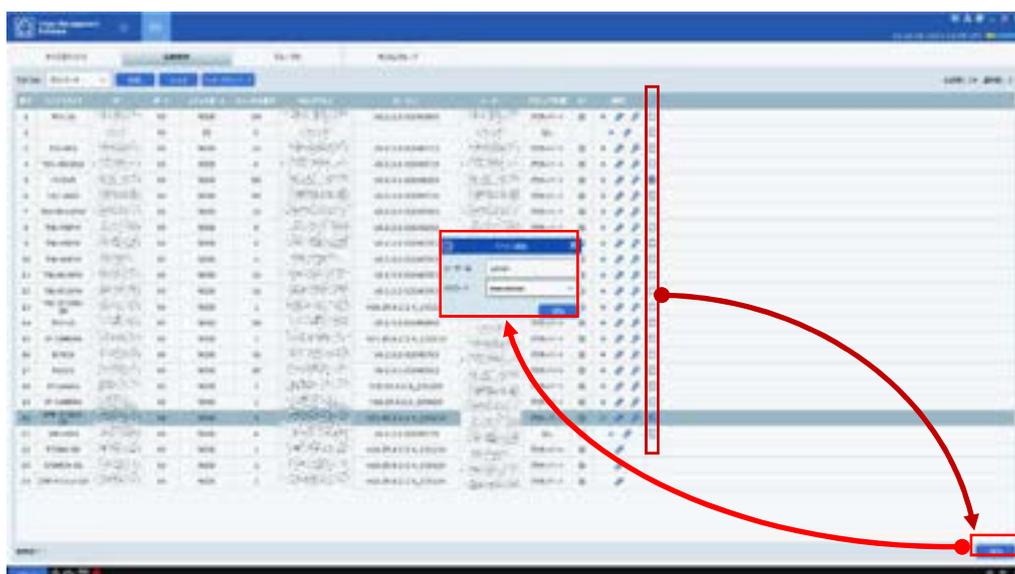


図 3-1-7b デバイス管理 自動検索画面：複数台をまとめて追加

ステップ 8: 追加されたデバイスの一覧が表示されます (図 3-1-8)。 [「表 3-1-1 デバイスの一覧\(アイコン説明\)」](#) をご参照下さい。



【ご注意ください】 デバイス追加のデフォルトのポート番号は 80 番 (web ポート) です。

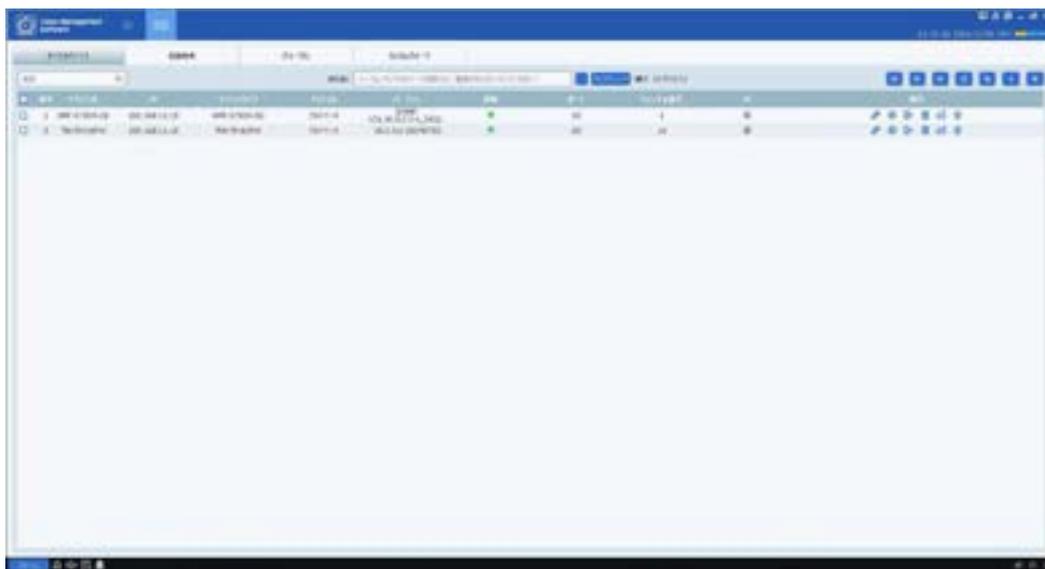


図 3-1-8 すべてのデバイス 画面表示例

3.1.1.2 デバイスの手動追加

デバイスの IP アドレスまたはドメイン名が明確な場合は、手動でデバイスを追加することをお勧めします。

ステップ 1:  (デバイス追加) をクリックしますと、図 3-1-9 に示しますように「デバイス追加」画面が表示されます。[「表 3-1-2 デバイス追加 \(手動追加\) パラメータ」](#)をご参考ください。



図 3-1-1-2-1 デバイス追加 (手動追加)

表 3-1-1-2-1 デバイス追加（手動追加）パラメータ

項目	内容
デバイス名	デバイス名を設定します。
ログインタイプ	デバイスの追加方法を選択します。 ・ IP : デバイスの IP アドレスまたはドメイン名でデバイスを追加します。 ・ ID: デバイスのシリアル番号でデバイスを追加します。
IP/ID	[追加方法] へ [IP/ドメイン名] をご選択の場合は、こちらの入力欄へデバイスの IP アドレスまたはドメイン名を設定します。 [追加方法] へ [ID] をご選択の場合は、このパラメータへデバイスのシリアル番号 (P2P ID) を設定します。
プロトコル	使用するプロトコルを選択します。
ポート/Http ポート	ポート番号を設定します。
ユーザー名	デバイスにログオンするユーザー名を設定します。
パスワード	デバイスにログインするためのパスワードを設定します。

ステップ 2: 「追加」をクリックして、デバイスの追加を行います。 [キャンセル] をクリックしますとデバイスの追加をキャンセル致します。また、当ソフトウェアはデバイスの追加が完了すると、自動的にデバイスへのサインインを試みます。サインインが成功すると、接続状態表示は "■" となります。デバイスがオフラインの場合は "■" となります。

★ P2P ID での登録方法 ★

① 当ソフトウェア「VMS Pro」へ“アカウントログイン”します。



図 3-1-10 「VMS Pro」へ“アカウントログイン”

② “デバイス管理”画面を開きます。

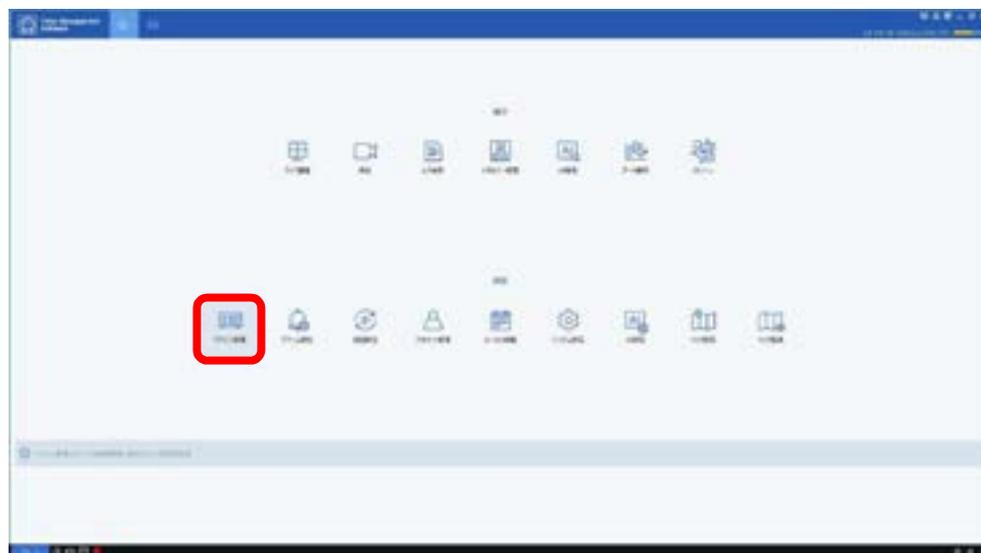


図 3-1-11 “デバイス管理”画面へ

- ③ “すべてのデバイス” タブで “デバイス追加” 画面を開きます。

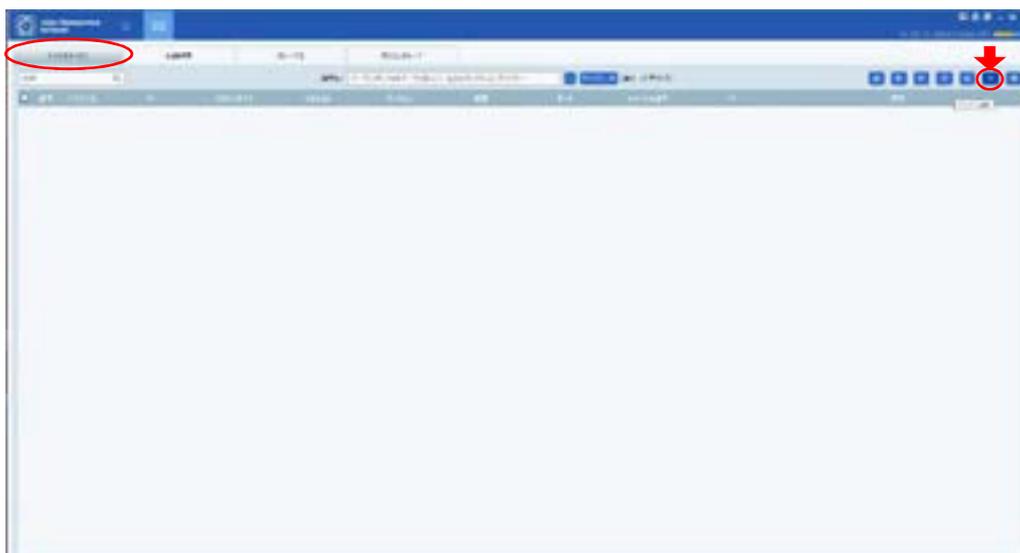


図 3-1-12 “すべてのデバイス” 画面へ

- ④ “ログインタイプ” は「ID」を御選択ください。

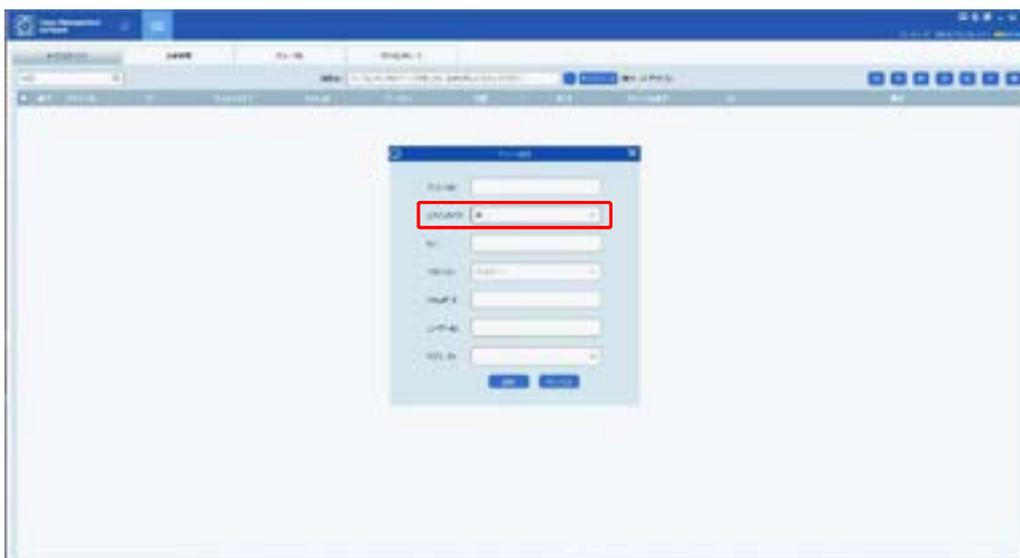


図 3-1-13 “ログインタイプ” に「ID」を選択



デバイス追加

デバイス名: TIV-RH16PW

ログインタイプ: ID

ID: [Masked]

プロトコル: プライベート

Httpポート: 80

ユーザー名: admin

パスワード: [Masked]

追加 キャンセル

図 3-1-14 “デバイス追加”画面 入力例

- ⑤ [「3.1 デバイスの追加」](#)の[「表 3-1-2 デバイス追加 \(手動追加\) パラメータ」](#)を御

参考に、デバイス追加パラメータを入力して  ボタンをクリックしま
す。

- ⑥ 追加されたデバイスの一覧へ登録され、接続に問題の無いことを御確認下さい。ID 列の2次元バーコードアイコン  をクリックしますと、そのリモートデバイスの“P2P ID”と“P2P IDのQRコード”を確認することが可能です。

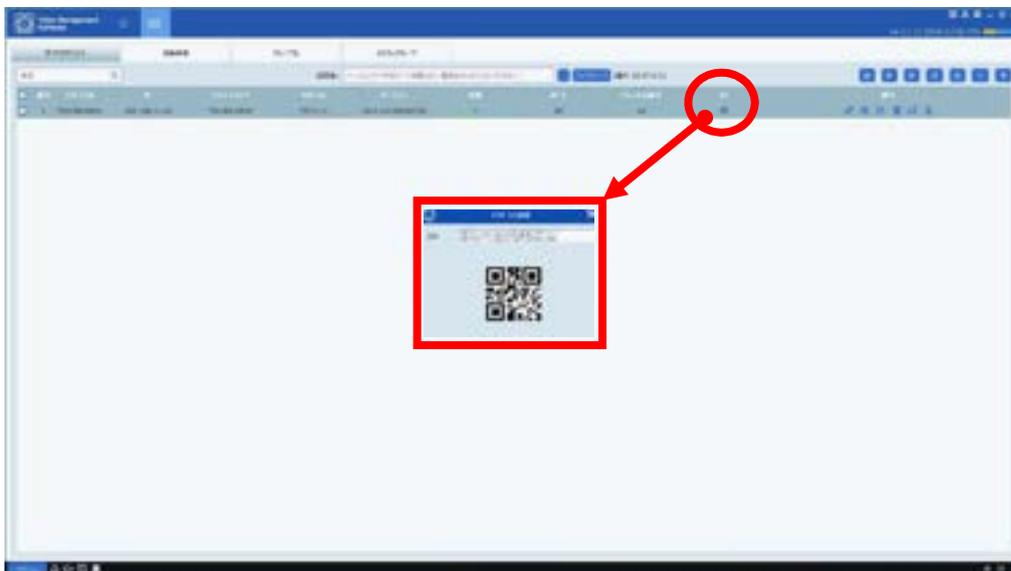


図 3-1-15 “P2P ID 情報” 画面 表示サンプル

3.1.2 デバイスのエクスポート



“デバイスのエクスポート”はデバイス管理画面のエクスポート機能（デバイス エクスポートボタン）で、登録したデバイスリストのバックアップが可能です。ファイルの拡張子は“.json”です。

登録したデバイスリストのエクスポートの際にはパスワードを設定する必要があります。

デバイスリストのバックアップファイル（.json）はパスワードで安全に暗号化されてバックアップされます。

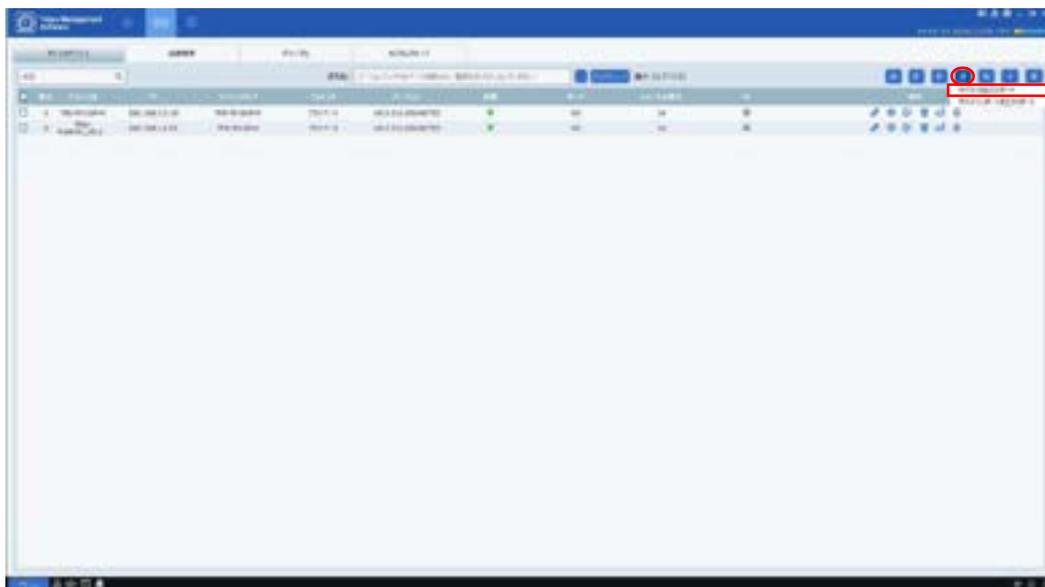


図 3-1-2-1 デバイスのエクスポート



ステップ 1: (デバイス エクスポート) ボタンをクリックします。

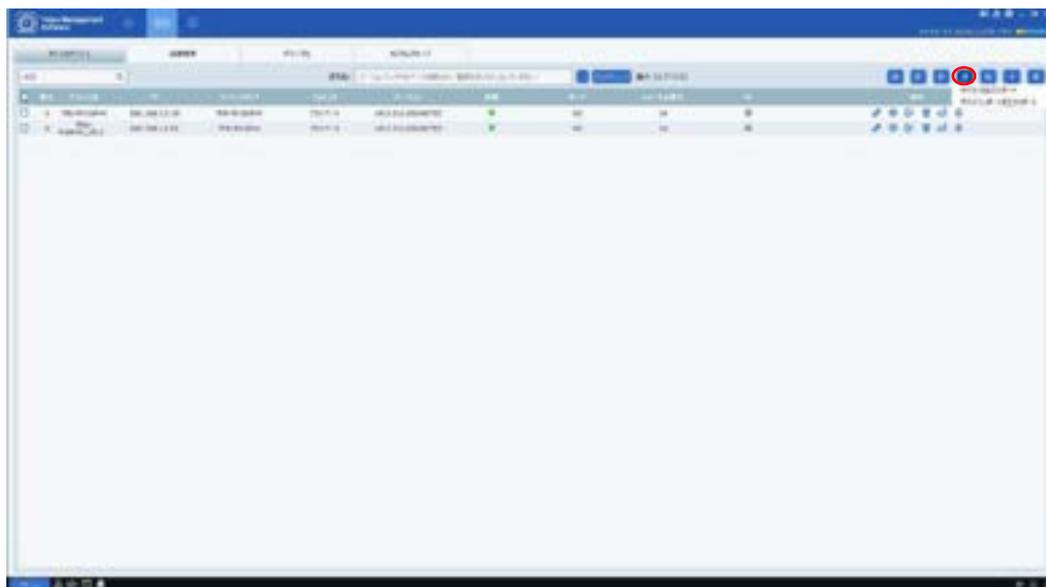


図 3-1-2-2 デバイスエクスポートボタンをクリックします

ステップ2: “さらに、デバイスのエクスポート” をクリックします。

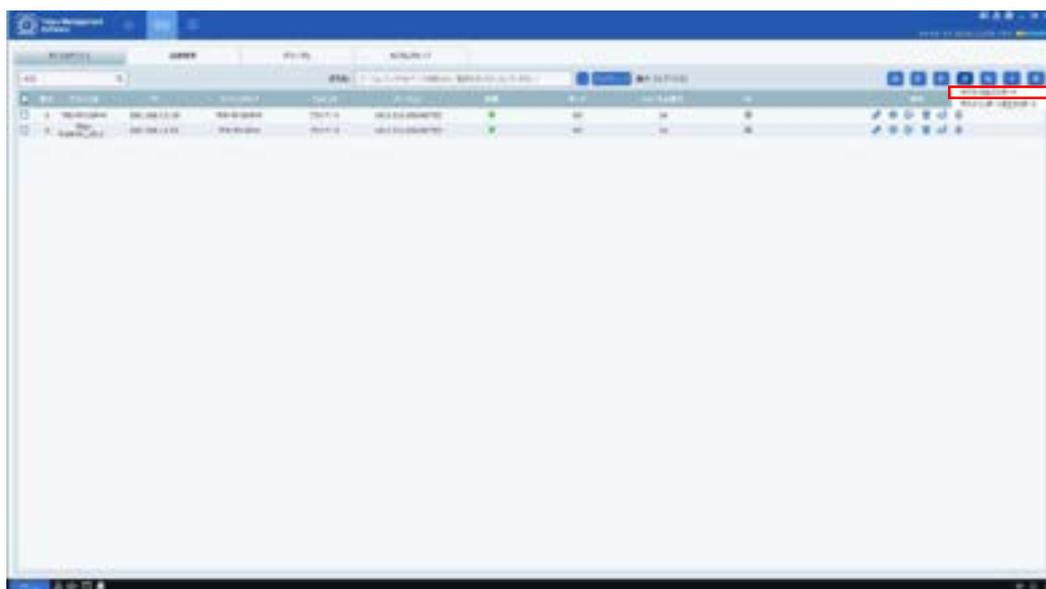


図 3-1-2-3 “デバイスのエクスポート” をクリックします

ステップ3: “名前を付けて保存” ダイアログが表示されます。“名前を付けて保存” ダイアログで保存先を選択し、ファイル名を入力して“保存” ボタンをクリックします。拡張子の“.json” は入力しなくても構いません。

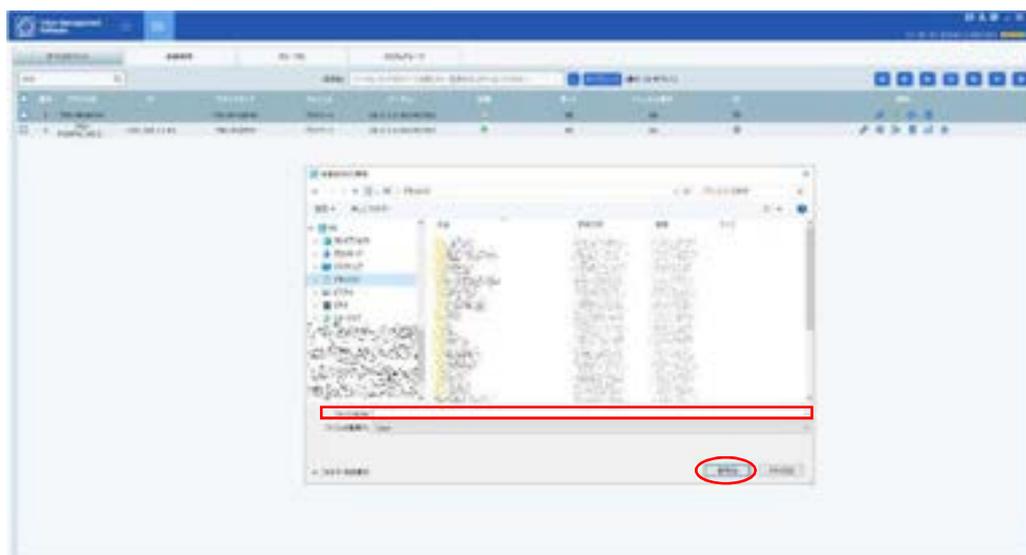


図 3-1-2-4a デバイスのエクスポート “名前を付けて保存” ダイアログ 表示例

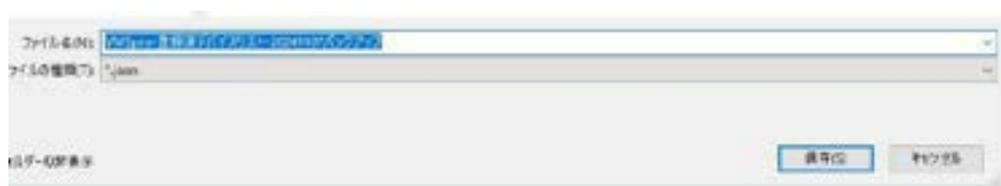


図 3-1-2-4b デバイスのエクスポート “名前を付けて保存” ダイアログ ファイル名の入力例

ステップ 4: “パスワード確認” 画面が表示されます。“パスワード確認” 画面で、デバイス情報ファイルにパスワードを設定します。半角数字のみで最小 5 文字から最大 8 文字までをパスワードに設定可能です。デバイス情報ファイルをインポートする場合に必要ですので、設定したパスワードは紛失しないように大切に安全に保管してください。このパスワードを紛失した場合、再発行やデバイス情報ファイルを復旧させることが技術的に不可能です。パスワードは大切に安全に保管してください。また、パスワードはデバイスのパスワードや当ソフトウェアログインのためのパスワードも存在します。どのパスワードが何のためのものか後で分からなくならないように、大切に保管してください。

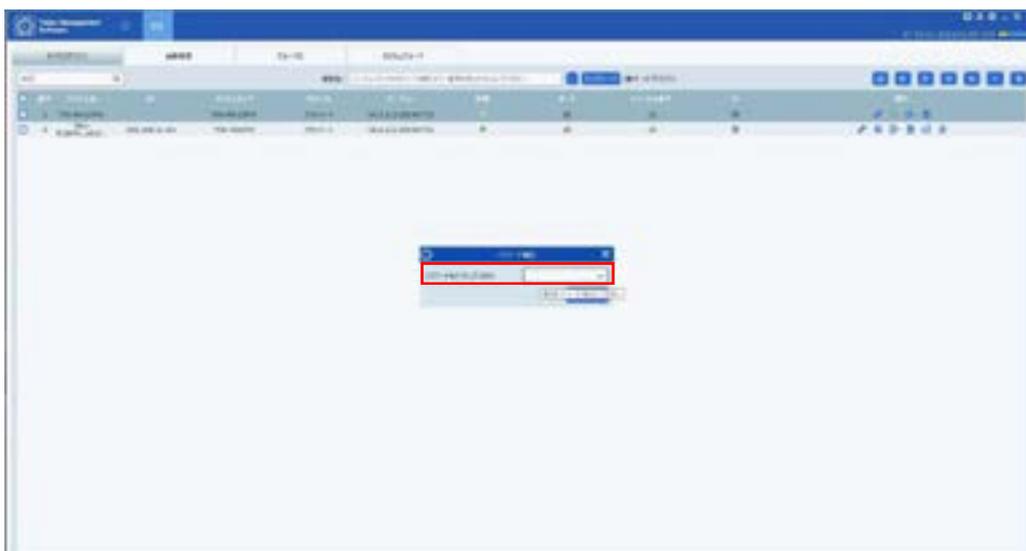


図 3-1-2-5 デバイスのエクスポート 保存時のパスワード設定画面 表示例

ステップ 5: デバイスリストのバックアップファイル (.json) に設定したいパスワードを入力したら、“パスワード確認”画面の **はい** ボタンをクリックしてデバイスリストのバックアップを実行に移します。

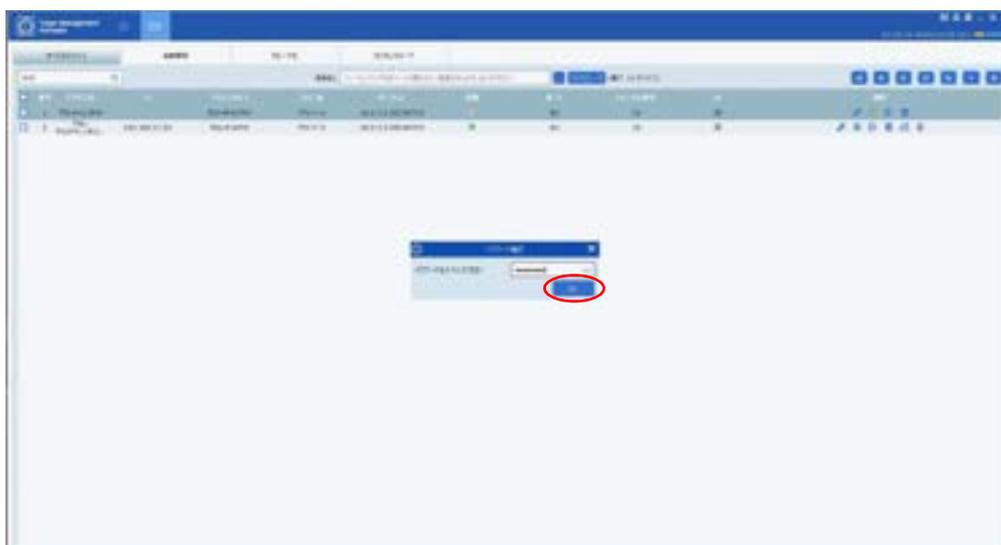


図 3-1-2-6 デバイスのエクスポート 保存時のパスワード設定画面

ステップ 6: バックアップ (エクスポート) が成功致しますと、ウィンドウ右下へ保存先フォルダのアドレス (パス) が記載されたポップアップが表示されます。このポップアップのフォルダアドレス (フォルダパス) をクリック致しますと、保存先フォルダを開くことが可能です。

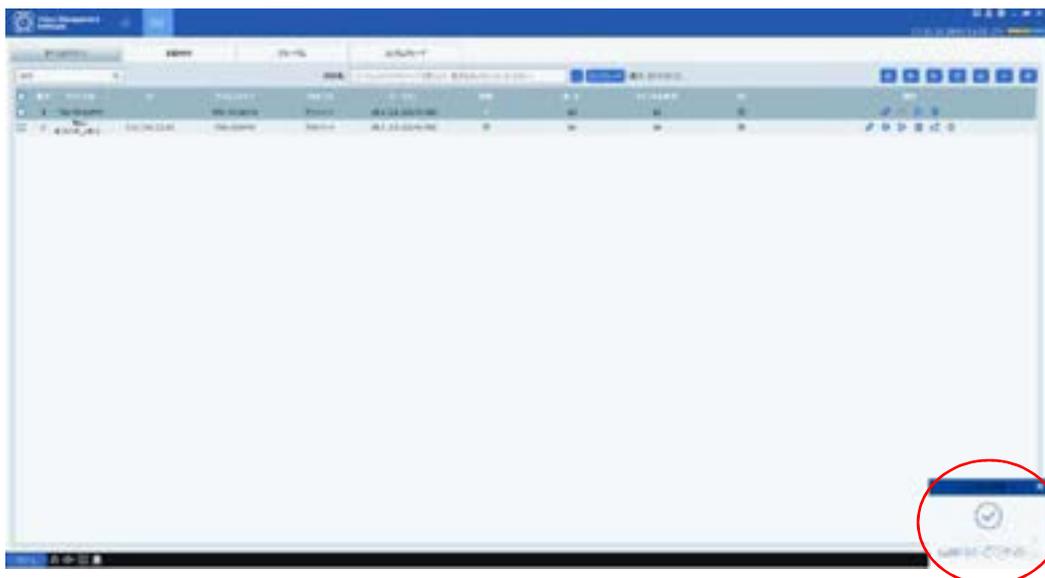


図 3-1-2-7 デバイスのエクスポート 実行完了時 表示例

ステップ7: デバイスのエクスポートが実行完了しましたら、保存先フォルダを開いて、ファイルの存在をご確認ください。図 3-1-20 は指定した保存先に指定したファイル名でファイルの存在が確認出来た場合の例を示します。

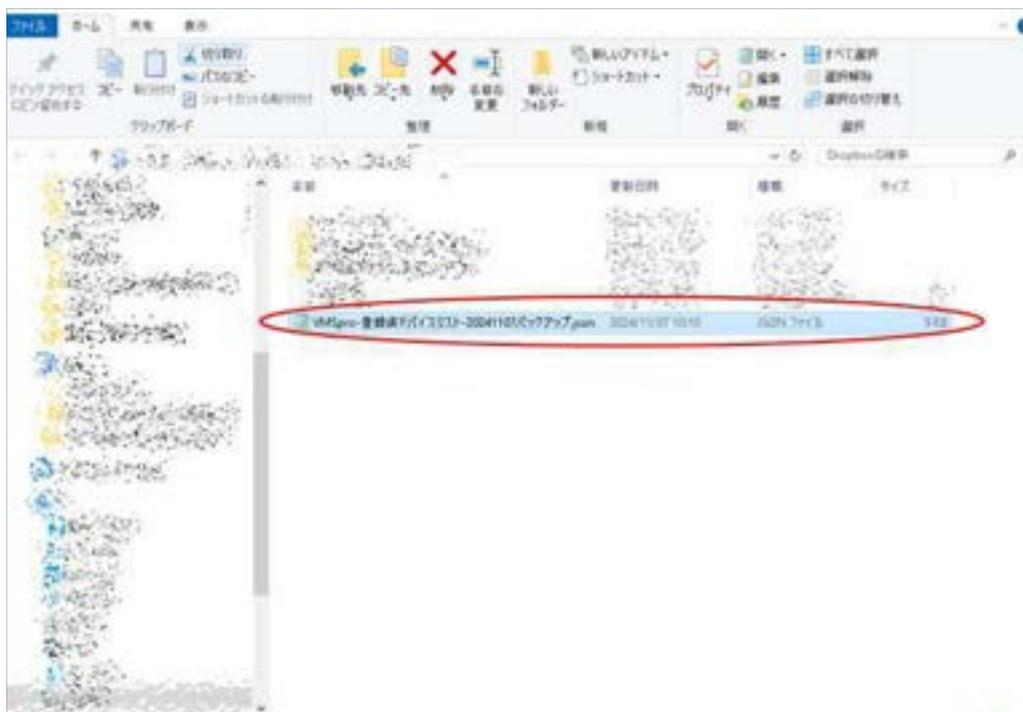


図 3-1-2-8 デバイスのエクスポートが実行完了しましたら、保存先フォルダを開いてファイルの存在をご確認ください

3.1.3 デバイスレポートのエクスポート

“すべてのデバイス”画面で現在ログインされているデバイスの、システム情報/HDD情報/チャンネル情報をCSV形式で書出すことが可能です。

図 3-1-3-1 は“デバイスレポートのエクスポート”でエクスポートされたCSVデータの例です。

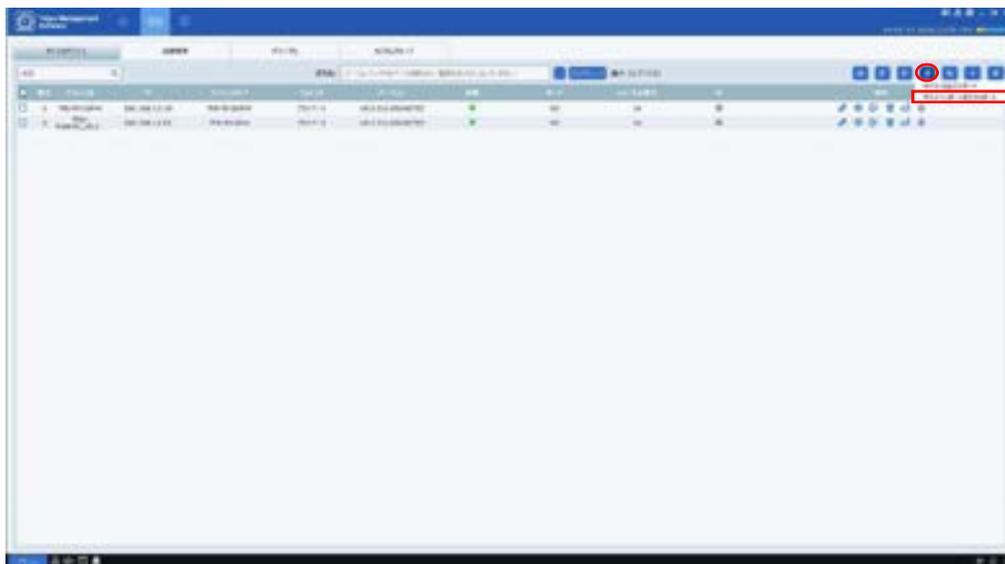


図 3-1-3-1 “デバイスレポートのエクスポート”

A screenshot of a CSV export showing device information and channel details for two devices. The data is organized into sections for general information, disk details, and channel information.

Information						
1	Information					
2	Device Name	TVV-8116PW				
3	Software Version	V8.2.3.2-02040703				
4	IE Client Version	V1.9.1.10				
5	IP Address	192.168.1.1				
6	POP ID	00000000000000000000000000000000				
7	MAC	00000000000000000000000000000000				
8	HDD Volume	00000000000000000000000000000000				
9						
10	Disk					
11	No.	Serial No.	Model	Free/Total	Free/Total Time	
12	1	00000000000000000000000000000000	WDC WD20PURZ-74NARYS	80/1024GB	00:00:00/00:00:00	
13						
14	Channel Information					
15	Channel	Alias	State	Mainstream	Substream	Multistream
16	CH14	CH14	Offline			
17	CH5	CH5	Online	4000x1000 10Fps 30Mbps	1200x800 10Fps 1024Kbps	640x480 10Fps 512Kbps
18	CH6	CH6	Offline			
19	CH7	CH7	Online	1200x1200 20Fps 1.50Mbps	640x480 10Fps 512Kbps	320x240 20Fps 256Kbps
20	CH8	CH8	Online	1200x1200 20Fps 4Mbps	1280x720 10Fps 1024Kbps	320x240 20Fps 512Kbps
21						
22	Information					
23	Device Name	TVV-8116PW_V8.2.3.2-02040703				
24	Software Version	V8.2.3.2-02040703				
25	IE Client Version	V1.9.1.10				
26	IP Address	192.168.1.1				
27	POP ID	00000000000000000000000000000000				
28	MAC	00000000000000000000000000000000				
29	HDD Volume	01145				
30	Disk					
31	No.	Serial No.	Model	Free/Total	Free/Total Time	
32	1	00000000000000000000000000000000	WDC WD20PURZ-8888870	80/1024GB	00:00:00/00:00:00	
33						

図 3-1-3-2 “デバイスレポートのエクスポート”でエクスポートされたCSVデータの例



ステップ1: (デバイス エクスポート) ボタンをクリックします。

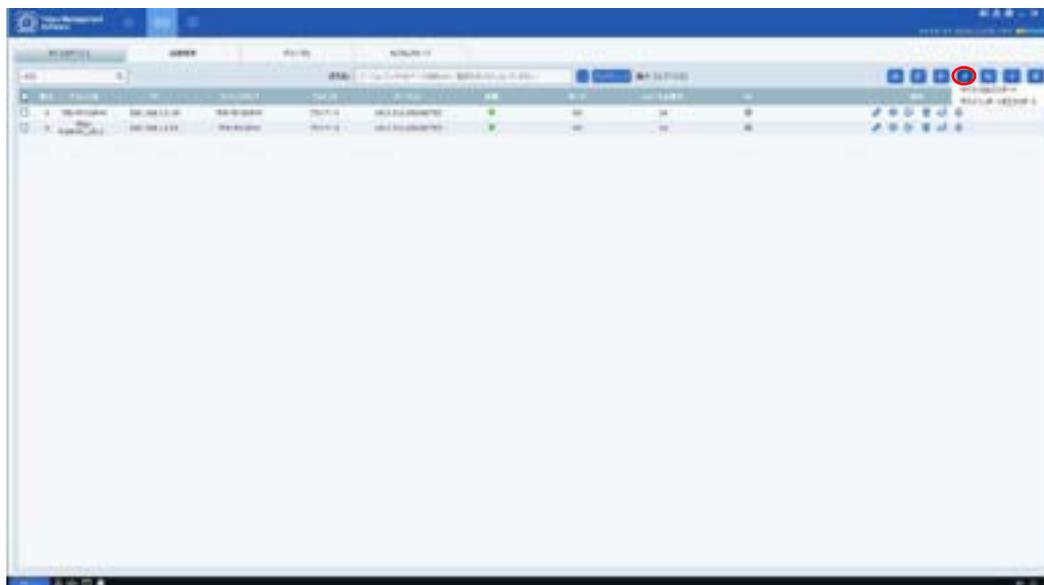


図 3-1-3-3 “デバイス エクスポート” ボタンをクリックします

ステップ2: さらに、“デバイスレポートのエクスポート” をクリックします。

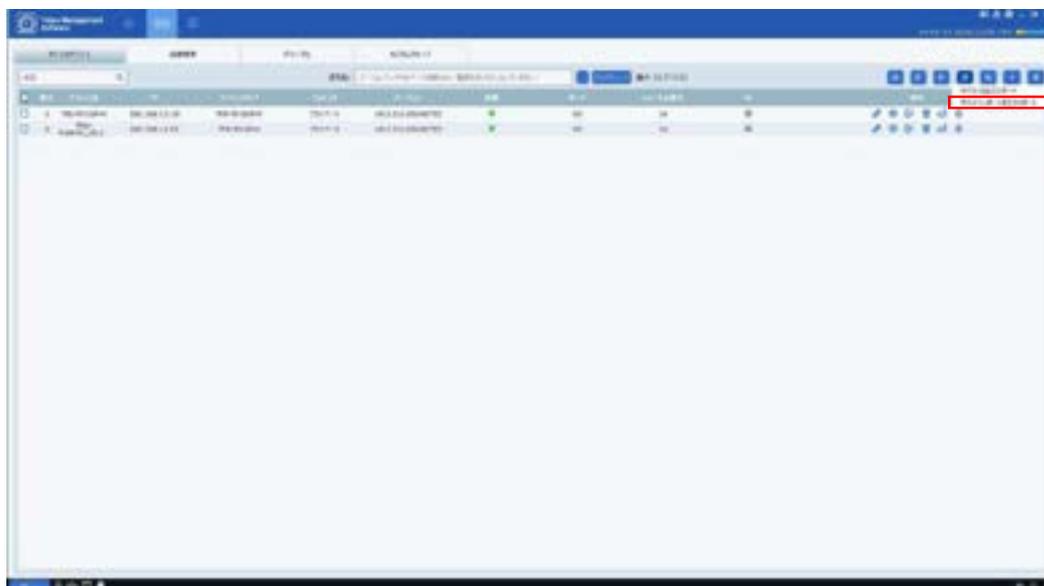


図 3-1-3-4 “デバイスレポートのエクスポート” をクリックします

ステップ 3: “Web ログインのみをサポートするデバイスです。続行しますか？”
 の確認ダイアログが表示されます。この確認ダイアログは、“デバイスレ
 ポートのエクスポート”を行いたい対象のデバイスが“ログイン状態”

状態

 ではない場合は、そのデバイスの“デバイスレポートのエクスポート”
 が実行されないことを示します。もしも、“デバイスレポートのエク
 スポート”を行いたいデバイスが“ログイン状態”
状態

 ではない場合
 は、[いいえ]ボタンをクリックしてこの操作を中断し、“デバイスレポー
 トのエクスポート”を行いたいデバイスを“ログイン状態”
状態

 にし
 ます。そして、再度“STEP1”から操作します。“デバイスレポートのエ
 クスポート”を行いたい全てのデバイスが“ログイン状態”
状態

 である
 場合は、[はい]ボタンをクリックして“STEP4 へ進み下さい。

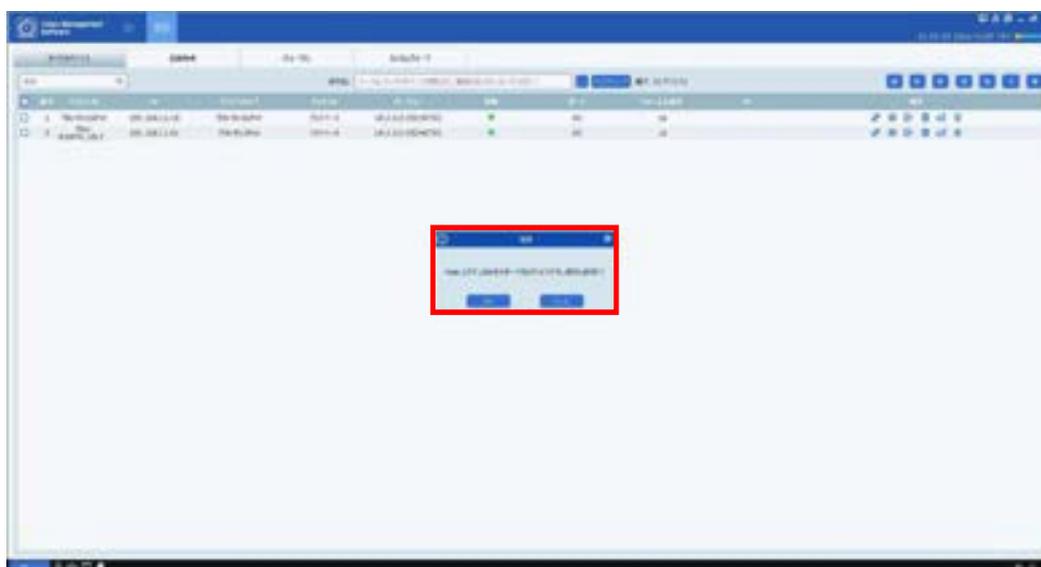


図 3-1-3-5 Web ログインのみをサポートするデバイスです。続行しますか？” ダイアログ

ステップ4: “STEP3” で[はい]ボタンをクリックされましたら“名前を付けて保存”ダイアログが表示されます。“名前を付けて保存”ダイアログで保存先を選択し、ファイル名を入力して“保存”ボタンをクリックします。拡張子の“.CSV”は入力しなくても構いません。

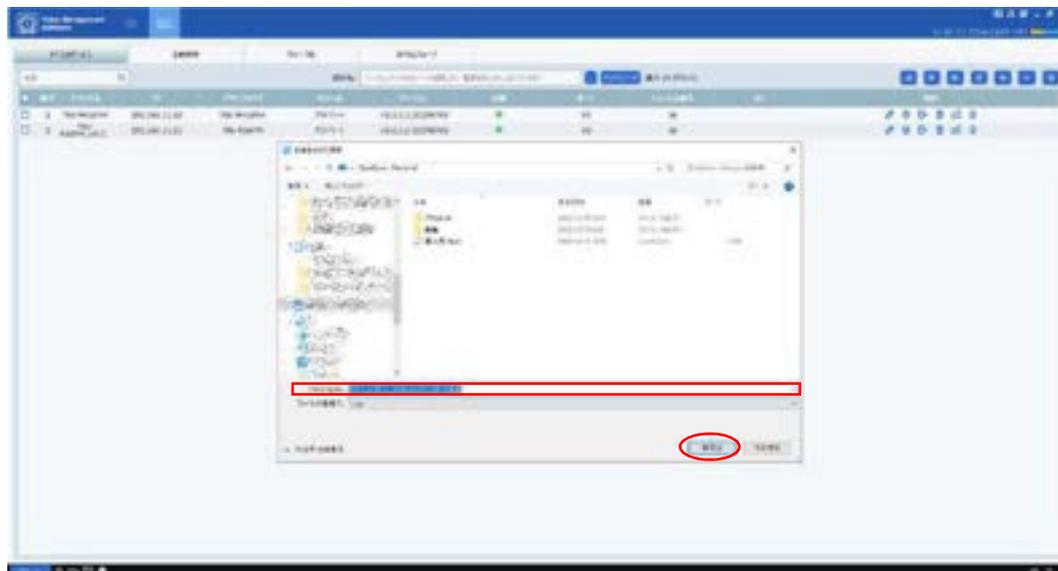


図 3-1-3-6a デバイスレポートのエクスポート “名前を付けて保存”ダイアログ 表示例



図 3-1-3-6b デバイスレポートのエクスポート “名前を付けて保存”ダイアログ ファイル名の入力例

ステップ 5: デバイスレポートのエクスポートが成功致しますと、ウィンドウ右下へ保存先フォルダのアドレス（パス）が記載されたポップアップが表示されます。このポップアップのフォルダアドレス（フォルダパス）をクリック致しますと、保存先フォルダを開くことが可能です。

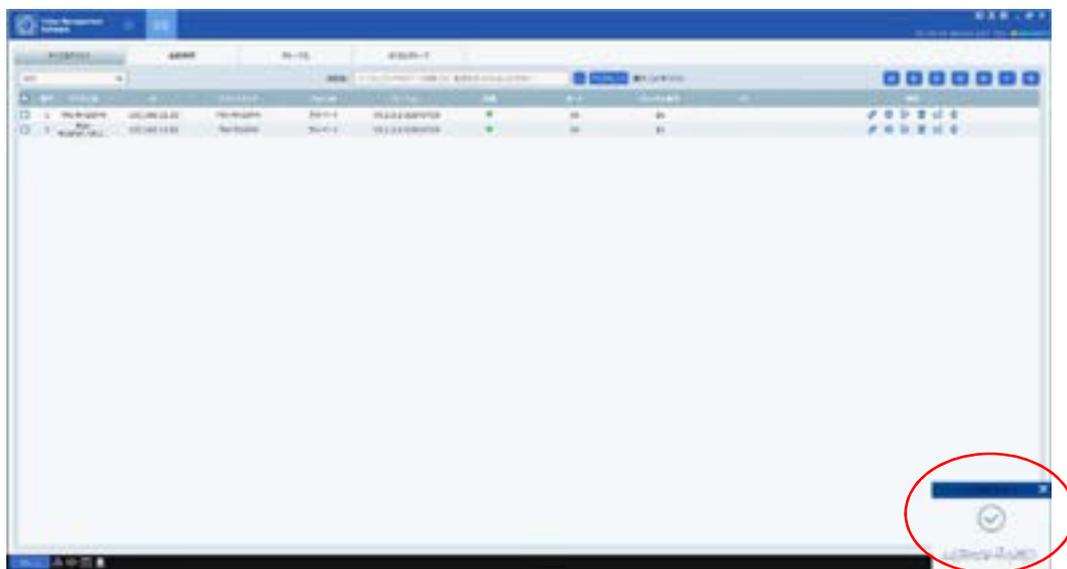


図 3-1-3-7 デバイスレポートのエクスポート 実行完了時 表示例

ステップ 6: デバイスレポートのエクスポートが実行完了しましたら、保存先フォルダを開いて、ファイルの存在をご確認ください。図 3-1-28 は指定した保存先に指定したファイル名でファイルの存在が確認出来た場合の例を示します。

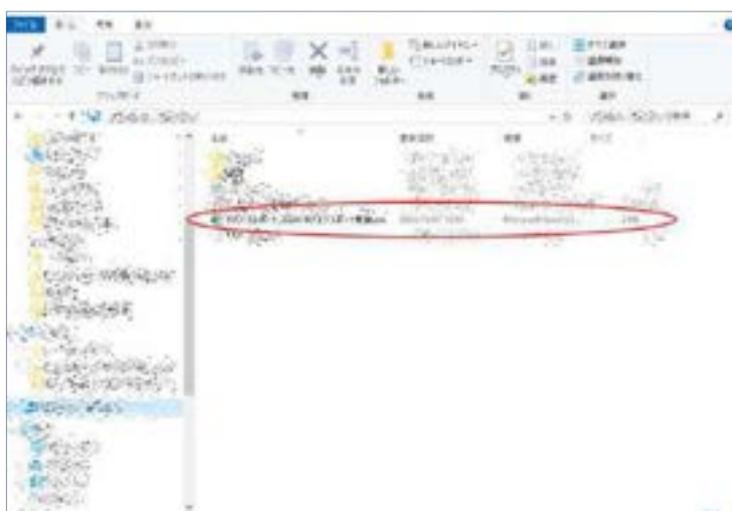


図 3-1-3-8 デバイスレポートのエクスポートが実行完了しましたら、保存先フォルダを開いてファイルの存在をご確認ください

3.1.4 登録していたデバイスの復元（デバイスインポート）

デバイス管理画面のエクスポート機能  の“デバイスのエクスポート”
 でバックアップしたデバイスリストファイル(.json)を使ってすべてのデバイスに登録していたデバイスを復元可能です。

デバイスリストのインポートでは、

- デバイスリストファイル(.json)の json ファイル本体
- デバイスリストファイル(.json)をエクスポートする際に設定したパスワード

が必要です。

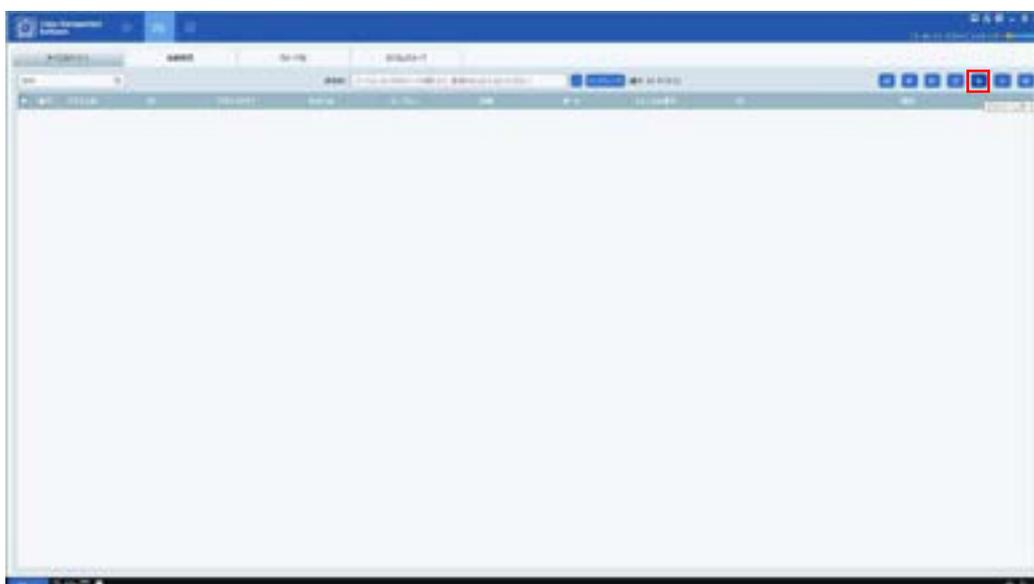


図 3-1-4-1 “デバイスインポート”

ステップ1: “デバイス管理”の“全てのデバイス”で （デバイス インポート）をクリックします。

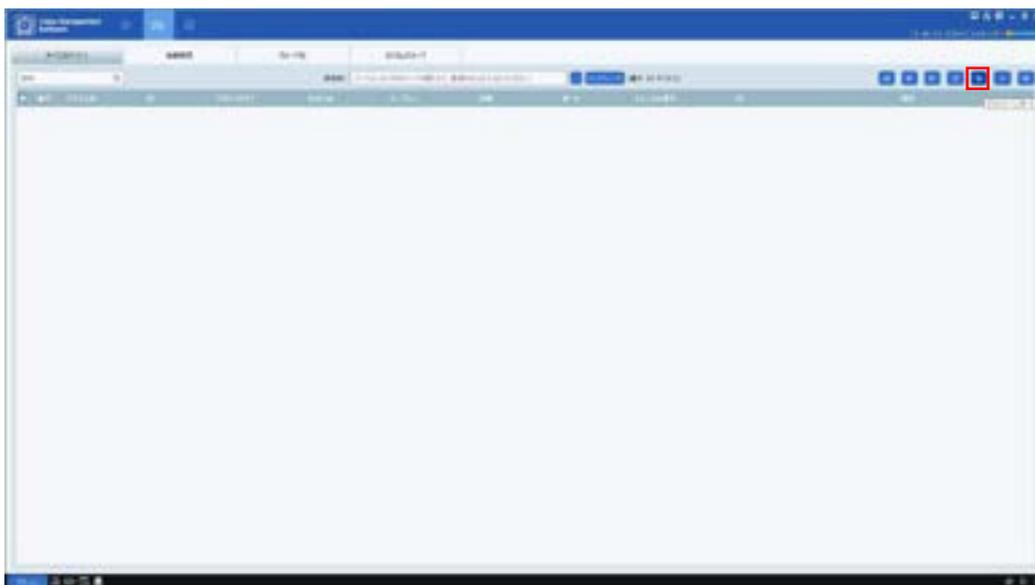


図 3-1-4-2 “デバイスインポート”

ステップ2: デバイス情報ファイル(.json 形式)を選択し、[開く]をクリックします。

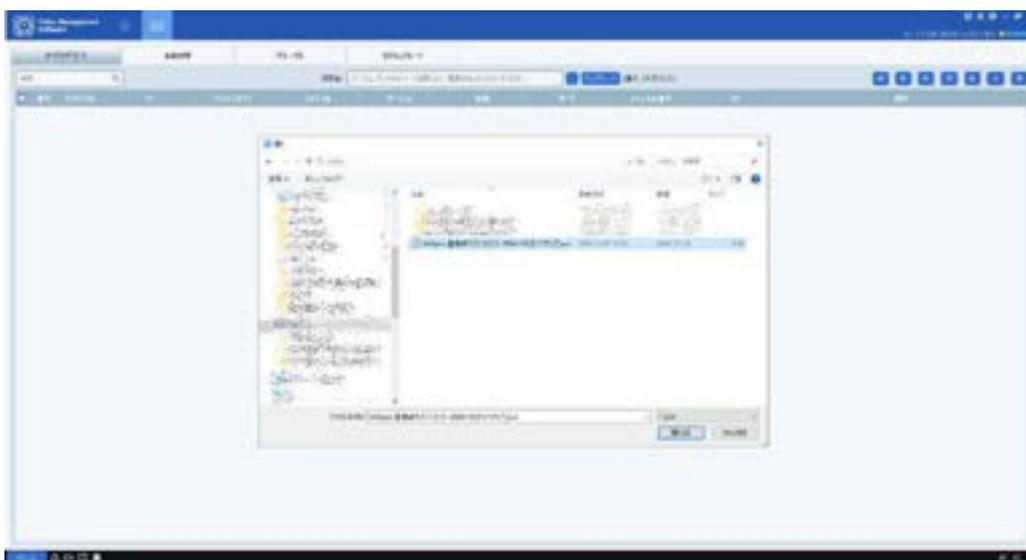


図 3-1-4-3 “開く” ダイアログ デバイスリストファイル(.json 形式) 選択例

ステップ3: デバイスリストのバックアップの際に設定したパスワードを入力します。デバイスリストのバックアップの際に設定したパスワードを入力したら、[はい]ボタンをクリックして登録デバイスの復元を行います。

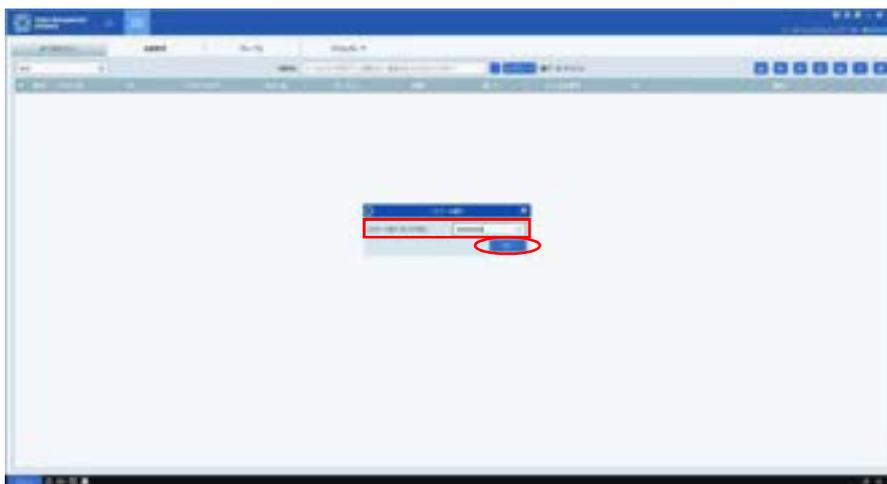


図 3-1-4-4 デバイスリストのバックアップの際に設定したパスワードを入力します

ステップ 4: デバイスリストがインポートされてデバイスリストのエクスポート時の登録デバイスが復元されます。インポートすることによって、同じデバイスが重複することや、現在登録中のデバイスが消失することはありません。現在登録中の重複しないデバイスはそのまま残り、インポートしたデバイスは追加されるように復元されます。

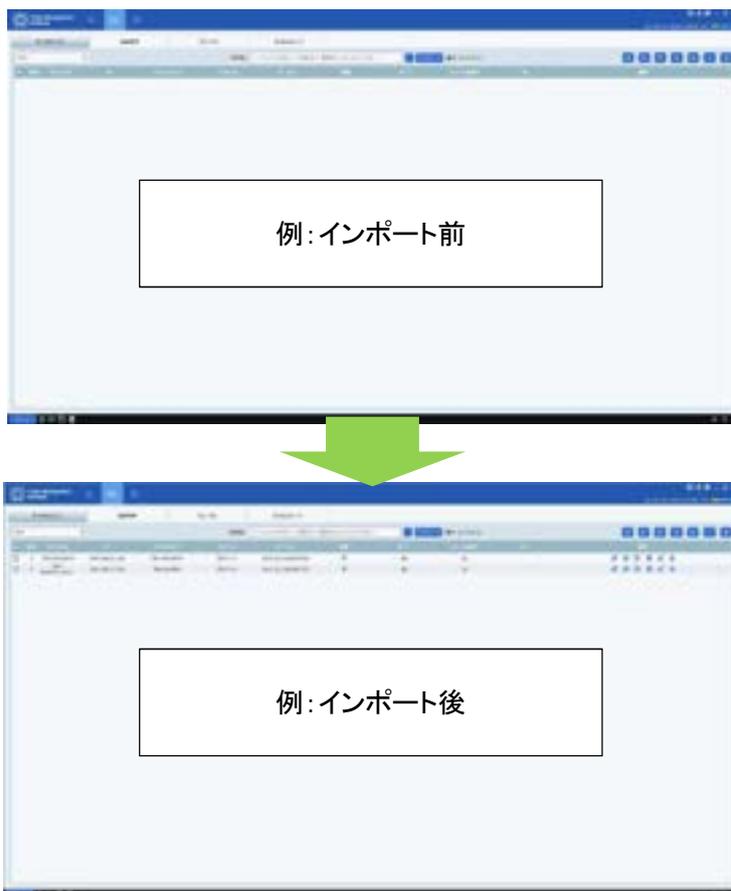


図 3-1-4-5 デバイスリストファイル(. json 形式)のインポート前後 表示例

3.1.5 デバイス接続パラメータの変更

登録済デバイスの接続パラメータの変更が可能です。

例えば、登録済みのデバイスの IP アドレス、接続 ID、接続パスワードが変更された場合に使用します。

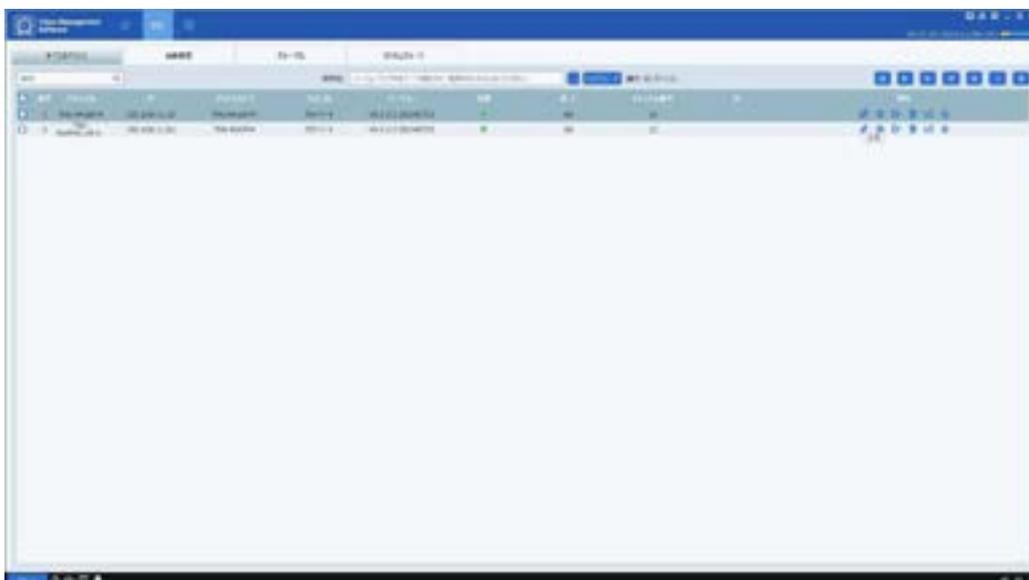


図 3-1-5-1 デバイス接続パラメータの変更

ステップ 1: “デバイス管理” – “全てのデバイス” で、接続パラメータを変更したいデバイスの操作列にございます変更アイコン  をクリックします。

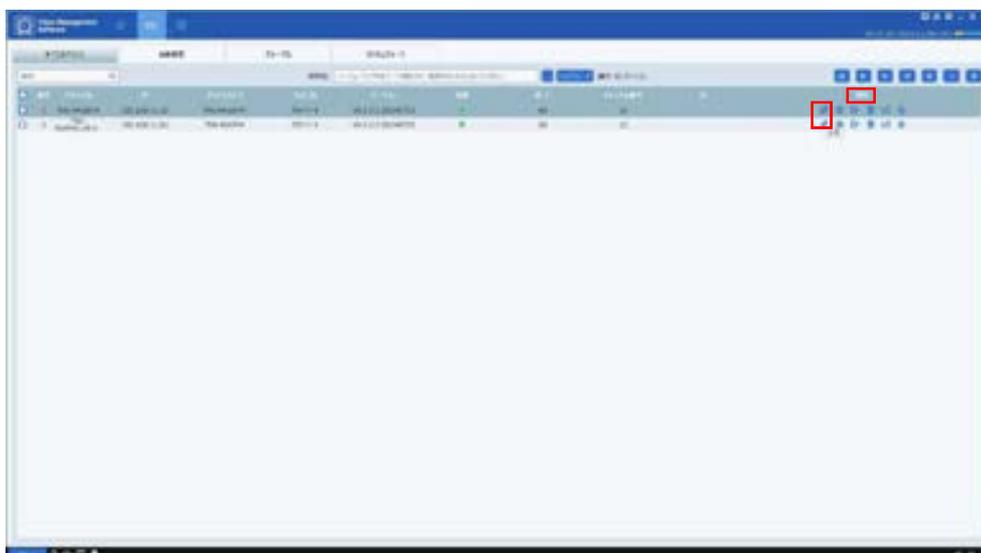


図 3-1-5-2 操作列の“変更”アイコン

ステップ 2: 図 3-1-5-3 に示しますように、“デバイス修正”画面がポップアップ表示されます。“デバイス修正”画面で接続パラメータを変更します。各項目の説明については、「[表 3-1-1-2-1 デバイス追加（手動追加）パラメータ](#)」をご参照ください。「修正」をクリックして設定を保存します。

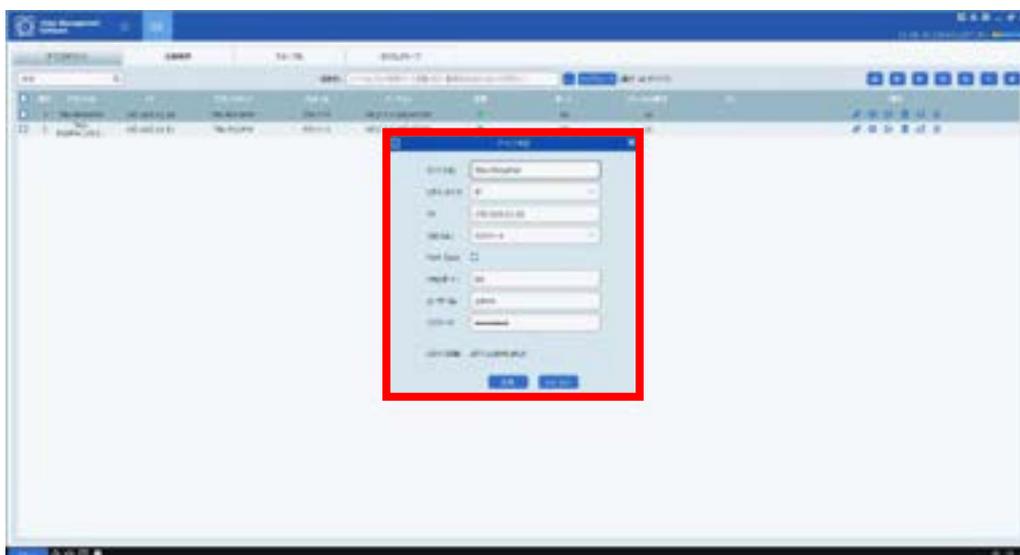
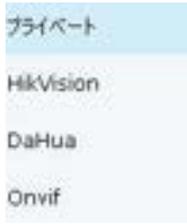
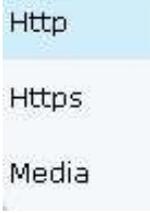


図 3-1-5-3 デバイス修正 表示例

表 3-1-5-1 デバイス修正パラメータ

項目	内容
デバイス名	デバイス名を変更できます。変更不要の場合はそのままにしておきます。
ログインタイプ	<p>デバイスの接続方法を変更できます。変更不要の場合はそのままにしておきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[IP]： デバイスの IP アドレスまたはドメイン名でデバイスを追加します。なお、IP アドレスは IPv4 アドレスが対応しています。 ・[ID]：“P2P ID” でデバイスを追加します。
IP	<p>[ログインタイプ]のパラメータで[IP/ドメイン名]をご選択の場合は、こちらの入力欄へデバイスの IP アドレスまたはドメイン名を設定します。なお、IP アドレスは IPv4 アドレスが対応しています。変更不要の場合はそのままにしておきます。</p> <p>[ログインタイプ]のパラメータで[ID]をご選択の場合には、この[IP]パラメータは表示されません。</p>

ID	<p>[ログインタイプ]のパラメータで[ID]をご選択の場合は、こちらの入力欄へ“P2P ID”を設定します。変更不要の場合はそのままにしておきます。</p> <p>[ログインタイプ]のパラメータで[IP/ドメイン名]をご選択の場合には、この[ID]パラメータは表示されません。</p>
プロトコル	<p>デバイスへの接続に使用するプロトコルを変更できます。変更不要の場合はそのままにしておきます。</p> 
PortType	<p>[チェックオン] <input checked="" type="checkbox"/> : ポート種別をプルダウンリストから変更できます。変更不要の場合はそのままにしておきます。</p>  <p>[チェックオフ] <input type="checkbox"/> : ポート種別は“Http”になります。変更不要の場合はそのままチェックオフにしておきます。</p>
Http ポート	<p>デバイスへの接続に使用する Http ポート番号を変更できます。変更不要の場合はそのままにしておきます。</p> <p>[PortType]のパラメータが[チェックオン] <input checked="" type="checkbox"/> で、且つ、Https 又は Media をご選択の場合には、この[Http ポート]パラメータは表示されません。</p>
HTTPS ポート	<p>デバイスへの接続に使用する HTTPS ポート番号を変更できます。変更不要の場合はそのままにしておきます。</p> <p>[PortType]のパラメータが[チェックオフ] <input type="checkbox"/> 、又は、[チェックオン] <input checked="" type="checkbox"/> で、且つ、[Http] Http 又は [Media] Media をご選択の場合には、この[HTTPS ポート]パラメータは表示されません。</p>

メディアポート	デバイスへの接続に使用するメディアポート番号を変更できます。変更不要の場合はそのままにしておきます。 [PortType]のパラメータが[チェックオフ] <input type="checkbox"/> 、又は、[チェックオン] <input checked="" type="checkbox"/> で、且つ、[Http] Http 又は [Https] Https をご選択の場合には、この[メディアポート]パラメータは表示されません。
ユーザー名	デバイスにログオンするユーザー名を変更できます。変更不要の場合はそのままにしておきます。
パスワード	デバイスにログインするためのパスワードを変更できます。変更不要の場合はそのままにしておきます。
ログイン状態	現在のログイン状態が表示されます。

3.1.6 デバイスの削除

万が一に備えて、**[3.1.2 デバイスのエクスポート]** で登録デバイスのバックアップ (.json ファイル) 実施後にデバイスの削除を行うことをお勧めいたします。

追加したデバイスで管理不要となったデバイスは登録を削除できます。デバイスの削除では、個々のデバイスの削除、又は、選択したデバイスの一括削除が可能です。

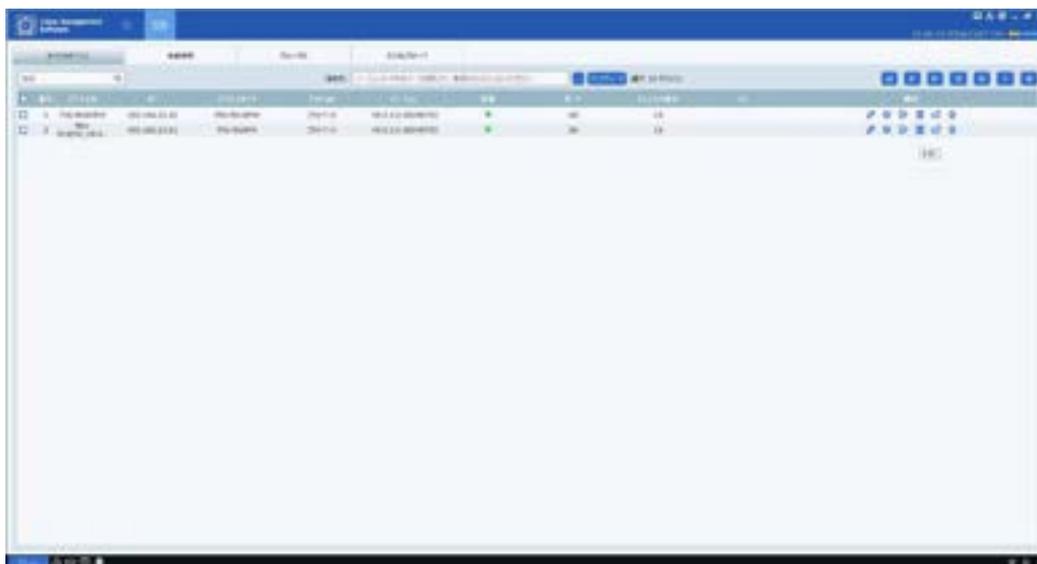


図 3-1-6-1 デバイスの削除

3.1.6.1 個々のデバイスを削除する

万が一に備えて、[\[3.1.2 デバイスのエクスポート\]](#) で登録デバイスのバックアップ (.json ファイル) 実施後にデバイスの削除を行うことをお勧めいたします。

ステップ1: “デバイス管理” で削除対象のデバイスの行にある削除アイコン

 をクリックしますと、図 3-1-6-2 に示しますように、“選択したデバイスを削除しますか？”のプロンプト画面が表示されます。

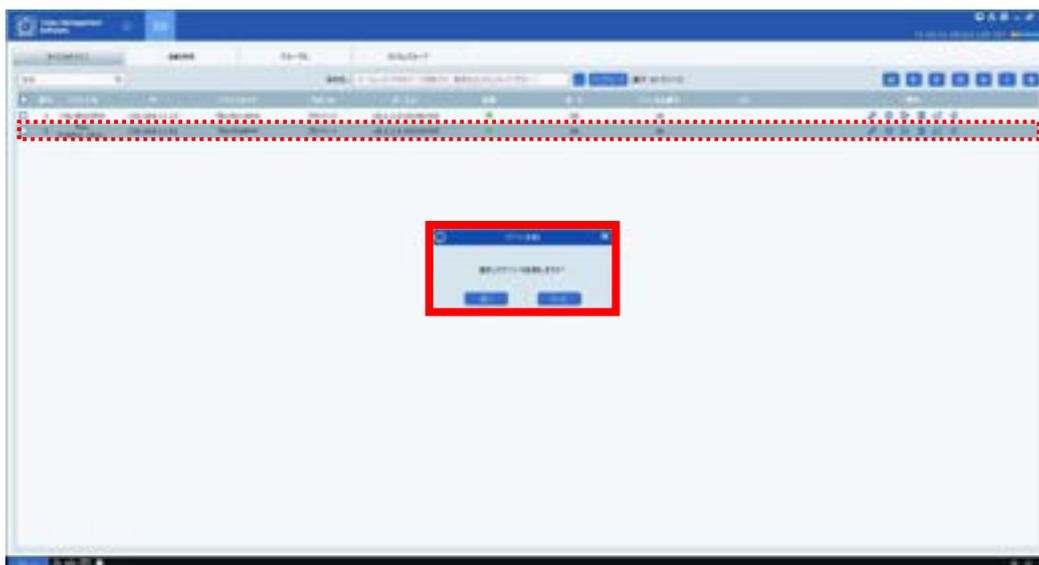


図 3-1-6-2 “選択したデバイスを削除しますか？” プロンプト画面

ステップ2: 選択されているデバイスはそのデバイスの行の背景色がハイライト表示されています。図 3-1-6-2 では、2行目の“番号2”のデバイスに対して、“選択したデバイスを削除しますか？”の確認が行われている状態を示しています。操作の誤りも無く、そのデバイスの削除を実行するには、[はい]ボタンをクリックします。操作誤りなどでデバイスの削除を中止する場合には、[いいえ]ボタンをクリックします。

ステップ3: “ステップ2”で [はい]ボタンをクリックしましたら、そのデバイスの削除が実行されます。デバイスの削除に成功しますと画面右下に“デバイスの削除成功”が表示されます。図 3-1-6-3 はデバイスの削除を実行し、デバイスの削除に成功した場合の画面の表示例を示します。

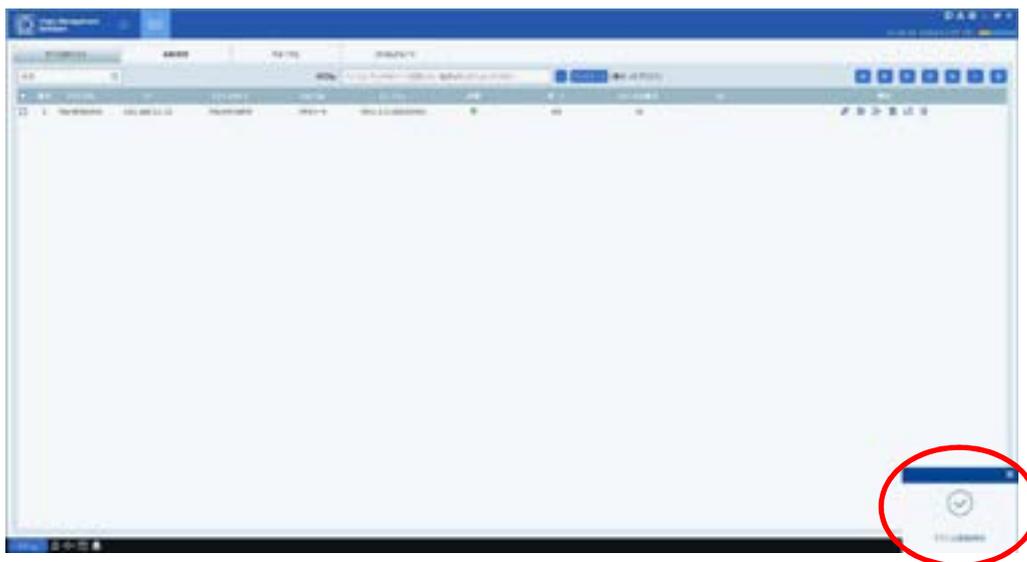


図 3-1-6-3 デバイス削除 実行直後の画面 表示例

3.1.6.2 複数のデバイスを選択して一括削除する

万が一に備えて、[3.1.2 デバイスのエクスポート](#) で登録デバイスのバックアップ (.json ファイル) 実施後にデバイスの削除を行うことをお勧めいたします。

複数のデバイスを選択して一括削除することが可能です。

ステップ 1: “デバイス管理” の “全てのデバイス” 画面で、削除対象デバイスの 1 列目のチェックボックスへチェックを入れます。 は削除したいデバイス、 は削除したくないデバイスとなります。



図 3-1-6-2-1 削除対象デバイスの選択例

ステップ2: 右上のデバイス[削除]ボタン  をクリックします。

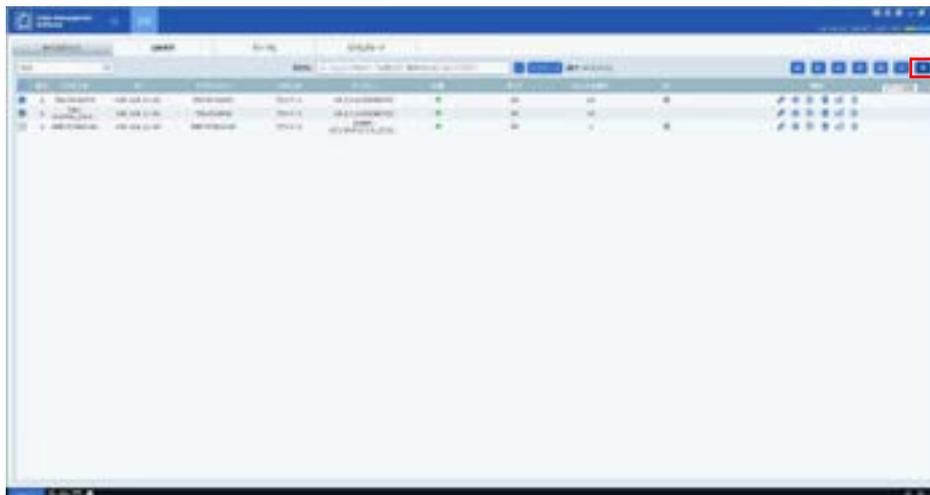


図 3-1-6-2-2 画面右上の削除ボタン

ステップ3: 図3-1-6-2-3に示しますように、“選択したデバイスを削除しますか？”が表示されます。操作の誤りも無く、選択デバイスの削除を実行するには、[はい]ボタンをクリックします。操作誤りなどでデバイスの削除を中止する場合には、[いいえ]ボタンをクリックします。

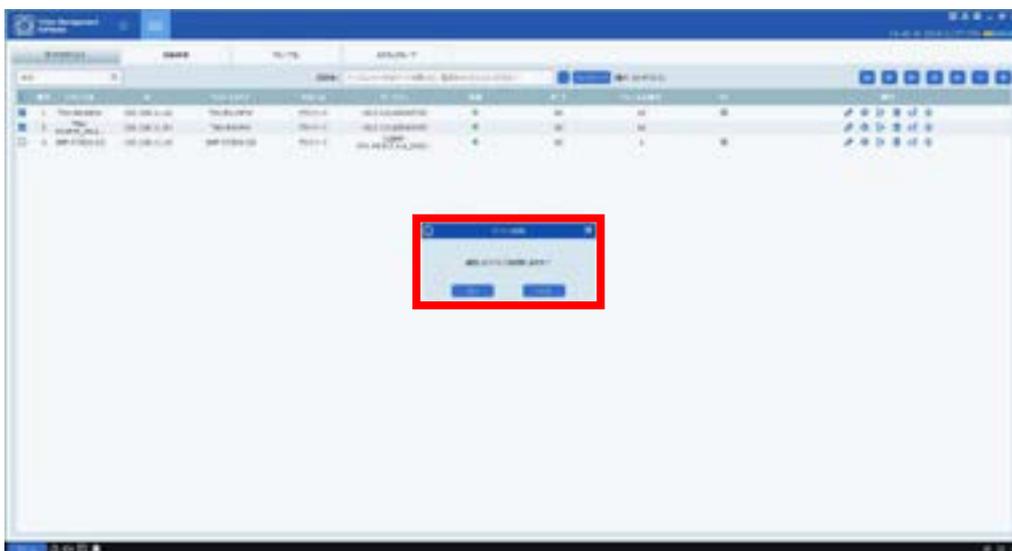


図 3-1-6-2-3 “選択したデバイスを削除しますか？” プロンプト画面

ステップ4: “ステップ3”で [はい]ボタンをクリックしましたら、選択デバイスの削除が実行されます。デバイスの削除に成功しますと画面右下に“デバイスの削除成功”が表示されます。図 3-1-6-2-4 はデバイスの削除を実行し、デバイスの削除に成功した場合の画面の表示例を示します。

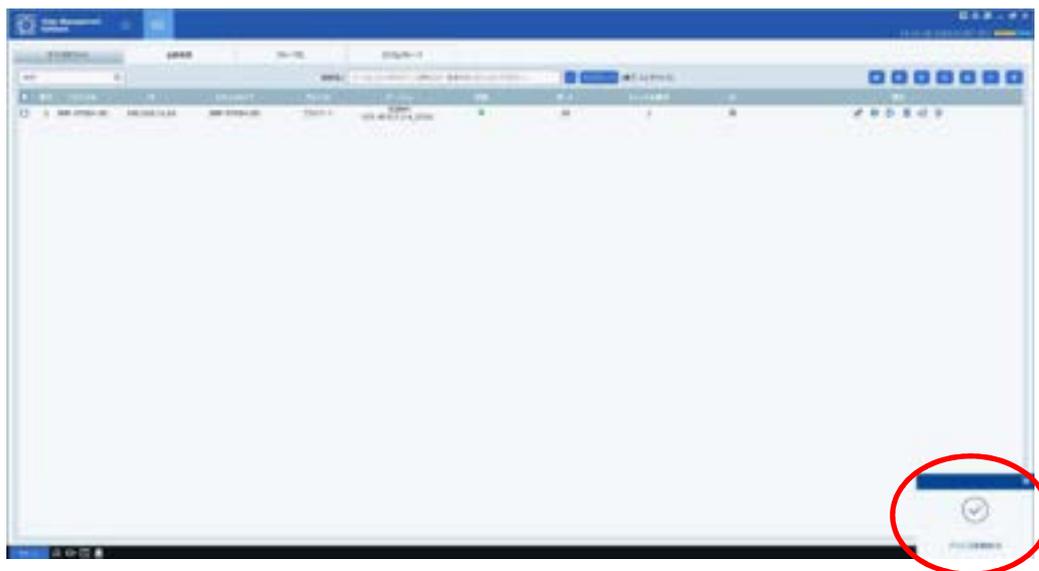


図 3-1-6-2-4 デバイス削除 実行直後の画面 表示例

3.1.7 デバイスのFW更新

リモートデバイスのFW更新が可能です。

ステップ1: “すべてのデバイス” タブを表示し、 ボタンをクリックします。

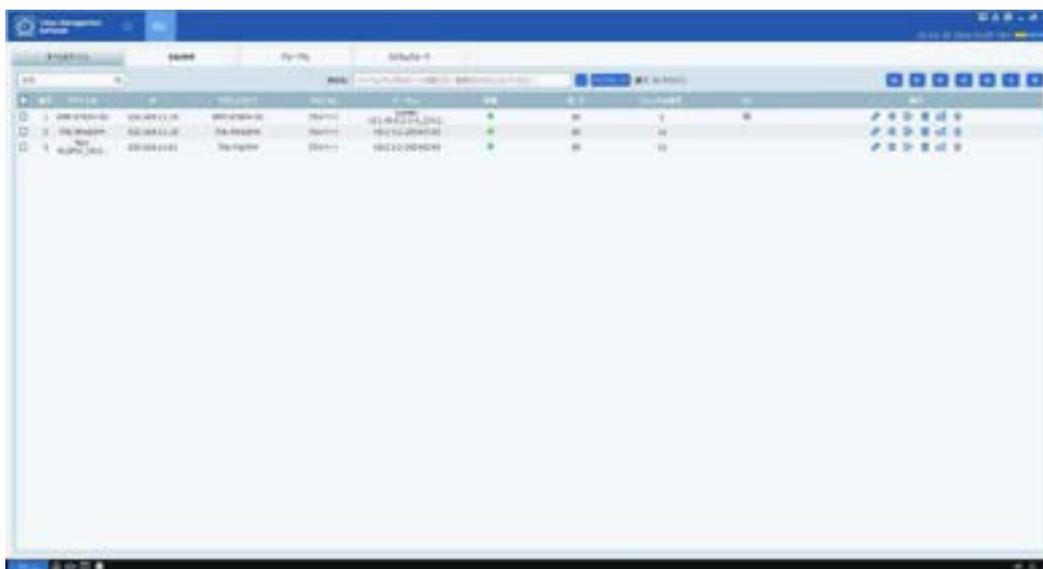


図 3-1-7-1 リモートデバイスのFW更新 表示例

ステップ2: “開く” ダイアログが表示されます。“開く” ダイアログで、アップグレードFWファイルを選択して“開く”ボタンをクリックします。

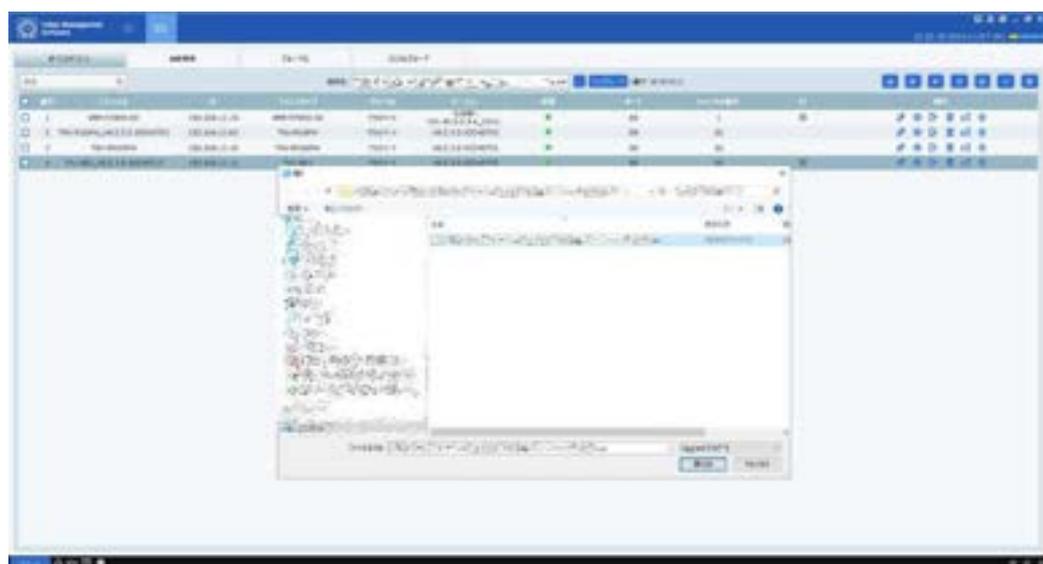


図 3-1-7-2 “開く” ダイアログで、アップグレードFWファイルを選択 表示例

ステップ 3: FW 更新対象のデバイスへチェックを入れます。同時に最大 10 デバイスまで選択が可能です。FW 更新対象のデバイスが全てオンラインであることを御確認下さい。

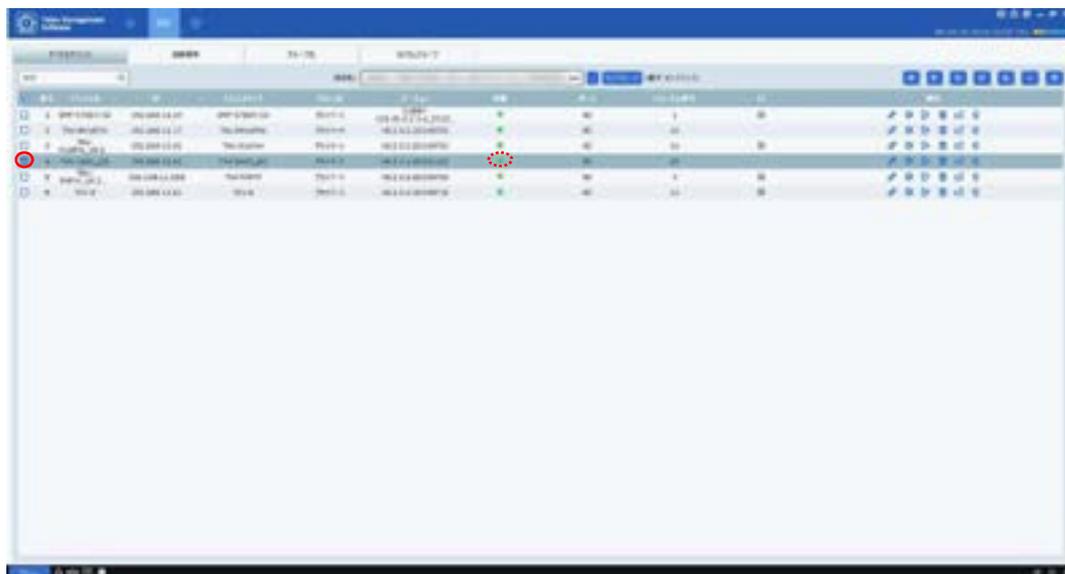


図 3-1-7-3 FW アップグレードするデバイスを選択 表示例

ステップ 4: “ステップ 3” で、[アップグレード]ボタン  をクリック致しますと FW のアップグレードが実行されます。アップグレード中は“状態”に進捗が表示されます。

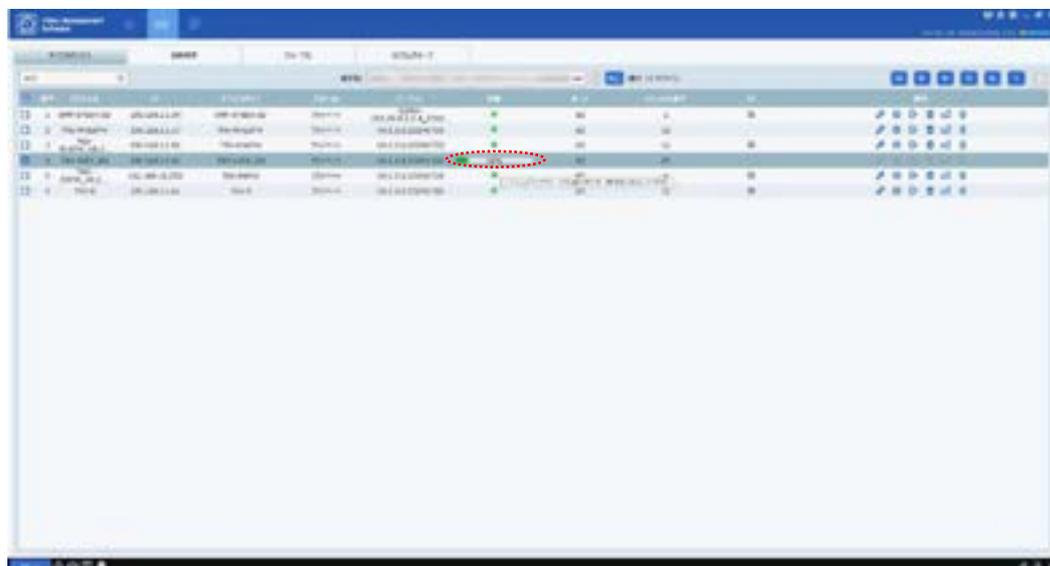


図 3-1-7-4 FW アップグレード進行中 表示例

ステップ5: FWアップデート中にPCとリモートデバイスの電源を切ったり、ネットワークを切断したりしないでください。このまましばらくお待ちください。

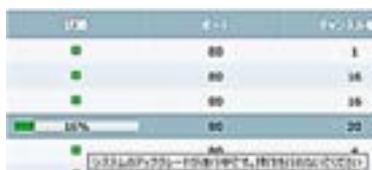


図 3-1-7-5 FW アップグレード進行中 (拡大) 表示例

ステップ6: 状態表示が100%になりましたら、リモートデバイスはリモートデバイス自身で自動的に再起動を行います。この再起動が完了するまで、このまましばらくお待ちください。



図 3-1-7-6 FW アップグレード進行 100% (拡大) 表示例

ステップ7: 状態表示が100%を表示したあとに一瞬、状態表示がオレンジ色()になりますがこのままお待ちください。

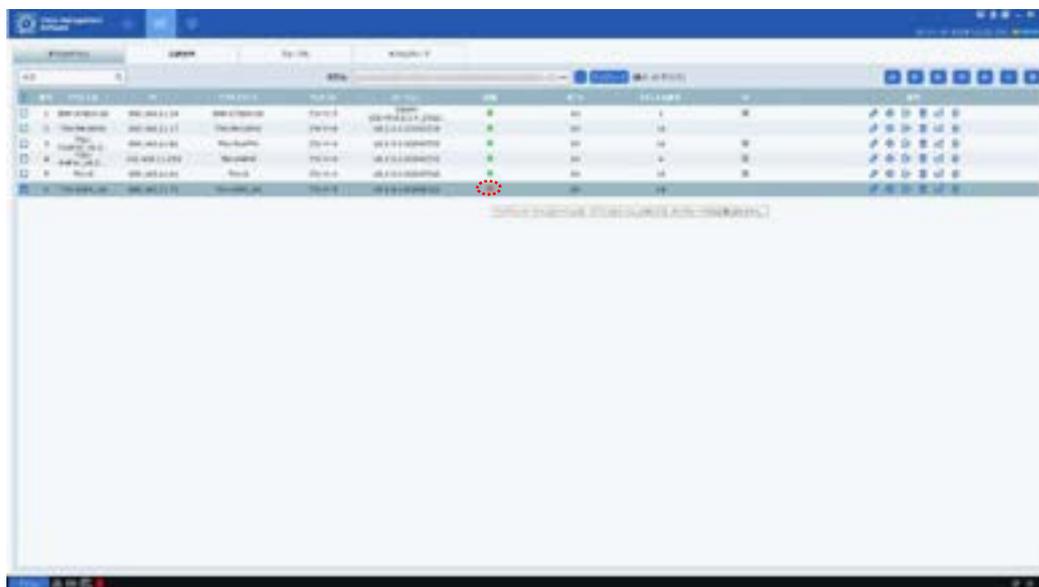


図 3-1-7-7 FW アップグレード進行 100%の後、状態表示がオレンジ色()の表示例

ステップ 8: 状態表示が灰(■)でオフラインの場合、もしも、IPアドレスでデバイスを登録している場合は DHCP で IP アドレスが変わっている場合がございます。



図 3-1-7-8 FW アップグレード後、状態表示が灰(■)の表示例

この場合、以下のいずれかでご対応下さい。

- ① デバイス本体で IP アドレスをご確認頂き、デバイス修正で IP アドレスを修正する。詳しくは、[「3.1.5 デバイス接続パラメータの変更」](#)をご覧ください。

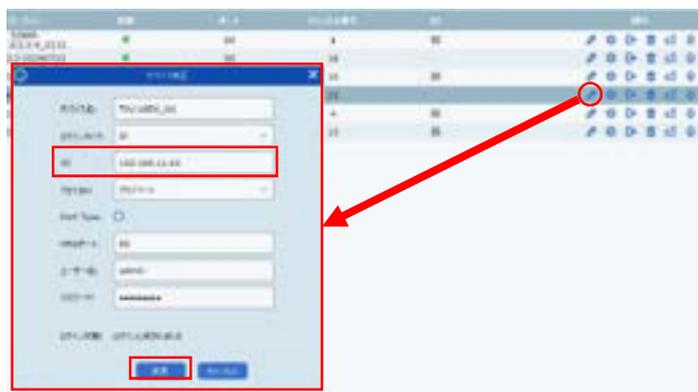


図 3-1-7-9 FW アップグレード後、デバイス修正で IP アドレスを修正する場合の画面例

- ② 自動検索  で再度デバイス登録する。詳しくは、[「3.2 自動検索」](#)をご覧ください。

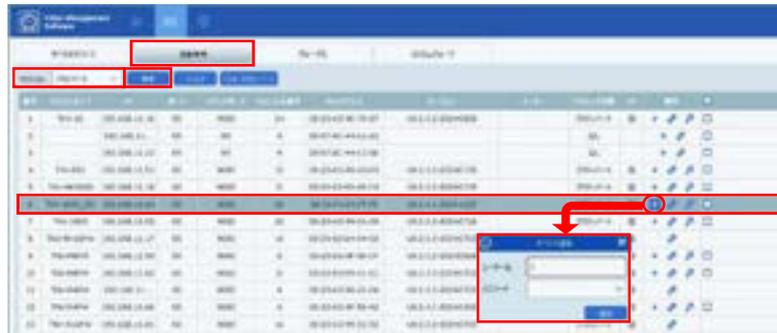


図 3-1-7-10 FW アップグレード後、自動検索で再度デバイス登録する場合の画面例

- ステップ 9: 状態表示が緑  でオンラインになりなしたら、FW アップデートの完了です。

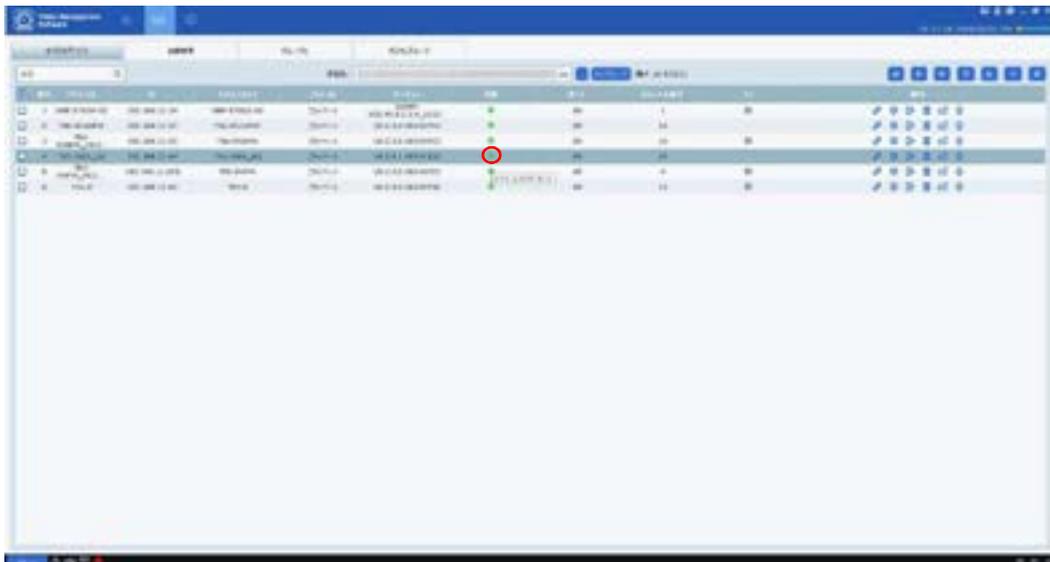
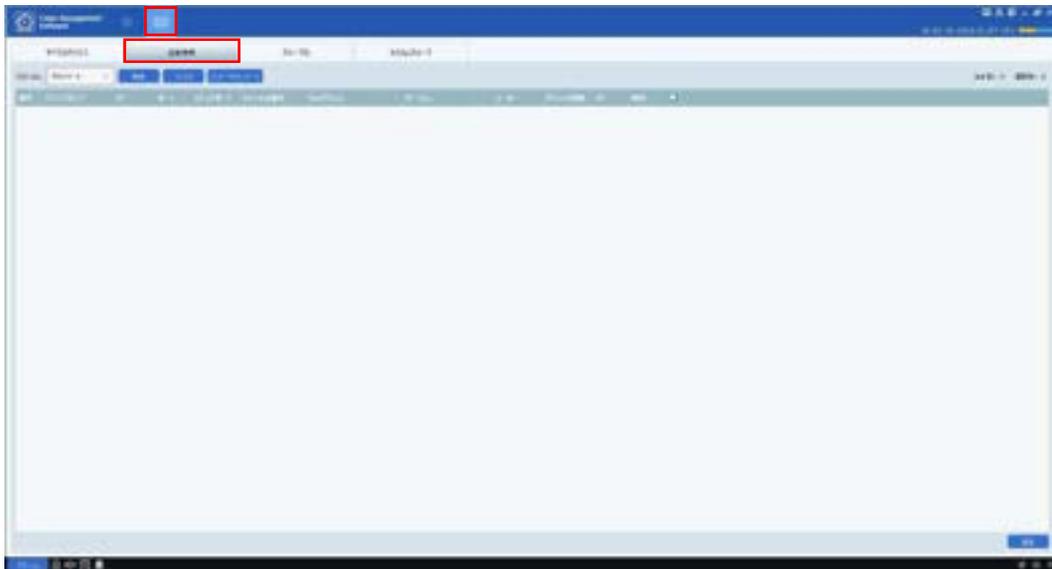


図 3-1-7-11 FW アップグレード後、状態表示が緑  の表示例

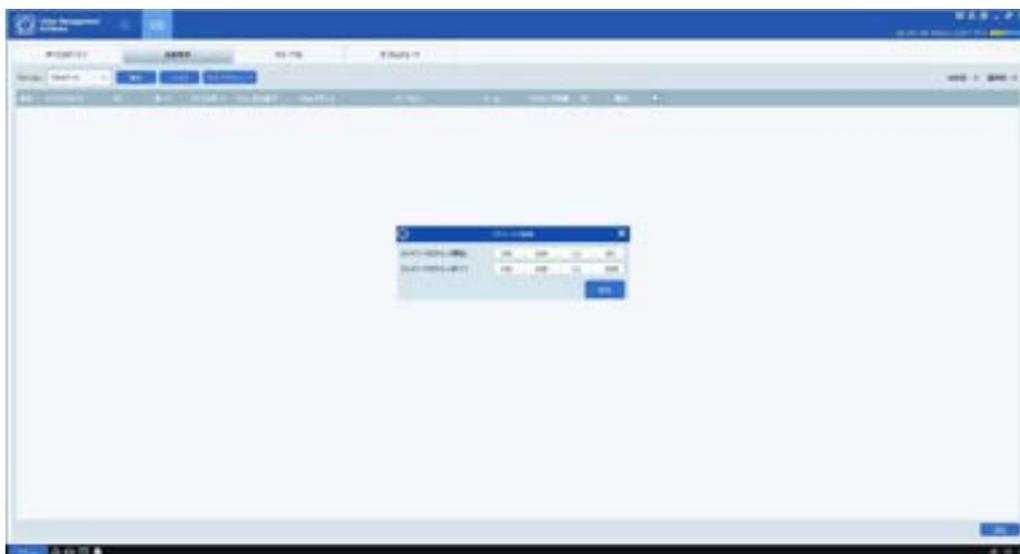
3.2 自動検索

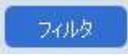
PCのネットワーク上に繋がれているデバイスを検索して登録することができます。



3.2.1 ネットワークセグメントでのデバイス検索

当ソフトウェアはネットワークセグメントでのデバイス検索機能（IPアドレス範囲を指定して検索する機能）をサポートします。



ステップ1: 図3-1-2の「デバイス管理」で、 ボタンをクリックします。

ステップ2: 図3-3-1に示しますように、「セグメントで検索」画面がポップアップ表示されます。検索対象のネットワークセグメントを入力し、「検索」ボタンをクリックします。

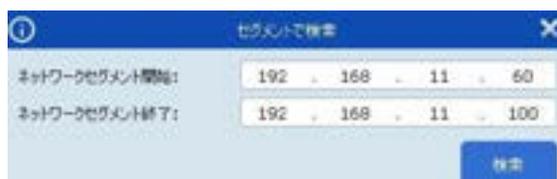
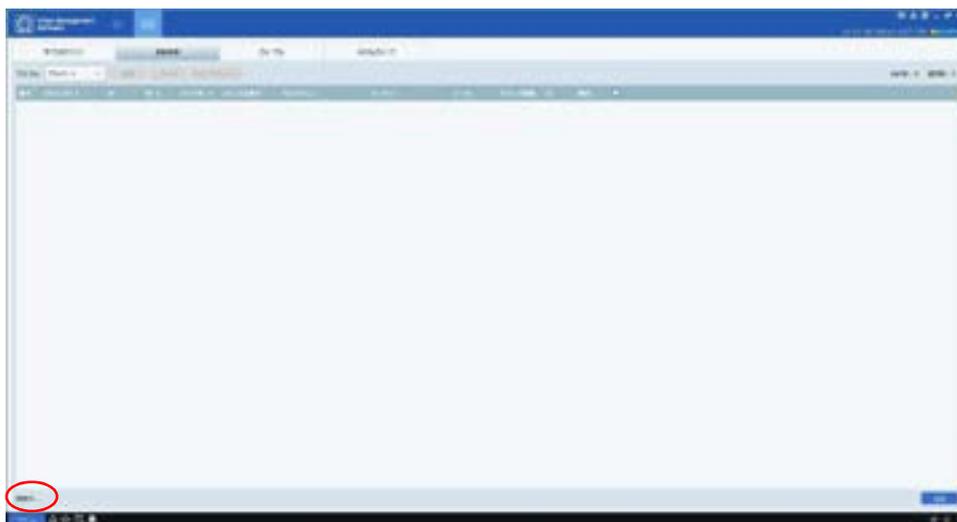
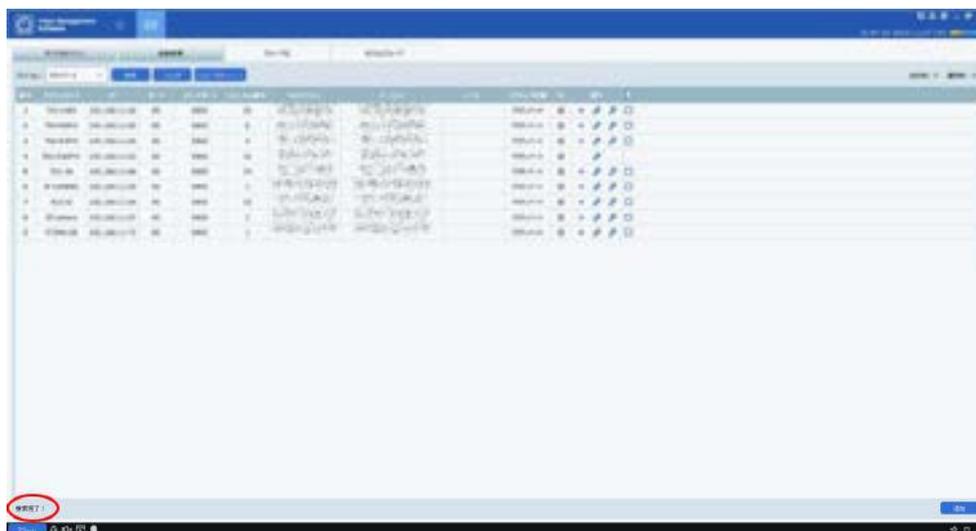


図 3-3-1 セグメントで検索 入力例

ステップ3: 検索が完了するまでしばらくお待ちください。



ステップ4: 検索が完了しますと、検索結果が表示されます。検索結果例を図 3-3-2 に示します。



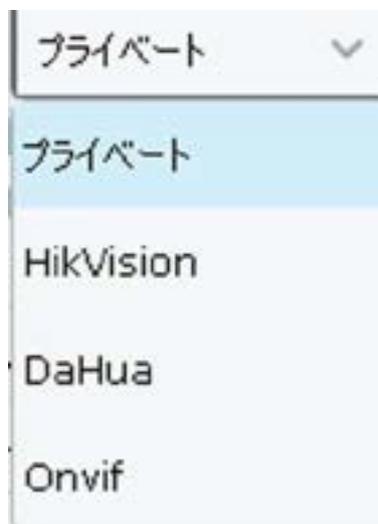
デバイス名	IPアドレス	サブネットマスク	ゲートウェイ	状態
10.10.10.1	10.10.10.1	255.255.255.0	10.10.10.1	正常
10.10.10.2	10.10.10.2	255.255.255.0	10.10.10.1	正常
10.10.10.3	10.10.10.3	255.255.255.0	10.10.10.1	正常
10.10.10.4	10.10.10.4	255.255.255.0	10.10.10.1	正常
10.10.10.5	10.10.10.5	255.255.255.0	10.10.10.1	正常
10.10.10.6	10.10.10.6	255.255.255.0	10.10.10.1	正常
10.10.10.7	10.10.10.7	255.255.255.0	10.10.10.1	正常
10.10.10.8	10.10.10.8	255.255.255.0	10.10.10.1	正常
10.10.10.9	10.10.10.9	255.255.255.0	10.10.10.1	正常
10.10.10.10	10.10.10.10	255.255.255.0	10.10.10.1	正常

図 3-3-2 デバイス管理 セグメントでの検索結果 表示例

ステップ5: 検索結果からデバイスを追加するには、[「3.1.1 デバイスの追加」](#)をご参考ください。

3.2.2 プロトコルを指定してデバイス検索

プロトコルを指定してデバイスを検索できます。通常は“プライベート”を指定します。



ステップ 1: “デバイス管理” — “自動検索” で図 3-4-1 の画面を表示します。

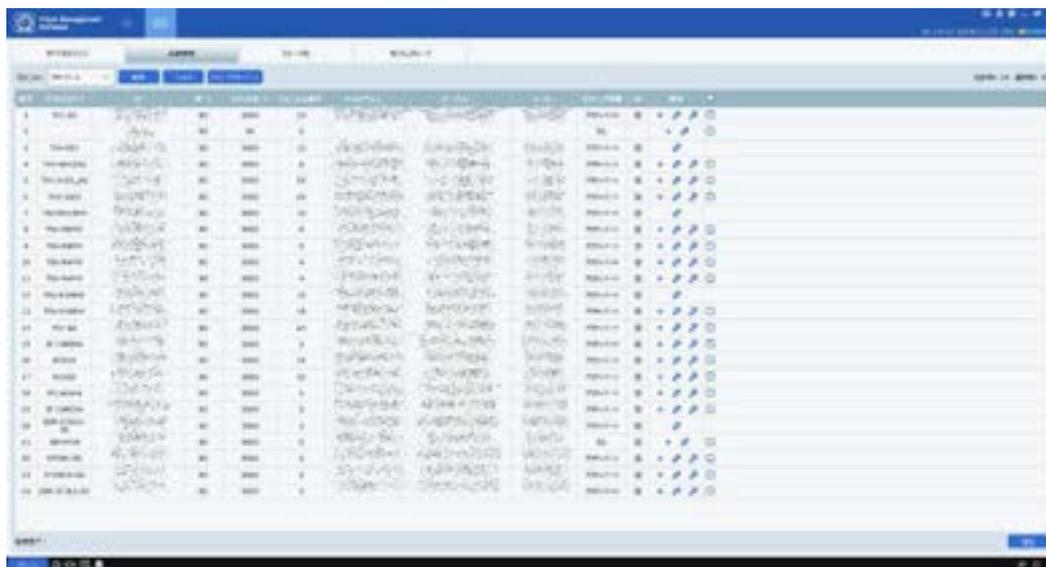


図 3-4-1 自動検索画面 表示例

ステップ 2:  のドロップダウンボックスで、検索対象のプロトコルを選択（通常は“プライベート”プロトコルを選択します）して[検索]ボタンをクリック致しますと、選択したプロトコルでの検索結果が表示されます。図 3-4-2 に“プライベート”プロトコルで検索した場合の画面の表示例を示します。

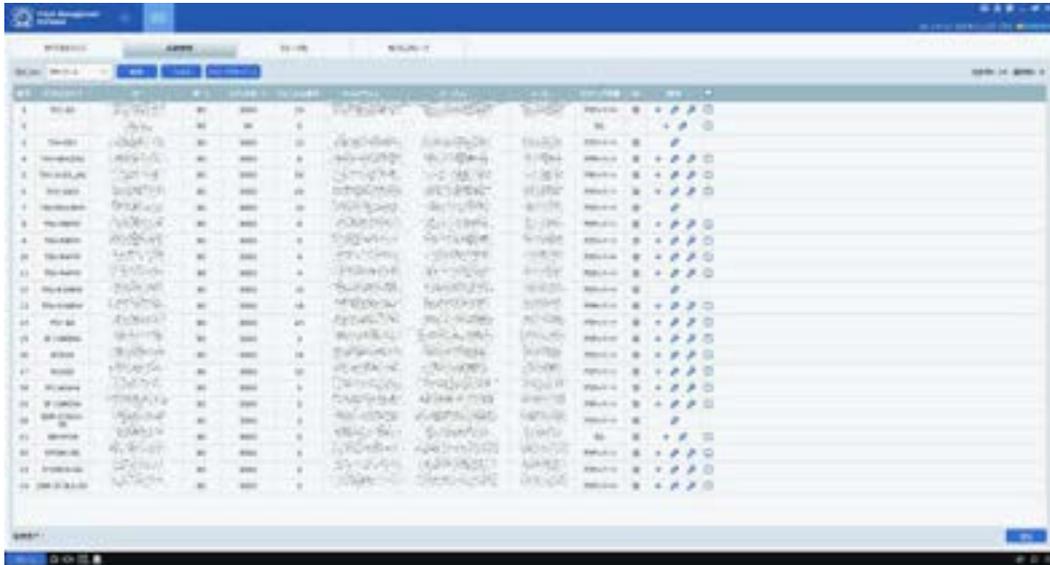


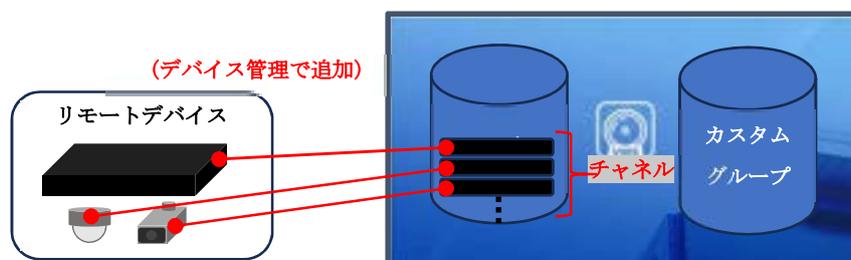
図 3-4-2 プロトコル検索結果 表示例

ステップ 3: 検索結果からデバイスを追加するには、[「3.1.1 デバイスの追加」](#)をご参考ください。

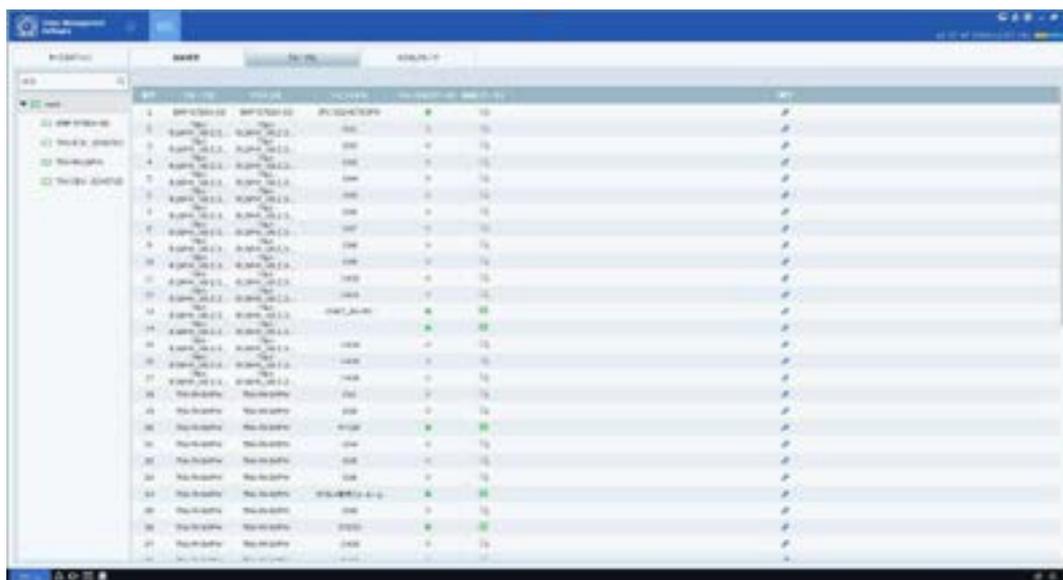
3.3 グループ化 (root グループ)

当ソフトウェアでは各チャンネルをグループにまとめて管理する “チャンネルグループ” という概念があります。

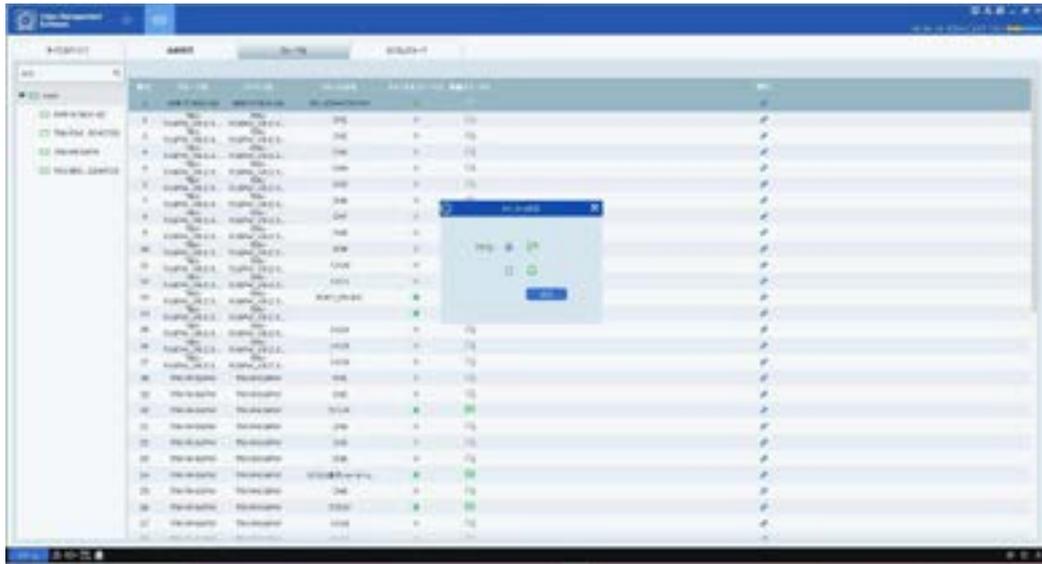
“チャンネルグループ” には “root” と “カスタムグループ” に大別され、デバイス管理で追加されたリモートデバイスは全て “root” というグループへ登録されます。



「すべてのデバイス」タブ画面から削除されたリモートデバイスのチャンネルは「すべてのデバイス」から削除されると同時に「root」グループと「カスタムグループ」から削除されます。



“グループ化”タブ画面では、“操作”列の  ボタンでそのカメラのチャンネルアイコンを変更できます。

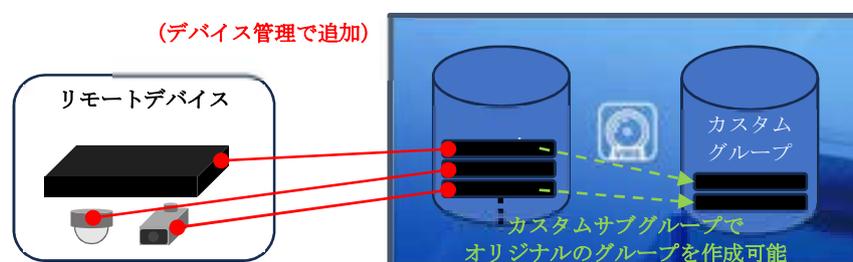


3.4 カスタムグループ

当ソフトウェアでは各チャンネルをグループにまとめて管理する“チャンネルグループ”という概念があり、[「3.3 グループ化\(root グループ\)」](#)章では、当ソフトウェアに追加されたリモートデバイスはすべて“root”というグループに登録される」とお伝えしました。

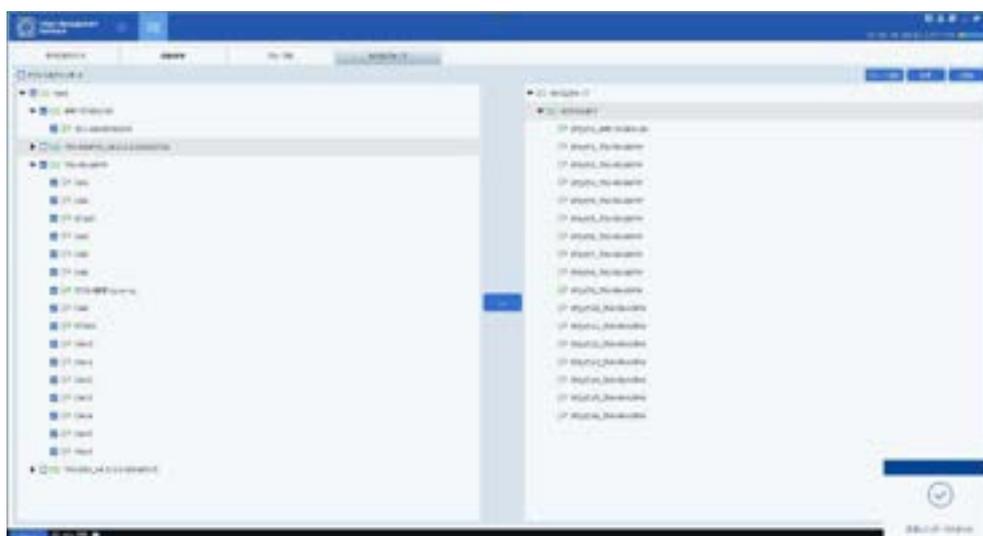
「カスタムグループ」では、カスタムグループにカスタムサブグループを作成することで“root”グループから任意のチャンネルを選択してオリジナルの“チャンネルグループ”を作成することができます。また CH が未登録のカスタムサブグループに限りませんが、カスタムサブグループ内にさらに任意のグループ名のグループを作成することも可能です。

よく使うチャンネルを「カスタムグループ」へグループピングすると、より使いやすくなります。

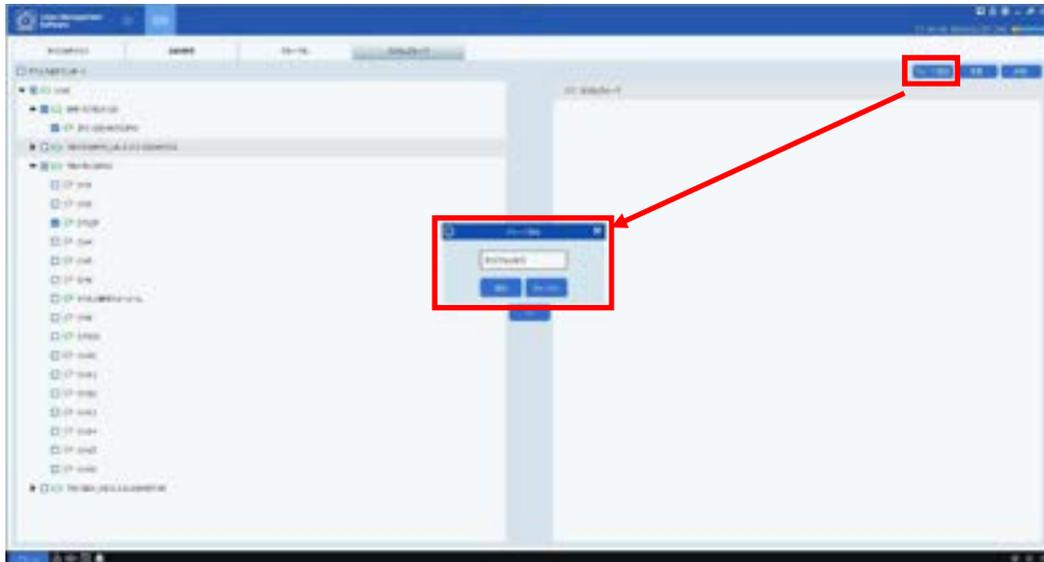


「カスタムグループ」で削除したチャンネルは“root”グループから削除されることはありません。

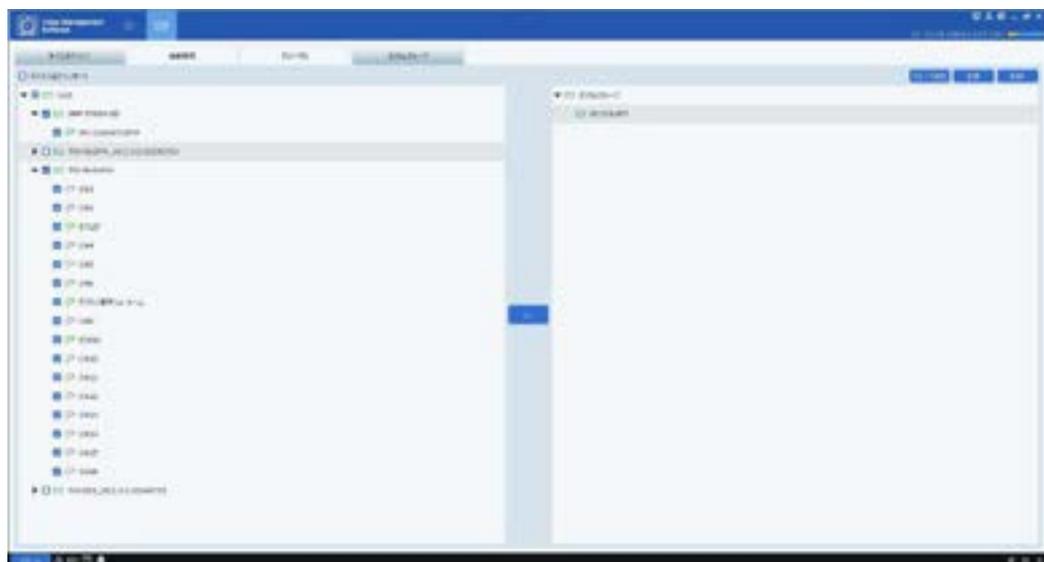
「すべてのデバイス」タブ画面から削除されたリモートデバイスのチャンネルは、「すべてのデバイス」から削除されると同時に「“root”グループ」と「カスタムグループ」から削除されます。



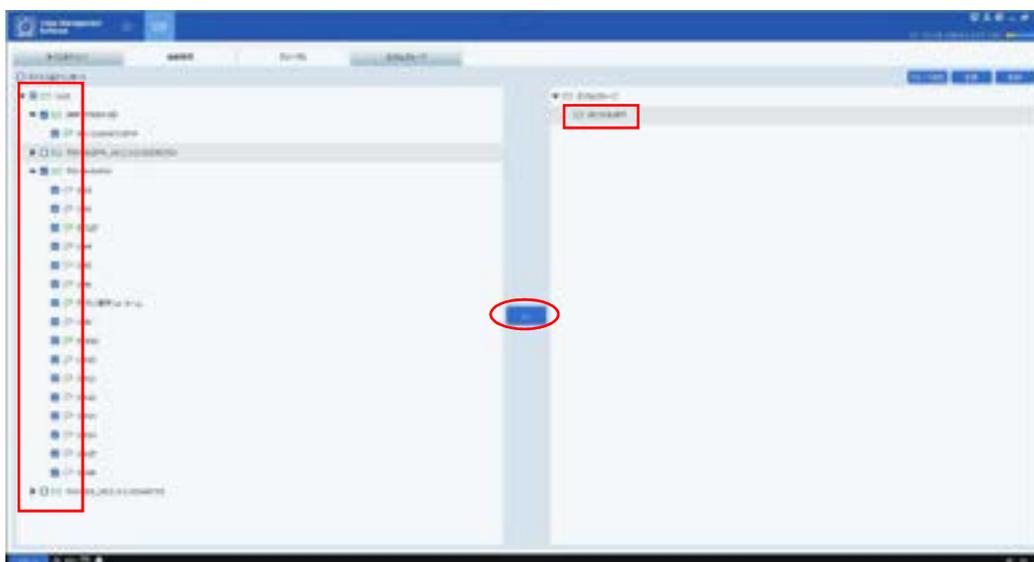
ステップ1: まず、カスタムサブグループを作成する必要があります。グループ追加 ボタンをクリックして、グループ名を入力し、保存 ボタンをクリックします。



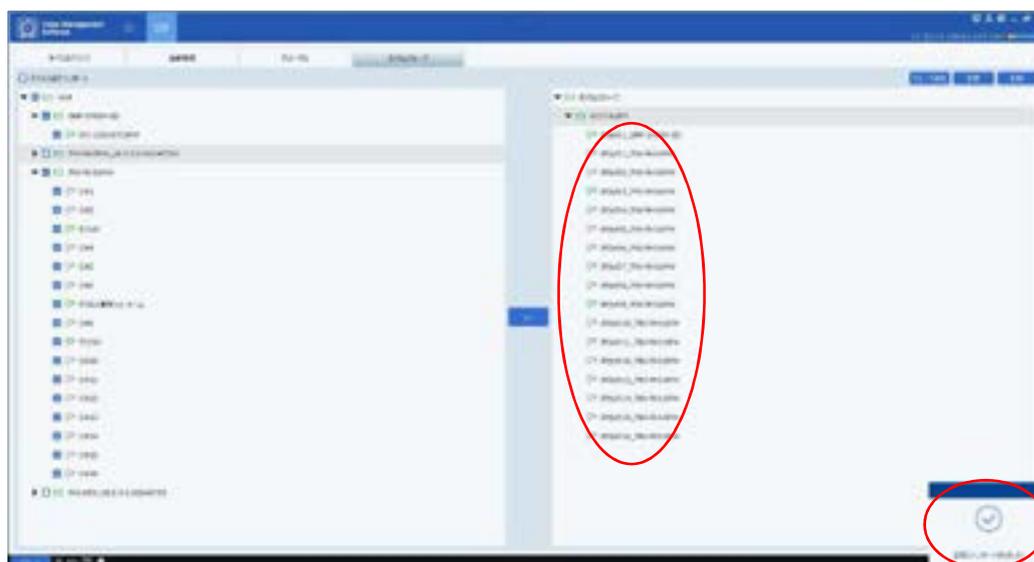
ステップ2: カスタムサブグループが作成されました。



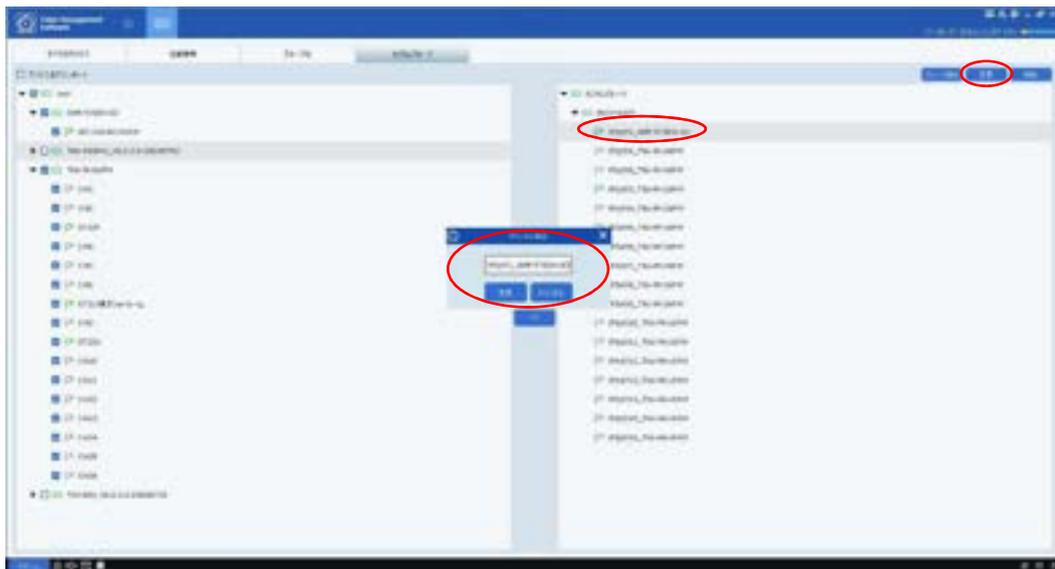
ステップ 3: カスタムサブグループを選択し（画面右側）、カスタムグループを構成するリモートデバイスへチェック を入れ（画面左側）、画面中央の  ボタンをクリックします。



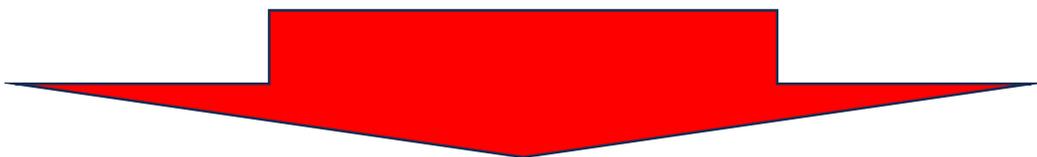
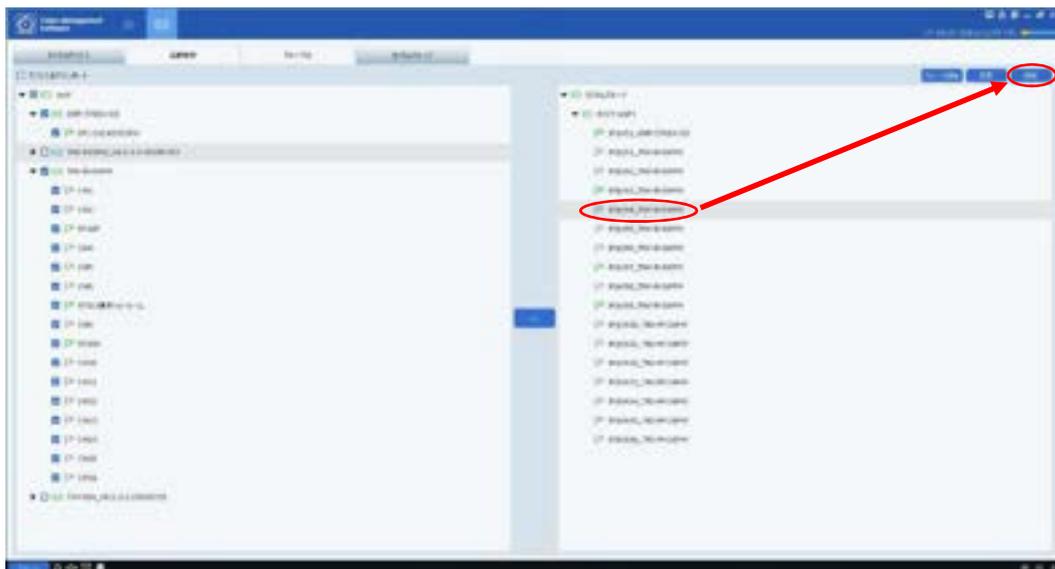
ステップ 4: カスタムサブグループへチャンネルが追加されます。

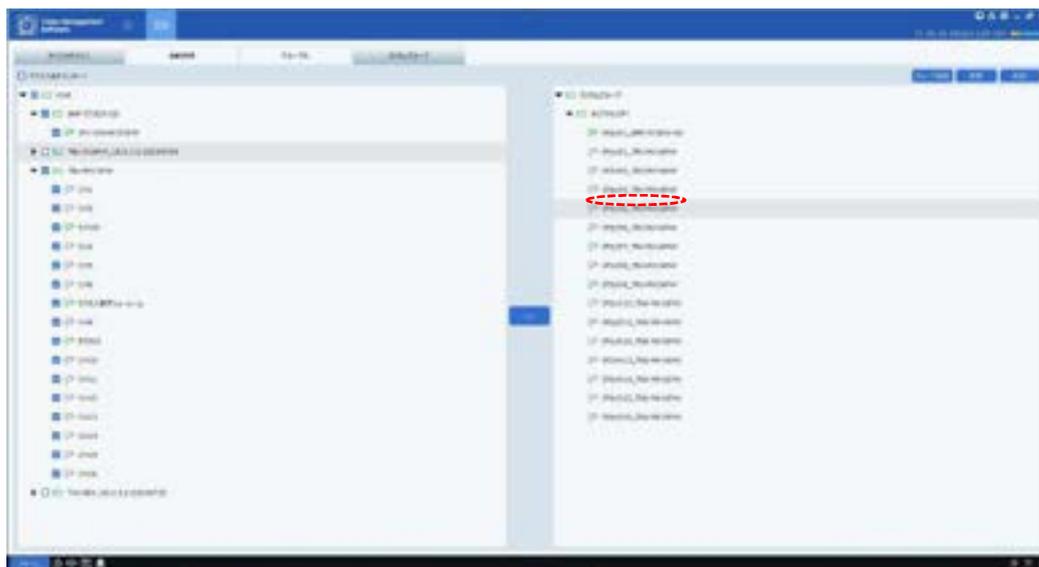


ステップ 5: カスタムグループ内のチャンネルをクリックして選択状態にして、  ボタンをクリックしますとカスタムグループ内でのそのチャンネルのチャンネル名を編集可能です。

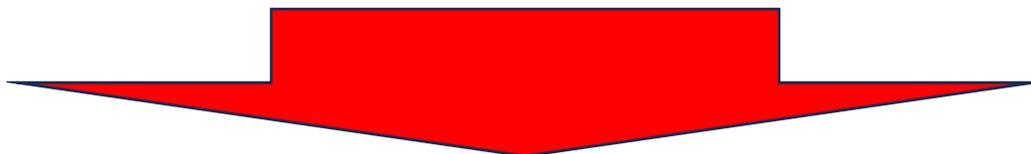
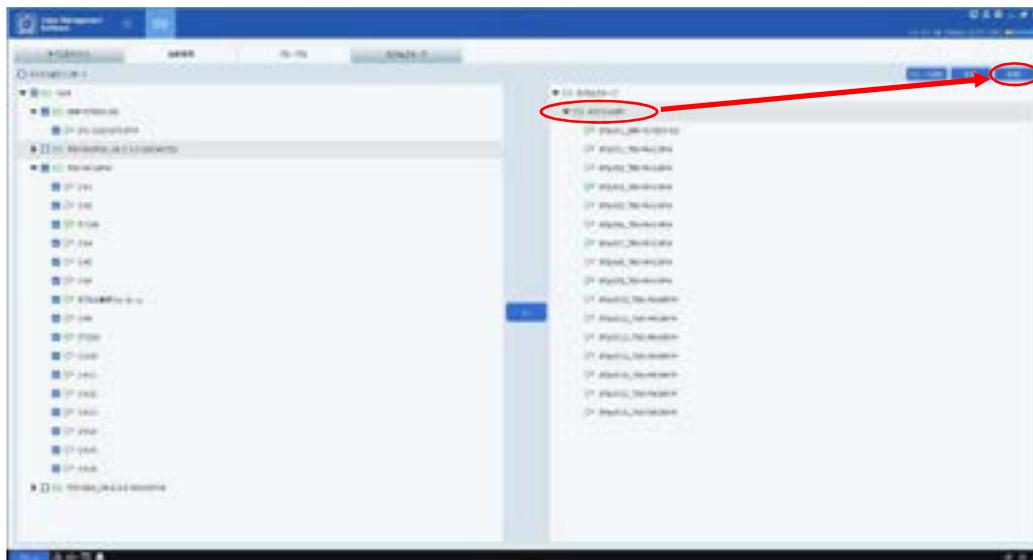


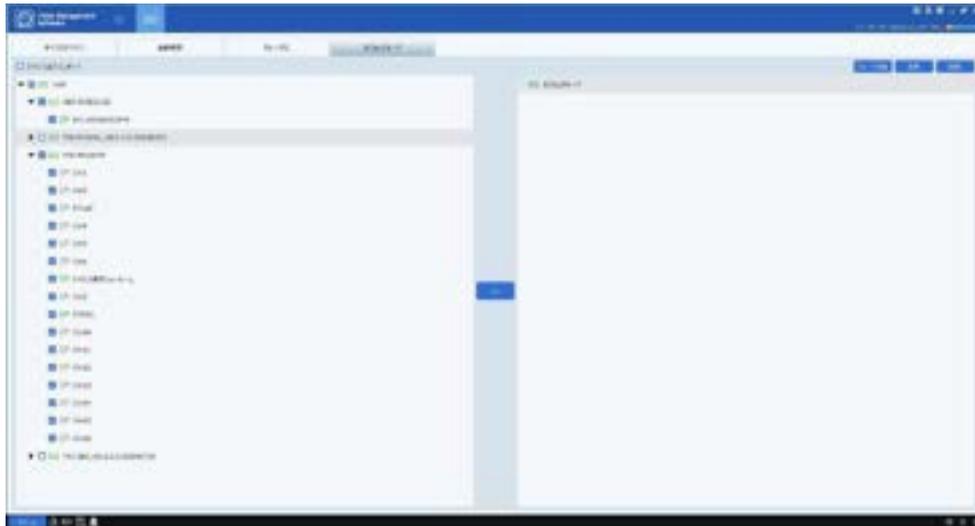
ステップ4: カスタムグループ内のチャンネルをクリックして選択状態にして、
[OK] ボタンをクリックしますとカスタムグループ内からそのチャンネルを外すことが可能です。





ステップ5: カスタムサブグループ自体を削除することも可能です。カスタムサブグループを削除しますと削除したそのカスタムサブグループ内のCHについても同時に削除されます。カスタムサブグループ自体を削除するには、削除したいカスタムサブグループをクリックして選択状態にして、 ボタンをクリックしますとそのカスタムサブグループを削除可能です。



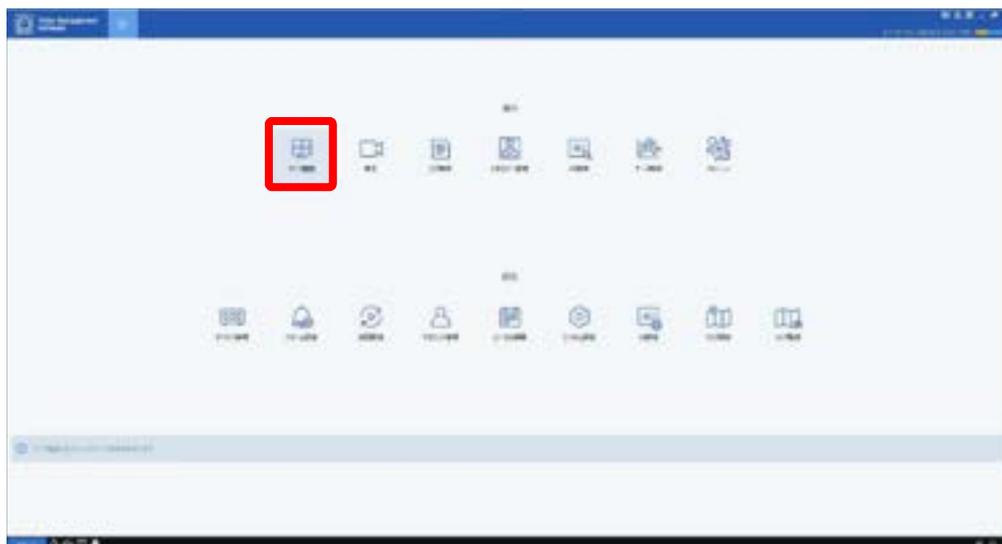


第4章 ライブ画面

当ソフトウェア“VMS Pro”へデバイスを追加すると、ライブ画面でライブ映像を参照できます。



ホームメニューで“ライブ画面”アイコンを選択します。



4.1 ライブ画面の概要

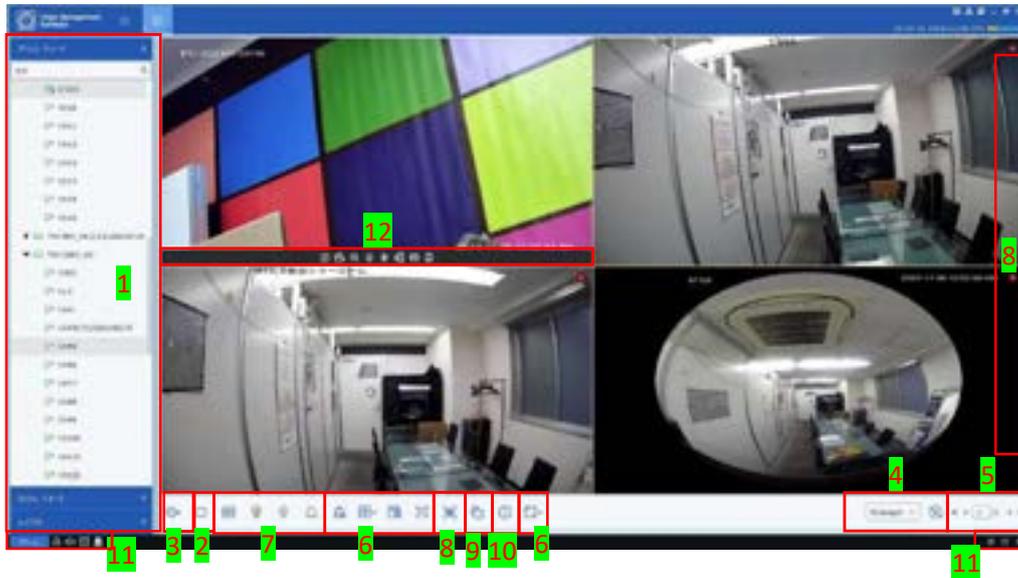


図 4-1-1a ライブ画面 表示例 1



図 4-1-1b ライブ画面 表示例 2

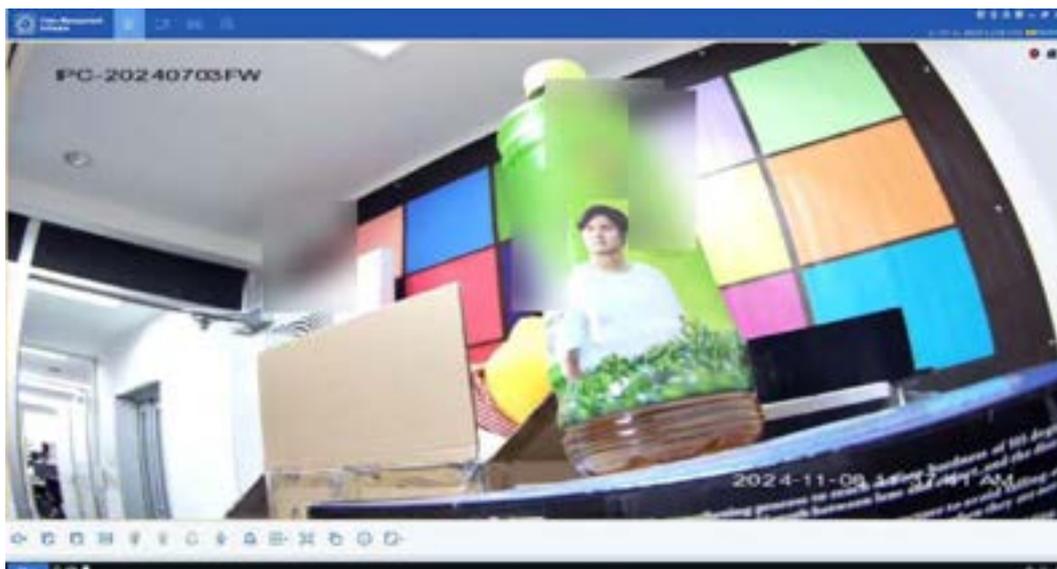


図 4-1-2a デバイスのログインでの場合のライブ画面 表示例 1

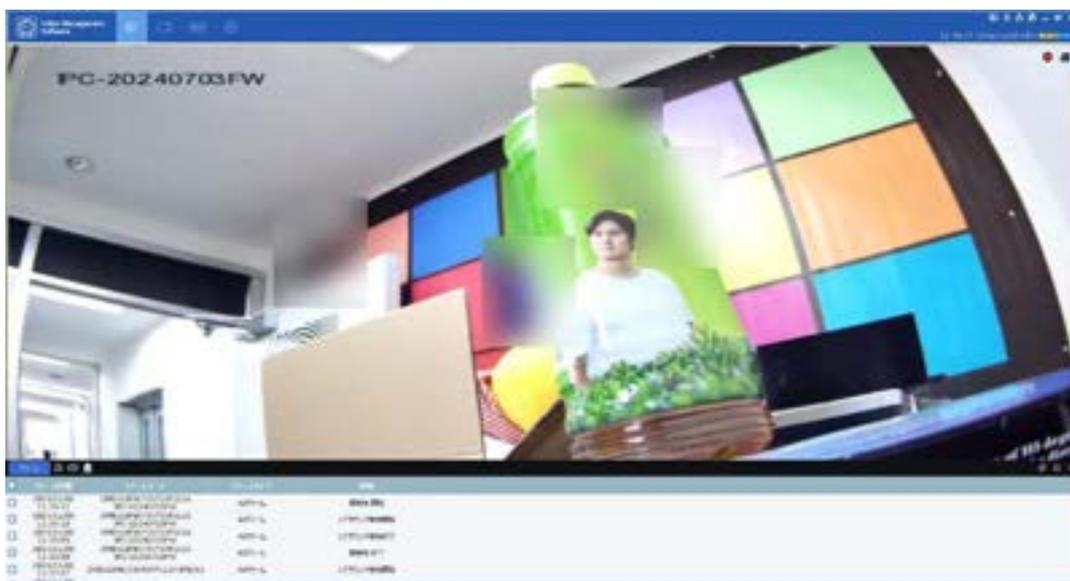


図 4-1-2b デバイスのログインでの場合のライブ画面 表示例 2



メインメニューで“ライブ画面”を選択しますと、図 4-1-1，図 4-1-2 に示しますようにリモートデバイスのライブ画面が表示されます。ライブ画面の機能の概要については、[「表 4-1 メインビュー \(メインレイアウト\) 画面 各項目説明」](#)を参照してください。

表 4-1 メインビュー（メインレイアウト）画面 各項目説明

No.	項目名	内容
	<p>デバイスツリー</p> 	 <p>デバイスグループ : root ツリーを使用してチャンネル操作します。</p> <p>カスタムグループ : 作成したカスタムグループを使用してチャンネル操作します。</p> <p>レイアウト : 自由に作成したビュー（ライブ画面のレイアウト）を使用してチャンネル操作します。</p> <hr/>  <p>検索 : デバイスツリーで表示されるデバイスをフィルタリングできます。</p>

グループ内の各デバイスの左側に表示されている ▲ アイコンをダブルクリックするとデバイスが保有する CH を展開表示します。 ▼ アイコンをダブルクリックすると展開されていたものが閉じられます。



: ログイン状態のデバイスを示します。



: ログアウト状態のデバイスを示します。



: 活線状態の CH を示します。



: 再生中の CH を示します。

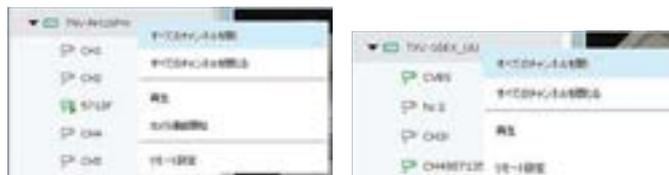


: オフライン状態の CH を示します。

ライブ画面エリアへ  や  をドラッグ、または、

 や  をダブルクリックすることでハイライト（黄色い枠の CH）されたライブ画面エリアへ CH のレイアウトが可能です。

デバイス  を右クリックして “すべてのチャンネルを開く”, “すべてのチャンネルを閉じる”, “すべてのチャンネルを開く”, “再生（録画再生）”, “すべてのチャンネルを開く”, “カメラ通話開始” カメラ通話開始を行うことが可能です。



なお、, , ,  には右クリックメニューは
 ございません。



: クリックするとログアウトします。



: クリックして再読み込みします。



: クリックするとログインします。



: クリックすると CH 名を変更できます。変更したらそのリモートデバイスに反映されます。

		 <p>-----</p> <p>デバイスツリー右側の  をクリックしてデバイスツリーを最小化させて映像エリアを広くすることが可能です。</p> <p>-----</p> <p>【注意】 “デバイスログイン” で御利用中の場合は、このデバイスツリーエリアは存在しません。</p> 
<p>2</p>	 <p>全てのチャンネルの受信停止</p>	<p>全てのチャンネルのストリーム受信を停止します。</p>
<p>3</p>	 <p>オーディオコントロール</p>	<p>オーディオのオン/オフ，音量を制御します。オーディオがオンの場合は音量バーが表示されます。</p> <p>※ ハイライトされているチャンネルがオーディオ出力されます。</p> 
<p>4</p>	 <p>シーケンス動作選択</p>	<p>選択したシーケンス動作を実行可能です。シーケンスの作成については、「第5章 クルーズ設定 (メインビュー (メインレイアウト)) のシーケンス動作設定」をご参照ください。</p>

<p>5</p>	 <p>ページ</p>	<p>複数ページのプレビュー画面のある場合にページを切り替えるために使用します。[現在のページ] / [総ページ数]。</p>
<p>6</p>	 <p>ビュー(レイアウト)操作</p>	<p>「表 4-1-1 ビュー(レイアウト) 操作一覧」の表をご覧ください。</p> 
<p>7</p>	 <p>カメラファンクショナルスイッチ</p>	<p>「表 4-1-2 カメラファンクショナルスイッチ 説明」の表をご覧ください。</p>
<p>8</p>	 <p>スマートアラート</p> 	<p>ストリーム切替スイッチ。クリックして切り替えます。</p>  : サブストリームを表示中です。  : メインストリームを表示中です。 <p>スマートアラートをオン  にすると、スマートアラートプレビューがライブ画面の右側に表示されます。  にするとスマートアラートプレビューを閉じます。詳しくは、「4.5 スマートアラート」をご覧ください。</p>  : スマートアラートがオンです。  : スマートアラートがオフです。 <hr/> <p>スマートアラートプレビューエリア右上の  ボタンをクリックしますと、素早く設定ページを表示させることが可能です。ポップアップをオンにしますと、スマートアラートがオンの場合にスマートアラートプレビューへアラートされます。</p> 

		<p>この画面は、 の  で同様に表示することが可能です。</p> <p>-----</p> <p>【注意】 “デバイスログイン” で御利用中の場合は、このデバイスツリーエリアは存在しません。</p> 
<p> 9</p>	<p> 手動アラーム</p>	<p>手動アラームを ON/OFF します。 連携システムとの動作チェックにお使いください。</p>  <p>(例)</p>
<p> 10</p>	<p> システム情報</p>	<p>図中 “1” の赤枠エリアからデバイスをクリックしてデバイスを選択状態にして、 アイコンをクリックすると、そのシステムの システム情報 / チャンネル情報 / ビデオ情報 / Network Status が閲覧可能です。</p> <p> ボタンをクリックしますと最新の情報を表示します。  で情報表示画面を閉じます。</p>

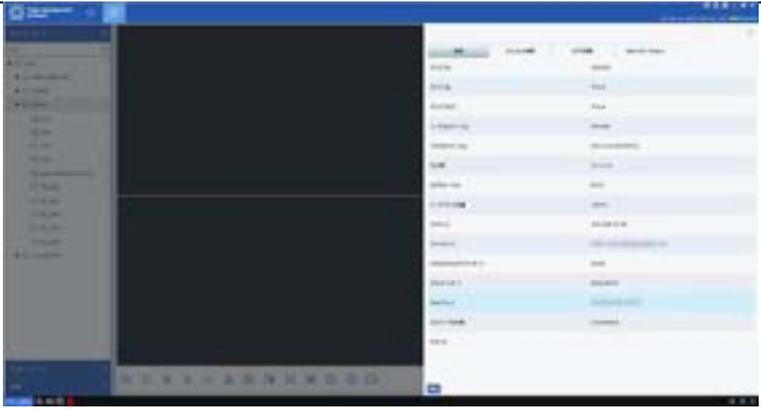
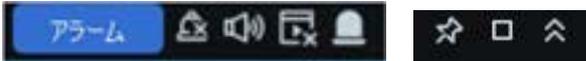
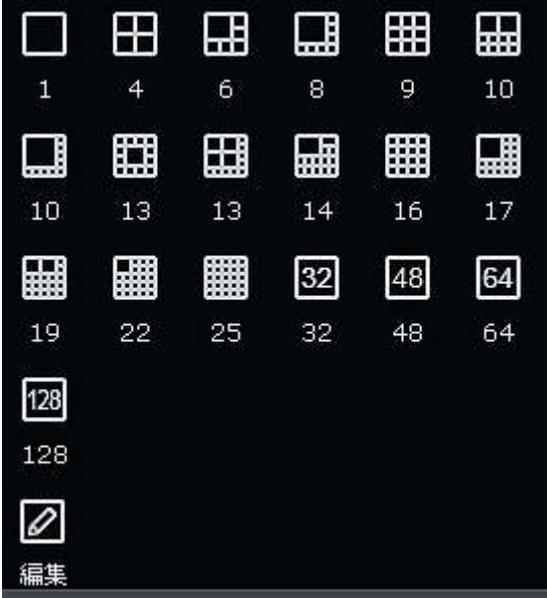
		
<p>11</p>	<p>イベントマネジメント</p>	<p>「12.1 アラーム連動 (アラーム設定)」を参照ください。</p> 
<p>12</p>	<p>カメラ クイック ツールバー</p>	<p>CHのライブ映像のエリアへマウスカーソルを持っていくと表示されます。表示される内容はカメラによって異なります。</p> <p>「表 4-1-3 カメライックツールバー 一覧」の表をご覧ください。</p>  <p>(例)</p>

表 4-1-1 ビュー(レイアウト) 操作一覧

アイコン	内容
 	<p>プレビュー画面から（映像右上部分に表示される）録画アイコン “●” の表示を表示/非表示にできます。</p> 
	<p>画面表示の比率を調整します。</p> <hr/>  映像は映像エリア全体にフィッティングされます。  映像のオリジナル比率で表示します。  映像は 4:3 の比率で表示します。  映像は 16:9 の比率で表示します。
	<p>全画面表示画面します。</p>
	<p>ウィンドウ数，レイアウトを選択します。</p> 
	<p>クリックして現在のウィンドウをビュー(レイアウト)として保存が可能です。保存したビュー(レイアウト)は、リストスイッチの [ビュー] (レイアウト)タブに追加されます。ビュー(レイアウト)とローテーションプログラムが保存されます。</p>



(“group1”へ追加する例)

①  エリアで保存先のグループを選択します。

②  アイコンをクリックし、“新しいライブ画面タブ”で保存する名称を入力して[はい]ボタンをクリックします。



(名称“Layout3”での追加例)

② 名称“Layout3”で“group1”への追加が完了した場合の例です

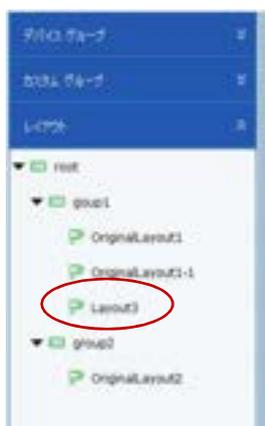


表 4-1-2 カメラファンクショナルスイッチ 説明

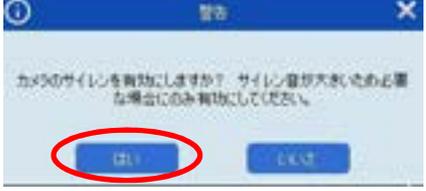
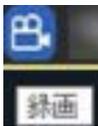
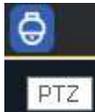
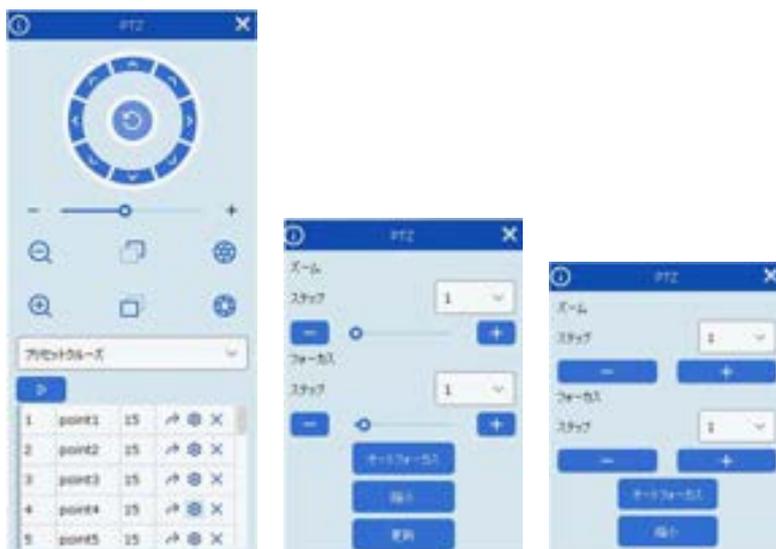
【注意】カメラが対応している場合に使用できます。	
アイコン	内容
 赤青ライト	<p>カメラに警告灯機能がある CH をハイライトさせた場合に、このボタンをクリックすると警告灯のオン/オフができます。設定されている持続時間が過ぎると消灯します。</p> <p>  : 警告灯 (赤青ライト) は動作中です。設定されている連続稼働時間が過ぎると消灯します。  : 警告灯 (赤青ライト) は消灯しています。 </p>
 ライト	<p>カメラに白色 LED が搭載されている CH をハイライトさせた場合に、このボタンをクリックすると白色 LED のオン/オフができます。</p> <p>  : 白色 LED はオンです。  : 白色 LED は消灯しています。 </p>
 サイレン	<p>カメラにサイレン機能が搭載されている CH をハイライトさせた場合に、このボタンをクリックすると、サイレンの手動制御ができます。図の赤枠のアイコンをクリックしてサイレンのオン/オフ制御を行います。サイレン音量についても 1~10 の間で調節が可能です。</p> <p>サイレンをオフからオンにする場合は警告ダイアログが表示されますので、[はい]ボタンをクリック致しますとサイレンをオンにすることができます。</p> <p>設定されている持続時間が過ぎるとサイレンはオフします。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;"> <p style="color: red;">サイレン オフ</p>  </div> <div style="margin-right: 10px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-left: 10px;"> <p style="color: red;">サイレン 動作中</p>  </div> </div>

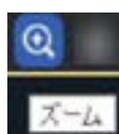
表 4-1-3 カメラクイックツールバー 一覧

アイコン	内容
	<p>【録画】</p>  <p>クリックすると、ローカル PC ストレージへすぐに手動でチャンネルを録画できます。手動で録画が行われると、アイコンは赤色になります。手動での録画を停止するには、もう 1 度クリックします。</p>
	<p>【スクリーンショット】</p>  <p>クリックすると、現在のカメラ映像のスナップショットが保存されます。</p>
	<p>【インスタント再生】</p>  <p>クリックすると、このチャンネルの最新の 10 分間の録画を簡易再生します。簡易再生画面右下の  アイコンをクリックするとライブ画面へ戻ります。</p>
	
	<p>【PTZ】</p>  <p>クリックしますと PTZ コントロールパネルを表示されます。</p>



【注意】 PTZ コントロールパネルはカメラによって表示内容が変わります。

【デジタルズーム】



クリックしてデジタルズーム機能が有効になりますと、デジタルズームアイコンはハイライト表示されて  になり、映像表示エリアがデジタルズームモードになります。

映像表示エリア内でマウスをドラッグ操作してデジタルズームする範囲を赤枠で指定すると、映像表示エリア内でマウスをドラッグ操作してデジタルズームする範囲を赤枠で指定した部分の拡大ができます。映像表示エリア内でマウスをクリックすると 100%表示にもどります。また、デ



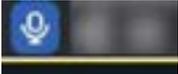
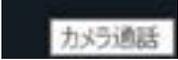
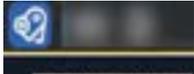
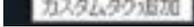
ジタルズームモードの  アイコンをクリックしていただきますと、デジタルズームアイコンはハイライト表示が解除されたデジタルズームアイコン  に変化します。同時にデジタルズームモードは終了します。



: デジタルズームモードが有効です。



: デジタルズームモードが無効です。

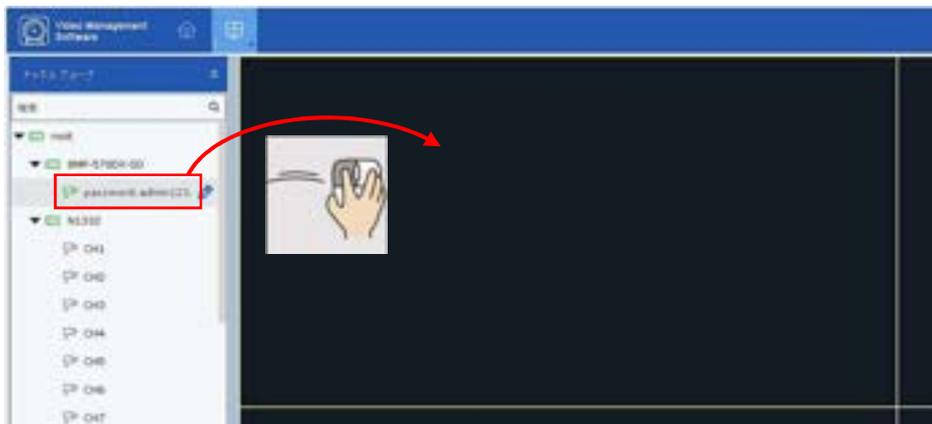
 	<p>【トーク】 クリックすると音声発話機能が開始されます。</p>   : 発話機能が有効です。   : 発話機能が有効です。
 	<p>【デバイスインターホン】 カメラが対応している場合、クリックすると音声受話機能が開始されます。</p>   : 受話機能が有効です。   : 受話機能が無効です。
	<p>【カスタムタグを追加】</p>  クリックしてカスタムタグを追加します。 
	<p>【フィッシュアイモード】</p>  フィッシュアイモードに対応したカメラの場合、このフィッシュアイモードアイコンが表示されます。  フィッシュアイモードアイコンをクリックしますと、フィッシュアイコントロールパネルが表示されます。
	<p>【フィッシュアイコントロールパネル】 魚眼</p> <p>エリア a: フィッシュアイコントロールパネル右上の  アイコンをクリックしてフィッシュアイコントロールパネルを閉じます。フィッシュアイコントロールパネルを閉じても展開モードはそのままです。</p> <p>例えば、フィッシュアイコントロールパネルで“4PTZ”に展開表示していた場合にそのままフィッシュアイコントロールパネル右上の  アイコンをクリックしてフィッシュアイコントロールパネルを閉じるとその CH 表示は 4PTZ に展開表示されたままとなります。</p> <p>もしも、元のストリーム現映像に戻したい場合には“エリア c”で、原映像アイコン  をクリックしてからフィッシュアイコントロールパネルを閉じる必要があります。</p> <p>エリア b: 設定モードを選択します。</p> <p>エリア c: 展開モードを選択します。  アイコンはストリームの原映像を表示するモードです。</p>

4.2 ライブ画面

(1) ライブ画面を開く

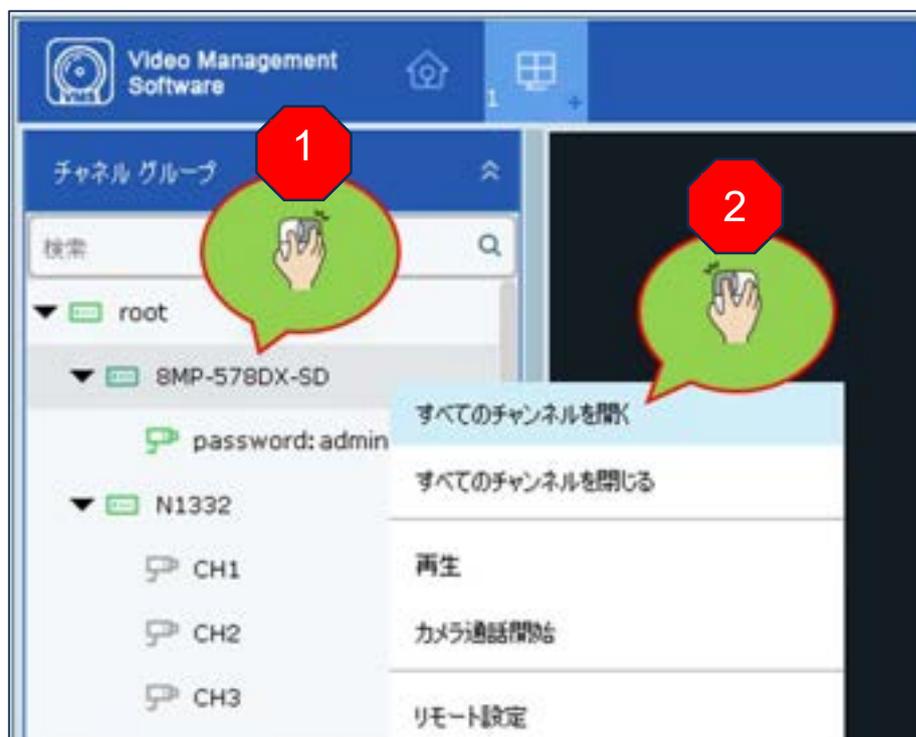
次の方法いずれかの方法でプレビューを開くことが可能です。

- ・対象のライブ画面ウィンドウを選択（ライブ画面の CH 枠が黄色の枠でハイライトされます）し、デバイスリスト領域で対象のデバイスをダブルクリックします。



- ・デバイスリスト領域からデバイスを対象のライブ画面ウィンドウへドラッグします。

- ・デバイスグループの選択を右クリックし、**すべてのチャンネルを開く** をクリックすることでデバイスの全チャンネルのライブ画面ウィンドウを開くことができます。

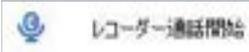


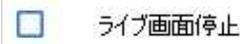
(2) ライブ画面での操作

ライブ画面状態でサポートされている操作につきましては、[「表 4-2 ライブ画面操作」](#)を参照してください。

表 4-2 ライブ画面操作

No.	項目	内容	操作
1	 手動 キャプチャ	手動キャプチャの静止画ファイルは“システム設定”の“ファイル設定”で設定された内容で保存されます。	ライブ画面のカメラクイックツールバーにある画像切り取りアイコン  をクリック、又は、右クリックして  をクリックすると手動による静止画キャプチャが可能です。
2	 手動録画	手動録画のビデオファイルは、“システム設定” > “ファイル設定”で設定された内容で保存されます。	ライブ画面のカメラクイックツールバーにある、ウィンドウ内の  アイコンをクリックまたは右クリックして  をクリックで手動録画を開始します。  をクリックする、または、右クリックして  をクリックで手動録画を停止にします。
3	 デジタル ズーム	デジタルズーム機能	ライブ画面のカメラクイックツールバーにあるデジタルズームアイコン  をクリックし、マウスの左ボタンでズームする領域をドラッグします。 100%ズームに戻すにはライブ画面でクリックします。 もう一度、  アイコンをクリックするとデジタルズーム機能を終了します。
4	 カメラ通話	※カメラ通話機能のご利用には、デバイスとPCの両方でマイクとスピー	ライブ画面のカメラクイックツールバーにあるカメラ通話アイコン  をクリック、または、右クリックメ

	<p>カメラ通話</p>	<p>カーが整っている必要があります。</p>	<p>ニューの  をクリックしカメラ通話機能をご利用可能です。</p> <p>ご利用後は、もう一度カメラ通話アイコン  をクリックするか、右クリックメニューの  をクリックすることでカメラ通話機能を終了します。</p>
<p>5</p>	<p> レコーダー通話</p>	<p>※カメラ通話機能のご利用には、デバイスとPCの両方でマイクとスピーカーが整っている必要があります。</p>	<p>ライブ画面のカメラクイックツールバーにあるレコーダー通話アイコン  をクリック、又は、ライブ画面上で右クリックして  をクリックするとレコーダー通話機能をご利用可能です。</p> <p>ご利用後は、もう一度レコーダー通話アイコン  をクリックするか、ライブ画面上で右クリックし、  をクリックすることでレコーダー通話機能を終了します。</p>
<p>6</p>	<p> カスタムタグ追加</p>	<p>カスタムタグ追加機能</p>	<p>ライブ画面のカメラクイックツールバーにある“カスタムタグを追加”  アイコンをクリックします。</p> <p>“タグ付けする”ダイアログが表示されますのでタグ名を入力します。</p>  <p>※ タグ検索で検索して再生することができます。</p> <p>※ <u>レコーダーやカメラ本体では、漢字/カタカナ/ひらがなを入力して検索することができません。</u> このためタグ名には英数字</p>

			のみで保存することをお勧めします。
7	 クイック再生	<p>現在のライブ画面チャンネルの最新の直前 10 分間の録画を簡易再生します。</p> <p>【注意】 クイック再生機能は同時に 1 つの CH でのみ使用可能です。何れかの CH でクイック再生を行っている時に他の CH はクイック再生機能を利用することはできません。</p>	<p>ライブ画面で、カメラクイックツールバーの [再生] アイコン  をクリックします。</p> <p> プログレスバーをドラッグして再生位置を変更可能です</p> <p> をクリック致しますと再生を一時停止します。</p> <p> はミュート状態/音声出力中を示します。アイコンをクリックして切替えることができます。</p> <p>戻るアイコン  は再生状態を終了してライブ画面へ戻します。</p>
8	選択 CH のストリーム受信停止	1 つの CH のストリーム受信を停止したい場合	<p>ストリーム受信を停止したい CH のライブ映像上で右クリックし、  ライブ画面停止 をクリックします。</p>
9	デバイス単位でのストリーム受信停止	デバイス単位でのストリーム受信を停止したい場合	<p>デバイスグループのデバイス  上で右クリックして、  すべてのチャンネルを閉じる をクリックしますとそのデバイスの全ての CH のストリーム受信を停止します。</p>
10	 全チャンネル停止	全てのデバイスの全ての CH のストリーム受信を停止したい場合	<p>画面の下にある全チャンネル停止アイコン  をクリック致しますと全てのデバイスの全ての CH のストリーム受信を停止します。</p>
11	 全画面表示	ライブ画面を全画面表示する場合	<p>全画面表示アイコン  をクリック、又は、ライブ画面上で右クリックして  全画面表示 を選択します。</p>

			<p>1画面表示，マルチ画面表示どちらも全画面表示が可能です。全画面表示を解除して元の画面へ戻すには、右</p> <p>クリックして  全画面表示を終了 をクリックする、又は、キーボードのESCキーをストロークすると元に戻ります。</p>																																																												
<p>12</p>	<p> 画面比率の変更</p>	<p>画面表示のスケールを調整します。</p>	<p>ライブ画面の下にある画面比率の変更アイコン  をクリックして、さらに表示された項目から適用したいアスペクト比を選択します。</p> <p> : 全画面ウィンドウ (画面フィッティング)</p> <p> : 元の比率</p> <p> : 4:3の比率</p> <p> : 16:9の比率</p>																																																												
<p>13</p>	<p> ウィンドウの分割数/レイアウトを選択します</p>	<p>1ページのウィンドウに表示されるウィンドウの数とレイアウトを選択します。</p>	<p>ライブ画面の下にあるレイアウトアイコン  をクリックして、分割数/画面レイアウトを選択できます。</p> <div data-bbox="853 1198 1332 1736" style="background-color: black; color: white; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>22</td> <td>25</td> <td>32</td> <td>48</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>128</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>編集</td> <td colspan="5"></td> </tr> </table> </div> <p>さらに、  編集 でオリジナルのレイアウトが作成可能です。詳しくは、[4.2.1 カスタムセグメンテーション編集] をご覧ください。</p>							1	4	6	8	9	10							10	13	13	14	16	17							19	22	25	32	48	64							128												編集					
																																																															
1	4	6	8	9	10																																																										
																																																															
10	13	13	14	16	17																																																										
																																																															
19	22	25	32	48	64																																																										
																																																															
128																																																															
																																																															
編集																																																															

	<p>画面調整</p>	<p>当ソフトウェアのライブ画面上での明るさ，コントラスト，彩度，色調を調整することが可能です。</p> <p><u>“名称”タブ以外はデバイス側へ反映されません。</u></p>	<p>① 調整したいCHのライブ画面上で右クリックして  映像設定 を選択します。</p> <p>② 「映像設定」ダイアログがポップアップ表示されます。</p> <p>③ “カラー”タブで画面調整、“名称”タブで画面 OSD 表示を調整します。</p> <p>※ リモートデバイスが対応していない項目は表示されません。リモートデバイスが対応していない項目は調整できません。</p>
<p>14</p>	<div data-bbox="411 757 1295 1388" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div data-bbox="411 1451 1295 1792" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  </div>		



			
15	<p>フィッシュアイビュー (フィッシュアイ用表示レイアウト)モード設定</p>	<p>このオプションは、フィッシュアイのCHにのみ使用できます</p>	<p>ライブ画面上で右クリックし、 魚眼 をクリックします。</p> <p>設定したい展開モードを選択します。</p> <p>詳細につきましては、「第 11 章 フィッシュアイビュー(フィッシュアイ用表示レイアウト)モード」を参照してください。</p>
16	<p>フィッシュアイマウントモード (フィッシュアイ設置モード) 設定</p>	<p>このオプションは、フィッシュアイのCHにのみ使用できます。</p>	<p>ライブ画面上で右クリックし、 魚眼 をクリックします。</p> <p>デバイス設置状況に応じて、設置モードを選択します。詳細については「第 11 章 フィッシュアイモード」を参照してください。</p>
17	<p>映像ストリーム切替え (チャンネル別)</p>	<p>CH がサポートしているストリームが選択できます。</p>	<p>映像ストリームを切替えたいライブ画面のチャンネル上で右クリックしてストリームを切替えます。</p> 

4.2.1 カスタムセグメンテーション編集

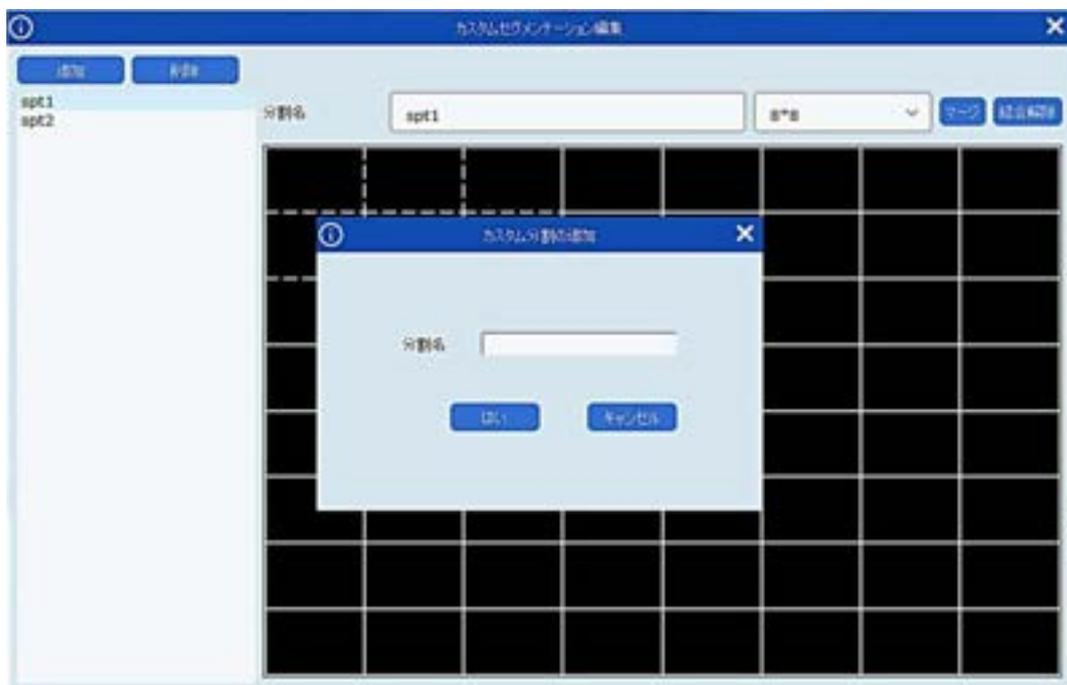


をクリックして、ビュー(レイアウト)をカスタム作成できます。

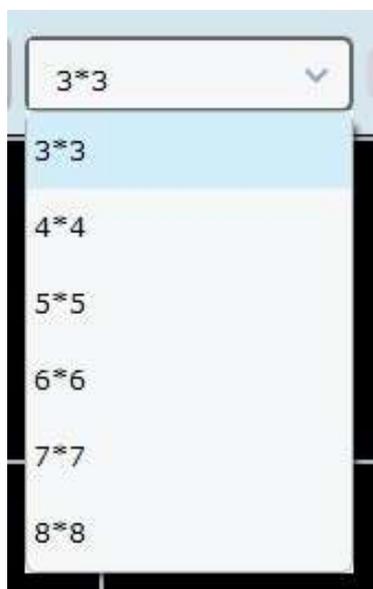


図 4-2-1 カスタムセグメンテーション編集

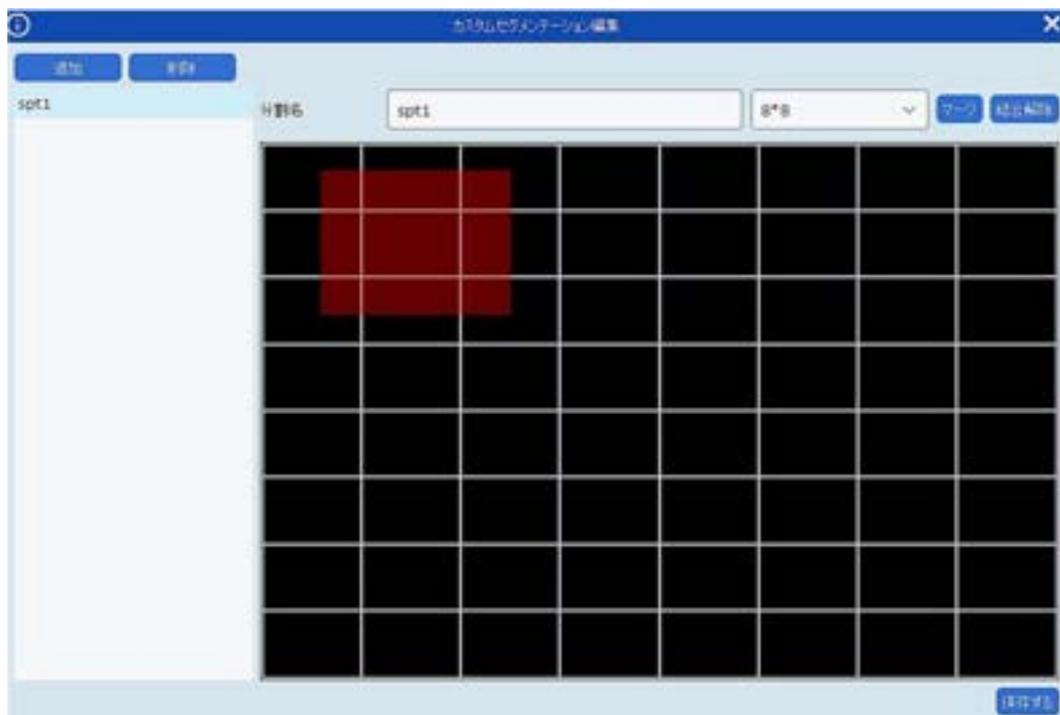
ステップ1: 追加をクリックしてカスタムセグメンテーションの名称を入力し、“はい”をクリックします。既存のカスタムセグメンテーションを編集する場合には、左側ペインより編集対象のカスタムセグメンテーション名を選択状態にします。



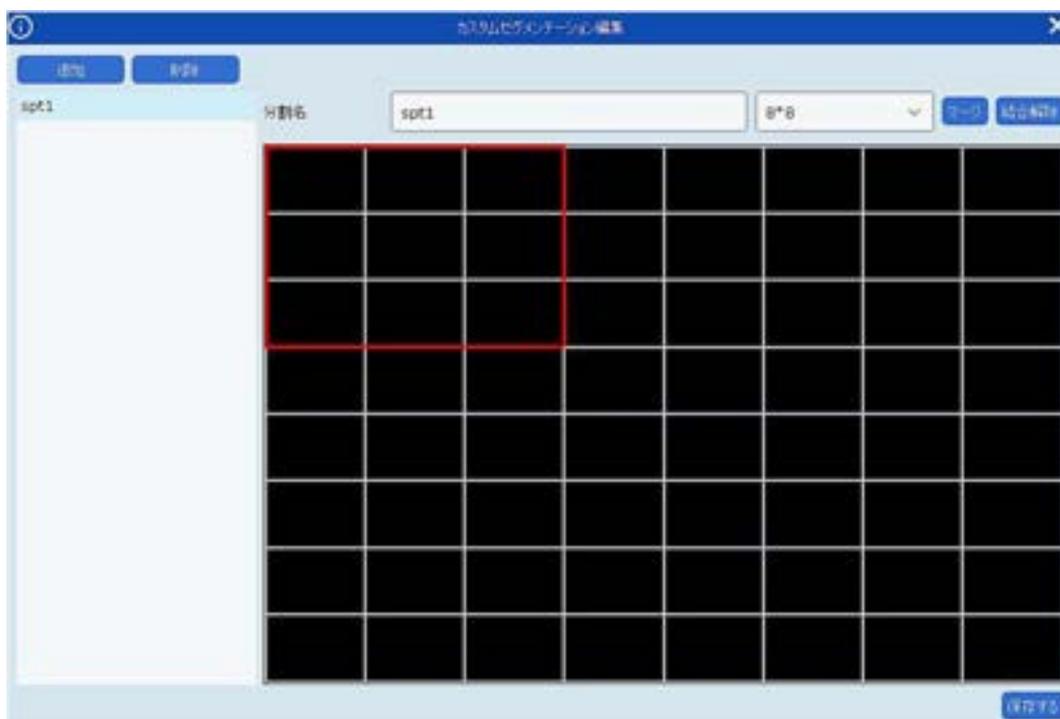
ステップ2: ベースの分割数を選択します。



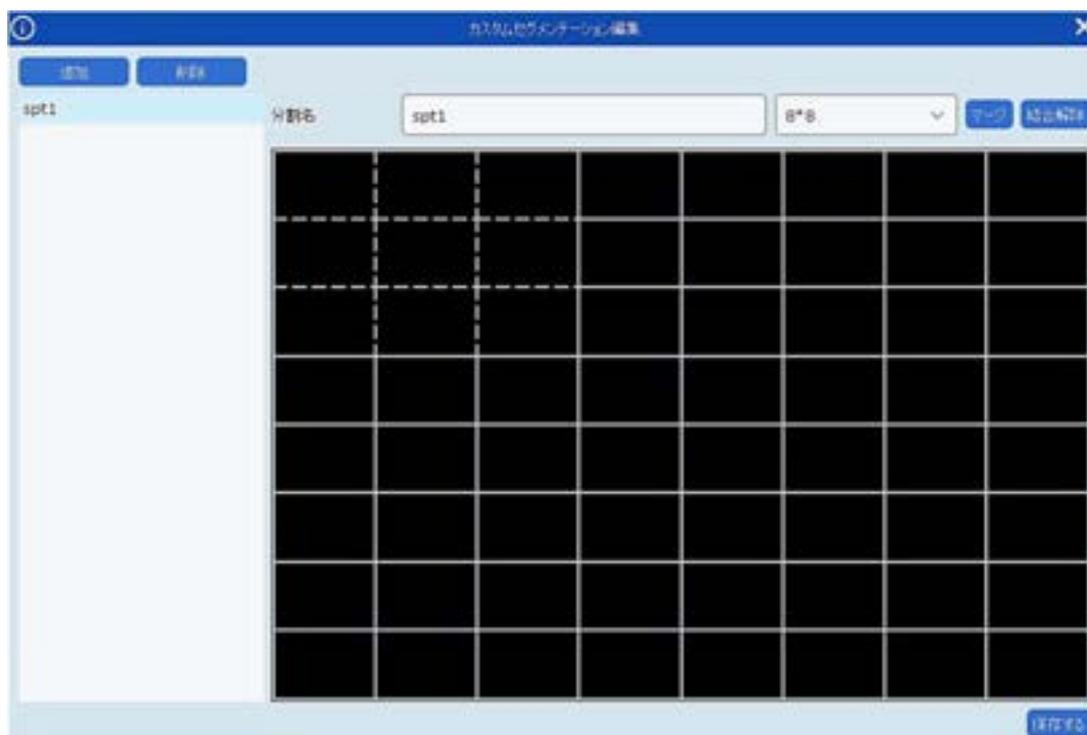
ステップ 3: マージ (結合) する場合はマージする部分をマウスでドラッグします。



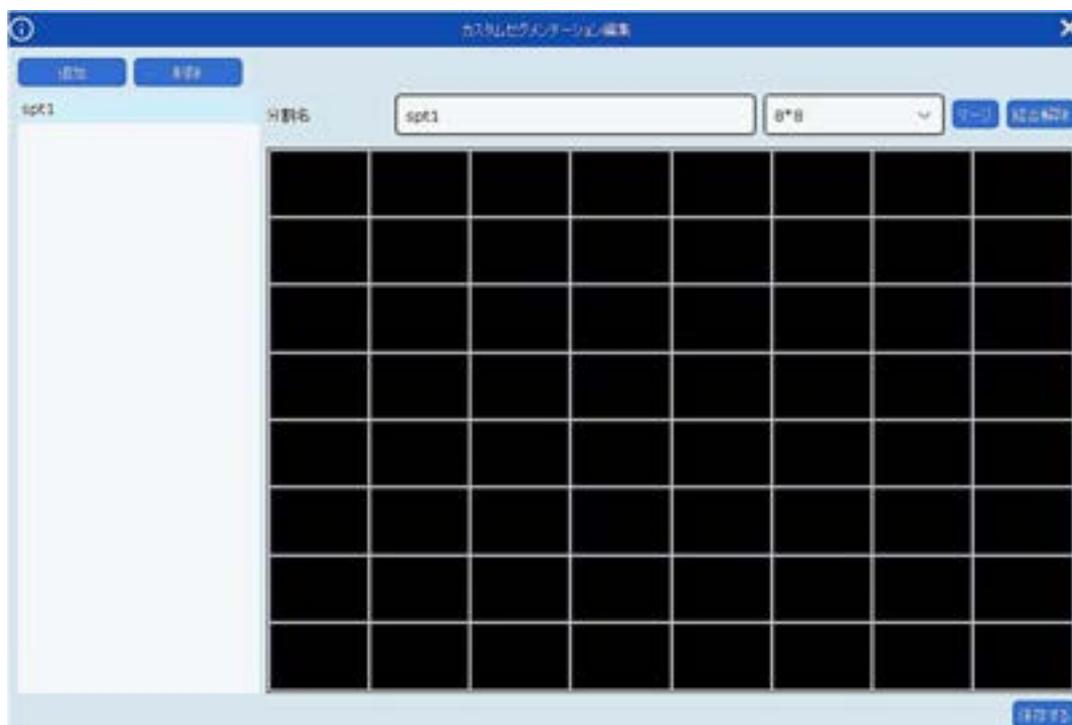
ステップ 4: “マージ” をクリックします。マスの単位でマージが可能です。

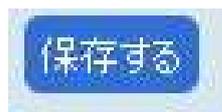


ステップ5: マージされた部分は破線表示されます。



ステップ6: 元に戻す場合は同様にマージ部分を選択後、“結合解除”をクリックします。



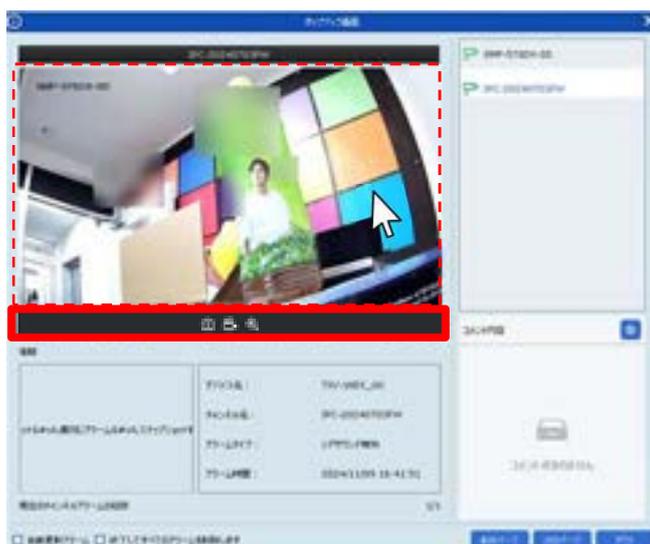
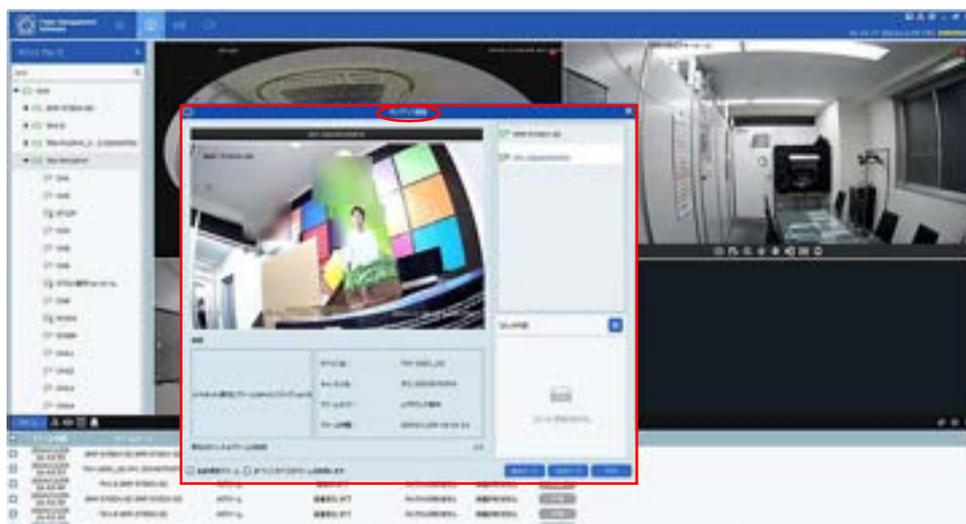
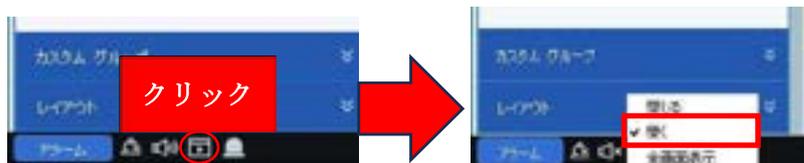


ステップ7: ボタンで編集を確定します。保存されたら“保存しました”ポップアップが表示されます。



4.2.2 ポップアッププレビュー機能

 アイコンで「開く」を選択中の場合には、トリガの際にポップアッププレビューが表示されます。



さらに、ポップアッププレビューの映像エリア（赤点線枠内）へマウスカーソルを持っていくと映像エリア下部（赤実線枠の位置）へ、

- スクリーンショットアイコン



- 手動録画アイコン



- デジタルズームアイコン



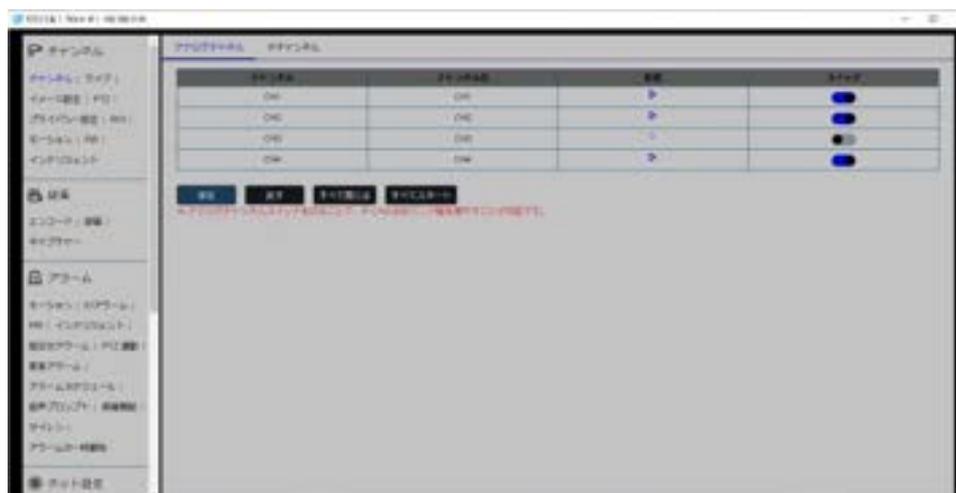
が表示されます。

4.2.3 (マウス右クリックメニューまとめ)

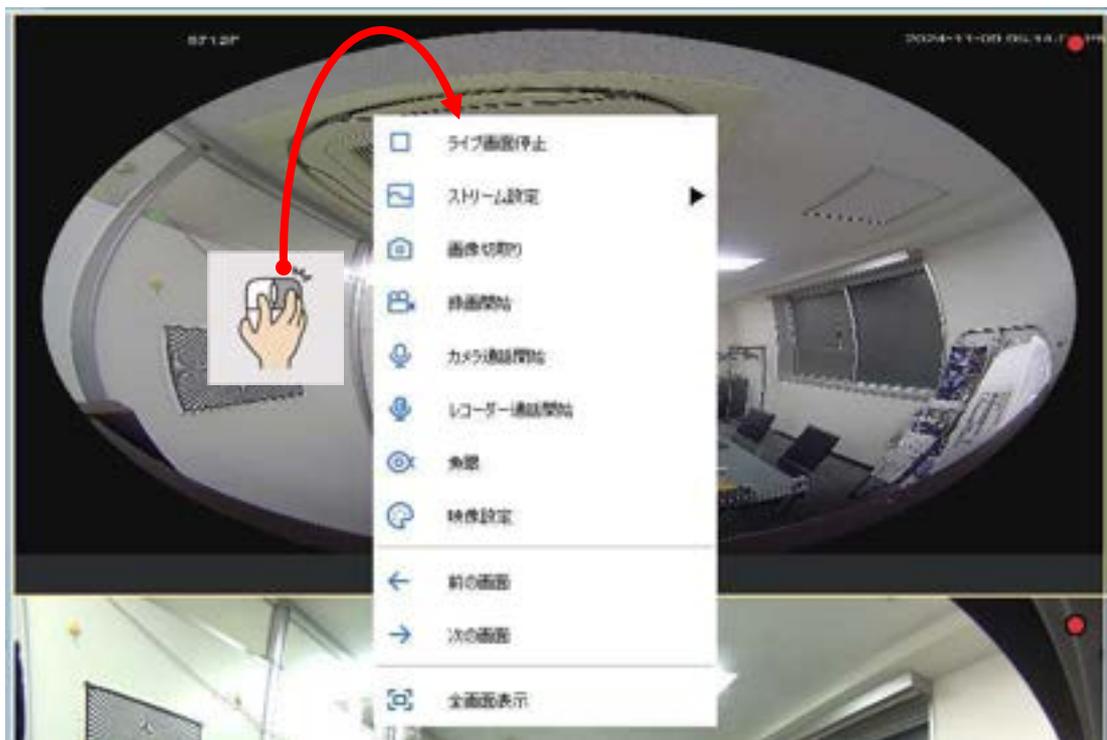
4.2.3.1 デバイスグループエリアでのマウス右クリックメニュー



項目	内容
すべてのチャンネルを開く	デバイスの全チャンネルのライブプレビュー（ライブ画面）ウィンドウを開くことができます。
すべてのチャンネルを閉じる	そのデバイスグループの全てのストリーム受信を停止します。
再生	そのデバイスグループのリモート録画再生を開始  します。再生画面へ移行します。
カメラ通話開始 カメラ通話停止	そのデバイスとのトーク機能の開始/停止。 トーク機能は1つのデバイスと開始できます。他のデバイスでトーク機能を使用するには現在のデバイスでのトーク機能を停止してから使用可能になります。
リモート設定	そのデバイスのリモート設定画面を開きます。



4.2.3.2 CH 上でのマウス右クリックメニュー



項目	内容
 ライブ画面停止	その CH のプレビューを停止します。 
 画像切取り	その CH のスクリーンショットを撮影します。
 録画開始  録画停止	その CH のローカル録画を開始/停止します。
 カメラ通話開始  カメラ通話停止	その CH のデバイスとのカメラ通話機能の開始/停止。 カメラ通話機能は1つのデバイスと開始できます。他のデバイスでカメラ通話機能を使用するには現在のデバイスでのカメラ通話機能を停止してから使用可能になります。

 <p>映像設定</p>	<p>デバイスが対応している場合、その CH の</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CH タイトル (名称) 編集 ● CH タイトル OSD の表示/非表示 ● CH タイトル OSD の表示位置調整：右側の映像エリアで CH タイトル OSD を直接マウスでドラッグして位置を調整します。 ● 日時表示 OSD の表示/非表示 ● 日時表示 OSD の表示位置調整右側の映像エリアで日時 OSD を直接マウスでドラッグして位置を調整します。 <p>が可能です。</p> <p>変更を適用するには  ボタンをクリックします。</p> 
 <p>カラー</p>	<p>その CH のビデオ設定を行います。デバイスが対応している項目を設定可能です。</p> 
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: flex; align-items: center; gap: 5px;">  映像設定 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: flex; align-items: center; gap: 5px;"> カラー </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: flex; align-items: center; gap: 5px;">  色相 (色合い) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: flex; align-items: center; gap: 5px;">  輝度 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: flex; align-items: center; gap: 5px;">  コントラスト </div> </div>	

	 サチュレーション (彩度)	 (シャープネス)
	デバイスに対応している項目を設定可能です。	
 ライト		
		
白 色 L E D	暖色ライト : 無効 (白色 LED) : 有効	ストロボ頻度 : 低 中間 高い
サイ レ ン	点灯モード モード : ストロボモード	サイレン : 無効 有効
	レベル  5	
警 告 灯	赤青ライト (警告灯) : 無効 有効	

4.3 レイアウト追加・編集

ライブ画面で **レイアウト** タブをクリックして、カスタムレイアウト表示を設定できます。

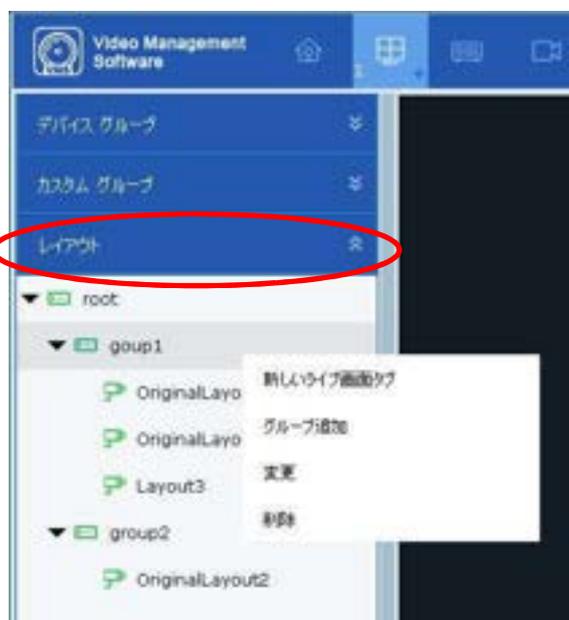


図 4-3 レイアウト (カスタマイズド レイアウト)

ステップ 1: グループの追加

レイアウト **レイアウト** の“root”を右クリックし、「新しいグループ」を選択してグループを追加します(図 4-4 参照)。

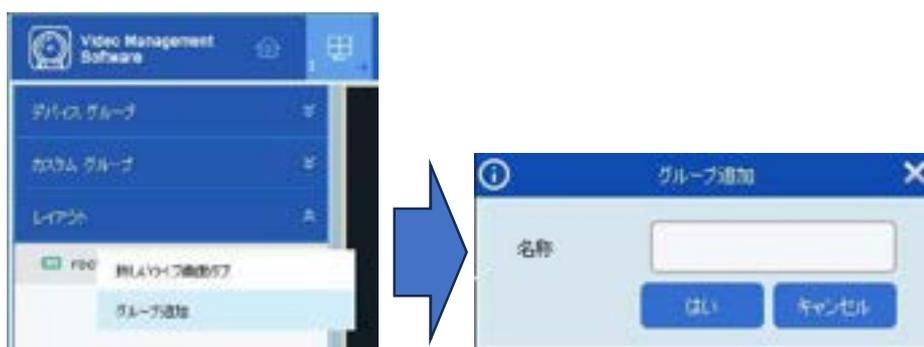


図 4-4 グループの追加

新しいグループ名を入力し、[はい]ボタンをクリックするとグループが作成されます。グループ名には半角英数字のみが使用可能です。

ステップ2: レイアウトを追加する

図 4-5 に示しますように、作成したグループで右クリックして [新しいライブ画面タブ] を選択して、「レイアウト追加」画面を開きます。

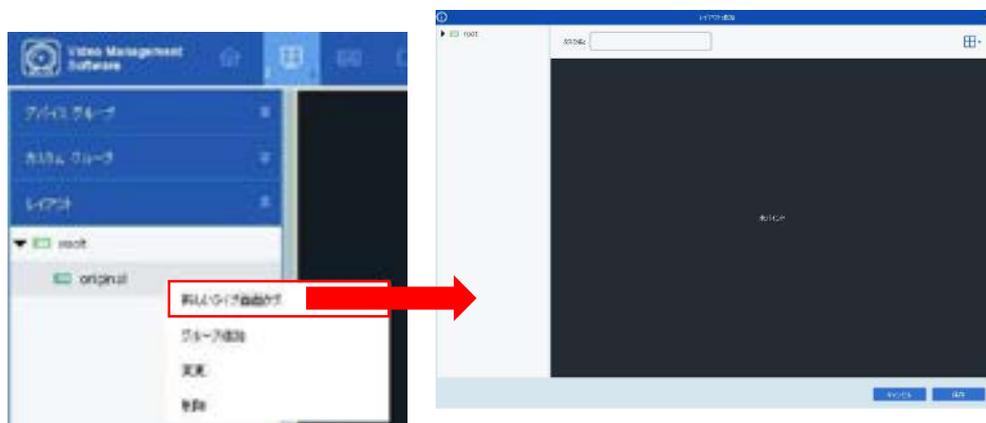


図 4-5 「レイアウト追加」画面

右上の [ ページングの切り替え] より画面分割数を選択します。左側のデバイスツリーより、ビュー(レイアウト)へチャンネルをドラッグしてバインド (CH の割当て) します。バインドされたビュー(レイアウト)へはバインドされたチャンネル名とストリーム種別が表示されます。

(レイアウト例)



バインドの解除（CH 割当て解除）及び登録するストリームの切替（変更）は、対象のビュー（レイアウト）上で右クリックしてその右クリックメニューから実行します。



“プラン追加”画面上部の へこのビュー

(レイアウト)の登録名称を入力し、 ボタンをクリックして作成したビューシート(レイアウト)を保存します。

ステップ3: ビューシート(レイアウト)を変更・削除する

変更・削除するビュー(レイアウト)の右クリックメニューより行います。



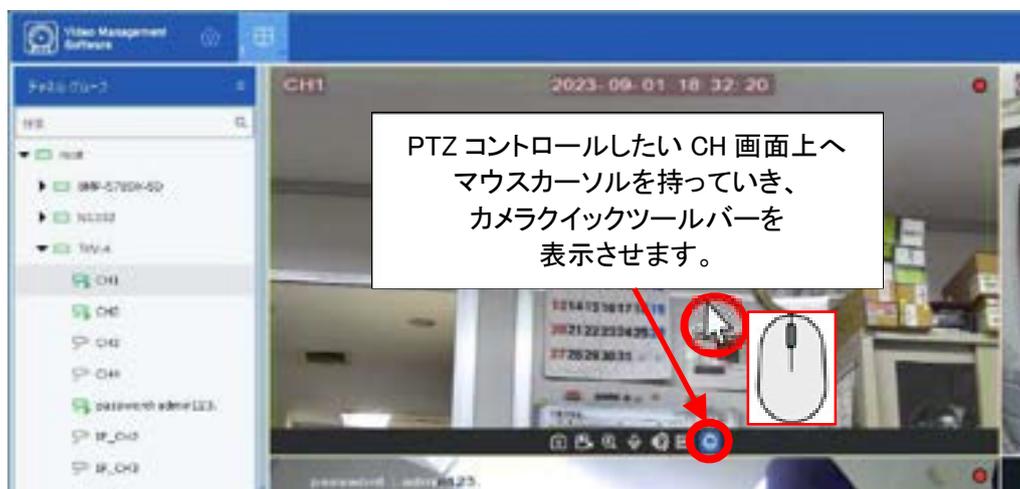
ステップ 4: ビューシート(レイアウト)のプレビュー切り替え

ビューシート(レイアウト)をダブルクリックしてそのビュー(レイアウト)へ切り替えます。



4.4 PTZ コントロール画面

ステップ 1: PTZ コントロール画面



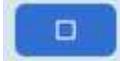
ライブプレビュー画面で、カメラクイックツールバーから [PTZ]  アイコンをクリックして PTZ コントロールパネルを表示します。デバイスに応じてサポートされる機能が異なります (画面はデバイスに応じて変化します)。



図 4-6 PTZ コントロール(画面はデバイスに応じて変化します)

表 4-4 PTZ コントロール機能の概要

No.	項目名	内容
1	 PTZ コントロールパネル	<p>PTZ ウィンドウを選択し、方向ボタンのいずれかをクリックして視野角を調整します。</p> <p>PTZ ウィンドウを選択し、 をクリックして自動スキャンを有効にします。もう一度クリックすると、自動スキャンを停止します。</p>
2	ズーム、 フォーカス、 アイリス	 ズームとフォーカスの速度を調整します。  : ズーム  : フォーカス  : アイリス
3	 3D 位置	<p>3D ポジション。3D 位置機能が有効の間はアイコンがハイライト状態  になり、次の操作が可能になります。</p> <p>3D 位置機能は、ライブ画面で画面の中央にしたい位置をマウスでクリックしますと、PTZ カメラはクリックされた位置が画面の中央となるように自動でパンチルトします。</p>
4	 オートフォーカス	<p>オートフォーカス。PTZ カメラの焦点を自動的に設定するには、このボタンをクリックします。</p>
5	 PTZ リセット	<p>PTZ リセット。このボタンをクリックしてクルーズプリセット ポイントを初期化します。</p>
6	 レンズリセット	<p>レンズリセット。このボタンをクリックしてレンズを初期化します。</p>
7	 ワンクリックウォッチ	<p>ワンクリックウォッチ。このボタンをクリックすると、ワンクリックウォッチを実行します。</p>

8		<p>オートフォーカスを実行します。</p>
9	クルーズ	<p>クルーズシーケンス機能。最大 255 個のプリセットを追加できます。</p> <p>  : プリセットシーケンスを開始します。 </p> <p>  : プリセットシーケンスを停止します。 </p> <p>  : 【GoTo】 プリセットを単独実行します。 </p> <p>  : 【Add Preset】 プリセットを登録します。 </p> <p>  : 【Delete Preset】 プリセットを削除します。 </p>

4.5 スマートアラート

スマートアラートをオン  にすると、スマートアラートプレビューがライブ画面の右側(図 4-7 の **1** の赤枠領域)に表示されます。  にするとスマートアラートプレビューを閉じます。

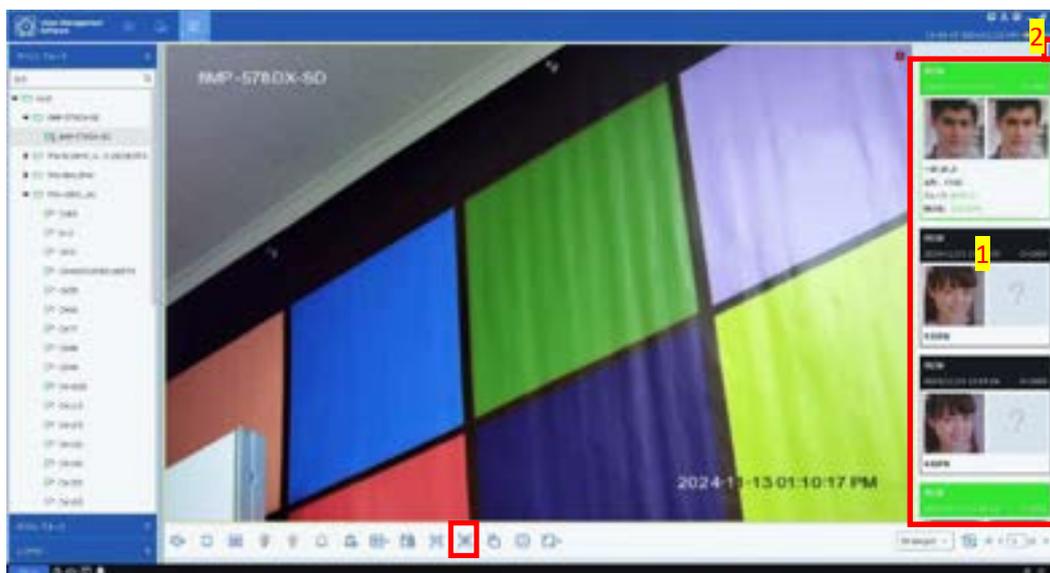
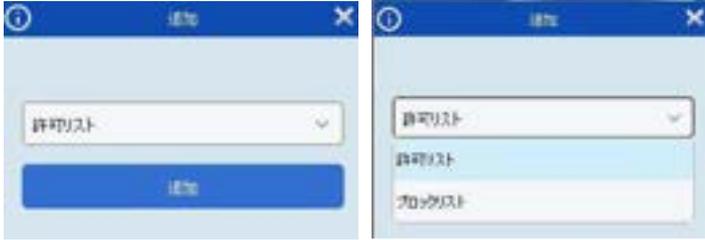


図 4-7 スナップチャート

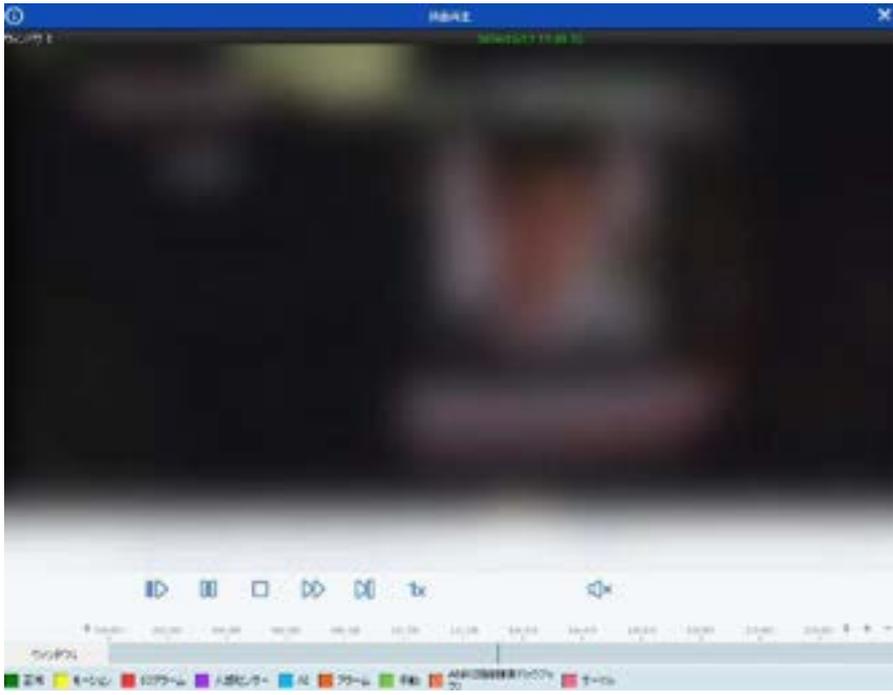
スマートアラートプレビュー上でサムネイルを右クリックすると、右クリックメニューが開きます。



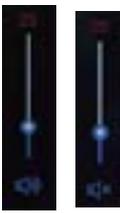
項目	内容
追加	<p>未登録者をグループ（データベース）へ追加します。</p> 
編集	<p>登録データを編集できます。</p> <p>ブラウザ で 1 のサムネイル画像を変更できます。</p> <p>追加 で顔画像を追加できます。追加の顔画像は 2 へ表示されます。追加の顔画像にチェックを入れて 削除 ボタンをクリックしますと追加の顔画像を削除できます。</p> 
詳細情報	<p>追加 でグループ（データベース）へ顔データを追加できます。</p> <p>変更 でグループ（データベース）の登録データを変更できます。</p>



アラームの前後のビデオを再生します。



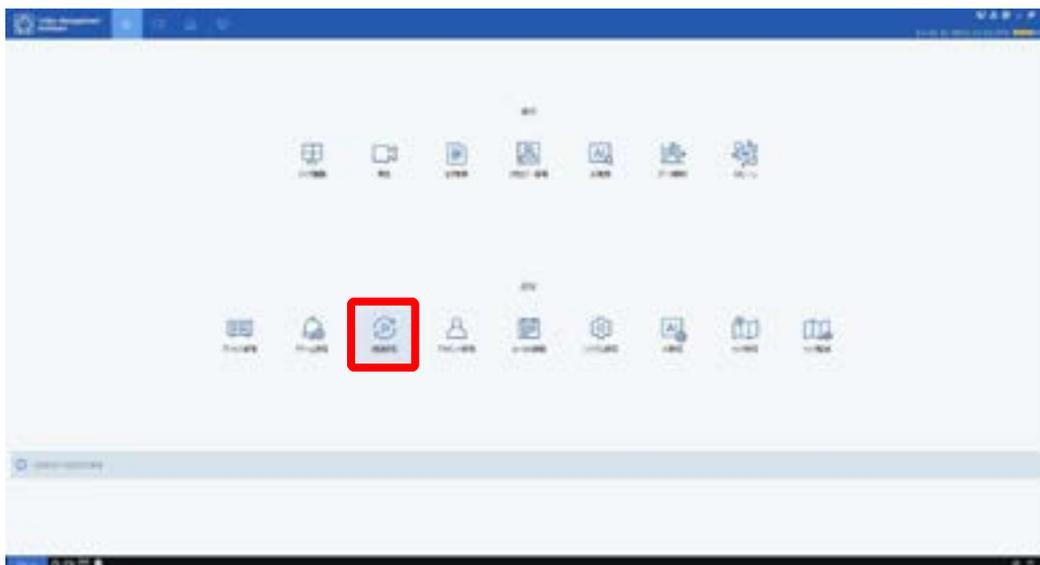
再生

	ビデオ再生開始		ビデオ再生一時停止
	ビデオ再生停止		ビデオ再生早送り
	シングルフレーム フォワードビデオ 再生		ビデオスロー再生
 再生速度表示			
 	 オーディオのオン/オフ。 “オン” の場合は音量を調整できます。		
	キャプチャ		ローカルへのビデオ録画
	 アイコンをクリックするとマウスカーソルが になり、デジタルズームモードになります。マウス操作 		

		<p>でデジタルズームする範囲を赤枠で指定すると、拡大ができます。クリックで 100%表示にもどります。  アイコンをもう一度クリックしてデジタルズームモードを終了します。</p> 
		再生プログレスバーの精度が高くなります。
		再生プログレスバーの精度が低くなります。
	 , 	プログレスバー表示時間領域を移動できます。

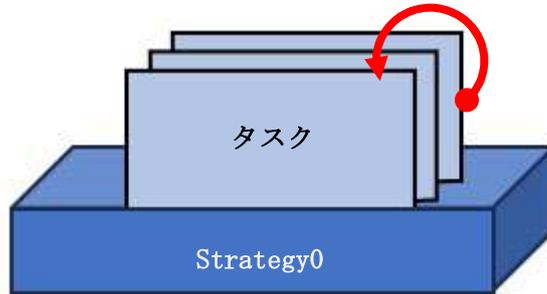
第5章 クルーズ設定（メインビュー（メインレイアウト）のシーケンス動作設定）

クルーズ設定でメインビュー（メインレイアウト）のシーケンス動作を設定できます。メインメニューで「クルーズ設定」を選択します。



5.1 シーケンス動作設定

“シーケンス”は“タスク”で構成されていて、シーケンス動作はこのタスクを順番に実行していきます。



カセット式ゲーム機で例えますと、ゲーム機のカセットは“シーケンス (Strategy0)”に該当し、“タスク”はカセット内のゲームのプログラムに該当します。



ステップ 1: デフォルトでは「Strategy0」という名前のシーケンスが作成されています（図 5-1-1）。シーケンス名を変更するには、対象ツアーの編集アイコン  をクリックします。シーケンスを削除するには、対象シーケンスの削除アイコン  をクリックします。



図 5-1-1 シーケンス設定画面

ステップ 2: シーケンス動作設定を行います。（複数のレコーダーや IP カメラを含めたマルチ構成をサポートします）

- (1)  をクリックすると、図 5-1-2 に示しますように「タスク追加」インターフェイスが表示されます。
- (2) 「タスク名」と「タスク時間」を設定し、ウィンドウ数を  より選択します。タスク時間はそのタスクを何秒間表示させるかの設定になります。

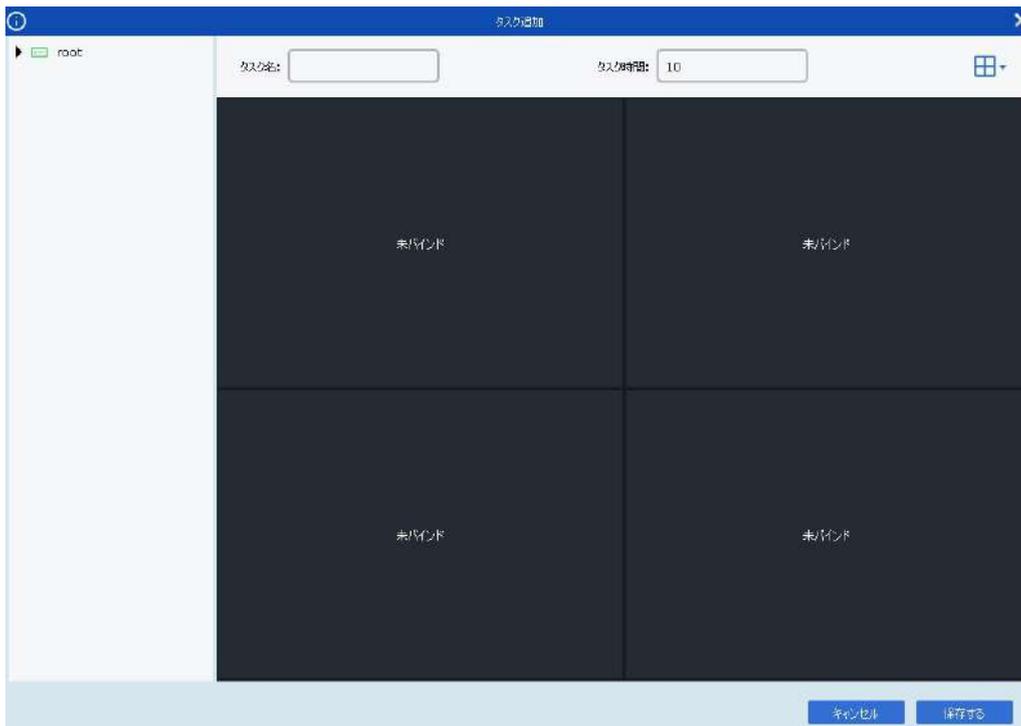


図 5-1-2 シーケンスのタスク追加

- (3) 図 5-1-3 に示しますように、デバイスのチャンネルを必要な順序でビデオウィンドウにドラッグしてバインドします。

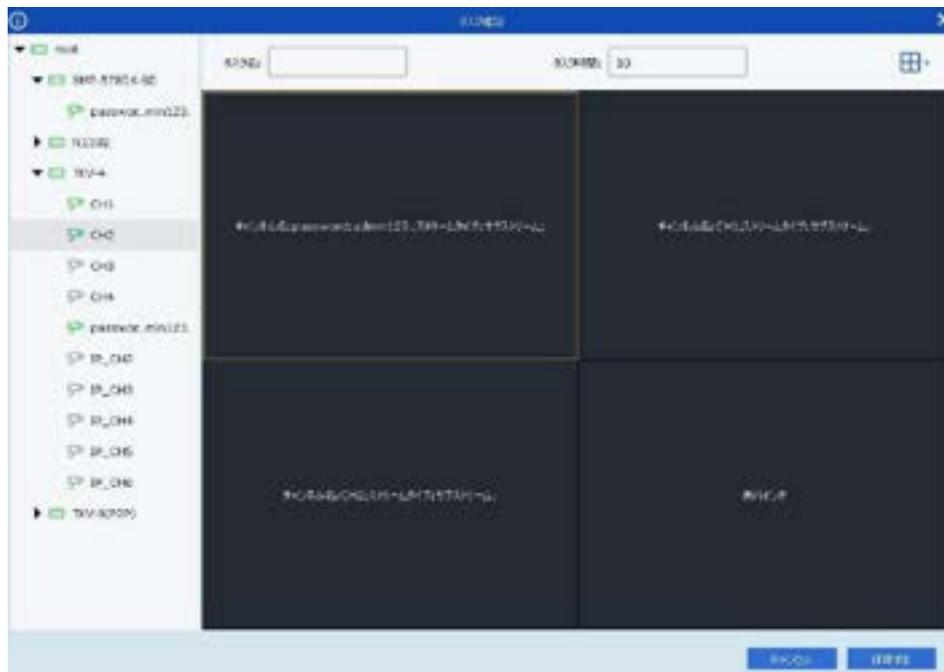


図 5-1-3 チャンネル バインディング

レイアウト上で右クリックしてバインドの編集が可能で、ストリームの選択もシーケンスに含めることが可能です。



- (4) 図 5-1-4 に示しますように、“保存” をクリックしてシーケンスのセットアップを完了します。

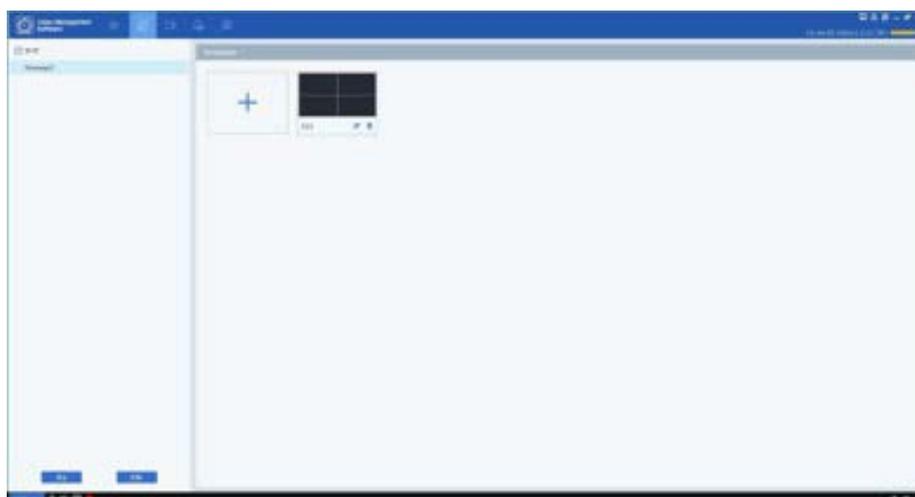
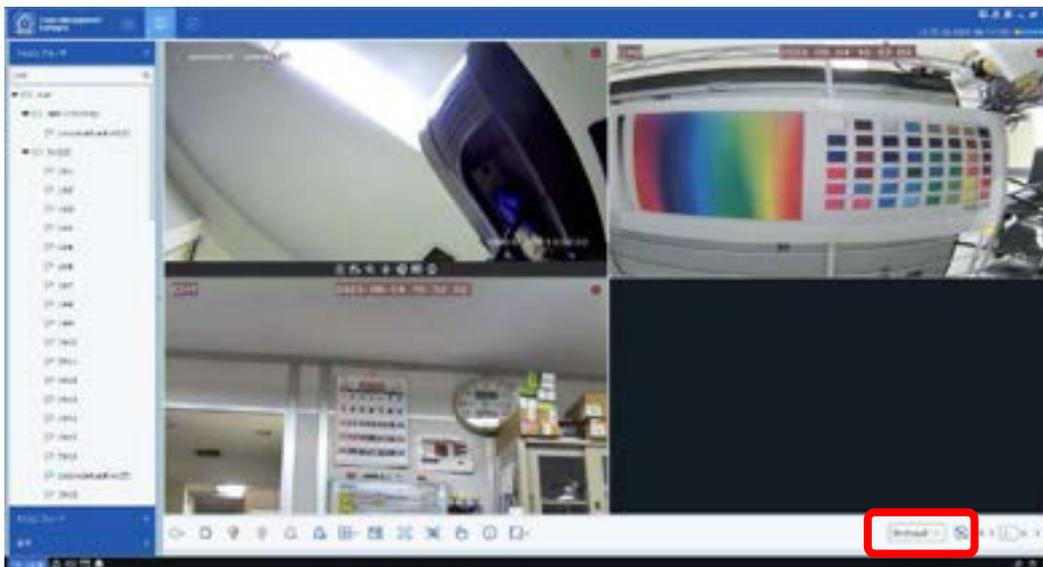


図 5-1-4 シーケンス設定完了

5.2 シーケンスの実行

作成したクルーズ設定はライブ画面で使用できます。

ライブ画面で動作させるシーケンス名を選択して巡回アイコンをクリックします。



ステップ 1: ライブ画面を選択すると、プレビュー画面が表示されます。

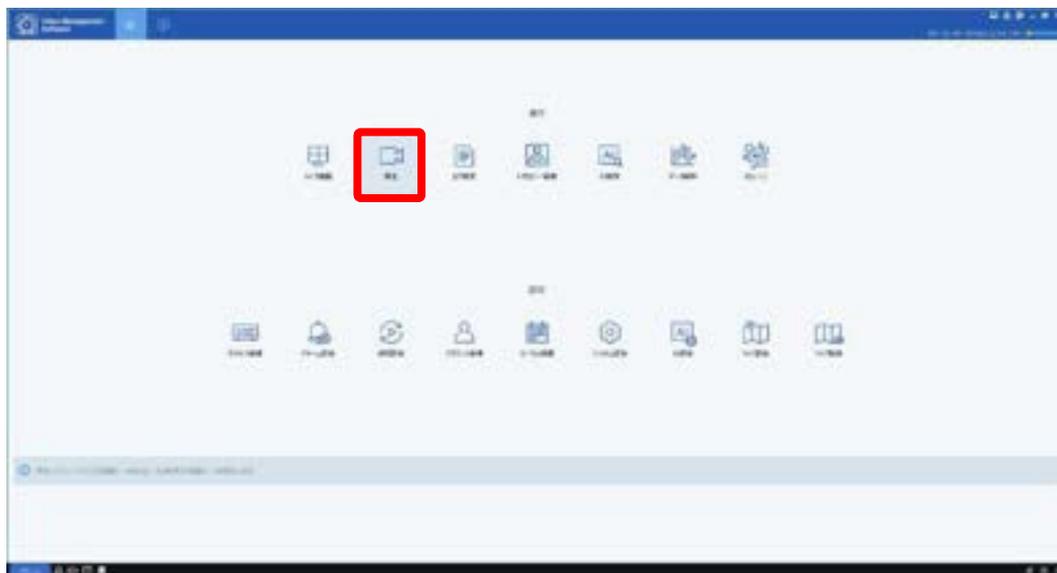
ステップ 2: ライブ画面下にあるシーケンス名を  よりプルダウン選択します。

ステップ 3: 巡回アイコン  アイコンをクリックすると、そのシーケンスを開始します。

ステップ 4: 巡回アイコン  アイコンをクリックすると、シーケンスを停止します。

第6章 リモートデバイスにある録画データのリモート再生

メインメニューで、“再生”をクリックします。リモートデバイス/PCの基本検索/スマート検索/画像検索/タグ検索/イベント検索/バックアップが可能です。



6.1 リモート再生（基本検索・画面説明）

リモートデバイスの録画/画像を検索して再生およびエクスポートできます。リモート録画再生画面を図 6-1 に示します。各インターフェイス機能の概要は「[表 6-1 再生画面の項目説明](#)」を御参照ください。

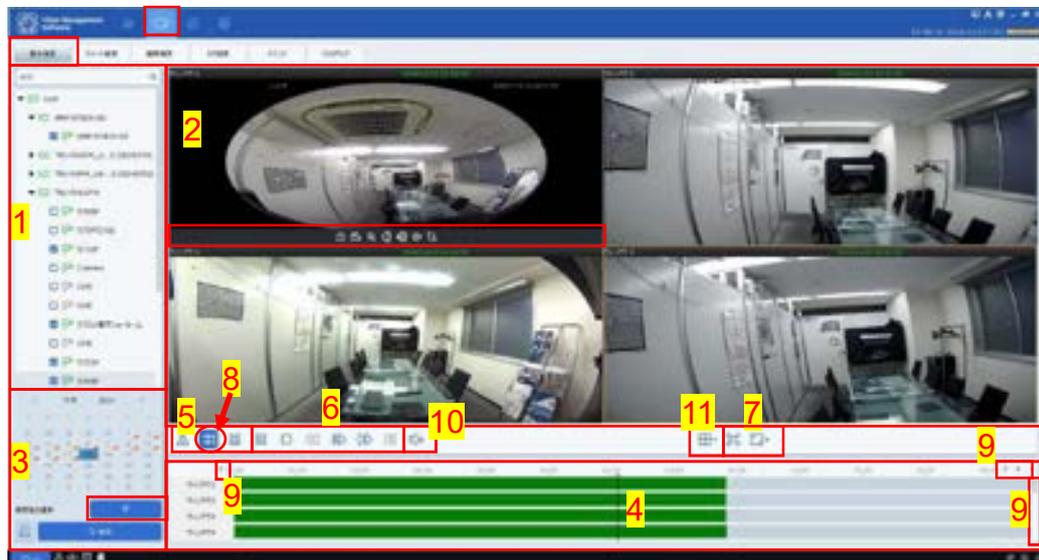


図 6-1 リモート録画再生画面



図 6-2 リモート録画再生画面の検索条件

表 6-1 再生画面の項目説明

No.	機能	内容	操作
1	デバイスツリー	デバイス/チャンネルを表示します。	デフォルトのデバイスグループの設定につきましては、 「第8章 システム設定：アカウントログイン」 を参照してください。
2	再生 ウィンドウ イック ツール バー	ビデオ再生表示領域へマウスカーソルを持っていくとビデオ再生表示領域下部に表示されます。 (ビデオ再生表示領域へマウスカーソルをホバーさせるとビデオ再生表示領域下部に表示されます)	キャプチャー 開いているビデオウィンドウを選択し、  アイコンをクリックまたは右クリックして  キャプチャーをクリックしますと、クリックした時点での画像を1枚キャプチャします。
			デジタルズーム クリックすると  になり、デジタルズームモードになります。マウス操作でデジタルズームする範囲を赤枠で指定すると、拡大ができます。クリックで100%表示にもどります。  アイコンをクリックして  アイコンに戻すとデジタルズームモードを終了します。 
			再生停止 再生がオンになっているビデオウィンドウを選択し、  アイコンをクリックします。または、右クリックして  再生停止をクリックします。
			ローカル PC へのビデオ録画 再生がオンになっているビデオウィンドウを選択し、  アイコンをクリック、または右クリッ

				<p>クして  録画開始をクリックします。</p>
			<p>フィッシュアイ機能</p>	<p>再生がオンになっているビデオウィンドウへマウスカーソルを持って行ってカメラクイックツールバーを表示させ、表示させたカメラクイックツールバーにある魚眼アイコン  をクリックします。又は、ビデオウィンドウで右クリックしてその右クリックメニュー内の   を選択します（フィッシュアイ機能をサポートするデバイスのCHで使用可能です）。</p>
			<p>全画面表示</p>	<p> アイコンをクリック、またはマウスの右クリックで  全画面表示 を選択します。</p>
			<p>タグの追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デフォルトタグ ・カスタムタグ 	<p>用途に応じて  デフォルトタグ追加 または  カスタムタグ追加 をクリックします。画面の指示に従ってタグを設定します。</p> <p> デフォルトタグ追加、 カスタムタグ追加 アイコンは、再生がオンになっているビデオウィンドウへマウスカーソルを持って行ってカメラクイックツールバーを表示させ、表示させたカメラクイックツールバーにあります。</p>
			<p>画面切り取り</p> <p>※ スクリーンショット機能 (Snipping Tool)</p>	<p>画面切り取りアイコン  をクリックすると、マウスカーソルが通常のマウスカーソル  から画面切り取り用マウスカーソル  に変化します。この状態でスクリーンショットする範囲（赤枠表示されます）をドラッグします。ドラッグしたら、画面切り取りポップアップ画面が表示されます。</p>

				 <p>画面切り取りポップアップ画面で“保存”ボタンをクリックしますと画面切り取りポップアップ画面で表示されていた画像がPCへ保存されます。やり直す場合は“アウト”ボタンをクリックして最初から画面切り取りをやり直してください。</p> <p>画面切り取りアイコンは、再生がオンになっているビデオウィンドウへマウスカーソルを持って行ってカメラクイックツールバーを表示させ、表示させたカメラクイックツールバーにあります。</p>
<p>3</p>	<p>検索条件の指定</p>	<p>ビデオまたは画像の検索条件を指定します。</p>	<p>①[デバイス]タブで、検索対象のデバイスを選択状態<input checked="" type="checkbox"/>にします。</p> <p>②検索ボタン左側のアイコンを (リモート検索)  にします。</p> <p></p> <p>③ビデオ検索/画像検索の場合は、日付の右下隅に赤マーカーのある日付はデータが存在する日になります。データが存在する日を選択対象日として選択することができます。ハイライトされてる日付はハイライトされてる日が検索対象日として選択されていることを示します。</p>	 

			<p>キャプチャの種類、ストリーム (main/sub)、検索対象日時、同期再生の有無を設定し、[検索] をクリックします。</p> <p>※ビデオ検索/画像検索の場合は、開始時刻と終了時刻の間隔は1日以内での検索が可能です。</p>	
4	プログレスバー	再生状況表示	<p> : 再生プログレスバーの精度が高くなります</p> <p> : 再生プログレスバーの精度が低くなります</p>	
			<p> ,  : プログレスバー表示時間領域を移動できます</p>	
5	バックアップ	必要に応じて録画をカットまたはエクスポートします	デバイスの録画をエクスポートします	<p>「6.3 デバイス録画データをローカルへエクスポートする」を参照してください。</p>
			デバイスの録画をカットします	
6	コントロールバー	録画の再生方法とサウンドを制御します	<p>再生制御の全チャンネル同期をオン/オフします。</p> <p> : 非同期中です。</p> <p> : 同期中です。</p> <p>【注意】同期再生中  は“逆早送り”  と“シングルフレームフォワード再生ビデオ”  は使用できません。</p>	
			<p> 再生ビデオを開始します。</p>	
			<p> ビデオを逆早送りします。</p> <p>【注意】同期再生中は使用できません。</p>	

				再生ビデオを一時停止します。
				録画の再生を停止します。
				1フレーム進める。 【注意】同期再生中は使用できません。
				早送り再生ビデオ。
			 魚眼	フィッシュアイモードで再生します。
				フィッシュアイモードで再生します。
				ビデオをスロー再生します。
7	ウィンドウコントロール	ビデオウィンドウの表示モードを設定します		必要なビデオウィンドウの表示モードと数を選択します。
			 または 全画面表示	ビデオウィンドウの全画面表示モード。
8	同期制御		 , 	再生制御の全チャンネル同期をオン/オフします。  : 同期中です。  : 非同期中です。
9	再生プログレスバー制御	再生プログレスバーの時間精度と時間帯移動		 : 再生プログレスバーの精度が高くなります。  : 再生プログレスバーの精度が低くなります。  : プログレスバー表示時間領域を移動できます。

<p>10</p>	<p>サウンド</p>	 	<p>サウンドのオン/オフ</p> 
<p>11</p>	<p>フィッシュアイ</p>	<p>フィッシュアイ機能</p>	<p>再生がオンになっているビデオウィンドウを選択するか、 アイコンをクリックまたは右クリックメニューの [魚眼]を選択します (フィッシュアイ機能をサポートするデバイスのみ使用可能です)。</p>

6.2 リモート再生（基本検索・操作説明）

デバイスに録画データが存在する場合は、この機能が使用可能です。

ステップ1: リモート再生画面で  タブを選択します。

ステップ2: デバイスグループで対象のデバイスチャンネルを選択します。

ステップ3: 検索ボタン左側のアイコンを  (リモート検索) にします。

ステップ4: 検索条件を設定して検索します。  ボタンをクリックすると検索を実行します。

ステップ5: 録画のあるウィンドウを選択し、  アイコンをクリックして録画の再生を開始します (図 6-2)。



図 6-2 ビデオ再生中

※ リモート録画再生モードはデフォルトでは各 CH 間は同期再生されません。同期再生を有効にする場合は図 6-1 の 8 の領域のアイコンを有効化 () します。

6.3 デバイス録画データをローカルへエクスポートする

デバイスへデータが存在する場合はこの機能が使用可能です。

(1) 任意期間の録画データのダウンロード

- ステップ 1: リモート再生で  タブを選択します。
ステップ 2: 対象のデバイスチャンネルを選択します。

- ステップ 3: 検索ボタン左側のアイコンが  (リモート検索) にします。

- ステップ 4: 検索条件を設定して検索します。  ボタンをクリックしますと検索を実行します。

- ステップ 5: 録画のあるウィンドウを選択し、  アイコンをクリックして録画の再生を開始します (図 6-2)。

- ステップ 6:  アイコンをクリックし、エクスポート対象の CH (縦) とエクスポート対象の期間 (横) をプログレスバー上で選択します。



図 6-3-1 ビデオのエクスポート

- エクスポート対象の CH と時間帯を選択後、  アイコンをクリックして、ビデオのエクスポートを行います (図 6-3-1)。

ステップ 7: “録画ファイルのダウンロード”画面が出ますので、バックアップ期間/ビデオファイル形式/保存先パラメータを設定して[はい]ボタンをクリックします。

 ボタンをクリックしてエクスポート先を選択します。



図 6-3-2 録画ファイルのダウンロード画面

ステップ 8: “録画ファイルを暗号化する必要がありますか？”画面が表示されます。録画ファイルを暗号化する必要がある場合は[はい]ボタンをクリックします。録画ファイルを暗号化する必要が無い場合は[いいえ]ボタンをクリックします。[いいえ]ボタンをクリックした場合は“ステップ 10”へお進みください。

[はい]ボタンをクリックした場合は録画ファイルを暗号化するためのパスワードを設定する必要があります。

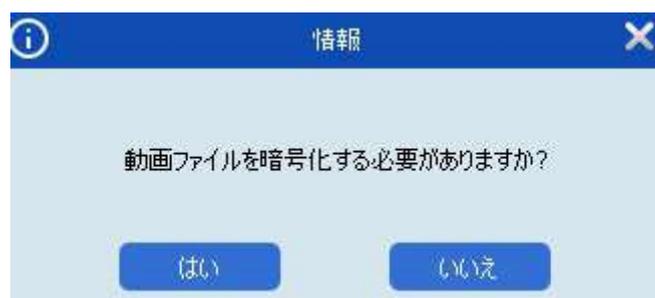


図 6-3-3 録画ファイルを暗号化する必要がありますか？”画面

ステップ 9: “録画ファイルを暗号化する必要がありますか？”で[はい]ボタンをクリックした場合は“暗号化”画面が表示されますので“暗号化”画面でビデオのパスワードを設定します。このパスワードはバックアップした後でビデオ再生を行う際に必要ですので、大切に大事に保管してください。



ステップ 10: ビデオのバックアップが開始されます。
アップの進捗を確認出来ます。

バックアップ

画面でバック

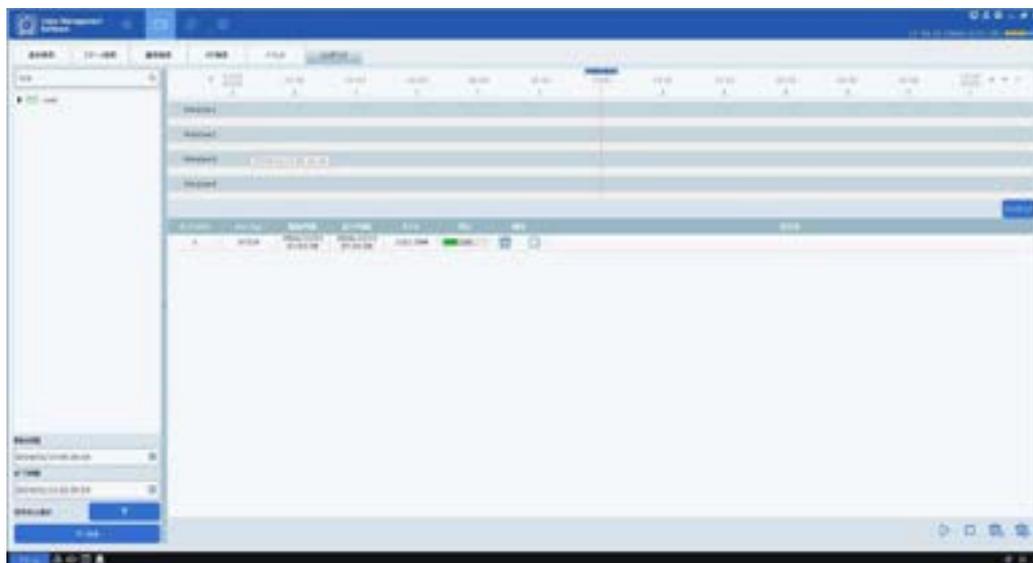
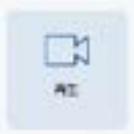
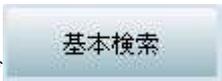


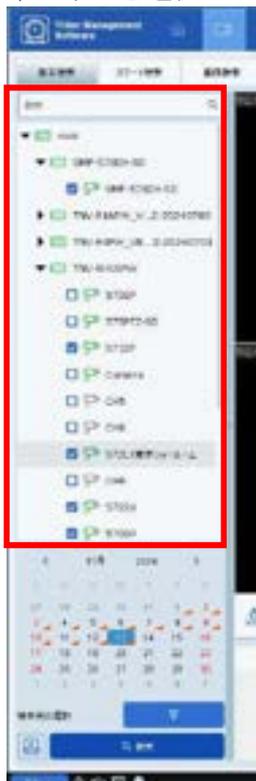
図 6-3-4 ビデオのバックアップ進捗画面

(2) デバイスの動画ファイル単位によるダウンロード

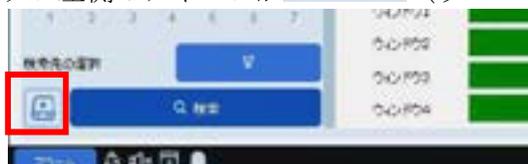
基本検索されたビデオはダウンロードが可能です。

ステップ1: 再生画面  で、基本検索タブ  を選択します。

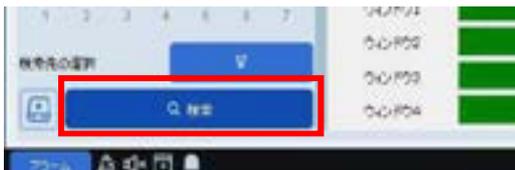
ステップ2: 対象のデバイスチャンネルを選択します。



ステップ3: 検索ボタン左側のアイコンが  (リモート検索) にします。

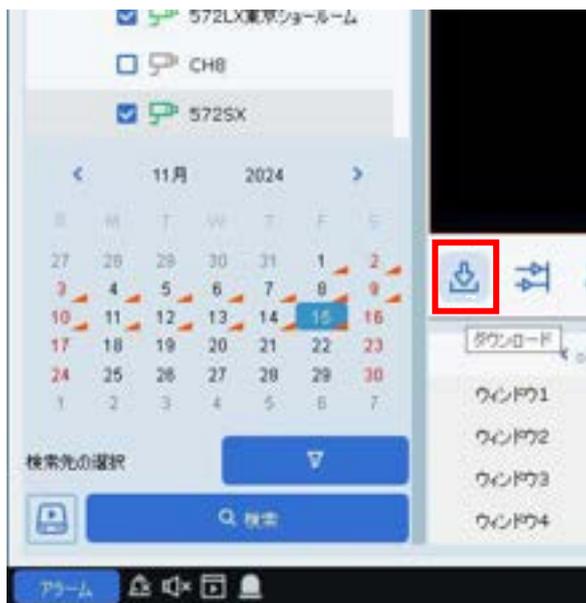


ステップ4: 検索条件を設定して検索します。検索ボタン  をクリック致しますと、検索を実行します。



ステップ 5: 録画データのあるウィンドウを選択し、再生コントロールツールバー

の  アイコンをクリックします。



チャンネルの検索期間のすべての録画ファイルがポップアップ表示されます (図 6-3-5)。

ウィンドウ	開始時刻	終了時刻	サイズ	状態	操作
<input type="checkbox"/> 1	2024/11/13 00:00:00	2024/11/13 09:12:45	54.33M	ダウンロード済み	
<input type="checkbox"/> 2	2024/11/13 09:32:45	2024/11/13 09:33:43	1015.61M	ダウンロード済み	
<input type="checkbox"/> 3	2024/11/13 09:33:43	2024/11/13 11:48:47	1015.62M	ダウンロード済み	
<input type="checkbox"/> 4	2024/11/13 11:48:47	2024/11/13 15:44:30	1015.64M	ダウンロード済み	
<input type="checkbox"/> 5	2024/11/13 15:44:30	2024/11/13 17:47:24	729.05M	ダウンロード済み	

チャンネル: CH8
 検索期間: 140M
 保存先: C:\

図 6-3-5 録画ファイルのダウンロード

ステップ 6: ダウンロードしたい録画ファイルの“インデックス”列のチェックボックスへチェックを入れます。... ボタンをクリックするとダウンロード先を選択できます。そして、ビデオファイル形式を選択して[ダウンロード]ボタンをクリックします。

ステップ 7: “録画ファイルを暗号化する必要がありますか？”画面が表示されます。録画ファイルを暗号化する必要がある場合は[はい]ボタンをクリックします。録画ファイルを暗号化する必要が無い場合は[いいえ]ボタンをクリックします。[いいえ]ボタンをクリックした場合は“ステップ 9”へお進みください。

[はい]ボタンをクリックした場合は録画ファイルを暗号化するためのパスワードを設定する必要があります。

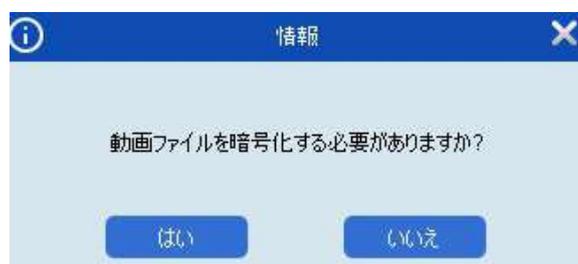


図 6-3-6 “録画ファイルを暗号化する必要がありますか？”画面

ステップ 8: “録画ファイルを暗号化する必要がありますか？”画面で[はい]ボタンをクリックした場合は“暗号化”画面が表示されますので“暗号化”画面でビデオのパスワードを設定します。このパスワードはバックアップした後でビデオ再生を行う際に必要ですので、大切に大事に保管してください。



ステップ 9: ビデオのバックアップが開始されます。



画面でバックアップの進捗を確認出来ます。

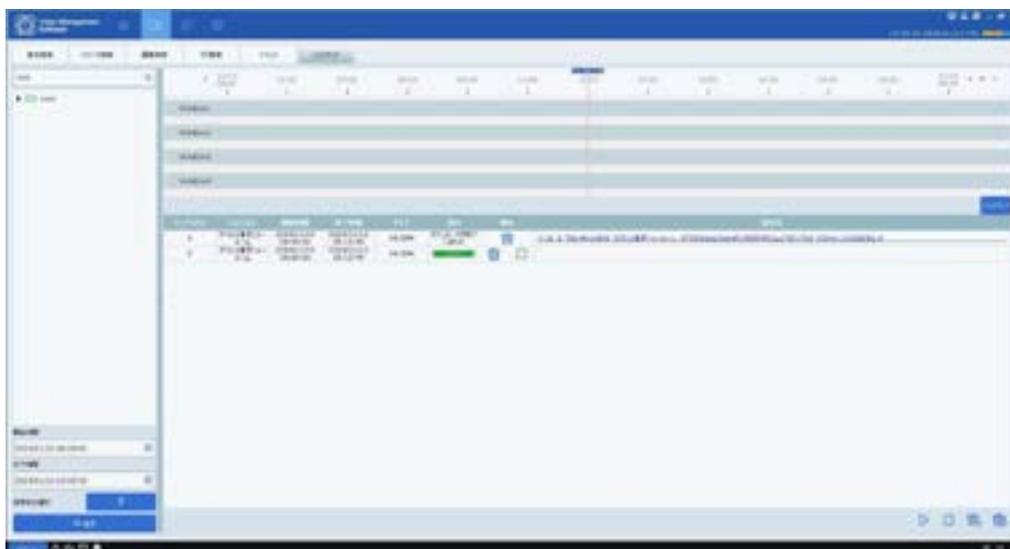


図 6-3-7 ビデオのバックアップ進捗画面

6.4 デバイスの画像データ

6.4.1 デバイス画像データのリモート検索/閲覧

デバイスへ画像データが存在する場合はこの機能が使用可能です。

- ステップ 1:** リモート再生で **画像検索** タブを選択します。
- ステップ 2:** 対象のデバイスチャンネルを選択します。



- ステップ 3:** 検索ボタン左側のアイコンが  (リモート検索) にします。

- ステップ 4:** 検索条件を設定して検索します。  ボタンをクリックしますと検索を実行します。

- ステップ 5:** 「検索」をクリックすると、検索結果が表示されます (図 6-4-1)



図 6-4-1 デバイスの写真

ステップ 6: 画像をダブルクリックするとその画像を閲覧できます。

 /2 > >| でページを切り替えることができます。

6.4.2 デバイス画像をローカルへエクスポートする

デバイスへ画像データが存在する場合はこの機能が使用可能です。

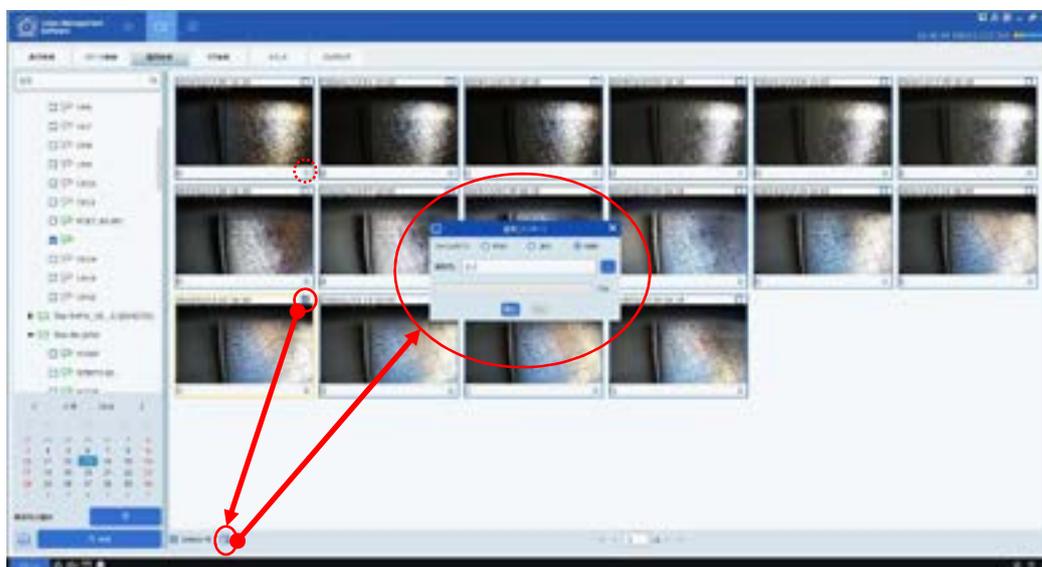


図 6-5 デバイス画像のエクスポート

[「6.4.1 デバイス画像データのリモート検索/閲覧」](#)を参考に必要なデータを検索します。



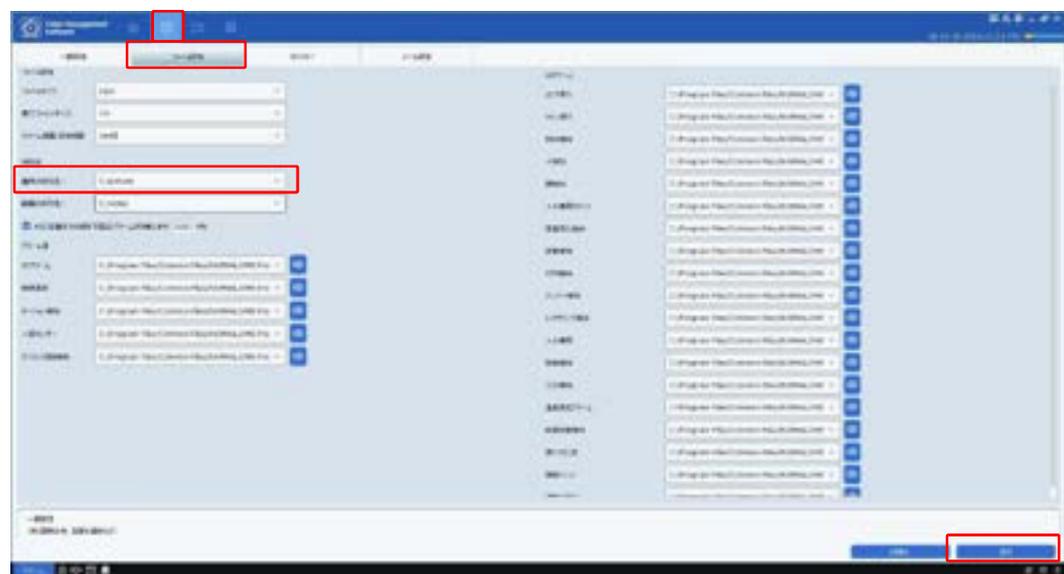
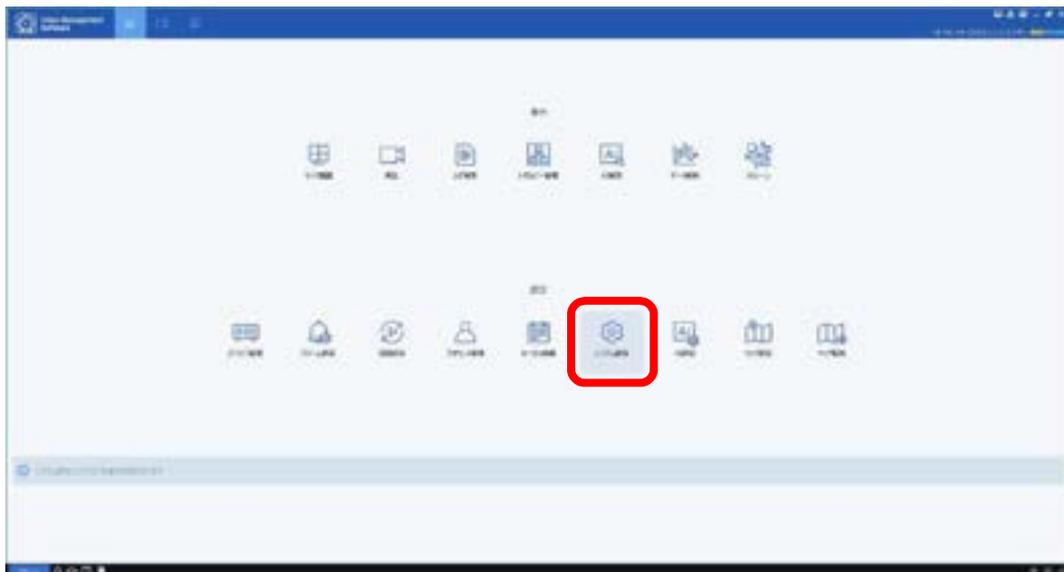
サムネイル画像右下の  アイコンをクリックしますとその画像をローカルへ保存します。



画像の右上隅にあるチェックボックスをクリックして複数画像を選択して、 [保存する] アイコンをクリックしますと纏めて複数の画像をローカルへ保存可能です。

また、 **Select All** を しますと、そのページのサムネイルすべてを選択することが可能です。

なお、画像保存パス（デフォルトの画像保存の設定）につきましては、メインメニューの「システム設定」で設定可能です。詳しくは、[「第8章 システム設定：アカウントログイン」](#)をご覧ください。



6.5 スマート検索再生

リモート再生でスマート検索機能を利用可能です。スマート検索はシングルチャンネルのみでの検索をサポートしています。



スマート検索

スマート検索を利用するには、スマート検索 **スマート検索** タブをクリックしてスマート検索画面へ移行し、検索条件（チャンネル/ストリーム/タイプ/期間）を選択して検索ボタンをクリックします。

スマート検索では1つのチャンネルのみを再生することができます。タイムラインは青色で表示されます。



図 6-5 スマート再生

さらに、スマート再生中に映像上でマウスドラッグすると ROI 領域を設定可能です。

ROI 領域を設定後、画面右下の  アイコンをクリックしますと ROI 領域に対してスマート検索が可能です。

(ROI 領域を設定してスマート検索した例)

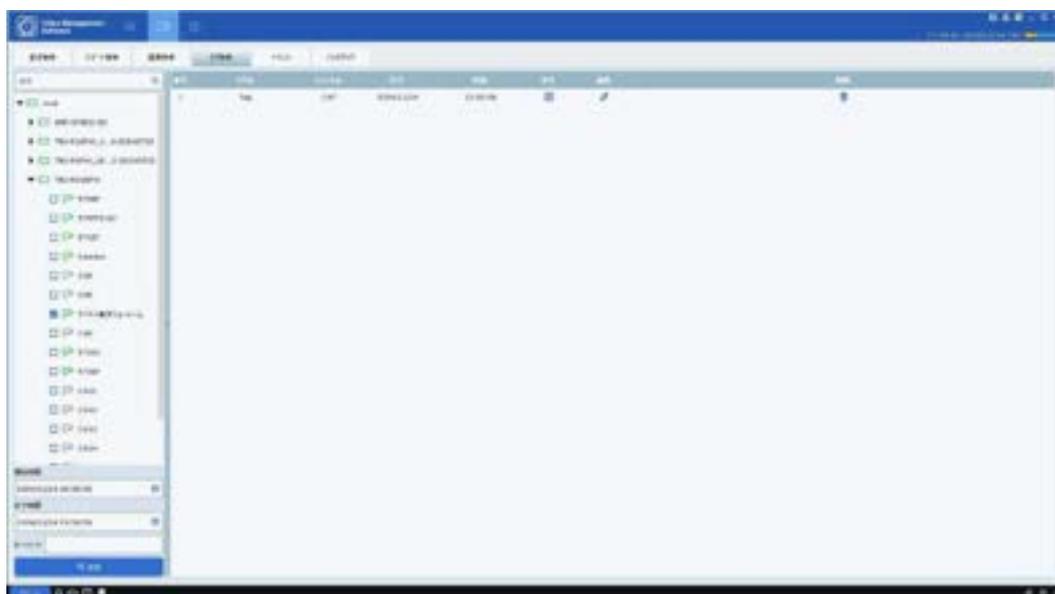


画面右下の削除アイコン  をクリック致しますと設定した ROI 領域を削除します。

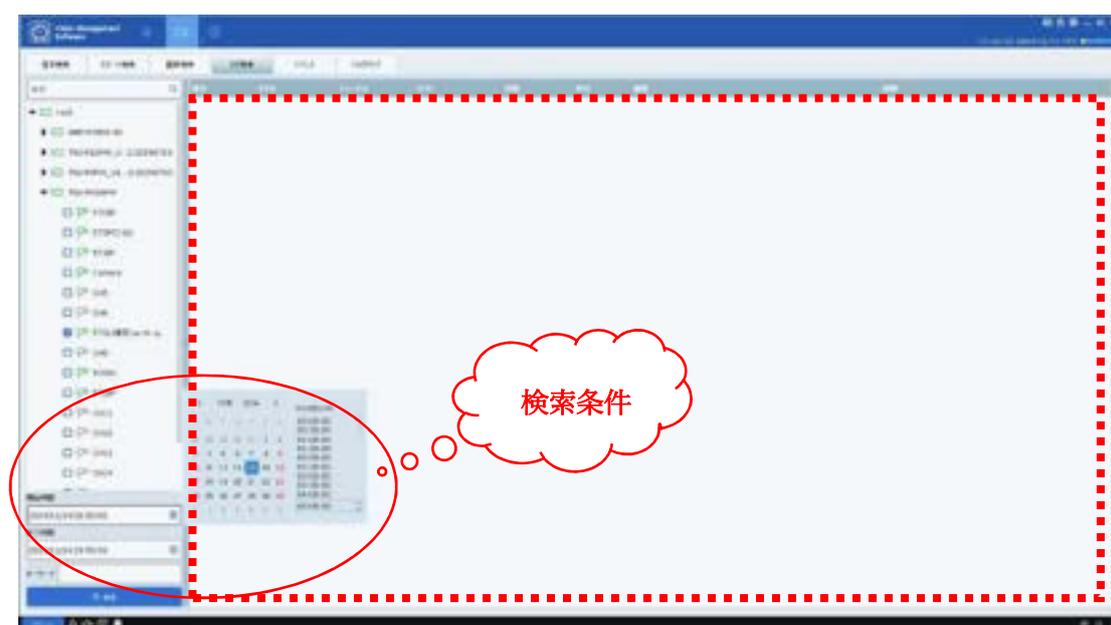
ROI 選択領域を削除して再検索するには、もう一度同じ条件で検索ボタン  をクリックして検索を行います。

6.6 タグ検索による再生

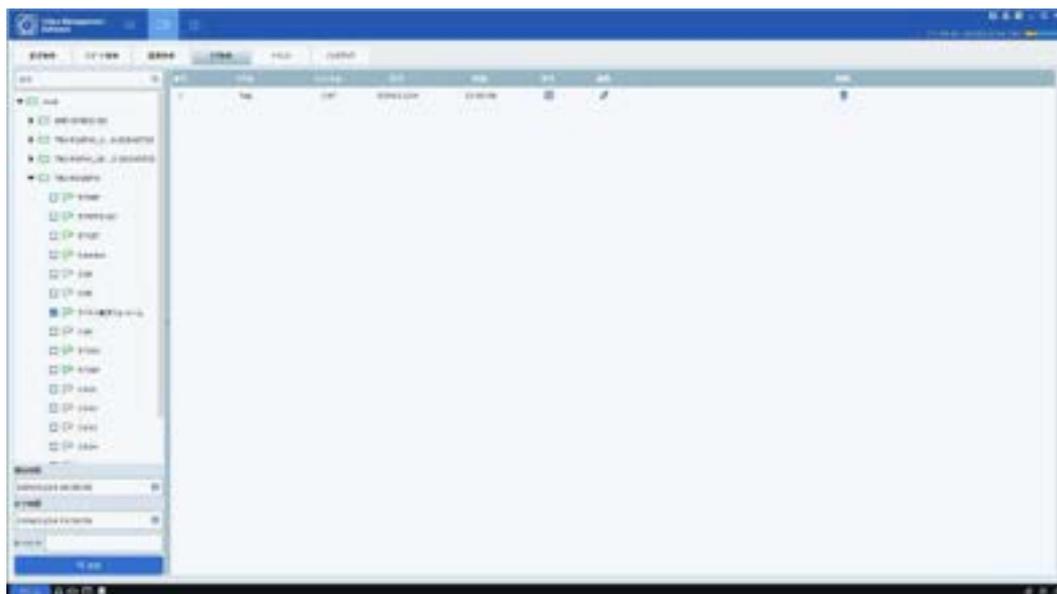
デバイスへ、タグデータが存在する場合はこの機能が使用可能です。



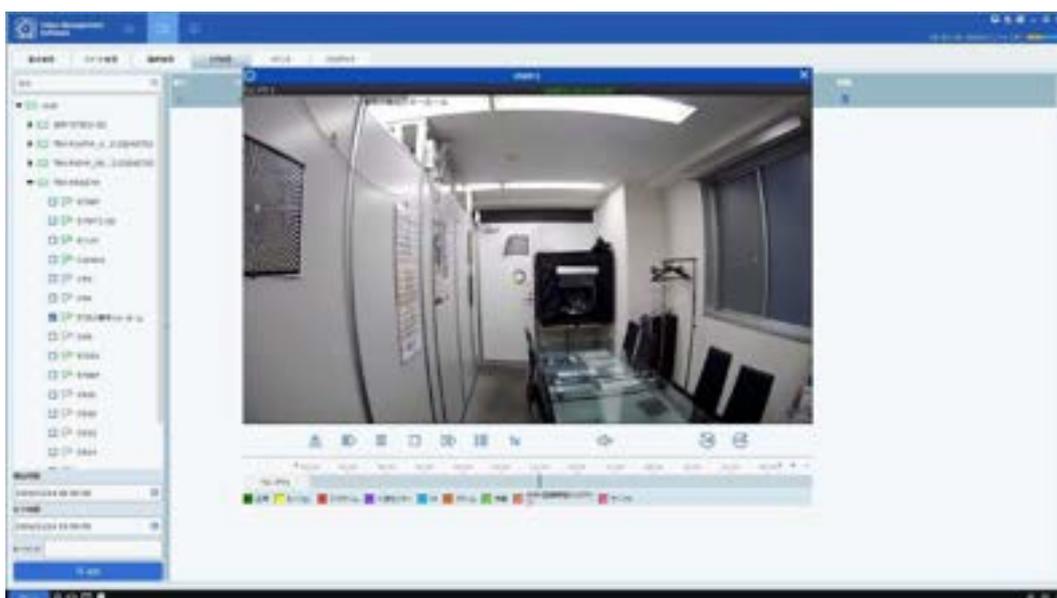
- ステップ1: リモート再生画面で **タグ検索** タブを選択します。
- ステップ2: 対象のチャンネルを選択します。
- ステップ3: 検索条件を設定します (キーワードを空欄にしますと全てのタグを検索いたします)。
- ステップ4: 「検索」をクリックすると、検索結果が図の赤点線部分に表示されます。



(検索結果表示例)



再生アイコン  をクリックしますと、その行の映像を[再生]します。



 [再生]をクリックしてビデオを再生できます。

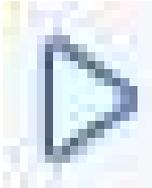
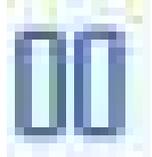
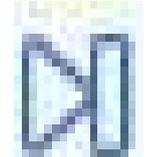
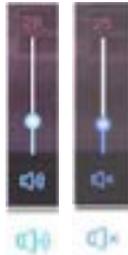


「編集」をクリックしますとタグ修正できます。タグ修正を確定するにはタグ修正画面で「Save」をクリックします。

タグ修正	
チャンネル	CH7
タグ付け時間	2024/11/14 12:02:08
タグ名	Tag
保存 キャンセル	



「削除」をクリックしますと、そのタグを削除できます。タグ削除を確定するには画面の指示に従って「はい」をクリックします。

アイコン	内容
	再生ビデオを開始します。
	再生ビデオを一時停止します。
	再生を停止します。
	シングルフレームフォワード再生ビデオ。
	早送り再生ビデオ。
	ビデオをスロー再生します。
	サウンドのオン/オフ 
	その映像をバックアップ（ダウンロード）します。

	 <p>ダウンロード画面を閉じるには、ダウンロード画面右上の  アイコンをクリックします。</p>
	<p>30秒前に戻します。</p>
	<p>30秒先送ります。</p>

アイコン	内容
	<p>【録画】</p> <p>ビデオ再生中にクリックすると、ローカルPCストレージへすぐに手動でチャンネルを録画できます。手動で録画が行われると、アイコンは赤色になります。手動での録画を停止するには、もう1度クリックします。</p>
	<p>【スクリーンショット】</p> <p>クリックすると、現在のカメラ映像のスナップショットが保存されます。</p>
	<p>【デジタルズーム】</p> <p>クリックするとアイコンがになり、デジタルズームモードになります。<u>マウス操作でデジタルズームする範囲を赤枠で指定すると、拡大ができます。</u>クリックで100%表示にもどります。アイコンをクリックしてアイコンに戻すとデジタルズームモードを終了します。</p> 
	<p>【画面切取り】</p> <p>画面切取りアイコンをクリックすると、マウスカーソルが通常のマウスカーソルから画面切取り用マウスカーソルに変化します。この状態でスクリーンショットする範囲（赤枠表示されます）をドラッグします。ドラッグしたら、画面切取りポップアップ画面が表示されます。</p>

	<div data-bbox="699 192 1098 510" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="459 533 1337 672">画面切り取りポップアップ画面で“保存”ボタンをクリックしますと画面切り取りポップアップ画面で表示されていた画像がPCへ保存されます。やり直す場合は“アウト”ボタンをクリックして最初から画面切り取りをやり直してください。</p> <p data-bbox="459 698 1337 851">画面切り取りアイコン  は、再生がオンになっているビデオウィンドウへマウスカーソルを持って行ってカメラクイックツールバーを表示させ、表示させたカメラクイックツールバーにあります。</p>
<div data-bbox="327 967 395 1034" data-label="Image"> </div>	<p data-bbox="459 891 686 922">【フィッシュアイ】</p> <p data-bbox="459 945 1337 1102">再生がオンになっているビデオウィンドウへマウスカーソルを持って行ってカメラクイックツールバーを表示させ、表示させたカメラクイックツールバーにある魚眼アイコン  をクリックします。フィッシュアイ機能をサポートするデバイスのビデオで使用可能です。</p>

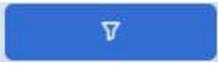
6.7 イベント検索による再生

デバイスイベント録画が存在する場合はこの機能が使用可能です。

[ステップ 1] リモート再生画面で  タブを選択します。

[ステップ 2] 対象のチャンネルを選択します。

[ステップ 3] 検索ボタン左側のアイコンを  (リモート検索) にします。

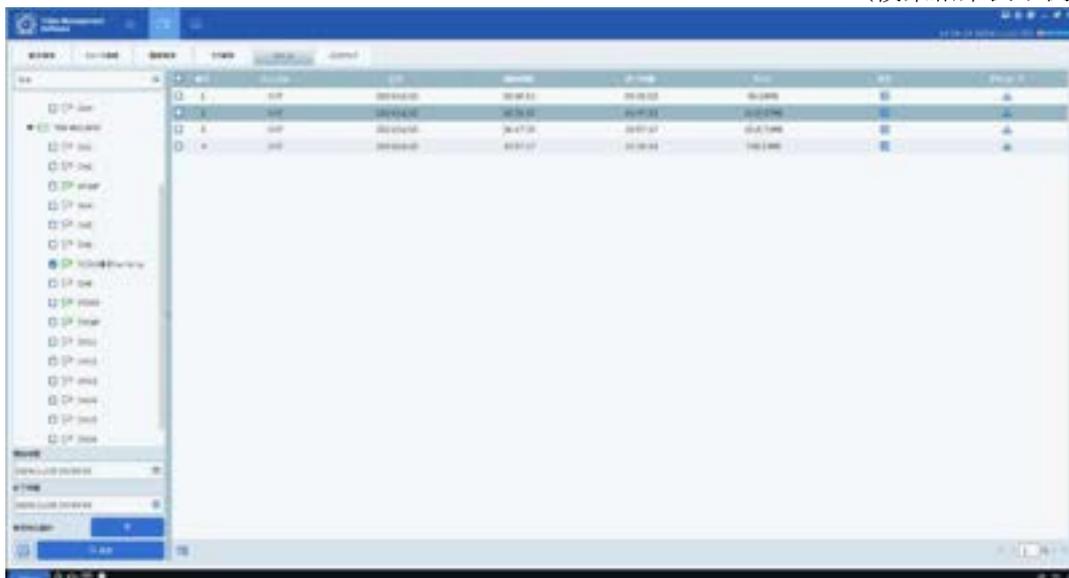
[ステップ 4] 検索条件を設定して検索します。  ボタンをクリックして設定します。



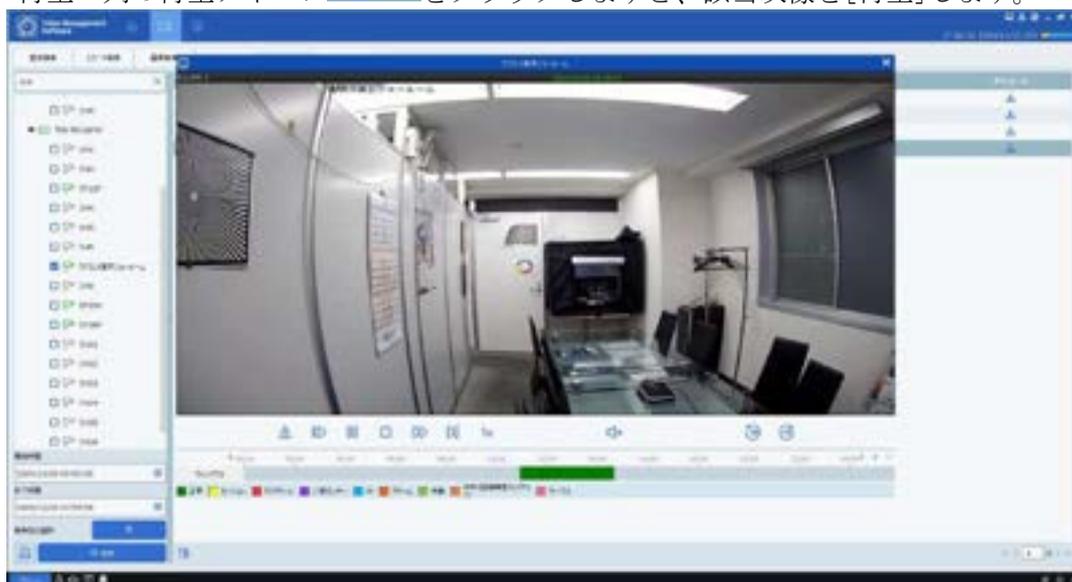
ステップ 5: 検索ボタン  をクリックします。

ステップ 6: 検索結果が表示されます。

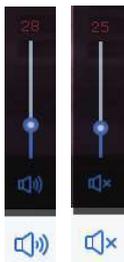
(検索結果表示例)

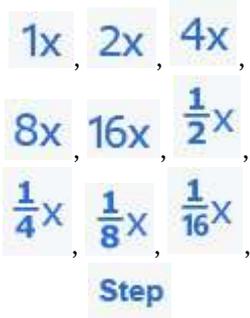


“再生”列の再生アイコン  をクリックしますと、該当映像を[再生]します。



再生画面を閉じるには、再生画面右上の  アイコンをクリックします。

アイコン	内容
	再生ビデオを開始します。
	再生ビデオを一時停止します。
	再生を停止します。
	シングルフレームフォワード再生ビデオ。
	早送り再生ビデオ。
	ビデオをスロー再生します。
	サウンドのオン/オフ 
	30秒前に戻します。
	30秒先送ります。
	その映像をバックアップ (ダウンロード) します。

	 <p>ダウンロード画面を閉じるには、ダウンロード画面右上の  アイコンをクリックします。</p>
	<p>現在の再生スピードが表示されます。</p>

アイコン	内容
	<p>【録画】</p> <p>ビデオ再生中にクリックすると、ローカル PC ストレージへすぐに手動でチャンネルを録画できます。手動で録画が行われると、アイコンは赤色になります。手動での録画を停止するには、もう 1 度クリックします。</p>
	<p>【スクリーンショット】</p> <p>クリックすると、現在のカメラ映像のスナップショットが保存されます。</p>
	<p>【デジタルズーム】</p> <p>クリックすると  になり、デジタルズームモードになります。<u>マウス操作でデジタルズームする範囲を赤枠で指定すると、拡大ができます。</u>クリックで 100%表示にもどります。  アイコンをクリックして  アイコンに戻すとデジタルズームモードを終了します。</p> 
	<p>【デフォルトタグ】</p> <p>デフォルトタグを追加します。</p>
	<p>【カスタムタグ】</p> <p>カスタムタグを追加します。タグ名を入力したら、“Save” をクリックします。</p>  <p>The dialog box titled 'タグ付けする' (Tagging) contains the following information: Channel: CH1, Tagging Time: 2023/09/04 06:16:28, and a text input field for 'タグ名' (Tag Name) containing 'Tag'. There are 'Save' and 'Cancel' buttons at the bottom.</p>

	<p>【画面切取り】</p> <p>画面切取りアイコンをクリックすると、マウスカーソルが通常のマウスカーソルから画面切取り用マウスカーソルに変化します。この状態でスクリーンショットする範囲（赤枠表示されます）をドラッグします。ドラッグしたら、画面切取りポップアップ画面が表示されます。</p>  <p>画面切取りポップアップ画面で“保存”ボタンをクリックしますと画面切取りポップアップ画面で表示されていた画像がPCへ保存されます。やり直す場合は“アウト”ボタンをクリックして最初から画面切取りをやり直してください。</p> <p>画面切取りアイコンは、再生がオンになっているビデオウィンドウへマウスカーソルを持って行ってカメラクイックツールバーを表示させ、表示させたカメラクイックツールバーにあります。</p>
	<p>【フィッシュアイ】</p> <p>再生がオンになっているビデオウィンドウへマウスカーソルを持って行ってカメラクイックツールバーを表示させ、表示させたカメラクイックツールバーにある魚眼アイコンをクリックします。フィッシュアイ機能をサポートするデバイスのビデオで使用可能です。</p>

6.8 バックアップ

リモートデバイスビデオのバックアップ専用の画面です。現在のバックアップタスクをすぐに確認することができ、すばやくビデオをバックアップすることが可能です。

バックアップしたいビデオの条件を検索してからバックアップを行っていきます。

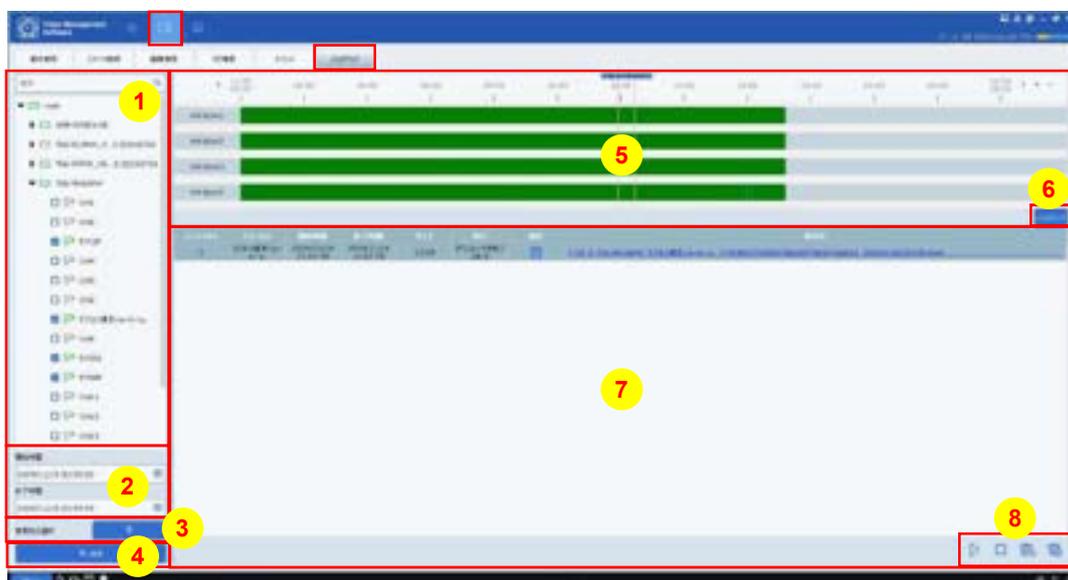


図 6-8-1 バックアップ画面

表 6-8-1 バックアップ画面

No.	内容
1	デバイスツリー。 バックアップしたいビデオが保存しているデバイスを選択します。
2	検索期間したい開始期間と終了時間の日時を指定します。
3	まず、バックアップしたいビデオのストリームをメインストリーム又はサブストリームから指定します。そして、バックアップしたいイベントを指定します。
4	1～3を指定したら、検索ボタン  をクリックしてバックアップしたいビデオを検索します。

プログレスバー。
 検索したら、条件に該当するビデオが存在する時間帯は緑色で示されます。
 バックアップしたい時間帯を指定します。
 マウスで左側から右側に向かってドラッグすることでバックアップ期間を設定できます。バックアップ期間を設定しましたら、バックアップボタン  をクリックします。マウスで指定したバックアップ期間はバックアップボタン  をクリックしてから修正が可能です。また、バックアップ期間はドラッグ操作しなくても、バックアップボタン  をクリックしてから手動で設定することが可能です。

5

アイコン	説明
	プログレスバーの表示している時間帯を過去方向へシフトします。
	プログレスバーの表示している時間帯を現在方向へシフトします。
	プログレスバーの時間解像度を拡大します。 プログレスバーの時間解像度を拡大すると、プログレスバーが進む際の細かさや正確さを高めることができますが、広範囲な時間帯についての状況把握が難しくなります。
	プログレスバーの時間解像度を縮小します。 プログレスバーの時間解像度を縮小すると、プログレスバーが進む際の細かさや正確さが低くなります。しかし、広範囲な時間帯についての状況が掴みやすくなります。

6

(I) バックアップボタン  をクリックして“録画ファイルのダウンロードダイアログ”を表示します。

“録画ファイルのダウンロードダイアログ”でバックアップを実行できます。

“録画ファイルのダウンロードダイアログ”ではバックアップビデオの期間を手動で調整できます。ビデオ形式 (RF/AVI/MP4)、保存先を設定して[はい]ボタンをクリックすると、AVI ビデオ形式又はMP4 ビデオ形式を御選択の場合はビデオのバックアップが開始されます。



(II) RF ビデオ形式でバックアップを行う際は“動画ファイルを暗号化する必要がありますか？”ダイアログが表示されます。RF 形式ビデオを任意のパスワードで暗号化することが可能です。ビデオを暗号化するには、“動画ファイルを暗号化する必要がありますか？”ダイアログで [はい] ボタンをクリックします。[いいえ] ボタンをクリックすると、ビデオの暗号化は行われずにビデオのダウンロードが開始されます。



(III) VMS Pro ソフトウェアでは、RF 形式ビデオを任意の 6～32 文字のパスワードで暗号化することができます。



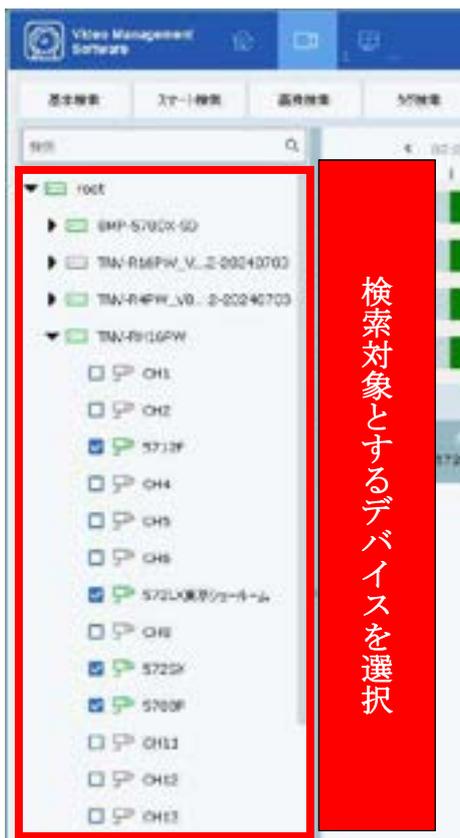
実行されたバックアップジョブはこのエリアでタスクリストとして示され、進捗状況等がリスト表示されます。待機中のバックアップジョブの停止/再開/削除を行ったり、完了したバックアップジョブをリストから削除することができます。

7

アイコン	内容
 タスクを開始	“実行” 列に、“録画停止” が表示されているダウンロードジョブを再開させます。

	 未完了のタスクの停止	“実行”列に、“ダウンロード待機中”が表示されているダウンロードジョブを停止させます。
	 削除	そのジョブを削除します。
8	全てのバックアップジョブの停止/再開/削除を行ったり、完了した全てのバックアップジョブをリストから削除したり、未完了のバックアップジョブをリストから削除したりできます。	
	アイコン	内容
	 全てのタスクを開始	“実行”列に、“録画停止”が表示されている全てのジョブのダウンロードを再開させます。
	 未完了のタスクの停止	“実行”列に、“ダウンロード待機中”が表示されているジョブを停止させます。
	 削除	そのジョブを削除します。
	 未完了のタスクの削除	“実行”列に、“ダウンロード待機中”が表示されているジョブを削除します。
 完了したタスクの削除	“実行”列に、“ダウンロードが完了しました”が表示されているジョブを削除します。	

[ステップ 1] 検索対象とするリモートデバイスを選択します。選択は対象デバイスのチェックボックスをオンにすることで選択します。



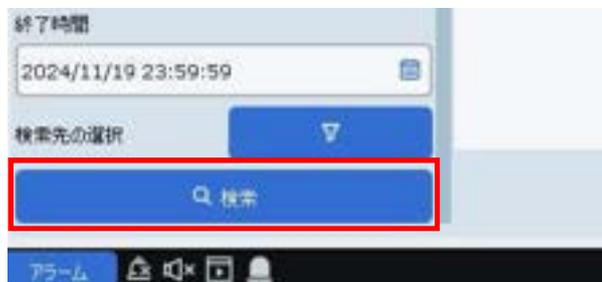
[ステップ2] 検索対象とする期間を、開始日時と終了日時をカレンダーアイコンをクリックして設定します。



[ステップ 3]  ボタンをクリックして、検索対象とするストリームとイベントを選択します。



[ステップ 4]  ボタンをクリックして検索を実行します。

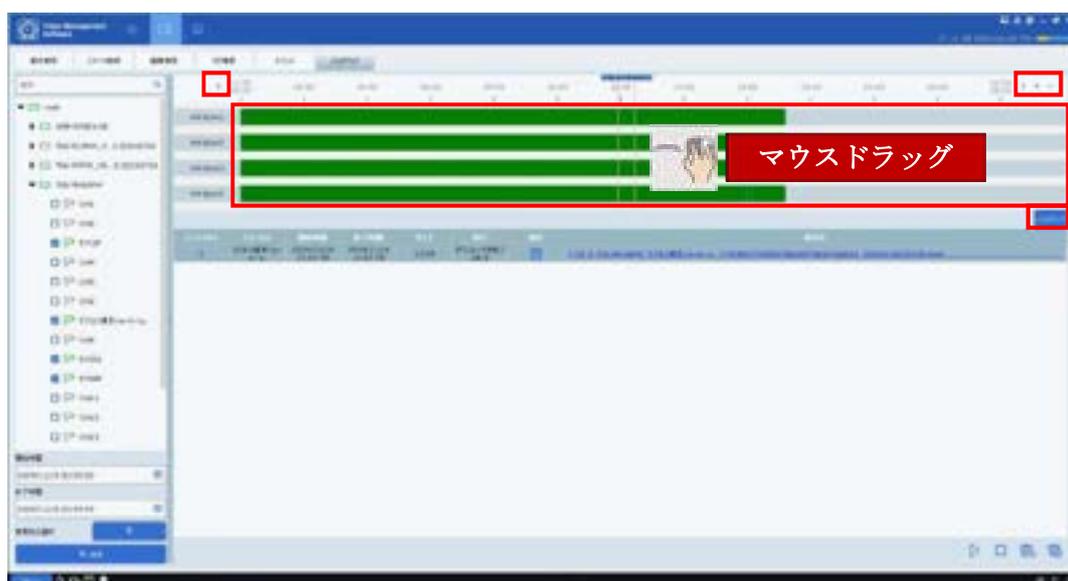


[ステップ 5] マウスで左側から右側に向かってドラッグすることでバックアップ期

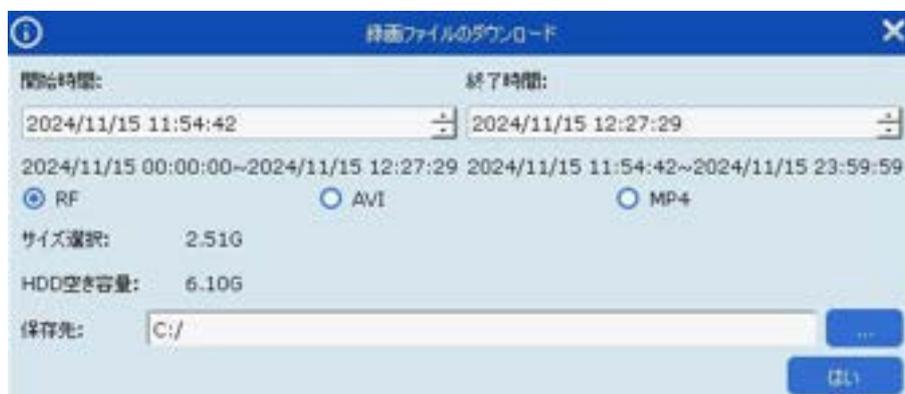
間を設定できます。バックアップ期間を設定したら、 ボタンを

クリックします。バックアップ期間は  ボタンをクリックしてからでも修正が可能です。バックアップ期間はドラッグ操作しなくても、“[ステップ 6]” で手入力によって設定することもできます。

アイコン	説明
	プログレスバーの表示している時間帯を過去方向へシフトします。
	プログレスバーの表示している時間帯を現在方向へシフトします。
	プログレスバーの時間解像度を拡大します。 プログレスバーの時間解像度を拡大すると、プログレスバーが進む際の細かさや正確さを高めることができますが、広範囲な時間帯についての状況把握が難しくなります。
	プログレスバーの時間解像度を縮小します。 プログレスバーの時間解像度を縮小すると、プログレスバーが進む際の細かさや正確さが低くなります。しかし、広範囲な時間帯についての状況が掴みやすくなります。



- [ステップ6] 「録画ファイルのダウンロード」画面が表示されます。バックアップ期間を必要に応じて調整し、ビデオタイプを選択して、フォルダの選択ボタンをクリックして保存先を指定します。ボタンをクリック致しますと、保存先に対して録画ファイルのダウンロード(バックアップ)を実行します。



- [ステップ7] “録画ファイルを暗号化する必要がありますか？”画面が表示されます。録画ファイルを暗号化する必要がある場合は[はい]ボタンをクリックします。録画ファイルを暗号化する必要が無い場合は[いいえ]ボタンをクリックします。[いいえ]ボタンをクリックした場合は“ステップ9”へお進みください。

[はい]ボタンをクリックした場合は録画ファイルを暗号化するためのパスワードを設定する必要があります。

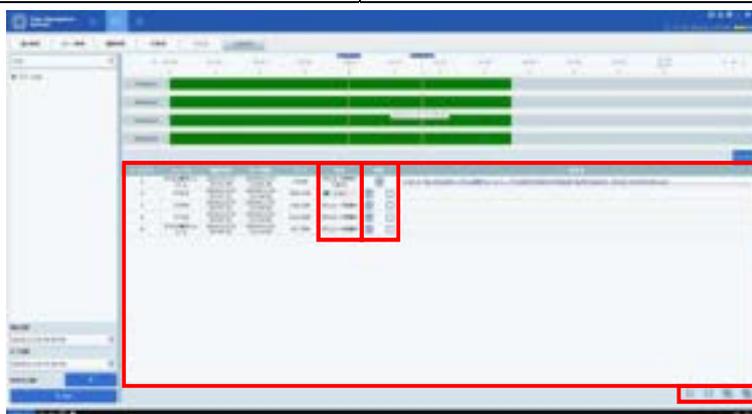


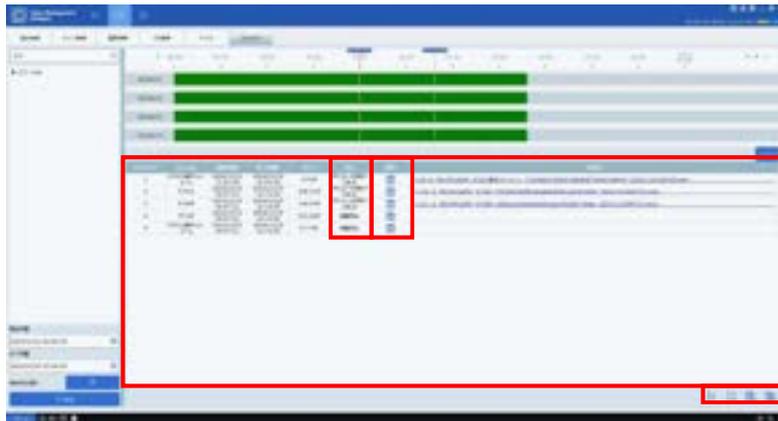
- [ステップ8] “録画ファイルを暗号化する必要がありますか？”画面で、[はい]ボタンをクリックした場合はこの後に、“暗号化”画面が表示されますので“暗号化”画面でビデオのパスワードを設定します。このパスワードはバックアップした後でビデオ再生を行う際に必要ですので、大切に大事に保管してください。



[ステップ 9] 実行したバックアップジョブはタスクリストに進捗状況と共にリスト表示されます。待機中のバックアップジョブの停止/再開/削除、完了したバックアップジョブをリストから削除することができます。

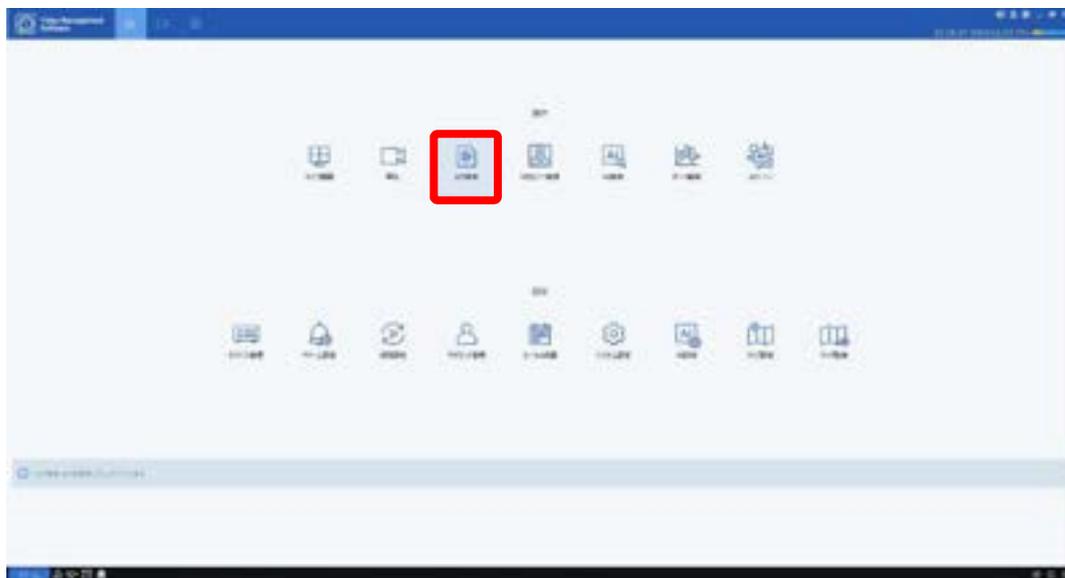
アイコン	内容
 全てのタスクを開始	“実行”列に、“録画停止”が表示されている全てのジョブのダウンロードを再開させます。
 未完了のタスクの停止	“実行”列に、“ダウンロード待機中”が表示されているジョブを停止させます。
 削除	そのジョブを削除します。
 未完了のタスクの削除	“実行”列に、“ダウンロード待機中”が表示されているジョブを削除します。
 完了したタスクの削除	“実行”列に、“ダウンロードが完了しました”が表示されているジョブを削除します。





第7章 ログ検索

VMS Pro 自体のログ（ローカルログ）とリモートデバイスのログを検索して、参照/バックアップすることが可能です。



7.1 ローカルログ

ローカルログ画面でVMS Pro 自体のログをデバイス別に検索が可能です。VMS Pro 自体のログを照会するにはローカルログ画面で検索パラメータを入力して検索ボタンをクリックします。さらに検索結果のログをバックアップすることも可能です。

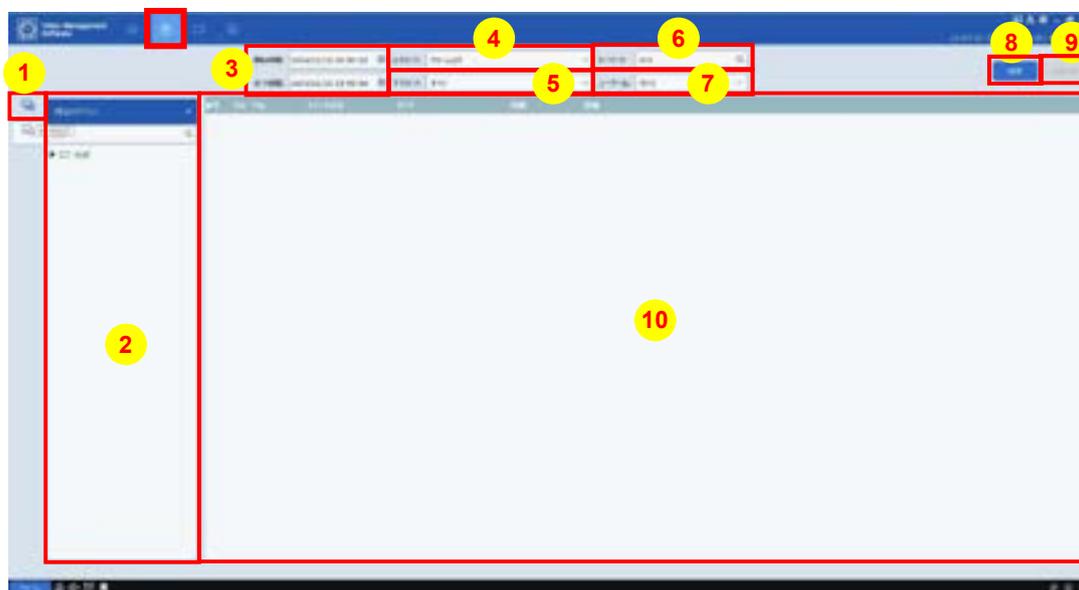
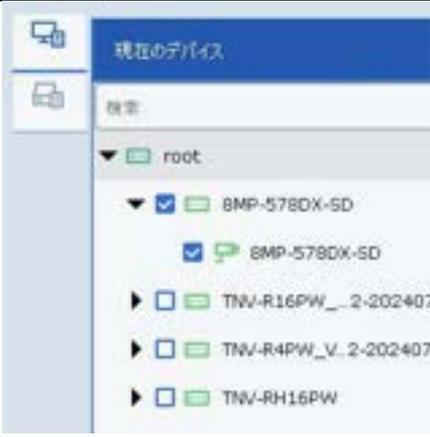
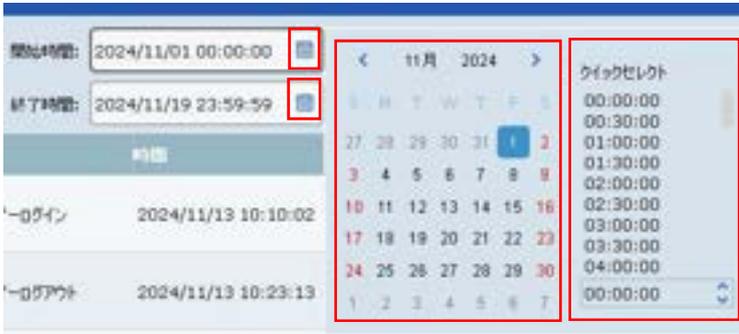
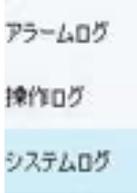


図 7-1-1 ローカルログ検索画面

No.	機能
1	ナビゲーションパネルでローカルログアイコン  をクリックしてローカルログ検索画面を表示します。
2	<p>検索したいデバイスやCHを選択します。チェックボックスへチェックを入れることで選択していることを示します。</p> <p>(I) 先ず、 の右向きの▶マークをクリックして、▼にします。登録されているデバイスが展開されます。</p> <p>(II) そしてさらに、展開されたデバイスの右向きの▶マークをクリックして、▼にします。デバイスが有するCHが展開されて表示されます。</p>

	
<p>3</p>	<p>参照したいログの期間を指定します。</p> <p>参照したいログの期間は、カレンダーアイコン  をクリックして日時を選択して指定します。</p> 
<p>4</p>	<p>参照したいログタイプを選択します。</p> 
<p>5</p>	<p>参照したいサブタイプをプルダウンをクリックして選択します。</p> 

6	入力したキーワードを含むログを検索することができます。絞り込む際に便利です。
7	VMS Pro ソフトウェアに登録されているユーザーを選択することができます。絞り込む際に便利です。
8	ローカルログの検索を実行するには、[検索]ボタン  をクリックします。
9	検索された結果はバックアップできます。バックアップボタン  をクリックして、“名前を付けて保存”ダイアログでバックアップします。
10	検索された結果が表示されます。

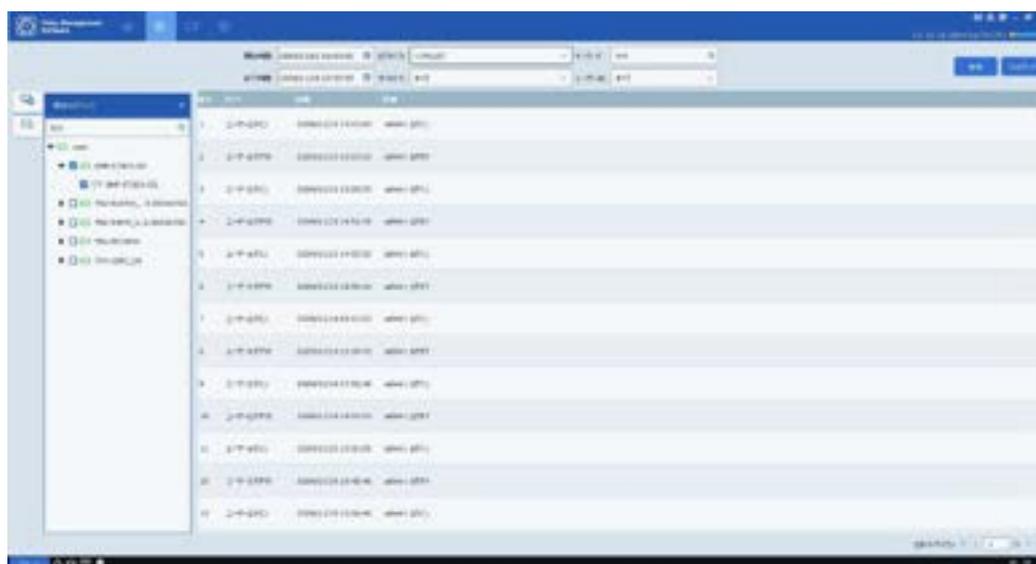


図 7-1-2 ローカルログ検索画面 検索結果表示例



[ステップ 1] メインメニューで「ログ検索」を選択すると、ログ検索画面が表示されます。



[ステップ 2] 左側垂直タブにある（ローカルログ）アイコンをクリックします。

[ステップ 3] 検索するデバイス/CHを選択し、検索する期間、ログタイプ、サブタイプ、といった検索条件を指定します。リモートログには、システムログ、構成ログ、アラームログ、ユーザーログ、ビデオログ、データログ、ネットワークログ、スマートログが含まれます。



[ステップ 4] 検索ボタンをクリックして検索を開始します。図 7-1-3 に示しますように、検索結果が表示されます。



[ステップ 5] バックアップボタンをクリックして検索結果をバックアップできます。Excel 形式でエクスポートできます。

7.2 リモートログ

リモートログ画面でリモートデバイスのログの検索が可能です。リモートデバイスのログを照会するにはリモートログ画面で検索パラメータを入力して検索ボタンをクリックします。さらに検索結果のログをバックアップすることも可能です。

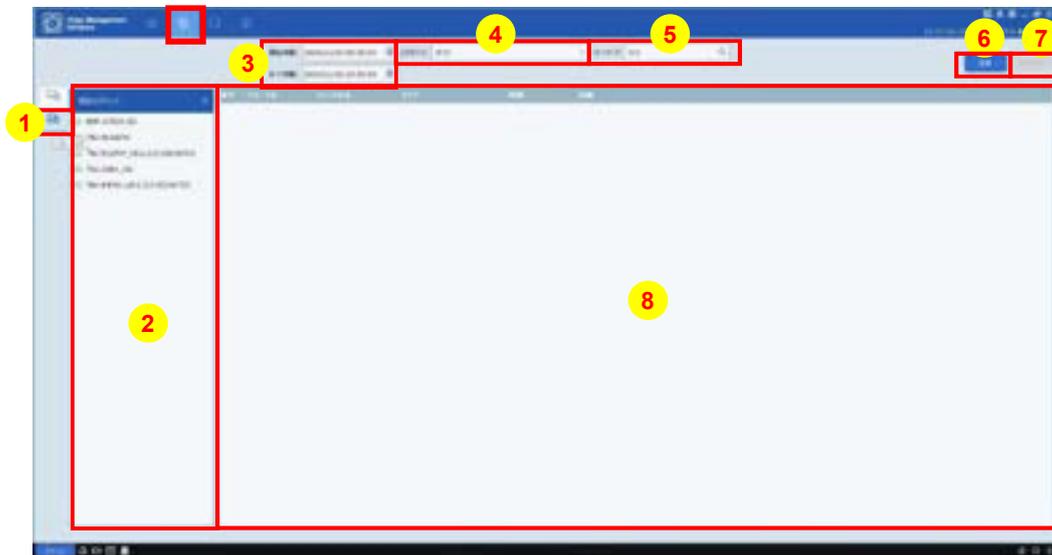


図 7-2-1 リモートログ検索画面

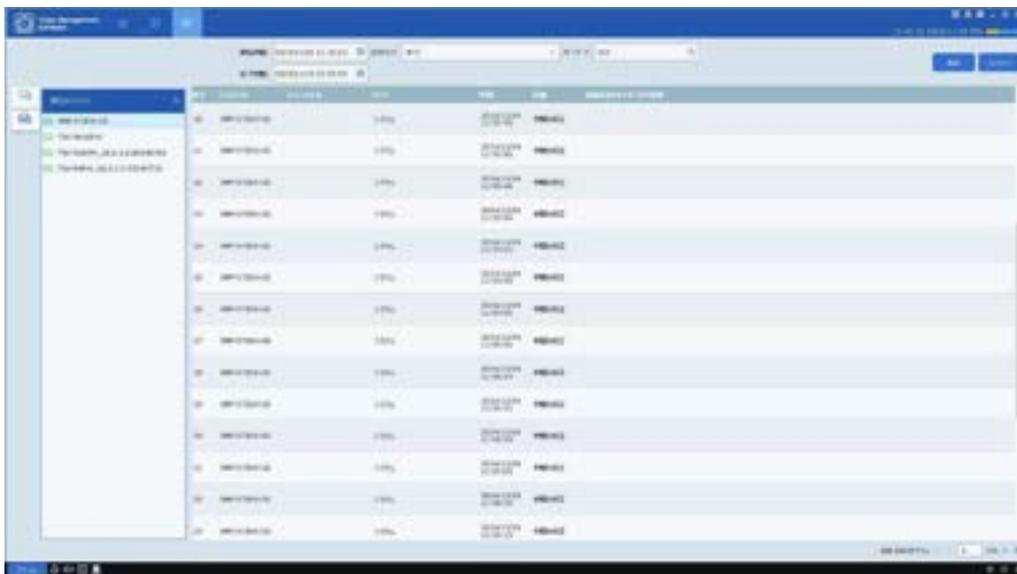
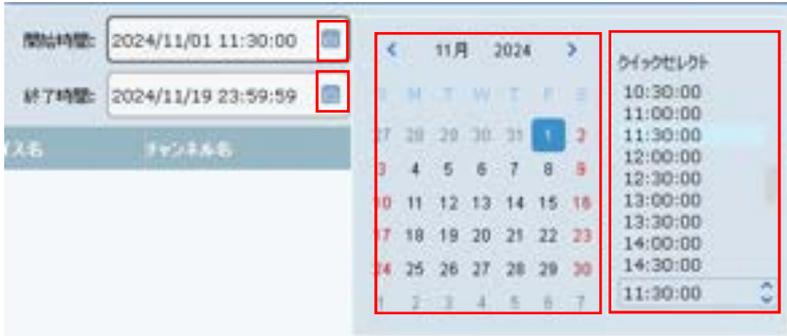


図 7-2-2 リモートログ検索画面 検索結果表示例

No.	機能
1	ナビゲーションパネルでリモートログアイコン  をクリックしてローカルログ検索画面を表示します。
2	検索したいデバイスを選択します。ハイライト状態にすることでそのデバイスを選択していることを示します。  The screenshot shows a dropdown menu titled '現在のデバイス' (Current Devices). The first item, 'BMP-578DX-5D', is highlighted with a blue background and a red box. Other items include 'TNV-RH16PW', 'TNV-R16PW_V8.2.3.2-20240703', 'TXV-16EX_(A)', and 'TNV-R4PW_V8.2.3.2-20240703'.
3	参照したいログの期間を指定します。 参照したいログの期間は、カレンダーアイコン  をクリックして日時を選択して指定します。  The screenshot shows a log selection interface. It includes '開始時間' (Start Time) set to '2024/11/01 11:30:00' and '終了時間' (End Time) set to '2024/11/19 23:59:59'. A calendar for November 2024 is displayed, with the 1st highlighted. To the right, a list of time slots is shown, with '11:30:00' selected.
4	参照したいログタイプを選択します。

		
5	入力したキーワードを含むログを検索することができます。 絞り込む際に便利です。	
6	ローカルログの検索を実行するには、[検索]ボタン  をクリックします。	
7	検索された結果はバックアップできます。バックアップボタン  をクリックして、“名前を付けて保存”ダイアログでバックアップします。	
8	検索された結果が表示されます。	



[ステップ 1] メインメニューで「ログ検索」を選択すると、ログ検索画面が表示されます。



[ステップ 2] 左側垂直タブにある (リモートログ) アイコンをクリックします。

[ステップ 3] 検索するデバイスを選択し、検索する期間、ログタイプといった検索条件を指定します。



[ステップ 4] 検索アイコンをクリックして検索を開始します。

図 7-2-2 に示しますように、検索結果が表示されます。



[ステップ 5] バックアップボタンをクリックして検索結果を Excel 形式でエクスポートできます。

第8章 システム設定(アカウントログインしている場合)

当ソフトウェアへアカウントログインで使用する際の当ソフトウェアのパラメータ設定（共通設定等）が可能です。

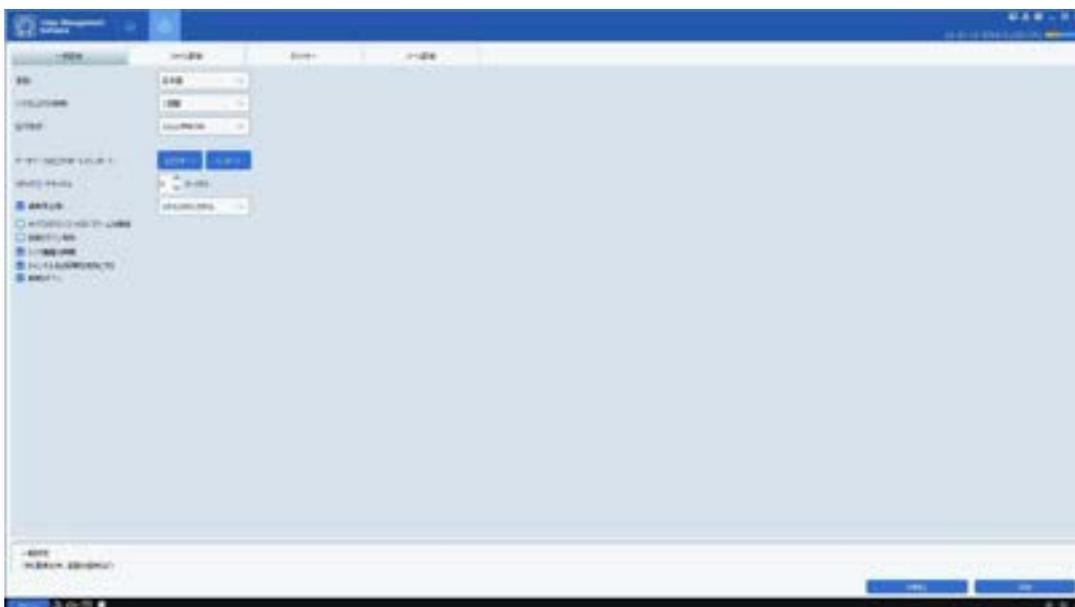
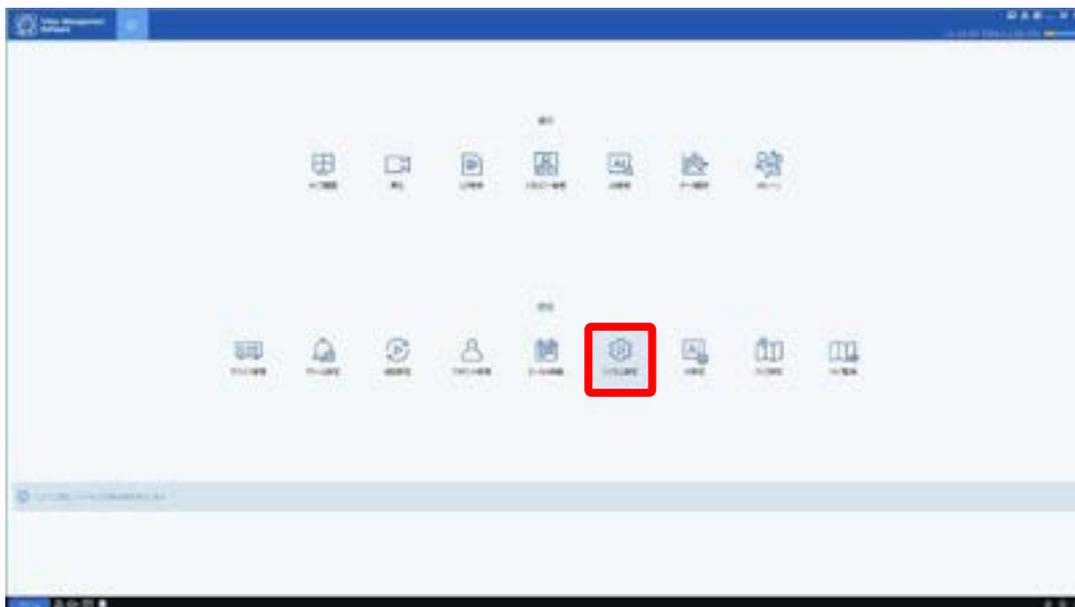


図 8-1 システム設定

- [ステップ 1] メインメニューで「システム設定」を選択し、図 8-1 に示しますようにシステム設定画面を表示します。
- [ステップ 2] 必要に応じて各種パラメータを設定します。
- [ステップ 3]  ボタンをクリックして、“システム設定”を完了します。

8.1 一般設定

[「表 8-1-1 システム設定 \(パラメーター一覧\) : 一般設定」](#)を参考に設定します。

設定したら、 ボタンをクリックして設定を反映させ、“システム設定”を完了します。

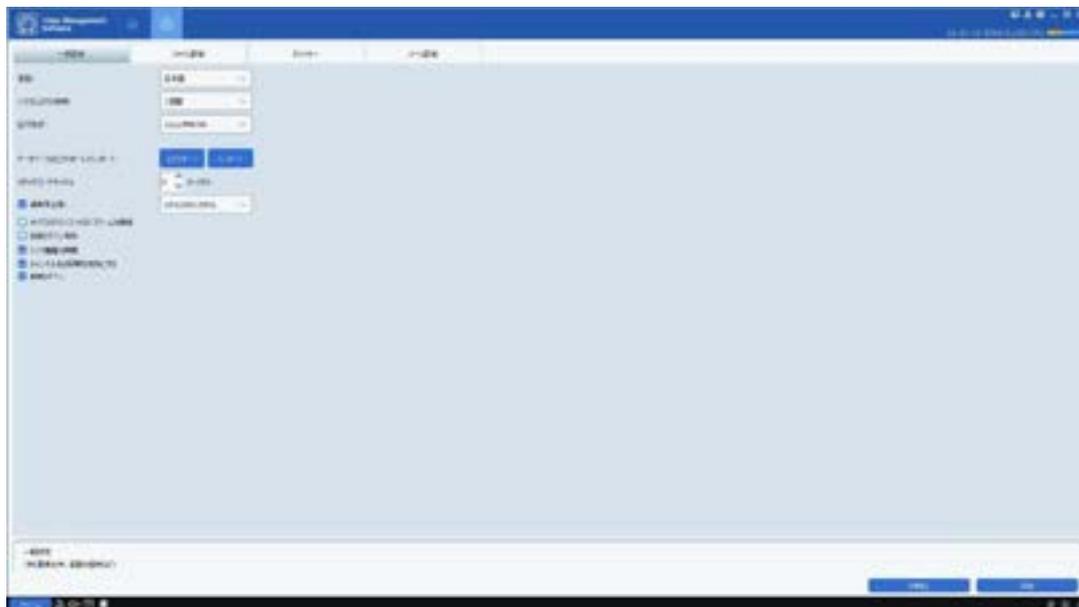


図 8-1-1 一般設定

表 8-1-1 システム設定（パラメータ一覧）：一般設定

一般設定	
一般設定	
項目	内容
言語：	言語を設定します。
システムログを保持：	システムログの保存時間を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 1週間 ● 半月 ● 1ヶ月
日付形式：	日付のフォーマットを設定します。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;">yyyy/MM/dd</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;">yyyy-MM-dd</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;">MM/dd/yyyy</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;">MM-dd-yyyy</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;">dd/MM/yyyy</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;">dd-MM-yyyy</div>
データベースのエクスポート/インポート	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0; display: inline-block;">エクスポート</div> : クリックしてバックアップします。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0; display: inline-block;">インポート</div> : クリックしてバックアップを選択して復元します。
GPU デコードチャンネル	GPU でデコードする CH 数を設定します。0～256 の間で設定します。
過負荷上昇	使いすぎないように、最大負荷を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● CPU/GPU:85% ● CPU/GPU:90% ● CPU/GPU:95%

VMS PRO 取扱説明書

すべてのデバイス HDD アラームを無視	チェックオンで、全てのデバイスの HDD アラームを無視します。
自動ログイン有効	自動ログオンの有効/無効
ライブ画面の再開	次回、当ソフトウェアを起動した場合に現在のライブビューを再開するかどうか。
チャンネル名の同期を有効にする	チェックオンでリモートデバイスのチャンネル名に同期するようになります。

8.2 ファイル設定

「[表 8-2-1 システム設定 \(パラメーター一覧\) : ファイル設定](#)」を参考に設定します。

設定したら、 ボタンをクリックして設定を反映させ、“システム設定”を完了します。

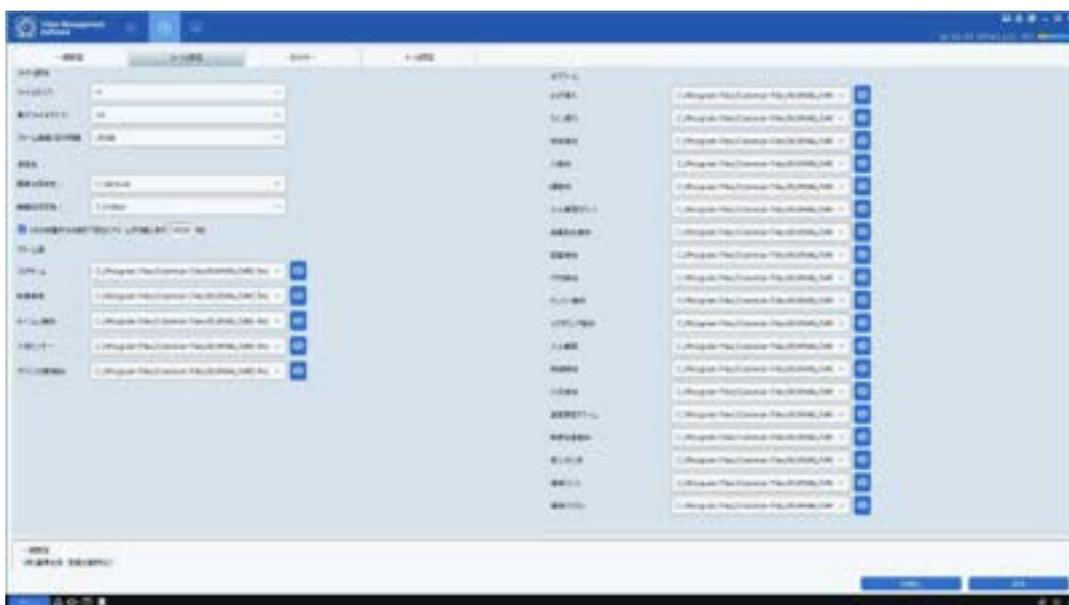


図 8-2-1 ファイル設定

表 8-2-1 システム設定（パラメーター一覧）：ファイル設定

ファイル設定	
	
項目	内容
自動ログイン	有効にすると当ソフトウェア起動時に自動的に当ソフトウェアへ自動でアカウントログインします。
ファイル設定	ファイルタイプ: 保存の際の映像ファイルの拡張子を次より選択します： rf, AVI, mp4 ※ “rf” は独自のビデオ形式です。
	最大ファイルサイズ: 1 ファイルの最大サイズを次より選択します： ●1G (1 ギガバイト) ●2G (2 ギガバイト)
	アラーム録画保存期間 アラームビデオの保存期間を設定します。 
保存先	画像の保存先 既定の画像の保存先フォルダパスを設定します。  マークをクリック致しますと変更が可能です。 
	動画の保存先 既定の動画の保存先フォルダパスを設定します。  マークをクリック致しますと変更が可能です。 

<p>HDD 容量が次の値を下回るとアラームが動作します</p>	<p>チェックオン(☑)の場合、ディスク容量が入力値を下回った場合に警告します。初期値は 3000MB です。</p>
<p>アラーム音</p> <p>IO アラーム、 映像異常、 モーション検知、 人感センサー、 デバイス切断検知</p>	<p>アラーム別にトリガ時に鳴る音声ファイルを設定できます。それぞれ初期値は、 “C:\Program Files\Common Files\NORMAL\VMS Pro\Alarm.WAV” です。 <input checked="" type="checkbox"/> マークをクリック致しますと変更が可能です。 試聴ボタン  をクリックして設定しているアラーム音を試聴できます。 </p>
<p>AI アラーム</p> <p>エリア侵入、 ライン侵入、 物体検知、 人検知、 顔検知、 人&車両カウント、 音量変化検知、 密集検知、 行列検知、 ナンバー検知、 レアサウンド検知、 人&車両、 特徴検知、 火災検知、 温度測定アラーム、 映像妨害検知、 侵入うろつき、 領域 (イン)、 領域 (アウト)</p>	<p>AI 又はインテリジェントのトリガ時に鳴る音声ファイルをそれぞれ設定できます。初期値は、 “C:\Program Files\Common Files\NORMAL\VMS Pro\Alarm.WAV” です。 <input checked="" type="checkbox"/> マークをクリック致しますと変更が可能です。 試聴ボタン  をクリックして設定しているアラーム音を試聴できます。 </p>

8.3 ホットキー（ショートカットキー）

現在のホットキー（ショートカットキー）が確認可能です。

ホットキー（ショートカットキー）の再割当（変更）も可能です。キーを組み合わせる場合は ctrl キーだけが組み合わせ元のキーとしてご利用いただけます。

ホットキー（ショートカットキー）とは、特定の機能や操作を迅速に実行するために設定されたキーボードのキー又はキーの組み合わせです。これにより、マウスを使用せずに効率的に操作が可能になります。

ホットキーを使用するには、当ソフトウェアがアクティブウィンドウの状態では指定されたキーを同時に押します。例えば図 8-1-3 の場合、「Ctrl + R」はローカル録画を実行します。この場合、まず「Ctrl」キー  を押したまま、「R」キー  を押してください。

ホットキーは変更が可能です。[「表 8-3-1 システム設定（パラメーター一覧）：ホットキー」](#)を参考に設定します。

ホットキーを変更したら、 ボタンをクリックして設定を反映させ、「システム設定」を完了します。

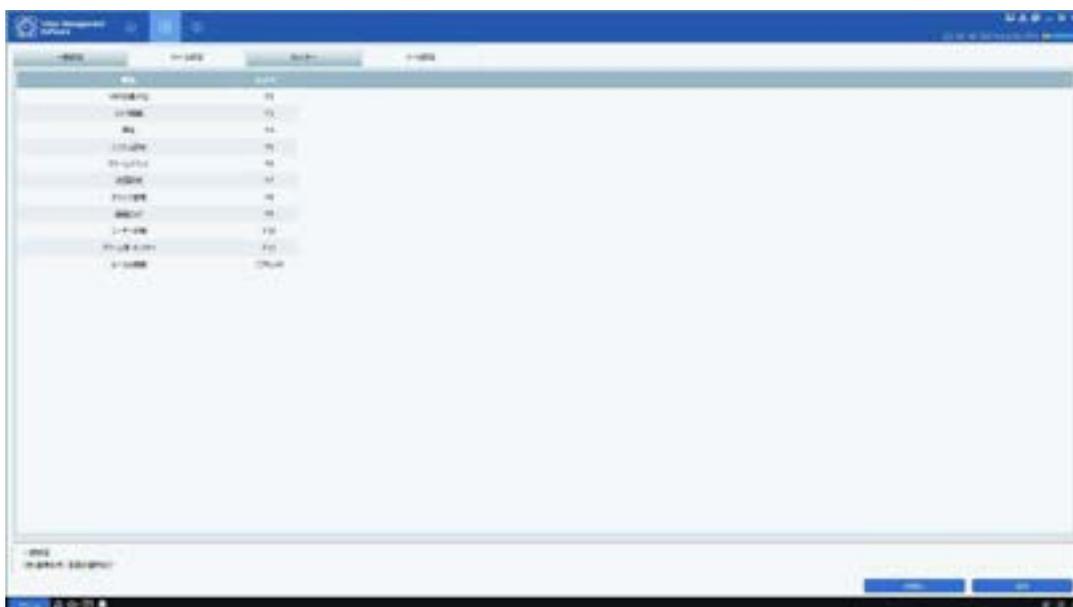


図 8-3-1 ホットキー

表 8-3-1 システム設定 (パラメーター一覧) : ホットキー

ホットキー	
	
項目	内容
フルスクリーン再生, メインビュー (メインレイアウト), リモート再生, システム設定, アラームイベント, クルーズ設定, デバイス管理, ロック画面, ユーザーの切替, 開閉アラーム音, ローカル録画	<p>現在設定されているホットキーが一覧表示されています。ホットキーを使用すると、各機能へ素早くアクセスできます。</p> <p>ホットキーは変更することが可能です。</p> <p>変更したい機能の行のホットキーの列をダブルクリックすると、その機能の行はハイライト表示されてその機能の行のホットキー列が編集モードになります。</p> <p>編集モードでは他のホットキーへ変更できます。</p> <p>編集モードの状態、キーボードで変更したいキーを押してください。</p> <div style="text-align: center;">  (編集モード) </div> <p>そして、エンターキー(Enter)を押すとその機能のホットキーの変更が確定します。</p> <p>全ての置き換えが済みましたら、[保存する] ボタンをクリックします。</p> <p>元に戻すには、[初期化] ボタンをクリックします。</p>

8.4 メール設定

当ソフトウェアのメール通知機能の設定が行えます。メール通知機能では当ソフトウェア上でイベントを検知した際に、指定されたトリガについて当ソフトウェアからイベント通知メールを送信することができます。

「[表 8-4-1 システム設定 \(パラメーター一覧\) : メール設定](#)」を参考に設定します。

設定したら、 ボタンをクリックして設定を反映させ、“システム設定”を完了します。

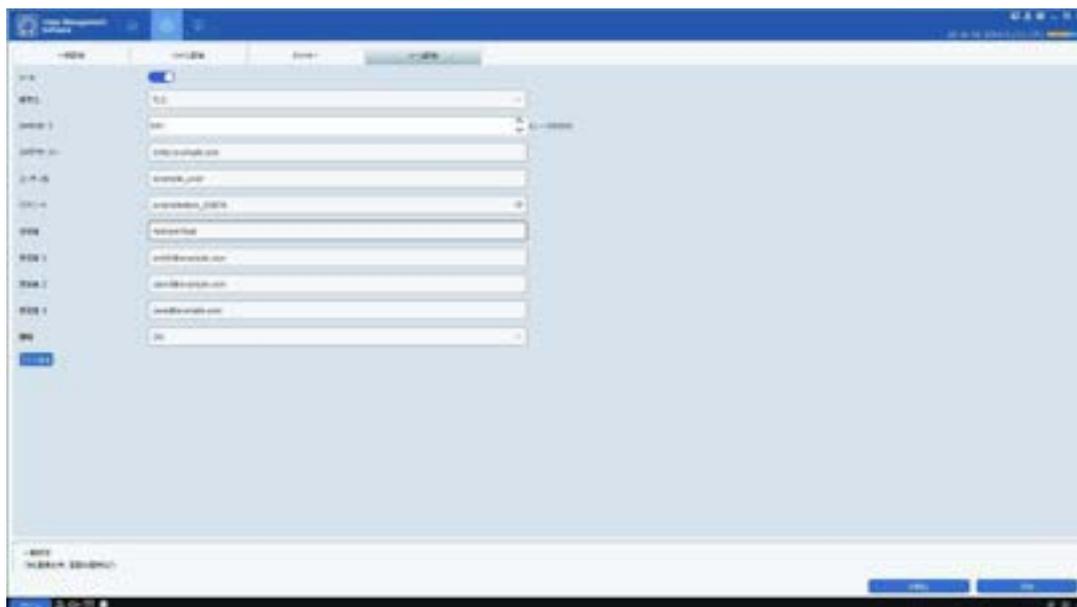
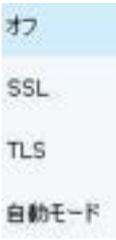


図 8-4-1 メール設定

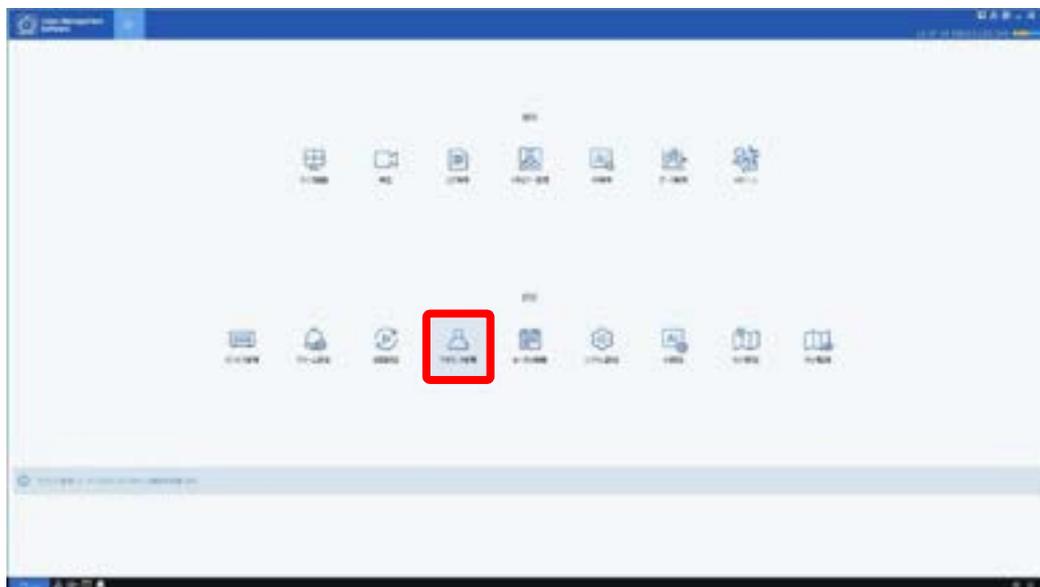
表 8-4-1 システム設定 (パラメーター一覧) : メール設定

メール設定	
	
項目	内容
メール	<p> : 当ソフトウェアのメール機能は無効です。</p> <p> : 当ソフトウェアのメール機能は有効です。</p> <p>メールを正しく送信するには、適切なメール設定が完了していること、そして安定した正しいインターネット環境で操作している必要があります。</p>

暗号化	<p>暗号化タイプを選択します。</p> <p>もしも、“自動モード”でうまくいかない場合は暗号化タイプを直接指定してみます(SSL 又は TLS)。</p> 
SMTP ポート	送信メールサーバーのポート番号を設定します。
SMTP サーバー	送信メールサーバーのアドレスを設定します。
ユーザー名	送信メールサーバー認証用のユーザー名を設定します。
パスワード	送信メールサーバー認証ユーザーに対するパスワードを設定します。
送信者	メールの送信者欄に表示されます。
受信者 1、 受信者 2、 受信者 3	<p>メールの送信先を設定します。</p> <p>受信者(送信先)は最小で1つ、最大で3つをご指定いただけます。</p>
間隔	<p>メールの送信が連続する場合の最小の送信間隔を指定します。</p> 
<p>テスト送信</p> 	<p>テスト送信機能を御利用いただくことで、メール設定が正しいかどうかをご確認いただけます。</p> <p>テスト送信するにはテスト送信ボタン  をクリックします。</p>

第9章 アカウント管理

アカウント管理では、当ソフトウェアのユーザーの追加、削除、アクセス許可の変更を行うことができます。



9.1 ユーザーの追加

ステップ1: メインメニューから「アカウント管理」を選択してアカウント管理画面を開きます (図9-1-1)。

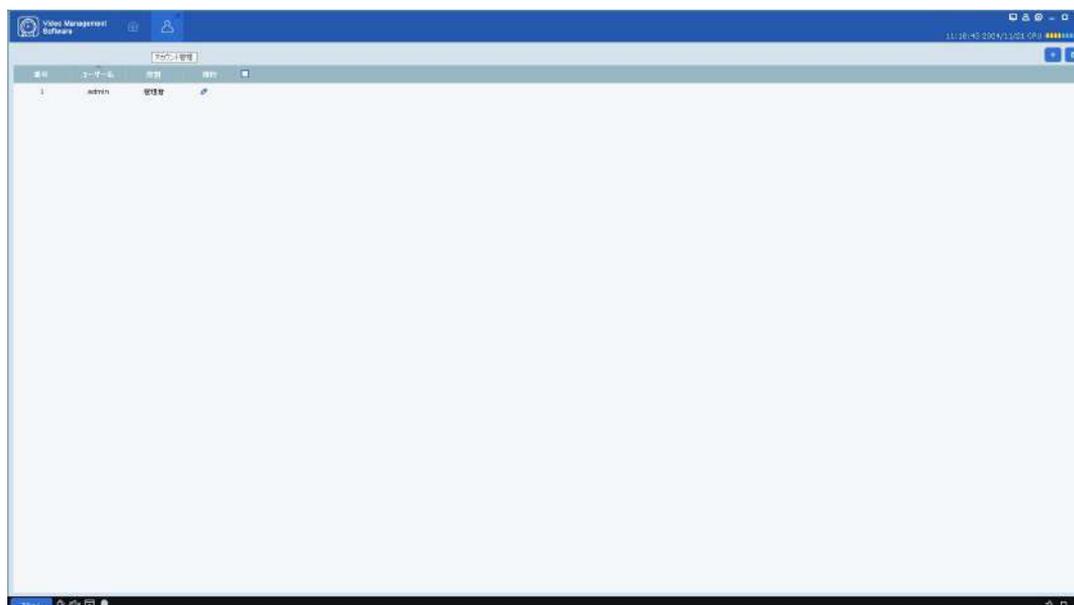


図 9-1-1 アカウント管理画面

ステップ2: インターフェイスの右上隅にある  アイコンをクリックしてユーザーを追加します (図 9-1-2)。各項目の説明につきましては、「[表 9-1-1 ユーザー追加 \(項目説明\)](#)」を参照してください。



図 9-1-2 ユーザー追加

ステップ3: 権限設定を確認します。「[表 9-1-1 ユーザー追加 \(項目説明\)](#)」を参考にしてください。

表 9-1-1 ユーザー追加 (項目説明)

項目	内容
役割	オペレーターだけがユーザーとして追加可能です。

ユーザー名	既存のユーザー名と同じユーザー名を追加することはできません。
パスワード	パスワードを設定します。誤設定防止のために、[パスワードの確認]へ[パスワード]と同じパスワードを入力する必要があります。
パスワードの確認	パスワードは8文字以上である必要があります。
基本権限	ユーザーのアクセス権を設定します： デバイス管理，ログ管理，アラーム設定管理，マップ管理，トポロジー管理，AI 検索，データ解析，AI シーン，AI 設定，パスワード変更
チャンネル別権限 チャンネル	ハイライト表示されている機能のユーザーのチャンネルアクセス権を設定します： ライブ画面，PTZ コントロール， キャプチャー，録画，再生，録画ダウンロード，ローカル録画スケジュール，ローカル再生 ① 左側の“チャンネル別権限”欄でチャンネル権限を設定したい項目をクリックしてハイライト状態にします。 ② 右側の“チャンネル”欄で許可したいチャンネルにチェックを入れ許可したくないチャンネルのチェックを外します。

ステップ 4: 設定が済みましたら、[はい]ボタン  をクリックすると設定した権限のユーザーが作成されます。初期化をクリックすることでアクセス権限をデフォルト状態へ戻せます。



【ご注意ください】 admin はすべての権限を持ち、パスワードの変更のみ行えます。

9.2 ユーザーの変更（パスワード/権限設定）

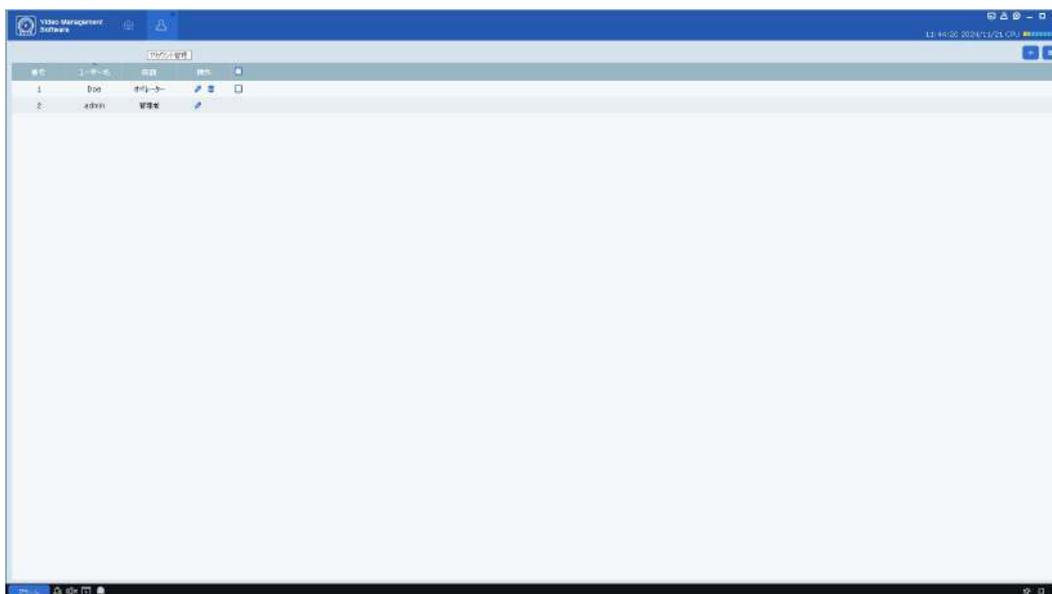


図 9-2-1 アカウント管理画面（表示例）

ステップ 1: アカウント管理画面で変更が必要なユーザーの操作列にあるユーザー変更

アイコン  をクリック致しますと、図 9-2-2 に示しますような画面がポップアップ表示されます。



図 9-2-2 ユーザーの変更

ステップ2: ユーザー名、パスワードを必要に応じて変更します。

(設定例)

ステップ3: ユーザーの“基本権利”を必要に応じて変更します。

(設定例)

ステップ4: ユーザーのチャンネルの権利を必要に応じて変更します。

例えば次の図は、“8MP-578DX-SD”の“ライブビュー”は許可して“PTZコントロール”は許可しないという場合には以下の様な設定例となります。

(設定例)

(設定例)

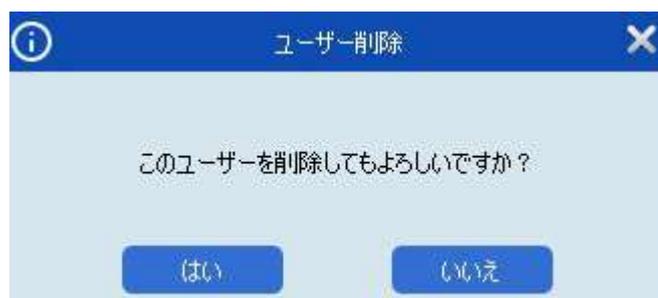
ステップ5: 設定後に[はい] ボタンをクリックして保存します([初期化]ボタンをクリックすることでアクセス権限をデフォルト状態へ戻せます)。

9.3 ユーザーの削除

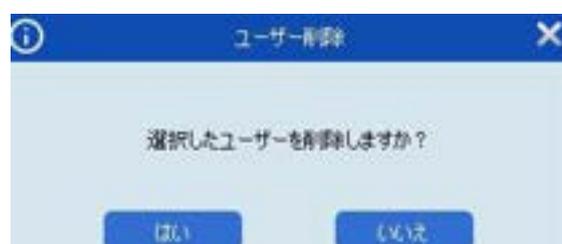
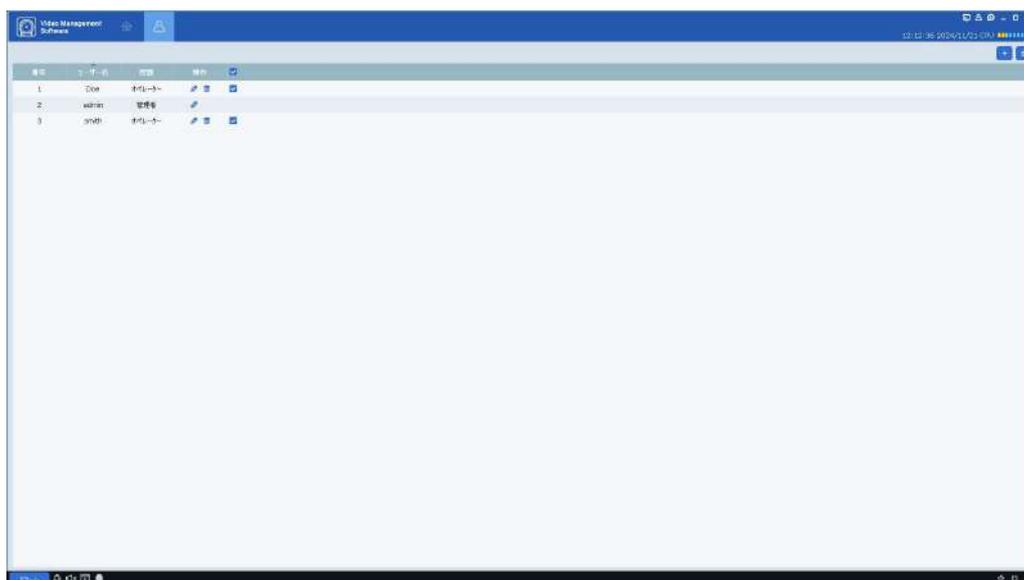
ユーザーを削除するには、そのユーザーの削除アイコンをクリックします。確認ダイアログボックスが表示されますので、削除を実施する場合は[はい]ボタン

をクリックします。

ユーザーを削除するには、admin（管理者）でログインされている必要があります。



複数のユーザーのチェックボックスをオンにして、画面右上隅にある [一括削除] ボタンをクリックして一括削除することもできます。

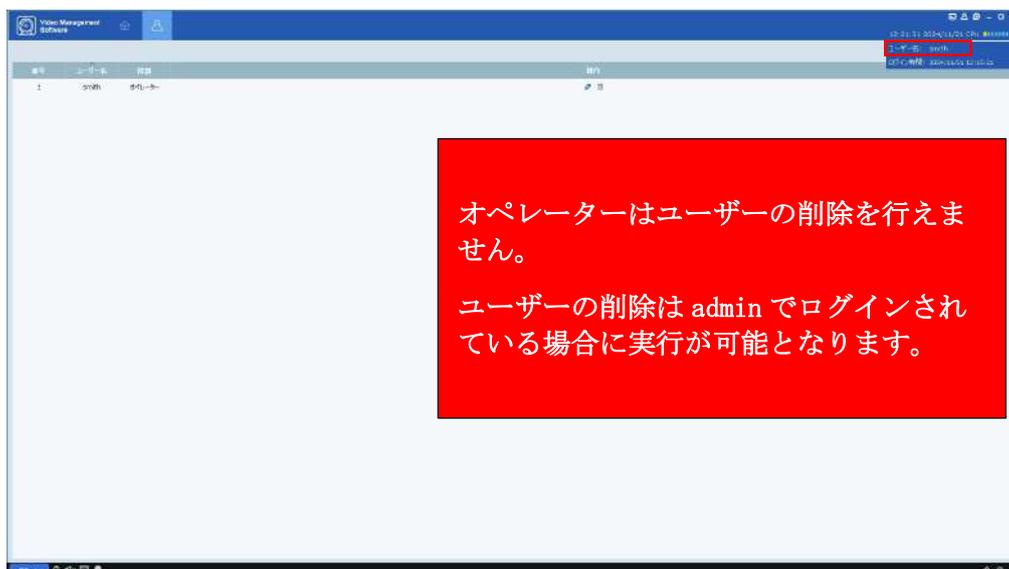




【ご注意ください】 admin（管理者）は削除できません。



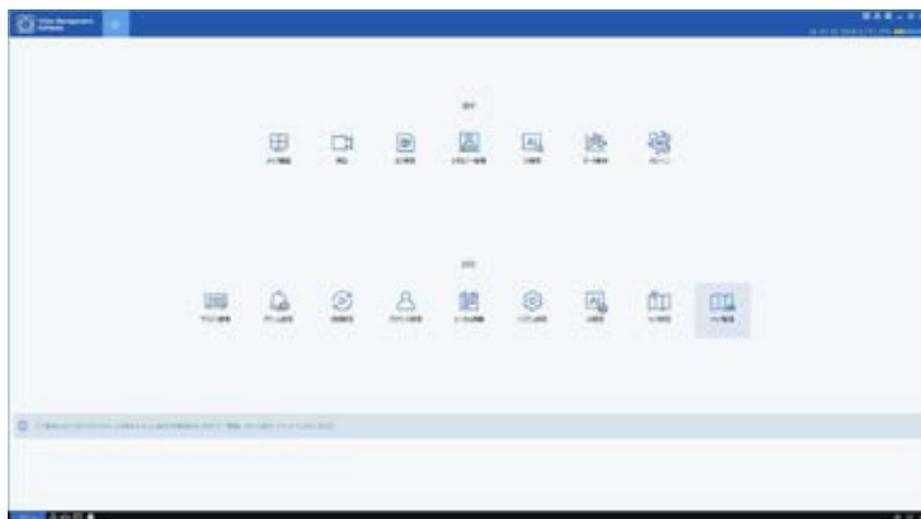
【ご注意ください】 ユーザーの削除は admin（管理者）でログインされている場合に行うことが可能です。

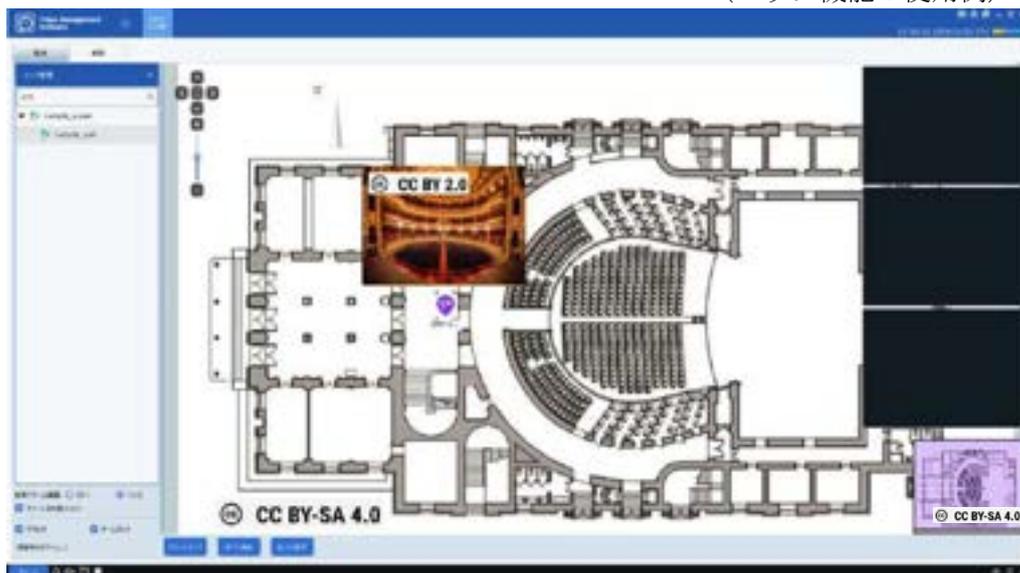


第10章 マップ

マップを使用すると、ビデオまたはアラームがどこに位置するかを視覚的に把握することが可能です。チャンネルのビデオ、アラームをリアルタイムで位置表示することが可能です。

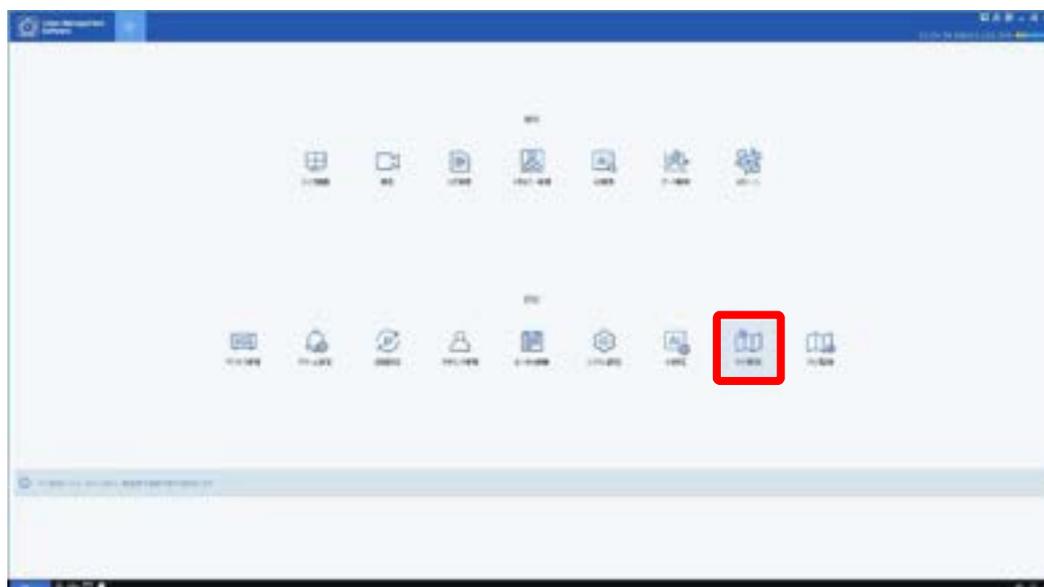
	<p>マップ設定： マップ、ホットスポット、関連操作機能を表示する設定します。</p>
	<p>マップ監視： ホットスポットのリアルタイム映像をマップ上に表示させ監視を行います（ライブ画面、アラーム表示、アラームフィルタリングなど）</p>





10.1 マップ設定

マップ設定では、マップ、ホットスポット、関連操作機能を表示する設定します。



10.1.1 新しいマップの作成

ステップ1: メインメニューで「マップ設定」 をクリックします。画面左の“マップ管理” を選択します (図 10-1-1)。

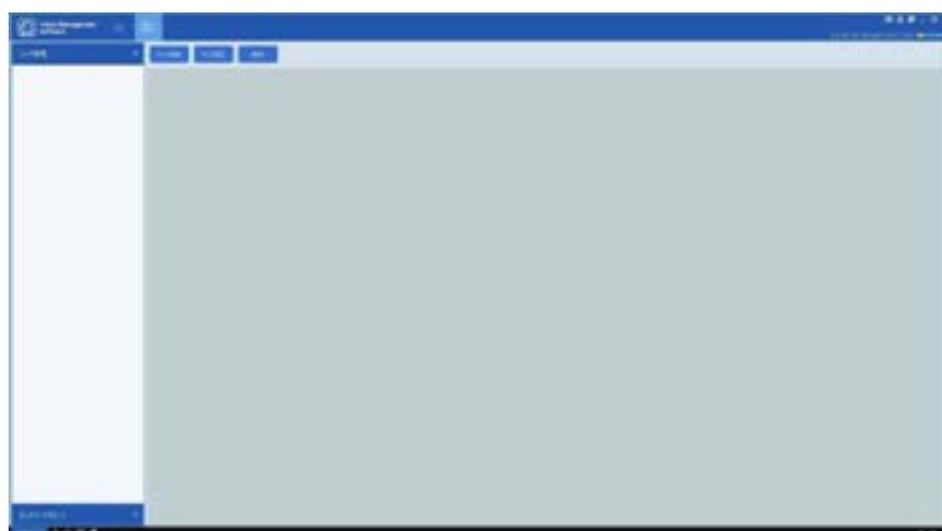


図 10-1-1 マップ構成

ステップ 2: マップ追加アイコン  をクリックすると、マップ追加ダイアログがポップアップ表示されます (図 10-1-2)。



図 10-1-2 マップ追加

ステップ 3: マップ名を入力し、マップファイル選択アイコン  をクリックしてマップ画像を選択します。

ステップ 4: 「はい」をクリックして適用します。

10.1.2 マップ編集

ステップ1: 画面左にある“マップ管理”  を開き、マップ管理  の中にある、ダブルクリックして編集が必要な親マップを開きます (図 10-2-1)。

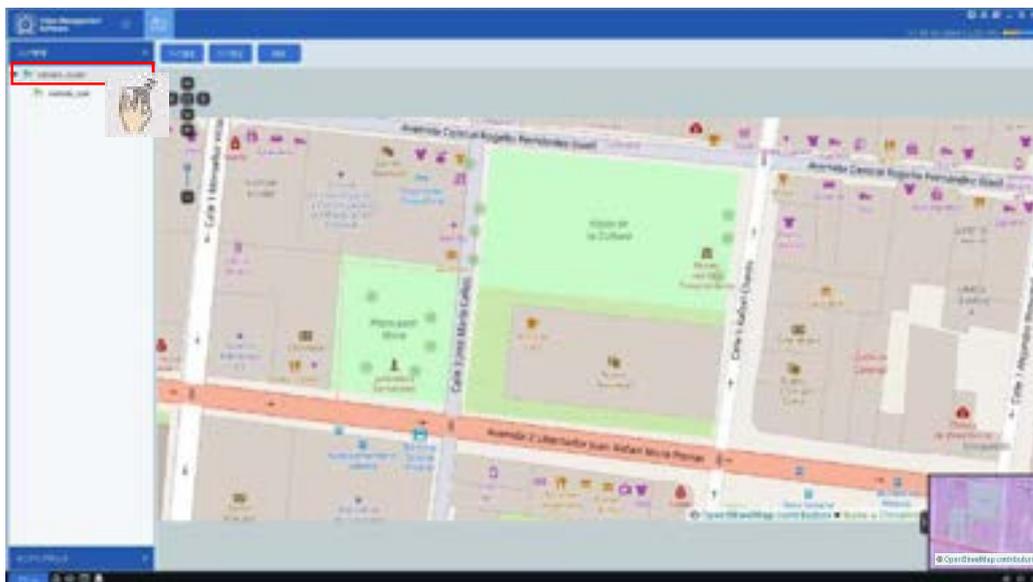


図 10-2-1 マップ編集

ステップ2: 親マップの該当箇所へ子マップ (例えば構内図など) をドラッグアンドドロップします。親マップへ子マップの位置が配置されます。配置された子マップを“ホットエリア”と呼びます。

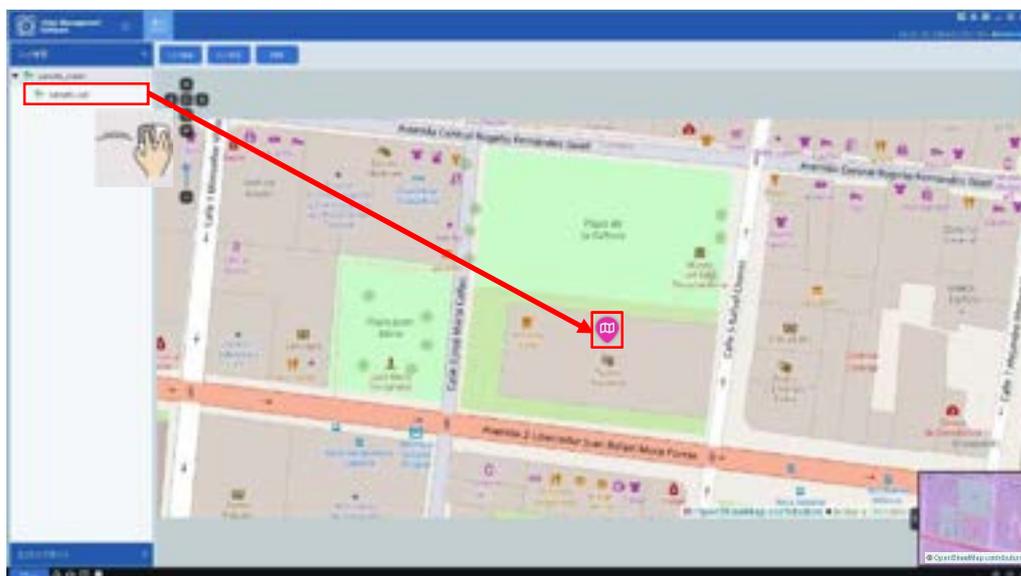


図 10-2-2 “ホットエリア”配置例

ステップ 3: “ホットエリア” アイコン  をダブルクリックして、“ホットエリア” のマップ (子マップ) を開きます。

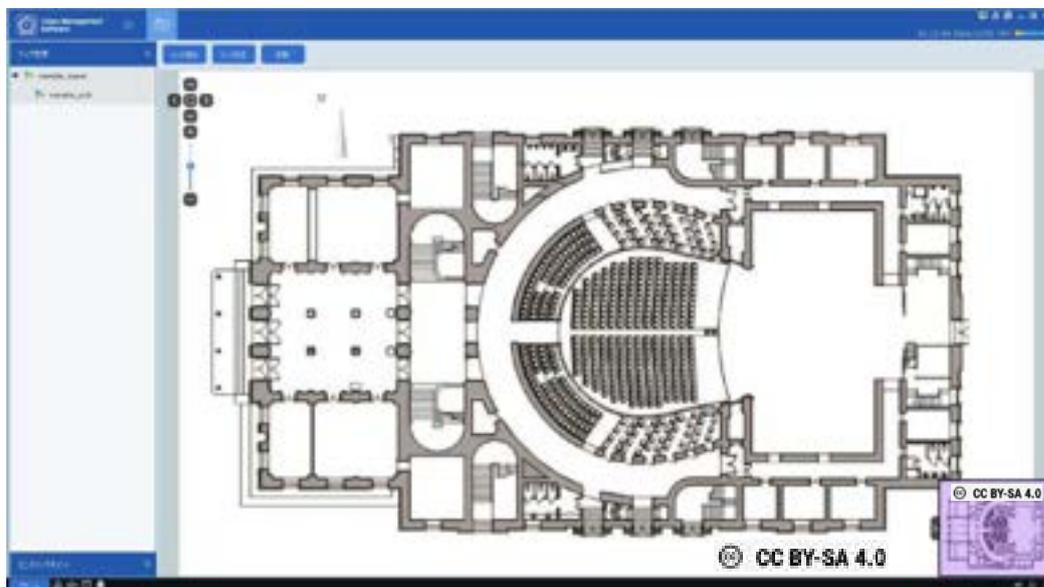


図 10-2-3 “ホットエリア” のマップ表示例

ステップ 4: 画面左にある“モニタリングポイント”  を開き、“モニタリングポイント”  から CH をドラッグアンドドロップしてデバイス位置を“ホットエリア” 内へ配置します。この配置したものは“ホットスポット” と呼びます。

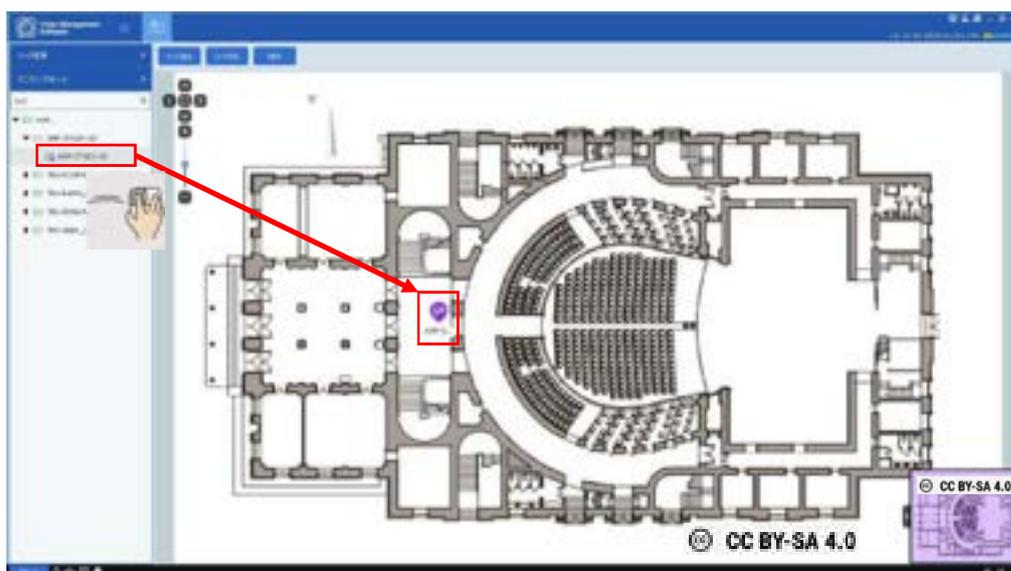


図 10-2-4 “ホットスポット” 配置例

ステップ5: “ホットスポット”を右クリックすると編集（修正）と削除が可能です。

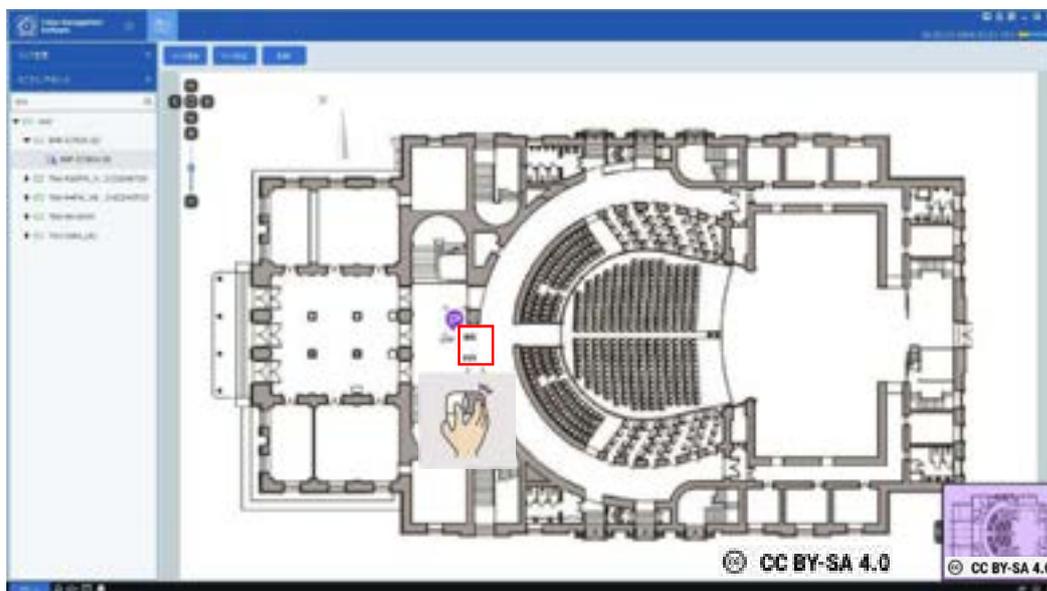


図 10-2-5 “ホットスポット”配置例



図 10-2-6 “ホットスポット”編集（修正）画面

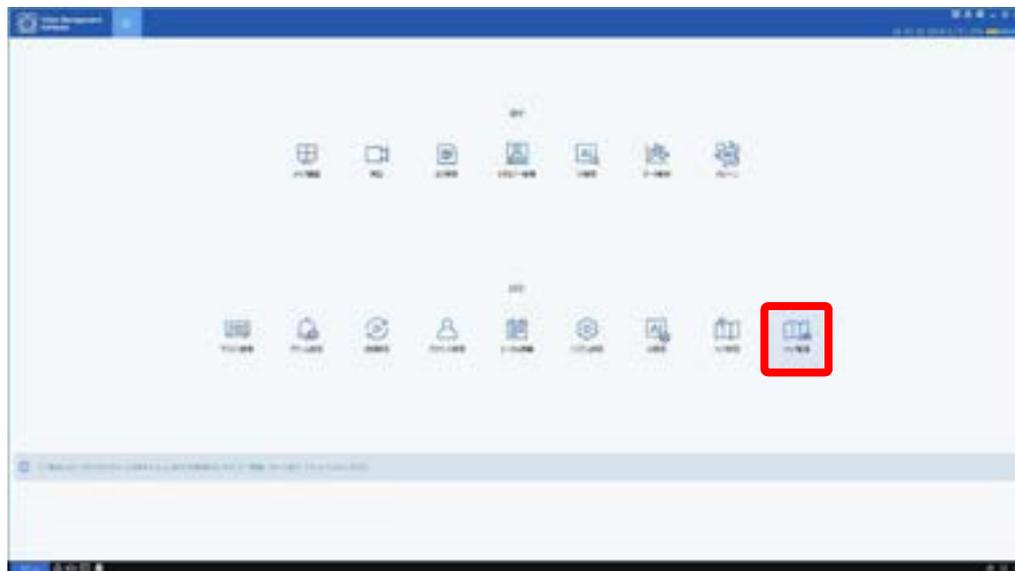
ステップ 6: “ホットエリア”も同様に、右クリックすると編集（修正）と削除が可能です。



図 10-2-7 “ホットエリア” 編集（修正）画面

10.2 マップ監視

マップ編集で設定したらマップ監視が可能です。
ホームメニューで「マップ管理」をクリックします。



ホットエリアを開き、ホットスポットをダブルクリックすると、図 10-3-1 の様にライブ映像が映し出されます。



図 10-3-1 マップ監視画面 表示例

“オーバーラップ” ボタン  をクリックしてライブ映像を任意の位置へレイアウト可能です。“オーバーラップ” ボタン  の場所は、図 10-3-1 でご説明致しますと画面下部にございます。

“並べて表示” ボタン  をクリック致しますと、ライブ映像の配置は図 10-3-1 の様に画面右側へ縦並びになります。

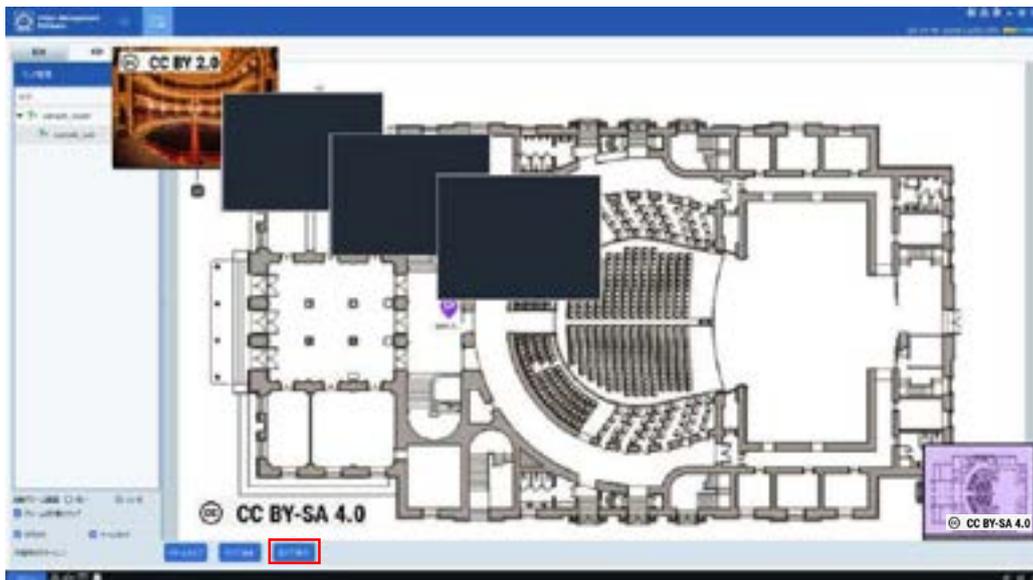


図 10-3-2 マップ監視画面 オーバーラップ表示例

図 10-3-3 の様にオーバーラップ画面ではライブ映像をマウスドラッグして任意の位置へライブ映像をレイアウトすることが可能です。

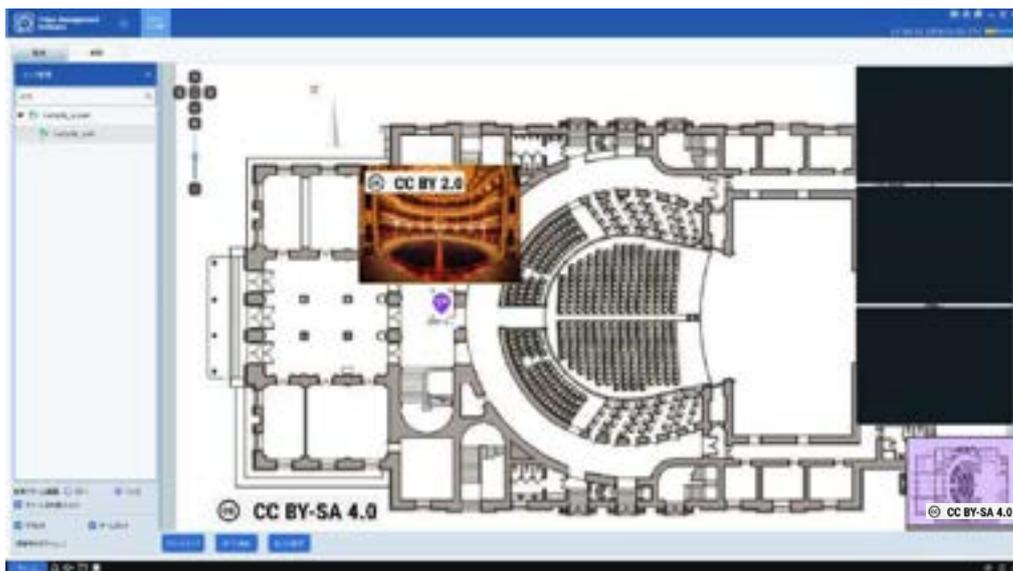


図 10-3-3 マップ監視画面 任意の位置へのレイアウト例

<アラームタイプ> 設定が済みましたら、[はい]ボタン  で確定します。

 アラームタイプ

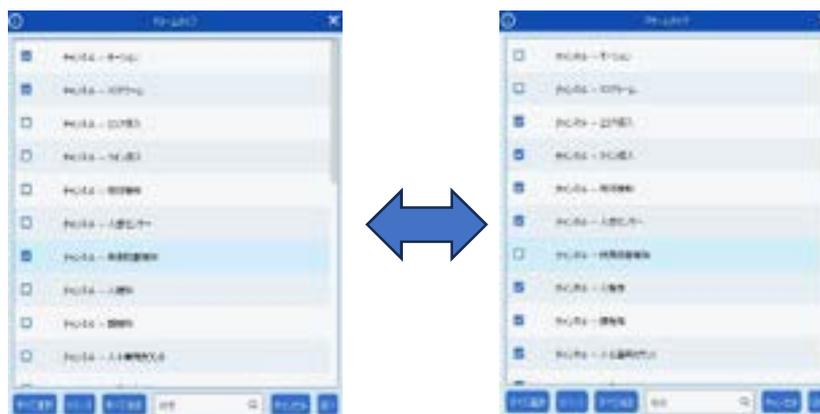
：“アラームタイプ” ボタン  をクリック致しますとアラームタイプ画面が表示されます。アラームタイプ画面では通知対象のアラームを選択可能です。



“リバーズ” ボタン  ： 設定値を反転できます。“リバーズ” ボタン

 リバーズ

をクリック致しますと、選択されている状態のアラームタイプは選択されていない状態へ、選択されていない状態のアラームタイプは選択されている状態へとなります。



“すべて消去” ボタン **すべて消去** : “すべて消去” ボタン **すべて消去** をクリック致しますと、すべてのチェックをワンクリックで外します。“すべて消去” ボタン **すべて消去** をクリックした場合、選択されている状態のアラームタイプは選択されていない状態へ、選択されていない状態のアラームタイプは選択されていない状態のままとなります。つまり、“すべて消去” ボタン **すべて消去** をクリックすることで、全てのアラームタイプのチェックは外されます。

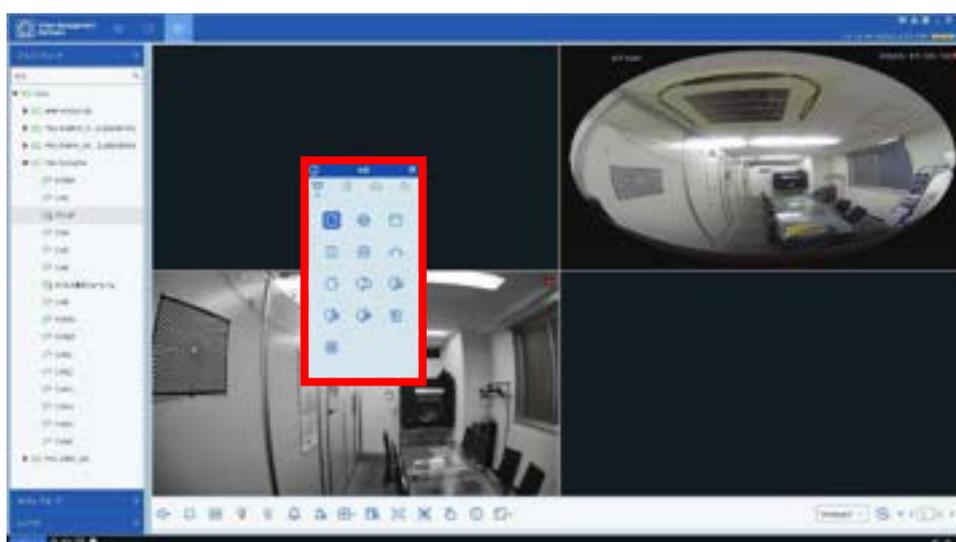
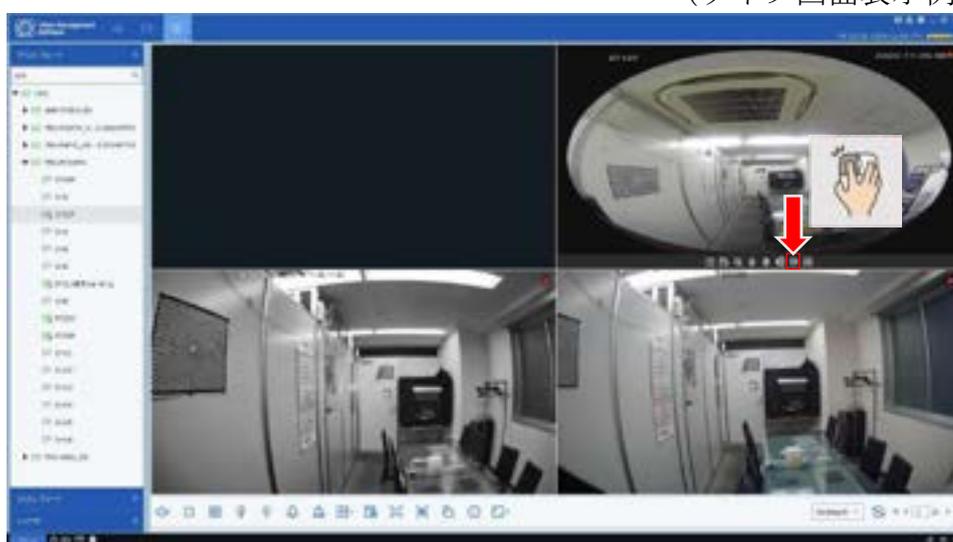


第11章 フィッシュアイ（魚眼）モード

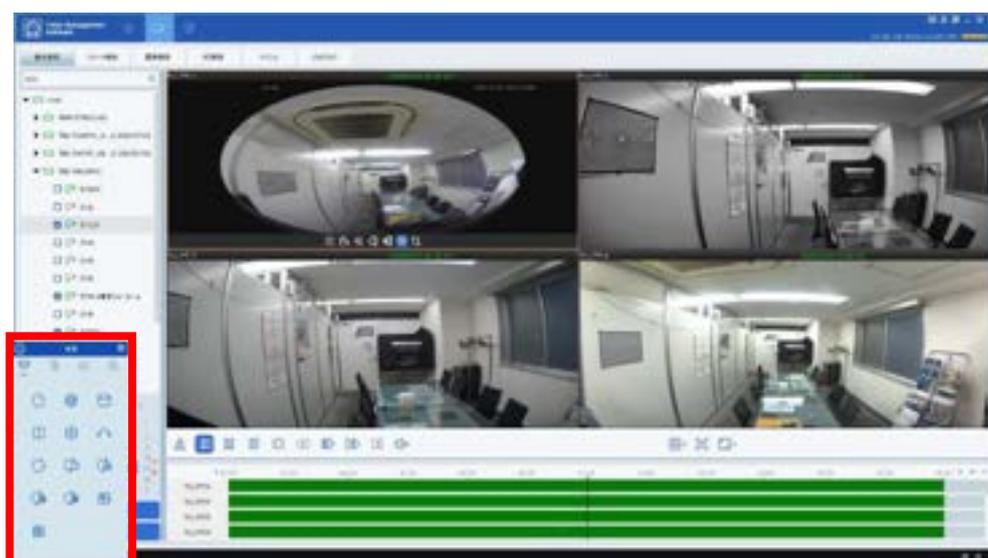
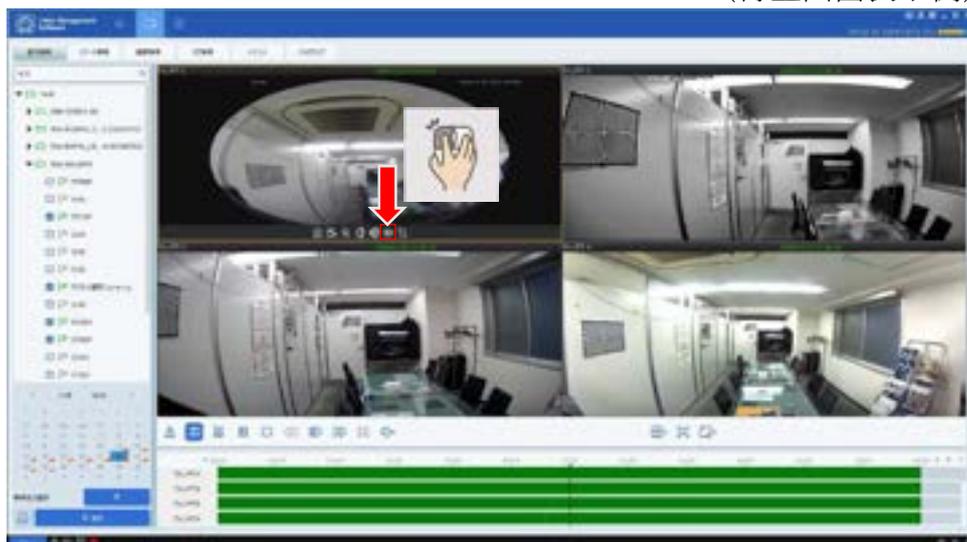
対応するフィッシュアイカメラの場合は、フィッシュアイの各種表示モードをサポートしております。フィッシュアイ（魚眼）モードは、対応するフィッシュアイカメラチャンネルが表示されている映像エリア内のクイックツールバー内にあります。

[ステップ1] フィッシュアイ（魚眼）モードに対応するフィッシュアイカメラチャンネルが表示されている映像エリア内へマウスカーソルを持っていき、そのチャンネルをクリックしてハイライト状態にしてクイックツールバーを表示させます。

(ライブ画面表示例)



(再生画面表示例)



- [ステップ2] クイックツールバーを表示させましたら、クイックツールバー内の“魚眼”アイコンをクリックして魚眼コントロールパネルウィンドウを表示させます。魚眼コントロールパネルウィンドウは魚眼コントロールパネルウィンドウ上部のエリア部分へマウスカーソルを持っていきマウスドラッグすると自由に移動させることが可能です。



図 11 魚眼コントロールパネル

[ステップ 3] 目的の設置モード、展開モードを選択します。詳しくは、[「表 11-1 フィッシュアイ 設置モード」](#)、[「表 11-2 フィッシュアイ ビュー \(フィッシュアイ用表示\) モード」](#)をご参照ください。

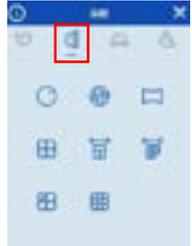
[ステップ 4] 目的の設置モード、展開モードを選択致しましたら、魚眼コントロールパネルウィンドウ右上の閉じるボタンをクリックして、魚眼コントロールパネルウィンドウを閉じます。

元の映像へ戻すには、魚眼コントロールパネルウィンドウで展開モードを“魚眼”モードにしてください。



図 11-2 “魚眼” 展開モードアイコンで元の映像に戻します。

表 11-1 フィッシュアイ 設置モード

項目	内容		
設置モード	フィッシュアイの設置状況に合わせて設置モードを選択します。		
		天井	
		壁	

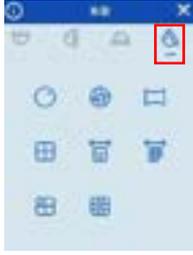
		<p>デスクトップ</p>	
		<p>チルト</p>	

表 11-2 フィッシュアイ ビュー (フィッシュアイ用表示)
モード

項目	内容	対応する 設置モード
	未修整ビュー (原画像) を表示します。	 ,  ,  , 
	スプライト (2 分割) モード。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。	
	半円モード。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。	 ,  ,  , 
	円柱モード。平面に延伸することができます。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。	 , 
	クワッド (4 分割) モード。 擬似 PTZ 操作をサポートしています。	 ,  ,  , 
	180° パノラマビュー (180° パノラマ表示)。 2つのサブウィンドウで360°のデュアルパノラマを構成します。開始点の左右移動 (疑似パン) 操作をサポートします。	 , 
 : 1P	360° パノラマビュー (360° 包 ^{ほうふ} 覆表示)。 擬似パンチルト操作をサポートしています。	 , 
 : 1P+1	360° パノラマビュー (360° 包 ^{ほうふ} 覆表示) と 1つのシングルビュー (1つのアングル表示)。 シングルビュー (1つのアングル表示) では擬似 PTZ 操作をサポートしています。	 , 
 : 1P+3	360° パノラマビュー (360° 包 ^{ほうふ} 覆表示) と 3つのシングルビュー (3つのアングル表示)。 全てのシングルビュー (アングル表示) では擬似 PTZ 操作をサポートしています。	 , 

 :1P+6	<p>360° パノラマビュー (360° 包^{ほうふ}覆表示) と 6つのシングルビュー (6つのアングル表示)。全てのシングルビュー (アングル表示) では擬似 PTZ 操作をサポートしています。</p>	
 :1P+8	<p>360° パノラマビュー (360° 包^{ほうふ}覆表示) と 8つのシングルビュー (8つのアングル表示)。全てのシングルビュー (アングル表示) では擬似 PTZ 操作をサポートしています。</p>	
 :1+3	<p>未修整ビュー (原画像) と 3つのシングルビュー (3つのアングル表示)。3つのシングルビュー (3つのアングル表示) では擬似 PTZ 操作をサポートしていますが、未修整ビュー (原画像) ではデジタルズームのみをサポートします。</p>	
 :1+8	<p>8つのシングルビュー (8つのアングル表示) では擬似 PTZ 操作をサポートしていますが、未修整ビューではデジタルズームのみをサポートします。</p>	
 :1P	<p>360° パノラマモード (360° パノラマ表示)。垂直視野角を調整可能で、ズーム、移動操作はサポートされていません。</p>	
 :4	<p>4つのシングルビュー (4つのアングル表示)。全てのシングルビュー (アングル表示) で擬似パンチルトズーム操作をサポートしています。</p>	
 :1P+3	<p>360° パノラマモード (360° パノラマ表示) と 3つのシングルビュー (3つのアングル表示)。360° パノラマモード (360° パノラマ表示) では垂直視野角を調整可能で、ズーム、移動操作はサポートされていません。全てのシングルビューアングル表示) では擬似 PTZ 操作をサポートしています。</p>	

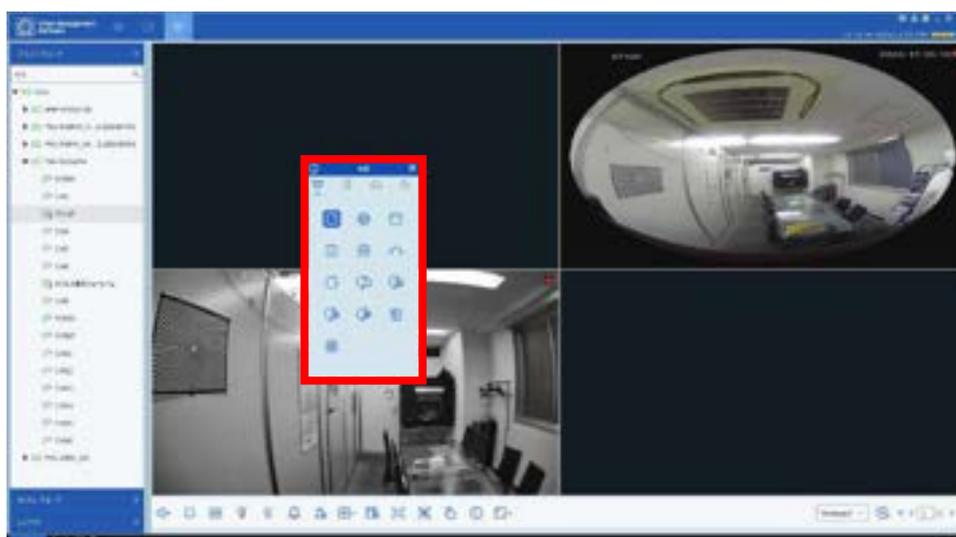
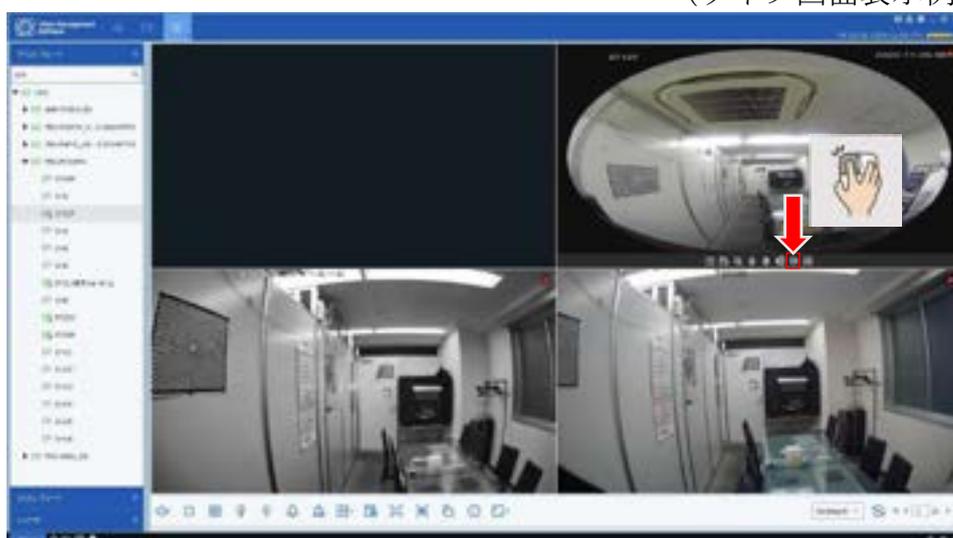
 : 1P+8	<p>360° パノラマモード (360° パノラマ表示) と 8 つのシングルビュー (8 つのアンクル表示)。360° パノラマモード (360° パノラマ表示) では垂直視野角を調整可能で、ズーム、移動操作はサポートされていません。全てのシングルビュー (アンクル表示) では擬似 PTZ 操作をサポートしています。</p>	
--	---	---

11.1 ライブ画面でのフィッシュアイ（魚眼）モード

対応するフィッシュアイカメラの場合は、フィッシュアイの各種表示モードをサポートしております。フィッシュアイ（魚眼）モードは、対応するフィッシュアイカメラチャンネルが表示されている映像エリア内のクイックツールバー内にあります。

[ステップ 1] フィッシュアイ（魚眼）モードに対応するフィッシュアイカメラチャンネルが表示されている映像エリア内へマウスカーソルを持っていき、クイックツールバーを表示させます。

(ライブ画面表示例)



[ステップ 2] クイックツールバーを表示させましたら、クイックツールバー内の“魚眼”アイコンをクリックして魚眼コントロールパネルウィンドウを表示させます。魚眼コントロールパネルウィンドウは魚眼コントロールパネルウィンドウ上部のエリア部分へマウスカーソルを持っていきマウスドラッグすると自由に移動させることが可能です。



図 11-1-1 魚眼コントロールパネル

[ステップ 3] 目的の設置モード、展開モードを選択します。詳しくは、[「表 11-1-1 フィッシュアイ 設置モード」](#)、[「表 11-1-2 フィッシュアイ ビュー \(フィッシュアイ用表示\) モード」](#)をご参照ください。

[ステップ 4] 目的の設置モード、展開モードを選択致しましたら、魚眼コントロールパネルウィンドウ右上の閉じるボタンをクリックして、魚眼コントロールパネルウィンドウを閉じます。

元の映像へ戻すには、魚眼コントロールパネルウィンドウで展開モードを“魚眼”モードにしてください。



図 11-1-2 “魚眼” で元の映像に戻します。

表 11-1-1 フィッシュアイモードの概要

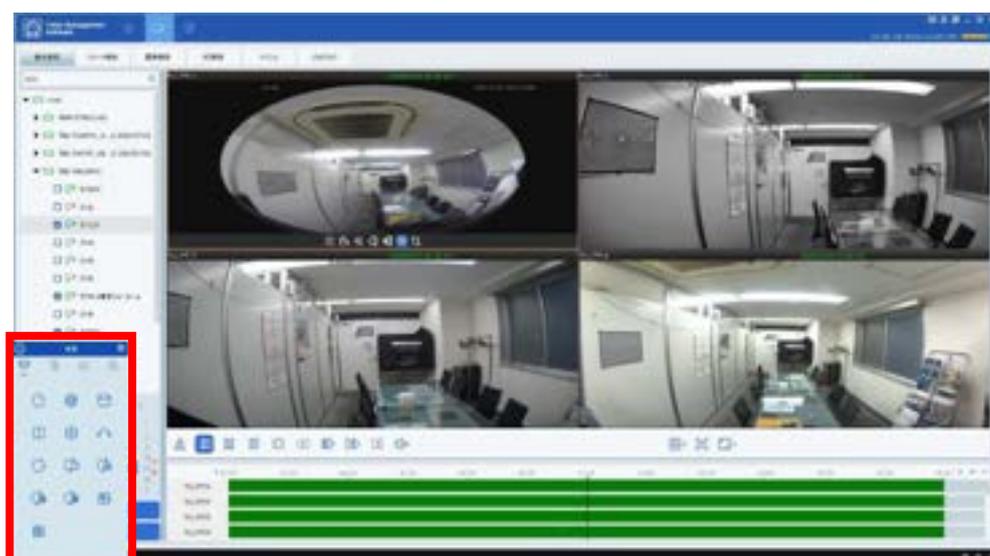
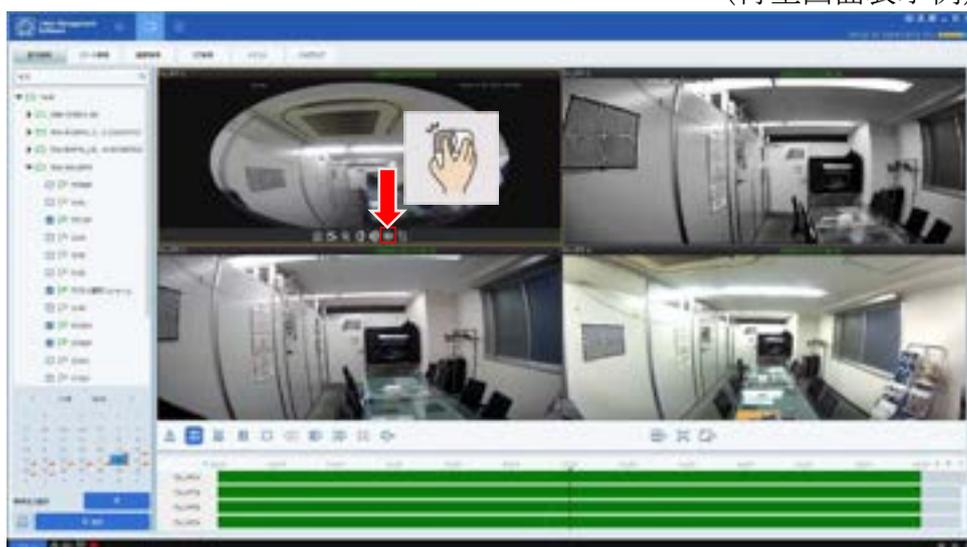
No.	項目	内容
1	設置モード	設置モードを切替えます。(「 表 11-1 フィッシュアイ 設置モード 」をご参照ください)
2	ビューモード	ビューモード (表示方法) を切替えます。(「 表 11-2 フィッシュアイ ビュー (フィッシュアイ用表示) モード 」をご参照ください)
3	映像表示	設定内容に合わせて映像が表示されます。

11.2 ビデオ再生中でのフィッシュアイモード

対応するフィッシュアイカメラの場合は、フィッシュアイの各種表示モードをサポートしております。フィッシュアイ（魚眼）モードは、対応するフィッシュアイカメラチャンネルが表示されている映像エリア内のクイックツールバー内にあります。

[ステップ 1] フィッシュアイ（魚眼）モードに対応するフィッシュアイカメラチャンネルが表示されている映像エリア内へマウスカーソルを持っていき、クイックツールバーを表示させます。

(再生画面表示例)



[ステップ2] クイックツールバーを表示させましたら、クイックツールバー内の“魚眼”アイコンをクリックして魚眼コントロールパネルウィンドウを表示させます。魚眼コントロールパネルウィンドウは魚眼コントロールパネルウィンドウ上部のエリア部分へマウスカーソルを持っていきマウスドラッグすると自由に移動させることが可能です。



図 11 魚眼コントロールパネル

[ステップ3] 目的の設置モード、展開モードを選択します。詳しくは、[「表 11-1 フィッシュアイ 設置モード」](#)、[「表 11-2 フィッシュアイ ビュー \(フィッシュアイ用表示\) モード」](#)をご参照ください。

[ステップ4] 目的の設置モード、展開モードを選択致しましたら、魚眼コントロールパネルウィンドウ右上の閉じるボタンをクリックして、魚眼コントロールパネルウィンドウを閉じます。

元の映像へ戻すには、魚眼コントロールパネルウィンドウで展開モードを“魚眼”モードにしてください。



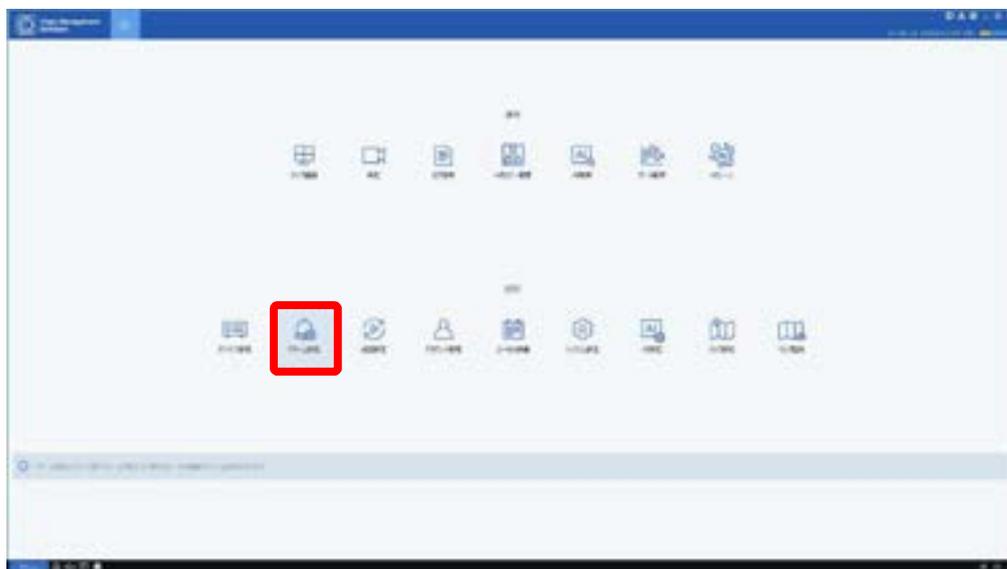
図 11-2 “魚眼” で元の映像に戻します。

表 11-1-1 フィッシュアイモードの概要

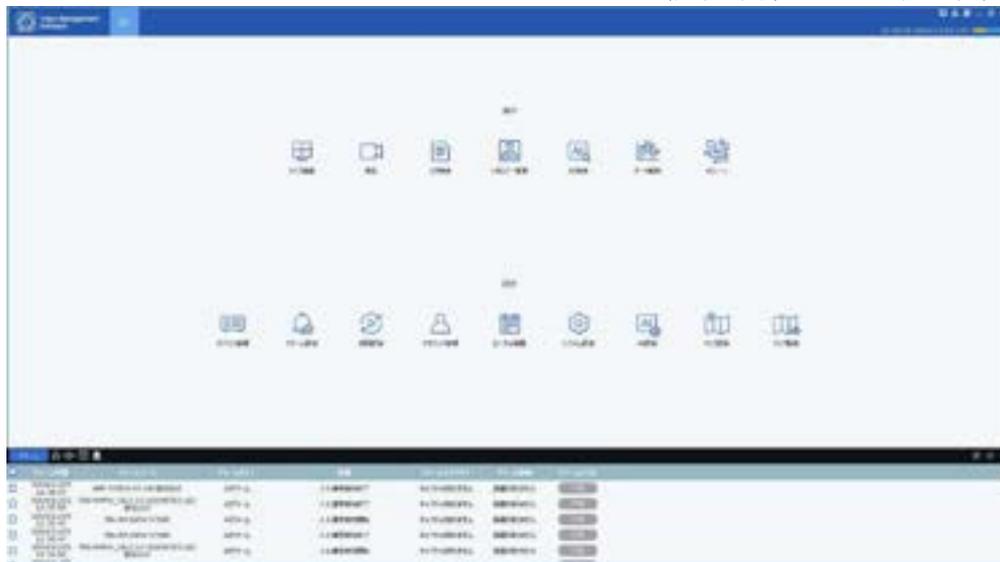
No.	項目	内容
1	設置モード	設置モードを切替えます。(「 表 11-1 フィッシュアイ 設置モード 」をご参照ください)
2	ビューモード	ビューモード (表示方法) を切替えます。(「 表 11-2 フィッシュアイ ビュー (フィッシュアイ用表示) モード 」をご参照ください)
3	映像表示	設定内容に合わせて映像が表示されます。

第12章 アラーム設定

ホームメニューで [アラーム設定] をクリックして、アラーム設定画面へ移動します。チャンネルのさまざまなアラートを切り替え、設定することができます。



(画面下部アラート表示例)



12.1 アラーム連動（アラーム設定）

図 12-1-1 の 1～6 の表示エリアについて、「表 12-1-1 アラーム設定画面の説明」で説明いたします。また、アラーム連動パラメータについては「表 12-1-2 アラーム連動パラメータの説明」を御参照ください。

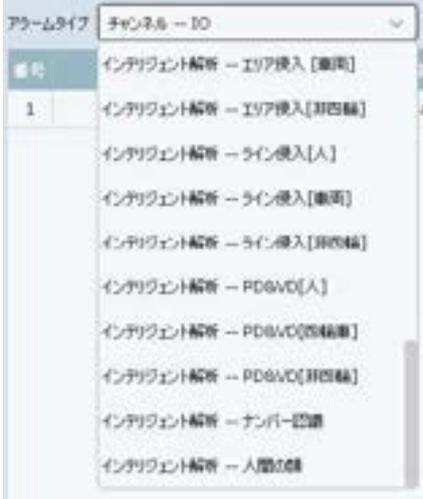


図 12-1-1 アラーム設定画面

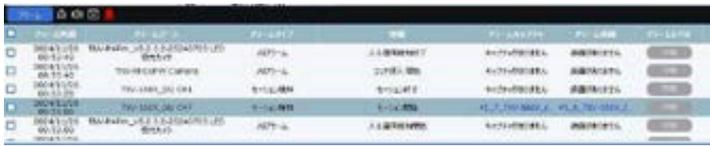
表 12-1-1 アラーム設定画面の説明

No.	項目	内容
1	デバイス一覧	<p>設定するデバイスを選択します。</p> <p>(I) 先ず、 の右向きの▶マークをクリックして、▼にします。登録されているデバイスが展開されます。</p> <p>(II) アラーム設定したいデバイスをクリックしてハイライト状態にします。ハイライト状態はデバイスが選択されていることを示します。</p>

		
<p>2</p>	<p>アラート</p>	<p>設定後は[保存]ボタン  (図 12-1-1 の  の領域に ございます)をクリックして確定してください。</p> <p>設定するアラートを選択します。デバイスが対応していない場合は動作しません。</p>  

		
<p>3</p>	<p>アラート アクション</p>	<p>設定後は[保存]ボタン  (図 12-1-1 の 4 の領域) をクリックして確定してください。</p> <p>アラートトリガの対象アクションを設定します。デバイスが対応していない場合は動作しません。</p> <p>[音声], [キャプチャ], [録画], [ポップアップ], [メール]: ON/OFF</p>  <p>[スケジュール]: ON/OFF またはスケジュール名を選択します。</p>  <p>[アラームレベル]: アラームレベルを設定できます。</p> 

<p>4</p>		<p>設定を確定するには、[保存]ボタン  をクリックし、画面右下への“設定を保存しました”のポップアップメッセージを確認します。</p>  <p> : 選択中のアラームタイプで全てを ON にします。設定を確定するには、 ボタンをクリックし、画面右下への“設定を保存しました”のポップアップメッセージを確認します。</p>  <p> : クリックしますとデバイスから設定を読み取ります。</p>
----------	---	---

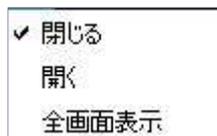
<p>5</p> <p>アラーム情報 ウィンドウ、 ポップアップ ウィンドウ、 アラートサウ ンド ON/OFF</p>		<div data-bbox="563 237 722 293" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> <p>アラーム</p> </div> <p>: クリックすると、アラートトリガ情報ポップアップが開きます。</p> <div data-bbox="563 349 643 421" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">  </div> <p>: [情報の削除] アイコンをクリックすると、アラートトリガ情報ポップアップのアラート情報リストがクリアされます。</p> <div data-bbox="579 517 1289 663" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  </div> <div data-bbox="826 674 1054 723" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="568 797 647 869" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">  </div> <p>: [アラーム音]アラーム音が ON です。クリックするとアラーム音を OFF にすることができます。</p> <div data-bbox="568 931 647 1003" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">  </div> <p>: [アラーム音]アラーム音が OFF です。クリックするとアラーム音を ON にすることができます。</p> <div data-bbox="568 1043 647 1115" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">  </div> <p>: [アラーム通知]が許可されています。アラーム情報はリアルタイムでポップアップまたは全画面表示で通知されます。クリックするとアラーム通知を OFF にしたり、アラーム通知モードを変更（開く/全画面表示）することができます。</p> <p><[アラームポップアップ] “開く” の場合></p> <div data-bbox="858 1335 1070 1469" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>閉じる</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 開く</p> <p>全画面表示</p> </div> <p>アラームはポップアップレビュー画面で通知されます。</p> <p><[アラームポップアップ] “全画面表示” の場合></p> <p>アラームは全画面表示で通知されます。</p> <div data-bbox="871 1693 1086 1816" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>閉じる</p> <p>開く</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全画面表示</p> </div> <p>アラーム設定画面でアラームの際にフルスクリーン表示を維持する秒数（300 秒まで）と出力先のディスプレイを選択します。</p>



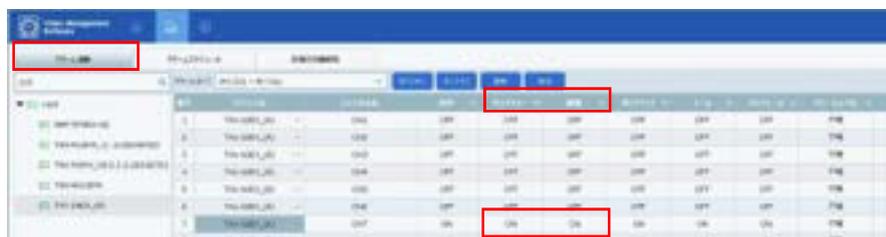
全画面表示中でもアラーム画面を一度クリックしてから ESC キーボタンを押すと表示をキャンセルできます。



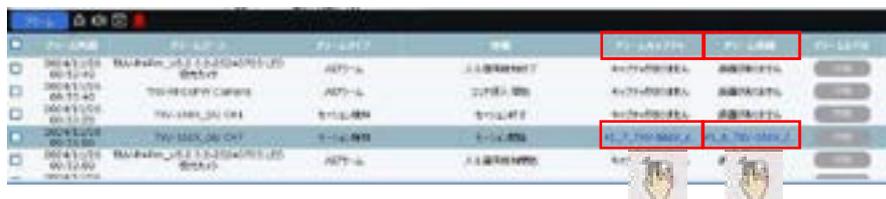
: [アラームポップアップ]が禁止されています。クリックするとアラームポップアップを ON (開く/全画面表示) にすることができます。



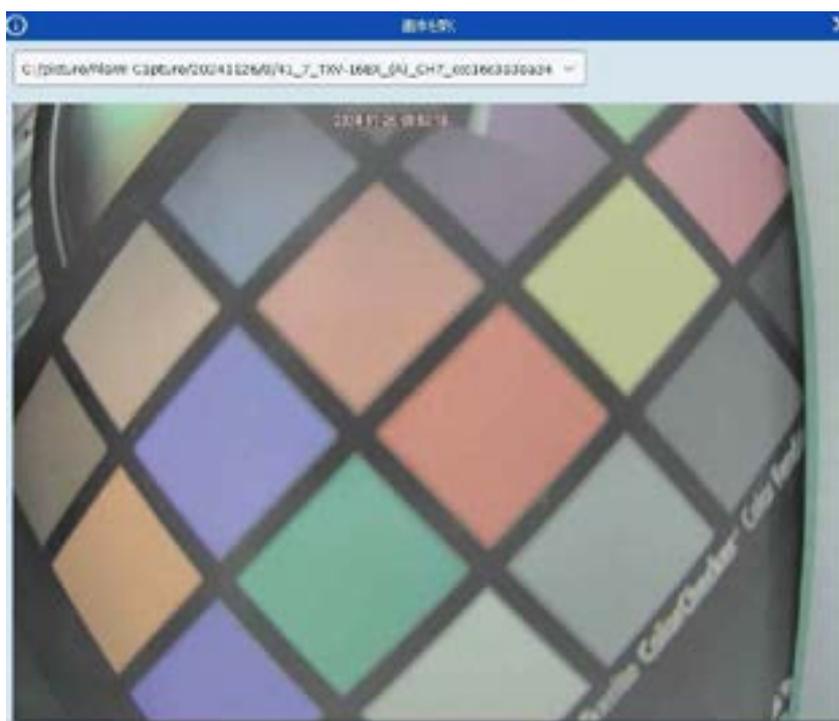
- ・アラームイベントリストはリアルタイムで更新されます。
アラーム連動設定で、キャプチャや録画が ON の場合、



アラームの際にアラームキャプチャやアラーム録画がスナップされます。



それぞれクリックすると、キャプチャ画像やイベント録画のビデオが表示されます。



	
<p>6</p> <p>アラート トリガ情報 ポップアップ エリア、 デバイスア ラーム通知 エリア</p>	<p> 自動非表示の有効/無効 : 自動非表示が“無効”です。 アイコンをクリックすると、自動非表示機能を有効化します。</p> <p> 自動非表示の有効/無効 : 自動非表示が“有効”です。マウスカーソルが離れますとアラートトリガ情報ポップアップ領域が自動的に下へ閉じます。  アイコンをクリック致しますと、この自動非表示機能を無効化致します。</p> <p> : アラートトリガ情報ポップアップ領域を最大表示させ、アラームイベント画面  が開きます。</p> <p> : アラームイベント画面  を閉じて通常表示へ戻します。</p> <p> : クリックすると、アラートトリガ情報ポップアップ領域を展開致します。</p> <p> : クリックすると、アラートトリガ情報ポップアップ領域を下へ閉じます。</p>

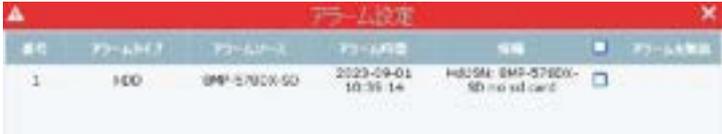
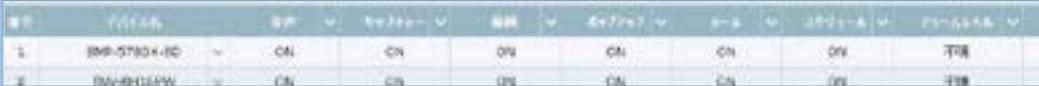
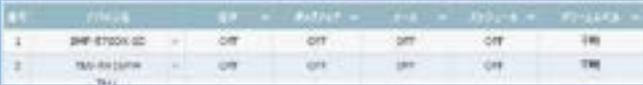
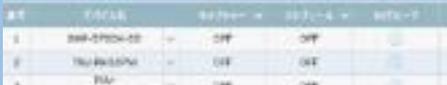
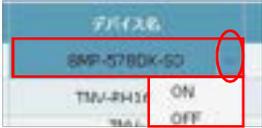
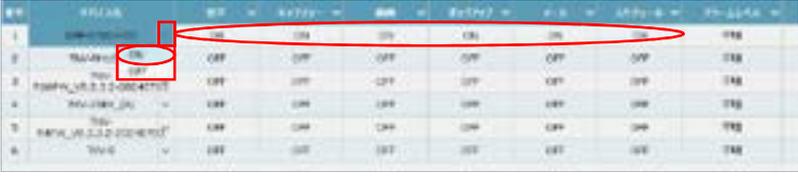
		<p>   </p> <p> : このアイコンをクリック致しますとデバイスアラームの詳細がポップアップ表示されます。  をクリック致しますとデバイスアラームをクリア致します。アラームがある場合にはアイコンが赤色点滅します。 </p> 
--	--	---

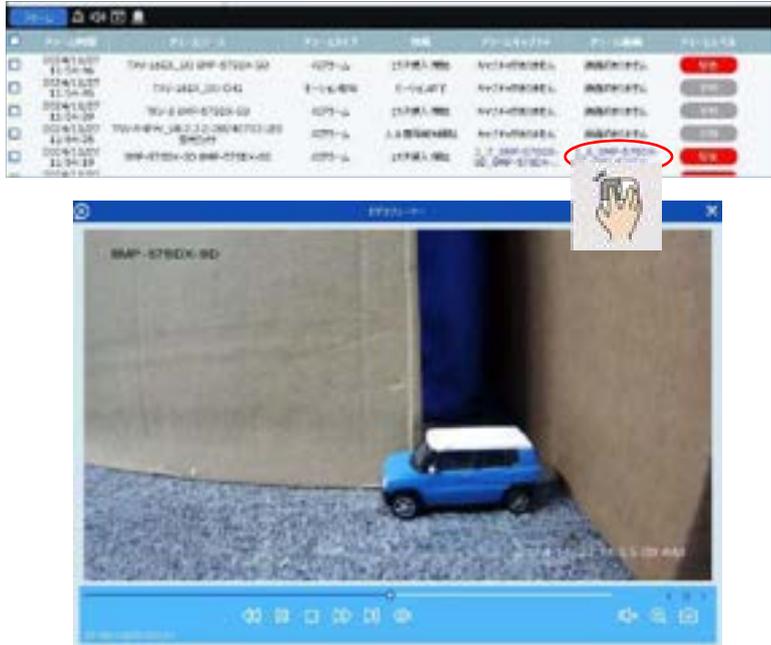
表 12-1-2 アラーム連動パラメータの説明

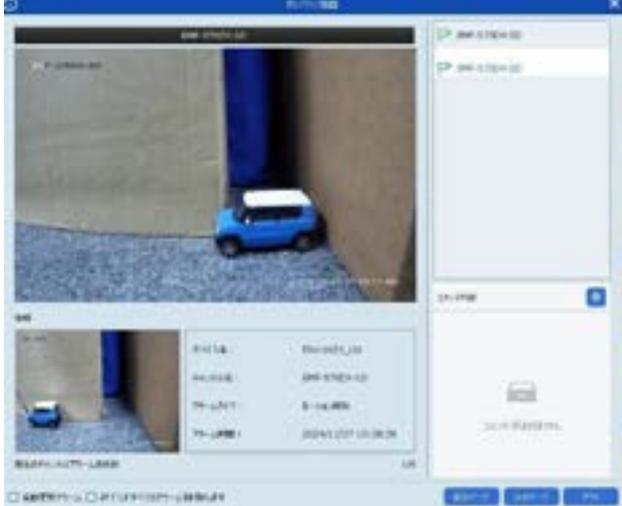
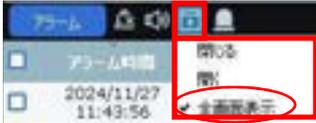
「図 12-1-1 アラーム設定画面」の **3** エリアのアラーム連動パラメータ
アラームタイプで設定可能なアラーム連動パラメータは様々です。

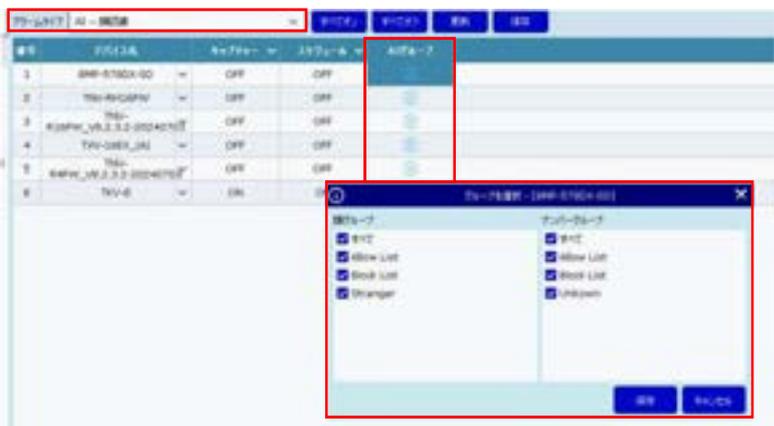




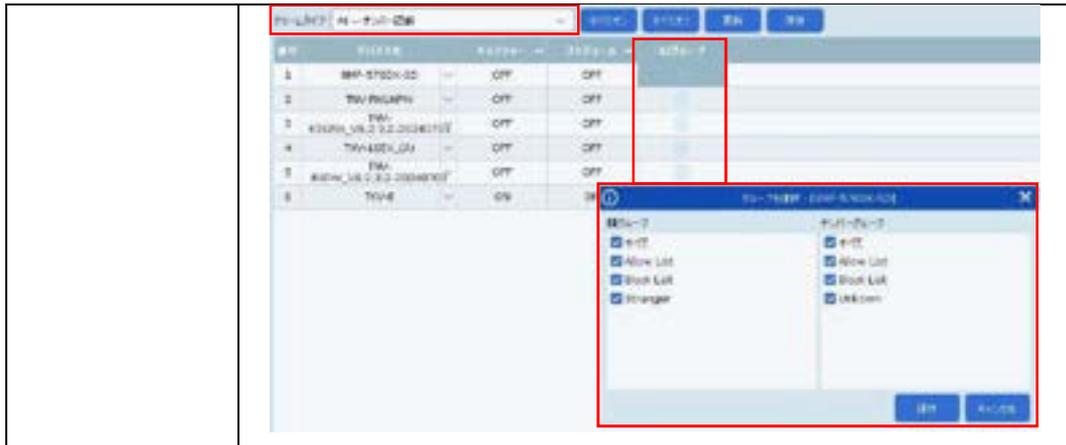

項目	内容
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ●ON: このアラートの連携動作を常に有効にします。 ●OFF: このアラートの連携動作を常に無効にします。 ●(その他): そのスケジュールに則って有効/無効はスケジュール動作します。 
アラームレベル	<p>アラームレベルを設定できます。</p> <p>ここで設定されたアラームレベルはアラート表示の際にアラート表示エリアのアラームレベルに示されます。デフォルトは“不明”です。</p>  
デバイス名	<p>設定対象のデバイス名。</p> <p>デバイス名右側の  マークをクリックしますと、そのデバイスだけの ON/OFF 一括設定が可能です。</p> 

	
<p>音声</p>	<p>アラートに連動して、アラーム音/IA アラーム音を鳴らす(ON)/鳴らさない(OFF)を設定します。</p> <p>アラーム音/IA アラームの設定につきましては、「8.2 ファイル設定」をご覧ください。</p>
<p>キャプチャー</p>	<p>ON にすると、アラームキャプチャが有効になり、当ソフトウェア上でストリームのアラームキャプチャが実施されます。アラートの際にアラームキャプチャのリンクをクリックして素早くアラームキャプチャ画像を確認出来ます。</p> 

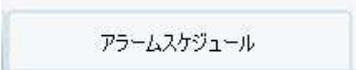
<p>録画</p>	<p>アラートに連動して、当ソフトウェア上でストリームをアラーム録画します。アラートの際にアラーム録画のリンクをクリックして素早くアラーム録画を確認出来ます。</p> 
<p>ポップアップ</p>	<p>アラートに連動して、ポップアップ通知します。</p> <p>①アラームポップアップが“開く”に設定されている場合</p>  <p>スナップショットが有効の場合にはポップアップ通知表示されます。さらに、アラーム設定でキャプチャがONの場合は、アラームキャプチャ画像が併せて表示されます。</p> <p>(表示例)</p>

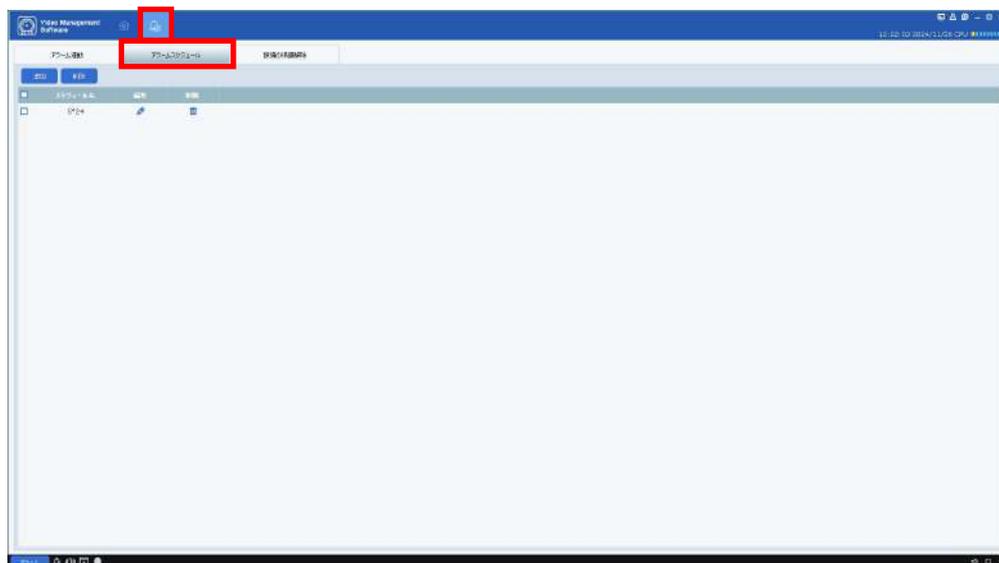
					
	<p>②アラームポップアップが“全画面表示”に設定されている場合</p> <p>スナップショットが有効の場合には全画面表示されます。さらに、アラーム設定でキャプチャが ON の場合は、アラームキャプチャ画像が併せて表示されます。</p>  <p>(表示イメージ)</p> 				
<p>メール</p>	<p>アラートの際にメール通知します。</p> <p>メール設定が正しく完了し、ネットワークが正しく機能されている必要があります。</p> <table border="1" data-bbox="579 1861 1230 1973"> <thead> <tr> <th colspan="2">配信メールの一例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件名</td> <td>アラームイベント</td> </tr> </tbody> </table>	配信メールの一例		件名	アラームイベント
配信メールの一例					
件名	アラームイベント				

	<p>本文</p> <p>アラームタイプ: モーション検知 アラーム時間: 2024/11/27 09:34:34 アラームソース: TXV-16EX_(A) CH7</p> <p>アラームタイプ: 人&車両 アラーム時間: 2024/11/27 09:34:57 アラームソース: 8MP-578DX-SD LED 投光カメラ</p> <p>アラームタイプ: 人&車両 アラーム時間: 2024/11/27 09:34:58 アラームソース: TNV-R4PW_V8.2.3.2-20240703 LED 投光カメラ</p> <p>メール設定につきましては、「8.4 メール設定」をご覧ください。</p>
<p>AI グループ</p>	<p>“AI -- 顔認識”、“AI -- ナンバー認識”のアラートに関しましては対象のグループ (DB) を選択できます。</p> <p>AI グループ列の  アイコンをクリックして、グループを選択画面で設定します。</p> 



12.2 アラームスケジュール

 をクリックしてアラームスケジュール画面を表示します。



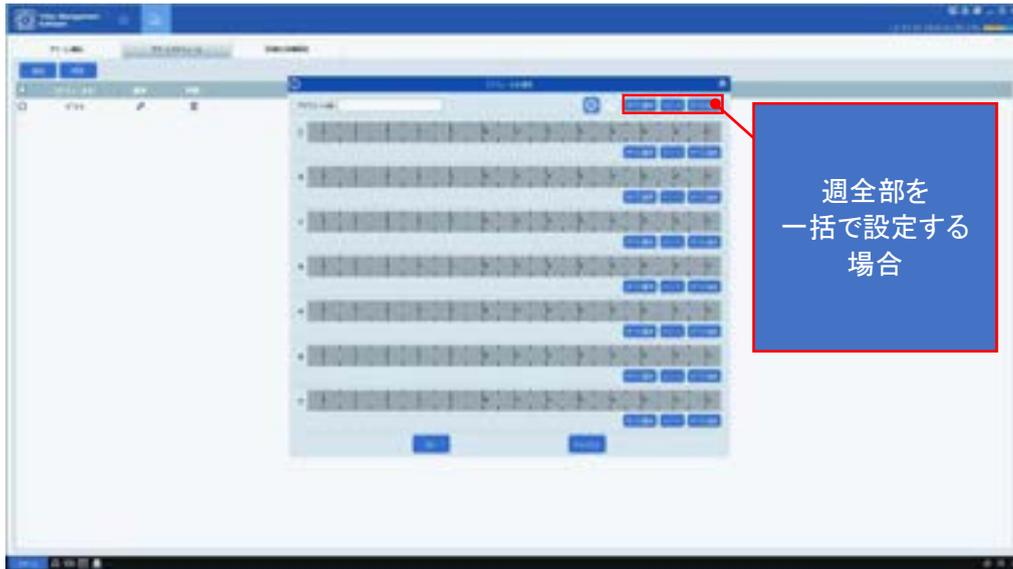
当ソフトウェアから最小 30 分単位でのスケジュール設定が可能です。

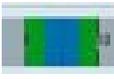
 ボタンでスケジュールを作成します（“スケジュールを追加”画面が表示されます）。

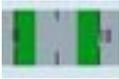
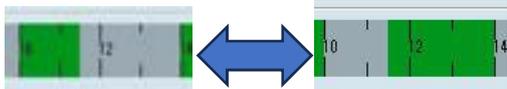
スケジュール名 へスケジュール名を入力します。

編集アイコン  でスケジュールを編集できます。

削除ボタン  / ゴミ箱アイコン  でスケジュールを削除できます。



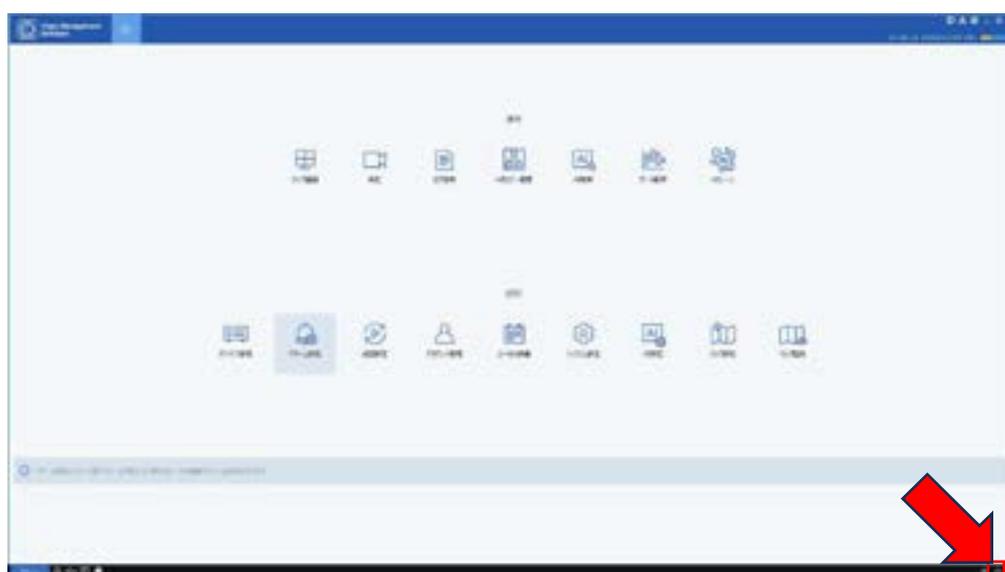
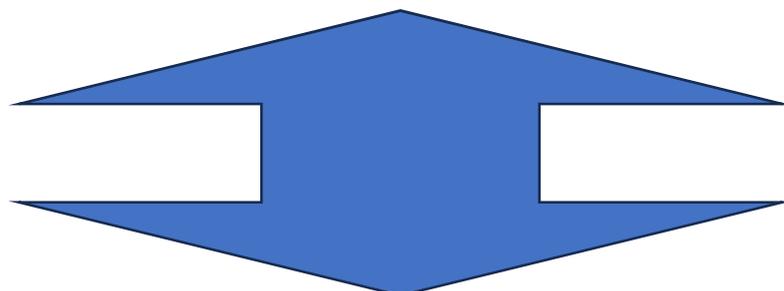
スケジュールを追加	
アイコン/ボタン	内容
<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block;">スケジュール名</div>	スケジュール名称を設定します。
 (編集)	スケジュール動作させる時間帯を設定します。 マウสดラッグで選択して、  (マウสดラッグで選択) マウスリリースで確定します。  (マウスリリースで確定)
 (消去)	スケジュール動作設定した時間帯をキャンセルします。 マウสดラッグで選択して、  (マウสดラッグで選択) マウスリリースで確定します。

	 <p>(マウスリリースで確定)</p>
	<p>すべての時間帯でスケジュール動作させるようにします。</p> 
	<p>スケジュール動作させる時間帯とスケジュール動作させない時間帯を入れ替えます。</p> 
	<p>すべての時間帯でスケジュール動作させないようにします。</p> 

12.3 アラームイベント画面

アラームイベント画面はアラームの最大化アイコン  をクリックすることで表示可能です。

縮小アイコン  をクリックしますと元に戻ります。



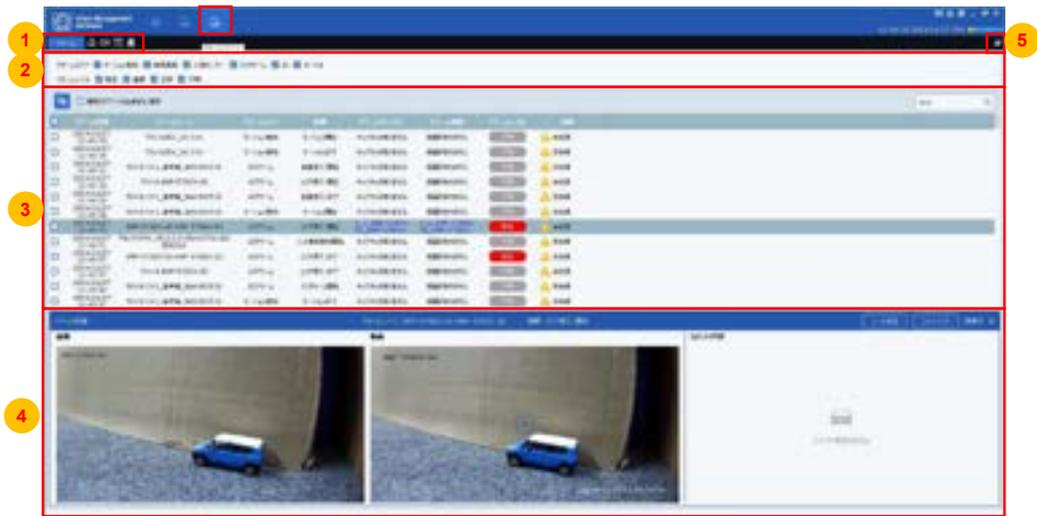
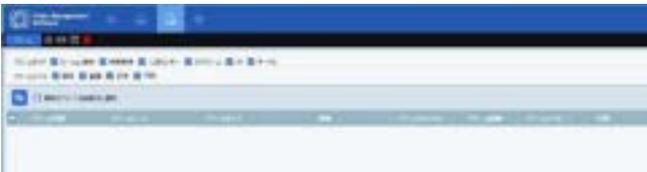


図 12-3-1 アラームイベント画面

表 12-3-1 アラーム設定画面の説明

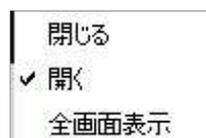
No.	項目	内容
1	アラーム情報 ウィンドウ、 ポップアップ ウィンドウ、 アラートサウ ンド ON/OFF	 : [情報の削除] アイコンをクリックすると、アラートトリガ情報ポップアップのアラート情報リストがクリアされます。     : [アラーム音]アラーム音が ON です。クリックするとアラーム音を OFF にすることができます。  : [アラーム音]アラーム音が OFF です。クリックするとアラーム音を ON にすることができます。



: [アラーム通知]が許可されています。アラーム情報はリアルタイムでポップアップまたは全画面表示で通知されます。クリックするとアラーム通知をOFFにしたり、アラーム通知モードを変更（開く/全画面表示）することができます。

<[アラームポップアップ] “開く” の場合>

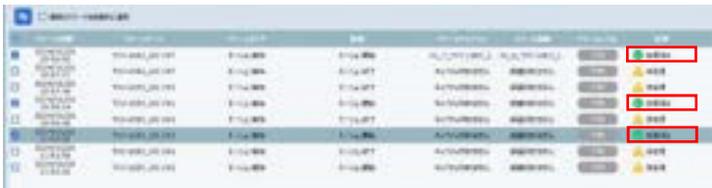
アラームはポップアップレビュー画面で通知されます。

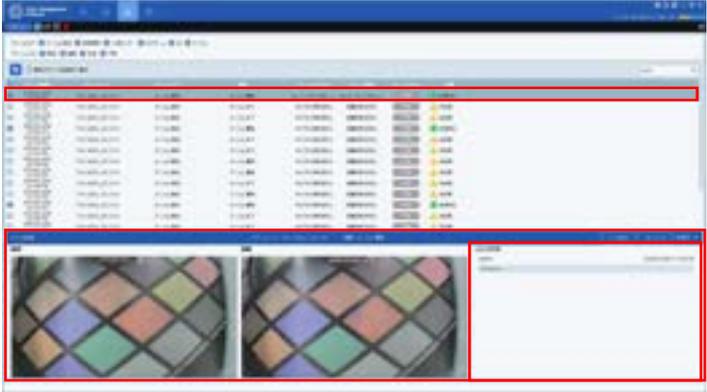
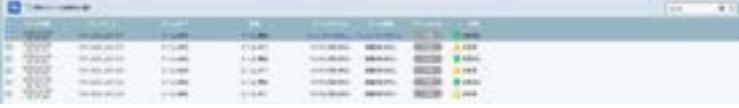
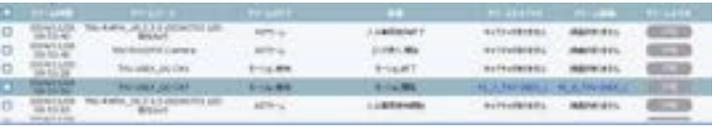
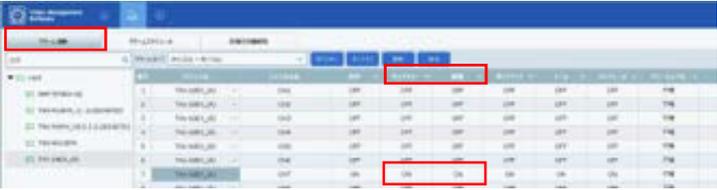


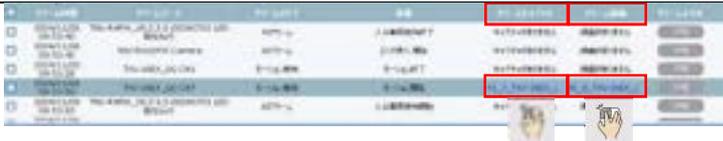
<[アラームポップアップ] “全画面表示” の場合>

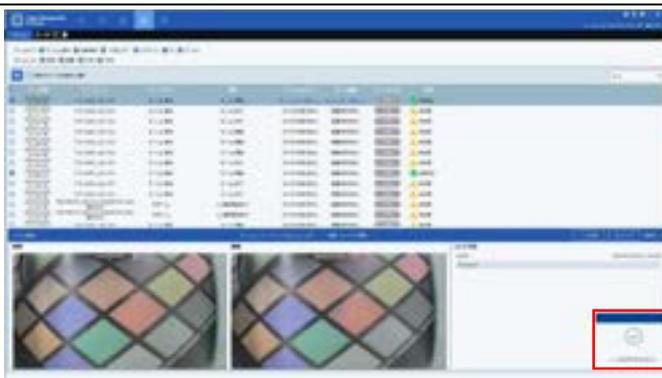
アラームは全画面表示で通知されます。アラーム設定画面でアラームの際にフルスクリーン表示を維持する秒数（300秒まで）と出力先のディスプレイを選択します。



		<p>全画面表示中でもアラーム画面を一度クリックしてからキーボードの[ESC]キーボタンを押すと表示をキャンセルできます。</p> <p> : [アラームポップアップ]が禁止されています。クリックするとアラームポップアップをON（開く/全画面表示）にすることができます。</p> <div data-bbox="1031 434 1251 568" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 閉じる <input type="checkbox"/> 開く <input type="checkbox"/> 全画面表示 </div>
	アラームタイプ	<p>3 のエリアに表示させたいアラームタイプにチェックを入れます。チェックが入っていないアラームタイプは 3 のエリアに表示されません。</p>
2	アラームレベル	<p>3 のエリアに表示させたいアラームレベルにチェックを入れます。チェックが入っていないアラームレベルは 3 のエリアに表示されません。</p> <p>アラームレベルはアラーム設定のアラーム連動ページで設定できます。詳しくは、「12.1 アラーム連動（アラーム設定）」をご覧ください。</p>
3	<p> コメント入力</p>	<p>コメントを入力したいアラートにチェックを入れて、[コメント入力]ボタン  をクリック致しますと、コメントを最大 100 文字まで入力できます。</p> <div data-bbox="775 1299 1094 1514" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">  </div> <p>コメントが入力されたアラートは“状態”欄で  処理済が表示されます。</p> <div data-bbox="580 1630 1292 1818" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">  </div> <p>コメントを確認するには、コメントを確認したいアラートを選択（ハイライト）状態に致しますと、4 のエリアの</p>

		<p>イベント詳細エリアでコメントを確認することができます。</p>  <p>なお、入力したコメントは削除できません。</p>
	<p>最新のアラートを自動的に選択</p>	<p>チェックを入れますと最新のアラートを自動的に選択します。選択状態にあるアラームイベントはハイライト表示されます。</p>
<p>検索</p>		<p>アラートを絞り込みできます。</p> <p style="text-align: right;">(使用例)</p> 
<p>アラート</p>		<p>・アラームイベントリストはリアルタイムで更新されます。</p>  <p>“アラーム連動”設定で、以下の通りキャプチャや録画がONの場合、</p>  <p>アラーム通知の際にアラームキャプチャやアラーム録画がスナップされます。</p>

		 <p>それぞれクリックすると、キャプチャ画像やイベント録画のビデオが表示されます。</p> <p>(アラームキャプチャ表示例)</p>  <p>(アラーム録画表示例)</p> 
	<p>イベント詳細</p> <p>イベント詳細</p>	<p>3 エリアで選択（ハイライト表示）されているアラートの詳細が表示されます。</p>
<p>4</p>	<p>メール送信</p> <p>メール送信</p>	<p>表示されているアラート詳細をメールで送信します。事前にメール設定が正しく行われている必要がございます。</p> <p>メールが正常に送信されましたら、画面右下に「メールを正常に送信しました」が表示されます。</p>

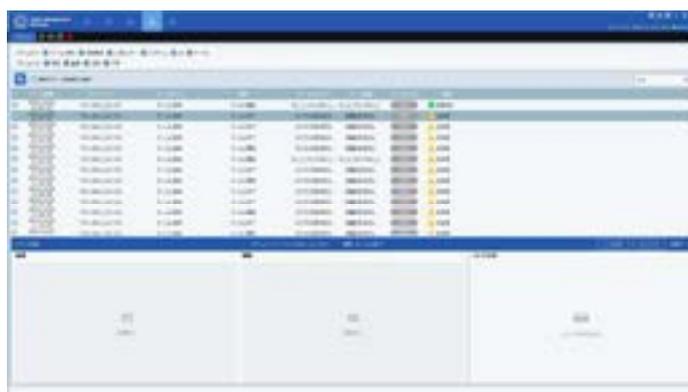
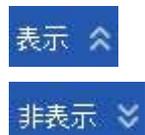


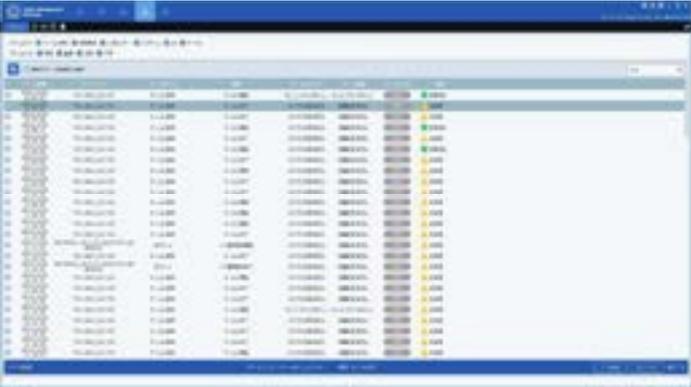
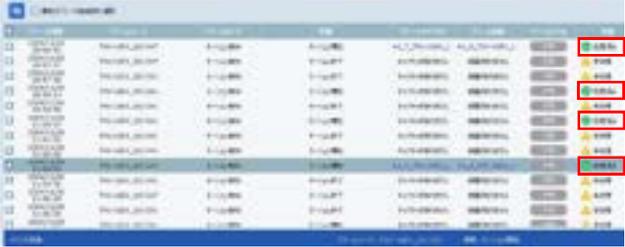
(メール受信例)



4 のエリアを表示/非表示することが出来ます。

表示/非表示



	
<p>コメント入力</p> 	<p>選択中（ハイライト状態）のアラートへコメントを最大100文字まで入力できます。</p>  <p>コメントが入力されたアラートは 3 エリアの“状態”欄で  処理済  が表示されます。</p>  <p>コメントを確認するには、コメントを確認したいアラートを選択（ハイライト）状態に致しますと、 4 のエリアのイベント詳細エリアでコメントを確認することができます。</p>  <p>なお、入力されたコメントは削除できません。</p>

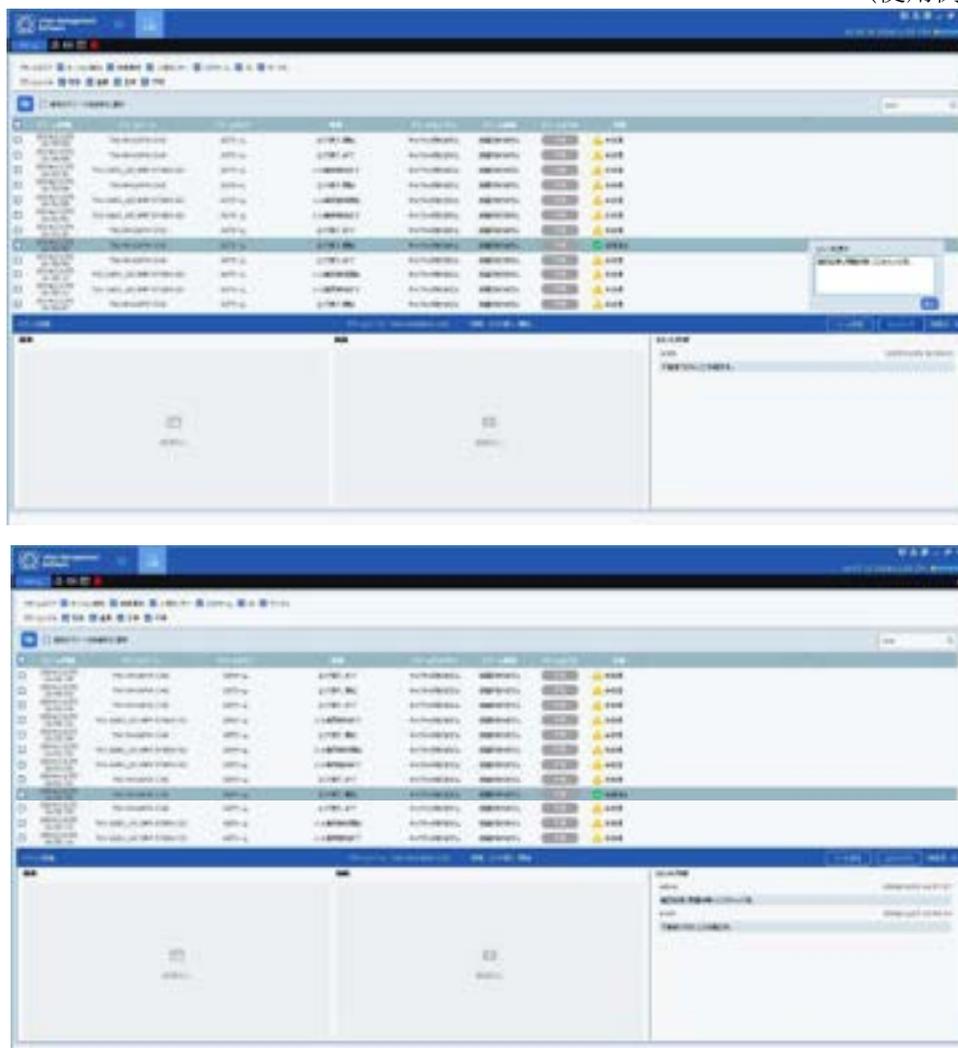
12.3.1 コメント機能（アラームイベント画面）

アラームイベント画面にはコメント機能がございます。

なお、入力されたコメントは削除できません。

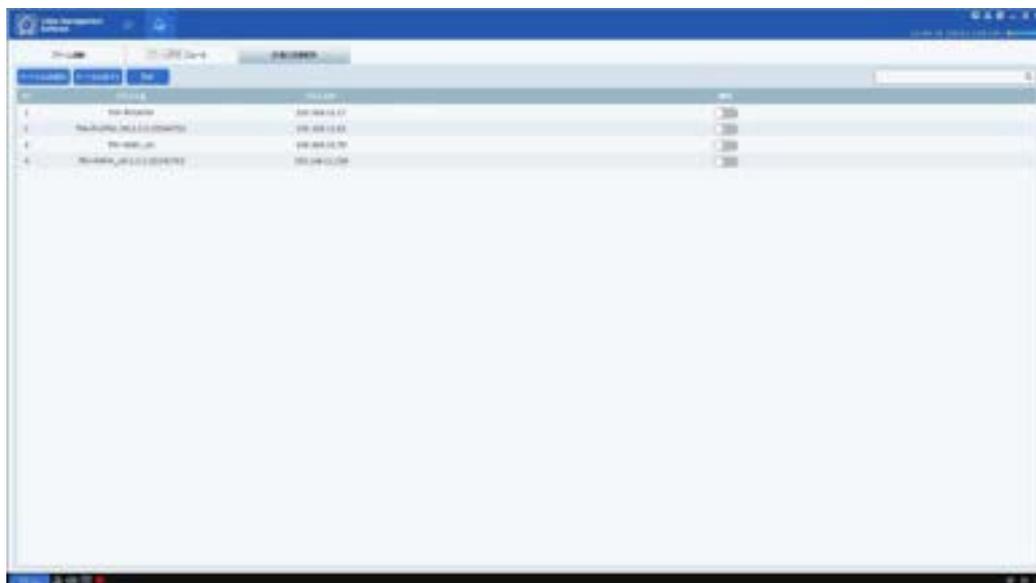
コメントの入力方法につきましては「[12.3 アラームイベント画面](#)」をご覧ください。

(使用例)



12.4 設備の保護解除(DisArming)

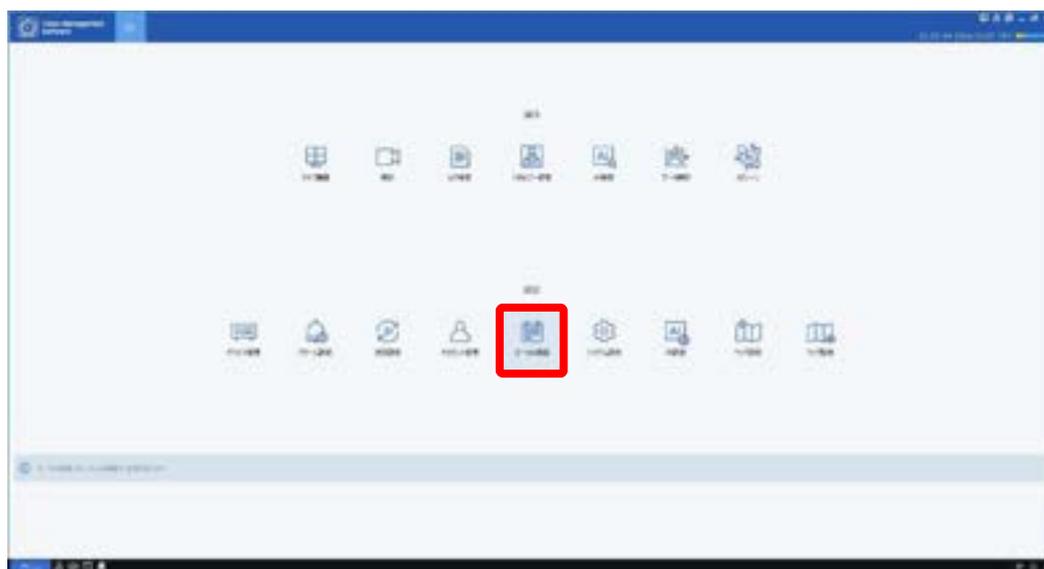
有効にすると、そのデバイスのアラートは有効にしている期間で無効になります。



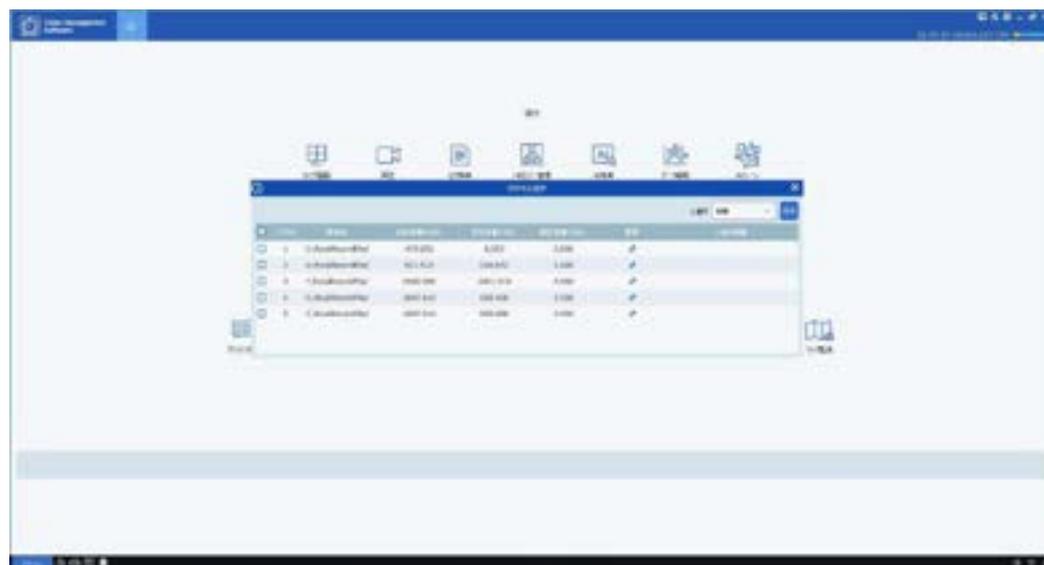
第13章 ローカル録画



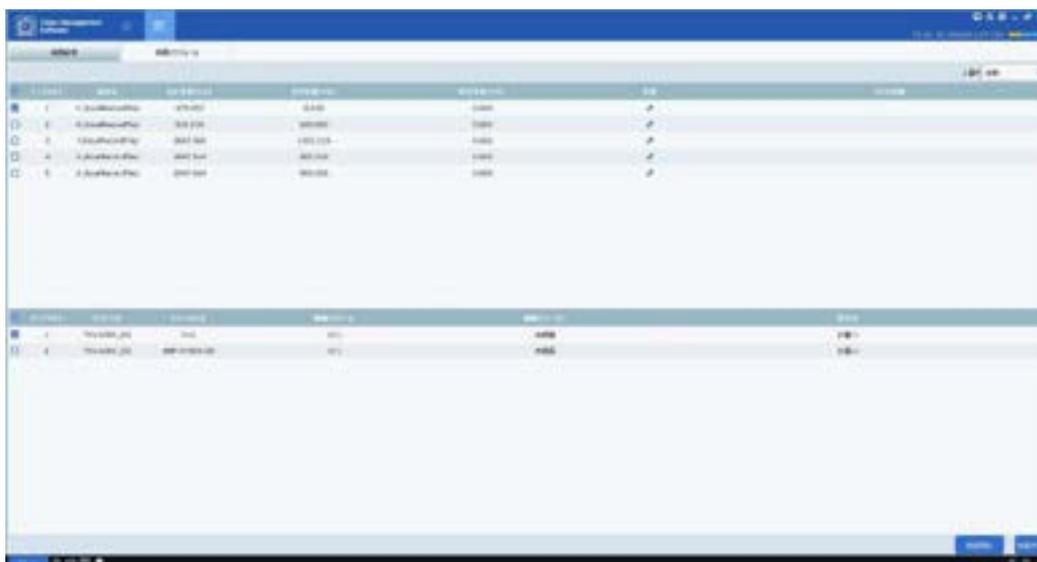
メインメニューで [ローカル録画] をクリックして、録画先を選択して上書き設定を行うと、ローカル録画面が表示されます。



録画先を選択して上書き設定して[保存]ボタン  をクリック。



すると、ローカル録画面が表示されます。



13.1 ローカル録画

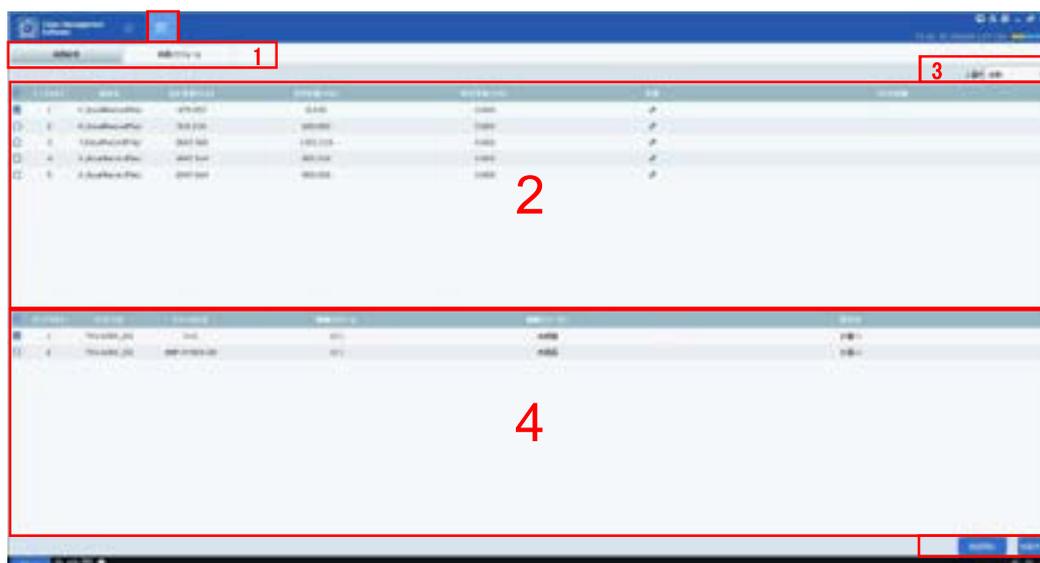


図 13-1-1 ローカル録画（録画管理）画面 表示例

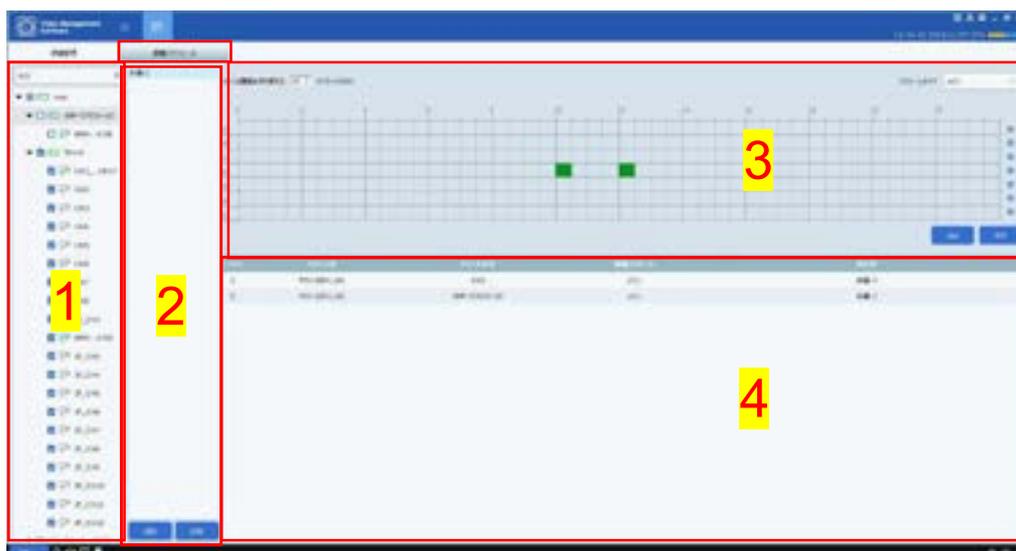


図 13-1-2 ローカル録画（録画スケジュール）画面 表示例

“ローカル録画” の設定/操作方法は、次の通りです。

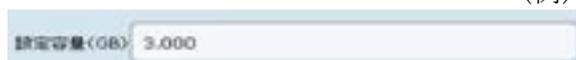
ステップ 1: “ローカル録画”画面で、 アイコンをクリック（図 13-1-1 の 2 の領域）致しますと、図 13-1-3 のローカル設定の変更画面がポップアップ表示されます。



図 13-1-3 ローカル設定の変更画面 表示例

ステップ 2: 図 13-1-3 のローカル設定の変更画面で、ローカル録画へ使用する領域を“予約容量”欄へ設定します。

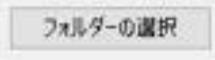
(例)

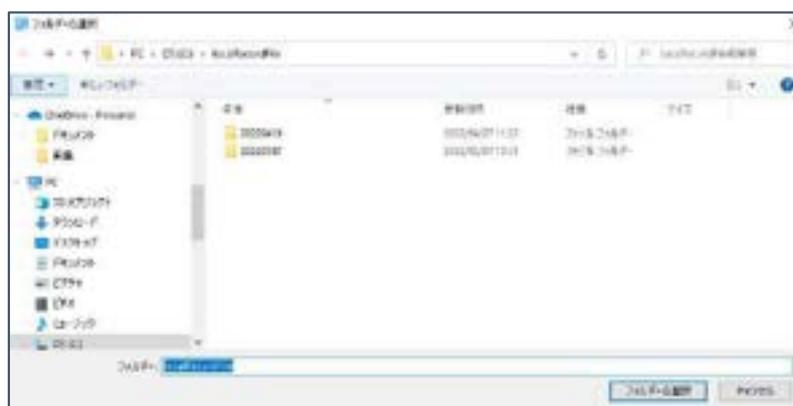


ステップ 3: 図 13-1-3 のローカル設定の変更画面で、保存先フォルダを“ビデオ保存パス”へ設定します。

(例)



設定するには、 アイコンをクリックして “フォルダの選択”画面で保存先フォルダを開いて  ボタンをクリックすることで設定可能です。



ステップ4: 設定を確定するには、[保存]ボタン  をクリック致します。

ステップ5: ローカル録画（録画管理）右上にある“上書き”設定を確認します(図 13-1-1 の3の領域)。上書き設定は次の中から設定可能です。



ステップ6: “録画スケジュール”タブ  をクリックして、録画スケジュール画面を開きます。図 13-1-2 の2の領域で、設定先を選択します。設定先は [追加]ボタン  をクリックすることで新規作成可能です。

ステップ7: 図 13-1-2 の1の領域で、設定対象のデバイスやCHを選択します。

ステップ8: 図 13-1-2 の3の領域の右上部分で、設定対象のストリームタイプを選択します。



ステップ9: 図 13-1-2 の3の領域で、録画実行する期間に該当する部分のマスを塗ります。右下の[消去]ボタン  をクリックしますと、塗マスを全てクリア可能です。

ステップ10: 図 13-1-2 の3の領域の左上部分の“ファイル間隔を切り替える”欄で録画ファイルのファイルローテーション設定が可能です。

ファイル間隔を切り替える 分(5~60分)

 追加

ステップ12: 図 13-1-2 の4の領域へ、設定済みの内容が一覧表示されます。スケジュールを確認するには、図 13-1-2 の2の領域で設定名を選択してスケジュールを確認します。

ステップ 13: 図 13-1-2 の 2 の領域で設定名を選択し、[消去]ボタン  をクリック致しますとその設定が削除されます。

ステップ 14: ローカル録画を実行するには、録画管理画面を表示（図 13-1-1 の 1 の領域で“録画管理”をクリック）し、図 13-1-1 の 4 の領域で対象の設定へチェックを入れて、[録画開始]ボタン（図 13-1-1 の 5 の領域）をクリックしますと録画を開始致します。録画動作は設定スケジュールに従います。図 13-1-1 の 4 の領域で所望の動作状態であることをご確認ください。

ステップ 15: 実行したローカル録画を停止するには、録画管理画面（図 13-1-1）で、[録画停止]ボタンをクリックします。図 13-1-1 の 4 の領域で所望の動作状態であることをご確認ください。

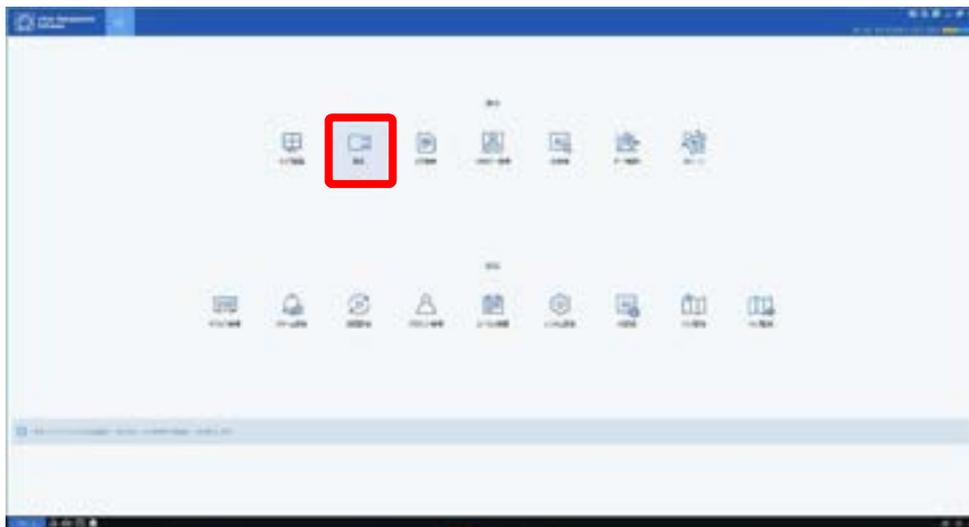
ステップ 16: メインメニューの「再生」画面のローカル録画再生モードでローカル録画データを再生可能です。

※ ローカル再生については、[「第 14 章 ローカル再生」](#)を参照してください。

第14章 ローカル再生



[ステップ 1] メインメニューで [再生] をクリックして再生画面を表示します。

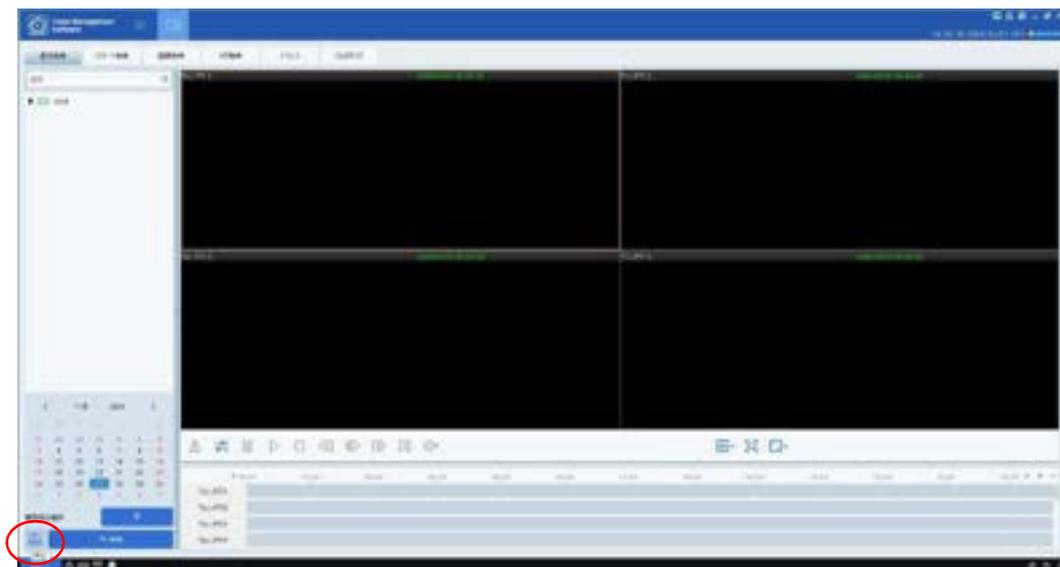


[ステップ 2] ローカル再生モード  へ移動します。

ローカル再生モードへ移動するには、検索ボタン左側のアイコンをク

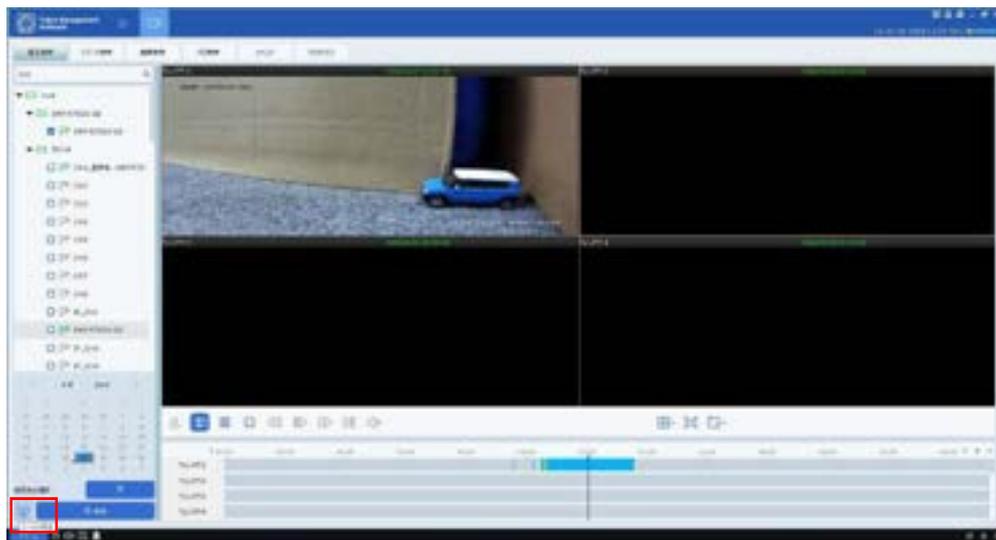


リックして、検索ボタン左側のアイコンを  から  に変更します。

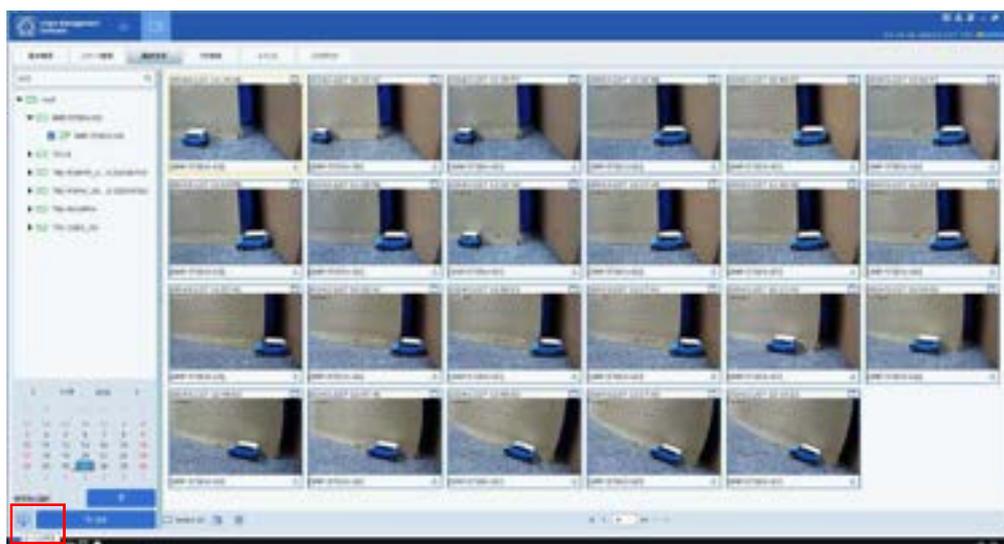


[ステップ3] ローカル再生モードでPCへ録画した録画データを検索再生できます。所望の検索モードのタブをクリックして表示させます。

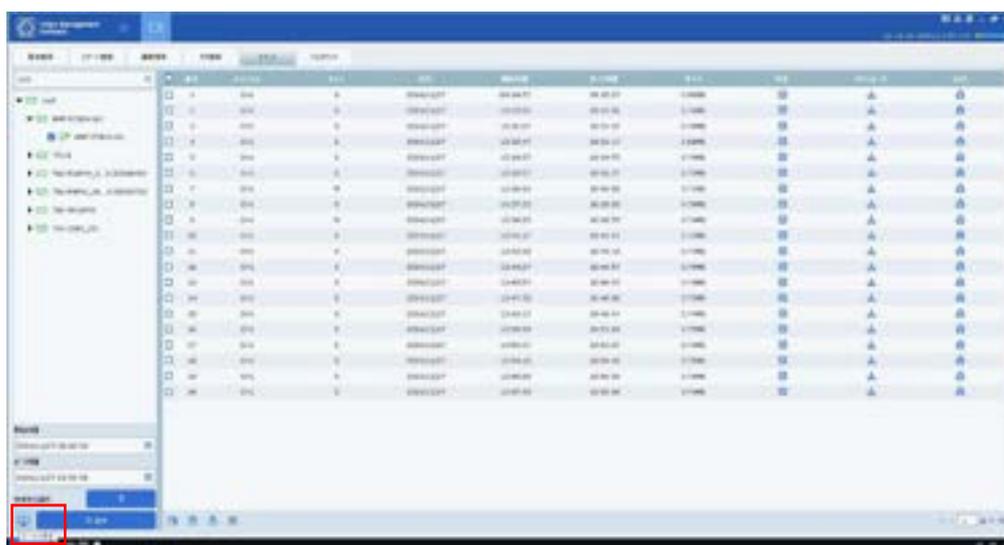
-  基本検索



-  画像検索



- ・  イベント検索



※ ローカル録画については、[「第 13 章 ローカル録画」](#)を参照してください。

14.1 ローカル再生：基本検索

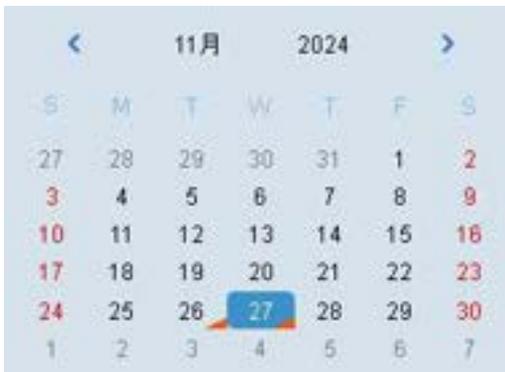


図 14-1-1 ローカル再生画面

詳しくは、[「表 14-1-1 ローカル再生画面説明」](#)をご覧ください。

表 14-1-1 ローカル再生：基本検索 画面説明

No.	機能と内容	操作
1	<p>デバイスツリー</p> <p>検索対象のデバイスやCHを選択します。</p> <p>デバイスグループは、グループ化されたデバイスとチャンネルです。</p>	<p>現在のデバイスと削除されたデバイスを選択できます。</p> <p>録画再生するCHを選択します。</p> <p>デフォルトのデバイスグループの設定については、「第8章 システム設定：アカウントログイン」を参照ください。</p>
2	<p>検索クエリ設定</p> <p>検索対象を設定します</p>	<p>録画種別 (Record Type) と検索期間 (Time) を設定します。</p> <p>・録画種別 (Record Type) :</p> <p> ボタンをクリックして、</p>

		 <p>より検索対象のトリガを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検索期間 (Time) : 開始時間と終了時間を設定します。 ・検索日 : カレンダーで設定します。カレンダーに赤マーカーのある日は録画データが存在する日となります。 								
<p>3</p>	<p>録画再生 コントロールツール</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="756 1554 842 1671">  </td> <td data-bbox="842 1554 1299 1671"> <p>CH同期操作の ON/OFF (デフォルトは非同期再生です)</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="756 1671 842 1787">  </td> <td data-bbox="842 1671 1299 1787"> <p>ビデオの再生</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="756 1787 842 1904">  </td> <td data-bbox="842 1787 1299 1904"> <p>ビデオ再生の一時停止</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="756 1904 842 1980">  </td> <td data-bbox="842 1904 1299 1980"> <p>ビデオ再生の停止</p> </td> </tr> </table>		<p>CH同期操作の ON/OFF (デフォルトは非同期再生です)</p>		<p>ビデオの再生</p>		<p>ビデオ再生の一時停止</p>		<p>ビデオ再生の停止</p>
	<p>CH同期操作の ON/OFF (デフォルトは非同期再生です)</p>									
	<p>ビデオの再生</p>									
	<p>ビデオ再生の一時停止</p>									
	<p>ビデオ再生の停止</p>									

			ビデオのシングルフレーム再生。
			ビデオの早送り再生。
			ビデオのスロー再生
			ビデオのバックアップ（ダウンロード）
4	再生ウィンドウ	クイックキャプチャ	再生がオンになっているビデオウィンドウを選択し、クイックツールバーより、  アイコンをクリック、又は、右クリックメニューの  キャプチャで画像を1枚キャプチャ致します。
		デジタルズーム	再生がオンになっているビデオウィンドウを選択し、クイックツールバーより、  アイコンをクリック致します。
		再生停止	再生がオンになっているビデオウィンドウを選択し、録画再生コントロールツールより  をクリック、又は、右クリックメニューの  再生停止を選択致します。
		録画	再生がオンになっているビデオウィンドウを選択し、クイックツールバーより  をクリック、又は、右クリックメニューから録画開始  を選択致します。

			<p>ます。</p> 
		<p>フィッシュアイモード</p>	<p>再生がオンになっているビデオウィンドウでクイックツールバーの魚眼アイコン  をクリック、又は、右クリックメニューより  魚眼を選択致します。</p> <p>(フィッシュアイモードをサポートするデバイスのみ)。</p>
		<p>全画面表示</p>	<p>ウィンドウコントロールのアイコンをクリック、又は、右クリックメニューで  全画面表示を選択致します。</p>
<p>5</p>	<p>ウィンドウコントロール ビデオウィンドウの表示モードを設定します</p>		<p>ビデオウィンドウの表示モード/CH 数を選択致します。</p>
		<p>又は</p>  <p>全画面表示</p>	<p>ビデオウィンドウを全画面表示モードに致します。</p>

<p>6</p>	<p>再生プログレスバー</p>	<p> : 再生プログレスバーの精度が高くなります。</p> <p> : 再生プログレスバーの精度が低くなります。</p> <p>  : プログレスバー領域の表示時間帯を移動致します。</p>
<p>7</p>	<p>ビデオダウンロード</p>	<p> : 選択 CH の録画ファイルをダウンロード可能です。</p> 

14.2 ローカル再生：画像検索

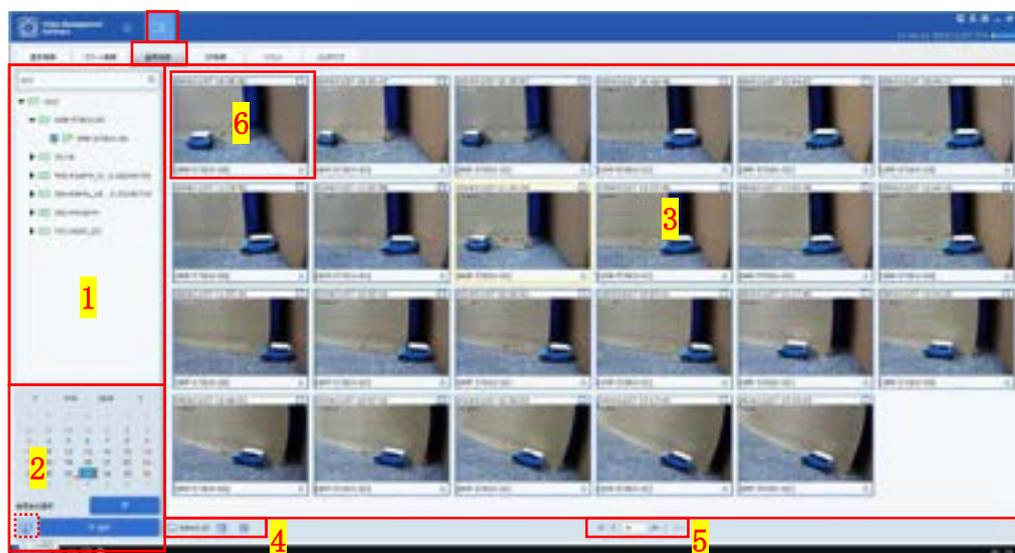


図 14-1-1 ローカル再生：画像検索画面

詳しくは、「[表 14-1-2 ローカル画像検索画面説明](#)」をご覧ください。

表 14-2-1 ローカル再生：画像検索画面説明

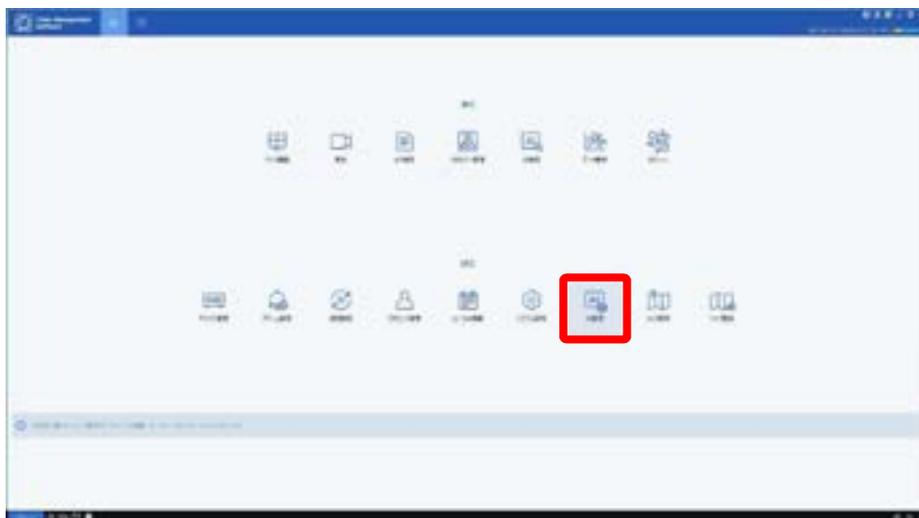
No.	機能と内容	操作
1	<p>デバイスツリー</p> <p>検索対象のデバイスや CH を選択します。</p> <p>デバイスグループは、グループ化されたデバイスとチャンネルです。</p>	<p>現在のデバイスと削除されたデバイスを選択できます。</p> <p>画像検索する CH を選択します。</p> <p>デフォルトのデバイスグループの設定については、「第 8 章 システム設定：アカウントログイン」を参照ください。</p>
2	<p>検索クエリ設定</p> <p>検索対象を設定します</p>	<p>録画種別 (Record Type) と検索期間 (Time) を設定します。</p> <p>・録画種別 (Record Type) :</p> <p> ボタンをクリックして、</p>

		 <p>より検索対象のトリガを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検索期間 (Time) : 開始時間と終了時間を設定します。 ・検索日 : カレンダーで設定します。カレンダーに赤マーカーのある日は録画データが存在する日となります。 
<p>3</p>	<p>検索結果</p>	<p>このエリアに検索結果の画像のサムネイルが表示されます。</p> <p>ハイライトされたサムネイルは黄色線の枠で示されます。</p> 

		サムネイルをダブルクリックするとその画像を閲覧できます。	
			
4	ツール	<input type="checkbox"/> Select All	現在表示されている検索結果のページの画像を全て選択します。
			選択された画像のバックアップを実行します。
			選択された画像の削除を実行します。
5	ページめくり	 <p>直接ページ番号を入力しますとそのページへ表示を移すことができます。</p>	
			先頭ページへ移動
			1 ページ前に移動
			1 ページ後に移動
			最終ページへ移動
6	サムネイル		<input type="checkbox"/> 個別選択
			個別 DL

第15章 AI 設定

メインメニューで「AI 設定」をクリックします。デバイスが AI をサポートしている場合は当ソフトウェアで AI 機能を使用することができます。



15.1 認識設定



AI 設定の“認識”画面 では、

- 使用するモデル構成（ライブラリ）設定
- グループ（DB）設定
- グループ（DB）設定のインポート
- グループ（DB）設定のエクスポート
- ナンバープレートデータベース管理

が可能です。

15.1.1 モデル構成



縦タブの“モデル構成”アイコンをクリックして、モデル構成画面にします。

設定対象のデバイスを選択し、使用する顔検知モデルを選択します。

“自動選択モード”を有効にしますと、使用する顔検知モデルが自動で選択されます。

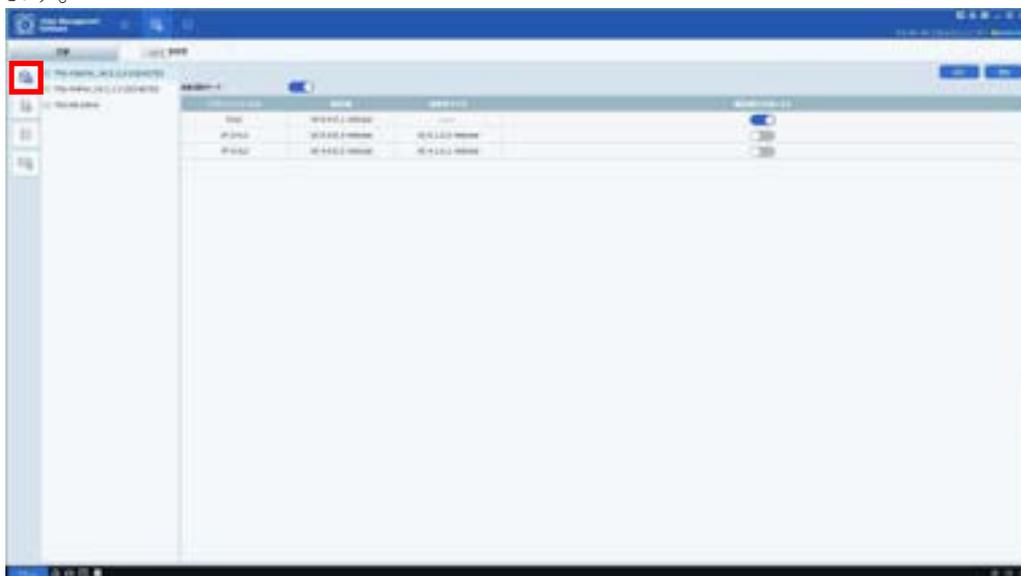


図 15-1-1 モデル構成画面

15.1.2 データベース管理

縦タブの“データベース管理”アイコン  をクリックして、データベース管理画面を開きます。

(最大グループ数は16です)

- 左側のデバイスツリーエリアより設定対象のデバイスを選択し、使用するグループ名（データベース）を有効化（  ）します。
- グループ（データベース）を編集するには、編集対象のグループ（データベース）が存在する行の編集アイコン  をクリック致します。クリック致しますと、図 18-1-3 の画面が表示されます。

※ 未登録者のデータベースは編集できません。

- グループ（データベース）  を削除するには、対象のデータベースが存在する行の削除アイコンをクリックします。[保存]ボタン  をクリックしてデバイスへの更新を確定致します。

※ 許可リスト/ブロックリスト/未登録者のグループ（データベース）は削除できません。

- グループ（データベース）を追加するには、  ボタンをクリックします。グループ名（データベース名）等を編集後に、  をクリックしてデバイスへの更新を確定致します。
-  ボタンをクリック致しますと、選択中デバイスの最新情報を再取得し当ソフトウェアでの表示を更新致します。



図 15-1-2 データベース管理画面 表示例

データ（顔）を登録の際は登録先グループ（DB）を選択し、編集アイコンをクリック致します。データベース編集画面の指示に従ってご登録ください（図 15-1-3）。

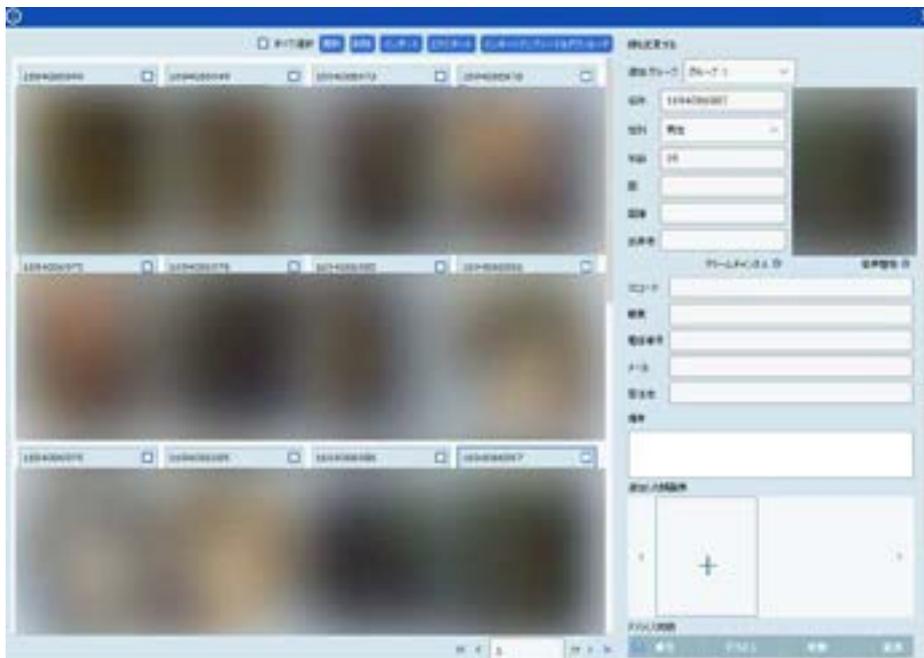


図 15-1-3a データベース管理 データベース編集画面 表示例

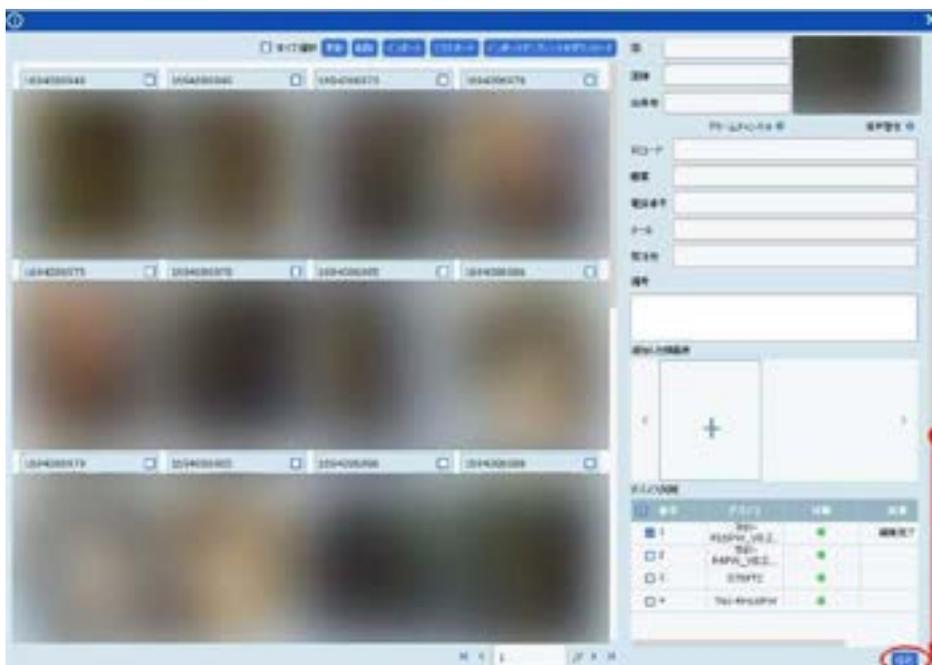


図 15-1-3b データベース管理 データベース編集画面(図 15-1-3a を下へスクロール) 表示例

<データベース編集画面の説明（図 15-1-3）>

以下の手順により、データ（顔）の登録情報を編集できます。編集対象のサムネイル（顔）をクリックして、右側のエリアで編集します。

[ステップ1] 一覧表示されているサムネイルから目的の“顔”を選びます。[更新]

ボタン  をクリック致しますと、最新のグループ（DB）データを表示します。

[ステップ2] 現在登録されているデータ内容が表示されます。

[ステップ3] 変更を加えたい項目を変更します。

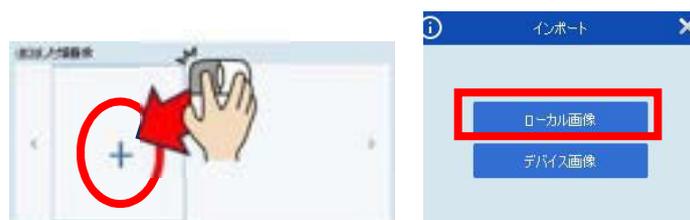
- ・ “追加グループ” で、データベース（所属グループ）を変更することも可能です。
- ・ 名称/年齢（図 15-1-3）は入力必須の項目です（図 15-1-3）。

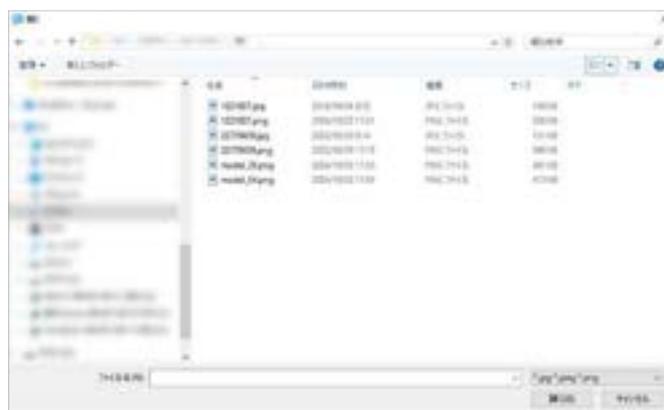


- ・ 画像（追加した顔画像）： 顔画像の追加ができ検出能力をあげることが可能です。顔画像はローカル又はデバイスから取込可能です。

[ローカル画像より選択する場合]

“追加した顔画像”の“+”をクリックして、“ローカル画像”を選択します。jpg形式/png形式の画像が選択可能です。



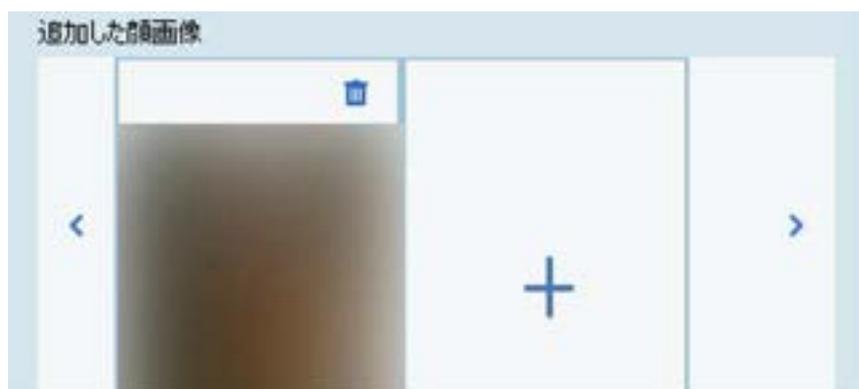


顔画像の追加を続行するには、[はい]ボタン **はい** をクリックします。

もしも、画面右下に “顔を追加できませんでした” と表示された場合はその顔画像が顔として認識できない画像であることを示します。別の顔画像をお試しください。



顔画像が顔として認識された場合は、“追加した顔画像” に顔が追加されます。



[デバイス画像より選択する場合]

画像ペインでクリックし、“デバイス画像” を選択します。



“顔画像を選択してください”画面がポップアップしますので、この画面より登録する画像を検索して選択します。

まず、検索対象の期間（[開始時間]と[終了時間]）を設定して検索します。また検索対象の期間については、[開始時間]を基準に指定間隔（1日/2日/3日/4日/5日/6日/週/月より選択可能）で「**左**」又は「**右**」アイコンをクリックし、検索対象期間を移動させることが可能です。

[検索]ボタン **検索** をクリックしますと、検索結果が“顔画像を選択してください”画面の下側のエリアへ表示されますので登録する画像を へして、[はい]ボタン **はい** をクリックします。

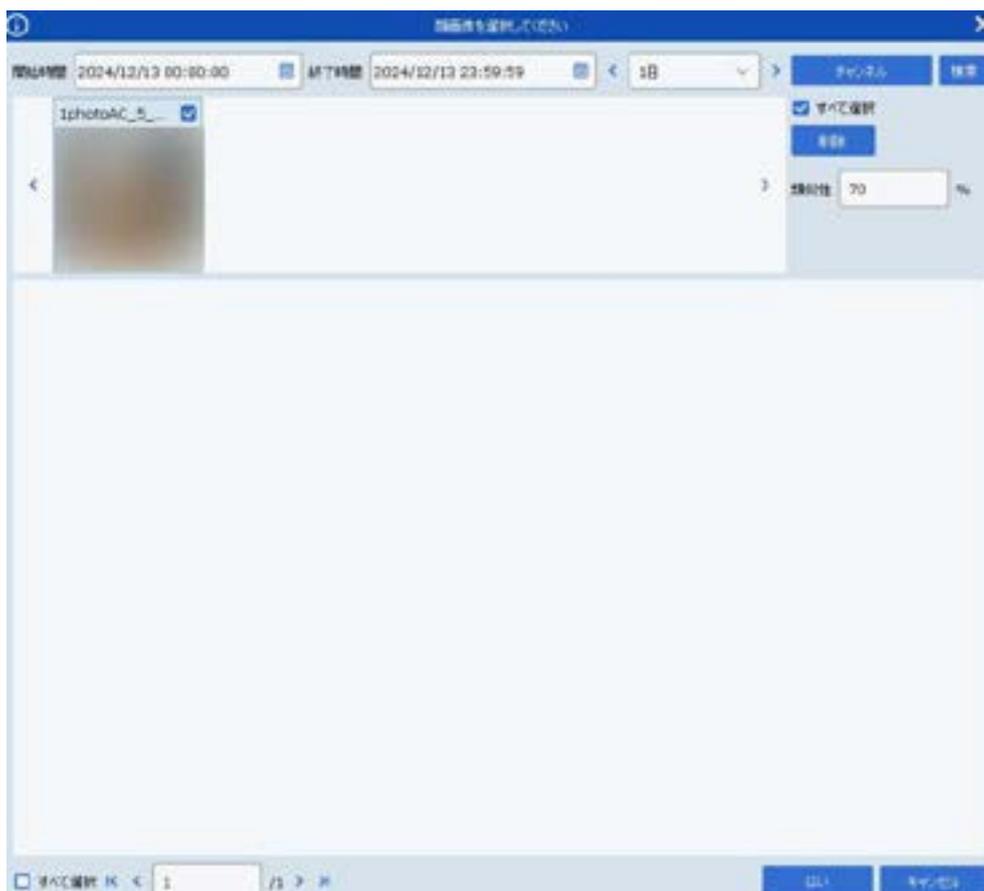


図 15-1-4 “顔画像を選択してください”画面 表示例

更にこの検索結果を用いて“類似性”を取り入れて絞込検索を行うことが可能です。絞込検索を行うには、続けて下部エリアに表示された検索結果より対象のサムネイルを☑へして“類似性”を指定し、さらに[検索] ボタン  をクリックして検索します（所望する結果が出るまでこれを繰り返します）。なお、検索元となった画像は上側のエリアへサムネイル表示されます。絞込が済みましたら、下側のエリアより登録画像を☑へして、[はい] ボタン  をクリックします。“顔画像を選択してください”画面を閉じるには画面右上の  ボタンをクリックする、または、[キャンセル] ボタン  をクリックします。

[ステップ 4] 編集致しましたら、[保存] ボタン  をクリックして編集内容を保存してください。なお、[保存] ボタン  は下へスクロールさせたら一番下にございます (図 15-1-3b)。

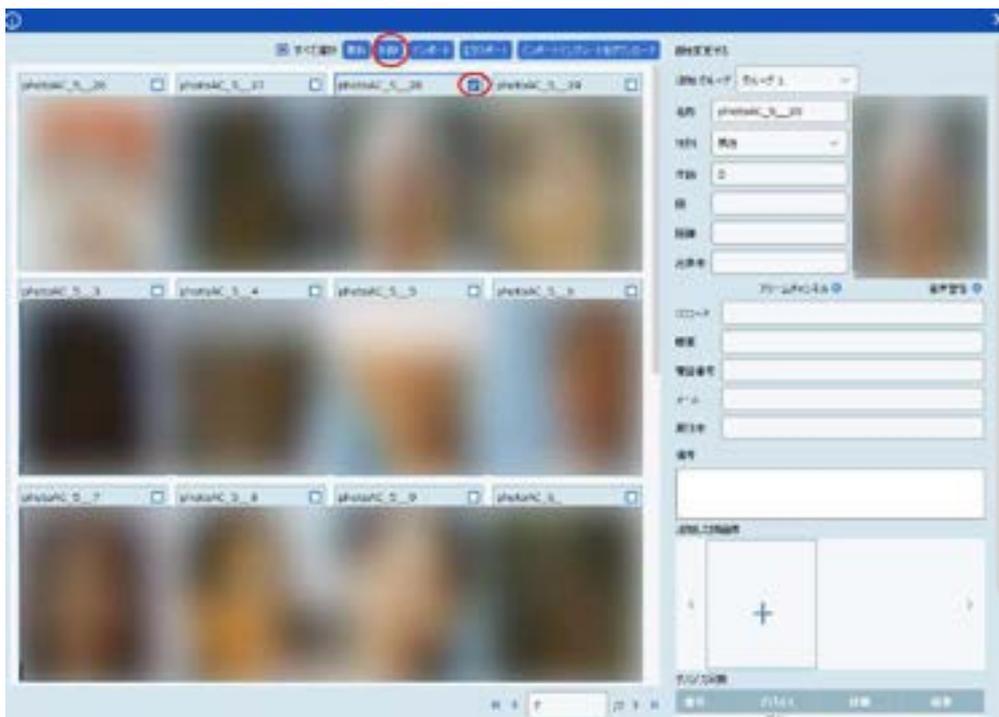
[ステップ 5] “デバイス同期”： 選択中の顔を欄内（“デバイス同期”）に表示されているデバイス間で共有可能です。デバイス間で共有するには、先ず、対象のデバイスが状態表示でオンラインであることをご確認ください。[保存] ボタン  をクリック致しましたらデータの同期が開始されます。データの同期結果が“結果”欄へ表示されますので、必ずご確認ください、「編集完了」までお待ちください。

デバイス同期			
番号	デバイス	状態	結果
<input checked="" type="checkbox"/> 1	TKV-16		
<input checked="" type="checkbox"/> 2	SM-HY16		
<input type="checkbox"/> 3	RS-IPC-2MP		

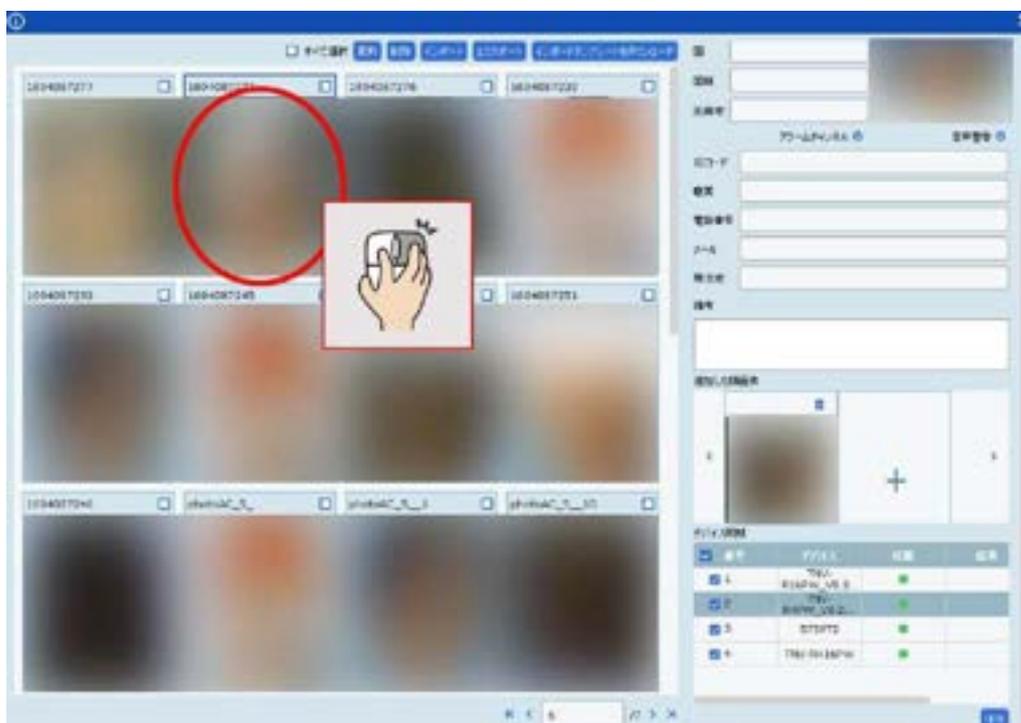
[デバイス同期の結果欄メッセージ例]

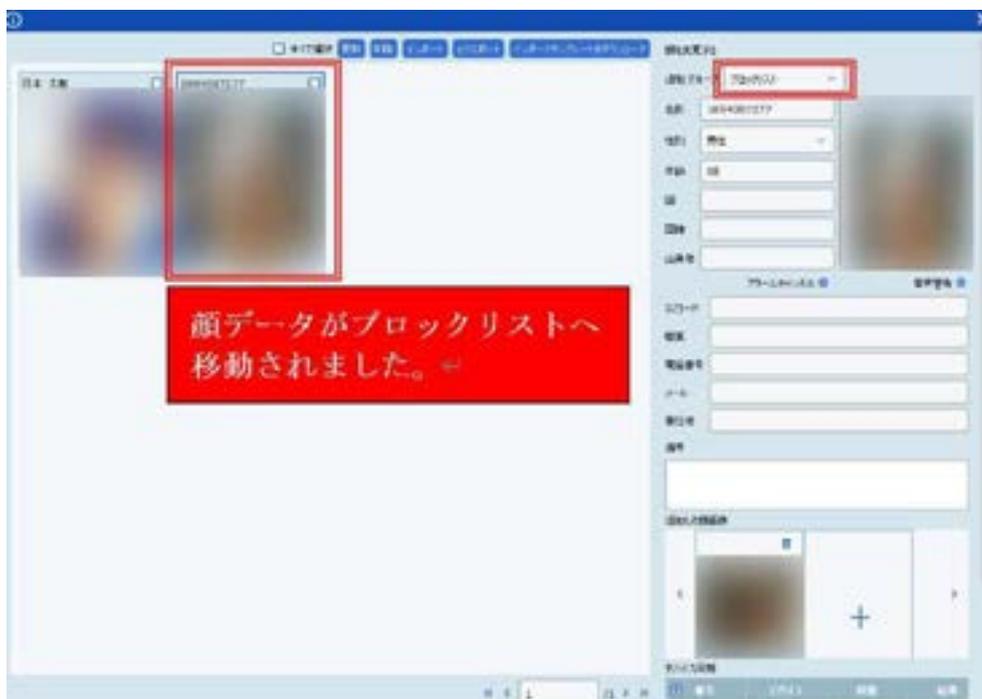
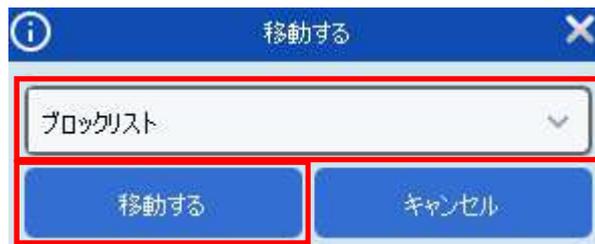
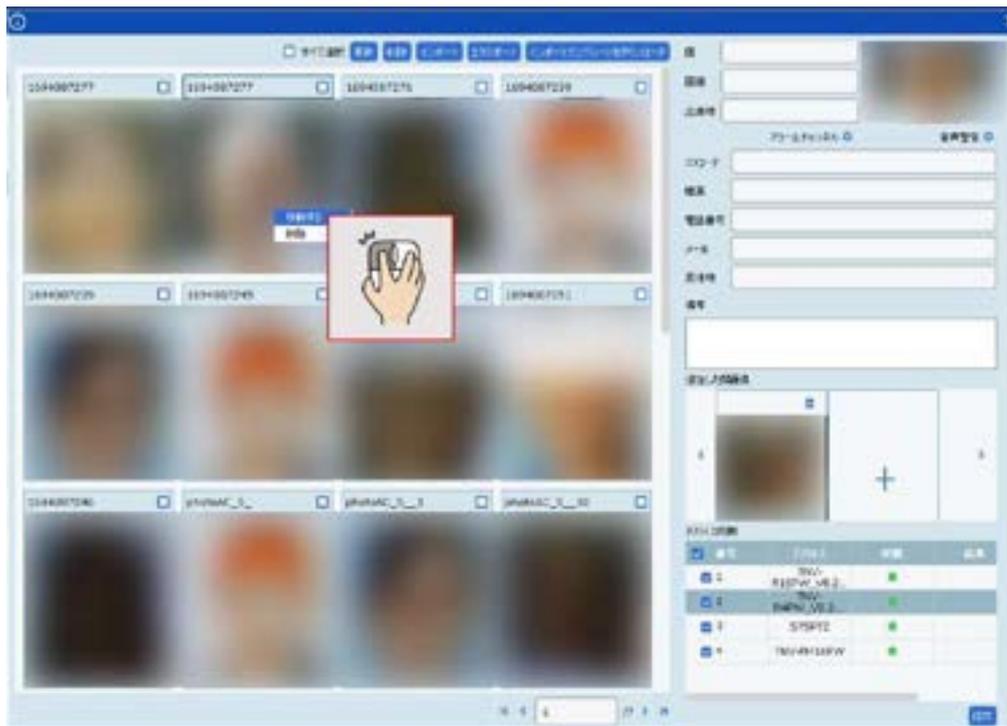
- 「Editing face」 同期処理中です。（ウィンドウは開いたまま閉じずに完了まで暫くお待ちください。数秒かかる場合がございます）
- 「編集完了」 同期が完了しました。（ウィンドウを閉じていただいて構いません）
- 「Device unsupport」 そのデバイスは当機能に未対応です。（ウィンドウを閉じていただいて構いません）

[ステップ 6] データベースから顔を削除する場合は、削除対象のサムネイル右上のチェックボックスを選択して[削除] ボタン  をクリック致します。



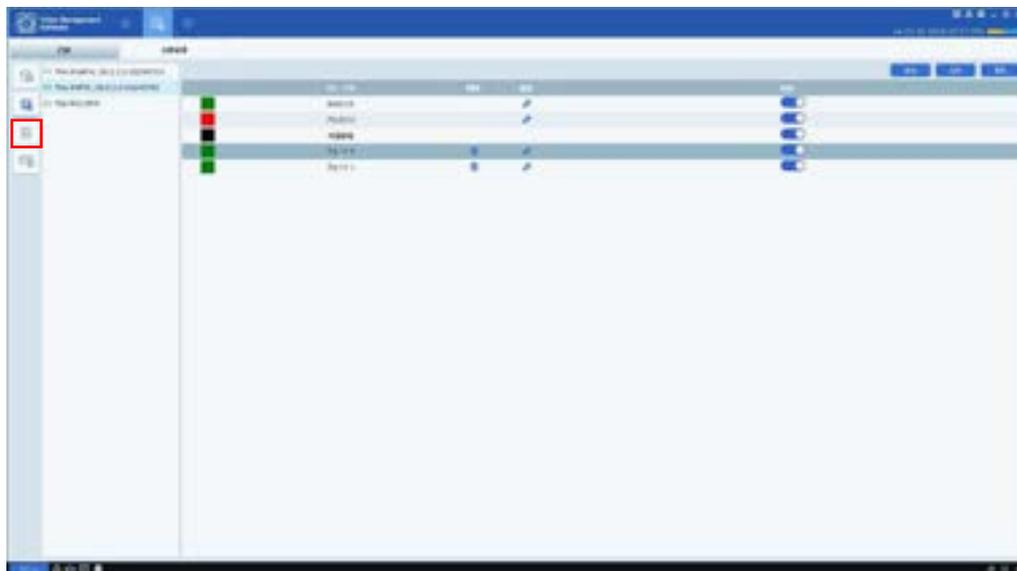
[ステップ7] 別のグループに顔データを移動させることもできます。この場合は、移動対象のサムネイル右上のチェックボックスを選択して[移動する] **移動する** をクリックします。そして、“移動する”画面で移動先のグループ（リスト）を選択し、[移動する]ボタン **移動する** をクリックしますと顔データが移動されます。以下にブロックリストへ顔データを移動させる場合の操作例を示します。



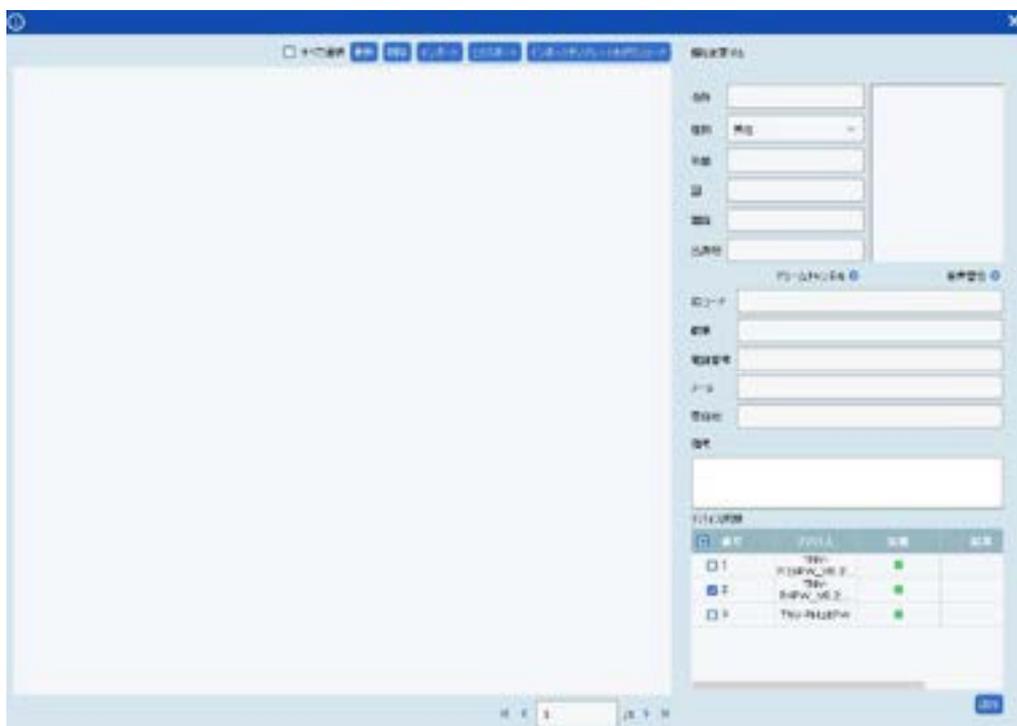


15.1.2.1 顔データの登録

縦タブの“データベース管理”アイコン  をクリックして、データベース管理画面を表示させます。



顔データを登録するグループ（データベース）の  アイコンをクリックします。



インポート

ボタンをクリックします。



以降、インポート方法に合わせてご覧ください。

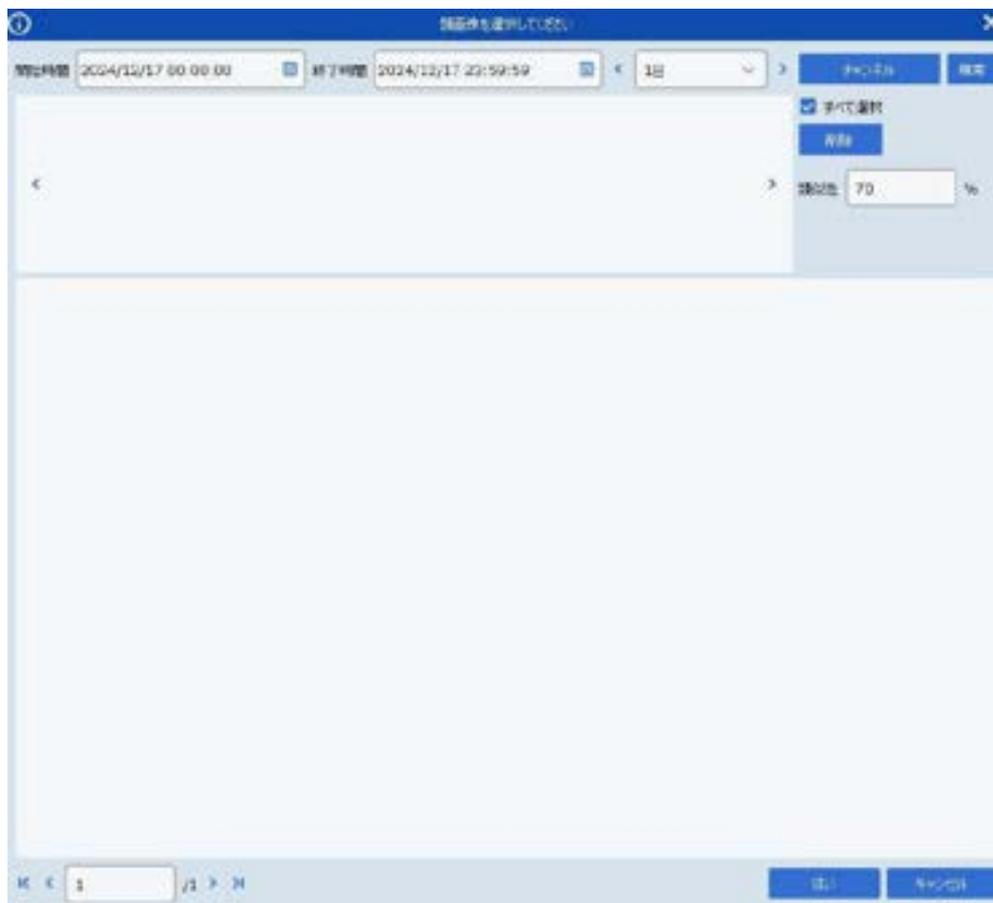
	<p>「15.1.2.1.1 “デバイス画像”による顔データの登録」</p>
	<p>「15.1.2.1.2 “ローカル画像”による顔データの登録」</p>
	<p>「15.1.2.1.3 “ローカル イメージ ディレクトリ”による顔データの登録」</p>

15.1.2.1.1 “デバイス画像”による顔データの登録

インポート画面で、 ボタンをクリックします。



顔画像を選択してください  画面が表示されます。



検索パラメータを設定して顔画像を検索します。

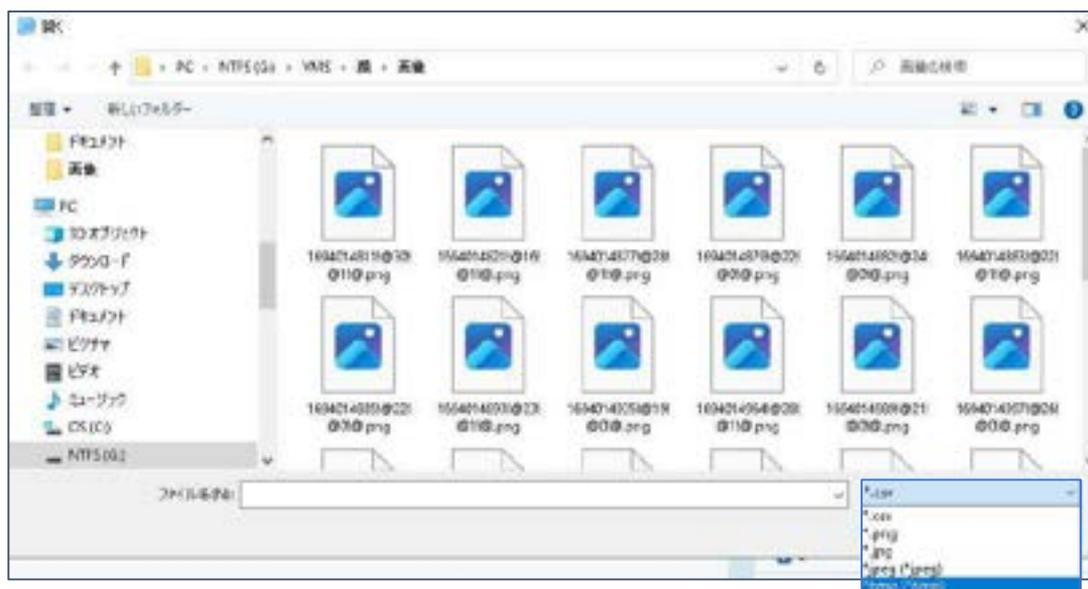
15.1.2.1.2 “ローカル画像”による顔データの登録

インポート画面で、[ローカル画像]ボタン  をクリックします。

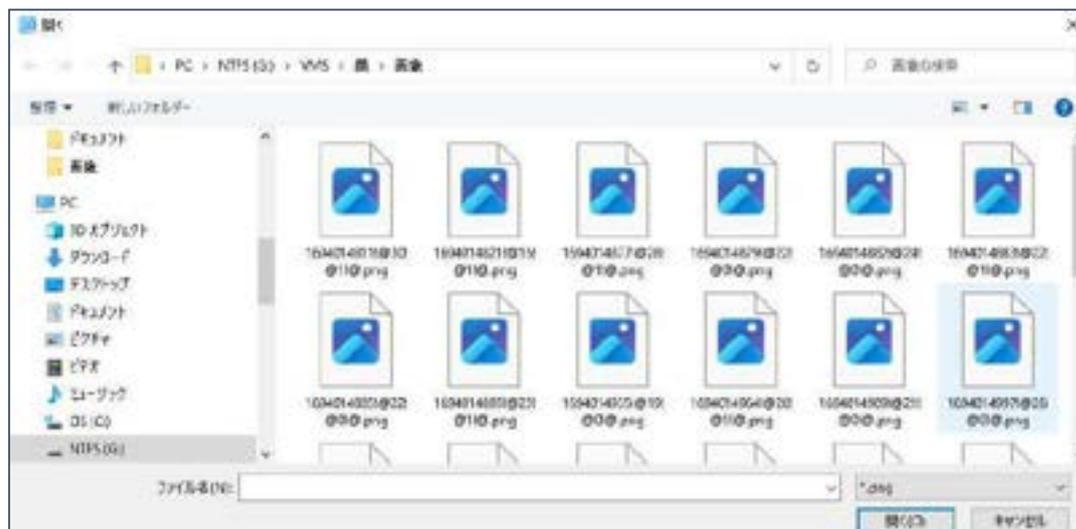


【参考】 フォルダ内の画像を一括登録する場合は、
[「15.1.2.1.3 “ローカル イメージ ディレクトリ”による顔データの登録」](#) をご参照ください。

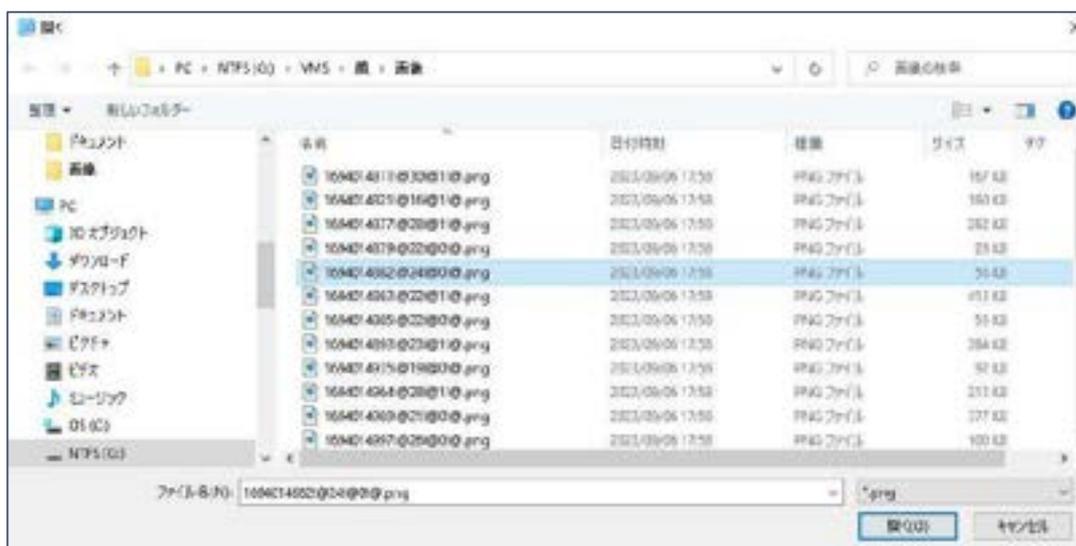
“開く”画面で登録したい顔画像に該当する拡張子を選択します。



選択した拡張子の画像ファイルが表示されます。



登録したい顔画像を選択して、“開く”をクリックします。



必要に応じて顔画像の登録情報を編集します。

i
×

名称	<input type="text" value="日本 太郎"/>	性別	<input style="border: none; border-bottom: 1px solid #ccc; text-align: right; font-size: 12px; color: #ccc; cursor: pointer; width: 100%;" type="text" value="男性"/>	
年齢	<input type="text" value="25"/>	国	<input type="text" value="日本"/>	
国籍	<input type="text" value="日本"/>	出身地	<input type="text" value="東京"/>	
電話番号	<input type="text" value="03-0000-0000"/>	メール	<input type="text" value="nippon@example.co"/>	
IDコード	<input type="text"/>			
職業	<input type="text" value="サービスマン"/>			
住所	<input type="text" value="東京都港区汐留10-10-10 プライムアクアオデッセイレジデンスフロア65"/>			
備考	<input type="text"/>			

アラームチャンネル ⊙
音声警告 ⊙

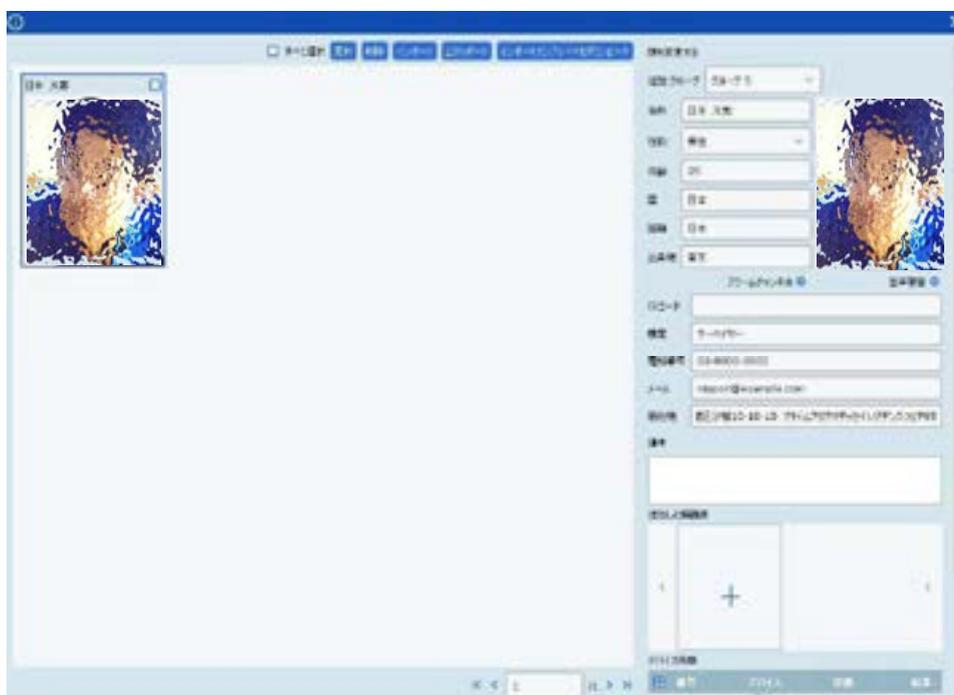
追加

キャンセル

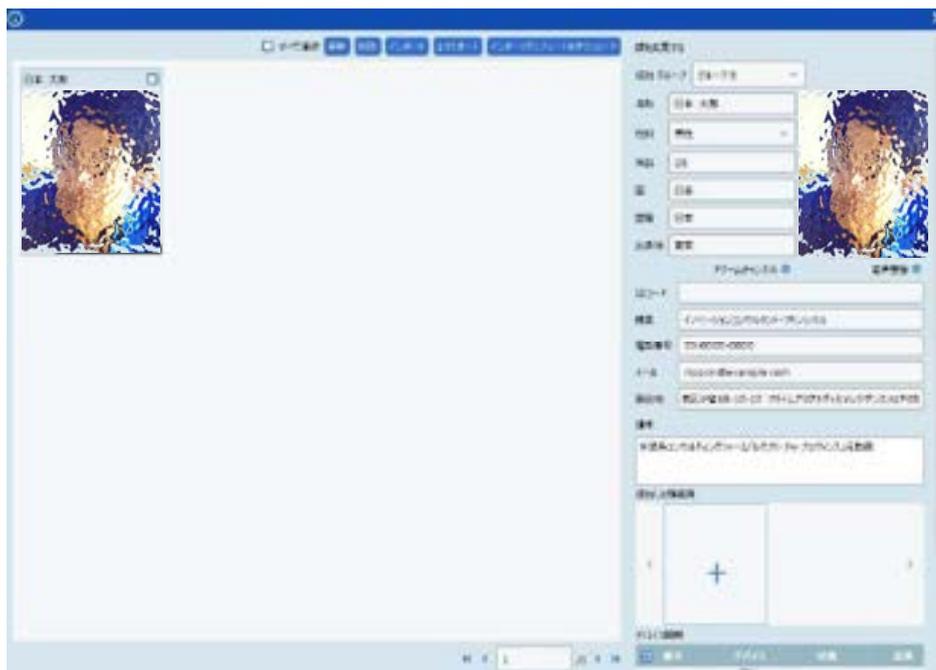
[追加]ボタン  をクリックしてデータを登録します。



サムネイル画像を選択状態にすると項目を編集できます。編集を適用するには、[更新]  ボタンをクリックします。

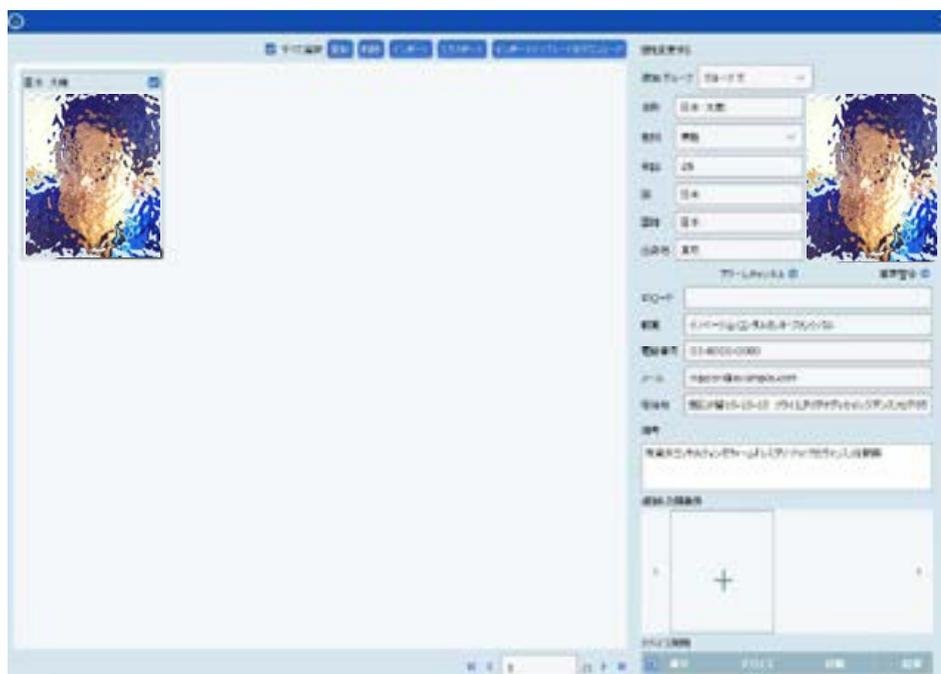


編集した内容が反映されました。



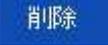
削除するには削除する顔データのサムネイルへチェックを入れて、[削除]ボタン

削除 をクリックします。



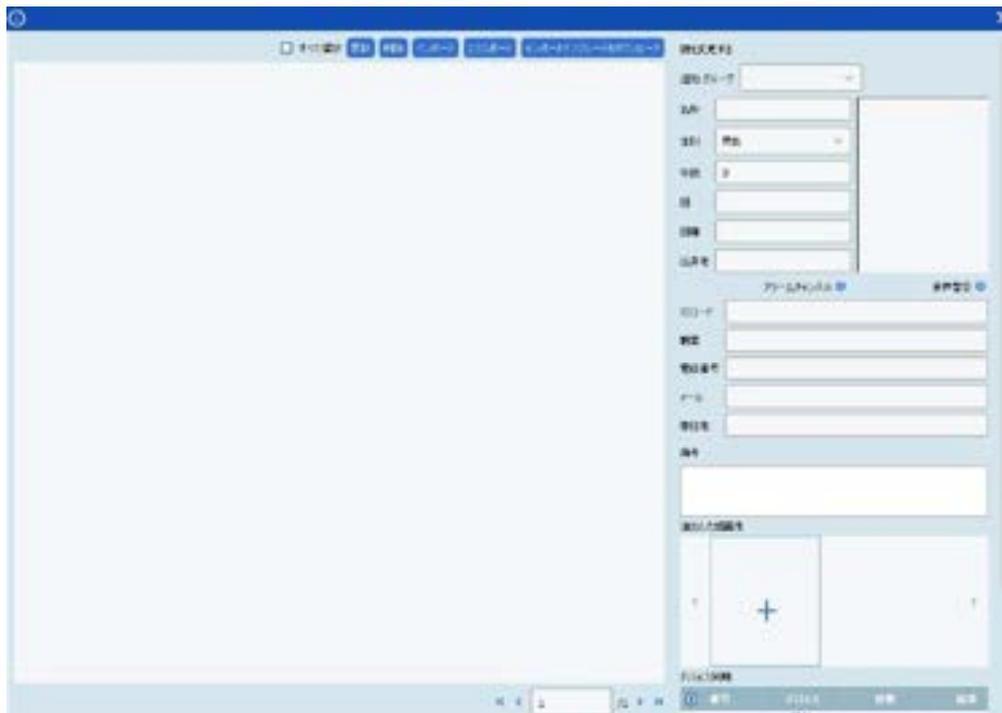
削除画面 **削除** が表示されます。顔データを削除したいデバイスへチェックを入れ (☑)、[はい]ボタン **はい** をクリックして顔データの削除を実行します。



 ボタンで削除画面  を閉じます。



顔データが削除されました。



15.1.2.1.3 “ローカル イメージ ディレクトリ” による顔データの登録

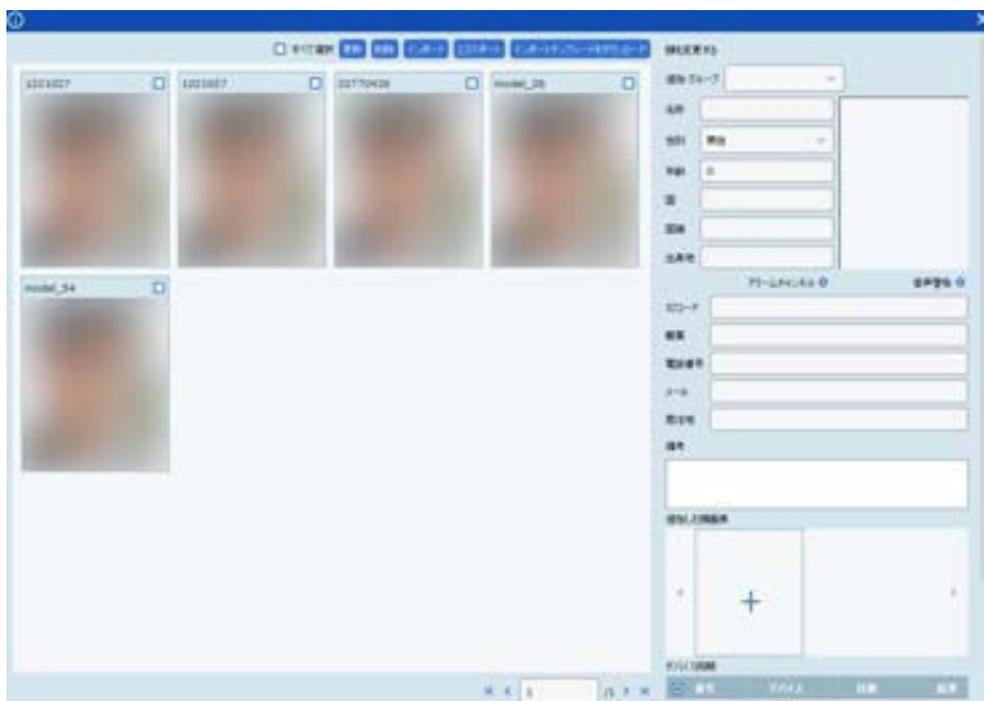
インポート画面で[ローカル イメージ ディレクトリ]ボタンをクリックします。



処理中は  が表示されます。



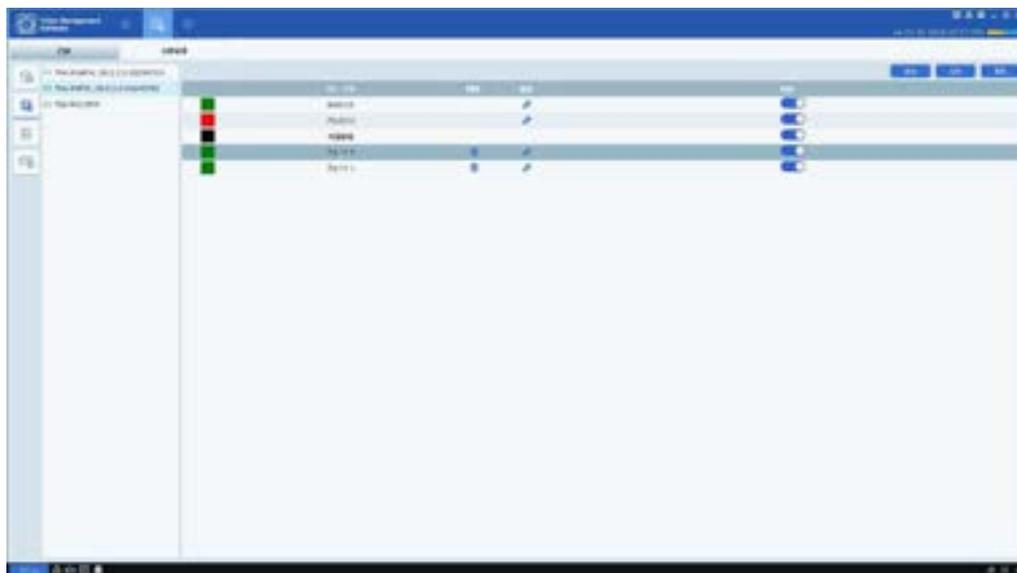
処理が完了致しますと、の表示が消えます。フォルダ内の顔画像が登録されました。



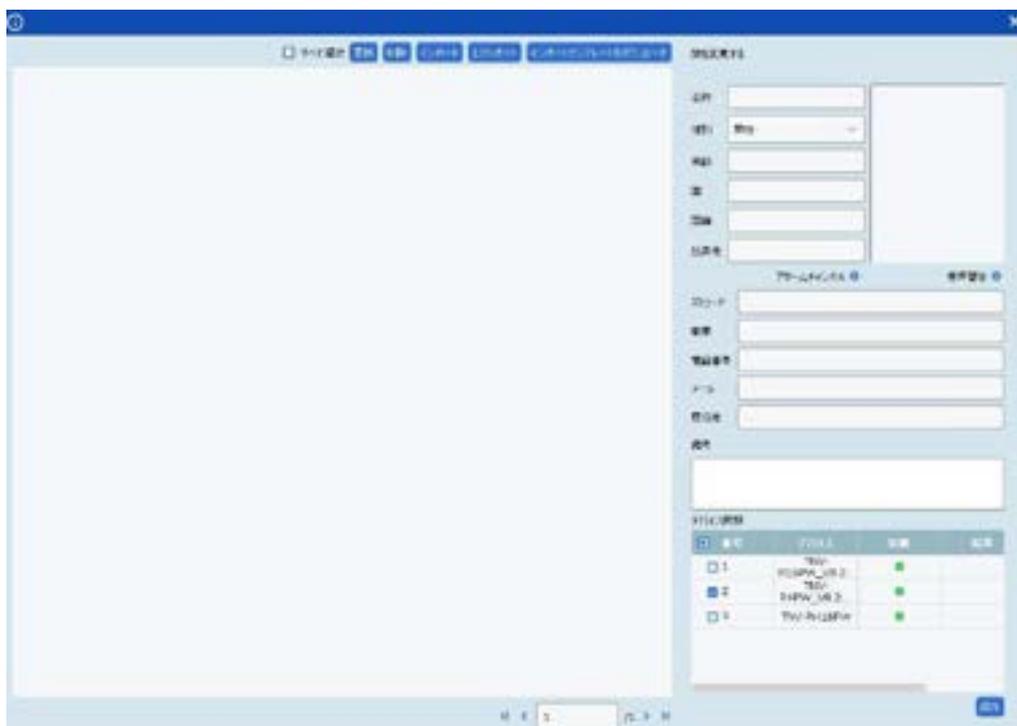
15.1.2.1.4 “インポートテンプレート”による顔データの登録

“インポートテンプレート”を準備します。

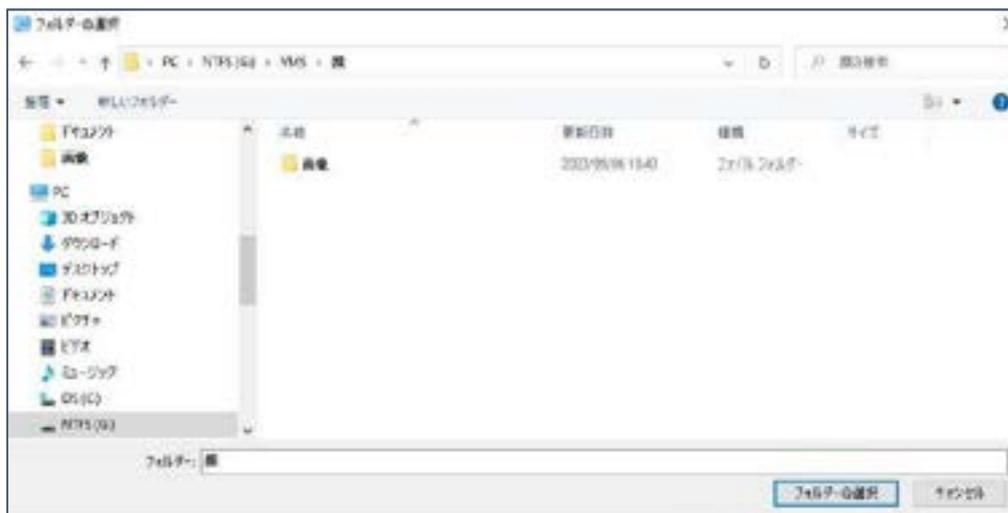
縦タブの“データベース管理”アイコン  をクリックして、データベース管理画面を表示させます。



顔データを登録するグループ（データベース）の[編集]アイコンを  クリックします。



[インポートテンプレートをダウンロード]ボタン  をクリックします。



「import_template_enu.zip」ファイルが保存されます。import_template_enu.zip」ファイルを解凍します。



「import_template_enu」フォルダを開きます。



「import_template_enu」フォルダ内に「import_template_enu」フォルダがある場合はさらに「import_template_enu」フォルダを開きます。



Excel を開き、データ > テキストから選択し、テンプレートファイル「facetemplate.csv」を選択します。



ファイルの元の形式は Unicode (UTF-8)、区切り記号はコンマにします。列のデータ形式はテキストにします。

テンプレートファイルの形式に従って顔情報を入力します。

画像のパスは CSV ファイルの相対パスです。例えば、CSV ファイルが C:\¥face¥import¥import.csv で、画像のパスが C:\¥face¥import¥image.png なら、相対パスは image.png です。

ファイルを保存するときは UTF-8 でエンコードします。

一度にインポートできる画像は最大 5000 枚です。

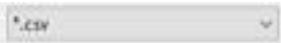
長い文字列を入力するときは、テキスト形式であることを確認します。x.xxxE+xx という形式は禁止です。

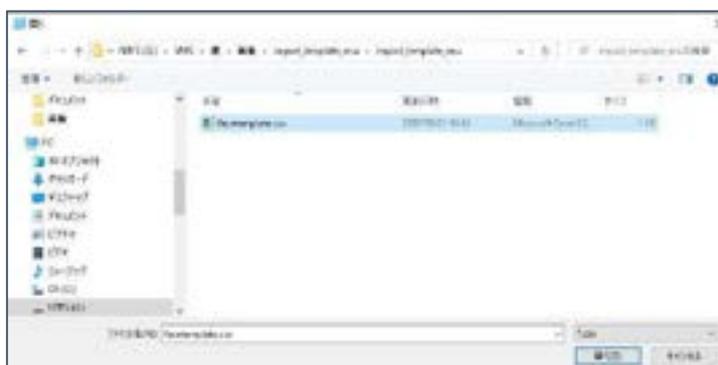
名前とパスは必須です。どちらかが間違っていると、システムが情報を読み取れません。

「facetemplate.csv」ファイルの準備が出来ましたら、インポート画面で

 ボタンをクリックします。



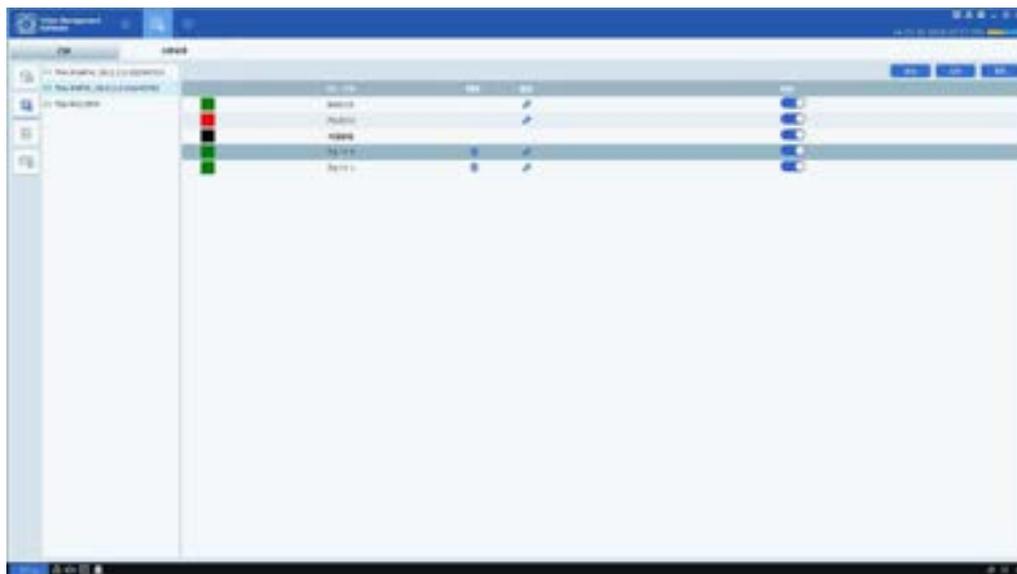
“開く”画面で “*.csv” 拡張子  を選択します。



15.1.2.2 顔画像のエクスポート

顔データベースの顔画像をエクスポートできます。

縦タブの“データベース管理”アイコン  をクリックして、データベース管理画面を表示させます。顔データを登録するグループ（データベース）の  アイコンをクリックします。



エクスポートする顔画像へチェックを入れます (☑)。



エクスポート

ボタンをクリックします。



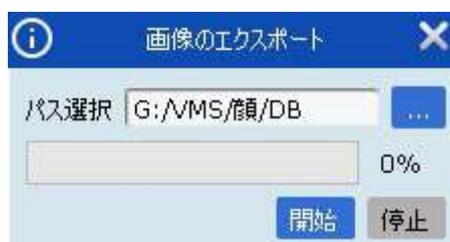
...

ボタンをクリックして保存先を選択します。

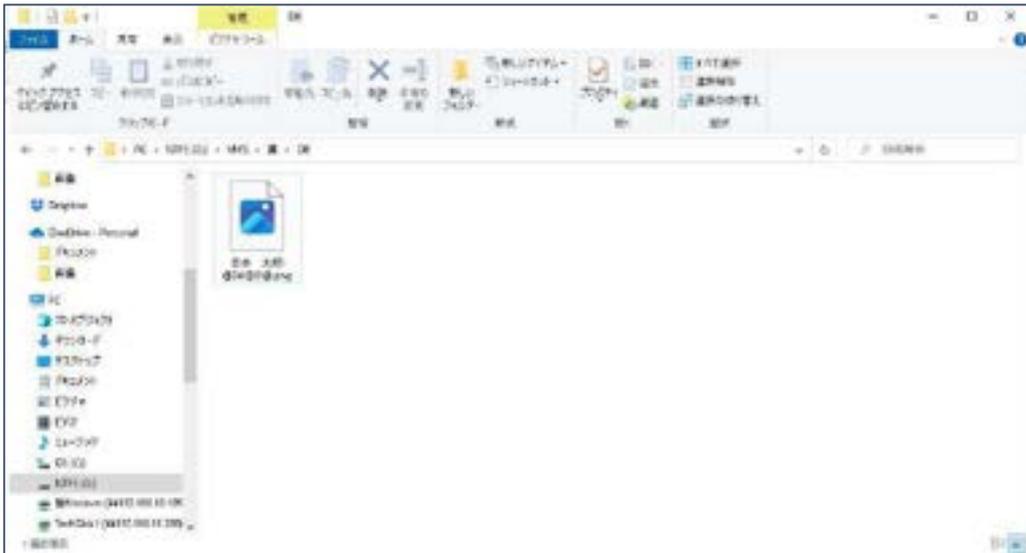


開始

ボタンをクリックします。



顔画像がエクスポートされました。



15.1.2.3 顔データの編集

顔データベースの登録情報をエクスポートできます。

縦タブの“データベース管理”アイコン  をクリックして、データベース管理画面を表示させます。顔データを登録するグループ（データベース）の  アイコンをクリックします。



データ（顔）を編集するサムネイルをクリックして選択します。そして、右側の“顔を変更する”画面で編集します。（図 15-1-2-3-1）。

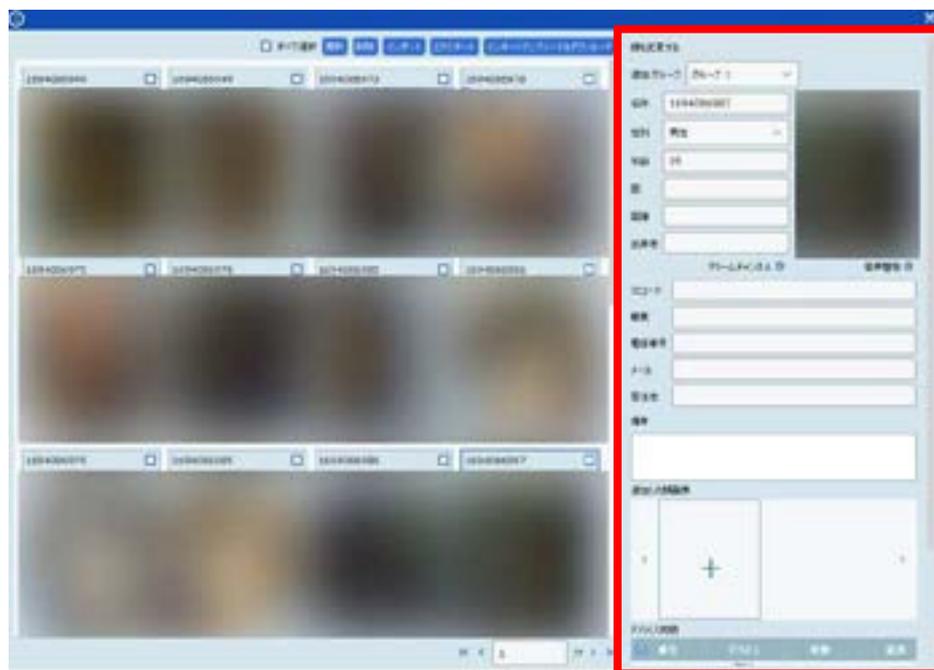


図 15-1-2-3-1a データベース管理 データベース編集画面 表示例

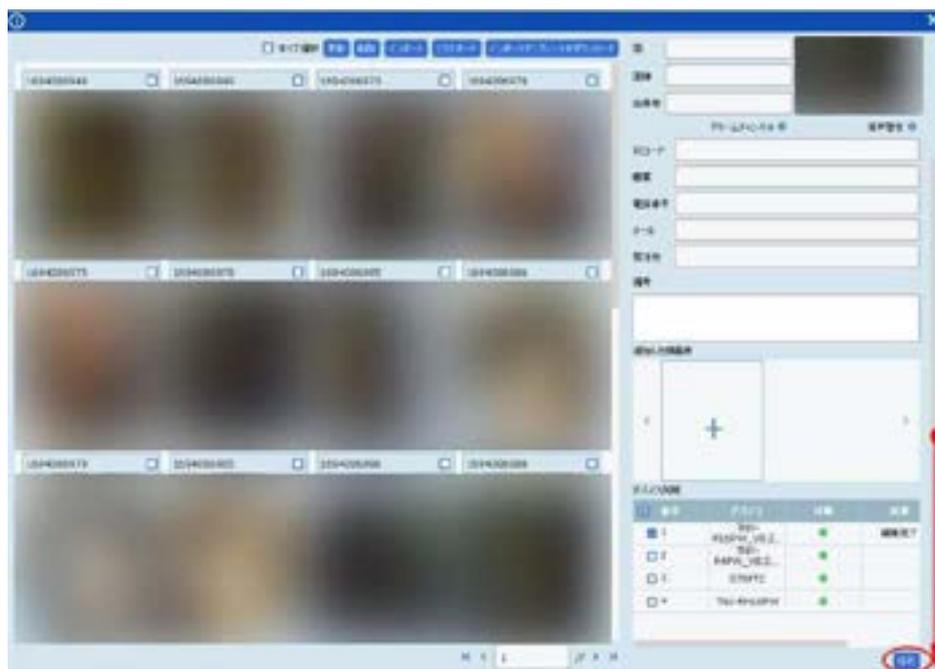


図 15-1-2-3-1b データベース管理 データベース編集画面(図 15-1-2-3a を下へスクロール) 表示例

<データベース編集画面の説明(図 15-1-2-3-1)>

以下の手順により、データ(顔)の登録情報を編集できます。編集対象のサムネイル(顔)をクリックして、右側のエリアで編集します。

[ステップ 1] 一覧表示されているサムネイルから目的の“顔”を選びます。[更新]

ボタン  をクリック致しますと、最新のグループ(DB)データを表示します。

[ステップ 2] 現在登録されているデータ内容が表示されます。

[ステップ 3] 変更を加えたい項目を変更します。

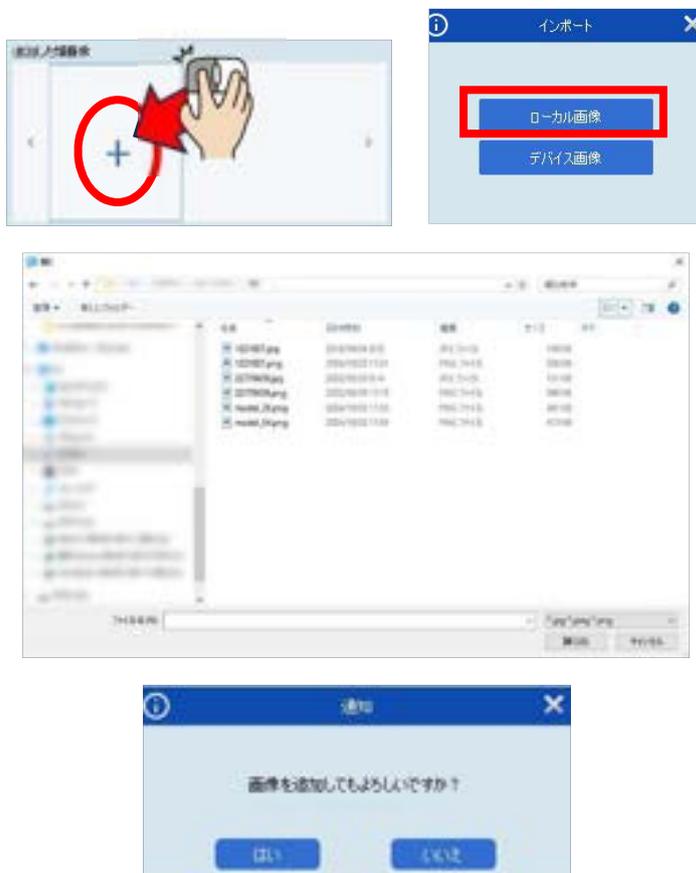
- “追加グループ”で、データベース(所属グループ)を変更することも可能です。
- 名称/年齢(図 15-1-2-3-1)は入力必須の項目です(図 15-1-2-3-1)。



- ・画像（追加した顔画像）： 顔画像の追加ができ検出能力をあげることが可能です。顔画像はローカル又はデバイスから取込可能です。

[ローカル画像より選択する場合]

“追加した顔画像”の“+”をクリックして、“ローカル画像”を選択します。jpg形式/png形式の画像が選択可能です。

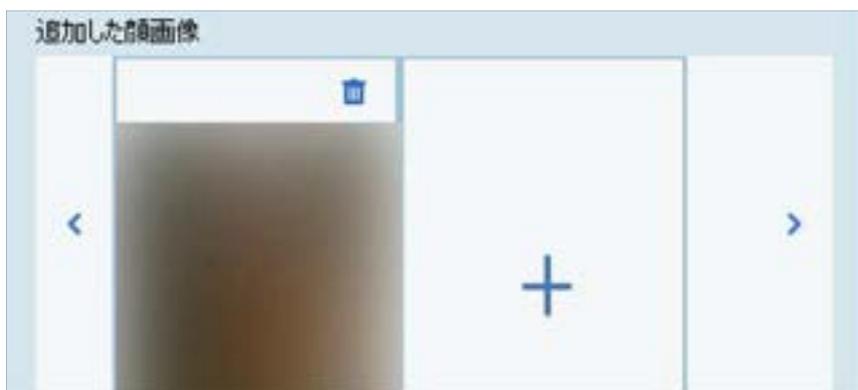


顔画像の追加を続行するには、[はい]ボタン **はい** をクリックします。

もしも、画面右下に“顔を追加できませんでした”と表示された場合はその顔画像が顔として認識できない画像であることを示します。別の顔画像をお試しください。



顔画像が顔として認識された場合は、“追加した顔画像”に顔が追加されます。



[デバイス画像より選択する場合]

画像ペインでクリックし、“デバイス画像”を選択します。



“顔画像を選択してください”画面がポップアップしますので、この画面より登録する画像を検索して選択します。

まず、検索対象の期間（[開始時間]と[終了時間]）を設定して検索します。また検索対象の期間については、[開始時間]を基準に指定間隔（1日/2日/3日/4日/5日/6日/週/月より選択可能）で「又は」アイコンをクリックし、検索対象期間を移動させることが可能です。

[検索]ボタン  をクリックしますと、検索結果が“顔画像を選択してください”画面の下側のエリアへ表示されますので登録する画像を へして、[はい]ボタン  をクリックします。

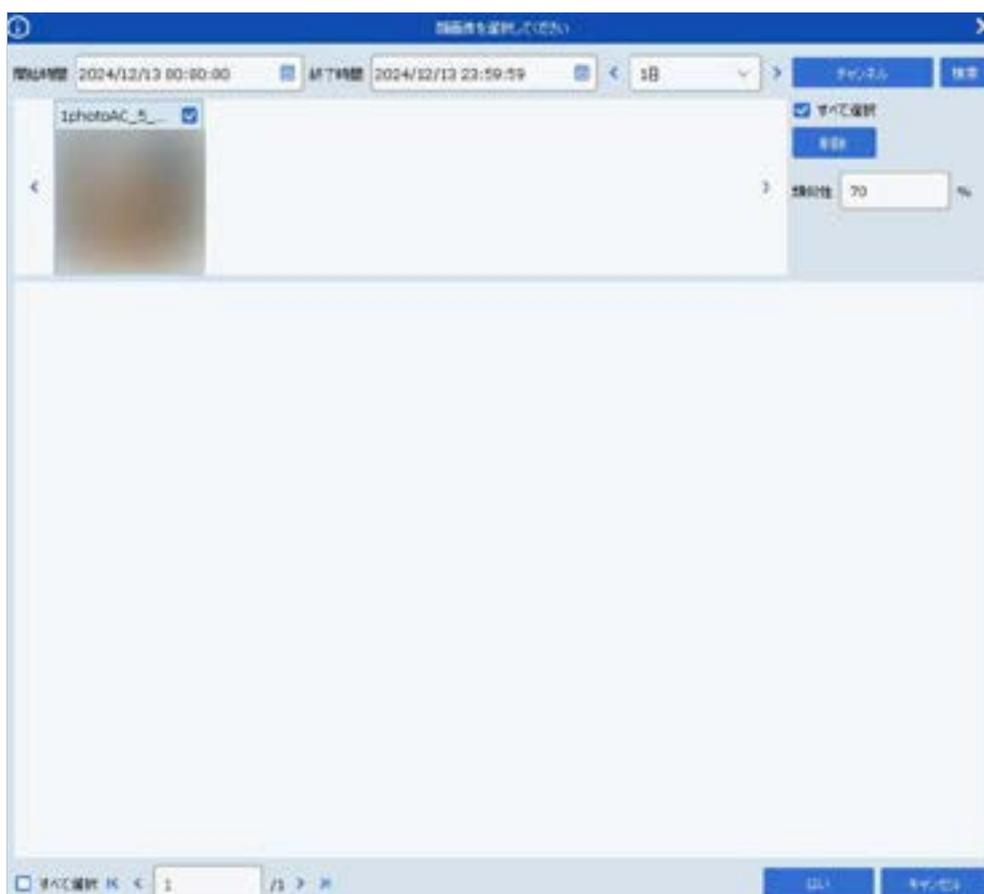


図 15-1-2-3-2 “顔画像を選択してください” 画面 表示例

更にこの検索結果を用いて“類似性”を取り入れて絞込検索を行うことが可能です。絞込検索を行うには、続けて下部エリアに表示された検索結果より対象のサムネイルを☑へして“類似性”を指定し、さらに[検索] ボタン **検索** をクリックして検索します（所望する結果が出るまでこれを繰り返します）。なお、検索元となった画像は上側のエリアへサムネイル表示されます。絞込が済みましたら、下側のエリアより登録画像を☑へして、[はい] ボタン **はい** をクリックします。“顔画像を選択してください”画面を閉じるには画面右上の **X** ボタンをクリックする、または、[キャンセル] ボタン **キャンセル** をクリックします。

[ステップ 4] 編集致しましたら、[保存] ボタン **保存** をクリックして編集内容を保存してください。なお、[保存] ボタン **保存** は下へスクロールさせたら一番下にあります（図 15-1-2-3-1b）。

[ステップ 5] “デバイス同期”： 選択中の顔を欄内（“デバイス同期”）に表示されているデバイス間で共有可能です。デバイス間で共有するには、先ず、対象のデバイスが状態表示でオンラインであることをご確認ください

ださい。[保存]ボタン  をクリック致しましたらデータの同期が開始されます。データの同期結果が“結果”欄へ表示されますので、必ずご確認いただき、「編集完了」までお待ちください。

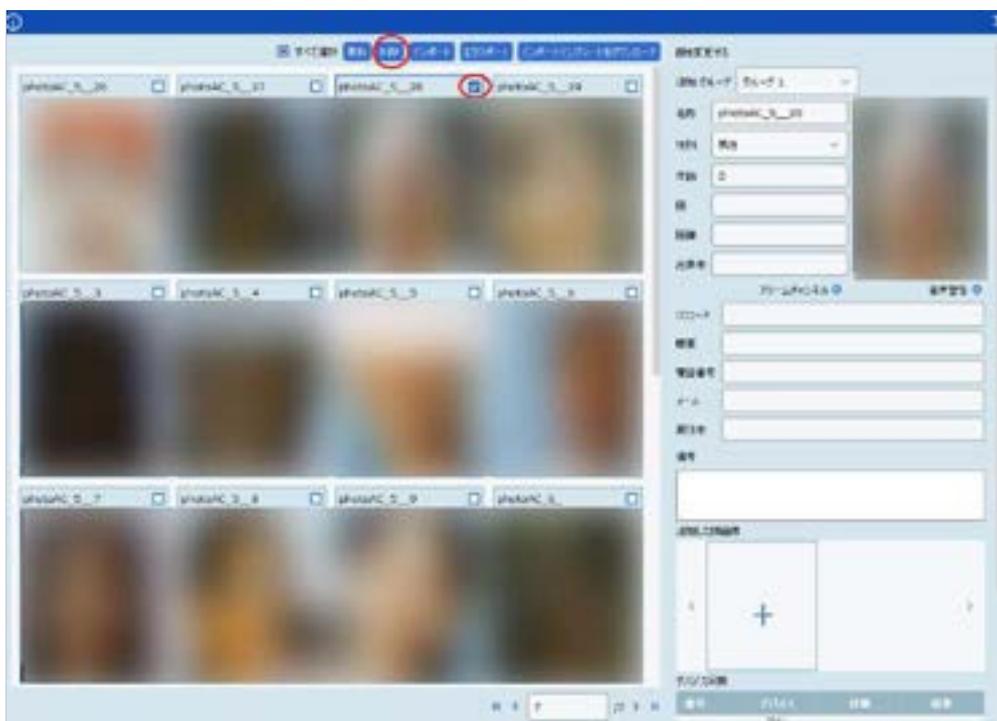
番号	デバイス	状態	結果
<input checked="" type="checkbox"/> 1	TKV-16		
<input checked="" type="checkbox"/> 2	SM-HY16		
<input type="checkbox"/> 3	RS-IPC-2MP		

[デバイス同期の結果欄メッセージ例]

- **「Editing face」** 同期処理中です。(ウィンドウは開いたまま閉じずに完了まで暫くお待ちください。数秒かかる場合がございます)
- **「編集完了」** 同期が完了しました。(ウィンドウを閉じていただいて構いません)
- **「Device unsupported」** そのデバイスは当機能に未対応です。(ウィンドウを閉じていただいて構いません)

[ステップ6] データベースから顔を削除する場合は、削除対象のサムネイル右

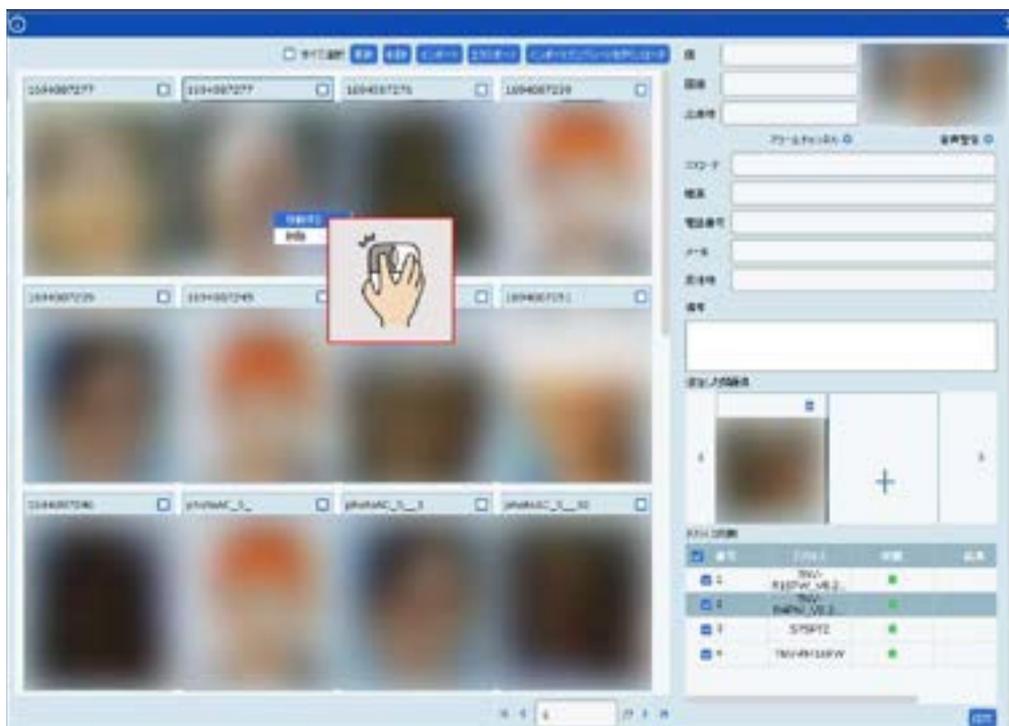
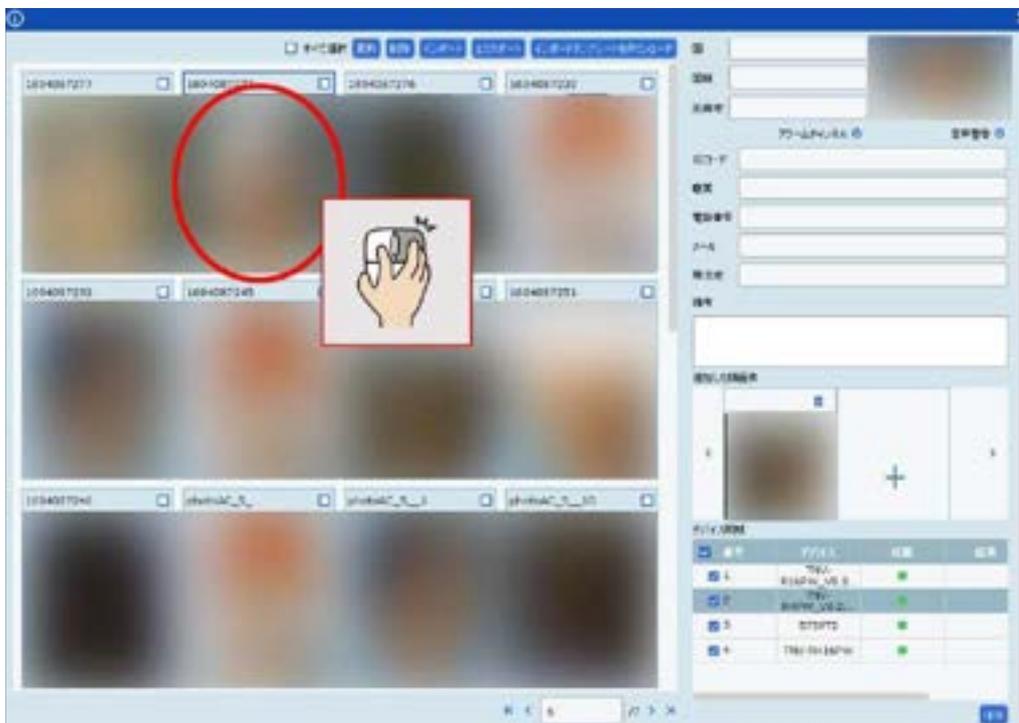
上のチェックボックスを選択して[削除]ボタン  をクリック致します。

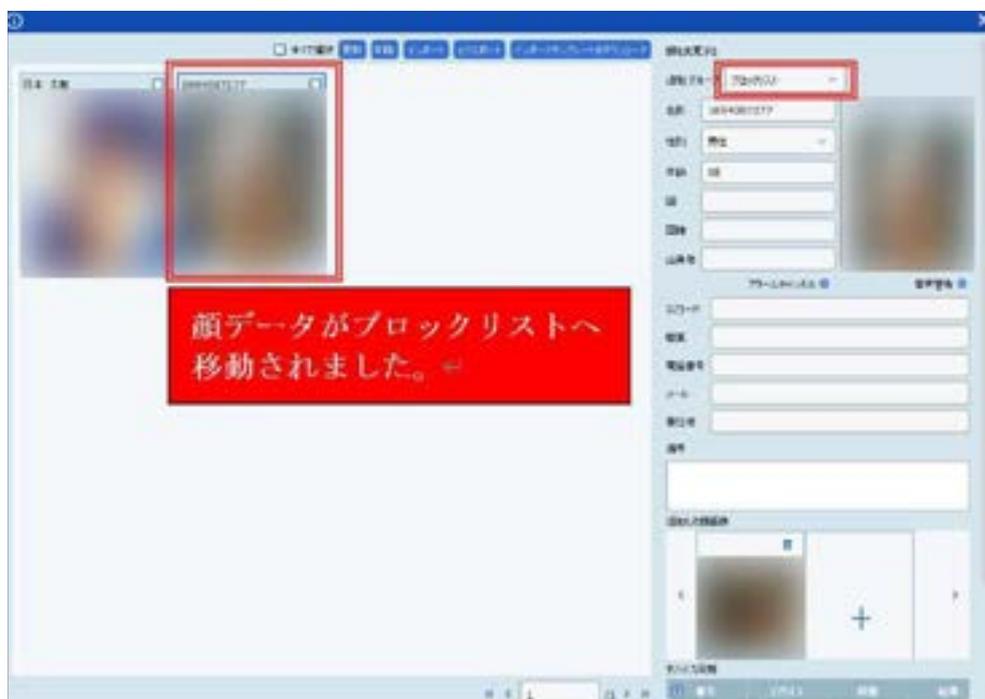
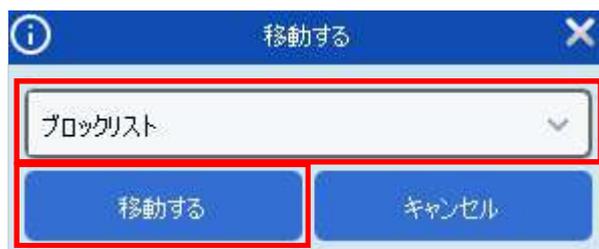


[ステップ7] 別のグループに顔データを移動させることもできます。この場合は、移動対象のサムネイル右上のチェックボックスを選択して[移動する]  をクリックします。そして、“移動する”

画面で移動先のグループ（リスト）を選択し、[移動する]

移動する をクリックしますと顔データが移動されます。以下にブ
ロックリストへ顔データを移動させる場合の操作例を示します。



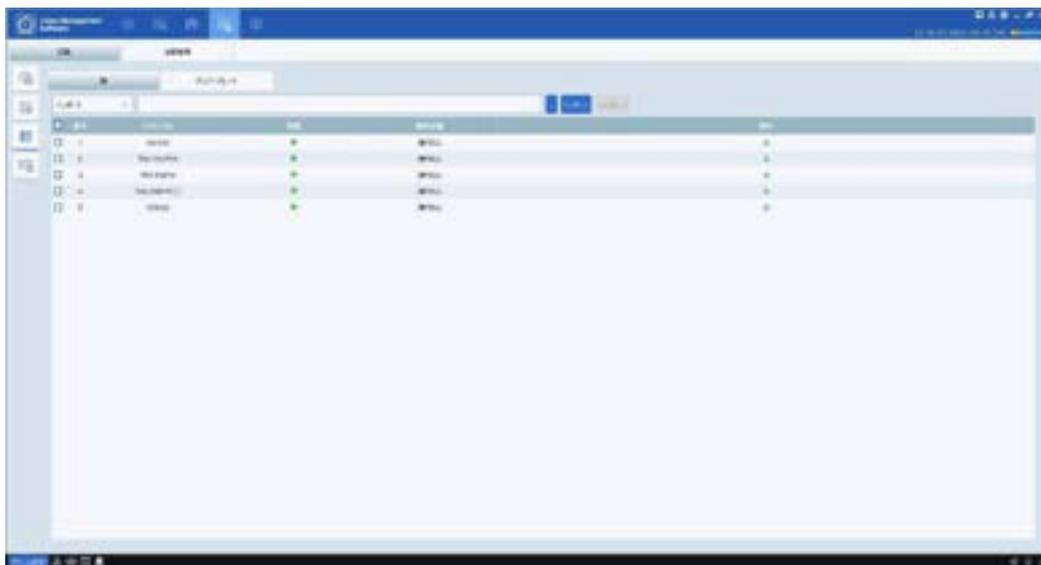


15.1.3 データベースの同期



縦タブの“データベースの同期”アイコン  をクリックして、データベースの同期画面を開きます。

データベースの同期機能を用いて、ローカルPCへリモートデバイスのデータベースをインポート/エクスポートできます。

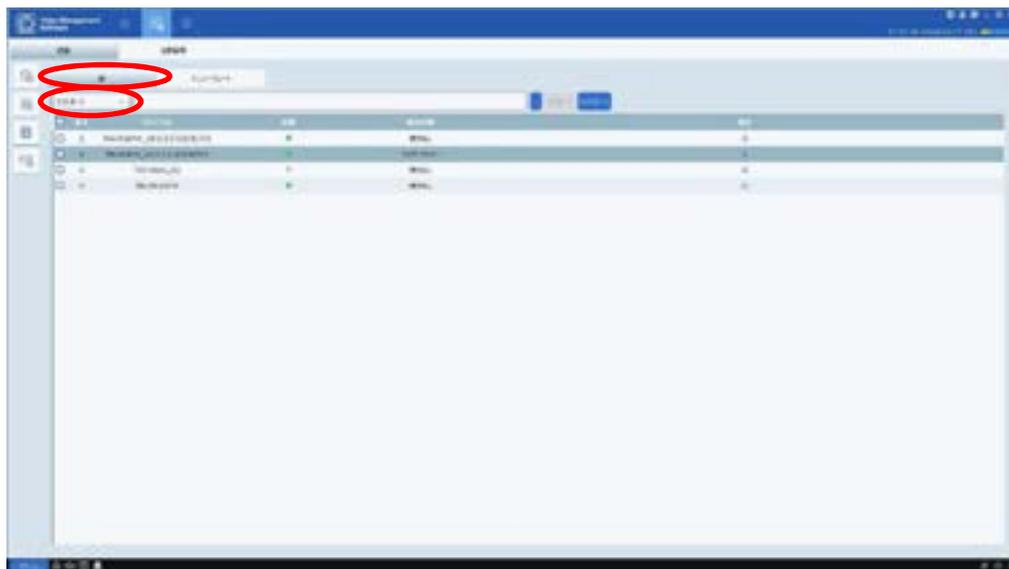


顔データベースとナンバープレートデータベースはデフォルトのファイル名で区別し難いので、フォルダで別けて管理することをお勧めします。

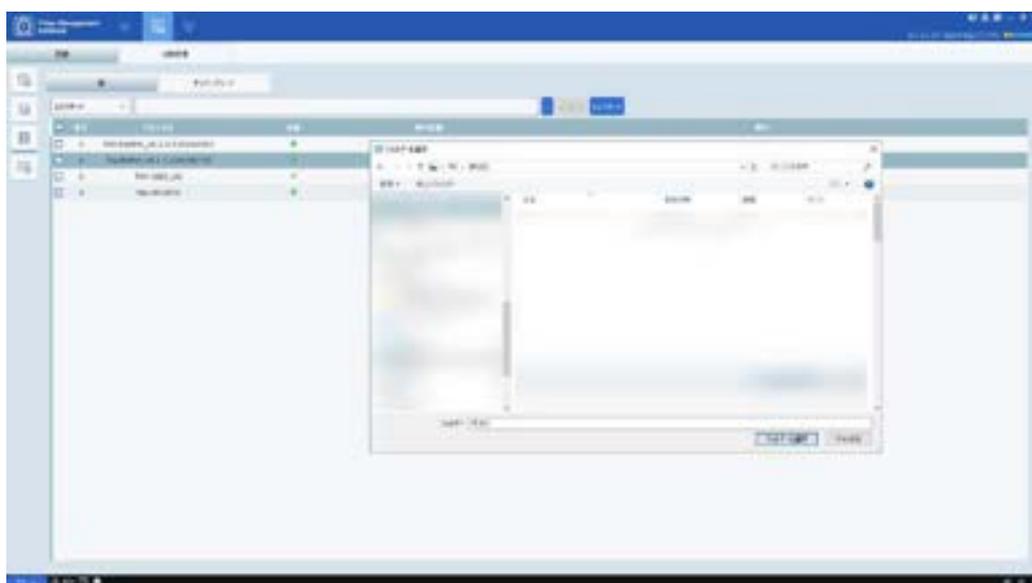
15.1.3.1 顔データベースのエクスポート

顔データベースとナンバープレートデータベースはデフォルトのファイル名で区別し難いので、フォルダで別けて管理することをお勧めします。

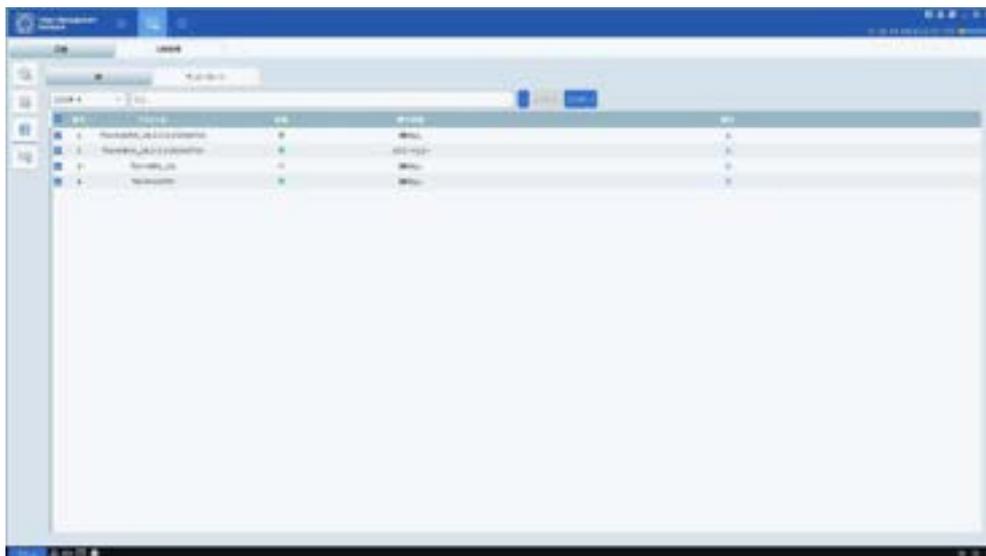
ステップ1:  タブを選択してプルダウンから“エクスポート”を選択します。

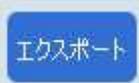


ステップ2:  ボタンをクリックして保存先フォルダを選択します。



ステップ3: 顔データベースを“エクスポート”したいデバイスへチェックを入れます。

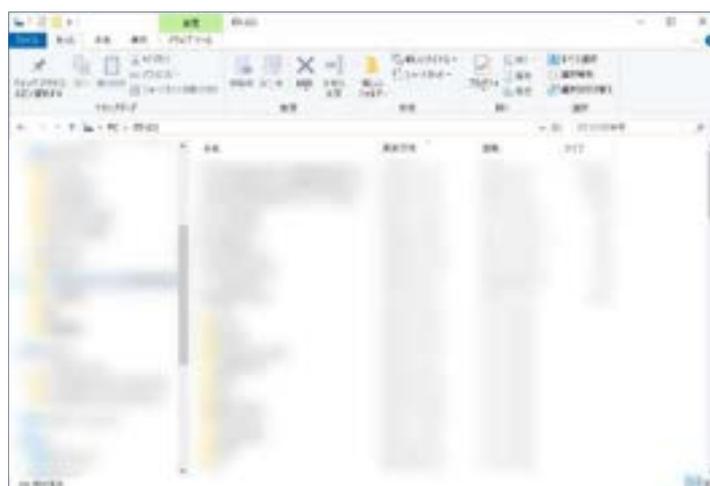


ステップ4:  ボタンをクリックします。

ステップ5: リモートデバイスの admin パスワードを入力します。



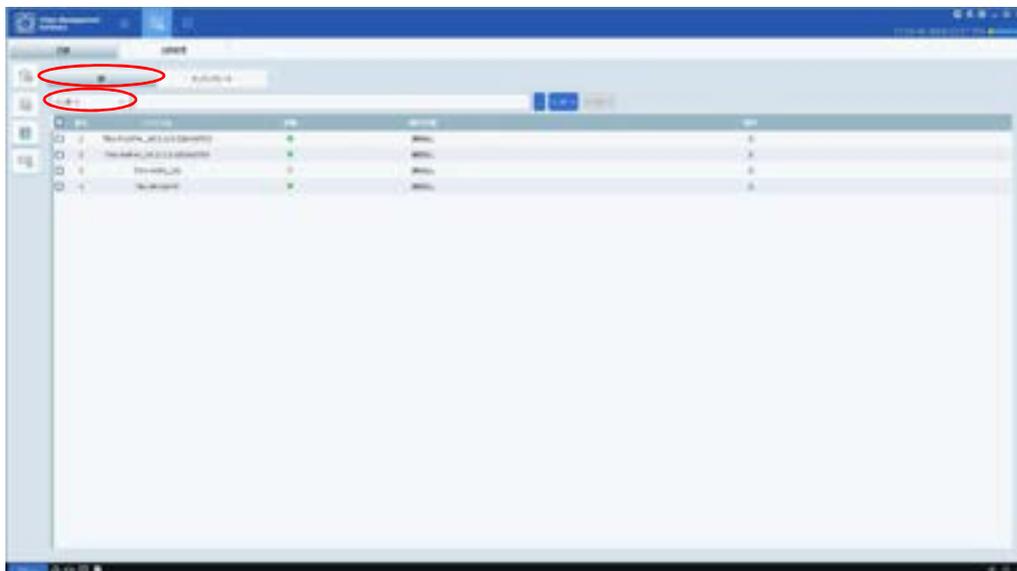
ステップ6: 顔データベース(.db ファイル)がエクスポートされました。



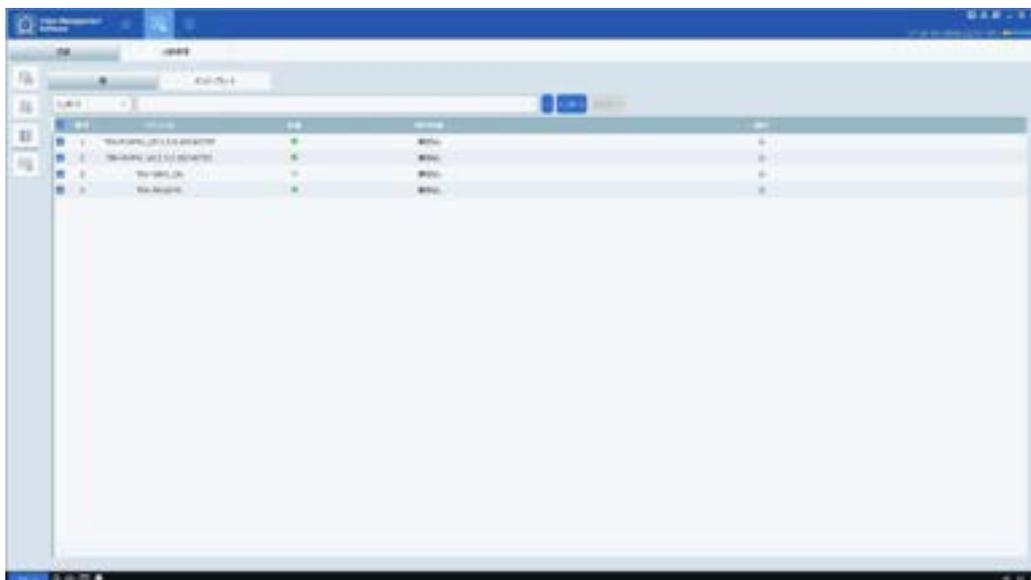
ステップ7:  アイコンで個別にエクスポートすることも可能です。

15.1.3.2 顔データベースのインポート

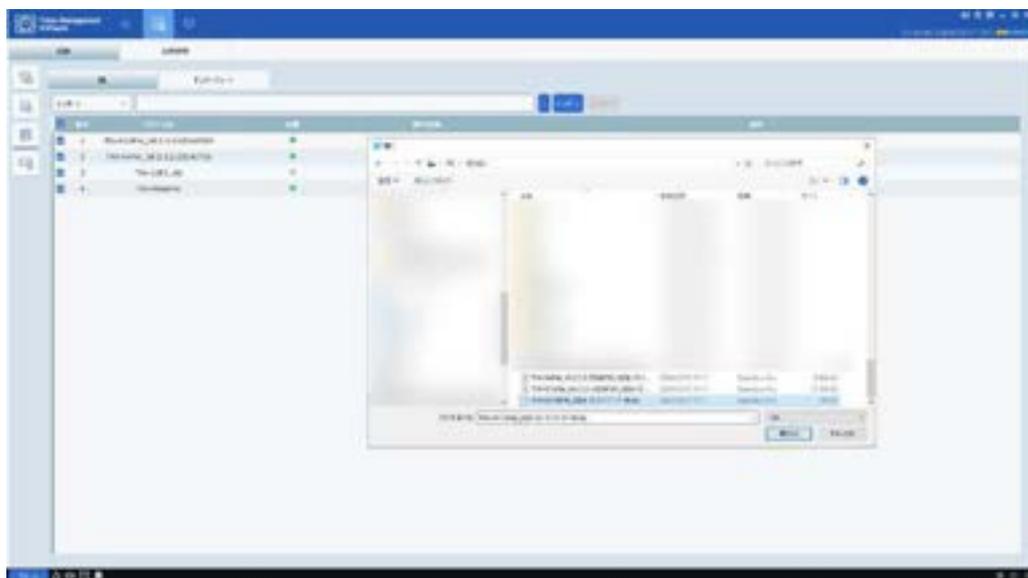
ステップ1: タブを選択してプルダウンから“インポート”を選択します。



ステップ2: 顔データベースを“インポート”したいデバイスへチェックを入れます。



 ボタンをクリックして“インポート”したい顔データベース(.db ファイル)を選択し“開く”ボタンをクリックします。

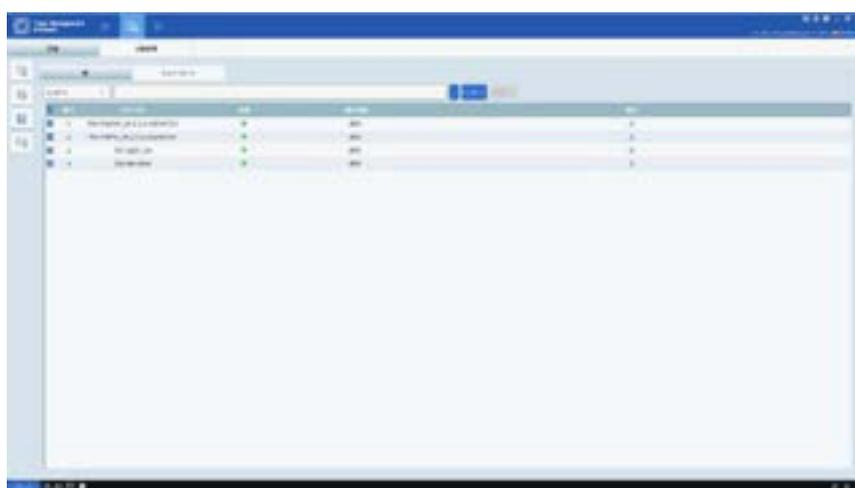


 ボタンをクリックします。

ステップ5: リモートデバイスの admin パスワードを入力します。



¥ステップ6: 顔データベース(.db ファイル)がインポートされました。

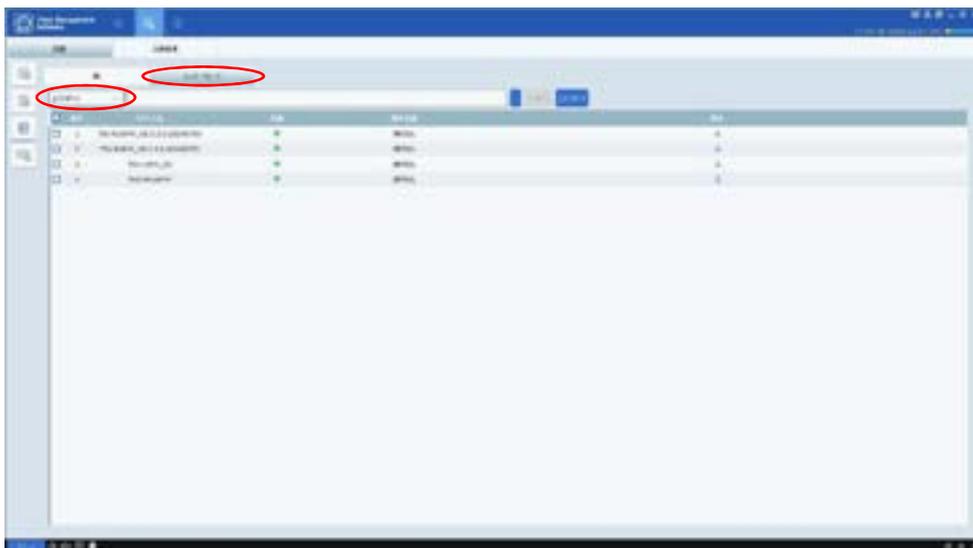


ステップ7:  アイコンで個別にインポートすることも可能です。

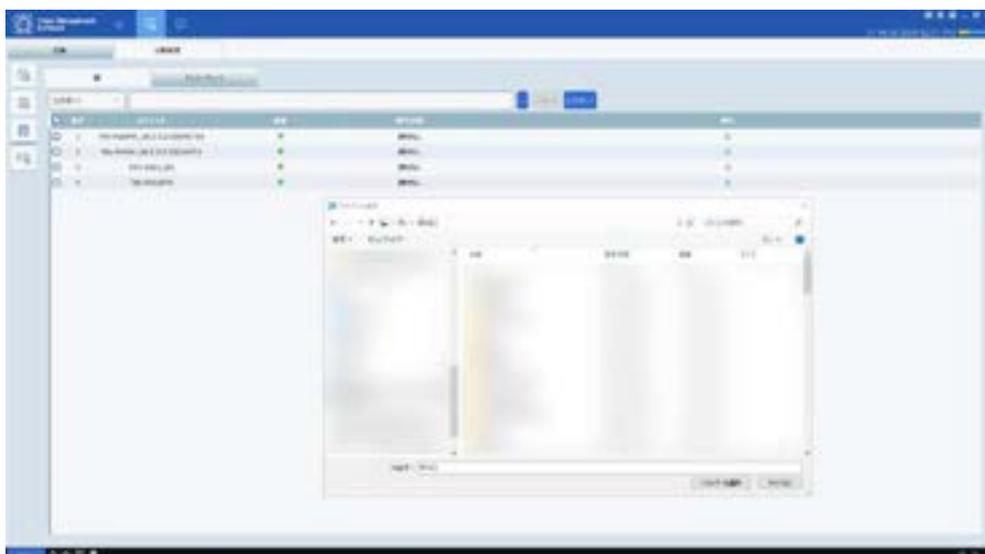
15.1.3.3 ナンバープレートデータベースのエクスポート

顔データベースとナンバープレートデータベースはデフォルトのファイル名で区別し難いので、フォルダで別けて管理することをお勧めします。

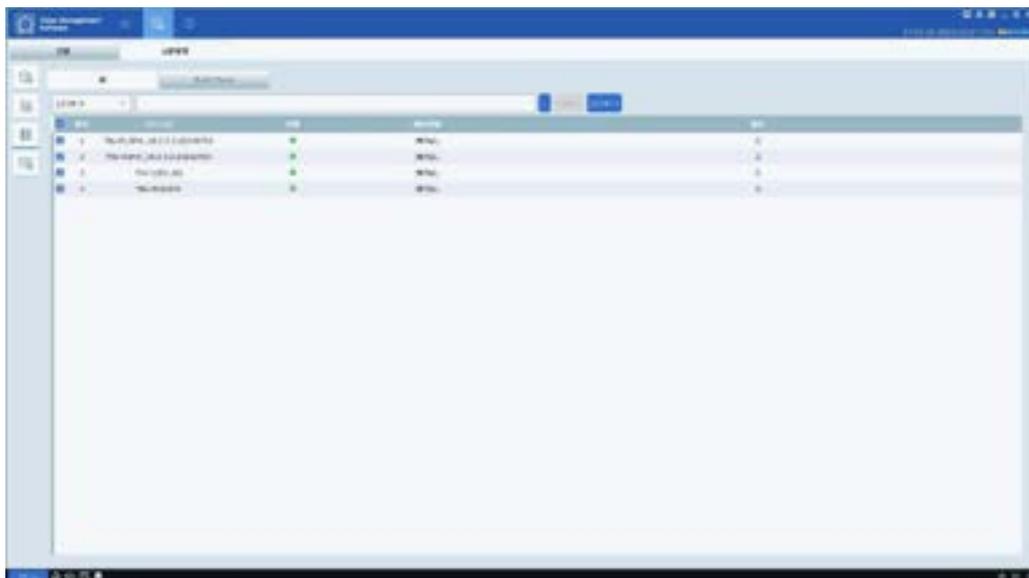
ステップ1:  タブを選択してプルダウンから“エクスポート”を選択します。



ステップ2:  ボタンをクリックして保存先フォルダを選択します。



ステップ3: ナンバープレートデータベースを“エクスポート”したいデバイスへチェックを入れます。

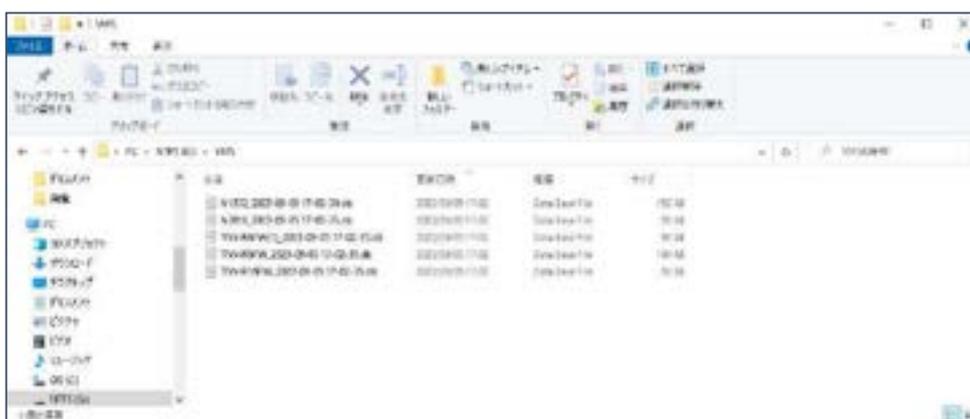


ステップ4:  ボタンをクリックします。

ステップ5: リモートデバイスの admin パスワードを入力します。



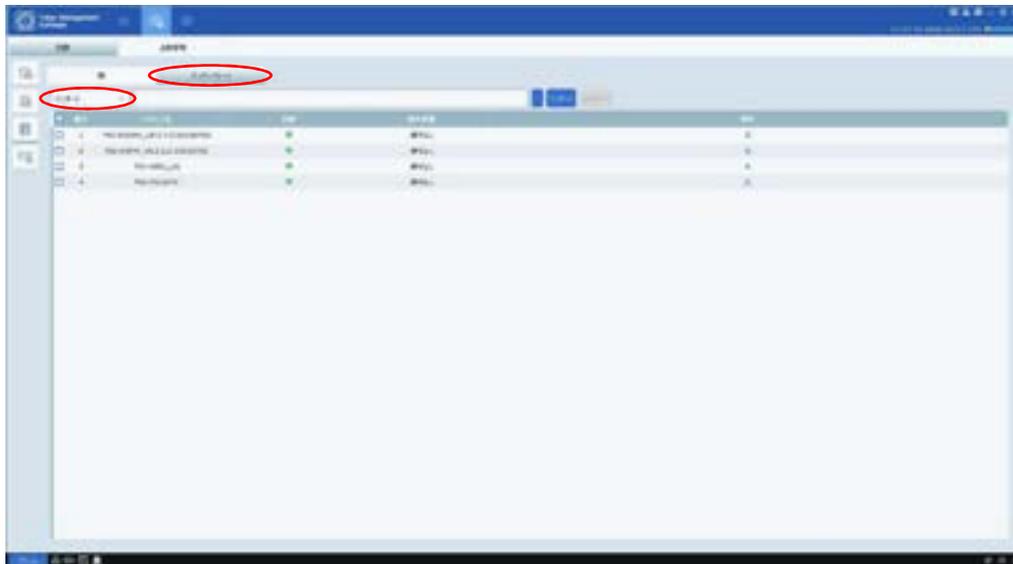
ステップ6: ナンバープレートデータベース(.db ファイル)がエクスポートされました。



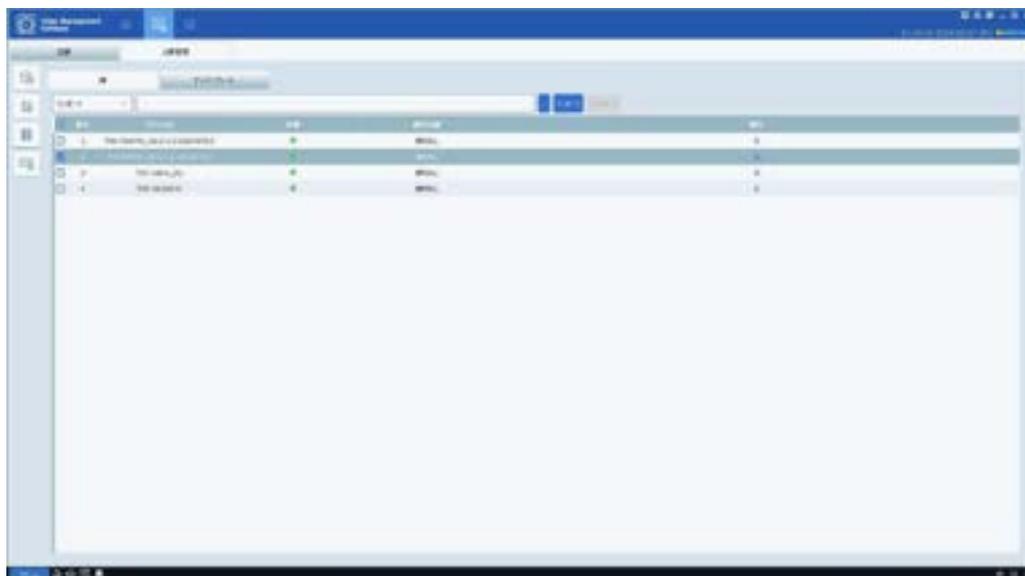
ステップ7:  アイコンで個別にエクスポートすることも可能です。

15.1.3.4 ナンバープレートデータベースのインポート

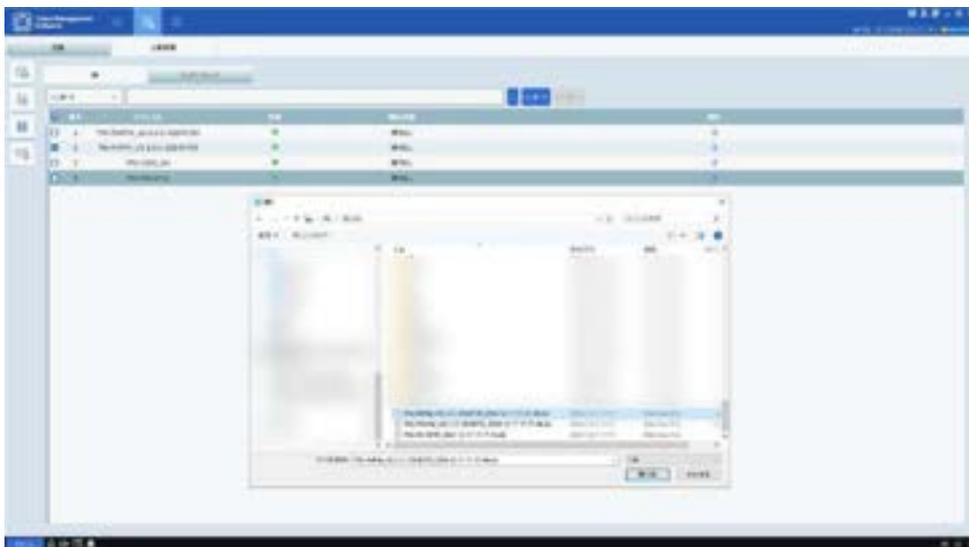
ステップ1:  タブを選択してプルダウンから“インポート”
を選択します。



ステップ2: ナンバープレートデータベースを“インポート”したいデバイスへ
チェックを入れます。



ステップ3:  ボタンをクリックして“インポート”したいナンバープレートデータベース(.db ファイル)を選択し“開く”ボタンをクリックします。

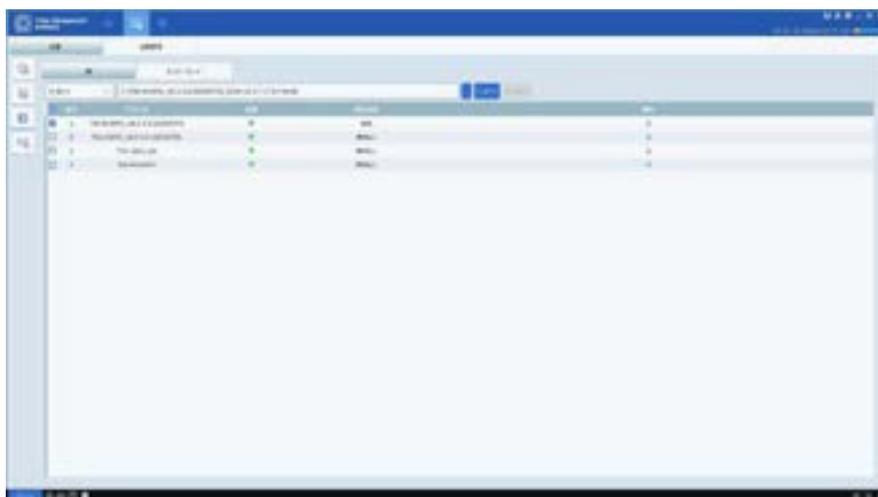


ステップ4:  ボタンをクリックします。

ステップ5: リモートデバイスの admin パスワードを入力します。



ステップ6: ナンバープレートデータベース(.db ファイル)がインポートされました。



ステップ7:  アイコンで個別にインポートすることも可能です。

15.1.4 ナンバー管理

縦タブの“ナンバー管理”アイコン  をクリックして、ナンバー管理画面を開きます。

ナンバープレートのナンバーは英数字のみ認識します。

1つのデバイスに対して最大64個のライセンスプレートグループを作成できます。

許可リスト/禁止リスト/未登録リストは削除できません。



図 15-1-4-1 ナンバープレート データベース管理画面 表示例

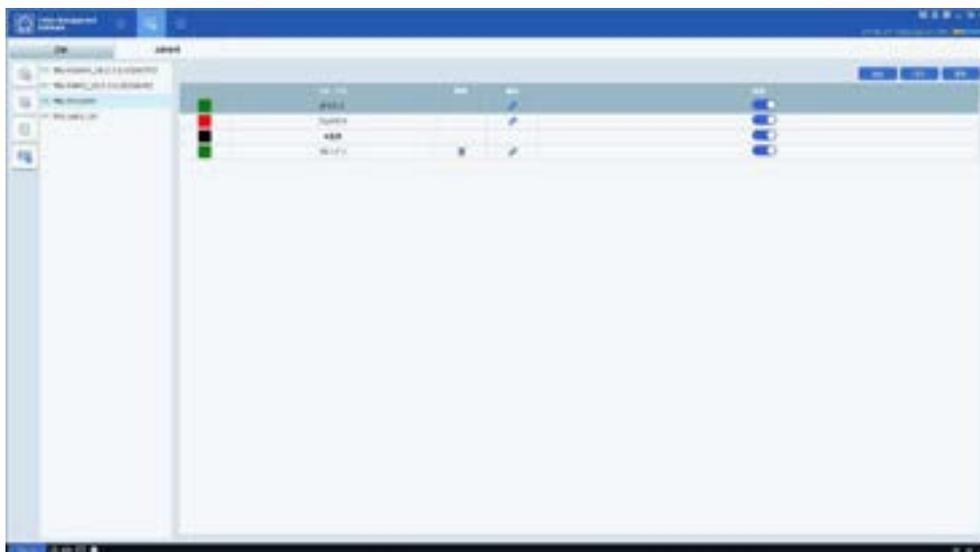
- 左側のデバイスツリーエリアより設定対象のデバイスを選択し、使用するグループ名（データベース）を有効化（）します。
- グループ（データベース）を編集するには、編集対象のグループ（データベース）が存在する行の編集アイコン  をクリック致します。

クリック致しますと、図 15-1-4-1 の画面が表示されます。未登録者のデータベースは編集できません。

- グループ（データベース）を削除するには、対象のデータベースが存在する行の削除アイコン  をクリックします。  をクリックしてデバイスへの更新を確定致します。許可リスト/ブロックリスト/未登録者のグループ（データベース）は削除できません。
- グループ（データベース）を追加するには、  ボタンをクリックします。グループ名（データベース名）等を編集後に、  をクリックしてデバイスへの更新を確定致します。

-  ボタンをクリック致しますと、選択中デバイスの最新情報を再取得し当ソフトウェアでの表示を更新致します。

15.1.4.1 ナンバープレートデータの登録



データ（ナンバープレート）を登録の際は、デバイスを選択して、登録先グループ（DB）を選択し、編集アイコン  をクリック致します。データベース編集画面の指示に従ってご登録ください。



15.1.4.1.1 ナンバープレートエディタによるナンバー登録

インポート

ボタンをクリックします。

ナンバープレート欄には半角の大文字英字と数字のみが入力できます。

保存する

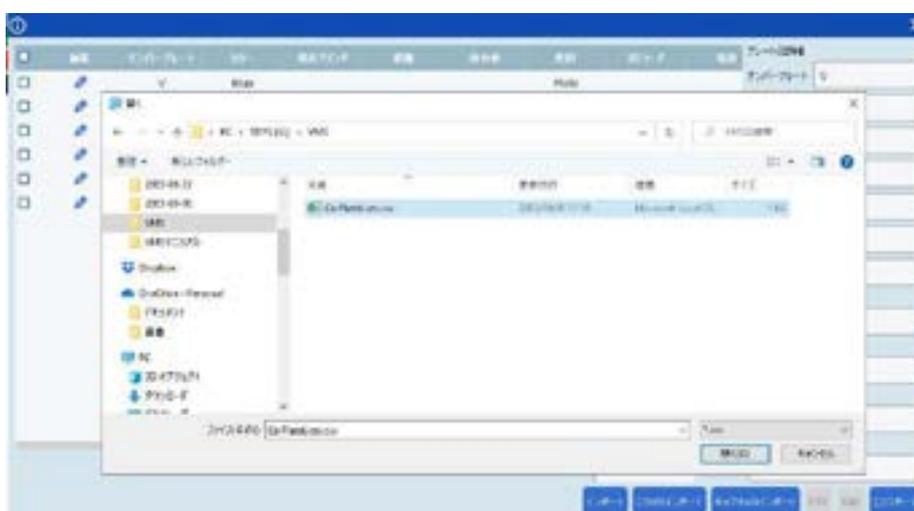
ボタンをクリックして登録します。

15.1.4.1.2 CSV ファイルによるナンバー登録

CSV ファイルからのナンバー登録をサポートしています。

ナンバープレート	カラー	車のブランド	車種	所有者	性別	備考
1234 Green	Green	Sedan	owner A	Male		
5678 Yellow	Yellow	Sedan	owner B	Male		
9000 Black	Black	Sedan	owner C	Male		
2468 Black	Black	Sedan	owner D	Male		
1357 Yellow	Yellow	Sedan	owner E	Male		
3 Green	Green	Sedan	owner F	Male		

CSVのサポート ボタンをクリックします。インポートする CSV ファイルを選択して“開く”ボタンをクリックします。



CSV ファイルの内容が表示されます。

カラー	車のブランド	車種	所有者	性別	備考
Green	Sedan	owner A	Male		
Yellow	Sedan	owner B	Male		
Black	Sedan	owner C	Male		
Black	Sedan	owner D	Male		
Yellow	Sedan	owner E	Male		
Green	Sedan	owner F	Male		

登録対象へチェックを入れます (☑)。



編集 アイコンをクリックして修正ができます。

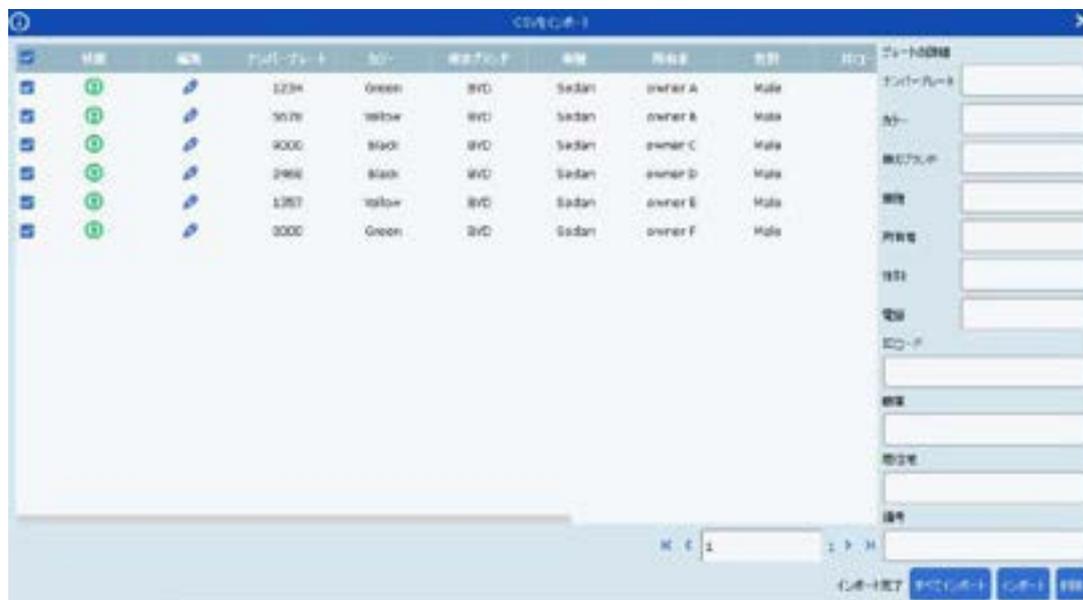


保存する

ボタンで編集内容を確定します。

インポート

ボタンをクリックします。登録されたものは状態表示がになります。



で CSVをインポート 画面を閉じます。



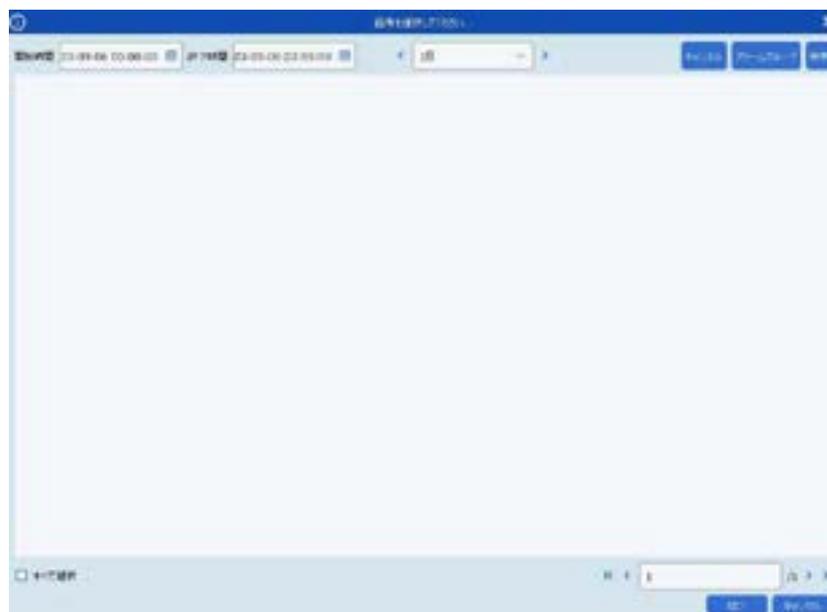
インポートされたことを確認し、で画面を閉じます。

15.1.4.1.3 キャプチャによるナンバー登録

デバイスにスナップショットされているナンバープレート画像からナンバー登録することが可能です。

キャプチャのインポート

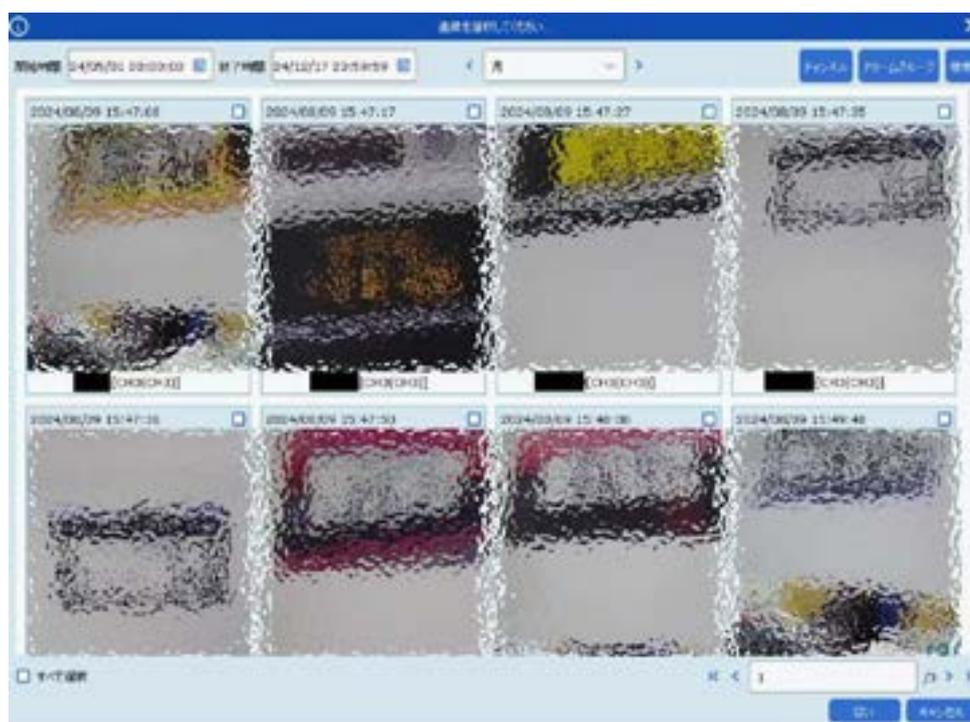
ボタンをクリックします。



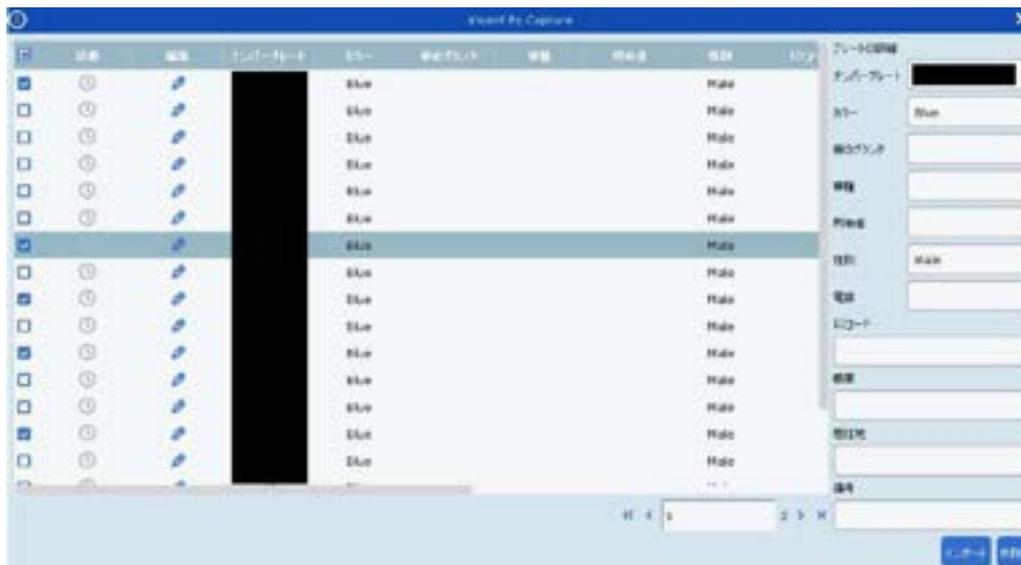
検索条件を設定し、

検索

ボタンをクリックします。

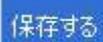


登録対象へチェックを入れます (☑)。



編集  アイコンをクリックして修正ができます。



 保存する

ボタンで編集内容を確定します。



インポート

ボタンをクリックします。登録されたものは状態表示がになります。

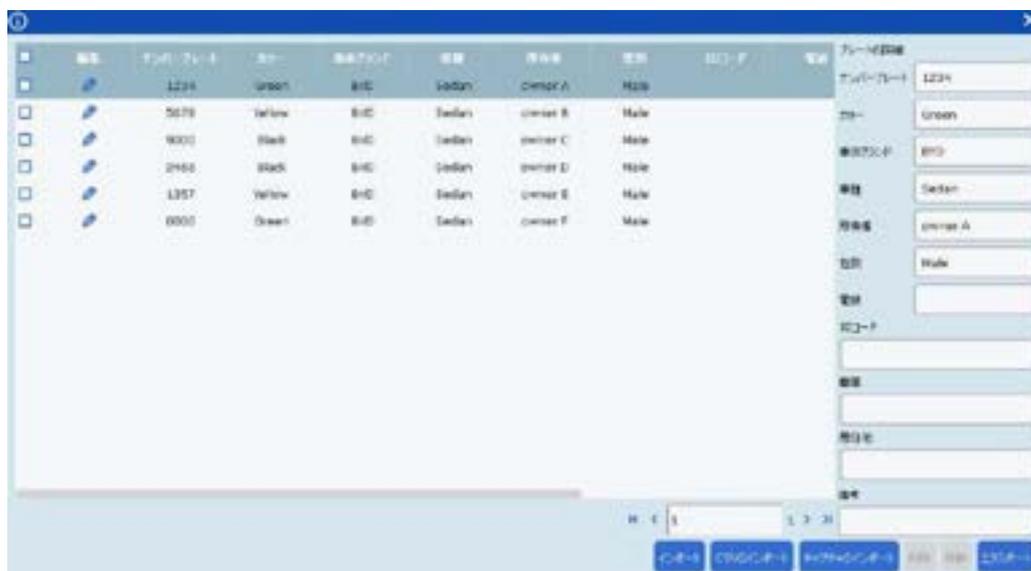


import By Capture

で画面を閉じます。

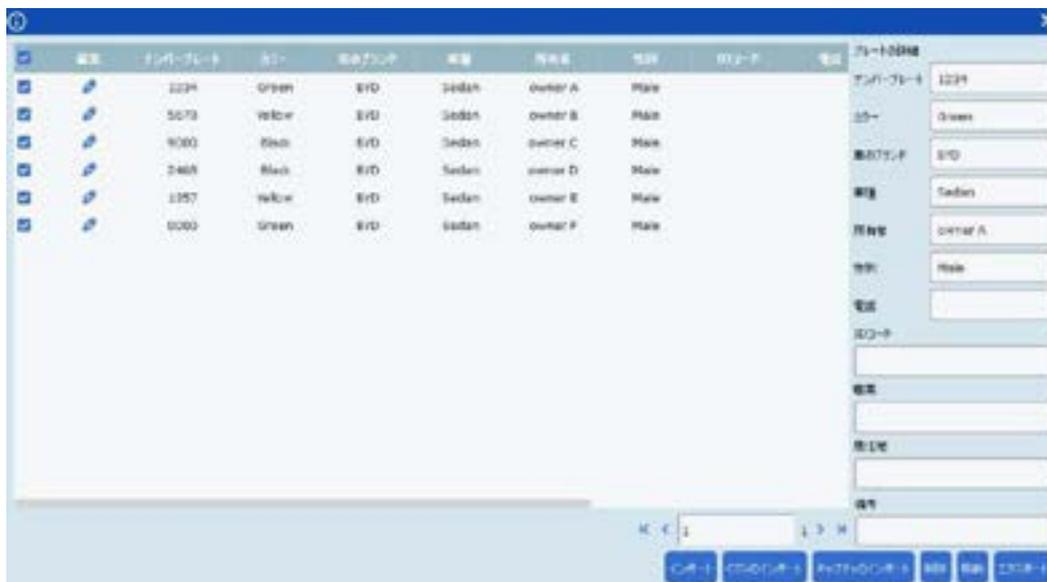
15.1.4.2 ナンバープレートデータのエクスポート

デバイスのナンバープレートデータの CSV エクスポートをサポートしています。

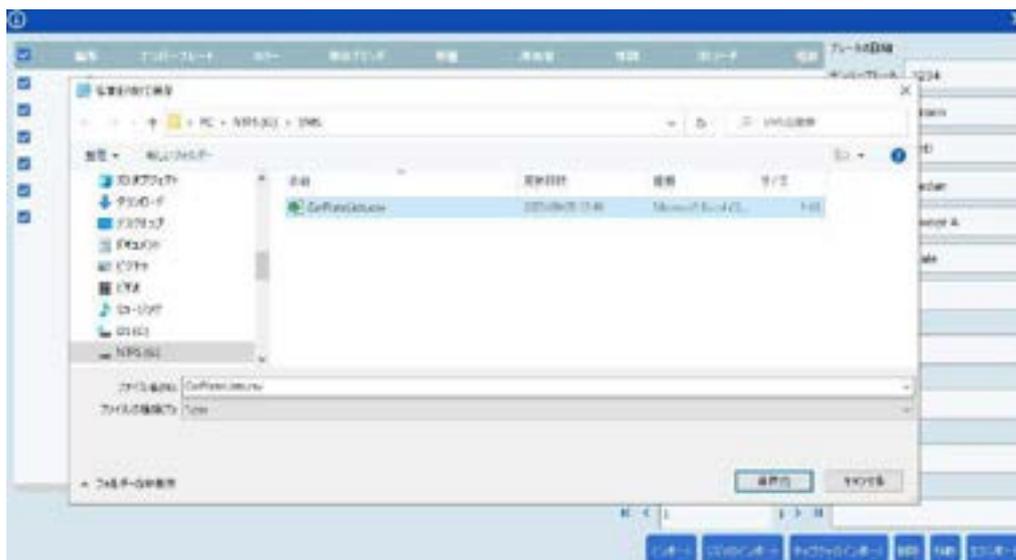


エクスポートしたいナンバープレートデータへチェックを入れて (☑)、ボタンをクリックします。

エクスポート



保存先を選び、ファイル名を入力して“保存”ボタンをクリックします。



15.2 出勤管理



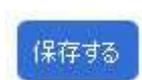
ビジネス/休暇が理由でサインインできなかったユーザーのタイムカードを編集するには“従業員管理”画面で行います。

15.2.1 基本ルール(Basic rules)

勤務時間を設定し、出勤と退勤の有効な時間帯を設定します。



設定したら、



ボタンをクリックして設定を適用させてください。画面右下

に、



が表示されると設定が正常に完了したことを表します。

表 15-2-1-1 「AI 設定 > 出勤管理 > 基本ルール」 パラメータ一覧

		基本ルール
項目		内容
勤務時間設定	出勤時間	出勤時間を設定します。
	出勤打刻有効時間	出勤打刻を有効とする時間帯を設定します。
	退社時間	退社時間を設定します。
	退社打刻有効時間	退社打刻を有効とする時間帯を設定します。
週末設定	週末時間設定	週末の曜日を設定します。 チェックを入れて選択した曜日 (☑の曜日) は休日扱いにできます。
欠勤設定	遅刻として打刻される時間	出勤打刻が何分以上遅れた場合に欠席として記録するかを設定します。 ※この項目を“0”に設定した場合、この項目は適用されません。
	早退として打刻される時間	退勤打刻が何分以上早い場合に欠席として記録するかを設定します。 ※この項目を“0”に設定した場合、この項目は適用されません。
	出勤打刻なしの場合の記録	出勤打刻が無い日の扱いを設定します。 
	退勤打刻無しの場合の記録	退勤打刻が無い日の扱いを設定します。

		<div data-bbox="837 197 1145 362"><p>欠席</p><p>遅刻</p></div>
--	--	--

15.2.2 残業設定

残業レベルを3段階で設定可能です。

保存する

ボタンをクリックして設定を適用させます。画面右下に、



が表示されると設定が正常に完了したことを表します。

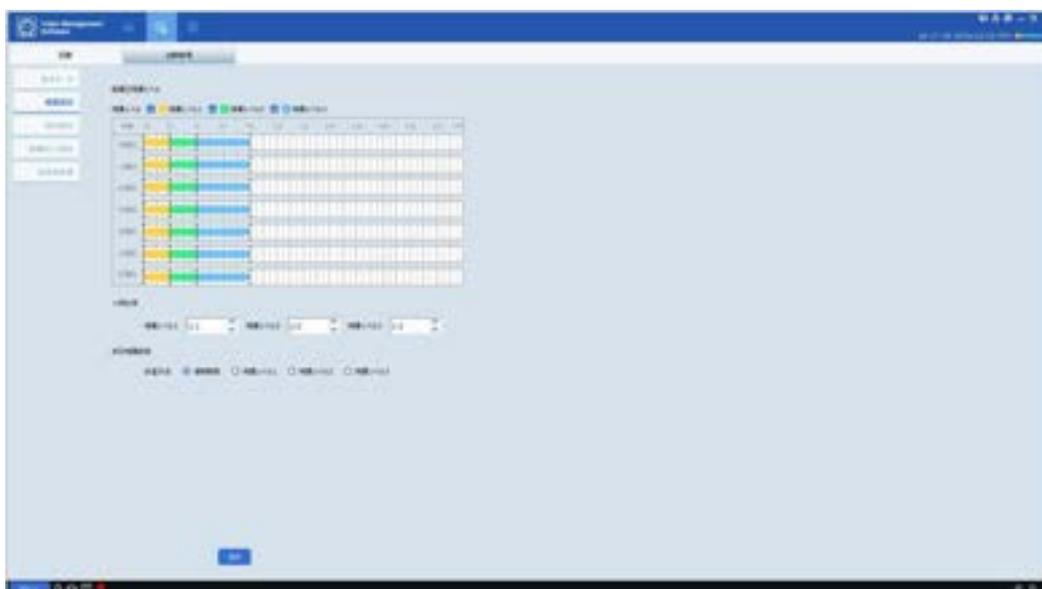
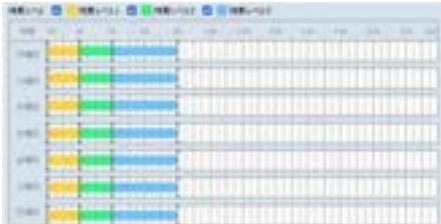


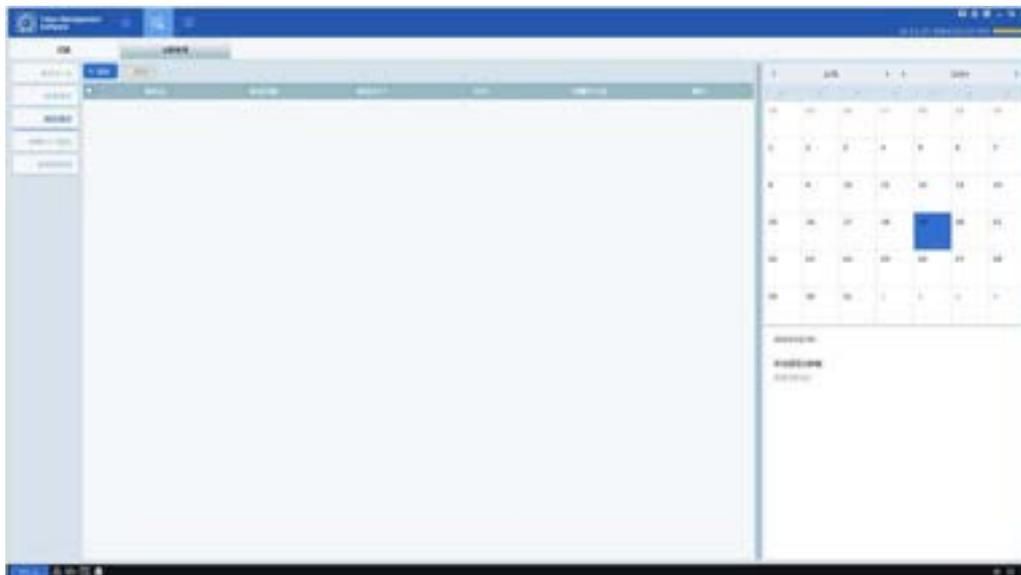
表 15-2-2-1 「AI 設定 > 出勤管理 > 残業設定」 パラメーター一覧

		
項目		内容
人事比率	就業日残業レベル	<p>各残業レベルに対して労働時間比率を設定します。残業時間はここで設定された比率に応じて計算されます。</p>  <p>各残業レベルの有効/無効も設定できます。</p> <p>有効にしたい残業レベルにはチェックを入れます (☑)。</p>
人時比率		<p>残業レベル別に残業時間の乗数を設定します。設定した就業日残業レベルに該当する曜日と時間の残業時間は、ここで設定された残業レベルの計数で乗算されて算出されます。</p>
休日残業設定		<p>終日残業扱いとなる休日出勤の残業時間の乗数を設定します。</p>

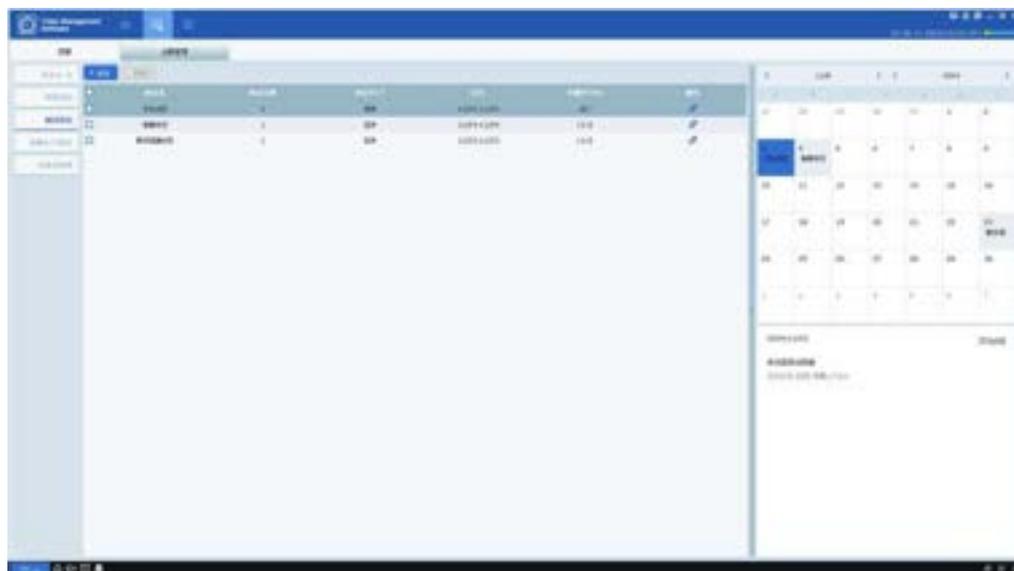
15.2.3 休日設定

休日または代休を設定します。

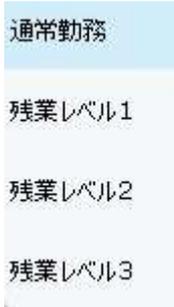
表示年と表示年月は、カレンダー上部の“～月”と“～年”の左右にある  ,  アイコンで変更できます。



以下は休日を設定した場合の表示例です。

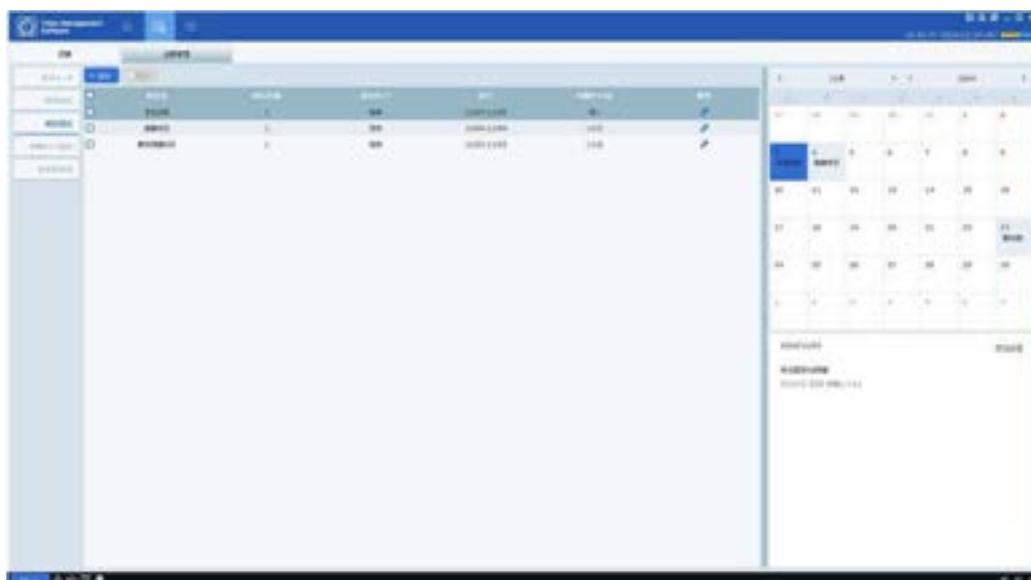
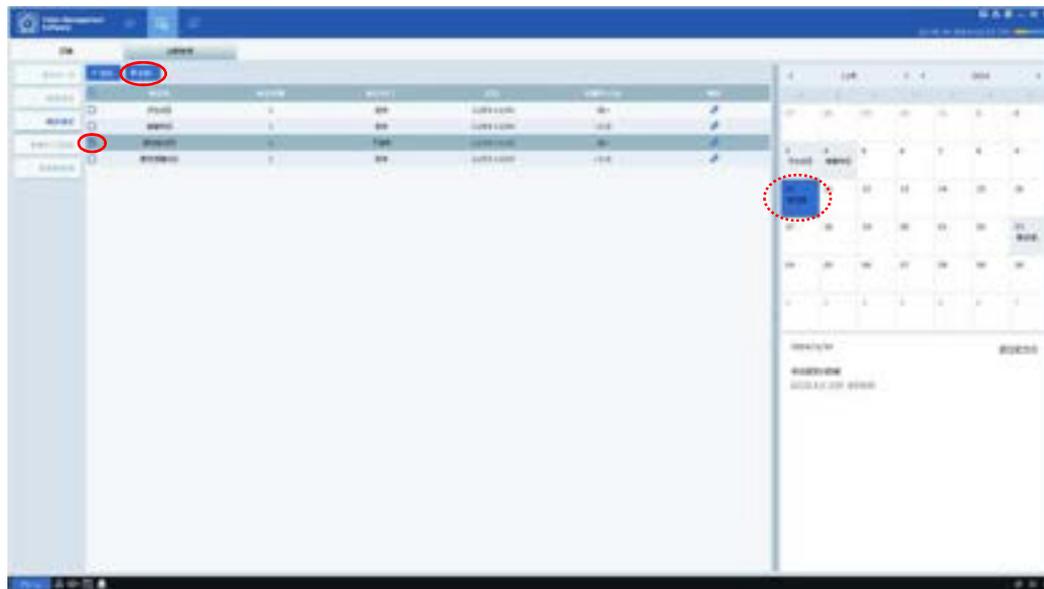


 をクリックして設定します。操作列の  アイコンで編集も可能です。
追加されると画面内のカレンダーへ予定表示されます。

“定休”を設定する場合	
	
タイプ	“定休”を選択します。
休日名	この休日の名前を設定します。未入力では設定できません。
開始日	休日の開始日を設定します。
休日日数	休日の開始日からの休日期間の日数を設定します。
計算	休日の時間外労働時間を算出する際の残業レベルを設定します。 
年間サイクル	毎年繰り返す場合は、チェックを入れます。 <ul style="list-style-type: none"> ● <input type="checkbox"/> : この休日は今年だけです。 ● <input checked="" type="checkbox"/> : 毎年この休日を繰り返します。

“不定休”を設定する場合	
	
タイプ	“不定休”を選択します。
休日名	不定休日に名前を付けます。未入力では設定できません。
開始日	不定休を開始する“年”と“月”を設定します。
同月	第何週目の何曜日を不定休日にするかを設定します。
休日日数	不定休日を何日間にするかを設定します。
計算	<p>不定休日の時間外労働時間を算出する際の残業レベルを設定します。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>通常勤務</p> <p>残業レベル1</p> <p>残業レベル2</p> <p>残業レベル3</p> </div>
年間サイクル	<p>毎年繰り返す場合は、チェックを入れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <input type="checkbox"/> : この休日は今年だけです。 ☑ <input checked="" type="checkbox"/> : 毎年この休日を繰り返します。

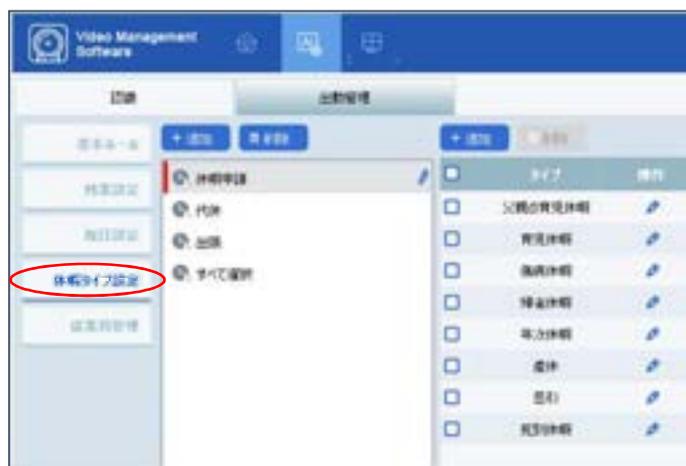
削除したい休日設定がある場合は削除対象を選択(☑)して、[削除]ボタン  で削除できます。



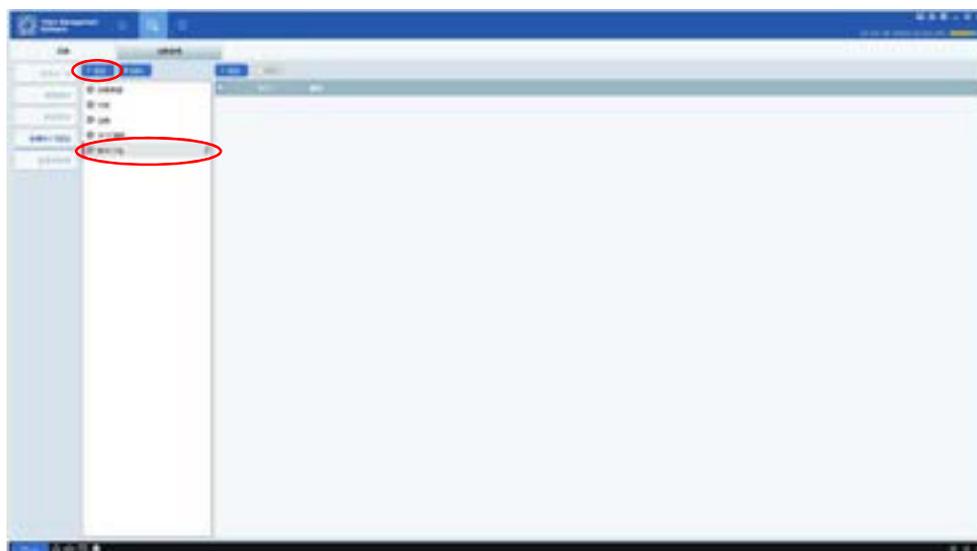
15.2.4 休暇タイプ設定

休日の種類を分類します。カテゴリは左側に一覧表示されています。左側のカテゴリをクリックして選択すると、そのカテゴリ内のサブカテゴリが右側に一覧表示されます。

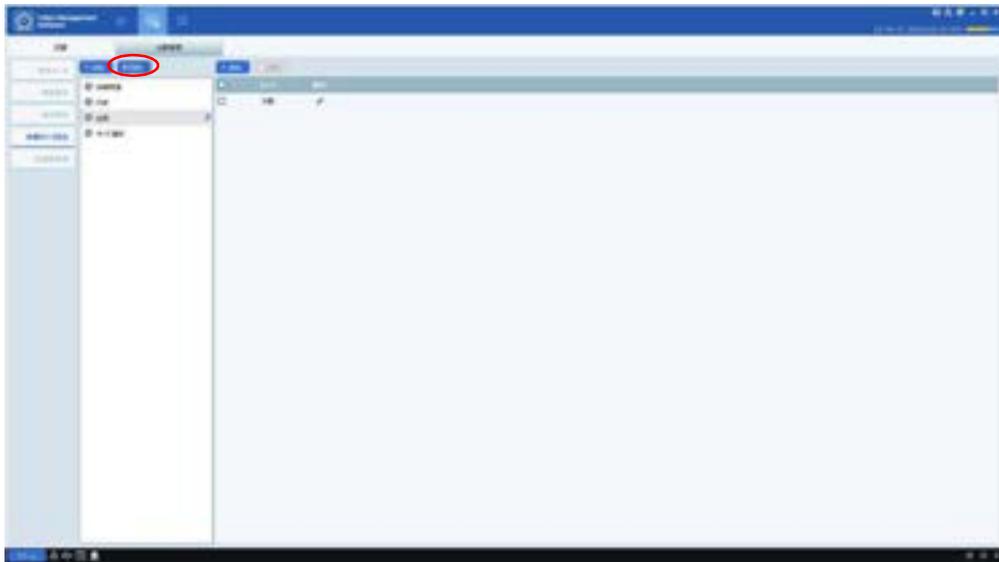
これらはローカルデータベースから読み出され、ローカルデータベースへ保存されます。



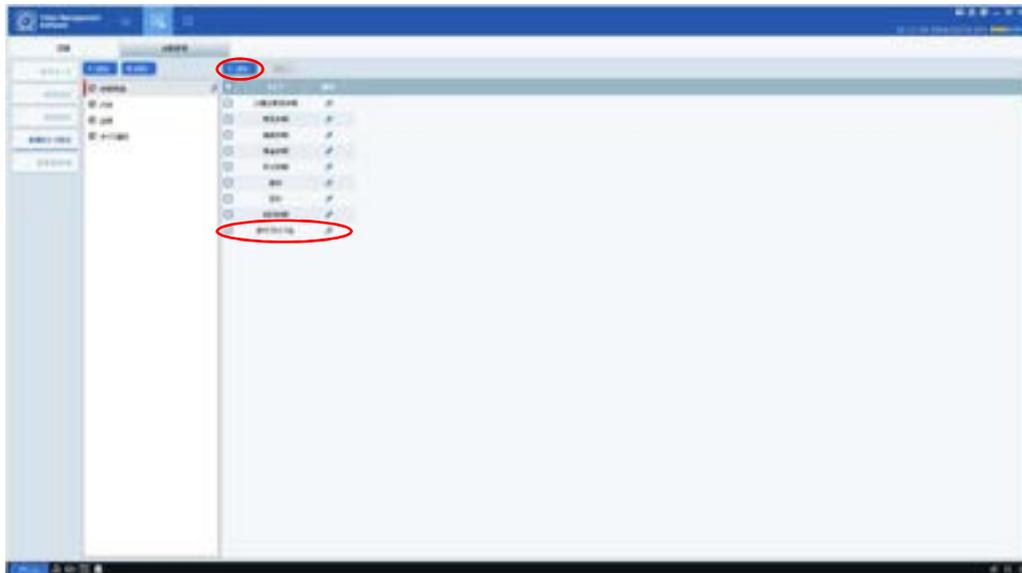
左側にある[追加]ボタン  をクリックすると、カテゴリを追加できます。



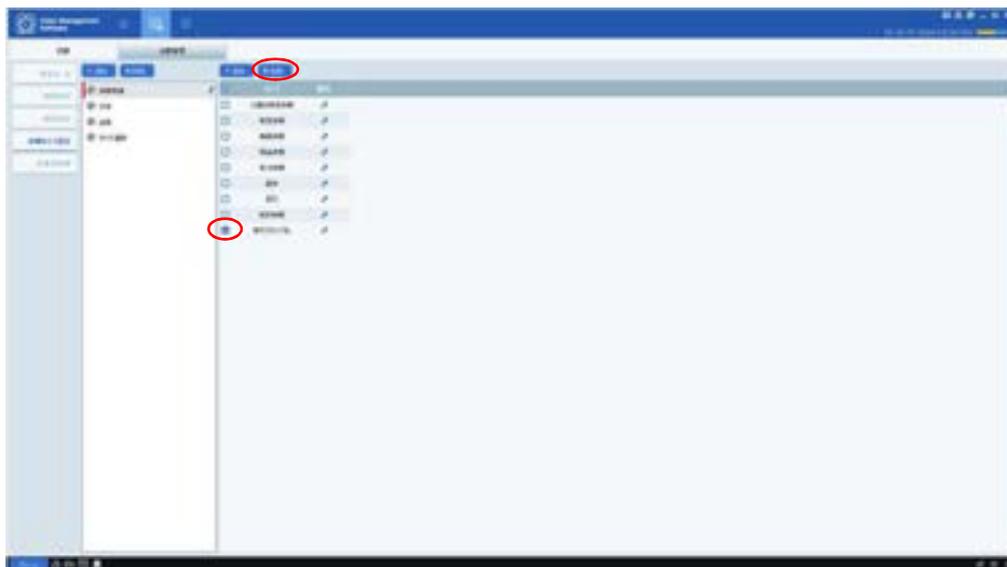
左側にある[削除]ボタン  をクリックすると、 でハイライト表示されているカテゴリが内包するサブカテゴリと共に削除されます。



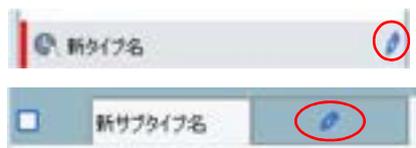
右側にある[追加]ボタン  をクリックすると、 でハイライト表示されているカテゴリ内へサブカテゴリを追加できます。



 でハイライト表示されているカテゴリが内包しているサブカテゴリへチェック  して右側にある[削除]ボタン  をクリックすると、そのチェック  されたサブカテゴリは削除されます。



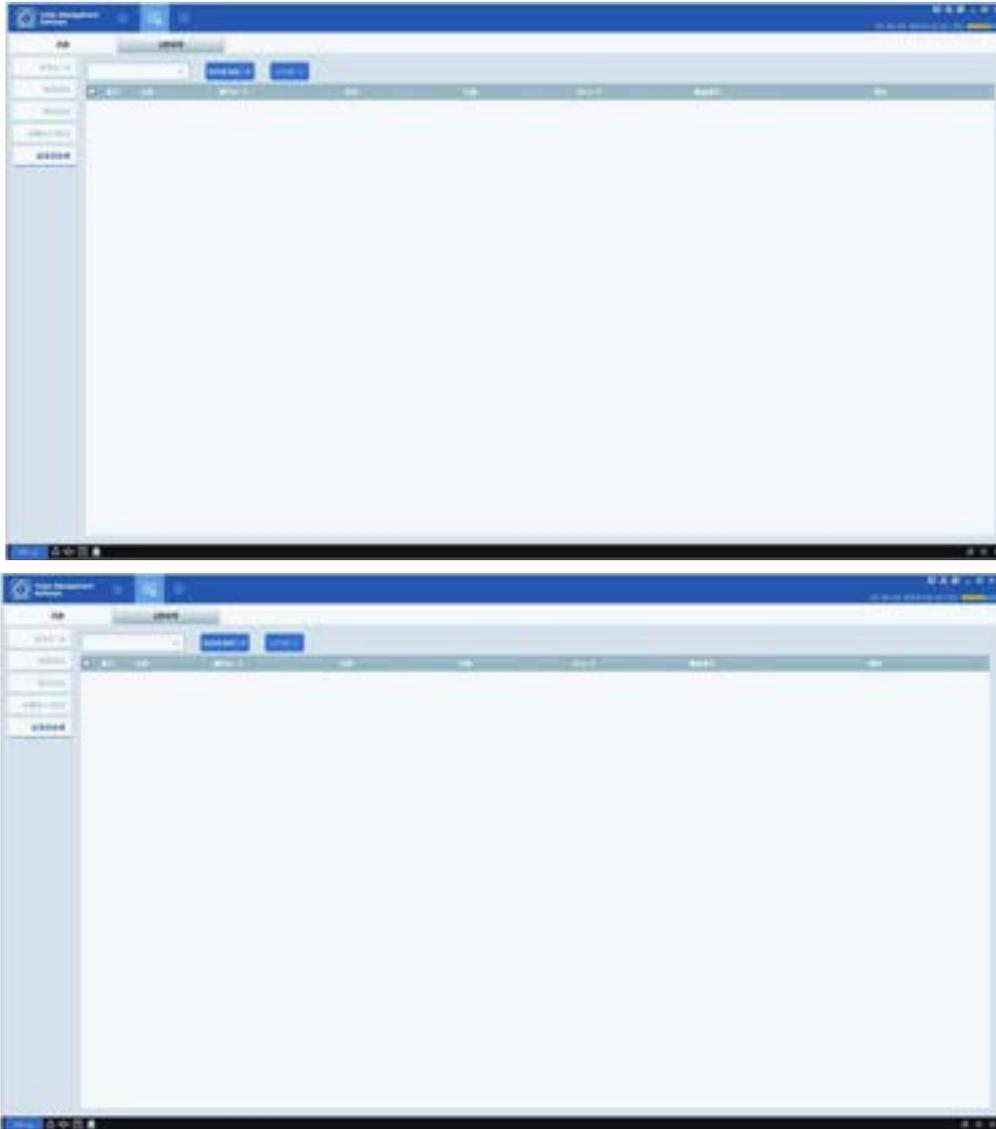
[操作]のアイコン  をクリックすると、カテゴリ名/サブカテゴリ名を編集可能です。



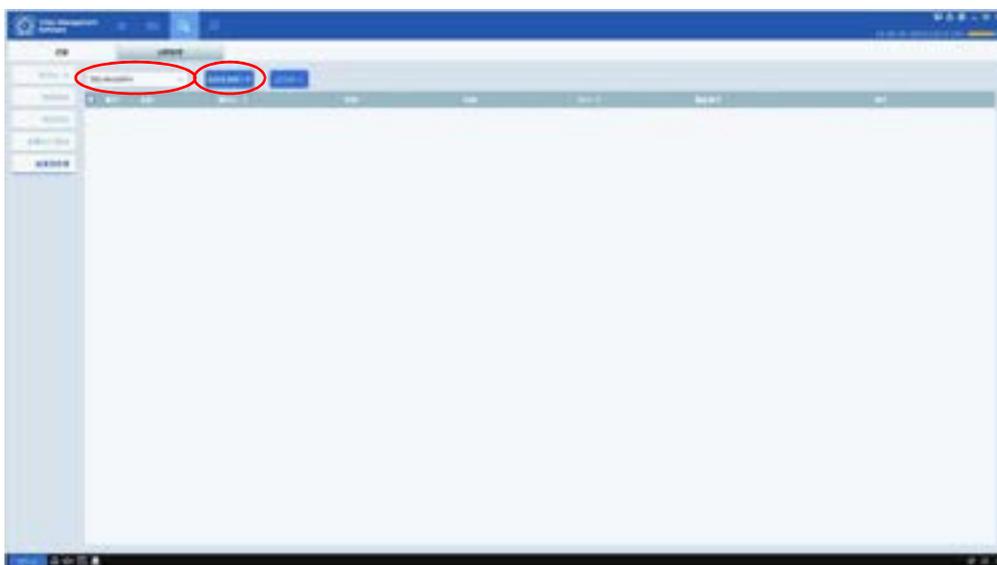
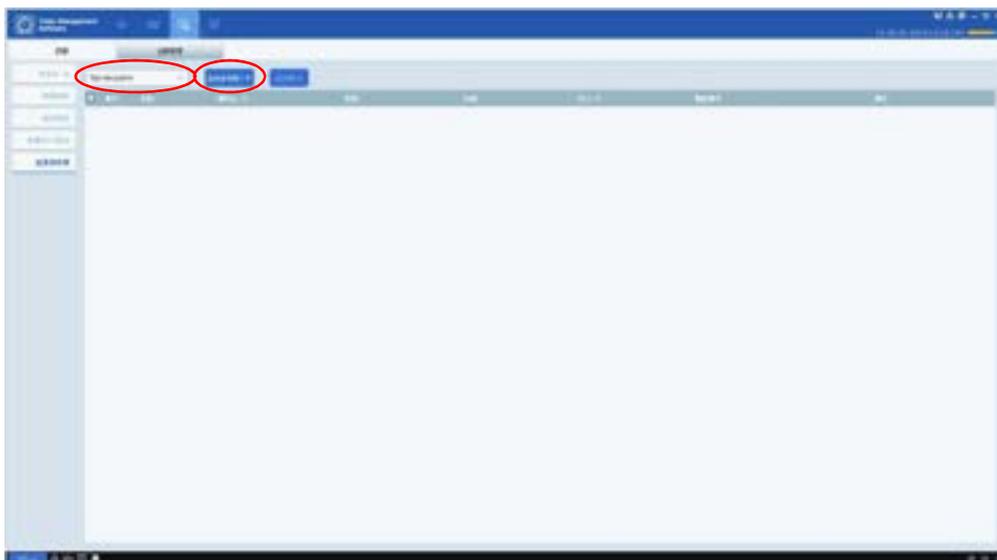
15.2.5 従業員管理

“従業員管理”画面でリモートデバイスに登録されているデータを確認できます。

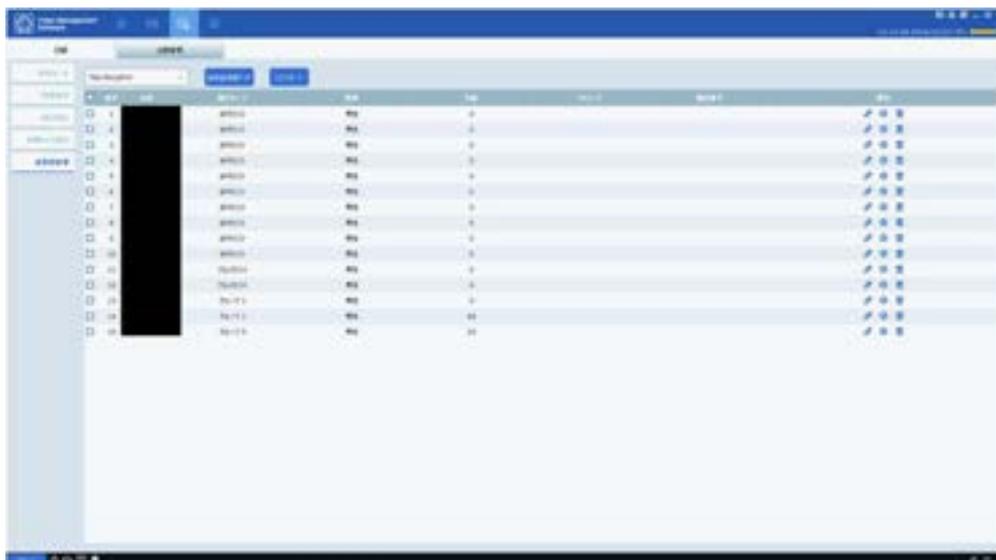
また、“従業員管理”画面では、ビジネスや休暇などの理由でシステムによる出勤/退勤が記録されなかったユーザーのために、タイムカードを手動で追加することが可能です。



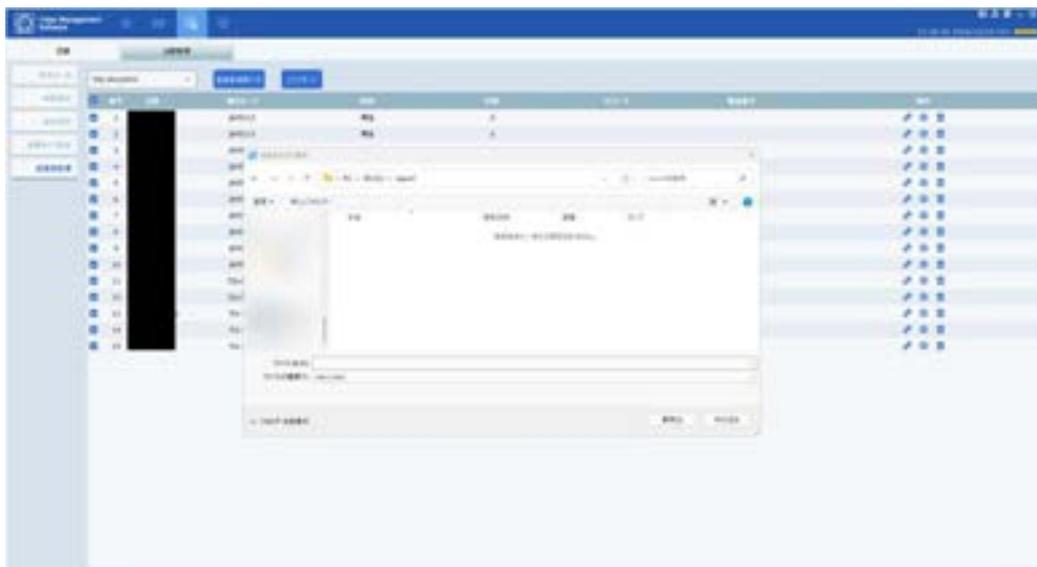
[ステップ 1] プルダウンから対象のデバイスを選択します。



[ステップ2] “登録者情報入手” ボタン  をクリックして、デバイスの顔情報を当ソフトウェア“VMS Pro”に読み込ませます。



[ステップ3] エクスポートしたいデータを選択 (☑) して **エクスポート** ボタンをクリックすると、表示されている表をエクセルファイルとして保存できます。



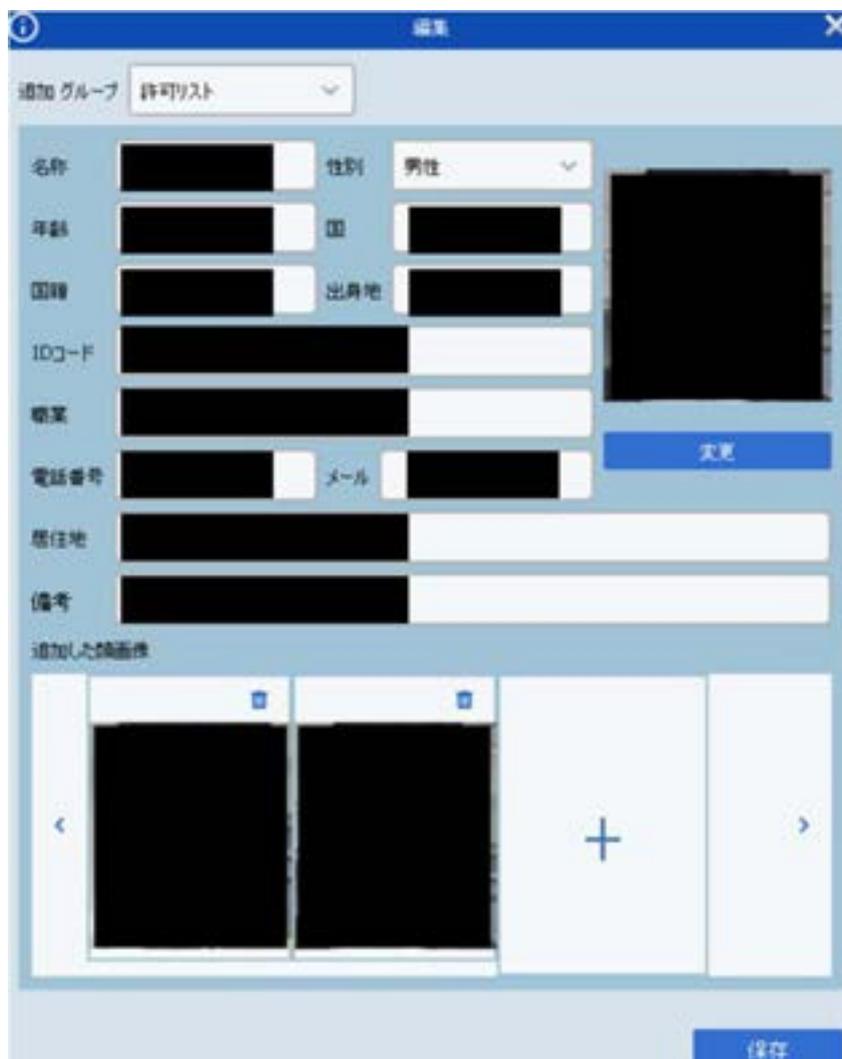
(エクスポートファイル内容例)

番号	名称	フェイスグループID	性別	年齢	IDコード	電話番号
1						
2			2 男性	0		
3			2 男性	0		
4			2 男性	0		
5			2 男性	0		
6			2 男性	0		
7			2 男性	0		
8			2 男性	0		
9			2 男性	0		
10			2 男性	0		
11			2 男性	0		
12			3 男性	0		
13			3 男性	0		
14			5 男性	0		
15			5 男性	60		
16			8 男性	24		

[ステップ4] “操作”列の[削除]アイコン  でその行の顔情報を削除できます。

ID	名称	フェイスグループID	性別	年齢	IDコード	電話番号	操作
1							
2			2 男性	0			
3			2 男性	0			
4			2 男性	0			
5			2 男性	0			
6			2 男性	0			
7			2 男性	0			
8			2 男性	0			
9			2 男性	0			
10			2 男性	0			
11			2 男性	0			
12			3 男性	0			
13			3 男性	0			
14			5 男性	0			
15			5 男性	60			
16			8 男性	24			

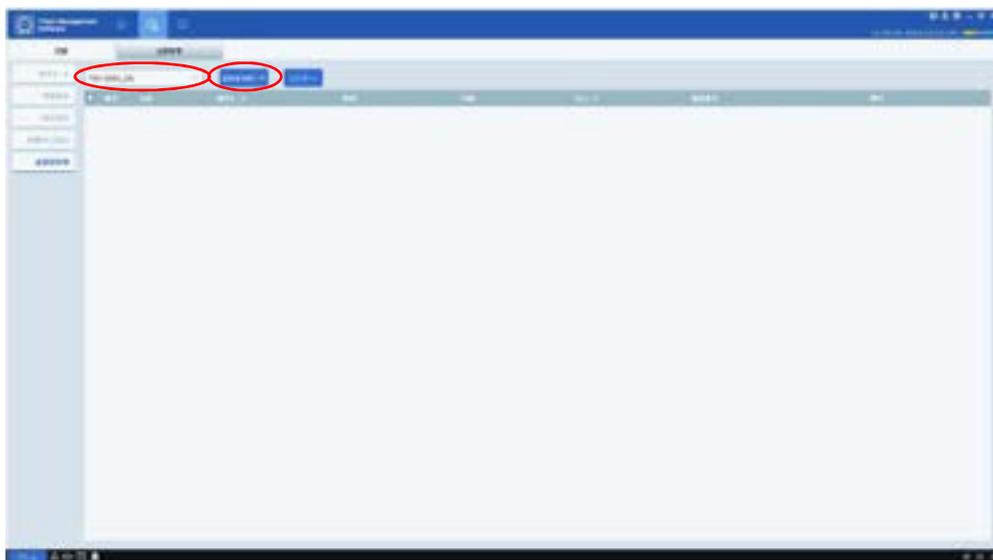
[ステップ5] “操作”列の[編集]アイコンをクリックしますと、編集画面で顔情報を編集できます。



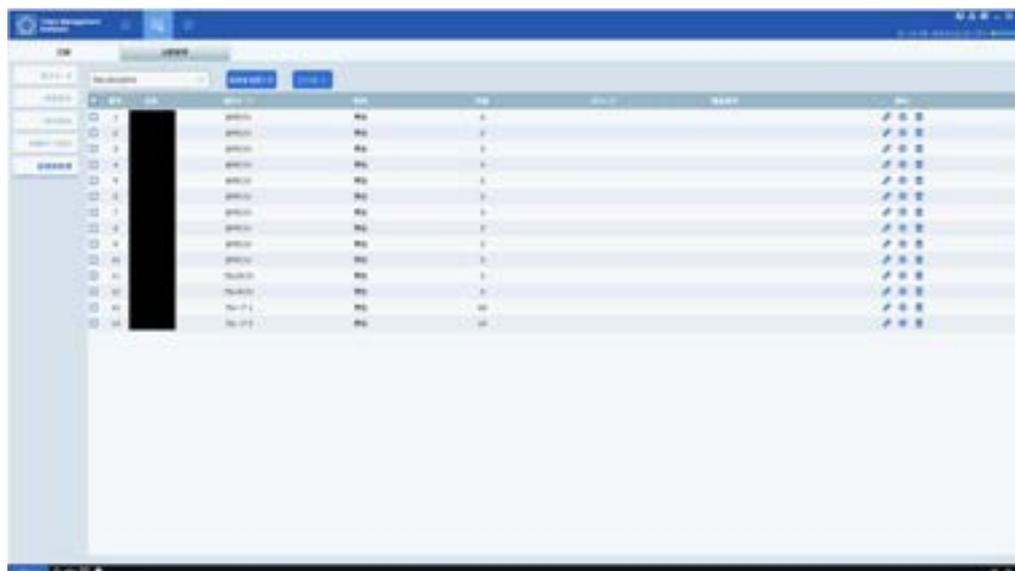
15.2.6 タイムカードの手動追加

“従業員管理”画面で、ビジネス/休暇のためにサインインできなかったユーザーのためにタイムカードを手動追加できます。また、“従業員管理”画面では、ビジネスや休暇などの理由でシステムによる出勤/退勤が記録されなかったユーザーのために、タイムカードを手動で追加することが可能です。

[ステップ1] プルダウンから対象のデバイスを選択します。



[ステップ2]  ボタンをクリックして、デバイスの顔情報を当ソフトウェア“VMS Pro”に読込ませます。

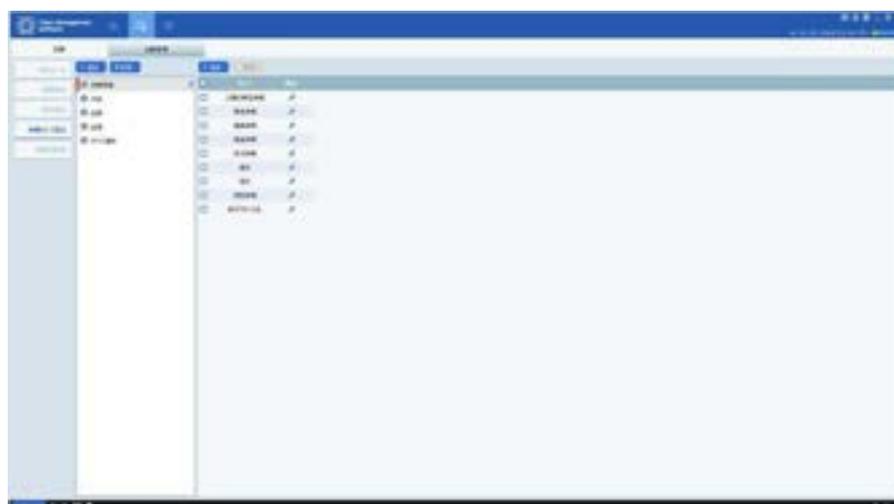


[ステップ3] 対象のユーザーの行の“操作”列の  アイコンをクリックします。

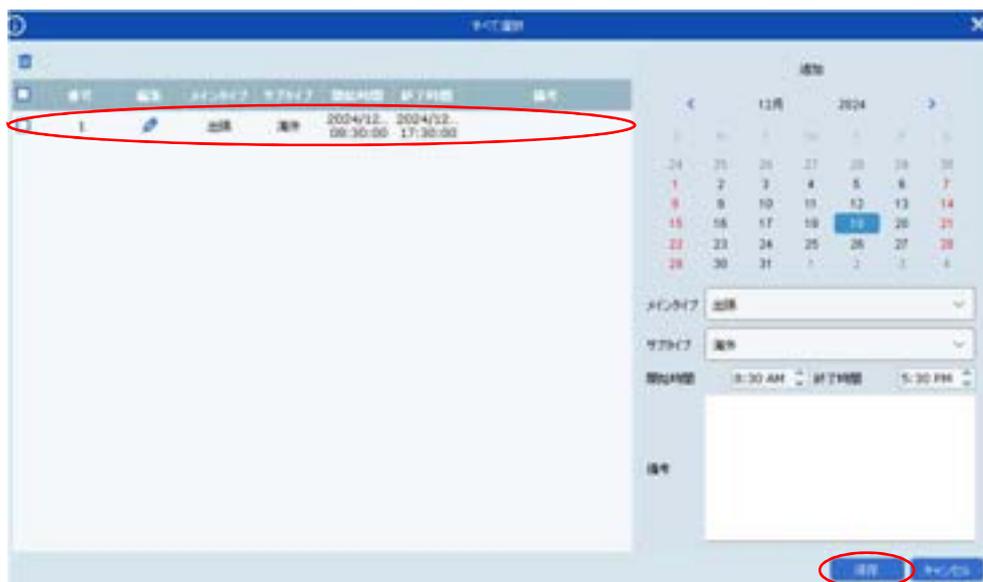
[ステップ4] この画面でタイムカードを手動追加します。タイムカードのパラメータを手入力します。



[ステップ5] “メインタイプ” / “サブタイプ” に設定する項目の追加及び編集は、「休暇タイプ設定」([休暇タイプ設定](#))で行います。詳しくは、[「15.2.4 休暇タイプ設定」](#)をご覧ください。



[ステップ6] [保存]ボタン  でタイムカードが手動追加されます。



[ステップ7] 削除したい手動追加したタイムカードはチェックを入れて (☑)、[削除]アイコン  をクリックして削除できます。

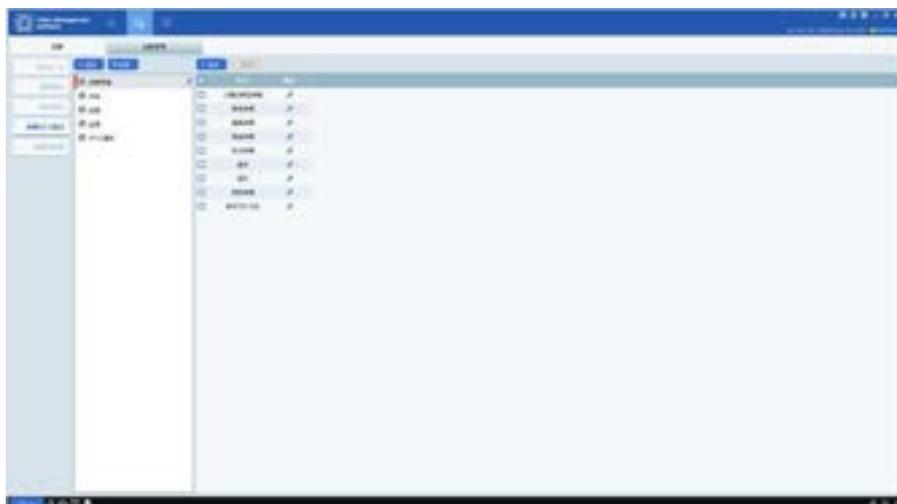


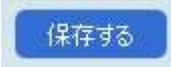


[ステップ 8] で手動追加したタイムカードを編集できます（画面が切り替わります）。



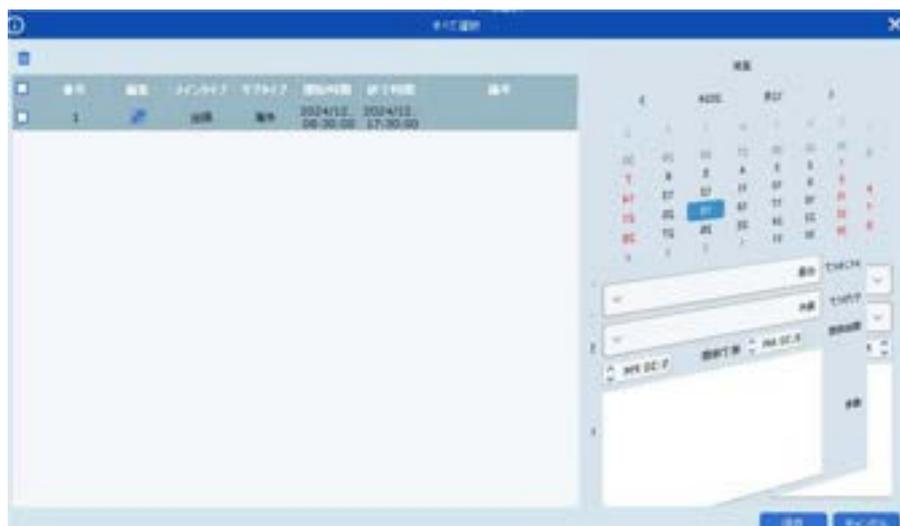
[ステップ 9] “メインタイプ” / “サブタイプ” に設定する項目の編集は、「休暇タイプ設定」 ([休暇タイプ設定](#)) で行います。詳しくは、[「15.2.4 休暇タイプ設定」](#) をご覧ください。



[ステップ 10] 編集したら、 ボタンで編集を確定します。

[ステップ 11]  アイコンをクリックすると、タイムカード手動追加画面に戻ります (画面が切り替わります)。





[ステップ 12]  ボタンでタイムカード手動追加画面を閉じます。

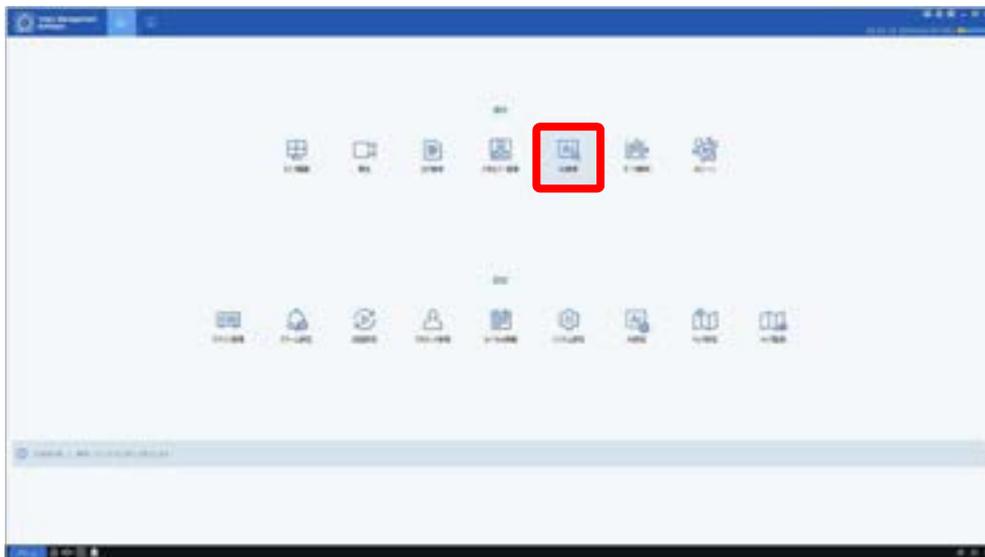


15.3 AI アラーム設定

[「第 12 章 アラーム設定」](#)をご覧ください。

第16章 AI 検索

AI 検索には、顔検出、人間のモデル検索、リピーター検索が含まれます。顔検出機能は、設定領域の歩行者の検出と鮮明な顔画像のキャプチャ、顔画像をキャプチャする顔の特徴の認識、および人間のタイプとモデルの認識をサポートします。

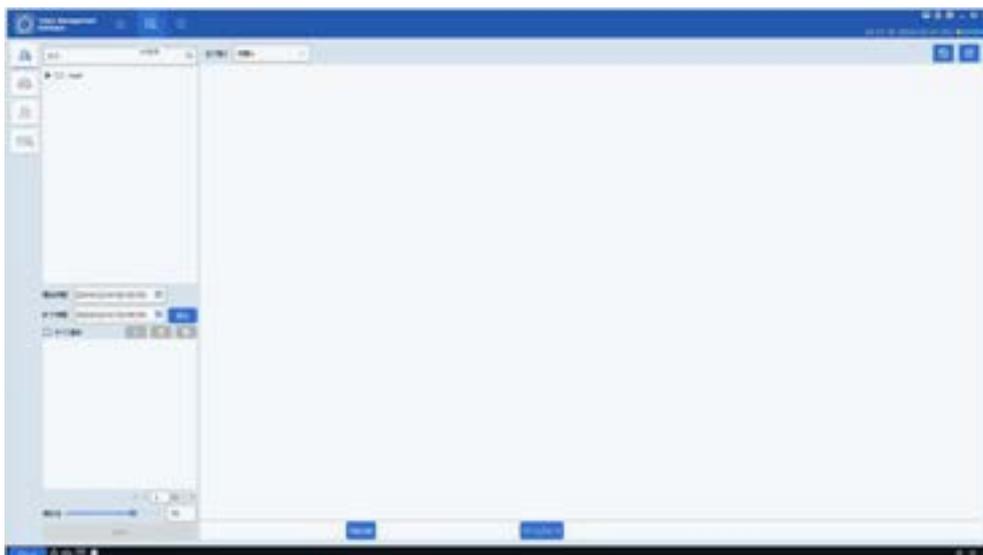


16.1 AI 顔認識検索

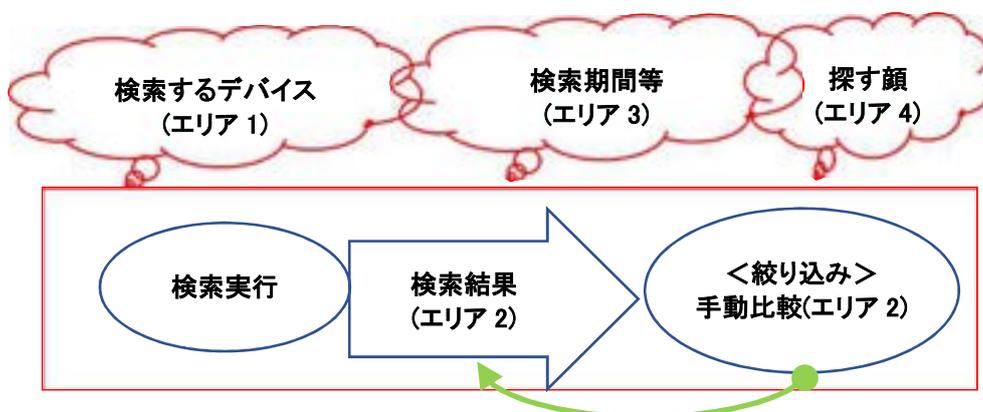
AI 顔認識をサポートするデバイスの場合に利用可能です。



[ステップ1] メインメニューで「AI 検索」をクリックしますと、AI 検索画面が表示されます。



※ 画面が違う場合は、画面左上の（顔）アイコンをクリック致しますと“AI 顔認識検索”画面へ変移致します。



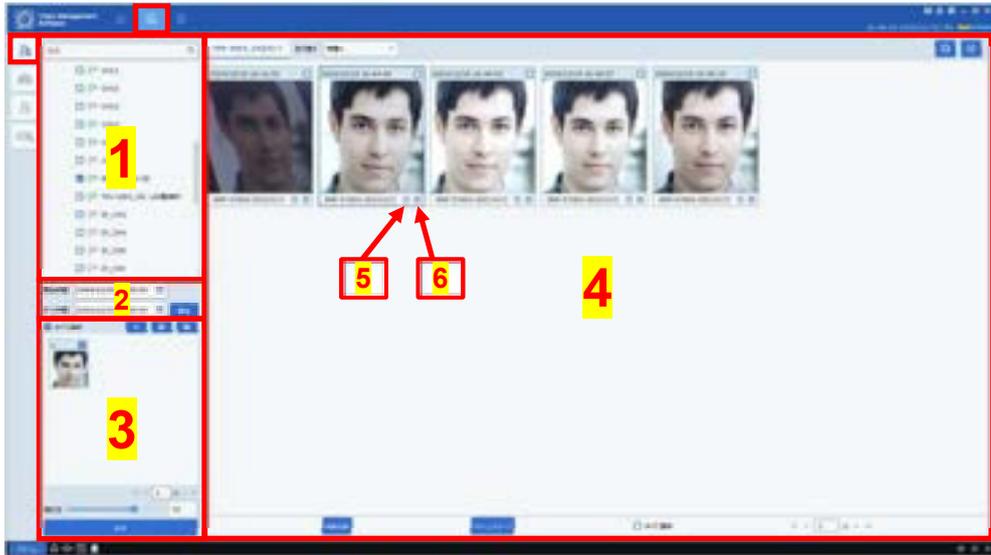
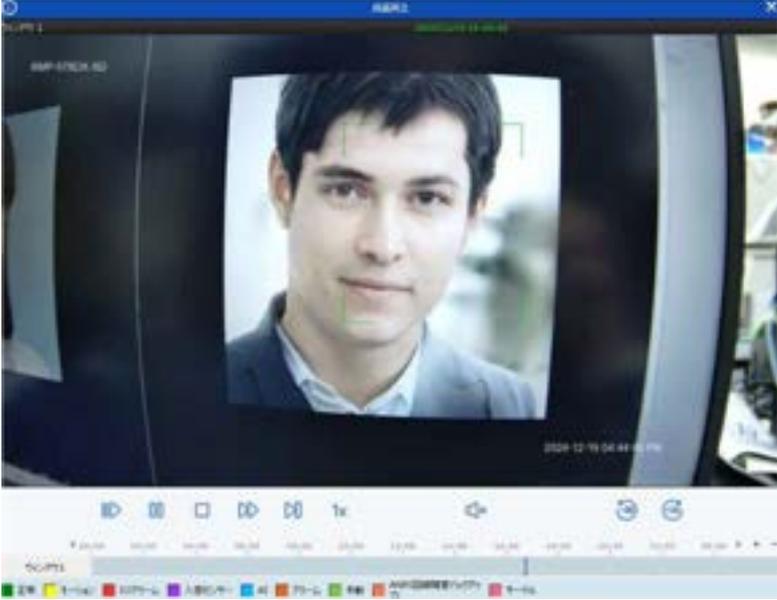


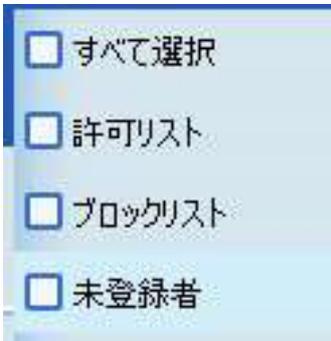
図 16-1-1 AI 検索画面

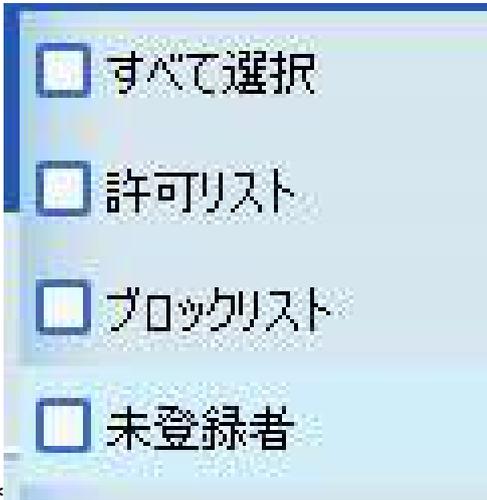
 AI 検索画面・顔	
エリア	内容
1	検索対象のデバイスを選択
2	検索対象の期間を選択（開始時間～終了時間）
3	探したい人を設定します
4	検索結果が表示されます
5	検索結果サムネイル下にある[詳細情報]アイコン  をクリックすると、スナップの詳細を表示します。

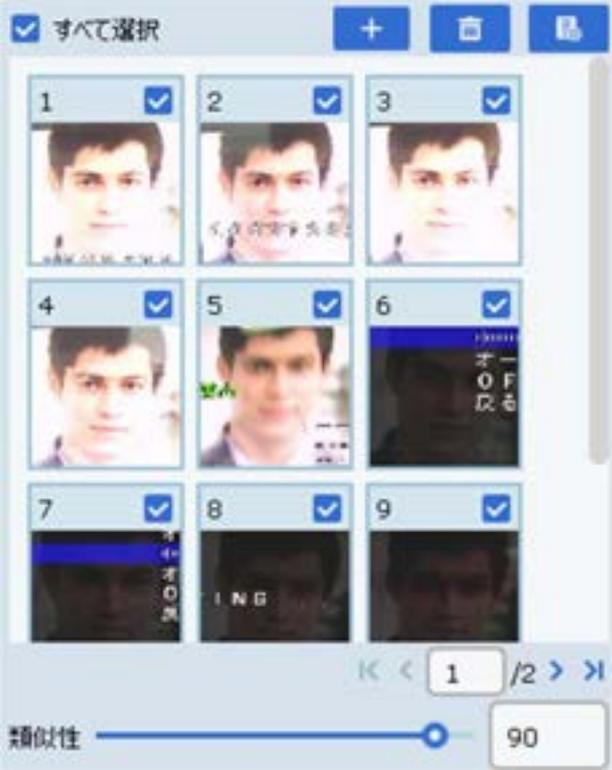
	
<p style="text-align: center;">6</p>	<p>検索結果サムネイル下にある[再生]アイコン  をクリックすると、スナップの際のビデオを表示します。</p> 

1のエリアで検索対象のデバイスを選択して**3**のエリアと**4**のエリアで検索条件を設定して検索します。**2**のエリアに検索結果が表示されます。**6**のエリアで個々の顔データをプレビューし、**5**のエリアでトリガ時の映像をプレビューします。詳しくは、「[表 16-1 AI 顔検索機能概要](#)」をご覧ください。

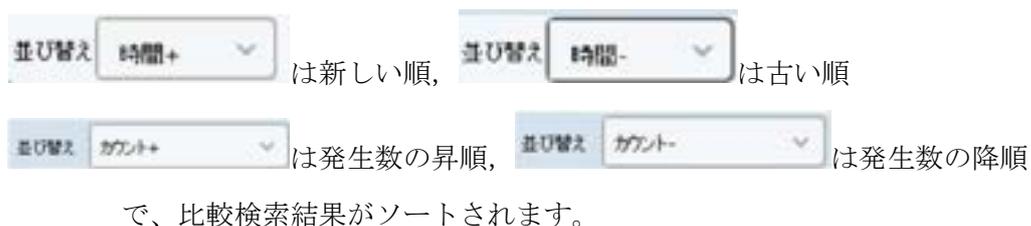
表 16-1 AI 顔検索機能概要

No.	項目名	内容
1	デバイスツリー	対象のデバイスとチャンネルを選択します。
—	—	—
—	—	—
—	—	—
4	アラームグループ	<p>アラームグループで検索結果をグループ (DB) で絞り込み可能です。</p>  <p>すべて選択 許可リスト ブロックリスト 未登録者</p>
2	<p>開始時間 終了時間 属性</p> <p>検索期間設定 検索属性設定</p>	<p>検索対象の期間, グループ (DB)、属性を入力し検索クエリを作成します。属性へは、性別、年齢、マスク、眼鏡、表情がごさいます。</p> <p>検索期間を指定します。</p> <p>アイコンをクリックしますと、カレンダーを使用した入力が可能です。</p> 

		 <p>: クリックして対象のデバイスとグループ (DB) を指定します。</p>  <p>*</p>
		 <p>: 属性を検索クエリへ含める場合はこのボタンをクリックします。</p>  <p>検索結果が期待通りではない場合には、属性を検索クエリへ含めずに再度検索をお試しください。</p>
<p>4</p>	 <p>類似性</p> <p>検索対象の設定 (比較元画像の設定)</p>	 <p>アイコンをクリックすると、検索条件のローカル画像を追加したり、デバイスの画像を追加することが可能です。画像選定後は [類似性] を設定し、[検索] をクリックすると比較検索への使用が可能です。</p>

		
<p>5</p>	<p>詳細情報（顔情報）</p>	<p>図 16-1-1 の 2 の領域で選択した画像に関するデータベース内の顔情報が存在する場合は表示されます。</p>
<p>6</p>	<p>再生（ビデオ再生）</p>	<p>図 16-1-1 の 2 の領域で選択した画像の映像がプレビュー可能です。</p>

[ステップ 2] デバイスチャンネルと顔グループを選択し、検索期間を設定したら、[検索] をクリックすると、図 16-1-1（2 の箇所）に示しますように比較検索結果が表示されます。



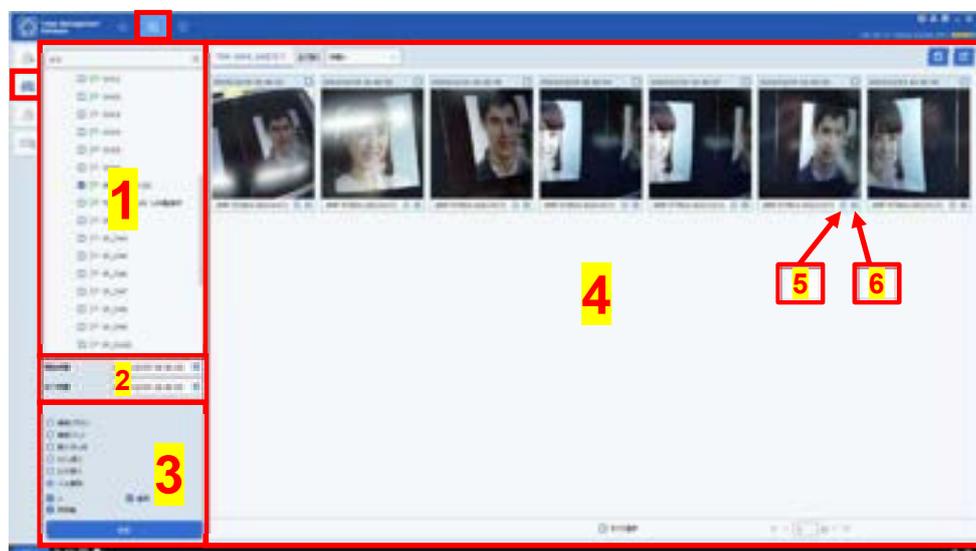
[ステップ 3] 録画を表示したい画像をクリックし、画面右下の録画再生エリアでその画像の録画をプレビュー可能です。

倍速再生, スナップショット, ローカルへの録画, デジタルズーム等さらに詳しい操作を行う場合は、右下の  アイコンをクリックします。

再生操作の説明につきましては、[「6.1 リモート再生（画面説明）」](#)の「[表 6-1 再生画面の項目説明](#)」を参照してください。

16.2 人&車両検索

AI 顔認識をサポートするデバイスの場合に利用可能です。



1のエリアで検索対象のデバイスを選択して3のエリアと4のエリアで検索条件を設定して検索します。2のエリアに検索結果が表示されます。

 AI 検索画面・人&車両	
エリア	内容
1	検索対象のデバイスを選択
2	検索対象の期間を選択（開始時間～終了時間）
3	イベントタイプを選択
4	検索結果が表示されます
5	検索結果サムネイル下にある[詳細情報]アイコン  をクリックすると、スナップの詳細を表示します。

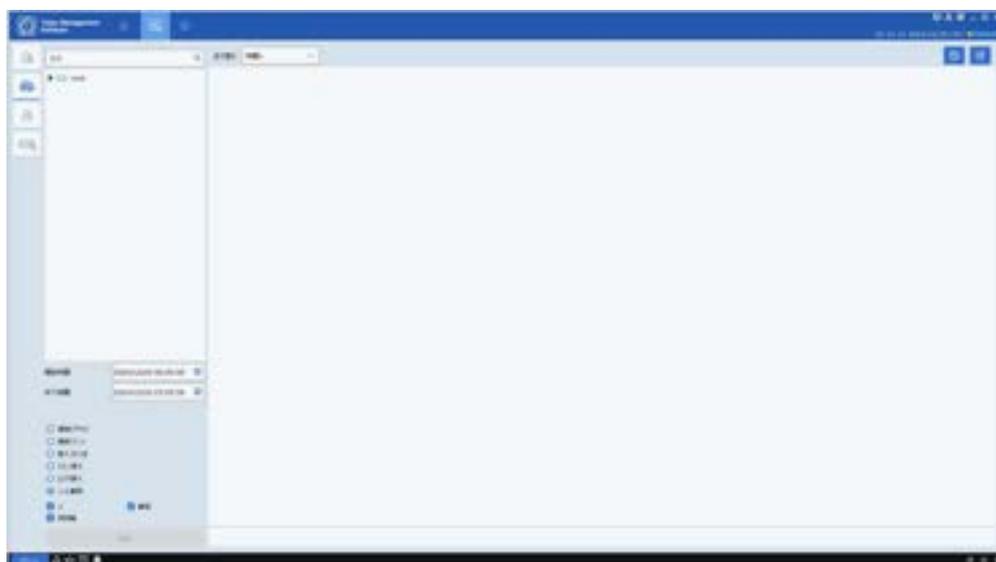
	
<p style="text-align: center;">6</p>	<p>検索結果サムネイル下にある[再生]アイコン  をクリックすると、スナップの際のビデオを表示します。</p> 



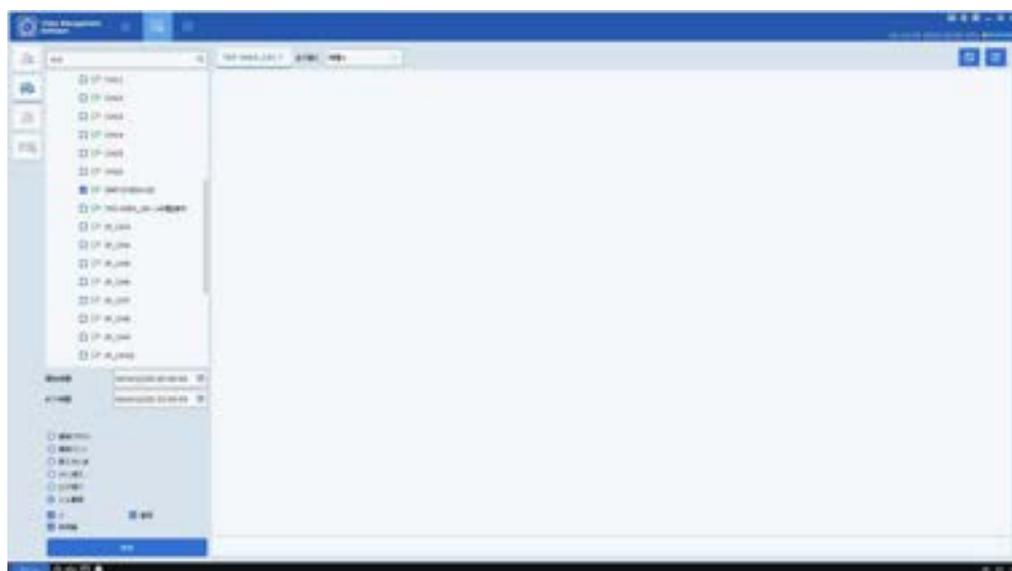
[ステップ 1] メインメニューで「AI 検索」をクリックし、画面左上の



(人&車両) アイコンをクリックします。



[ステップ 2] デバイスチャンネルを選択し、検索期間を設定します。

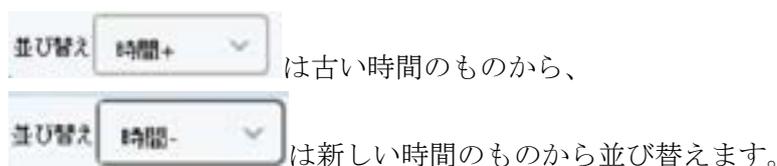


[ステップ3] 検索対象の検知種別を指定します。指定が可能です。



[ステップ4] 検索対象とするものを選択します。“領域（アウト）” / “領域（イン）” / “侵入うろつき” / “ライン侵入” / “エリア侵入” / “人&車両” / “人” / “2車” / “非四輪” から選択でき、さらに人/車両/非四輪を指定できます。

[ステップ 5] [検索] をクリックして検索を実施します。



比較検索結果の画像を保存するには、対象の画像を として、 をクリックします。後は画面の指示に従い画像の保存を行ってください。

 アイコンをクリックして保存先を指定します。



[ステップ 6] 検索結果の画像を選択しますと、画面中央下部の“スナップされた情報”へその画像の詳細が表示されます。

- デバイス名 その画像がトリガされたデバイス
- チャンネル その画像がトリガされたチャンネル
- 時間 その画像がトリガされた日時
- ID 検索結果順に番号が振られます (3 の場合は 3 番目の検索結果を表します)。
- タイプ “人” / “車両” / “Non-motorized Vehicle” の内、該当するタイプが表示されます。

[ステップ 7] 録画の表示を所望する画像をクリックしますと、画面右下の録画再生エリアでその画像の録画をプレビュー可能です。倍速再生、スナップショット、ローカルへの録画、デジタルズーム等さらに詳しい操作

を行う場合は、右下の  アイコンをクリックします。再生操作のご説明につきましては、[『「6.1 リモート再生 \(画面説明\)」の「表 6-1 再生画面の項目説明」』](#)を参照してください。

16.3 リピーター検索

AI 顔認識をサポートするデバイスの場合に利用可能です。

[ステップ 1] メインメニューで「AI 検索」 をクリックし、 (リピーター) アイコンをクリックします。

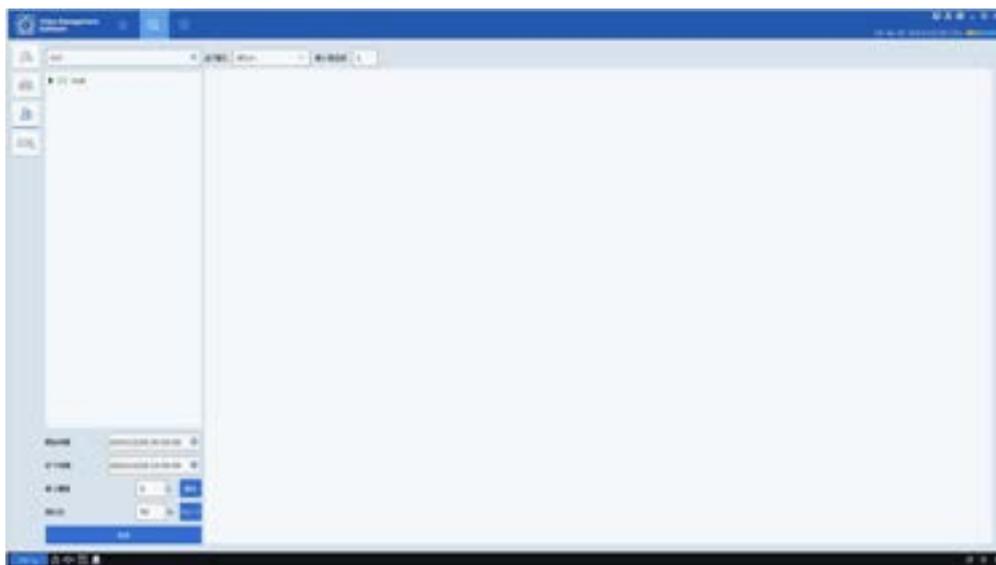
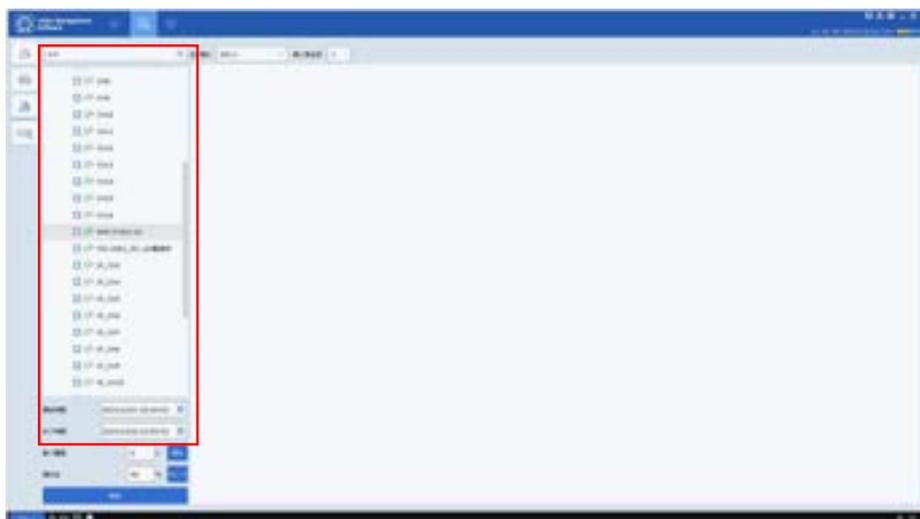


図 16-3-1 リピーター検索

[ステップ 2] デバイスチャンネルを選択し、検索期間を設定します。



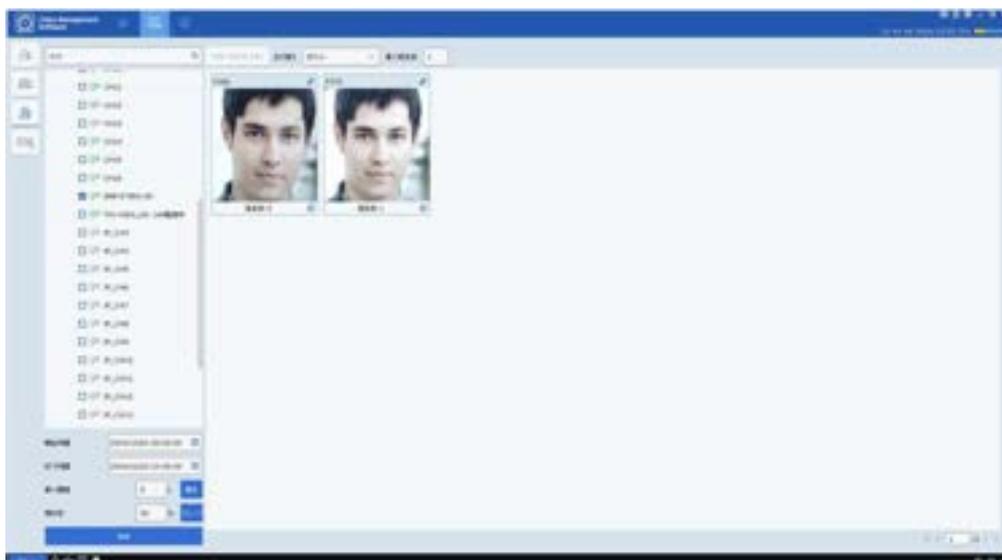
[ステップ 3] 最小間隔（対象とする最小の出現時間）、属性を設定します。



[ステップ 4] **グループ** をクリックして検索対象のグループ(DB)を選択し、類似性を設定します。選択しない場合は全ての人が対象となります。



[ステップ 5] [検索] をクリックして検索を行います。



[ステップ 6] 検索結果の各画像の下に表示されている“発生数”は、その人物が検索条件内で登場した回数を示します。

また、

は古い時間のものから、

は新しい時間のものから並び替えます。

は発生数（リピーター回数）の昇順、

で発生数（リピーター回数）の降順

で、検索結果を並び替えることが可能です。

[ステップ 7] 検索結果は画面中央付近上部の“最小発生回数”で絞り込みが可能です。

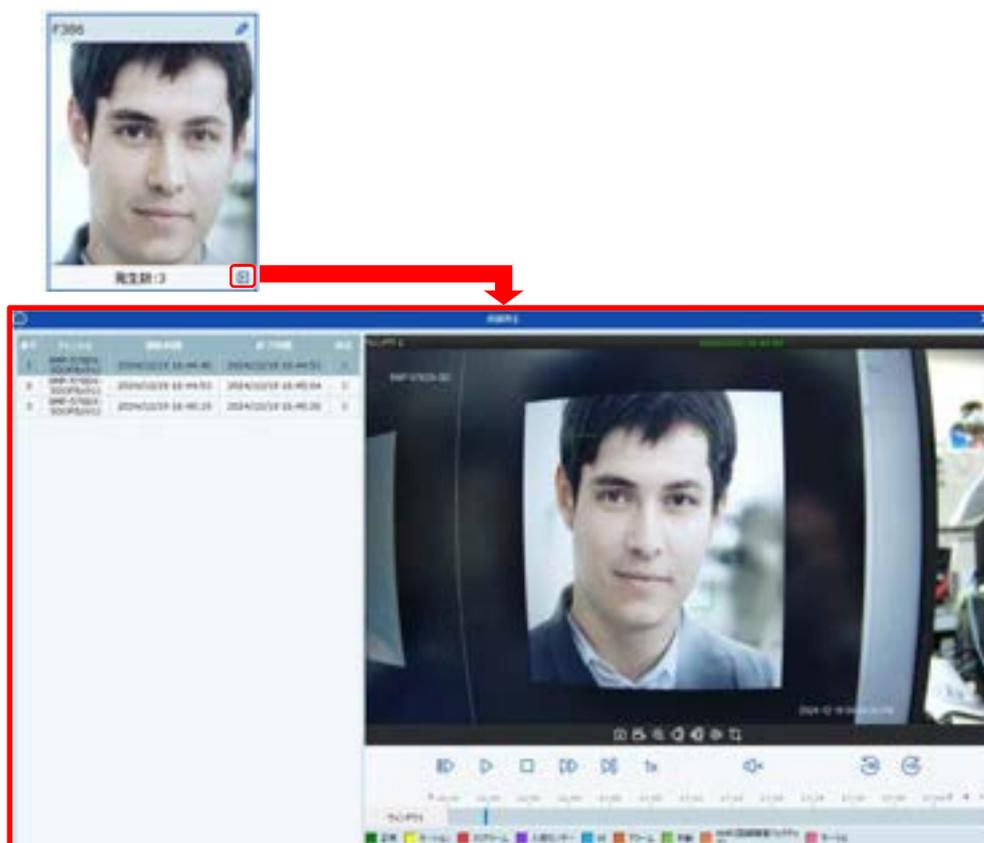
[ステップ 8] 検索結果について、DB へ登録済の場合はサムネイル左上へ一致する名

前が表示されます。また、検索結果の各サムネイルの右上の  アイコンをクリック致しますと、そのサムネイルの詳細な情報の確認が可能です。この時、“スナップ情報”へトリガ時の情報が表示されます。DB と一致する場合は“一致情報”が併せて表示されます。“一致情報”は編集が可能です。検索結果について、DB へ登録の無い場合は検索結果の各サムネイルの左上へ“未登録者”と表示されます。

この時、“スナップ情報”へトリガ時の情報が表示されます。



[ステップ9] リストの再生アイコン  をクリックしますと、ビデオ再生画面が表示されて、併せてリピート毎に撮影された日時がリストに表示されます。リスト右側のエリアで簡易再生されます。倍速再生、スナップショット、ローカルへの録画、デジタルズーム等さらに詳しい再生操作を行うことも可能です。再生操作の説明につきましては、『[「6.1 リモート再生 \(画面説明\)」の「表 6-1 再生画面の項目説明」](#)』を参照してください。



[ステップ10] サムネイルをダブルクリックして、そのサムネイルの画像やビデオをダウンロードすることが可能です。



[ステップ 11] 画像をダウンロードするには、対象のサムネイルを☑にして、 をクリックします。後は画面の指示に従い画像の保存を行ってください。 アイコンをクリックして保存先を指定します。



[ステップ 12] ビデオをダウンロードするには、対象のサムネイルを☑にして、 アイコンでチェックした検索結果の映像をバックアップ可能です。

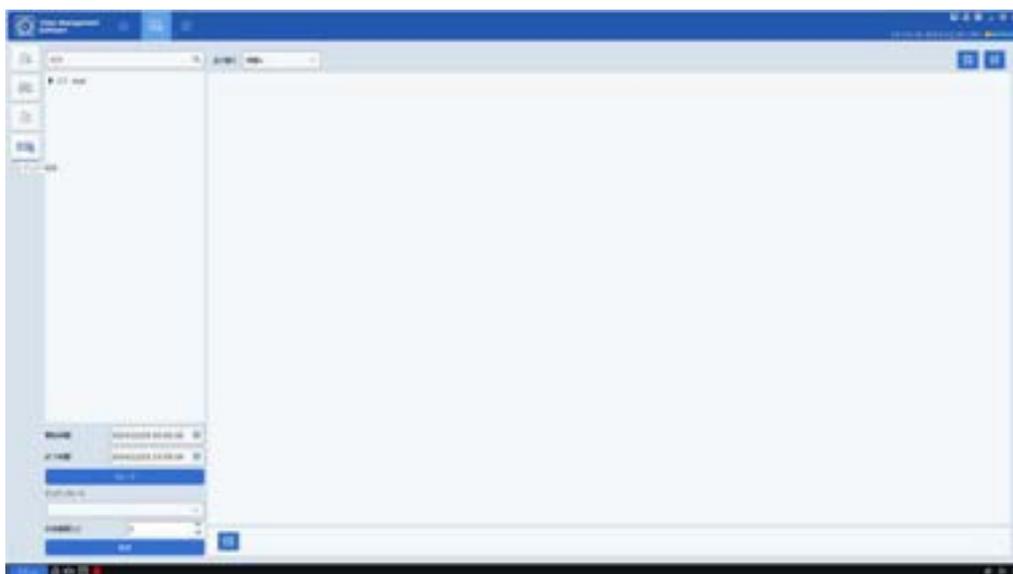


16.4 ナンバー検索

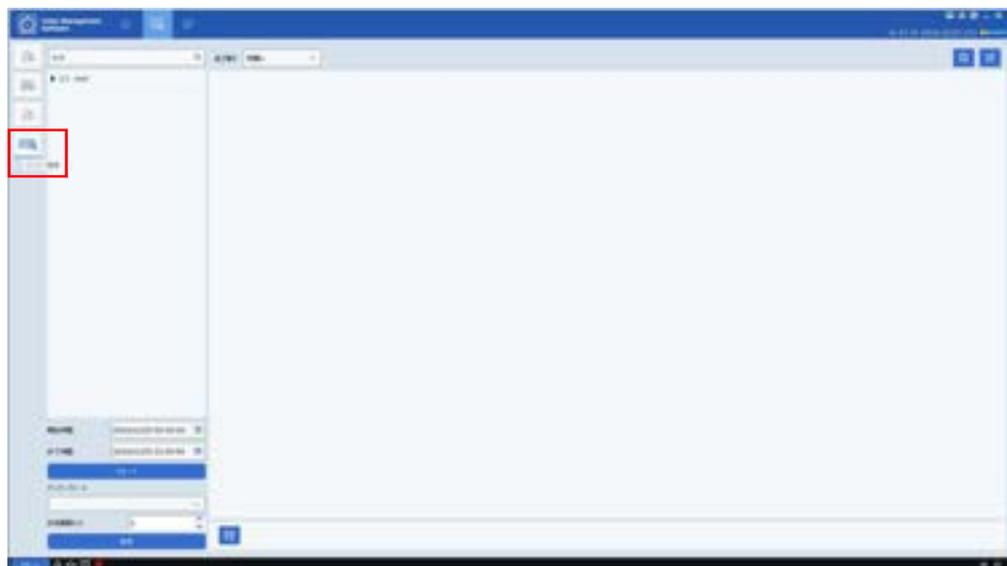
AI ナンバー認識をサポートするデバイスの場合に利用可能です。
認識されたナンバーに対して、

- ◇ データベース（グループ）と照合したい
- ◇ ナンバーを検索したい

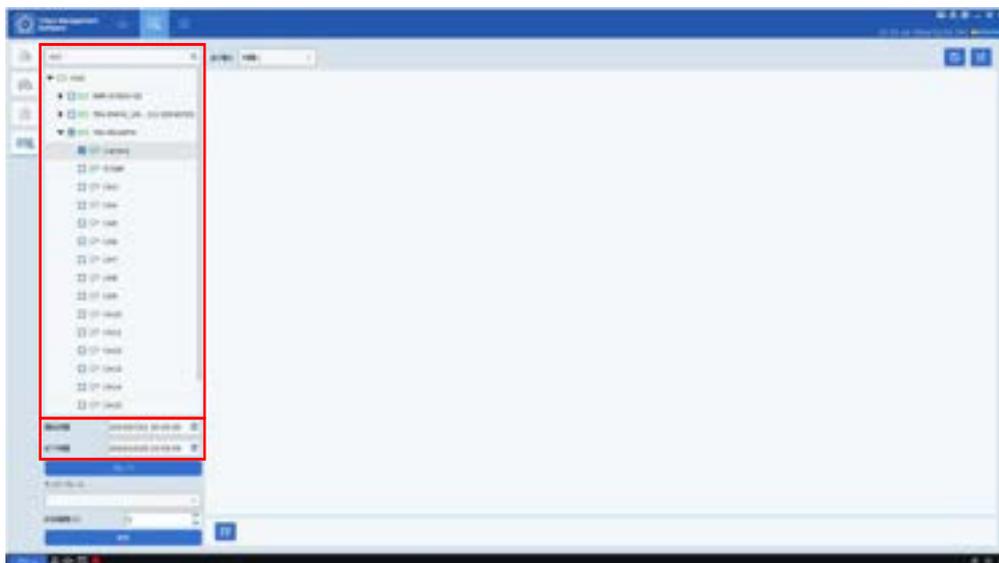
場合に使用します。



[ステップ 1] ナンバー検索アイコンをクリックします。



[ステップ 2] デバイスチャンネルを選択し、検索期間を設定します。



[ステップ 3] 検索するナンバーがあれば設定します。

ナンバープレート

9876

(入力例)

[ステップ 4] 許容範囲を設定します。

許容範囲(≤)

0

画像の、車両の移動速度などのばらつきにより、ナンバー解像度、光の強さ、カメラの角度プレート番号の一部の文字が正しく認識されない場合があります。検出されたナンバープレートがグループに保存されているナンバープレート番号と異なる文字数を何文字まで許容するかを設定します。

検出されたナンバープレート番号とデータベースグループ内のナンバープレート番号と比較した際に異なる文字の数が、設定された許容範囲値以下であれば、検出されたナンバープレートは“一致”と認識されます。

【注意】 ナンバー検索・許容範囲

システムは英文字と数字のみを認識します。アンダースコア (_)、スラッシュ (/)、ハイフン (-) などの特殊記号は認識から除外されます。ライセンスプロファイル (ナンバープレートのデータベース) を作成する際にナンバープレート番号に特殊記号を含めた場合は、この“許容範囲”を適切に設定してください。

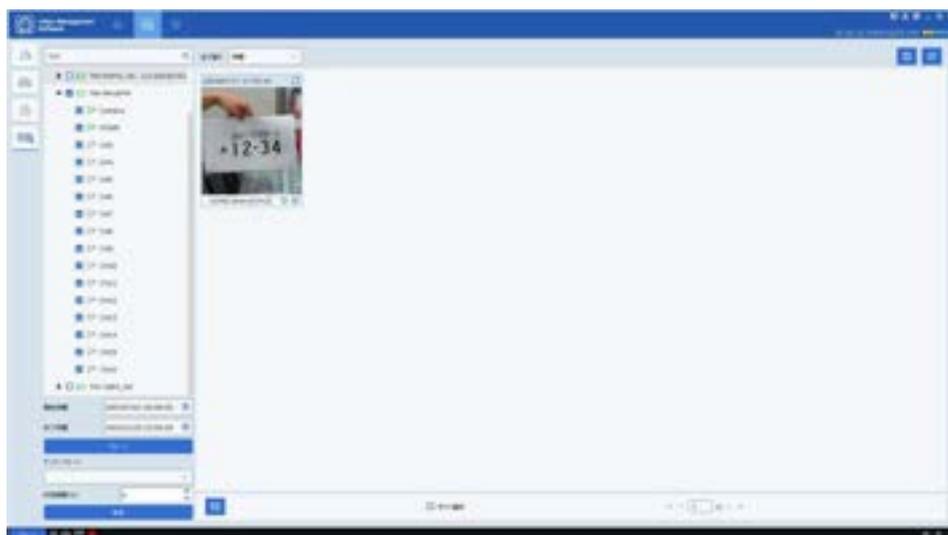
検索例				
(照合元) 認識された ナンバープレ ート番号	照合先 ナンバー	許容範囲	システムが出力する結果	
AB123C	AB-123-C	2	検索結果に表示されます。	一致
AB123C	AB-123-C	0 または 1	検索結果に表示されません。	不一致
A8I23C	AB123C	2	検索結果に表示されます。	一致
A8I23C	AB123C	0 または 1	検索結果に表示されません。	不一致
B594SB	B734KB	3	検索結果に表示されます。	一致
B594SB	B734KB	2	検索結果に表示されません。	不一致
AB123C	AB123C	2	検索結果に表示されます。	一致
AB123C	AB123C	0 または 1	検索結果に表示されません。	不一致

[ステップ 5]

グループをクリックして検索対象のグループ(DB)を選択し、類似性を設定します。選択しない場合は、その期間中に検出された全てのナンバープレートが対象となります。



[ステップ 6] [検索] をクリックして検索を行います。



[ステップ 7]

検索結果の画像を保存する場合は対象の画像を へして、 をクリックします。後は画面の指示に従い画像の保存を行います。 アイコンをクリックして保存先を指定します。



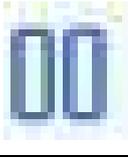
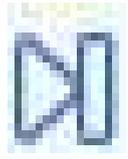
[ステップ 8] 検索結果をソート可能です。

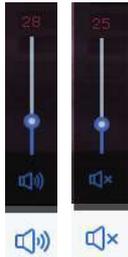
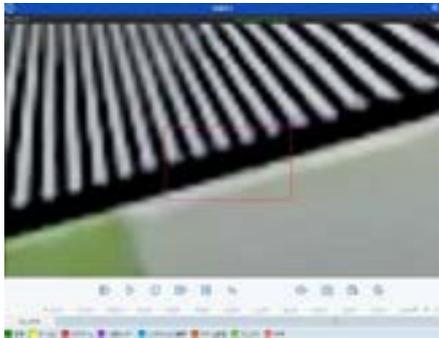
並び替え **時間+**  は古い時間のものから、

並び替え **時間-**  は新しい時間のものから並び替えます。

[ステップ9] 検索結果サムネイル下にある[再生]アイコン  をクリック、又は、検

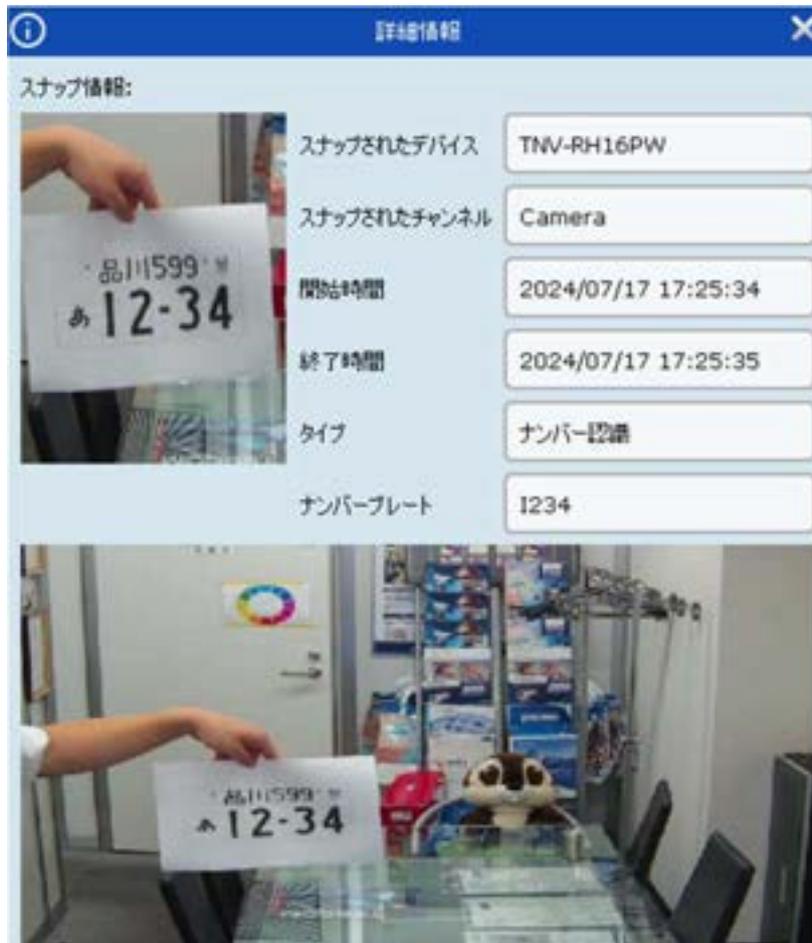
索結果を選択して  アイコンをクリックしますと、検知時の映像を確認可能です。

アイコン	内容
	再生ビデオを開始します。
	再生ビデオを一時停止します。
	録画の再生を停止します。
	シングルフレームフォワード再生ビデオ。
	早送り再生ビデオ。
	ビデオをスロー再生します。
 	現在の再生速度が表示されます。

	<p>サウンドのオン/オフ</p> 
	<p>クリックすると、現在の映像のスナップショットが保存されます。</p>
	<p>ローカルへのビデオ録画。</p> <p> : クリックすると録画が開始します。</p> <p> : 録画中です。</p> <p>クリックすると録画が停止します。</p>
	<p>デジタルズーム。アイコンをクリックしますとマウスカーソルが  になります。この状態で、デジタルズームする範囲（赤枠表示されます）をドラッグするとデジタルズームできます。デジタルズームした映像上でクリックしますとデジタルズームが解除されます。</p> 
<p>再生プログレスバー</p>	<p> : 再生プログレスバーの精度が高くなります</p>

	<p> : 再生プログレス バーの精度が低くなります</p> <p> : プログレスバー表示時間領域を移動できます</p>
--	---

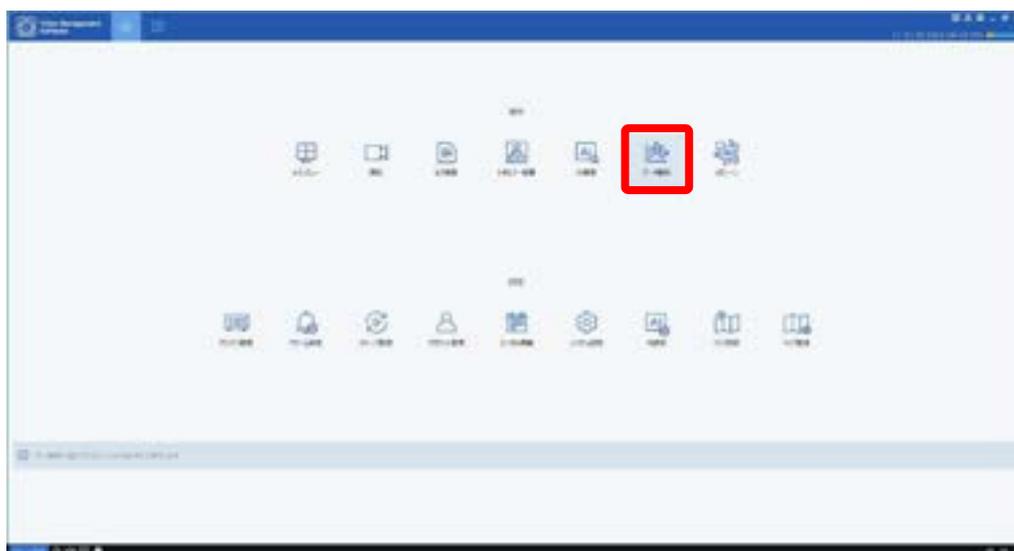
[ステップ 10] 検索結果サムネイル下にある[詳細情報]アイコン  をクリックすると、スナップの詳細情報を表示します。



第17章 データ解析



メインメニューで “データ解析” をクリックして、データ分析画面へ移動します。データ解析には、顔検知/人&車両検知/クロスカウント統計/ヒートマップ統計/出勤管理の5つの解析機能があります。



 データ解析	
顔検知 	人&車両検知 
人・車両カウント統計 	ヒートマップ統計 
出勤管理 	

17.1 顔検知

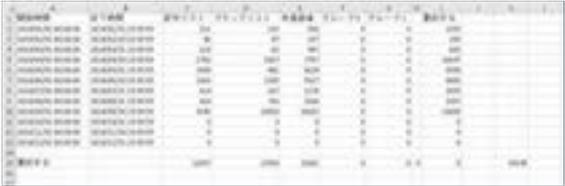
メインメニューで“データ解析”をクリック致しますと、“顔検知”画面が表示されます（図 17-1-1）。“顔検知”画面が表示されていない場合は、画面左上の

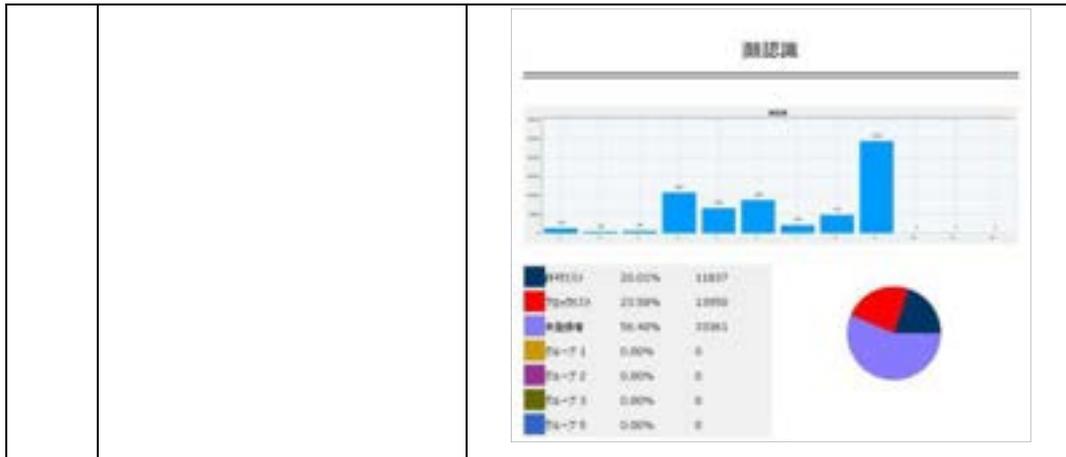


（顔検知）アイコンをクリックします。



表 17-1 顔検知 統計機能の概要

No.	項目名	内容
1	顔検知統計機能アイコン	[顔検知統計]画面を表示します
2	デバイスツリー	検索対象のデバイスチャンネルを設定します。
3	検索クエリ	<p>検索対象の日付や期間, グループ (DB) を設定します。</p>  
4	検索結果表示	<p>縦棒グラフと円グラフで結果が表示されます。</p> <p>画面右上の エクスポート ボタンで検索結果をエクセル形式またはPDF形式で保存できます。 (エクセル保存データ例)</p>  <p>(エクセル保存データ例)</p>



17.2 人&車両検知



メインメニューで“データ解析”をクリックし、画面左上の（人&車両検知）アイコンをクリックします。

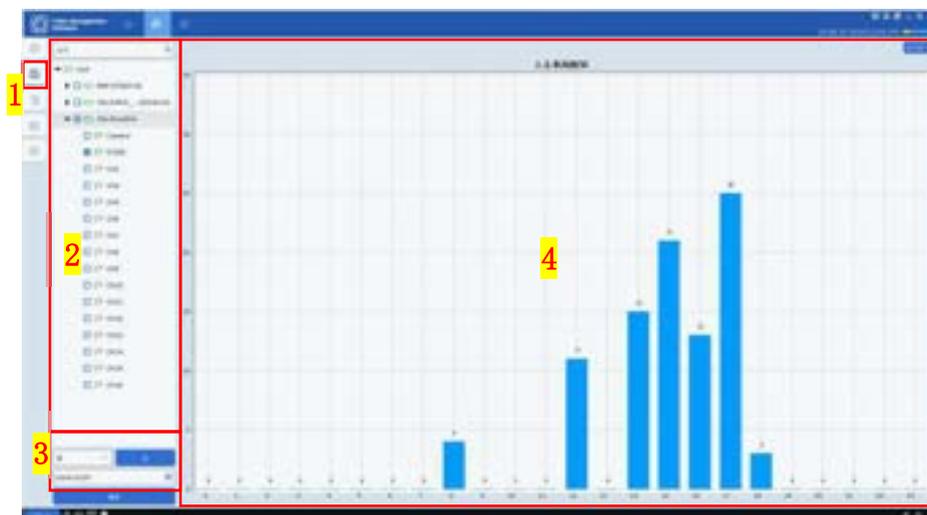
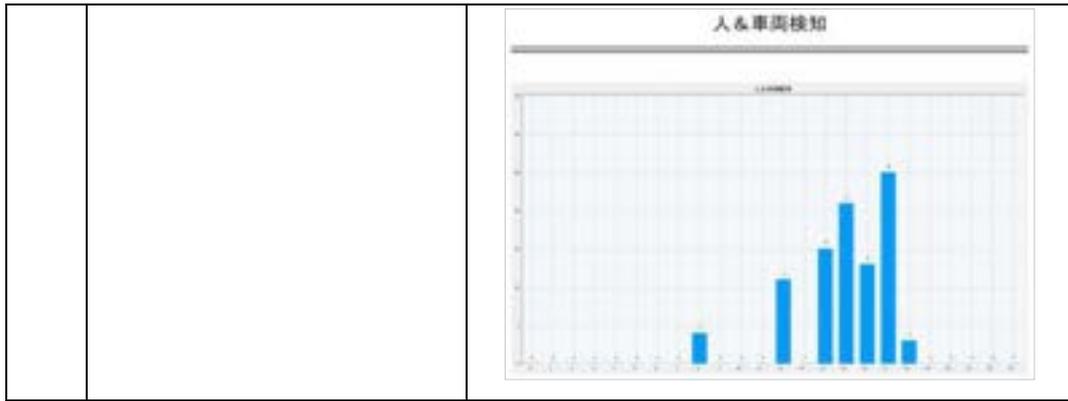


図 17-2-1 人&車両検知統計画面 表示例

表 17-2 人&車両検知 統計機能の概要

No.	項目名	内容
1	人&車両検知機能アイコン	[人&車両検知統計]画面を表示します。
2	デバイスツリー	検索対象のデバイスチャンネルを設定します。
3	検索クエリ	検索対象の日付，期間，検索タイプ（インテリジェント）を設定します。

																																																																																																																																																																				
4	<p>検索結果表示</p>	<p>棒グラフで結果が表示されます。</p> <p>画面右上の エクスポート ボタンで検索結果をエクセル形式で保存できます。</p> <p>(エクセル保存データ例)</p> <table border="1" data-bbox="746 1355 1284 1792"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>時</th> <th>区</th> <th>区</th> <th>区</th> <th>区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>開始時刻</td><td>終了時刻</td><td>エリア侵入(人)</td><td>エリア侵入(車両)</td><td>エリア侵入(非四輪)</td></tr> <tr><td>2</td><td>2024/12/25 00:00:00</td><td>2024/12/25 00:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>3</td><td>2024/12/25 01:00:00</td><td>2024/12/25 01:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>4</td><td>2024/12/25 02:00:00</td><td>2024/12/25 02:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>5</td><td>2024/12/25 03:00:00</td><td>2024/12/25 03:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>6</td><td>2024/12/25 04:00:00</td><td>2024/12/25 04:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>7</td><td>2024/12/25 05:00:00</td><td>2024/12/25 05:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>8</td><td>2024/12/25 06:00:00</td><td>2024/12/25 06:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>9</td><td>2024/12/25 07:00:00</td><td>2024/12/25 07:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>10</td><td>2024/12/25 08:00:00</td><td>2024/12/25 08:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>11</td><td>2024/12/25 09:00:00</td><td>2024/12/25 09:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>12</td><td>2024/12/25 10:00:00</td><td>2024/12/25 10:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>13</td><td>2024/12/25 11:00:00</td><td>2024/12/25 11:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>14</td><td>2024/12/25 12:00:00</td><td>2024/12/25 12:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>15</td><td>2024/12/25 13:00:00</td><td>2024/12/25 13:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>16</td><td>2024/12/25 14:00:00</td><td>2024/12/25 14:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>17</td><td>2024/12/25 15:00:00</td><td>2024/12/25 15:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>18</td><td>2024/12/25 16:00:00</td><td>2024/12/25 16:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>19</td><td>2024/12/25 17:00:00</td><td>2024/12/25 17:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>20</td><td>2024/12/25 18:00:00</td><td>2024/12/25 18:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>21</td><td>2024/12/25 19:00:00</td><td>2024/12/25 19:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>22</td><td>2024/12/25 20:00:00</td><td>2024/12/25 20:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>23</td><td>2024/12/25 21:00:00</td><td>2024/12/25 21:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>24</td><td>2024/12/25 22:00:00</td><td>2024/12/25 22:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>25</td><td>2024/12/25 23:00:00</td><td>2024/12/25 23:00:00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>26</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(PDF 保存データ例)</p>	日	時	区	区	区	区	1	開始時刻	終了時刻	エリア侵入(人)	エリア侵入(車両)	エリア侵入(非四輪)	2	2024/12/25 00:00:00	2024/12/25 00:00:00	0	0	0	3	2024/12/25 01:00:00	2024/12/25 01:00:00	0	0	0	4	2024/12/25 02:00:00	2024/12/25 02:00:00	0	0	0	5	2024/12/25 03:00:00	2024/12/25 03:00:00	0	0	0	6	2024/12/25 04:00:00	2024/12/25 04:00:00	0	0	0	7	2024/12/25 05:00:00	2024/12/25 05:00:00	0	0	0	8	2024/12/25 06:00:00	2024/12/25 06:00:00	0	0	0	9	2024/12/25 07:00:00	2024/12/25 07:00:00	0	0	0	10	2024/12/25 08:00:00	2024/12/25 08:00:00	0	0	0	11	2024/12/25 09:00:00	2024/12/25 09:00:00	0	0	0	12	2024/12/25 10:00:00	2024/12/25 10:00:00	0	0	0	13	2024/12/25 11:00:00	2024/12/25 11:00:00	0	0	0	14	2024/12/25 12:00:00	2024/12/25 12:00:00	0	0	0	15	2024/12/25 13:00:00	2024/12/25 13:00:00	0	0	0	16	2024/12/25 14:00:00	2024/12/25 14:00:00	0	0	0	17	2024/12/25 15:00:00	2024/12/25 15:00:00	0	0	0	18	2024/12/25 16:00:00	2024/12/25 16:00:00	0	0	0	19	2024/12/25 17:00:00	2024/12/25 17:00:00	0	0	0	20	2024/12/25 18:00:00	2024/12/25 18:00:00	0	0	0	21	2024/12/25 19:00:00	2024/12/25 19:00:00	0	0	0	22	2024/12/25 20:00:00	2024/12/25 20:00:00	0	0	0	23	2024/12/25 21:00:00	2024/12/25 21:00:00	0	0	0	24	2024/12/25 22:00:00	2024/12/25 22:00:00	0	0	0	25	2024/12/25 23:00:00	2024/12/25 23:00:00	0	0	0	26					
日	時	区	区	区	区																																																																																																																																																															
1	開始時刻	終了時刻	エリア侵入(人)	エリア侵入(車両)	エリア侵入(非四輪)																																																																																																																																																															
2	2024/12/25 00:00:00	2024/12/25 00:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
3	2024/12/25 01:00:00	2024/12/25 01:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
4	2024/12/25 02:00:00	2024/12/25 02:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
5	2024/12/25 03:00:00	2024/12/25 03:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
6	2024/12/25 04:00:00	2024/12/25 04:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
7	2024/12/25 05:00:00	2024/12/25 05:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
8	2024/12/25 06:00:00	2024/12/25 06:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
9	2024/12/25 07:00:00	2024/12/25 07:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
10	2024/12/25 08:00:00	2024/12/25 08:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
11	2024/12/25 09:00:00	2024/12/25 09:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
12	2024/12/25 10:00:00	2024/12/25 10:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
13	2024/12/25 11:00:00	2024/12/25 11:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
14	2024/12/25 12:00:00	2024/12/25 12:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
15	2024/12/25 13:00:00	2024/12/25 13:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
16	2024/12/25 14:00:00	2024/12/25 14:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
17	2024/12/25 15:00:00	2024/12/25 15:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
18	2024/12/25 16:00:00	2024/12/25 16:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
19	2024/12/25 17:00:00	2024/12/25 17:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
20	2024/12/25 18:00:00	2024/12/25 18:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
21	2024/12/25 19:00:00	2024/12/25 19:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
22	2024/12/25 20:00:00	2024/12/25 20:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
23	2024/12/25 21:00:00	2024/12/25 21:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
24	2024/12/25 22:00:00	2024/12/25 22:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
25	2024/12/25 23:00:00	2024/12/25 23:00:00	0	0	0																																																																																																																																																															
26																																																																																																																																																																				



17.3 クロスウント統計(CC 統計)



メインメニューで“データ解析”をクリックし、画面左上の (クロスウント統計) アイコンをクリックします。

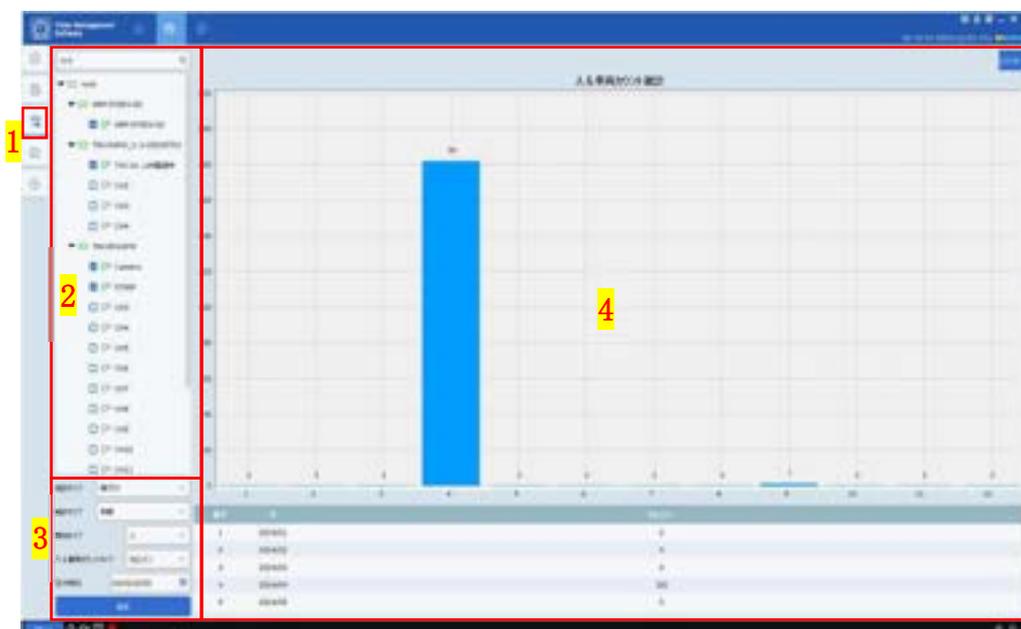


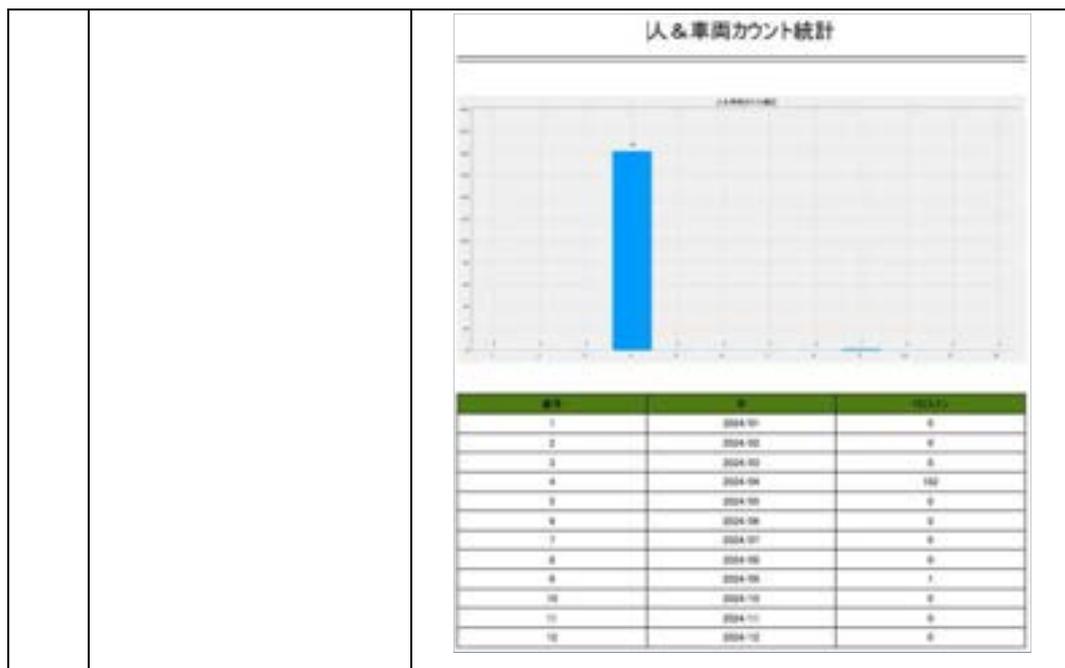
図 17-3-1 クロスウント統計画面 表示例

表 17-3 クロスウント統計画面概要

No.	項目名	内容
1	クロスウント統計機能アイコン	[クロスウント統計]画面を表示します。
2	デバイスツリー	検索対象のデバイスチャンネルを設定します。
3	検索クエリ	チャートタイプ(棒グラフまたは折れ線グラフ), レポートタイプ(集計期間), 検知タイプ(人物/モーション/車両/非四輪車), クロスタイプ(クロスイン/クロスアウト), 対象日を指定します。

日報
週報
月報
年報

																																																																													
<p>4</p>	<p>検索結果表示</p>	<p>縦棒グラフまたは折れ線グラフで結果が表示されます。画面右上の エクスポート ボタンで検索結果をエクセル形式で保存できます。</p> <p>(エクセル保存データ例)</p> <table border="1" data-bbox="751 1055 1232 1554"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>番号</td> <td>年</td> <td>クロスイン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>2024/01</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>2024/02</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>3</td> <td>2024/03</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>2024/04</td> <td>182</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5</td> <td>2024/05</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6</td> <td>2024/06</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>7</td> <td>2024/07</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>8</td> <td>2024/08</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>9</td> <td>2024/09</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>10</td> <td>2024/10</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>11</td> <td>2024/11</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>12</td> <td>2024/12</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(PDF 保存データ例)</p>		A	B	C	D	1	番号	年	クロスイン		2	1	2024/01	0		3	2	2024/02	0		4	3	2024/03	0		5	4	2024/04	182		6	5	2024/05	0		7	6	2024/06	0		8	7	2024/07	0		9	8	2024/08	0		10	9	2024/09	1		11	10	2024/10	0		12	11	2024/11	0		13	12	2024/12	0		14				
	A	B	C	D																																																																									
1	番号	年	クロスイン																																																																										
2	1	2024/01	0																																																																										
3	2	2024/02	0																																																																										
4	3	2024/03	0																																																																										
5	4	2024/04	182																																																																										
6	5	2024/05	0																																																																										
7	6	2024/06	0																																																																										
8	7	2024/07	0																																																																										
9	8	2024/08	0																																																																										
10	9	2024/09	1																																																																										
11	10	2024/10	0																																																																										
12	11	2024/11	0																																																																										
13	12	2024/12	0																																																																										
14																																																																													



17.4 ヒートマップ統計

メインメニューで“データ解析”をクリックし、画面左上の  (ヒートマップ統計) アイコンをクリックします。

3

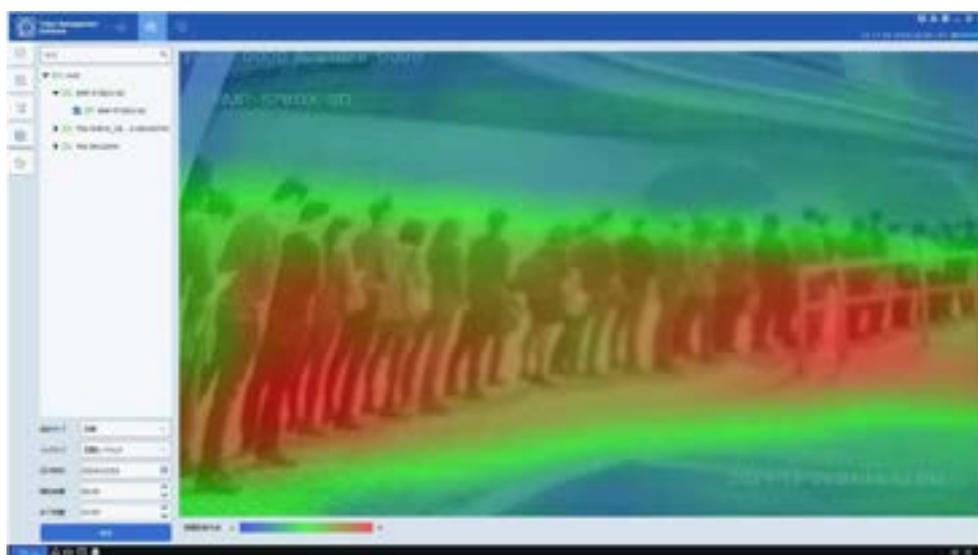
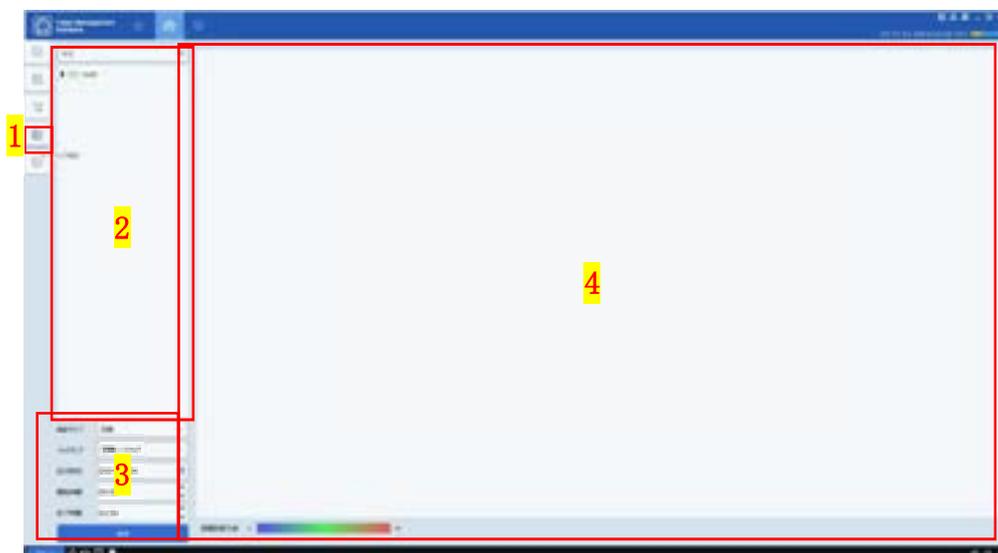


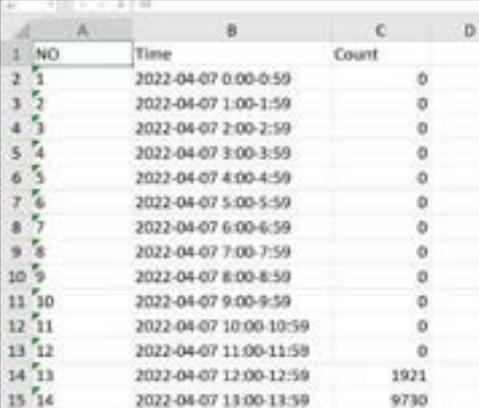
図 17-4-1 ヒートマップ統計画面 表示例(空間ヒートマップ)



図 17-4-1 ヒートマップ統計画面 表示例(時間ヒートマップ)

表 17-4 ヒートマップ統計画面概要

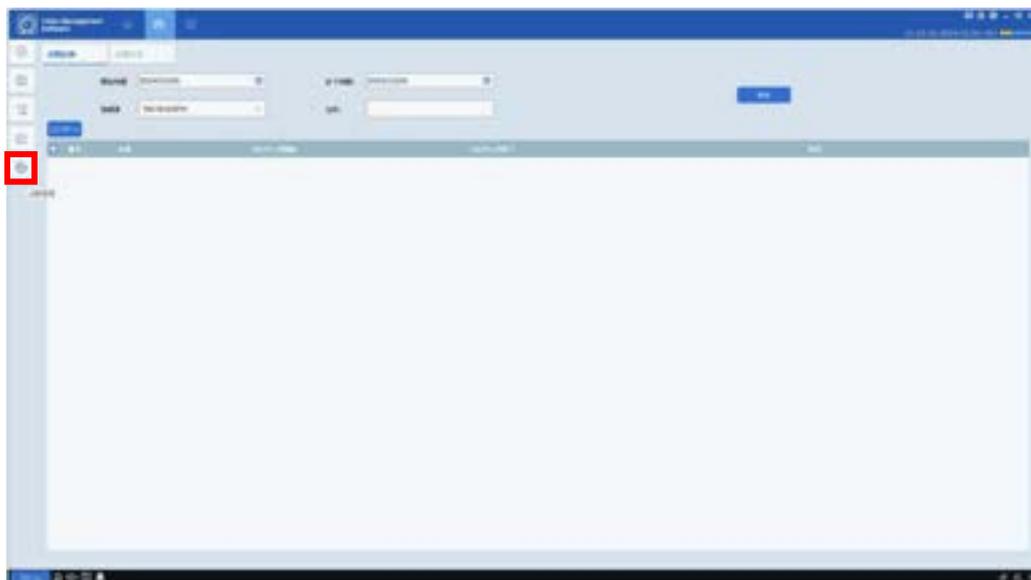
No.	項目名	内容
1	ヒートマップ統計機能アイコン	[ヒートマップ統計]画面を表示します。
2	デバイスツリー	検索対象のデバイスチャンネルを設定します。
3	検索クエリ	<p>マップタイプ(時間ヒートマップ/空間ヒートマップ), レポートタイプ(集計期間), 検知タイプ(人/モーション), 対象日を指定します。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>日報</p> <p>週報</p> <p>月報</p> <p>年報</p> </div> </div> <p>空間ヒートマップはヒートマップ画像で表示され、時間ヒートマップは縦棒グラフで表示されます。</p>

		<p style="text-align: center;">空間ヒートマップ</p> <p style="text-align: center;">時間ヒートマップ</p>																																																																																
<p style="text-align: center;">4</p>	<p style="text-align: center;">検索結果表示</p>	<p>統計結果がヒートマップ画像または縦棒グラフで表示されます。</p> <p>時間ヒートマップの場合は、画面右上の エクスポート ボタンで検索結果をエクセル形式で保存できます。</p>  <table border="1" data-bbox="762 595 1241 1003"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>NO</th> <th>Time</th> <th>Count</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2</td><td>1</td><td>2022-04-07 0:00-0:59</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>2</td><td>2022-04-07 1:00-1:59</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>3</td><td>2022-04-07 2:00-2:59</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>4</td><td>2022-04-07 3:00-3:59</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>5</td><td>2022-04-07 4:00-4:59</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>6</td><td>2022-04-07 5:00-5:59</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>7</td><td>2022-04-07 6:00-6:59</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>8</td><td>2022-04-07 7:00-7:59</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>9</td><td>2022-04-07 8:00-8:59</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>10</td><td>2022-04-07 9:00-9:59</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>11</td><td>2022-04-07 10:00-10:59</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>12</td><td>2022-04-07 11:00-11:59</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>13</td><td>2022-04-07 12:00-12:59</td><td>1921</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>14</td><td>2022-04-07 13:00-13:59</td><td>9790</td><td></td></tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	1	NO	Time	Count		2	1	2022-04-07 0:00-0:59	0		3	2	2022-04-07 1:00-1:59	0		4	3	2022-04-07 2:00-2:59	0		5	4	2022-04-07 3:00-3:59	0		6	5	2022-04-07 4:00-4:59	0		7	6	2022-04-07 5:00-5:59	0		8	7	2022-04-07 6:00-6:59	0		9	8	2022-04-07 7:00-7:59	0		10	9	2022-04-07 8:00-8:59	0		11	10	2022-04-07 9:00-9:59	0		12	11	2022-04-07 10:00-10:59	0		13	12	2022-04-07 11:00-11:59	0		14	13	2022-04-07 12:00-12:59	1921		15	14	2022-04-07 13:00-13:59	9790	
	A	B	C	D																																																																														
1	NO	Time	Count																																																																															
2	1	2022-04-07 0:00-0:59	0																																																																															
3	2	2022-04-07 1:00-1:59	0																																																																															
4	3	2022-04-07 2:00-2:59	0																																																																															
5	4	2022-04-07 3:00-3:59	0																																																																															
6	5	2022-04-07 4:00-4:59	0																																																																															
7	6	2022-04-07 5:00-5:59	0																																																																															
8	7	2022-04-07 6:00-6:59	0																																																																															
9	8	2022-04-07 7:00-7:59	0																																																																															
10	9	2022-04-07 8:00-8:59	0																																																																															
11	10	2022-04-07 9:00-9:59	0																																																																															
12	11	2022-04-07 10:00-10:59	0																																																																															
13	12	2022-04-07 11:00-11:59	0																																																																															
14	13	2022-04-07 12:00-12:59	1921																																																																															
15	14	2022-04-07 13:00-13:59	9790																																																																															

17.5 出勤管理

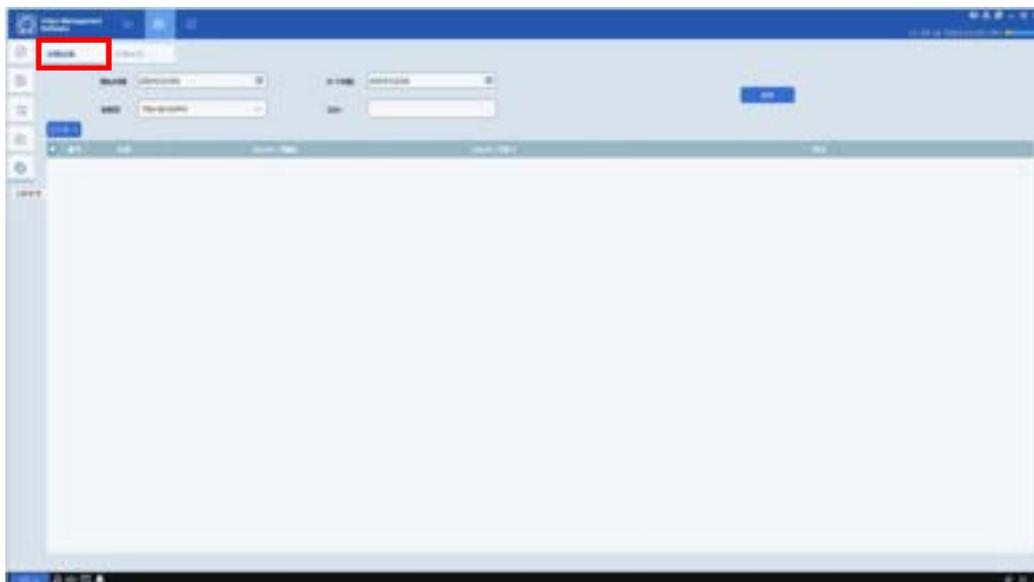
メインメニューで“データ解析”をクリックし、画面左上の  (出勤管理) アイコンをクリックします。

事前に、“AI 設定”の“出勤管理”を設定しておく必要があります。詳しくは、[「15.2 出勤管理」](#)をご覧ください。

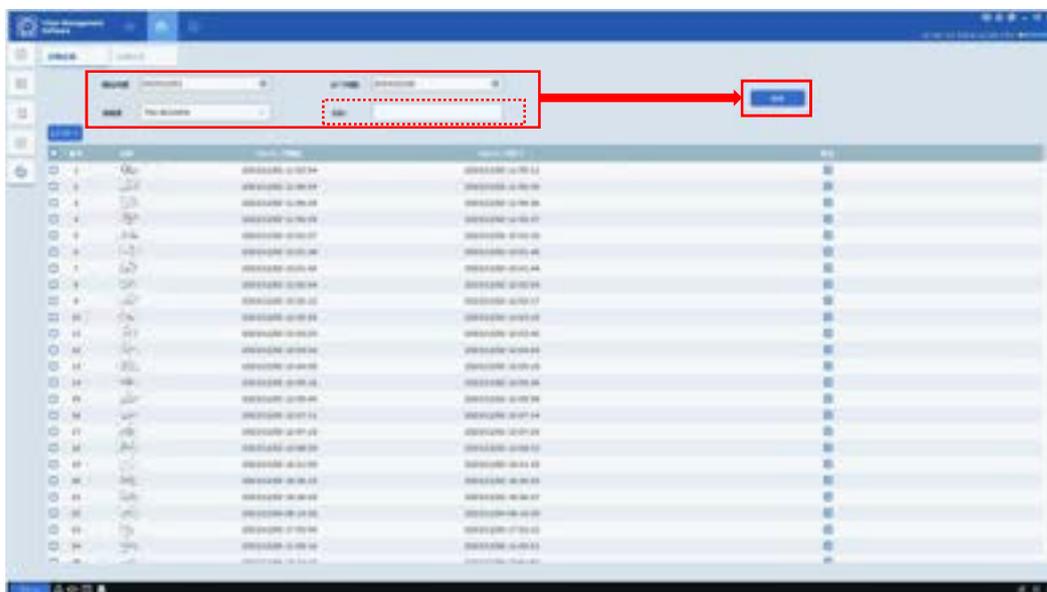


17.5.1 出勤記録

[出勤記録]タブ  をクリックして、出勤記録画面にします。



- “情報源” / “開始時間” / “終了時間” を入力して検索ボタンをクリックします。“名称” を入力すると入力された“名称”で絞込検索できます。



- “エクスポート” ボタン  から、エクセルファイル形式でデータを保存できます。

	A	B	C	D	E
1	番号	名称	クロッキング開始	クロッキング終了	
2	1		2023/12/02 11:52:54	2023/12/02 11:55:11	
3	2		2023/12/02 11:56:24	2023/12/02 11:56:30	
4	3		2023/12/02 11:56:29	2023/12/02 11:56:36	
5	4		2023/12/02 11:56:35	2023/12/02 11:56:37	
6	5		2023/12/02 12:01:27	2023/12/02 12:01:33	
7	6		2023/12/02 12:01:39	2023/12/02 12:01:42	
8	7		2023/12/02 12:01:42	2023/12/02 12:01:44	

- “レポートを生成する” ボタン  からエクセルファイル形式でレポートを保存できます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
1					TNV-RH16PW Attendance statistics report						
2					2024/12/01 - 2024/12/26						
3	日付	合計	必着時間	実到着時間	遅刻	早退	欠勤	残業	休暇申請		
4	2024/12/01	14	0	0	0	0	0	0	0	0	
5	2024/12/02	14	14	0	0	0	14	0	0	0	
6	2024/12/03	14	14	0	0	0	14	0	0	0	
7	2024/12/04	14	14	0	0	0	14	0	0	0	
8	2024/12/05	14	14	0	0	0	14	0	0	0	
9	2024/12/06	14	14	0	0	0	14	0	0	0	
10	2024/12/07	14	0	0	0	0	0	0	0	0	
11	2024/12/08	14	0	0	0	0	0	0	0	0	
12	2024/12/09	14	14	0	0	0	14	0	0	0	
13	2024/12/10	14	14	0	0	0	14	0	0	0	
14	2024/12/11	14	14	0	0	0	14	0	0	0	
15	2024/12/12	14	14	0	0	0	14	0	0	0	
16	2024/12/13	14	14	0	0	0	14	0	0	0	
17	2024/12/14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	
18	2024/12/15	14	0	0	0	0	0	0	0	0	
19	2024/12/16	14	14	0	0	0	14	0	0	0	
20	2024/12/17	14	14	0	0	0	14	0	0	0	
21	2024/12/18	14	14	0	0	0	14	0	0	0	
22	2024/12/19	14	14	1	0	0	13	0	1	1	
23	2024/12/20	14	14	0	0	0	14	0	0	0	
24	2024/12/21	14	0	0	0	0	0	0	0	0	
25	2024/12/22	14	0	0	0	0	0	0	0	0	
26	2024/12/23	14	14	0	0	0	14	0	0	0	
27	2024/12/24	14	14	0	0	0	14	0	0	0	
28	2024/12/25	14	14	0	0	0	14	0	0	0	
29	

エクスポート

- 選択 (☑) して **エクスポート** ボタンをクリックすると、表示されている表をエクセルファイルとして保存できます。

エクスポート			
(エクセル)			
column	項目		備考
A	No.	番号	番号。検索結果の行番号。
B	Name	名称	名前
C	Date	日付	トリガされた日付
D	Shift status	シフトステータス	業務手配 (勤務シフト調整済) / 業務未手配 (勤務シフト未調整)
E	Attendance status	出勤状況	残り (休憩) / 欠勤/残業/通常勤務
F	Sign-in time	出勤時間	実際に出勤した時刻
G	Check out time	退勤時間	実際に退勤した時刻
H	Type of leave	早退・休暇タイプ	休暇なし/休暇申請

VMS PRO 取扱説明書

I	Type of leave	早退・休暇申請	海外など
J	Overtime	残業	残業時間
K	Weighted overtime	加重残業	法定時間外残業

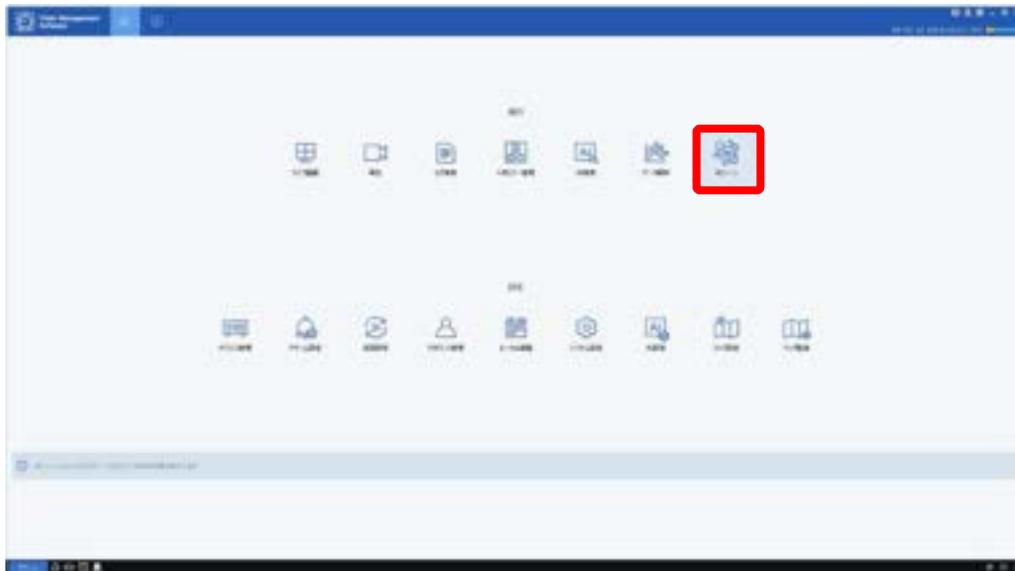
- [詳細]欄の“details”アイコン  をクリックすると登録されている詳細情報を確認できます。



詳細情報	
名称	許可リスト
グループ名	許可リスト
性別	男性
年齢	0
国	
国籍	
出身地	
IDコード	
職業	
電話番号	
メール	
居住地	
備考	

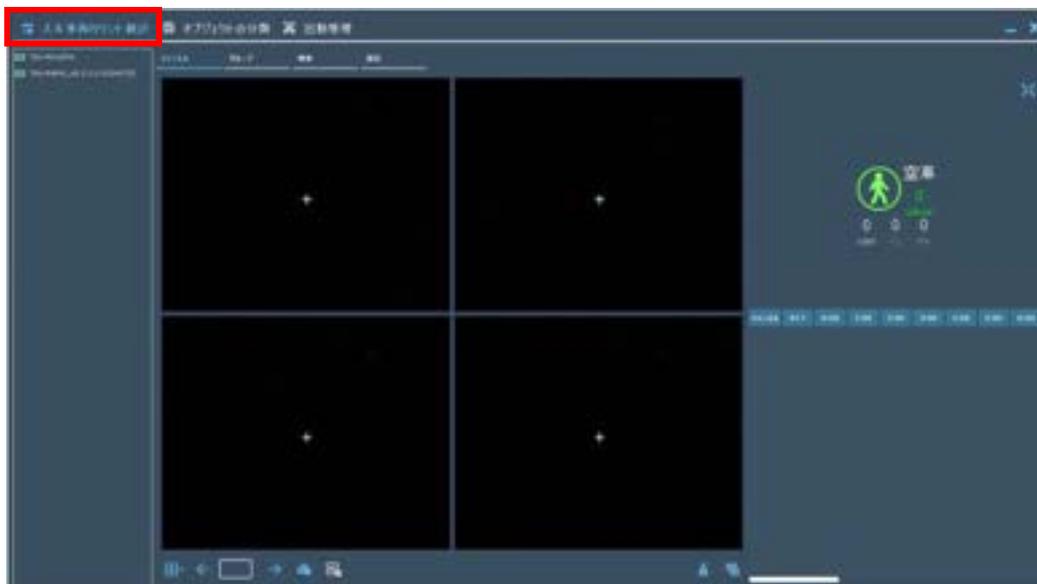
第18章 AI シーン

メインメニューで“AI シーン”をクリックします。
“AI シーン”は各種 AI 統計のライブ表示に特化された画面です。



18.1 AI シーン（人&車カウント統計）

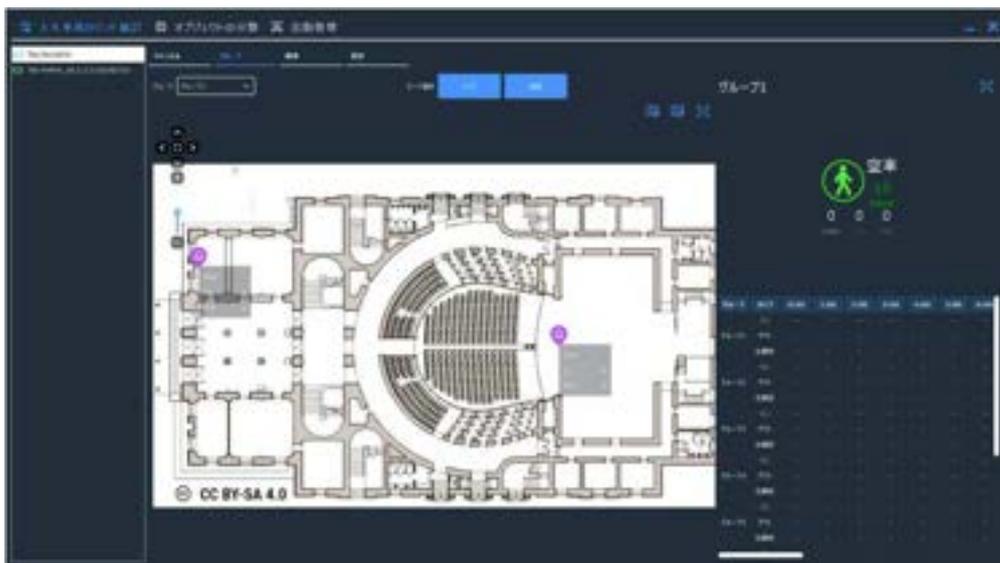
“人&車カウント統計”アイコン **人&車両カウント統計** をクリックして、“人&車カウント統計”画面を表示します。



- “チャンネル” **チャンネル** と、“グループ” **グループ** について

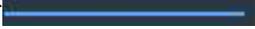
“グループ プレビュー” と “チャンネル プレビュー” の大きな違いは、“チャンネルプレビュー” はチャンネル単位であり、各チャンネルでパラメータを設定しますが、“グループ プレビュー” はグループ単位でパラメータ設定を行うという点です。

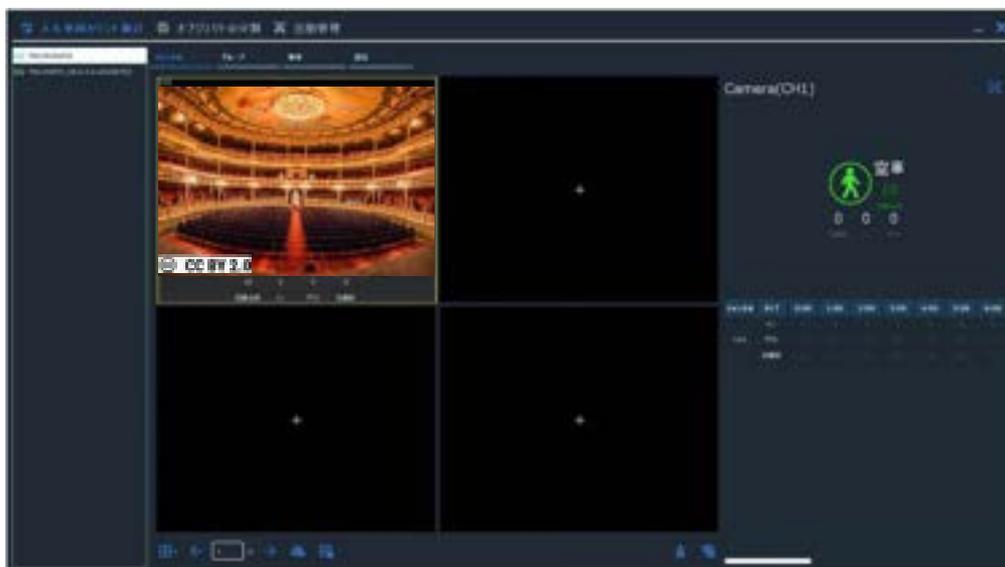
また、“グループ プレビュー” へは“地図モード”が含まれており、グループ内でのカメラの位置を地図上へ設定しておくことでカメラ位置を把握することが可能です。



18.1.1 AI シーン（人&車カウント統計）：チャンネル

チャンネル

[チャンネル]タブ  を選択します。“人&車カウント統計”画面が表示されます。



18.1.2 AI シーン (人&車カウント統計) : グループ[ライブ]

[グループ]タブ  を選択します。

モード選択で  ボタンをクリックして、“ライブ”モードにします。

“グループ”プレビューは、グループ単位でのプレビュー画面となります。

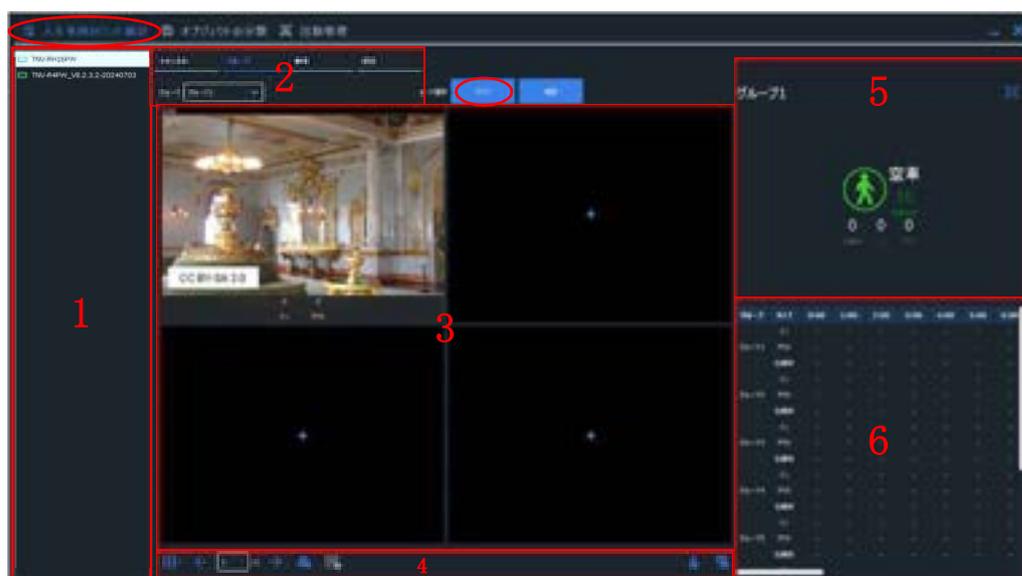
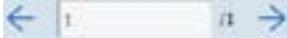


表 18-1-2 AI シーン (人&車カウント統計) : グループ[ライブ]

No.	項目名	内容
1	デバイスツリー	デバイスチャンネルを設定します。
2	画面切替	チャンネル/グループ/検索/設定の各画面を切り替えます。
3	プレビュー エリア	<p>プレビューエリアにはライブ映像が表示され、また、各チャンネルの映像下部領域へ統計サマリーが表示されます (統計サマリーについては表示 ON の場合に限ります)。</p> <p>チャンネルなし (アンバインド) の区画では、各ウィンドウの中央に  マークが表示されます。  マークをクリック致しますと、設定画面へ移動致しますので、その設定画面でチャンネルの追加設定等が可能です。</p>

<p>4</p>	<p>機能制御 エリア</p>	<p> (プレビューレイアウト切替) : 画面の分割数/レイアウトを選択できます。</p> <p></p> <p>・  (ページ切替) : 現在のページ位置/全ページ数が表示され、ページめくりができます。</p> <p>・  (コントロール表示 ON) : 各チャンネルの映像下部領域へ統計サマリー表示を行います。このアイコンがグレーの場合 () は統計サマリー表示を行われません。これらはクリックで切替えます。</p> <p>・  (選択 CH の統計サマリーのクリア) : 選択 CH の統計サマリーをクリア (空) へします。</p> <p>・  (全 CH の統計サマリーのクリア) : 全てのチャンネル値をクリア (空) へします。</p>
<p>5</p>	<p>CH サマリー 表示エリア</p>	<p>選択されたチャンネルの統計サマリーが表示されます。</p> <p> ,  : 設定された最大数に達していない場合はアイコンと上限数が緑色で表示されます。また、入ってくださいが表示されます。</p> <p> ,  : 設定された最大数に達した場合はアイコンと上限数が赤色で表示されます。また、お待ちくださいが表示されます。</p> <p> : 全画面表示へ切替えます。右クリックまたは ESC ボタンで全画面表示から元の画面状態へ戻すことが可能です。広告モードが無効の場合はこの表示エリアがそのまま全画面表示されます。広告モードが有効の場合は広告画像が設定秒数間隔でローテーション表示され、画面右端へ選択した</p>

VMS PRO 取扱説明書

		チャンネルの統計サマリーが同時に表示されます。
6	統計表示領域	0時より1時間おきの統計が表形式で1日分表示されます。

18.1.3 AI シーン（人&車カウント統計）：グループ[地図]

[グループ]タブ  を選択します。

 ボタンをクリックして “地図” モードにします。

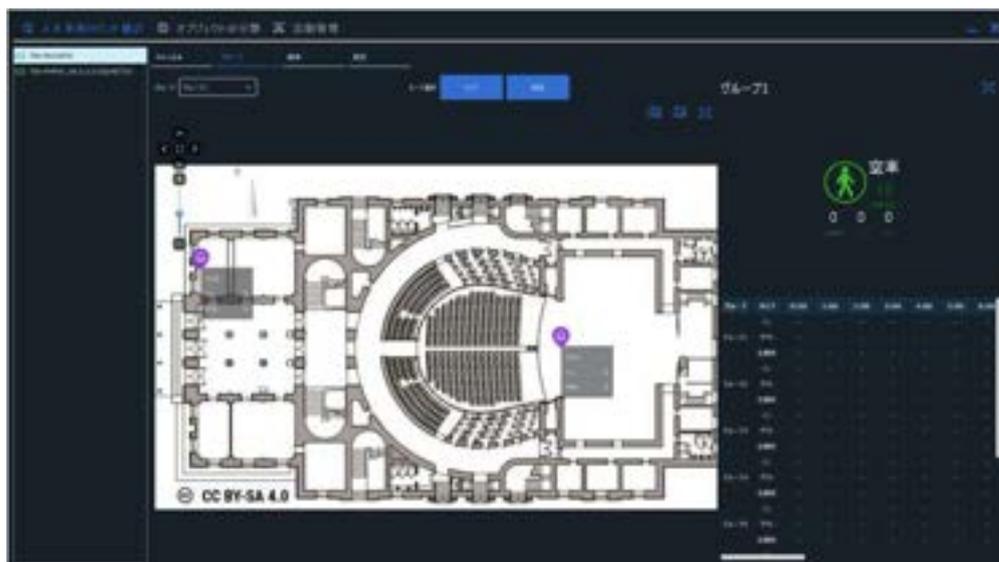
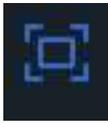
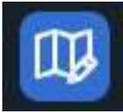


表 18-1-3 AI シーン (人&車カウント統計) : グループ[地図]

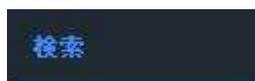
アイコン	内容	アイコン	内容
	地図画像選択		全画面表示
	編集モード OFF		編集モード ON
	表示位置調整		地図画像ズーム
	設定された最大数に達していない場合はアイコンと上限数が緑色で表示されます。		設定された最大数に達した場合はアイコンと上限数が赤色で表示されます。

全画面表示について：右クリックまたはESC ボタンで全画面表示から元の画面状態へ戻すことが可能です。広告モードが有効の場合は広告画像が設定秒数間隔でローテーション表示され、画面右端へ選択したチャンネルの統計サマリーが同時に表示されます。

(全画面表示使用例)



18.1.4 AI シーン (人&車カウント統計) : 検索



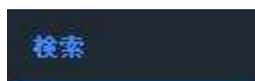
[検索]タブ  を選択します。統計解析が可能です。数種類の統計グラフが利用可能で、素早く明快な解析が可能です。



表 18-1-4 AI シーン (人&車カウント統計) : 検索

No.	項目名	内容
1	デバイスの一覧	デバイスチャンネルを設定します。
2	解析グラフ表示	検索された各チャンネルまたはグループの一定期間での出入りした合計人数と平均人数を円グラフで表示できます。
3	解析対象設定	解析するチャンネルまたはグループ、期間、解析対象を設定します。
4	解析結果	<p>ここで期間中の入退室者数の傾向変化を棒グラフ、折れ線グラフ、表テーブルとして表示します。</p> <ul style="list-style-type: none">  : チャンネルまたはグループを切り替えることができます。

		<ul style="list-style-type: none">  : それぞれクリックしますと、ヒストグラム、折れ線グラフ、表テーブルを切替えることが可能です。  : データをエクセル形式でエクスポートする場合に使用します。 <table border="1" data-bbox="778 526 1316 683"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>日付</td> <td>イン</td> <td>在車数</td> <td>アウト</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2024/12/27 0:00</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2024/12/27 1:00</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	1	日付	イン	在車数	アウト	2	2024/12/27 0:00	0	0	0	3	2024/12/27 1:00	0	0	0
	A	B	C	D																		
1	日付	イン	在車数	アウト																		
2	2024/12/27 0:00	0	0	0																		
3	2024/12/27 1:00	0	0	0																		

 (ヒストグラム)	
 (折れ線グラフ)	



(表テーブル)



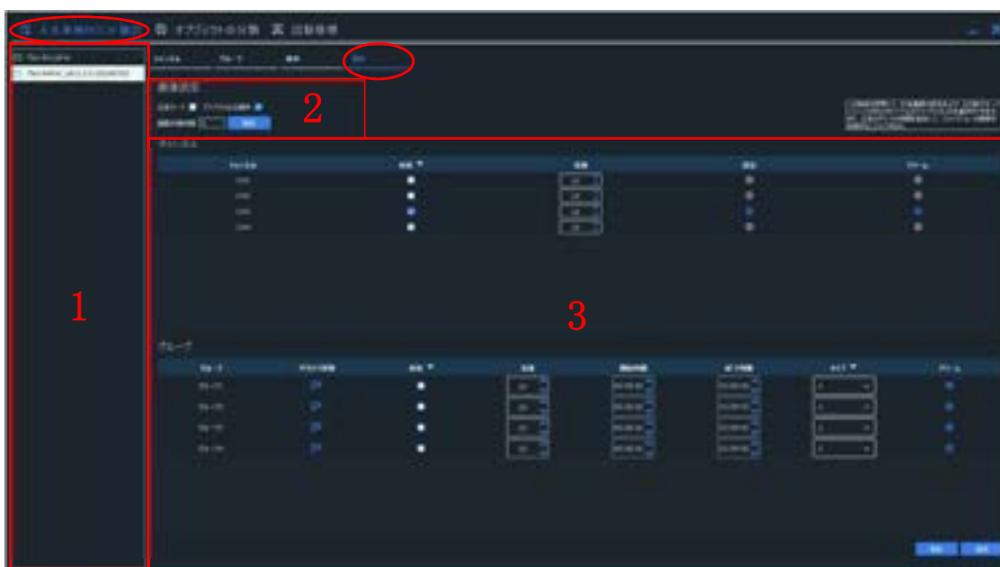
18.1.5 AI シーン (人&車カウント統計) : 設定

[設定]タブ  を選択します。

AI シーンの設定は、この[設定]ページで行います。

画面右下にある、[更新]ボタン  をクリックしてデバイスの設定パラメータを読み込みます。

画面右下にある、[適用]ボタン  をクリックして設定パラメータを適用します。

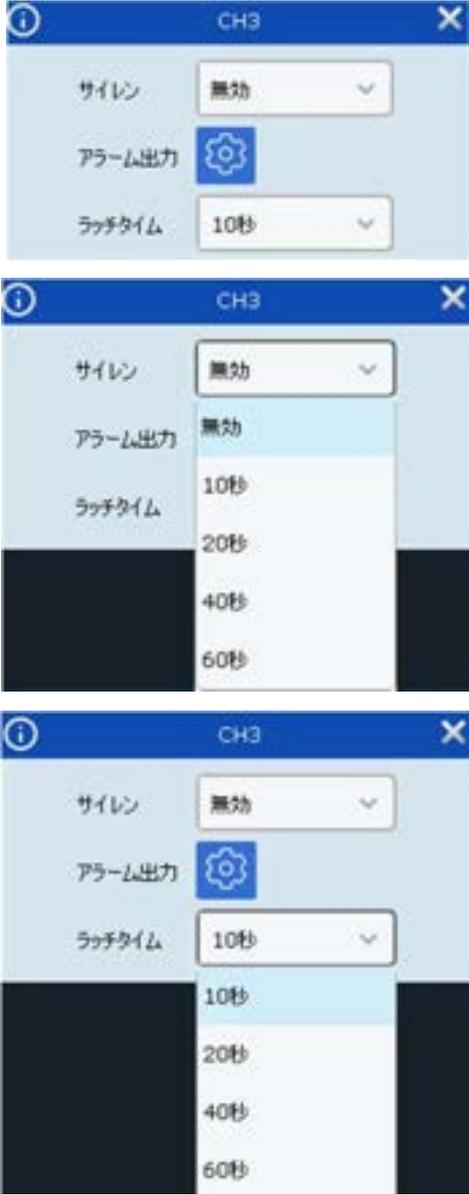


【ご注意ください】 各々のCHは、チャンネルとグループ、また、グループの間では排他使用となっております。

表 18-1-5 AI シーン (人&車カウント統計) : 設定

No.	項目名	内容
1	デバイスツリー	デバイスチャンネルを設定します。
2	広告モード設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広告モード: 広告モードの ON/OFF。 ・ アスペクト比の維持: アスペクト比を維持するかどうか。

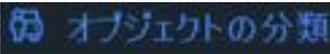
		<ul style="list-style-type: none"> 画面切替時間：広告モードでの画面切替（ポーリング）時間を秒で設定します。 ：画像管理画面をポップアップ表示します。画像管理画面では広告モードへ使用する広告画像の追加（）/削除（）が可能です。画像ファイル名が32文字を超えていない、2MBまでの画像（jpg/png/bmp）を最大16枚追加可能です。画像を削除する場合は、画像管理画面で削除対象の画像をクリックして赤枠表示にした後、削除（）ボタンをクリックします。 
3	チャンネル, グループ構成	<p>チャンネルはチャンネル毎で、グループはグループ毎で設定を行います。グループの場合は最大8つのグループ設定が可能です。</p> <p><チャンネル></p> <ul style="list-style-type: none"> 有効：AI シーン機能の ON/OFF。 容量：カウント上限値を設定します。 設定：カウントエリア設定画面を開きます。  <ul style="list-style-type: none"> アラーム：デバイスのアラーム設定を行います。

		 <p><グループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効：AI シーン機能の ON/OFF。 ・容量：カウント上限値を設定します。(1~65535) ・IP カメラ追加：そのグループへ所属させるカメラを選択します。
--	--	--

		<div data-bbox="949 192 1273 622" data-label="Image"> </div> <ul data-bbox="783 645 1284 808" style="list-style-type: none"> ・ 開始時間/終了時間：サンプリング期間を設定します。 ・ タイプ：モーション/人/車両より統計対象を選択します。 <div data-bbox="1042 831 1295 1171" data-label="Image"> </div> <ul data-bbox="802 1193 1248 1261" style="list-style-type: none"> ・ アラーム：デバイスのアラーム設定を行います。 <div data-bbox="831 1283 1295 1534" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="831 1556 1295 1955" data-label="Image"> </div>
--	--	---



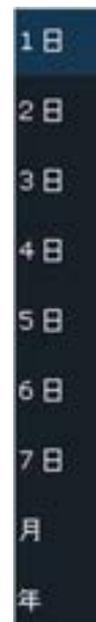
18.2 AI シーン（人&車両検知）

[オブジェクトの分類]アイコン  をクリックして、人&車両検知画面にします。

図の赤枠部分でデバイスを選択します。



アイコンをクリックすると統計期間を設定可能です。
1～7 日間/週間/月間/年間の期間で統計期間を選択できます。

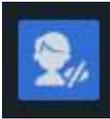
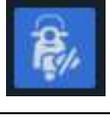
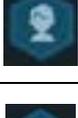
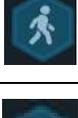




アイコンで統計対象のチャンネルを選択できます。



表 18-2 AI シーン (人&車両検知)

アイコン	内容	アイコン	内容
	1画面表示。クリックで表示CHを変更します。		4画面表示。クリックで表示CHを変更します。
	顔カウント ON (クリックして ON/OFF)		顔カウント OFF (クリックして ON/OFF)
	人カウント ON (クリックして ON/OFF)		人カウント OFF (クリックして ON/OFF)
	車両カウント ON (クリックして ON/OFF)		車両カウント OFF (クリックして ON/OFF)
	非四輪カウント ON (クリックして ON/OFF)		非四輪カウント OFF (クリックして ON/OFF)
	顔カウント情報		人カウント情報
	車両カウント情報		非四輪カウント情報

18.3 AI シーン (出退勤)

[出勤管理]アイコン  をクリックして、出退勤画面にします。

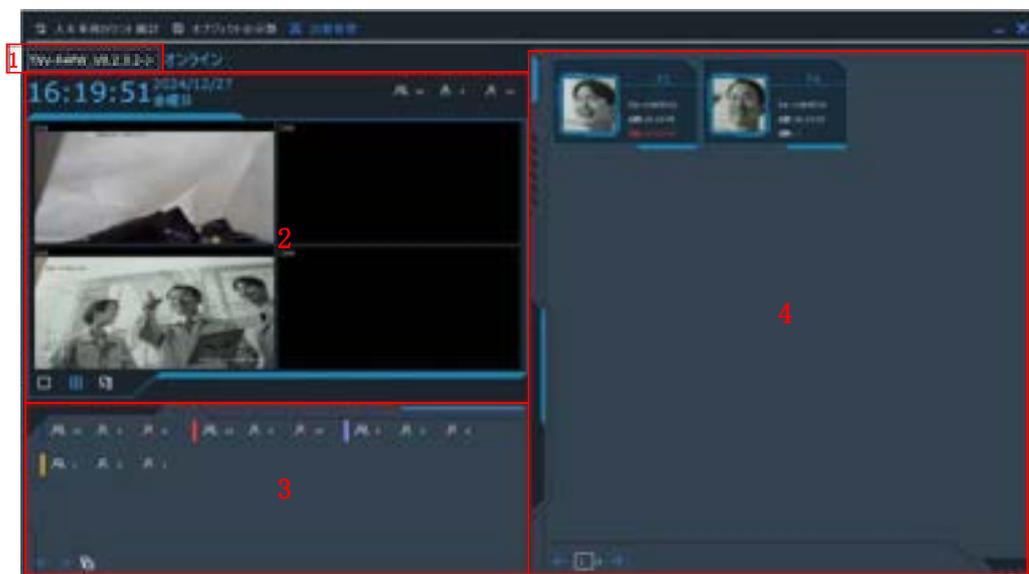


表 18-3 AI シーン（出退勤）

No.	項目名	内容
1	デバイス選択	デバイスチャンネルを設定します。
2	プレビュー エリア	プレビューエリアにはライブ映像が表示されます。
		 選択中のグループの合計人数
		 選択中のグループで出勤した合計人数
		 選択中のグループで退勤した合計人数
		 1 画面表示。 クリックで表示 CH を変更します。
		 4 画面表示。 クリックで表示 CH を変更します。
 統計対象のチャンネルを選択。 		
3	統計サマリー	出退勤のグループ別の統計サマリーが表示されます。 グループ名を確認するには色縦線へマウスカーソルを合わせます。 
		グループが多い場合は、  でページを切替えます。
		 そのグループの合計人数
		 そのグループで出勤した人数

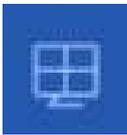
			<p>そのグループで退勤した人数</p>
			<p>カウント対象のグループを選択します。</p> 
<p>4</p>	<p>出退勤人物情報</p>	<p>出退勤人物情報が表示されます。</p>  <p>  でページを切替えます。 </p>	

第19章 デバイスログイン

「デバイスのログイン」では、デバイスのアカウントを使用して1つのリモートデバイスへの接続が可能です。「デバイスのログイン」では以下のメニューがご利用可能です。

デバイスログイン



項目	内容	項目	内容
 ライブ画面	ライブ映像	 再生	録画の検索再生 バックアップ (リモート) 基本検索とスマート 検索とバックアップ のみ。
 リモート設定	デバイスの リモート設定	 システム設定	“VMS Pro” ソフト ウェアの言語設定, 画像/映像の保存先 設定, バックアップ ファイルのフォー マット設定など。

19.1 デバイスログイン・ライブ画面（デバイスログイン）

以下に「デバイスログイン」の手順を示します。

ステップ1: 当ソフトウェアを起動します。



図 19-1-1 VMS Pro アイコン

ステップ2: ログイン画面が表示されたら、左側の「デバイスログイン」オプションをクリックして、デバイスログイン画面へ切り替えます。



図 19-1-2 デバイスログイン画面へ切り替え

ステップ 3: 接続先及びログイン情報を入力します。

P2P でログインする場合には IP アドレスではなく ID を入力し、ポート番号にはクライアントポート番号（デフォルト：9000）を入力します。

表 19-1-1 ログインパラメータ（デバイスログイン）

項目	内容
<input type="text" value="デバイスIP / ID"/>	デバイスの IP 又は ID を入力します。 P2P でログインする場合には IP アドレスではなく ID を入力します。
<input type="text" value="HTTPポート"/>	デバイスのポート番号を入力します。
<input type="text" value="ユーザー名"/>	デバイスへのログインに使用するユーザー名とパスワードを入力します。
<input type="text" value="パスワード"/>	
<input type="checkbox"/> パスワードを保存する	選択するとパスワードが記憶され、次回、最後にログオンしたときのログインパスワードが呼出されます。



図 19-1-3 デバイスログイン画面 入力例

ステップ4: 「ログイン」をクリックしてログインが成功すると、図 11-1 に示します画面へ変移します。この画面についての紹介を表 11-1 に示します。

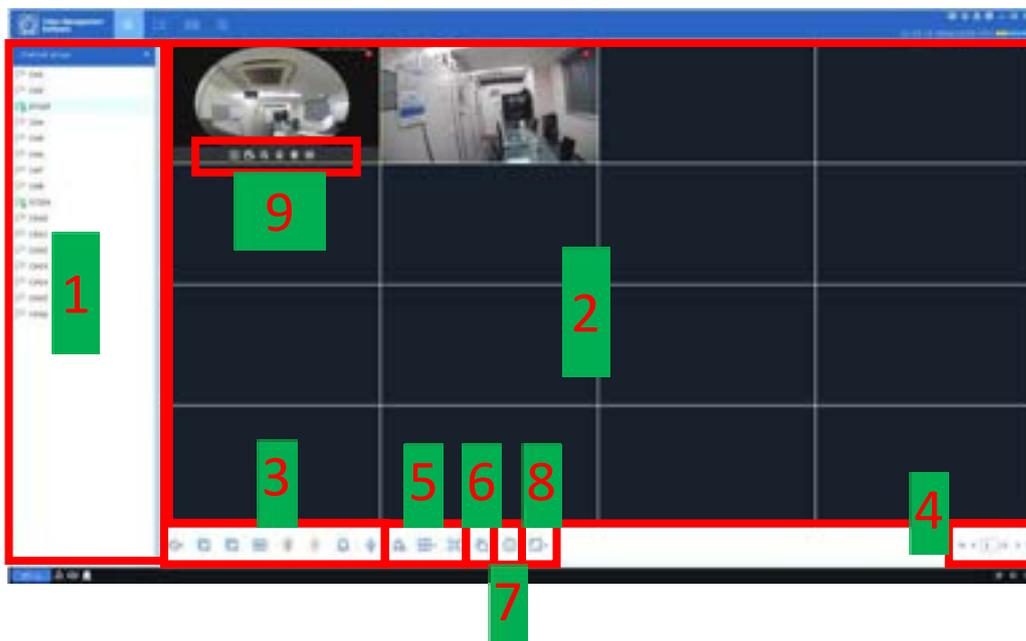


図 19-1-4 デバイスログイン画面でログイン後の画面（デバイスログイン）

表 19-1 図 19-1 に関する項目説明（デバイスログイン）

No.	項目名	内容
1	CH グループエリア	現在ログインしているデバイスの下にバインドされているすべてのデバイスが表示されます。
2	プレビューエリア	正常に接続されているデバイスが画面に表示されます。
3	コントロールエリア	サウンドとすべてのウィンドウの再生  と停止  を制御します。  : サウンド ON,  : サウンド OFF 他、「 表 19-1-2 カメラファンクショナルスイッチ 説明 」をご覧ください。

4	ページ切替え	<p>複数ページのプレビュー画面のある場合にページを切り替えるために使用します。現在のページ/総ページ数。</p> 
5	インターフェイスコントローラー	<p>ウィンドウ数  と全画面表示  を設定します。他、「表 19-1-3 インターフェイスコントローラ 説明」をご覧ください。</p>
6	手動アラーム	<p> 手動アラームの ON/OFF。この機能を使用するには、HTTP/HTTPS ポートでログインする必要があります。</p>  <p>もしも、HTTP/HTTPS ポート以外でログインしている場合は画面右下にこのようなエラー画面が表示されます。</p> 
7	システム情報	<p> アイコンをクリックすると、そのシステムの システム情報 / チャンネル情報 / ビデオ情報 / Network Status が閲覧可能です。この機能を使用するには、HTTP/HTTPS ポートでログインする必要があります。</p> <p>[更新]ボタン  をクリックしますと最新の情報を表示します。[更新]ボタン  は情報表示画面エリア左下にございます。</p>

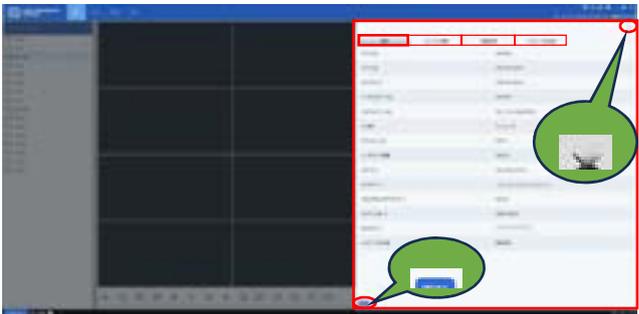
		<p>✕ ボタンで情報表示画面を閉じて前の画面へ戻ります。✕ ボタンは情報表示画面エリア右上にあります。</p>  <p>もしも、HTTP/HTTPS ポート以外でログインしている場合は画面右下にこのようなエラー画面が表示されます。</p> 
<p>6</p>	<p>アスペクト比</p>	<p> アイコンで画面表示の比率を調整します。</p> <hr/> <p> 映像は映像エリア全体にフィッティングされます。</p> <p> 映像のオリジナル比率で表示します。</p> <p> 映像は 4:3 の比率で表示します。</p> <p> 映像は 16:9 の比率で表示します。</p>
<p>6</p>	<p>カメラクイックツールバー</p>	<p>「表 19-1-4 カメラクイックツールバー 一覧」をご覧ください。</p>

表 19-1-2 カメラファンクショナルスイッチ 説明 (デバイスログイン)

【注意】 カメラが対応している場合に使用できます。	
アイコン	内容
	カメラに警告灯機能がある場合、このボタンをクリックすると警告灯のオン/オフができます。
	カメラに白色 LED が搭載されている場合、このボタンをクリックすると白色 LED の点灯/消灯ができます。
	カメラにブザー機能が搭載されている場合、このボタンをクリックすると、カメラのブザーのオン/オフができます。

表 19-1-3 インターフェイスコントローラ 説明 (デバイスログイン)

アイコン	内容
	 といった、録画/アラームアイコン表示が ON になります。
	録画/アラームアイコン表示が OFF になります。

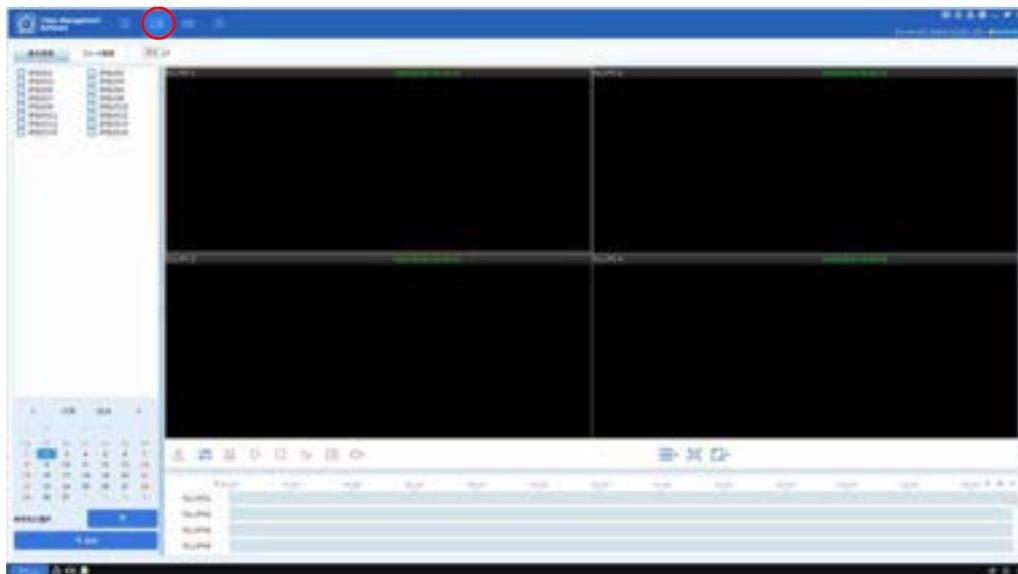
表 19-1-4 カメラクイックツールバー 一覧 (デバイスログイン)

アイコン	内容
	<p>【録画】 ローカル録画。 クリックすると、ローカル PC ストレージへすぐに手動でチャンネルを録画できます。手動で録画が行われると、ローカル録画実行中アイコン  になります。手動での録画を停止するには、もう 1 度クリックします。</p> <p> : ローカル録画実行中。  : ローカル録画停止中。</p>
	<p>【スクリーンショット】 クリックすると、現在のカメラ映像のスナップショットがローカル PC ストレージへ保存されます。</p>
	<p>【PTZ】 クリックして PTZ コントロールパネルに入ります。</p>
	<p>【デジタルズーム】 クリックするとアイコンはハイライト表示  になり、デジタルズームモードになります。マウス操作で デジタルズームする範囲を赤枠で指定すると、拡大ができます。クリックで 100%表示にもどります。ハイライト表示のデジタルズームアイコン  をクリックして  アイコンに戻すとデジタルズームモードを終了します。</p>  <p> (ハイライト表示のデジタルズームアイコン) : デジタルズーム実行中。</p> <p> : デジタルズームしていません。</p>
 	<p>【トーク】 クリックすると音声発話機能が開始されます。</p> <p> (ハイライト表示のトークアイコン) : 発話機能が有効です。</p> <p> : 発話機能が無効です。</p>

19.2 再生（リモートデバイスの録画検索/再生/バックアップ）：デバイスログイン



「再生」アイコンをクリックし、リモート録画検索再生画面に移動します。



19.2.1 基本検索 (デバイスログイン)

[基本検索]タブ  を選択します。操作方法につきましては、「[表 19-2-1-1 リモート録画再生の項目説明](#)」をご覧ください。



図 19-2-1-1 基本検索画面 (デバイスログイン)

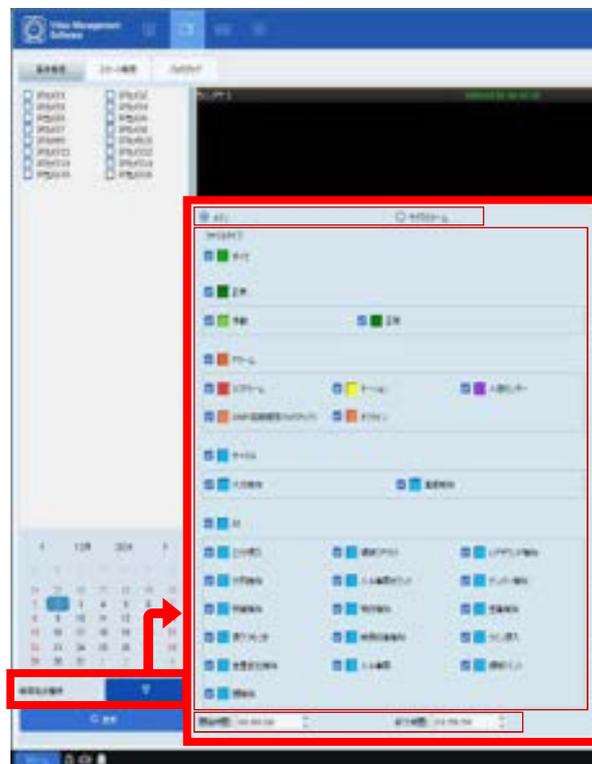


図 19-2-1-2 基本検索 ストリーム/イベントタイプ/検索期間 指定画面 (デバイスログイン)

表 19-2-1-1 リモート録画再生の項目説明（デバイスログイン）

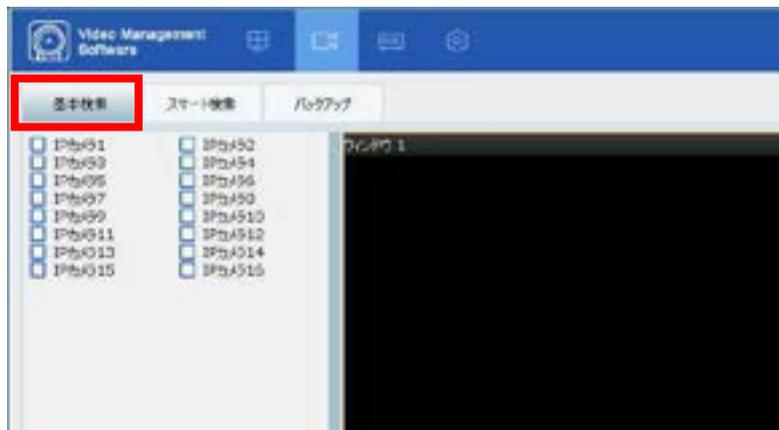
No.	項目名	内容
1	チャンネルエリア	検索するチャンネルを選択します。
2	検索エリア	<p>検索するストリームの種類, 録画タイプ, 検索日, 検索時間帯を選択指定して [検索] ボタン  をクリックします。</p> <p>ストリーム/イベントタイプ/検索期間につきましては、[検索先の選択] ボタン  をクリックして指定します（図 19-2-1-2）。</p>
3	再生制御エリア	<p>録画の再生方法とサウンドを制御します。</p> <p> ビデオを再生開始します。</p> <p> ビデオ再生を一時停止します。</p> <p> 同期再生制御モードをオン/オフします。</p> <p> ビデオ再生を停止します。</p> <p> (シングルフレーム) クリックでコマ送ります。</p> <p> ,  録画データをエクスポートします。詳しくは、「19.2.1.1 デバイス録画データのエクスポート」 をご覧ください。</p> <p> (スロー/高速再生) 再生速度を切り替えます。</p> <p> $\frac{1}{16}x$ $\frac{1}{8}x$ $\frac{1}{4}x$ $\frac{1}{2}x$ 1x 2x 4x 8x 16x</p> <p> オーディオのオン/オフ。オンの場合は音量を調整できます。</p>

<p>4</p>	<p>カメラクイック ツールバー</p>	<p>さまざまな分割数/レイアウトをサポートしています。キャプチャ、デジタルズーム操作は、ビデオのプレビュー中に可能です。</p> <p>キャプチャ: 録画再生中 CH で、 アイコンをクリックまたは右クリックして  を選択しますと、1枚の画像をキャプチャします。</p> <p>デジタルズーム: 録画再生中 CH で、 アイコンをクリックします。</p> <p>ローカルへ録画: 録画再生中 CH で、 アイコンをクリックします。クリックすると、ローカル PC ストレージへすぐに手動でチャンネルを録画できます。手動で録画が行われると、ローカル録画実行中アイコン  になります。手動での録画を停止するには、もう1度クリックします。</p> <p>スクリーンショット: 録画再生中 CH で、 アイコンをクリックします。</p>
<p>5</p>	<p>再生エリア</p>	<p>再生映像が表示されます。CH ダブルクリックでシングル画面表示/マルチ画面表示を切り替えられます。</p>
<p>6</p>	<p>フィッシュアイモード</p>	<p> フィッシュアイ装置専用モードへ移行します。</p>
<p>7</p>	<p>ビデオウィンドウの 表示モード設定</p>	<p> アイコンをクリックして、必要なビデオウィンドウ表示モードを選択します。</p> <p> アイコンをクリックまたはマウスの右クリックで  全画面表示を選択する</p>

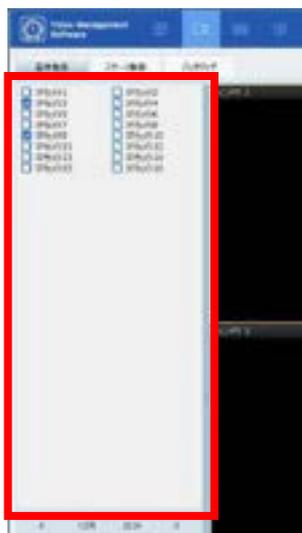
		と、ビデオウィンドウが全画面表示モードになります。
	プログレスバー	<p> : 再生プログレスバーの精度が高くなります</p> <p> : 再生プログレスバーの精度が低くなります</p> <p> ,  : プログレスバー表示時間領域を移動できます</p>

19.2.1.1 デバイス録画データのエクスポート（デバイスログイン）

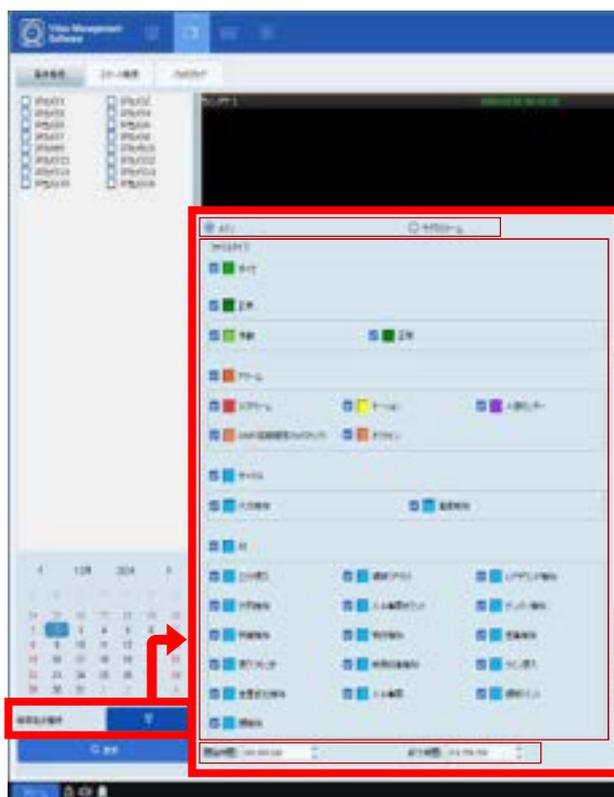
ステップ1: [基本検索]タブ  を選択します。



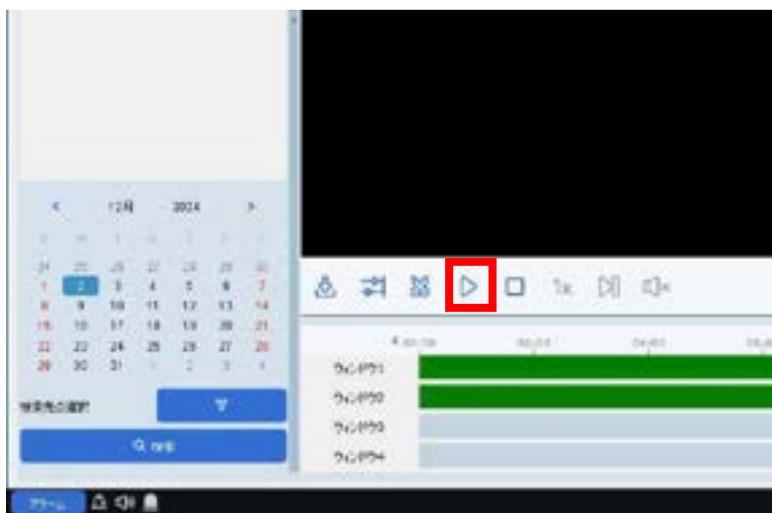
ステップ2: 対象のCHを選択します。



ステップ3: 検索条件を設定して検索します。[検索]ボタン  をクリックしますと検索を実行します。

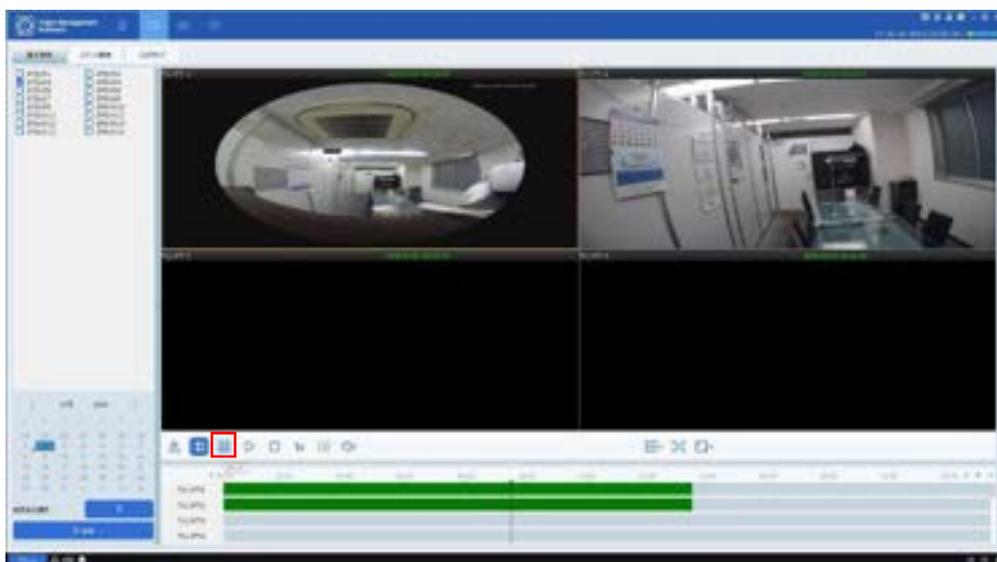


ステップ4: 録画のあるウィンドウを選択し、 アイコンをクリックして録画の再生を開始します。





ステップ 5: [クリップ]アイコン  をクリックし、エクスポート対象の CH (縦) とエクスポート対象の期間 (横) をプログレスバー上で選択します。



エクスポート対象の CH と時間帯を選択後、 アイコンをクリックして、ビデオのエクスポートを行います。

ステップ 6: “録画ファイルのダウンロード” 画面が出ますので、バックアップ期間/ビデオファイル形式/保存先パラメータを設定して[はい]ボタン

 をクリックします。

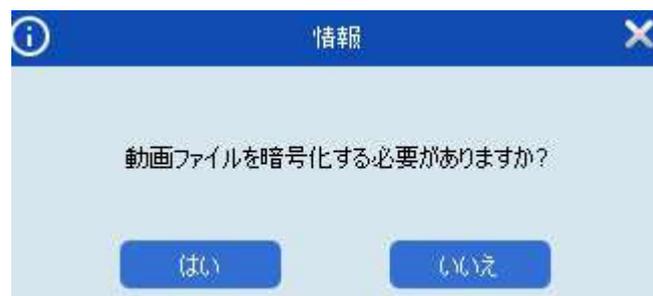
[保存先] ボタン  をクリックしてエクスポート先を選択します。



ステップ 7: “録画ファイルを暗号化する必要がありますか？” 画面が表示されま

す。録画ファイルを暗号化する必要がある場合は[はい]ボタン  をクリックします。録画ファイルを暗号化する必要が無い場合は[いいえ]ボタン  をクリックします。[いいえ]ボタン  をクリックした場合は“ステップ 10”へお進みください。

[はい]ボタン  をクリックした場合は録画ファイルを暗号化するためのパスワードを設定する必要があります。



ステップ 8: “録画ファイルを暗号化する必要がありますか?” で、[はい]ボタン

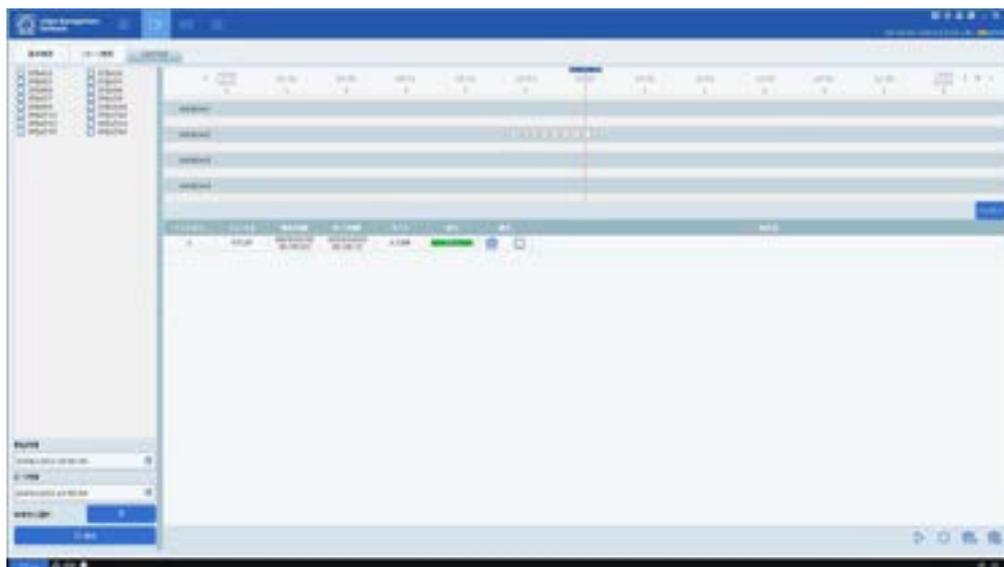


[はい] をクリックした場合は“暗号化”画面が表示されますので“暗号化”画面でビデオのパスワードを設定します。このパスワードはバックアップした後でビデオ再生を行う際に必要ですので、大切に大事に保管してください。

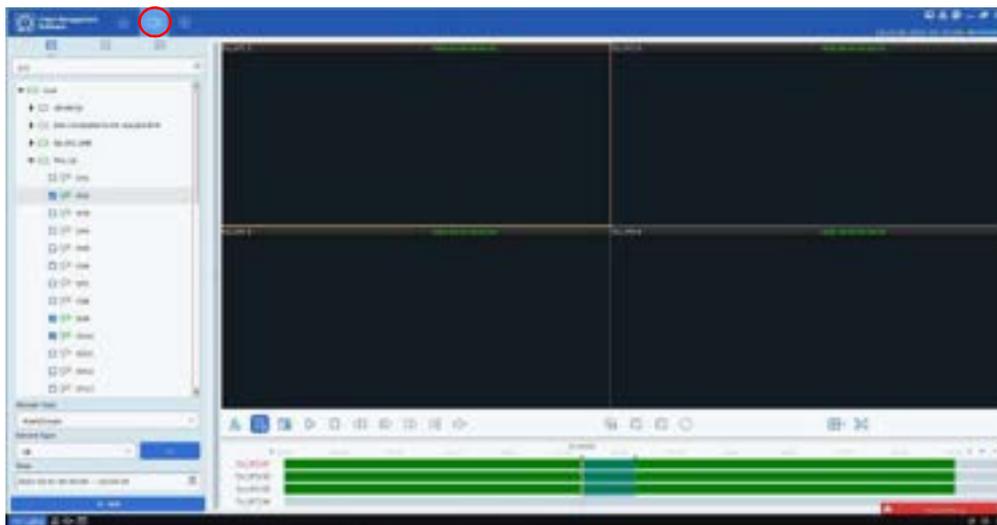
ステップ 9: ビデオのバックアップが開始されます。



画面でバックアップの進捗を確認出来ます。



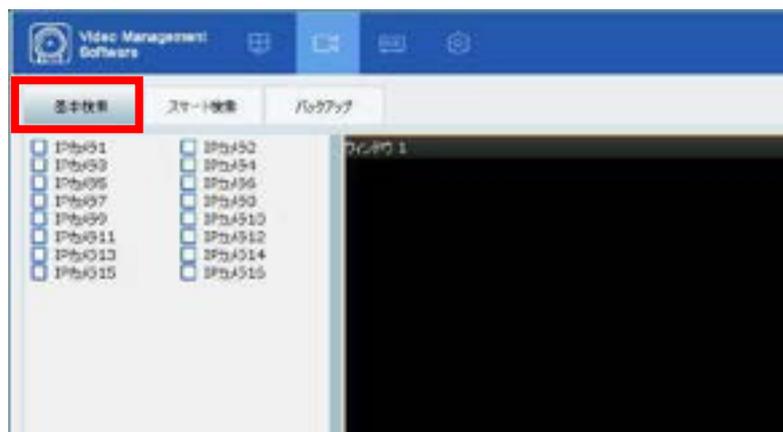
(2) デバイスの動画ファイル単位によるダウンロード



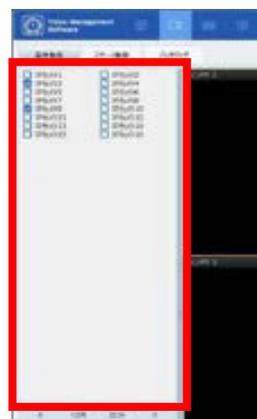
基本検索されたビデオはダウンロードが可能です。

基本検索

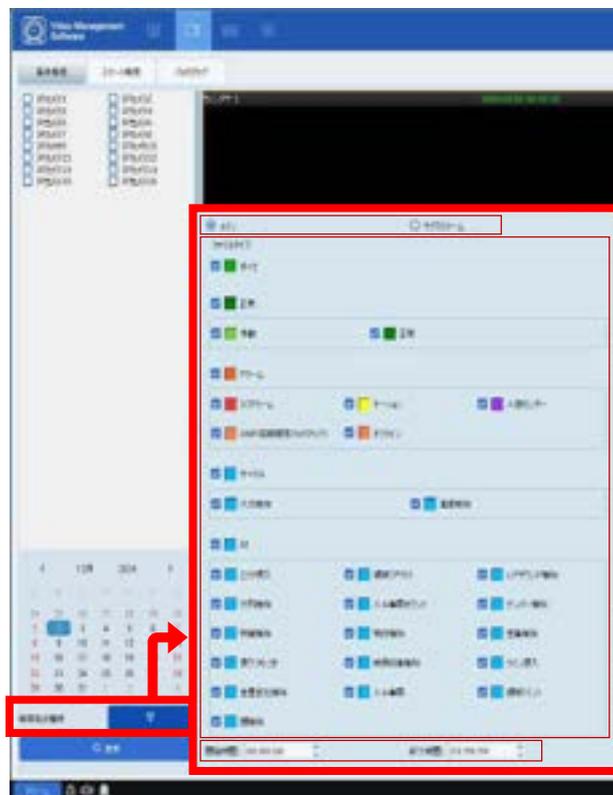
ステップ1: [基本検索]タブ  を選択します。



ステップ2: 対象のCHを選択します。

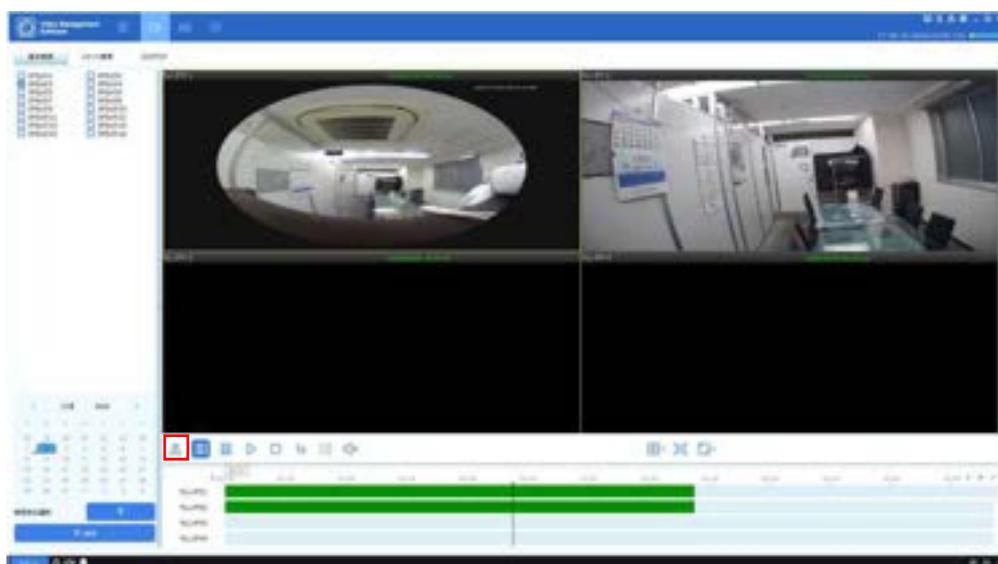


ステップ3: 検索条件を設定して検索します。検索ボタン  をクリック致しますと、検索を実行します。



ステップ4: 録画データのあるウィンドウを選択し、再生コントロールツールの

 アイコンをクリックします。



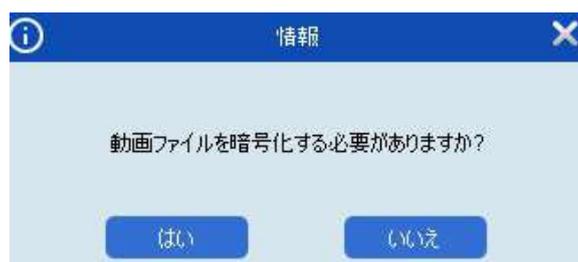
チャンネルの検索期間のすべての録画ファイルがポップアップ表示されます。



ステップ 5: ダウンロードしたい録画ファイルの“インデックス”列のチェックボックスへチェックを入れます。[保存先]ボタン **...** をクリックするとダウンロード先を選択できます。そして、ビデオファイル形式を選択して[ダウンロード]ボタン **ダウンロード** をクリックします。

ステップ 6: “録画ファイルを暗号化する必要がありますか？”画面が表示されます。録画ファイルを暗号化する必要がある場合は[はい]ボタン **はい** をクリックします。録画ファイルを暗号化する必要が無い場合は[いいえ]ボタン **いいえ** をクリックします。[いいえ]ボタン **いいえ** をクリックした場合は“ステップ 8”へお進みください。

[はい]ボタン **はい** をクリックした場合は録画ファイルを暗号化するためのパスワードを設定する必要があります。



ステップ7: “録画ファイルを暗号化する必要がありますか？”画面で[はい]ボタン

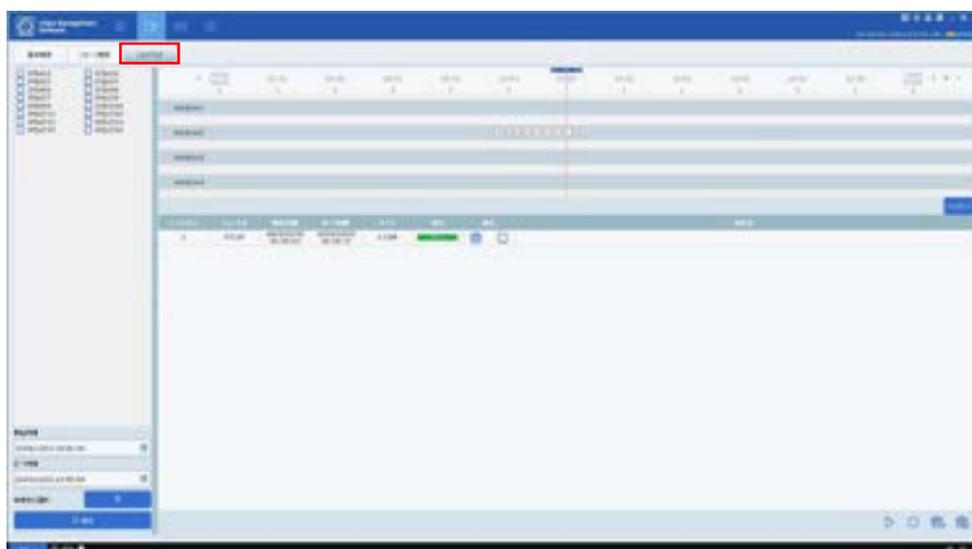
はい をクリックした場合は“暗号化”画面が表示されますので“暗号化”画面でビデオのパスワードを設定します。このパスワードはバックアップした後でビデオ再生を行う際に必要ですので、大切に大事に保管してください。



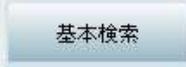
ステップ8: ビデオのバックアップが開始されます。バックアップの進捗を確認出来ます。



画面でバックアップの進捗を確認出来ます。



(1) 任意期間の録画データのダウンロード

ステップ 1: 再生画面  で、[基本検索] タブ  を選択します。

ステップ 2: 対象の CH を選択します。

ステップ 3: カレンダーで検索対象日を選択します。  ボタンをクリックして検索条件を設定します。[検索] ボタン  をクリックしますと検索を実行します。

ステップ 4: 録画のある CH の再生画面を選択し、  アイコンをクリックして録画の再生を開始します (図 19-2-1-1-1)。

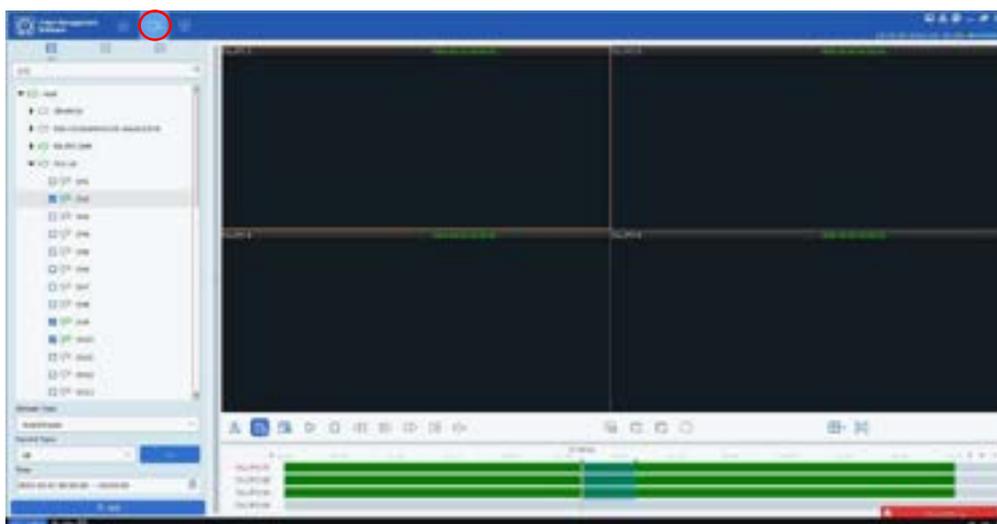
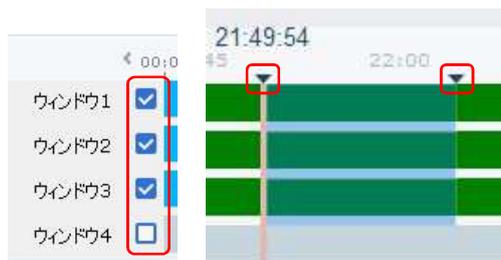


図 19-2-1-1-1 再生 (デバイスログイン)

ステップ 5:  アイコンをクリックし、エクスポート対象の CH (縦) とエクスポート対象の期間 (横) をプログレスバー上で選択します。



エクスポート対象のCHと時間帯を選択後、 アイコンをクリックします。録画ファイルのダウンロード画面が開きます(図 19-2-1-1-2)。



図 19-2-1-1-2 ビデオのエクスポート (デバイスログイン)

ステップ 6:  ボタンでエクスポート先を選択できます。そして、 ボタンをクリックすると、録画ファイルのダウンロードが開始されます。図 19-2-1-1-3 に示しますように  画面でバックアップの進捗を確認出来ます。

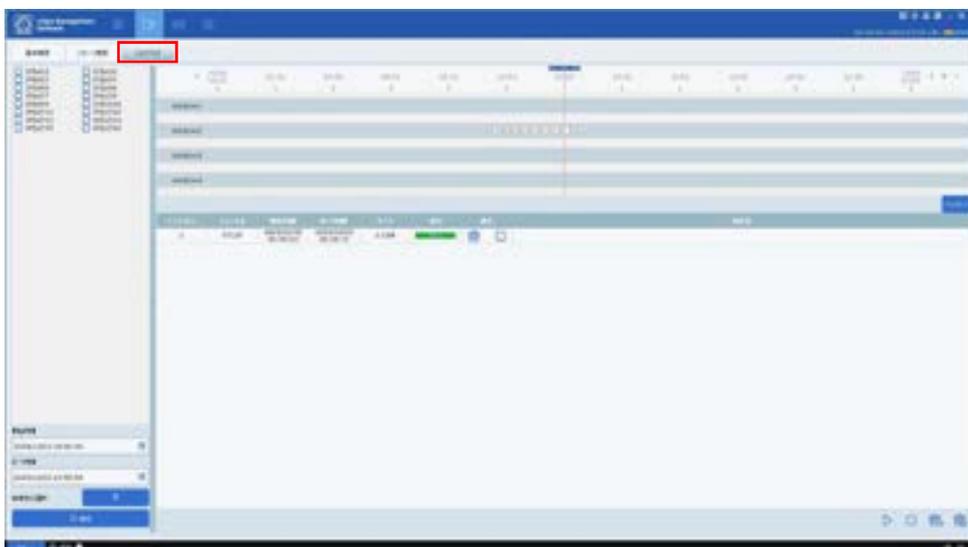
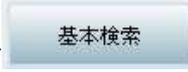


図 19-2-1-1-3 録画ファイルのダウンロード (デバイスログイン)

ステップ 7: エクスポートが完了したら、ウィンドウを閉じます。

(2) デバイスの動画ファイル単位によるダウンロード：デバイスログイン

ステップ1: 再生画面  で、[基本検索]タブ  を選択します。

ステップ2: 対象のCHを選択します。

ステップ3: カレンダーで検索対象日を選択します。  ボタンをクリックして検索条件を設定します。[検索]ボタン  をクリックしますと検索を実行します。

ステップ4: 録画データのあるCHの再生画面を選択し、再生コントロールツ

ルバーの  アイコンをクリックします。チャンネルの検索期間のすべての録画ファイルがポップアップ表示されます (図 19-2-1-1-4)。



図 19-2-1-1-4 録画ファイルのダウンロード (デバイスログイン)

ステップ 5: ダウンロードする録画ファイルへチェックを入れます。 **...** ボタンをクリックするとダウンロード先を選択できます。 **ダウンロード** ボタンをクリックすると、録画ファイルのダウンロードが開始されます。図 19-2-1-1-5 に示しますように **バックアップ** 画面でバックアップの進捗を確認出来ます。

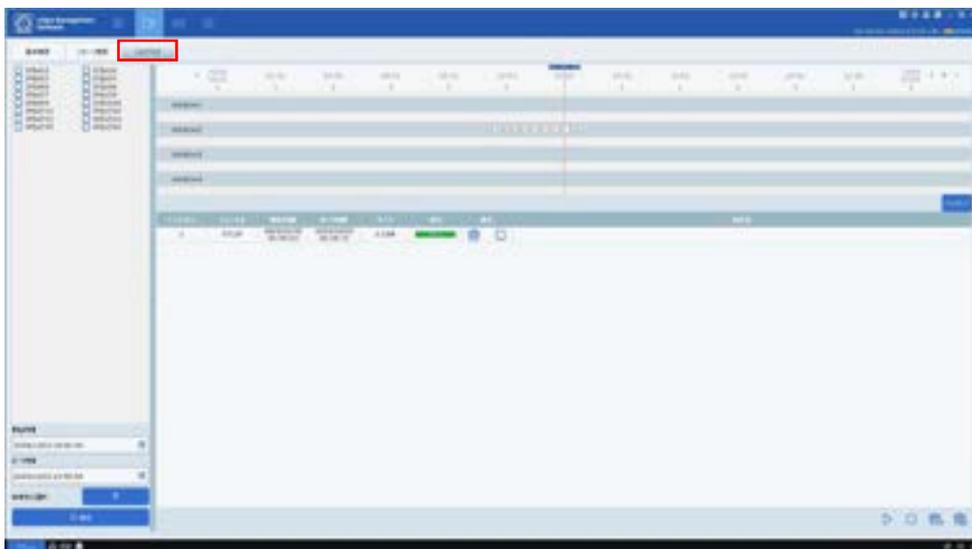


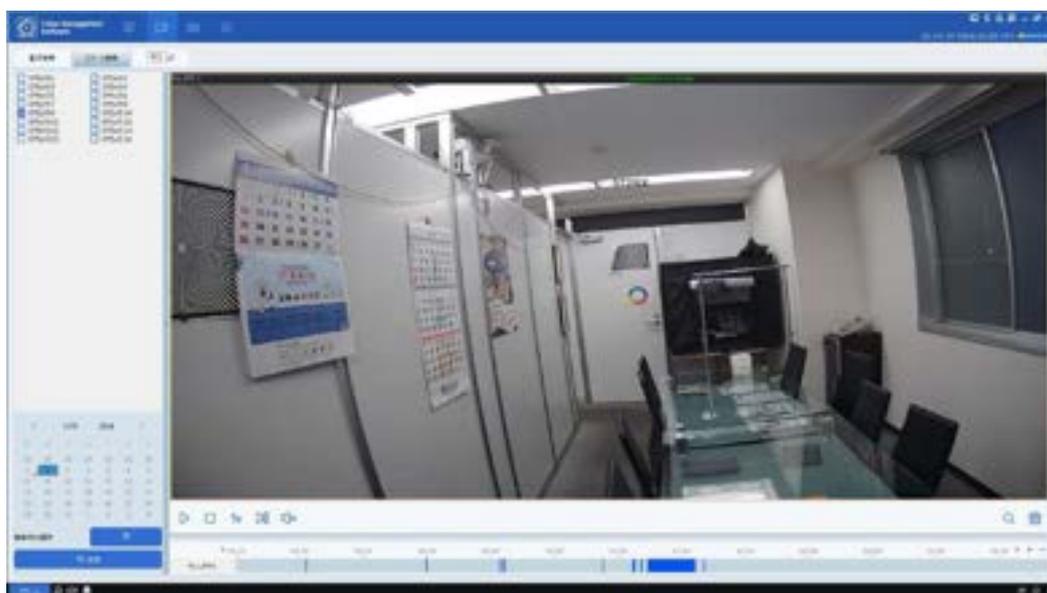
図 19-2-1-1-5 録画ファイルのダウンロード (デバイスログイン)

ステップ 6: エクスポート (ビデオのダウンロード) が完了したら、ウィンドウを閉じます。

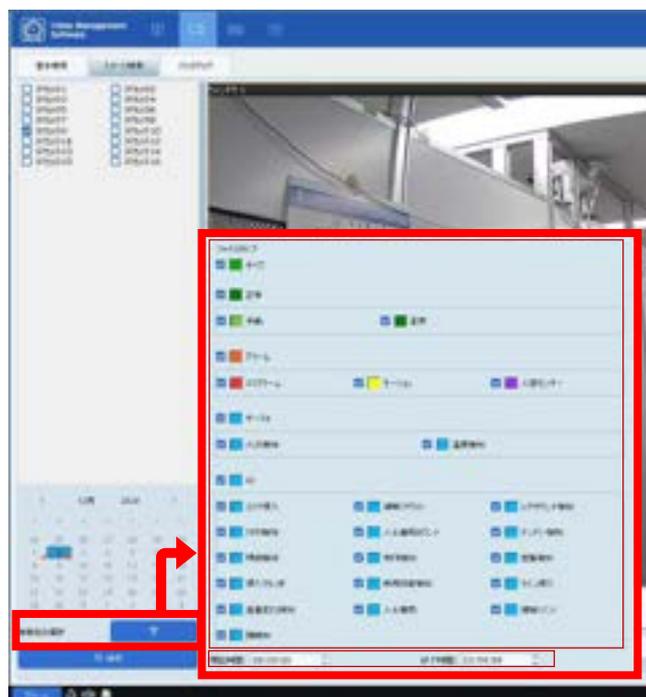
※ システム設定につきましては、[「19.4 システム設定:デバイスログイン」](#)を参照してください。

19.2.2 スマート検索 (デバイスログイン)

スマート検索を利用するには、[スマート検索]タブ  をクリックしてスマート検索画面へ移行し、検索条件 (チャンネル/ストリーム/タイプ/期間) を選択して検索ボタンをクリックします。操作方法につきましては、[「表 19-2-1-1 リモート録画再生の項目説明」](#)をご覧ください。スマート検索はシングルチャンネルのみの検索をサポートしています。



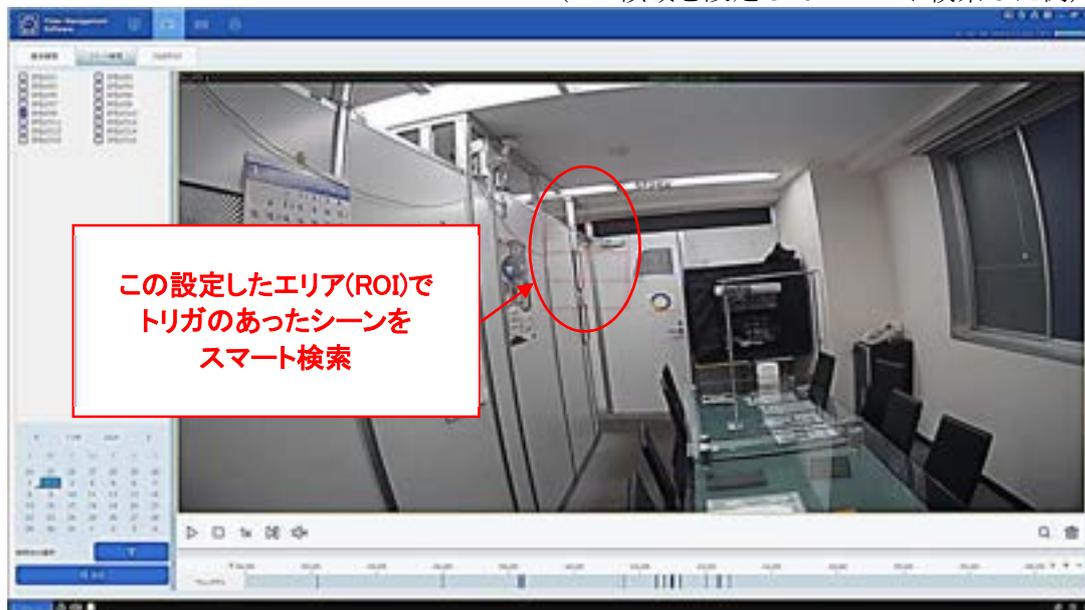
スマート検索では1つのチャンネルのみを再生することができます。タイムラインは青色で表示されます。



さらに、スマート再生中に映像上でマウスドラッグすると ROI 領域を設定可能です。

ROI 領域を設定後、画面右下の  アイコンをクリックしますと ROI 領域に対してスマート検索が可能です。

(ROI 領域を設定してスマート検索した例)



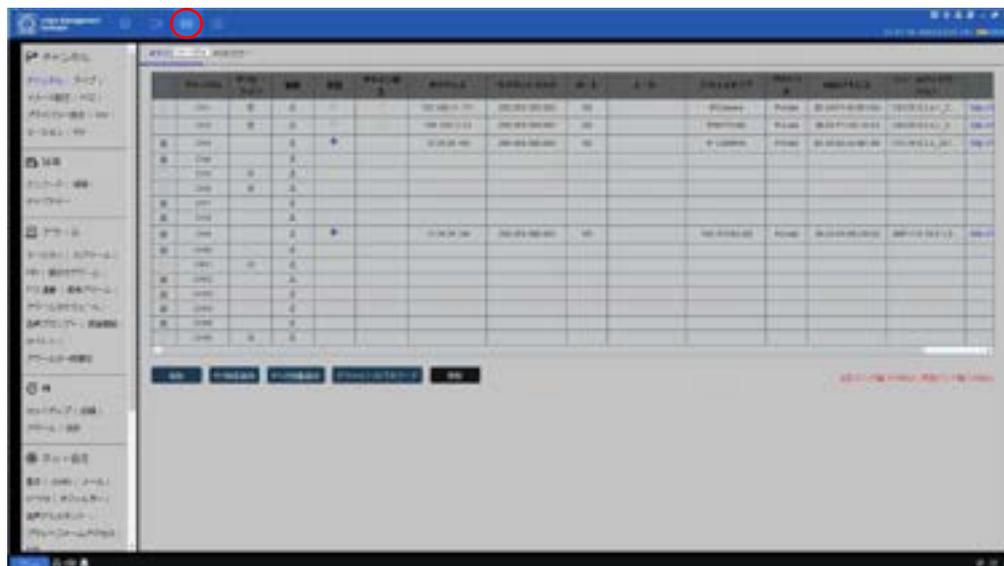
画面右下の削除アイコン  をクリックしますと、設定した ROI 領域を削除できます。ROI 選択領域を削除して再検索するには、もう一度同じ条件で[検索]ボタン

 をクリックします。

19.3 リモート設定 (デバイスログイン)



「リモート設定」アイコンをクリックし、リモート設定画面に移動します。
設定内容につきましては、リモートデバイスの取扱説明書をご参照ください。



19.4 システム設定 (デバイスログイン)

「システム設定」アイコン  をクリックし、システム設定画面に移動します。

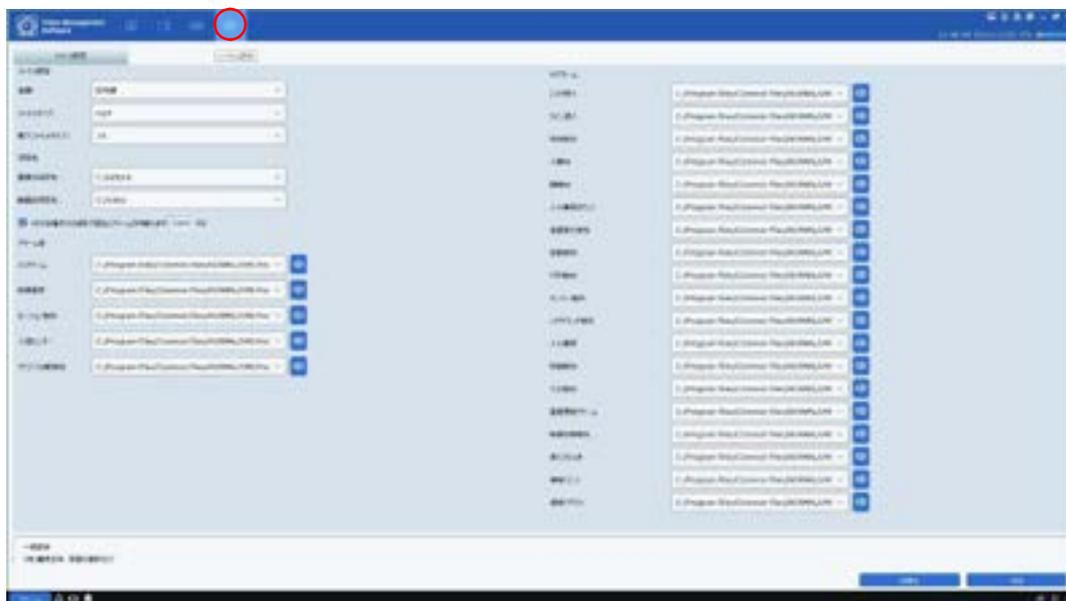
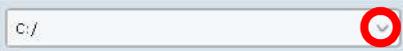


表 19-4-1 システム設定 (パラメーター一覧) : デバイスログイン

ファイル設定		
<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">ファイル設定</div>		
項目	内容	
ファイル設定	言語	言語を選択します。
	ファイルタイプ:	保存の際の映像ファイルの拡張子を次より選択します: rf, AVI, mp4 ※ “rf” は独自のビデオ形式です。
	最大ファイルサイズ:	1 ファイルの最大サイズを次より選択します: •1G (1 ギガバイト) •2G (2 ギガバイト)
保存先	既定の画像の保存先フォルダパスを設定します。 <input checked="" type="checkbox"/> マークをクリック致しますと変更が可能です。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">C:/ </div>	

	<p>動画の保存先：</p>	<p>既定の動画の保存先フォルダパスを設定します。 <input checked="" type="checkbox"/> マークをクリック致しますと変更が可能です。</p> <p></p>
<p>HDD 容量が次の値を下回るとアラームが動作します</p>		<p>チェックオン(<input checked="" type="checkbox"/>)の場合、ディスク容量が入力値を下回った場合に警告します。初期値は 3000MB です。</p>
<p>アラーム音</p>	<p>IO アラーム、映像異常、モーション検知、人感センサー、デバイス切断検知</p>	<p>アラーム別にトリガ時に鳴る音声ファイルを設定できます。それぞれ初期値は、</p> <p>“C:\Program Files\Common Files\NORMAL\VMS Pro\Alarm.WAV” です。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> マークをクリック致しますと変更が可能です。</p> <p>試聴ボタン  をクリックして設定しているアラーム音を試聴できます。</p> <p></p>
<p>AI アラーム</p>	<p>エリア侵入、ライン侵入、物体検知、人検知、顔検知、人&車両カウント、音量変化検知、密集検知、行列検知、ナンバー検知、レアサウンド検知、人&車両、特徴検知、火災検知、温度測定アラーム、映像妨害検知、侵入うろつき、領域（イン）、領域（アウト）</p>	<p>AI 又はインテリジェントのトリガ時に鳴る音声ファイルをそれぞれ設定できます。初期値は、</p> <p>“C:\Program Files\Common Files\NORMAL\VMS Pro\Alarm.WAV” です。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> マークをクリック致しますと変更が可能です。</p> <p>試聴ボタン  をクリックして設定しているアラーム音を試聴できます。</p> <p></p>

ステップ 3: [保存]ボタン  をクリックして、設定を適用して “システム設定” を完了します。

第20章 付録

20.1 トラブルシューティング

1. Q: パスワードを忘れた場合どうすればいいですか?

A: パスワードを忘れた場合は、“セキュリティの質問”に答えてパスワードをリセットしてください。[「第2章 2.3 セキュリティの質問 \(パスワードリセット\)」](#)をご参照してください。私たちは、覚えやすく、比較的安全なパスワードを設定することを強くお勧めします。安全要件がある場合は、00000000など、非常に単純なパスワードを設定しないでください。

2. Q: 録画中に検索再生できますか?

A: 録画動作中の検索再生機能をサポートしております。

3. Q: デバイスの録画データを消去操作できますか?

A: ファイルのセキュリティを考慮して、デバイスの録画データの一部をクリアすることはできません。デバイスのすべての録画データを削除する場合は、“デバイス管理” – “操作” –  [リモート設定]アイコンより、HDD のフォーマットを実行可能です。但し、デバイスがこの操作へ対応している場合に限ります。



【ご注意ください】 デバイスのHDDのフォーマットを実行すると、そのデバイスのすべての録画データが削除されます。

4. Q: デバイスへリモートログインできないのはなぜですか?

A: ネットワーク接続の設定が正しいか、ネットワークが良好な接続状態にあるか確認してください。アカウントとパスワードが正しく入力されているかどうかを確認します。

5. Q: なぜ PTZ が機能しないのか?

A: デバイスのPTZ接続及び設定、権限設定をご確認ください。

6. Q: なぜモーション検出が機能しないのか?

A: モーション検出時間とモーション検出範囲設定が正しいか、感度が低すぎないかどうかを確認してください。

7. Q: アラームが機能しないのはなぜですか?

A: アラーム設定、アラームスケジュール設定、デバイスのアラーム接続、デバイスのアラーム入力信号が正しいか確認してください。

8. Q:なぜアラートは連続発生しますか?

A:アラーム設定を確認し、モーション検出機能が有効になっているか、オブジェクトの動きが常に検出されているか、I/Oアラームのノーマルオープン・ノーマルクローズの設定が誤っていないかどうかを確認してください。また、対応するHDDアラーム設定を参照してください。

9. Q: デバイスでの手動録画を開始/停止できますか?

A: デバイスの手動録画の制御はできません。ローカル録画のみです。

10. Q: ローカル録画が上書きされない。

A: 上書き設定をご確認ください。

11. Q: 指定した検出領域でスマート検索を行いたい。

A: リモート再生が可能です。“アカウントログイン”で御利用の場合は、[「第6章 6.5 スマート検索再生」](#)をご覧ください。“デバイスのログイン”で御利用の場合は、[「第19章 19.2.2 スマート検索」](#)をご覧ください。

12. Q:CHの音声が出ない。

A: 1CH（単画面）表示にする必要があります。また、消音の有無、PCの音声出力についてもご確認ください。

13. Q:デバイスリストが消えていた。

A: **デバイスリストを作成/編集/デバイスを追加した際は、万が一の場合に備えて[「3.1.2デバイスリストのバックアップ」](#)を参考にデバイスリストのバックアップを行っていただくことを推奨いたします。**

20.2 用語集

- AI

Artificial Intelligence (人工知能) の略。知的機器。機器知能。人工知能は、人間の思考に関連する人間の認知機能を模倣する機械またはコンピュータとして定義することができます。通常、人工知能とはプログラムによって人間の知性を提示する技術です。人工知能は過去の経験から学び、合理的な意思決定を行い、迅速に対応することができます。アンドレアス・カプランとマイケル・ハインラインは、人工知能を「外部データを正しく解釈し、そこから学び、その知識を活用して、特定の目標やタスクを柔軟に適応させる能力」と定義しています。

- インテリジェント

従来の検知トリガにはない、高度な検出機能を提供します。

- ハイブリッド DVR (XVR)

ハイブリッド DVR (XVR) は、DVR と NVR を組み合わせたレコーダーです。

- デュアルストリーム

デュアルストリームがネットワークを介して低解像度のストリームを送信しながら、局所的に高解像度のビデオを記録するために使用する技術です。メインストリーム および サブストリーム のそれぞれ異なる最大解像度を有するストリームはデバイスによって生成されます。

- DDNS

ダイナミック DNS は (コンテンツをリアルタイムで変更するには、ドメイン・ネーム・サーバーに通知するために、このようなインターネットプロトコルスイートを使用して、ルーターやコンピュータシステムなどのネットワーク機器用の機能を提供する方法、プロトコル、またはネットワークサービスで、その構成されたホスト名、アドレスまたは DNS に格納されている (ad-hoc) アクティブな DNS 設定です。

- DHCP

ダイナミックホストコンフィギュレーションプロトコル (DHCP) は、インターネット・プロトコル・ネットワークでの動作のための設定情報を取得するための装置 (DHCP クライアント) で使用されるネットワークアプリケーションプロトコルです。

- DVR

デジタルビデオレコーダーの略。DVR は、アナログカメラからのビデオ信号を受け入れる信号を圧縮し、そのハードドライブにデータを保存することができる装置です。

- HDD

ハードディスクドライブの略。磁気面とプラッタ上にデジタルエンコードされたデータを格納する記憶媒体です。

- HTTP

Hyper Text Transfer Protocol 転送プロトコルの略。ネットワークを介してサーバーとブラウザ間のハイパーテキストの要求と情報を転送するためのプロトコルです。

- NTP

ネットワークタイムプロトコルの略。ネットワークを介して時刻同期させるために設計されたプロトコルです。ポートは 123 番を使用します。

- NTSC

National Television System Committee (全米テレビジョンシステム委員会) の略。NTSC は、米国や日本などの国々で使用されるアナログテレビの規格です。NTSC 信号の各フレームは 60Hz で 525 本の走査線が入っています。

- NVR

ネットワークビデオレコーダーの略。NVR は、IP カメラ、IP ドームと他の DVR の一元管理とストレージに使用される PC ベースまたは埋め込まれたシステムにすることができます。

- PAL

Phase Alternating Line (位相反転線) の略。PAL は、世界の大部分で使用されるアナログテレビの規格です。NTSC とは別のビデオ標準規格です。PAL 信号は 50Hz で 625 本の走査線が入っています。

- PPPoE

イーサネット上のポイントツーポイントプロトコルは、イーサネットフレームの内側にポイントツーポイントプロトコル (PPP フレーム) をカプセル化するためのネットワークプロトコルです。個々のユーザーがイーサネット上とブレイクメトロイーサネットネットワークにおける ADSL トランシーバ (モデム) に接続し、ADSL サービスで、主に使用されます。ADSL トランシーバ (モデム) に接続し、ADSL サービスで、主に使用されます。

- PTZ

パン/チルト/ズームの略。カメラが左右 (パン)、アップとダウン (チルト)、ズームイン、ズームアウトすることができるモータ駆動システムです。

- SSD

Solid-state drive または Solid-state disk の略。不揮発性メモリ回路で作られたコンピュータストレージデバイスです。揮発性メモリ (DRAM) と従来のハードディスク (HDD) の間の動作スピードです。揮発性メモリと比較して、不揮発性メモリは、データが書き込まれるとすぐに、そのメモリを維持するために外部電力を必要としません。したがって、SSD は従来のハードドライブの代替として、とても適しています。

- USB

Universal Serial Bus の略。USB はプラグアンドプレイホストコンピュータとのインターフェースです。

20.3 免責について

1. 当ソフトウェア単独で犯罪などを防止するものではありません。
2. 弊社は如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - 1) 当ソフトウェアに関連して直接または間接的に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害。
 - 2) お客様の誤使用や不注意による損害またはデータ破損等。
 - 3) 当ソフトウェアのリバースエンジニアリング、それに起因するかどうかにかかわらず発生した一切の故障または不具合。
 - 4) 当ソフトウェアの不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示・記録または動体検知等ができないこと及び記録した情報が消失したことで被る不便・損害・被害。
 - 5) 第三者の機器等と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。
 - 6) お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは監視目的外に使用され、その結果生じた損害、被害。
 - 7) 被写体となった個人または団体等によるプライバシー侵害等を理由とするいかなる賠償請求、クレーム等。
 - 8) 当ソフトウェアの自動動体検知機能の誤検出、各検知機能の誤検出、または検出モレによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。
3. インターネットを通じての遠隔監視に関しては無償のDDNS/P2Pサービスを機能としてご利用いただけますが、無償サーバーでご提供させて頂いている為、不具合/メンテナンス等によるアクセス不良は免責と致します。また、お客様のインターネット環境によっては地域/時間帯によっては不安定になる事があります。